粕川村文化財報告第十集

白藤古墳群

1989

群馬県勢多郡粕川村教育委員会

白藤古墳群

白藤古墳群　　Ｐ・Ｖ区全景（北上空より）

Ｐ－６号古墳出土　埴輪飾馬

Ｖ－４号古墳出土　埴輪馬

序にかえて

昭和54年から開始された、県営圃場整備事業粕川地区に係る埋蔵文化財緊急発掘調査は、圃場整備の面工事の終了と共に、昭和62年度でほぼ終了いたしました。この調査には9年間という歳月をようし、調査した遺跡数は50を越える数となっています。これらの遺跡調査の成果の中にはこれまでの群馬県の考古学上の常識を覆すものも多く含まれております。

今回ここに報告する『白藤古墳群』は50基を越える古墳が、新たに確認され、調査された赤城山南麓屈指の大古墳群であります。出土した遺物からはこれらの古墳が5世紀から6世紀の前半にかけてという比較的早い時期の極めて短い期間に造られていったことが判りました。しかも、これらの古墳の造営者はこの粕川村膳の地に忽然と姿を現し、消えていったのです。この『白藤古墳群』の出現と消滅は赤城山南麓地域、粕川村にとって重要な画期となったのではないかという思いがあります。また、広く見れば、この5世紀は、先頃「王賜」銘入り鉄剣を出土した千葉県市原市の稲荷台一号古墳や「辛亥年」銘入り鉄剣を出土した埼玉県稲荷山古墳の時代であり、今、最も注目を浴びている時代でもあります。『白藤古墳群』は粕川村と日本の古代史研究の最先端を直接結び付けるものとして大きな意味を持ってくるものと思います。

ここに上梓された報告書が益々活用されることを願って止みません。そして、最後に調査に際し、ご尽力頂いた地元土地改良の役員並びに土地所有者の皆さん、そして、酷暑、極寒の中、発掘調査に従事された皆さんの労に心より感謝申し上げ序にかえさせていただきます。

平成元年3月

粕川村教育委員会

教育長　中　嶋　茂　美

例　言

1. 本書は昭和57年度粕川地区県営圃場整備及び昭和59年度小規模土地改良事業に係る埋蔵文化財発掘調査『白藤古墳群』の発掘調査報告書第１集（資料編）である。特に古墳時代の遺構、遺物を中心に収録し、縄文時代及び中世の遺構については後日別編とする。
2. 『白藤古墳群』は群馬県勢多郡粕川村膳字白藤２－７番地他、同字新宿30番地他、同字大門103番地他、同字八幡133番地他に所在する。
3. 発掘調査は下記のとおり４次にわたって行われた。

　第一次調査　昭和56年10月20日から昭和57年３月27日

　第二次調査　昭和57年４月12日から昭和58年２月12日

　第三次調査　昭和59年４月２日から昭和59年５月21日

　第四次調査　昭和63年12月５日から昭和63年12月12日

　また、整理作業及び本書の作成は昭和63年４月４日から平成元年３月30日まで行った。

4. 発掘調査は各年度の国宝重要文化財等保存整備費国庫補助金及び群馬用水土地改良事業所委託金を使用して行った。

　整理事業は昭和63年度国宝重要文化財等保存整備費国庫補助金を使用して行った。

5. 調査組織は次のとおりである。

事務局

教育長　金井久雄（62年９月退任）　中嶋茂実（同年10月着任）

事務局長　白石高士（58年６月転出）　田島敏男（59年７月転出）

　　笠原　清（61年６月転出）　羽鳥武男（61年６月着任）

係　　長　坂本　実（62年６月転出）　小林　進（62年６月着任）

派遣社教主事　横沢克明（62年４月着任）

調査担当

文化財担当　小島純一　　調査員　小池雅典（現　沼田市教育委員会）

6. 本書の作成は小島純一が編集、執筆、遺構写真を担当し、遺物写真は真下泰男（粕川村サンフォト）による。なお、本書の作成には以下のものが参加した。

庶務担当　笠原嘉子　　遺物接合復元　中嶋あぐり

遺物実測及びレイアウト　鈴木幸子　吉沢てい子　小沢富江　長瀬トモ　荒木勇次

7. 発掘調査によって出土した遺物については総て粕川村教育委員会で保管管理している。
8. 調査から整理にかけて、下記の方々からご指導、ご助言を賜った。記して感謝申し上げます。

新井房夫　石塚久則　井上唯雄　岩崎卓也　梅沢重昭　坂口　一　坂爪久純

鹿田雄三　白石太一郎　田口一郎　土生田純之　前原　豊　右島和夫

III　発掘調査の概要

白藤古墳群の調査は狭い谷地を挟んだ台地全面を対象として行った。しかし、調査の原因である県営土地改良事業の計画が畑地換地となることから、発掘調査を必要とした箇所は基本的に新設される道水路敷と土の切り盛りが行われる所となった。

発掘区の設定は国家座標第Ⅳ系（X＝46.900、Y＝－54.700）を基準として100m方眼を基本としてA～Yまでの大グリッドを設定し、その中を4㍍方眼で南北方向をa～y、東西方向を1～25と名称をつけ北西の交点を小グリッドの名称とした。

(1) 基　本　土　層

遺跡地一帯はほとんど総てが桑畑として利用されていた。そのため極特殊な場合を除いて、比較的遺構の残りは良好であった。しかし、遺跡の南は、中世の膳城築造に由来すると考えられる地形の改変が行われており、表土の亡失が甚だしい。

Ⅰ層　表土で耕作土となっている。粘性の無い灰褐色の砂土である。20～30㌢の堆積が認められる。

Ⅱ層　二ツ岳降下軽石（FP）と浅間C軽石を含む黒色土。厚さ25～40㌢で堆積する。

Ⅲ層　やや粘性のある褐色土。縄文土器を包含する。本遺跡での遺構確認面である。20～30㌢で堆積する。

Ⅳ層　黄褐色ローム層。以下赤城山南麓の一般的な関東ローム層の堆積を示す。L・M区の深掘りでは八崎軽石（Hr－HP）まで確認している。

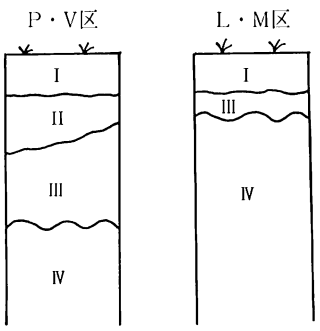


図4　基本土層図

(2) 調査された遺構

旧石器・縄文時代　旧石器時代の遺物はQ－1号墳の周堀埋土から黒耀石製の尖頭器1点が、M区の膳城の北郭外濠底の八崎軽石直上から剝片が2点出土している。しかし、遺構や遺物の面的、層位的な広がりは確認できなかった。

縄文時代の遺構は発掘区の南西部A・B区で前期の住居2軒、中期の住居1軒と土壙、発掘区中央部のJ区で中期の伏せ甕1基、発掘区東のP・V区で早期の集石遺構がそれぞれ遺物を伴って検出されている。弥生時代の遺構、遺物の検出はなかった。

古墳時代　古墳時代の住居は、住居の部分的な調査例も含めて36軒、掘立遺構2基が調査された。住居は発掘区の西側の幅の広い台地の縁辺に多く検出されている。古墳は52基（内、方形周溝墓9基、土壙墓に粘土床を伴うものを主体部としたもの1基、土壙墓を主体部としたもの2基、箱式棺状石室を主体部とするもの8基、横穴式石室を主体部としたもの7基）、墳丘を伴わない小石槨墓19基、土壙墓3基が検出されている。古墳は発掘区東の台地と、西側台地の西縁辺に集中して分布している。

奈良・平安時代　奈良・平安時代の住居は全く検出されなかった。しかし、発掘区北西隅に大型土壙3基と方形遺構1基が検出されている。

中世以降　発掘区南端が中世城郭で著名な県指定史跡「膳城址」の一部であり、膳城の遠構えの濠や北郭の濠の一部、それを渡るための木橋の橋脚址などが検出されている。井戸や土壙墓と考えられるものも発掘区中央部でまとまって検出されている。また、江戸時代の土壙墓がF－3号墳周堀内で1基検出されている。

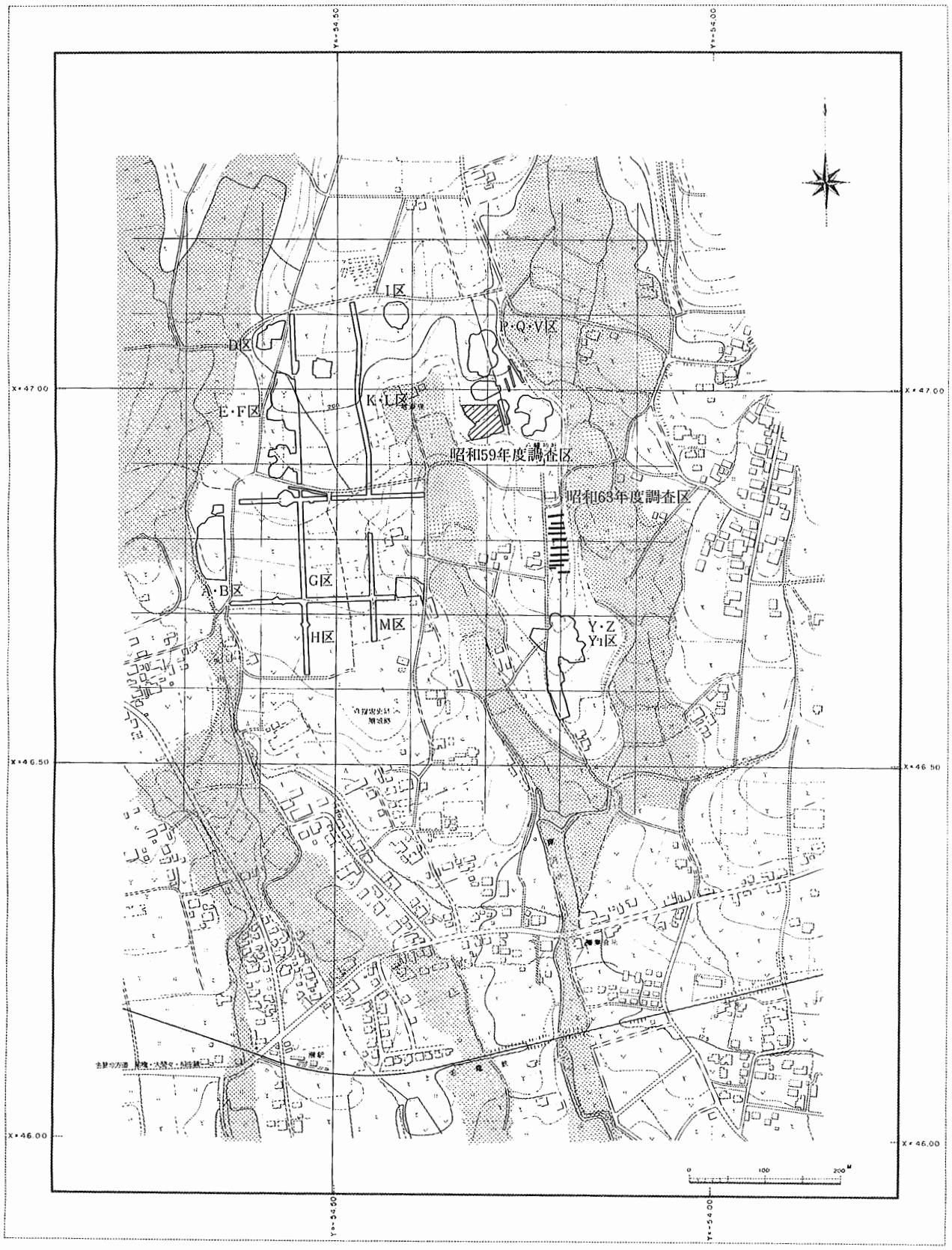


図5　白藤古墳群調査区設定図

Ｄ－２号古墳（図31～34、PL. 4・32）

墳丘　前庭部から周堀までの主軸長15.84㍍の円墳である。埴輪や明瞭な葺石は検出されなかった。

周堀　全周せず墳丘の北側のみに見られた。上幅2.16～1.52㍍、下幅1.44～0.4㍍、深さ0.28～0.56㍍である。

主体部　玄門、羨門を備えた両袖型横穴式石室である。石材は安山岩河原石の転石を用いている。玄室部の平面形は胴張りを持つ。主軸方向はＮ－18°－Ｗ。石室長4.17㍍、玄室長2.36㍍、玄室中央幅1.47㍍、玄門幅0.73㍍、羨道長1.62㍍、羨道幅0.91㍍、羨門幅0.88㍍である。

遺物　土師器坏１、須恵器坏１、蓋１が前庭部より出土している。

Ｄ－３号古墳（図35～37、PL. 4・31・49）

墳丘　直径約23㍍の円墳である。墳丘及び西側は耕作や農道によって掘削をうけている。周堀内に人頭大の円礫が多くみとめられ、葺石の存在が予想される。

周堀　墳丘を全周するものと考えられる。上幅2.72㍍、下幅1.76㍍、深さ0.72㍍である。

主体部　墳丘中央に検出された。破損が著しいが、箱式棺状石室であろう。地山を30㌢程掘り込んだ掘り方内に構築されている。掘り方は平面形長方形で長さ3.72㍍、幅1.8㍍である。石室内からは遺物の出土はなかった。

遺物　周堀内より須恵器坏１、土師器甕１が出土している。また、周堀埋め土上層より円筒埴輪や形象埴輪馬の胴部破片が出土している。

Ｄ－１号土壙（図38、PL. 32）

形状　長軸長5.32㍍、短軸長3.52㍍、深さ0.26㍍の長方形の平面形を持つ。長軸方向はＮ－82°－Ｅである。竈、炉等を持たないことから土壙とした。須恵器坏１が出土している。

Ｄ－２号土壙（図39、PL. 32）

形状　直径4.4㍍の円形の大型土壙で、深さ1.24㍍である。埋め土第２層は浅間Ｂ軽石の純層である。埋め土内より須恵器台付き椀１が出土している。

Ｄ－３号土壙（図40、PL. 4）

形状　直径4.84㍍の円形大型土壙で、深さ1.54㍍である。２号土壙と同様に埋め土第２層は浅間Ｂ軽石である。遺物の出土はなかった。

Ｄ－４号土壙（図41）

形状　確認面での直径は2.64㍍の円形土壙である。一部掘削を受けており、当初の規模は２，３号土壙とほぼ同規模のものと予測される。壙内より人頭大の円礫が出土している。

Ｅ－１号古墳（図42・44、PL. 4・31）

墳丘　長辺12.4㍍×短辺12.2㍍の方形周溝墓あるいは方墳である。現況では、墳丘は認められなかった。また、埴輪や葺石も確認されなかった。

周堀　断面形は逆台形状で立ち上がりは垂直に近く、底面も平坦で比較的広い。上幅2.0～1.64㍍、下幅1.1～0.4㍍、深さ0.57～0.47㍍である。

主体部　検出されなかった。

遺物　周堀埋め土上層で土師器の甕と小型甕が１点出土している。

Ｅ－２号古墳（図43、PL. 4）

墳丘　一辺13㍍の方形周溝墓と推定される。調査区の都合で一部分のみの調査であり不明な部分が多い。

周堀　浅く不明瞭であった。埋め土中にHr－FAの純層が認められた。

主体部　検出されていない。

遺物　出土しなかった。

Ｅ－３号古墳（図50）

墳丘　直径11㍍の円墳である。墳丘は削平されている。

周堀　上幅0.96～0.64㍍、下幅0.6～0.44㍍、深さ0.3㍍と浅く狭い。周堀内には拳大の円礫がみとめられた。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Ｅ－４号古墳（図45）

墳丘　直径約17㍍の円墳である。墳丘は削平されており、周堀のみ確認された。南北長16.9×東西長16.8㍍である。

周堀　全周せずに３カ所に「わたり」をもつ。上幅2.4～1.04㍍、下幅0.4～0.88㍍、深さ0.8～0.6㍍である。

備考　墳丘中央にはＥＨ－２号住居が位置している。古墳と住居との前後関係は不明。また、北東の「わたり」部分にはＥ－２号石槨がある。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Ｅ－１号石槨（図46、PL. 7）

位置　Ｅ－１号古墳の南西に確認された。確認当時すでに天井石は除去されていた。

石槨　主軸方向Ｎ－55°－Ｅで、長さ1.59㍍、幅0.76㍍、深さ0.32㍍の隅丸長方形の掘り方内に構築されている。側壁は短辺１石、長辺４石づつ二段に積まれてい

る。短辺と長辺は互いに挟み合う形となっている。石槨の規模は長さ110㌢、中央幅23㌢、深さ31㌢である。床石及び側壁は偏平な安山岩の転石を用いている。石槨はローム層を掘り込んだ石槨と掘り方との間には裏込として石を用いない。

遺物　出土しなかった。

E－2号石槨（図47、PL. 7）

位置　E－4号古墳の北東「わたり」部分に確認された。確認時にはすでに天井石と南短壁の一部は除去されていた。

石槨　主軸方向N－16.5°－Eで、ローム層を掘り込んだ長さ1.45×幅0.89×深さ0.2㍍の隅丸長方形の掘り方内に構築されている。側壁は短辺1石、長辺は3石で構成されている。石室の規模は長さ100㌢、中央幅23㌢、深さ14㌢である。床石及び側壁は偏平な安山岩の転石を用いている。石槨は側壁と掘り方との間には小円礫が少量裏込めとして詰められていた。

遺物　出土しなかった。

E－3号石槨（図48、PL. 7）

位置　E－4号古墳の南に検出された。確認時にはすでに天井石、長壁の一部、西短壁の一部は破損していた。

石槨　主軸方向N－88.5°－Eで、ローム層を掘り込んだ長さ135㌢、幅85㌢、深さ16㌢の掘り方内に構築されている。短辺は1石、長辺は3石以上で構成されている。石槨の規模は長さ81㌢、中央幅29㌢、深さ10㌢である。側壁は安山岩の偏平な円礫を用いている。床面には2～3㌢大の小円礫を敷いている。掘り方と石槨との間には拳大の円礫が詰められていた。

遺物　出土しなかった。

E－1号土壙（図49、PL. 7）

位置　D－3号古墳の南60㍍に検出された。ローム層を掘り込んだ平面長方形の土壙である。規模は長辺132㌢、短辺71㌢、深さ19㌢である。壁の立ち上がりは南短辺ではなだらかに立ち上がる。

遺物　出土しなかった。

EH－1号住居（図51、PL. 37）

形状・規模　不明。柱穴、炉址等も検出されなかった。また、床面も軟弱であり壁の立ち上がりも不明確であった。

遺物　土師器3点の出土があった。

EH－2号住居（図52、PL. 37）

形状　一辺5.6㍍の正方形である。上部は削平を受けており、壁の立ち上がりは4㌢程であった。

面積　29.46m²　　**方位**　N－7°－E

床面　叩き絞め状で堅い。**柱穴**　住居の対角線上に規則的に並ぶ4本の主柱穴を確認できた。P_1長径42×短径36×深さ77㌢・$P_2$38×36×84・$P_3$32×30×80・$P_4$30×28×81。

遺物　床面に張り付いた状態で土師器2が出土した。

備考　炉及び壁周溝は検出されなかった。貯蔵穴は南東隅と南西隅に2カ所確認された。貯1は平面形円形で直径52×深さ24㌢、貯2は平面形隅丸方形で、長径64×短径52×深さ33㌢である。

EH－3号住居（図53）

形状　住居の2分の1と上面が掘削を受けており全体の形状は不明。残存する東西辺の長さは6.14㍍である。

壁周溝　東西辺側で確認できた。上幅22×下幅10×深さ2㌢であった。**主柱穴**　2本が確認できた。P_1長径28×短径24×深さ8㌢、$P_2$28×24×4。

遺物　出土しなかった。

備考　貯蔵穴、炉は検出されなかった。

EH－4号住居（図54）

形状　長辺5.4×短辺4.2㍍の長方形を呈する。上面は削平を受けており壁高は2㌢と浅い。E－4号古墳の墳丘下に作られていたものと思われる。

面積　21.0m²　　**方位**　N－82°－E

床面　堅く叩き絞め状である。**壁周溝**　北壁部分に確認された。上幅14×下幅4×深さ2㌢であった。**主柱穴**　対角線上に並ぶ4本が確認できた。P_1長径30×短径24×深さ6㌢、$P_2$28×26×3、$P_3$30×26×6、$P_4$24×22×4。**遺物**　出土しなかった。

備考　南壁より中央に検出された。円形で長径100×短径78×深さ4㌢である。炉は検出されなかった。

(3)　F・G・H区の調査

F－1号古墳（図55～57、PL. 5・25・31・44・49）

墳丘　南北長17.4㍍、東西長18.5㍍の円墳である。現況では墳丘の高まりは確認できなかった。墳丘の北西側には拳大の円礫を用いた葺石の一部が残っていた。

周堀　上幅2.32～1.6㍍、下幅1.48～0.8㍍、深さ1.2～1.1㍍で、墳丘を全周する。底面は平坦に成型されているが深さは不均等であり、北側は特に浅い箇所がある。断面形は逆台形状を呈するが外周側は急に落ち込み、墳丘側は緩やかに立ち上がる。

主体部　墳丘のほぼ中央部の表土下約30㌢に検出され

た。主軸方向はN—35°—Eを示す箱式棺状石室である。天井石の1石を除いてほぼ完全な形で検出された。石室は褐色土からローム層上面まで掘り込んだ長さ3.0㍍、幅1.8㍍、深さ0.6㍍掘り方内に構築されている。石室の平面形は長辺の中央部がやや膨らむ。長辺は人頭大の河原石を3段小口積みにし、短辺はやや大きめの細長い河原石2石を二段に積む。床面は偏平な河原石8石で構成され、間に小円礫を詰めている。石室の規模は床面を基準として、長さ1.87㍍、幅0.38㍍、深さ0.5㍍である。掘り方と側壁との間には拳大の円礫と砂礫が裏込めとして充填されており、白色粘土は使用されていない。天井石は4石で構成されていた。石室内の北部分の床面からは鉄片1が出土したが詳細は不明である。

遺物　円筒埴輪片は周溝内や墳丘部から多く出土しているが原位置を残すものはなかった。形象埴輪は確認されていない。また、周溝底面より土師器6、埋め土中より須恵器1、滑石製剣形模造品2が出土している。

F—2号古墳（図58・59、PL. 6・25・32・49）

墳丘　南北長22㍍、東西長21.8㍍の円墳である。墳丘はすでに削平されており、現況では墳丘の高まりは確認できなかった。周堀内埋め土上層には拳大の円礫が多くみとめられ、葺石の存在が予想された。

周堀　墳丘を全周する。北側が僅かに膨らむ。底面は平坦で、断面形は逆台形状であが、北側が僅かに浅くなる。上幅4.16〜3.04㍍、下幅1.5〜1.0㍍、深さ0.6〜0.5㍍である。また、墳丘内に西に開く「コの字」の溝が検出された。溝の東西長9㍍、南北長7.4㍍で、溝の上幅1.0〜1.16㍍、下幅0.8〜0.36㍍、深さ0.2㍍である。溝の埋め土中にはHr—FAの純層が部分的に確認できた。また、溝の埋め土には拳大の礫を含んでいる。

主体部　検出されなかった。

遺物　円筒埴輪片は周溝内埋め土より多く出土したが原位置を示すものはなかった。形象埴輪は周溝北西部より埴輪馬の頭部1と人物埴輪片が出土している。また、周堀北側の周堀がやや膨らむ箇所の周溝底面より須恵器甕1、周堀南底面より土師器甕1、坏2が出土した。

F—3号古墳（図60・61）

墳丘　南北長14.6㍍、東西長13.8㍍の円墳である。墳丘は既に削平されており現況では不明。葺石もなかった。

周堀　墳丘を全周する。断面形は浅い逆台形状を呈する。周堀埋め土中にはHr—FAの純層が確認できた。上幅1.8〜0.96㍍、下幅0.56〜0.44㍍、深さ0.24〜0.44㍍であった。

主体部　検出されなかった。墳丘北よりにF—2号石槨が存在するが、本古墳の主体部とは考えなかった。

遺物　周堀埋め土中より人物の形象埴輪の頭部の一部が出土した。他の遺物の出土はなかった。

F—1号石槨（図63、PL. 7）

位置　F—1、F—3号古墳の間に位置している。確認当時すでに天井石は除去されていた。また、長壁の一部も壊されていた。

石槨　主軸方向N—25°—Eで床面を基準とした長さ1.61㍍、中央幅0.35㍍、深さ0.24㍍である。長辺は安山岩の転石を用いて、小口積みにしている。3段まで確認できた。短辺はやや大きめの安山岩の転石1石を用いて作られている。床面は偏平な安山岩転石を敷いている。石槨はローム層を掘り込んだ長さ243㌢、幅146㌢、深さ27㌢の隅丸長方形の掘り方内に構築されている。石槨と掘り方との間には砂礫混じりの小円礫を裏込めとして用いている。

遺物　出土しなかった。

F—2号石槨（図62、PL. 7）

位置　F—3号古墳の墳丘内北側に位置する。天井石は除去され側壁の一部も壊されていた。

石槨　主軸方向N—56°—Eで長さ107㌢である。幅、深さは不明。側壁は安山岩の転石を用いている。石槨はローム層を掘り込んだ長さ168㌢、幅91㌢、深さ20㌢の隅丸長方形の掘り方内に構築されている。

遺物　出土しなかった。

FH—1号住居（図64、PL. 5・37）

形状　F—1号古墳の南に近接しているが、切り合いをもたない。東西辺長5.5㍍、南北辺長3.8㍍の長方形を呈する。壁は垂直に立ち上がり、壁高は0.4㍍である。

面積　19.4㎡　　**方位**　N—82°—E

床面　堅い貼り床状である。**炉址**　北西隅に少量の焼土と土師器高坏が出土しているが不明。

遺物　土師器13が出土している。いずれも床面直上のものである。

備考　貯蔵穴は南壁中央西に確認された。平面形は方形で長径70×短径58×深さ50㌢である。周堀、柱穴は検出されなかった。

FH—2号住居（図65）

形状　一部分のみの調査である。また、一部を時期不

明の溝によって切られている。確認できた東西辺の長さは6.5㍍である。壁の立ち上がりも不明瞭で浅い。

方位　N－83°－E

床面　残存している部分は叩き絞め状である。

遺物　土師器椀1が出土している。

備考　貯蔵穴は南西隅に検出された。平面形は隅丸長方形で長径92×短径80×深さ40㌢である。

FH－3号住居（図67）

形状　住居北東隅のみの調査であった。壁は垂直に立ち上がり、深さは0.5㍍である。

壁周溝　上幅10×下幅4×深さ7㌢である。住居の規模、面積は不明。

方位　N－62°－E

床面　叩き絞め状で堅い。**炉址・竈**　検出されなかった。

遺物　土師器の甕破片1が床面直上で出土している。

備考　主柱穴1本が確認された。円形で長径50×短径44×深さ60㌢である。

FH－4号住居（図66）

形状　東西辺2.8㍍、南北辺4.06㍍の長方形を呈する。確認面からの壁高は10㌢である。

面積　8.5m²　**方位**　N－8.5°－W

床面　堅く叩き絞め状である。**炉址・竈**　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

備考　主柱穴、貯蔵穴は検出されなかった。一部を溝で切られている。

G－2号古墳（図68・69、PL. 9・44）

墳丘　全く削平されており古墳の規模、墳丘は不明。石室の北に周堀の一部と考えられる浅い溝を確認している。溝の埋め土上層には As－Bの純層が認められた。

主体部　安山岩の転石を用いた両袖型横穴式石室である。玄室はやや胴張りを持つ。石室の推定全長4.4㍍、玄室長3.6㍍、玄室中央幅1.5㍍、羨道長1.3㍍、羨道幅1.0㍍である。床面は拳大の円礫を敷き詰めている。

遺物　石室内より1対の金環が出土した。

備考　G－1号古墳は石室に使用したと考えられる石が集積されていた所をもって古墳と認定したが、古墳に伴う遺構の検出、遺物の出土はなかった。

GH－1号住居（図70、PL. 38）

形状　住居の一部分の調査である。中央には中世以降の掘り抜き井戸、時期不明の溝が住居を切って造られている。面積、方位は不明。

床面　比較的堅かった。確認面からの壁高は16㌢である。炉址、竈は検出されなかった。

遺物　中世のかわらけ1、土師器1が出土している。

GH－2号住居（図71）

形状　住居の南隅の一部の調査である。規模等面積、方位は不明。

床面　軟弱で不明瞭。確認面からの壁高は16㌢である。炉址、竈は検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

GH－3号住居（図72、PL. 38）

形状　住居の南隅の一部の調査である。主柱穴の1本が確認されている。長径32×短径28×深さ31㌢である。規模等面積、方位は不明。

床面　堅く、叩き絞め状である。確認面からの壁高は21㌢である。炉址、竈は検出されなかった。

遺物　土師器甕1が出土した。

GH－4号住居（図74）

形状　住居の南隅の一部の調査である。しかも、新しい攪乱坑によって壊されている。規模等面積、方位は不明。

床面　貼り床状で堅い。確認面からの壁高は51㌢である。炉址、竈は検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

GH－5号住居（図73）

形状　東西辺4.6㍍、南北辺3.6㍍の長方形を呈する。確認面からの壁高は41㌢である。

面積　14.8m²　**方位**　N－61°－E

床面　軟らかく不明瞭である。炉址・竈は検出されなかった。

遺物　土師器坏1が床面から浮いた状態で出土している。

備考　貯蔵穴は北西隅に確認された。平面形は長方形で長径106×短径76×深さ24㌢である。

GH－6号住居（図75、PL. 8・27・38・44）

形状　一辺が約8㍍の正方形である。壁は垂直に立ち上がり、確認面で58㌢である。

壁周溝　壁下には周溝が、西隅を除いて設けられている。周溝の規模は上幅18×下幅10×深さ10㌢である。

主柱穴　対角線上に規則的に並ぶ4本が確認できた。P_1長径44×短径40×深さ79㌢、$P_2$46×44×78、$P_3$50×46×70、$P_4$32×28×69。

面積　59.1m²　**方位**　N－33°－W

床面　やや軟質である。**炉址**　中央西よりに検出された。焼土や灰は極めて薄い。

遺物　床面直上から土師器13の出土があった。

備考　貯蔵穴は南壁の中央やや東よりに検出された。平面形は円形で長径104×短径78×深さ55㌢である。

GH－7号住居（図76、PL.38）

形状　住居北東隅の一部の調査であり、規模等面積は不明。主柱穴、貯蔵穴は検出されなかった。

床面　比較的軟らかく不明瞭である。壁高は確認面から14㌢である。

遺物　東辺の調査区域との境で竈の袖の一部と考えられる細長い礫と焼土、それに土師器高坏、甕の破片が集中して出土している。また、滑石製臼玉1の出土があった。

GH－9号住居（図77、PL.8・27・38）

形状　隅丸の台形状を呈する。東西辺3.9㍍×南北辺3.5㍍である。壁高は確認面から14㌢である。

面積　13.8㎡　　**方位**　N－88°－E

床面　住居中央部は部分的に叩き絞め状であった。**炉址**　住居中央部に検出された。焼土の残りは良好であった。

遺物　床面直上から土師器4の出土があった。

備考　貯蔵穴は検出されなかった。

GH－10号住居（図79、PL.8・29・39・44）

形状　東西辺4.88㍍、南北辺5.24㍍の方形を呈する。壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さ48㌢である。

面積　19.2㎡　　**方位**　N－81°－E

床面　比較的柔らかい。**竈**　西辺中央やや南に付設される。細長い礫を芯として造られている。内部には礫を用いた支脚が設けられている。規模は内々径で長さ70㌢、幅30㌢である。**柱穴**　対角線上に並ぶ主柱穴4本が確認できた。P_1長径44×短径40×深さ52㌢、$P_2$44×36×48、$P_3$44×40×48、$P_4$40×36×56。**壁周溝**　検出されなかった。

遺物　床面直上より土師器14、滑石製鏡型模造品1が出土している。

備考　住居南東隅に検出された。平面形は不整円形で長径88×短径72×深さ76㌢である。住居埋め土床面直上では部分的にHr－FAの純層が確認できた。

G－1号掘立柱建物（図80、PL.8）

形状　方3間の建物で、方位はN－66°－Eである。柱の掘り方は円形で、各柱間の心々間の距離及び柱穴の計測値は別表に示したとおりである。

G－2号掘立柱建物（図81、PL.8）

形状　3間×3間の建物で四天柱を持つ。南北辺に比べて東西辺が長い。方位はN－65°－Eである。柱の掘り方は円形が多いが、隅丸方形のものも存在する。四天柱は他の柱に比べ掘り方も小さく浅い。各柱間の心々間の距離及び柱穴の計測値は別表のとおりである。

H－1号古墳（図82）

墳丘　直径13.8㍍の小円墳である。H－1号住居の一部を切って造られている。

周堀　上幅1.6㍍、下幅1.2㍍、深さ0.6㍍である。

主体部・遺物　検出されなかった。

H－2号古墳（図83、PL.9）

墳丘　現況で高さ2㍍程の石塚となっていた。当初は積み石塚を予想した。しかし、調査の結果、底面には古墳の根石の一部、裏込めの一部と考えられる遺構が確認されたが、上部を覆う礫に規則性がないこと、礫と共に近世以降の陶磁器を伴うことなどが明らかになった。以上のことから、本古墳は小規模な墳丘を持つ横穴式石室を主体部とする古墳の一部を壊し、その上に、近世以降畑耕作の際に出土する礫を集積したものと考えられる。

周堀　検出されなかった。

主体部　両袖型横穴式石室と考えられる。規模はいずれも推定で、石室全長4.5㍍、石室中央幅1.8㍍、羨道幅0.9㍍である。

遺物　古墳に伴う遺物の出土はなかった。

HH－1号住居（図78、PL.40）

形状　隅丸方形を呈する。東西辺3.5㍍、南北辺3.8㍍、確認面からの深さ8㌢である。

面積　15.6㎡　　**方位**　N－5°－W

床面　軟質である。**炉址**　中央北寄りに確認された。焼土は薄い。

遺物　床面直上から土師器3、貯蔵穴内より土師器椀1が出土した。

備考　貯蔵穴は住居南西隅に検出された。平面形は円形で、長径72×短径68×深さ71㌢である。

HH－3号住居（図84、PL.40）

形状　時期性格不明の遺構及び中世の溝によって住居の一部を切られている。当初は住居3軒の重複と考えたが、本住居を除いて、切り合っている他の遺構から遺物の出土がないこと、床面が不整形で、柱穴、炉等を伴わないことなどから判断して他を時期性格不明の

遺構とした。壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さ17㌢であった。面積・方位は不明。

床面 やや軟質である。**炉址・竈** 検出されなかった。

柱穴 2本が確認できた。P_1長径36×短径34×深さ80㌢、$P_2$32×30×63である。**壁周溝** 壁下を全周するものと思われる。上幅20×下幅6×深さ4.5㌢である。

遺物 南東隅の床面直上から土師器7点が出土した。

備考 貯蔵穴内は検出されなかった。なお、H－2，4，5号住居は欠番とする。

HH－6号住居（図86・87、PL. 10・40・44）

形状 一辺8㍍の正方形を呈する。壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さは46㌢である。

面積 57.8㎡ **方位** N－62°－E

床面 部分的に叩き絞め状で堅く明瞭であった。

竈 東辺中央に竈に使用された石の一部が確認されたが、粘土や焼土、灰層は全く検出されなかった。**柱穴** 対角線上に規則的に並ぶ4本の主柱穴とそれよりもやや浅い2本の柱穴が検出された。P_1長径56×短径56×深さ96㌢、$P_2$60×50×89、$P_3$52×48×82、$P_4$52×50×102、$P_5$60×56×43、$P_6$68×62×43。**壁周溝** 壁下を全周する。上幅20×下幅6×深さ4.5㌢。

遺物 埋め土上層から滑石製勾玉1、床面直上から土師器10、滑石製紡錘車1、それに滑石製勾玉1と臼玉113個からなる首飾りが一式連なった状態で住居北西隅で出土している。

備考 貯蔵穴は住居南東隅に検出された。平面形は隅丸の方形で一辺92㌢、深さ85㌢である。

HH－7号住居（図85、PL. 43）

形状 東西辺4.16㍍、南北辺4.46㍍の方形を呈する。壁は垂直に立ち上がる。確認面からの深さ32㌢である。住居の一部を新しい溝によって切られている。

面積 16.6㎡ **方位** N－64°－E

床面 堅く叩き絞め状である。**竈** 東辺中央に付設される。細長い礫を芯として白色粘土を用いて造られている。内部には礫を用いた支脚が設けられている。焼土、灰層は極めて薄い。規模は内々径で長さ7.5㌢、幅43㌢である。**柱穴** 対角線上に並ぶ主柱穴3本が確認できた。P_1長径38×短径34×深さ59㌢、$P_2$36×32×61、$P_3$60×40×55。**壁周溝** 壁下を全周するものと考えられる。上幅14×下幅4×深さ5㌢である。

遺物 竈内及び貯蔵穴上より、土師器8が出土している。

備考 住居南東隅に検出された。平面形は不整円形で長径96×短径76×深さ48㌢である。

(4) I・K・L・M区の調査

I－1号古墳（図88・89、PL. 10・32）

墳丘 直径2.7㍍の円墳である。石室前には前庭部を持つ。墳丘中央部には部分的に盛り土が残るが墳丘はほとんど削平されていた。

周堀 墳丘を全周せず、周堀の幅も均一ではない。埋め土上層には As－Bの純層がみとめられた。上幅6.6～1.7㍍、下幅6.2～1.0㍍、深さ0.4～0.3㍍である。

主体部 安山岩の転石を用いた両袖型横穴式石室で、墳丘中央よりやや南に設けられた地山を掘り込んだ掘り方内に根石を置く。側壁及び床礫の一部を除いてほとんど破壊されていた。主軸方向 N－27°－Wで、推定石室全長6.1㍍、羨道幅0.7㍍である。石室前には地山を長楕円形に掘り込んだ前庭部が設けられている。

遺物 前庭部埋め土より土師器坏2、須恵器提瓶1が出土している。

K－1号古墳（図90、PL. 9）

墳丘 すでに墳丘は完全に削平されていた。

周堀 検出されなかった。

主体部 小規模な横穴式石室で前庭部を持つ。石室は安山岩の転石を用いている。主軸方向はN－0°－E、石室全長2.8㍍、幅1㍍である。すでに大部分が破壊されている。

遺物 出土しなかった。

KH－1号住居（図91、PL. 39・44）

形状 住居の一部分の調査であった。完掘できた東辺は長さ5.2㍍である。平面形は正方形になるものと推定される。壁は垂直に立ち上がり、確認面からの深さは92㌢と深い。住居埋め土には Hr－FA の純層が認められた。

主柱穴 2本が確認できた。P_1長径34×短径30×深さ80㌢、$P_2$36×36×92。面積は不明。

方位 N－30°－W

床面 堅く叩き絞め状である。**炉址・竈** 調査区域内では検出されなかった。

遺物 土師器7の出土があった。

備考 貯蔵穴、壁周溝は検出されなかった。

KH－2号住居（図92・93、PL. 28・41・44）

形状 東西辺4.4㍍、南北辺3.5㍍の長方形を呈する。壁高は浅く確認面から20㌢である。柱穴は検出されなかった。

面積　15.5㎡　　**方位**　N－63°－E

床面　軟らかく不明瞭である。**炉址**　住居北に焼土が認められたが灰層は伴わない。

遺物　北隅の床面直上から土師器18、滑石製品模造品２が出土した。

備考　貯蔵穴は北隅に検出された。平面形は不整円形で長径62×短径50×深さ19㌢である。

LH－１号住居（図94・97、PL. 9・28・42）

形状　調査区の都合で住居の一部分のみの調査であった。推定で一辺８㍍程の大型住居と考えられる。平面形は方形を呈する。壁高は最も残りの良い部分で32㌢であった。

柱穴　対角線上に並ぶ２本が確認できた。P_1長径38×短径32×60㌢、$P_2$44×40×123。

面積　（75㎡）　　**方位**　N－54°－E

床面　堅く締まっているが、叩き絞め状ではない。**炉址**　北隅に焼土が確認されたが薄く灰層を伴わない。

遺物　土師器12が出土している。

備考　貯蔵穴は住居南隅で検出された。平面形は隅丸の長方形で長径122×短径90×深さ60㌢である。貯蔵穴内からの遺物の出土はなかった。壁周溝は検出されなかった。

LH－２号住居（図95・98、PL. 9・28・42・44）

形状　LH－１号住居の南に隣接している。同様に推定で一辺８㍍程の方形大型住居になるものと考えられる。壁高は最も残りの良い部分で54㌢である。

柱穴　１本が確認された。長径44×短径38×深さ120㌢である。

面積　不明。　**方位**　N－50°－E

床面　堅く締まっている。　**炉址**　南西部に検出された。灰層を伴わない。

遺物　土師器12、剣型滑石製模造品１が床面直上から出土している。

備考　貯蔵穴、壁周溝は検出されなかった。LH－１・２号住居は共に時期不明の溝によって切られている。

MH－１号住居（図96・99）

形状　膳城北郭内に確認された住居である。北郭西濠に一部を切られている。完存する東辺は５㍍である。確認面からの壁高は５㌢である。

柱穴　１本が検出された。長径38×短径34×深さ82㌢である。

面積　不明。　　**方位**　N－24°－W

床面　堅いが叩き絞め状ではない。炉址・竈は検出されなかった。

遺物　土師器１が出土した。

備考　貯蔵穴、壁周溝は検出されなかった。

(5)　P・Q・V区の調査

P－１号古墳（図100～104、PL. 12・33・46）

墳丘　直径22.6㍍の円墳である。現況では僅かに墳丘の高まりを認めることができた。畑の耕作がかなり深い部分まで及んでおり、盛り土の大部分は耕作土として鋤込まれており、古墳中央部の僅かの部分にロームブロック混じりの盛り土を確認することができた。また、墳丘盛り土下の旧表土には As－Cが多量に含まれている。

周堀　墳丘を全周する。断面形は逆台形状を呈する。上幅4.16～3.2㍍、下幅1.4～0.68㍍、深さ0.8～0.7㍍である。周堀底面付近には部分的に Hr－FA の堆積が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　朝顔型円筒埴輪を含む円筒埴輪が多量に出土した。形象埴輪は馬の一部と考えられる小破片が数点出土した。いずれも周堀内に転落した状態で出土し、原位置を保つものはなかった。また、墳丘盛り土下から土師器12が一括で出土した。

P－２号古墳（図105・107、PL. 14）

墳丘　直径11.2㍍の円墳である。現況では墳丘は確認できなかった。調査では盛り土も全く検出されなかった。

周堀　墳丘を全周する。断面形は逆台形状を呈する。上幅1.68～1.12㍍、下幅0.72～0.4㍍、深さ0.48～0.54㍍である。埋め土中には Hr－FA の純層が認められた。

主体部　墳丘のほぼ中央部に造られた箱式棺状石室で、主軸方向はN－37°－Eである。石室は長さ2.92㍍、幅1.56㍍、深さ0.58㍍の掘り方を穿ち、その中に構築されている。側壁の短辺は１石で、長辺は５石二段でそれぞれ構成され、短辺と長辺との接する部分は短辺が長辺を挟む形となっている。床面は掘り方面より５㌢程土を敷きその上に小円礫を敷き詰めている。用材は安山岩の河原石転石が用いられている。石室の規模は床面を基準として、長さ1.8㍍、幅0.34㍍、深さ0.2㍍である。天井石は６石で構成され、北側から順次小さい石を並べている。石と石との間には拳大の円礫を詰め、その回りに人頭大の石を並べている。さらに、

その上をロームブロック混じりの土で被覆しているが、目締めとして白色粘土は用いていない。

遺物　周堀内及び石室内からも出土しなかった。

Ｐ－３号古墳（図106・108、PL. 13・14）

墳丘　直径14㍍の円墳である。現況では墳丘の高まりは確認できなかった。また、調査でも盛り土は把握できなかった。

周堀　墳丘を全周する。断面形は逆台形状を呈する。上幅2.56～2.0㍍、下幅0.64～0.36㍍、深さ0.64～0.4㍍である。埋め土中には Hr—FA の純層が認められた。

主体部　墳丘中央部に造られた箱式棺状石室で、主軸方向はＮ－６°—Ｗである。石室は長さ2.64㍍、幅1.45㍍、深さ0.42㍍の掘り方を穿ち、その中に構築されている。側壁と掘り方との間には人頭大の礫と砂礫混じりの土が詰められている。側壁は短辺は１石、長辺は４石で構成されており、長辺が短辺を挟む形となっている。短辺は北側のものが南側よりも大きい。したがって、石室の幅も北から南に狭くなっている。床面は掘り方底面にほぼ直に偏平な転石を６石敷いている。用材は安山岩の河原石転石が用いられている。石室の規模は床面を基準として、長さ1.78㍍、中央幅0.44㍍、深さ0.24㍍である。天井石は６石で構成され、石の間には小円礫が詰められている。目締めとして白色粘土は用いられていない。

遺物　全く出土しなかった。

Ｐ－４号古墳（図109・111・112、PL. 13・14）

墳丘　直径13㍍の円墳である。現況では墳丘は確認できなかった。調査でも墳丘盛り土は把握できなかった。

周堀　墳丘を全周する。断面形は逆台形状を呈する。上幅2.34～1.76㍍、下幅0.74～0.48㍍、深さ0.76～0.48㍍である。埋め土中には Hr—FA が認められた。

主体部　墳丘中央に造られた箱式棺状石室で、主軸方向はＮ－47°－Ｅである。石室は長さ3.4㍍、幅1.97㍍、深さ1.05㍍の掘り方を穿ち、その中に構築されている。掘り方と側壁との間には人頭大の円礫が詰められている。側壁は短辺１石、長辺は４石とその上にやや小さな石８石を積んだ２段に造られている。短辺と長辺との接する部分は短辺が長辺を挟む形となっている。床面は掘り方の上に直に偏平な礫７石を敷き詰め、床面の隙間には小円礫を詰めている。石室の規模は床面を基準として長さ1.76㍍、幅0.37㍍、深さ0.31㍍である。天井石は５石で構成され、その上に不規則に大小の礫を積み、さらにロームブロック混じり土で被覆している。

遺物　石室内から人骨の頭骨の一部が出土した。しかし、遺存状態が極めて悪く、詳細は不明である。副葬品の出土は全くなかった。周堀からの遺物の出土もなかった。

Ｐ－５号古墳（図110、PL. 13・33）

墳丘　南北長14.2㍍、東西長13.4㍍の円墳である。現況では墳丘の高まりを把握することはできなかった。また、調査でも盛り土を確認することはできなかった。

周堀　墳丘を全周する。断面形は逆台形状を呈する。上幅2.88～1.92㍍、下幅0.72～0.56㍍、深さ0.68～0.56㍍である。埋め土中には Hr—FA の純層が認められた。

主体部　墳丘中央部に長さ1.2㍍、幅１㍍の平面形が長方形の範囲に、砂礫混じりの土が確認できたが掘り方も確認されず、土の厚さも浅いことから、明確に主体部としてとらえられなかったが石室の根石の一部とも考えられる。

遺物　周堀埋め土中から土師器坏１が出土している。

Ｐ－６号古墳（図113～116、PL. 13・14・24・33・45・49）

墳丘　直径22.7㍍程の円墳である。現況では墳丘を把握することはできなかった。また、調査でも盛り土は確認できなかった。

周堀　墳丘を全周する。断面形は逆台形状で東側はやや幅が狭く、深さも浅く皿状を呈する。上幅4.56～3.44㍍、下幅1.32～1.04㍍、深さ1～0.68㍍である。埋め土中には Hr—FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかつた。

遺物　朝顔型円筒埴輪を含む円筒埴輪が多数出土した。しかし、原位置を留どめるものはなく、総て周堀内に転落した状態で出土している。形象埴輪は人物１、馬１が出土した。これらも周堀内出土である。また、土師器壺が同じく周堀底面から１個体出土している。人物は美豆良を結う男子像で、顔面部のみで他の部位は検出されなかった。顔面全体及び美豆良部分には赤色塗彩が施されている。現存高9.1㌢、幅10㌢である。胎土は精選され、焼成は良好である。色調はやや白っぽい褐色である。

馬は四脚を欠失しているほかは完存している。焼成は良好で硬質、胎土は精選され、色調は淡褐色である。高さ（56.8）㌢、全長80.8㌢、胴中央幅15.6㌢である。

Ｐ－７号古墳（図117）

墳丘　直径17㍍の円墳である。現況では墳丘を把握することはできなかった。発掘調査でも盛り土は確認できなかった。

周堀　墳丘を全周する。上幅3.92～2.48㍍、下幅1.44～0.88㍍、深さ0.88～0.6㍍である。埋め土中にはHr—FA の純層が認められる。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Ｐ－１号石槨（図118、PL. 12）

位置　Ｐ－１号古墳の北西部に位置し、周堀に接している。

石槨　主軸方向Ｎ－33°－Ｅで、長さ100㌢、幅48㌢、深さ35㌢の浅い隅丸長方形の掘り方内に構築されている。側壁は短辺１石、長辺２石で造られている。短辺と長辺の接するところは互いに挟みあう形となっている。床面は３石で構成され、間には小円礫を詰める。石槨の規模は床面を基準として、長さ60㌢、幅22㌢、深さ14㌢である。天井石は５石で、その上にさらに７石程石を不規則に積む。用材は30㌢大の細長い安山岩の河原石の転石を用いている。

遺物　出土しなかった。

Ｐ－１号土壙（図119、PL. 12）

位置　Ｐ－６号古墳、Ｐ－３号古墳、Ｐ－７号古墳の間に位置している。

土壙　長辺3.12㍍、短辺1.80㍍、深さ0.8㍍の隅丸方形の土壙で、主軸方向Ｎ－25.5°－Ｅである。両短辺の底面中央に直径0.28㌢、深さ0.1㌢程の一対のピットを持つ。埋め土中には Hr—FA の純層が認められた。

遺物　検出されかった。

Ｑ－１号古墳（図120・121、PL. 19・33・49）

墳丘　昭和59年の第二次調査で検出した古墳である。Ｐ－１号古墳の南に隣接している。現況で僅かに墳丘の高まりを確認することができた。直径24㍍の円墳である。盛り土はＰ－１号古墳と同様に墳頂部付近にロームブロック混じり土が確認できた。また、盛り土下の旧表土は多量に As－Ｃを含む黒色土である。

周堀　墳丘を全周するものと考えられる。上幅5.28～4.4㍍、下幅1.7～0.8㍍、深さ0.6～0.56㍍である。周堀埋め土底面には Hr—FA の純層が認められた。

主体部　墳丘中央よりやや南に、主軸方向Ｎ－38°－Ｅに持つ土壙が検出された。土壙はローム層の上面まで掘り込んだもので、二段に掘り込まれている。上面は長さ3.44㍍、幅2.01㍍、深さ0.32㍍の長方形の掘り方を掘り、さらにその中を長さ3.0㍍、幅1.2㍍、深さ0.38㍍程で断面かまぼこ状に掘り込んでいる。土壙の埋め土はローム質の褐色土で地山の土と判別しにくい。白色粘土や礫は全く使われていない。

遺物　主体部からは遺物の出土はなかった。周堀埋め土中から朝顔型円筒埴輪を含む多量の円筒埴輪が出土している。形象埴輪は確認されなかった。また、墳丘盛り土下から土師器７が出土している。

Ｖ－１号古墳（図122）

墳丘　直径13.9㍍の円墳である。現況では墳丘を把握することができなかった。調査でも墳丘盛り土は確認できなかった。

周堀　墳丘を全周する。上幅2.24～1.76㍍、下幅0.8～0.6㍍、深さ0.72～0.6㍍である。断面形は逆台形状である。埋め土中には Hr—FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　円筒埴輪片が少量出土した。

Ｖ－２号古墳（図123～128、PL. 15・24・26・33・47・50）

墳丘　直径19㍍の円墳である。現況で墳丘の高まりは確認できなかった。調査でも盛り土は確認できなかった。

周堀　墳丘を全周する。上幅4.16～2.88㍍、下幅1.6～1.12㍍、深さ0.6～0.48㍍である。断面形は逆台形状である。埋め土上層に角閃石安山岩の小粒を僅かに含む。

主体部　墳丘中央に掘り込まれた土壙内に白色粘土で被覆された状態で遺物が出土した。粘土は薄く、２～３㌢程の厚さを持つ。白色粘土は両端が立ち上がりを持ち、内部に何等かの施設を被覆したように見える。主軸方向はＮ－７°－Ｅである。掘り方は二段に掘り込まれ、ローム層まで掘り込んでいる。土壙確認面から床面までの深さは1.0㍍である。上段の掘り込みは長さ3.98㍍、幅1.92㍍の平面形長方形に、確認面から深さ0.31㍍掘り下げている。下段の掘り込みは、さらにその中央部に長さ3.25㍍、幅1.2㍍の長方形に0.57㍍掘り下げて埋葬施設を置く。粘土被覆された部分の大きさは粘土の内内径で長さ2.82㍍、幅0.43㍍である。

遺物　周堀内より多量の円筒埴輪が出土した。原位置を残すものはない。形象埴輪の出土もなかった。また、土師器坏３、須恵器短脚無蓋高坏１が出土た。

主体部からは剣形滑石製模造品３、提げ砥１、鉄剣

1、刀子1、胡籙吊手金具1対、大型平根鏃8以上、片刃矢鏃が出土した。

Ⅴ－3号古墳（図129、PL.16）

墳丘　直径22.64㍍の円墳である。現況で墳丘は把握できなかった。調査では墳頂部に僅かにロームブロック混じり土の盛り土が確認できた。盛り土下は As－C を多量に含んだ黒色の旧表土である。

周堀　墳丘を全周する。当古墳はⅤ－2、Ⅴ－4号古墳と接しており、Ⅴ－2号古墳の周堀を意識的に避けて、周堀の幅が狭まる。また、Ⅴ－4号古墳側の周堀も僅かに変形している。上幅3.2～3.0㍍、下幅0.94～0.68㍍、深さ1.14～0.64㍍である。断面形は逆台形状を呈する。埋め土中には Hr－FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－4号古墳（図130～134、PL.16・24・26・33・45・48）

墳丘　直径21.6㍍の円墳である。現況で墳丘は把握できなかった。また、調査でも墳丘盛り土は確認できなかった。

周堀　墳丘を全周する。上幅3.2～2.24㍍、下幅1.22～1.04㍍、深さ0.76～0.52㍍である。断面形は逆台形状である。周堀埋め土中には Hr－FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　周堀内より多量の円筒埴輪と形象埴輪馬2個体が出土した。円筒埴輪は朝顔型を含まない。埴輪馬1は古墳の南西区で周堀内に横倒しの状態で出土した。その出土状態から顔を南に向けて据えられたものと推定される。胴の一部を欠損している外は完形である。手綱と鞍の表現以外は飾り金具等の表現は省略され、赤色塗彩等も施されない極めてシンプルな馬である。色調は褐色、胎土は精選。調整は全体を粗いハケで覆っている。高さ50.4㌢、全長62.4㌢、胴部幅25.8㌢である。埴輪馬2は尾から尻にかけての破片である。

また、同じ南西区周堀底面より土師器坏6、坩1と鉄製石突あるいは鉾1が周堀底面に突き刺さった状態で一ケ所からまとまって出土した。鉄製品についてはその後の管理が悪く詳細は不明である。

Ⅴ－5号古墳（図135、PL.16）

墳丘　調査区の都合で昭和57年に東部分、59年西部分と二次にわたって調査した。直径14㍍の円墳である。現況で墳丘は把握できなかった。調査でも盛り土は検出されなかった。

周堀　墳丘を全周する。上幅2.4～2.08㍍、下幅1.14～0.72㍍、深さ0.7～0.4㍍である。断面形は逆台形状を呈する。埋め土中には Hr－FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－6号古墳（図136、PL.16）

墳丘　調査区の都合で昭和57年に東部分、59年西部分と二次にわたって調査した。直径17㍍の円墳である。現況で墳丘は把握できなかった。調査でも盛り土は検出されなかった。

周堀　墳丘を全周する。断面形は逆台形状である。上幅2.4～2.08㍍、下幅1.2～0.48㍍、深さ0.76～0.44㍍である。埋め土中には Hr－FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－7号古墳（図137・138、PL.15・19・26・33）

墳丘　昭和59年の二次調査で確認された古墳である。直径12㍍程の円墳になるものと予想される。現況で墳丘は把握されず、調査でも盛り土は検出されなかった。

周堀　断面形は逆台形状で上幅2.08～1.68㍍、下幅0.68～0.44㍍、深さ1.0～0.9㍍である。埋め土中には Hr－FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。ただし、墳丘南西隅にⅤ－10号石槨がある。

遺物　南周堀内より土師器坏4がまとまって出土した。また、埋め土中一括として須恵器椀および高坏の小破片が出土している。

Ⅴ－8号古墳（図139～141、PL.18・44）

墳丘　昭和59年の二次調査で確認された古墳である。直径14㍍の円墳である。現況で墳丘は把握されず、調査でも盛り土は検出されなかった。

周堀　西側の一部が切れて「わたり」を持つ。上幅2.64～2.0㍍、下幅0.8～0.72㍍、深さ0.5～0.34㍍である。周堀底面の深さは不均一である。断面形はカマボコ状を呈する。埋め土中には Hr－FA は検出されなかった。

主体部　墳丘中央に造られた箱式棺状石室で主軸方向はN－63°－Eである。石室は長さ2.56㍍、幅1.6㍍、深さ0.67㍍の隅丸長方形の掘り方を穿ちその中に構築されている。側壁は短辺1石、長辺は人頭大の石を3段小口を出して積む。短辺と長辺の接する部分は長辺が

短辺を挟む形となっている。床面は掘り方直上に偏平な礫を敷き詰めている。石室の規模は床面を基準として長さ1.71㍍、中央幅0.35㍍、深さ0.32㍍である。天井石は6石で構成され、その上に挙大の円礫を積み、さらにロームブロック混じり土で被覆している。掘り方と側壁との間には人頭大の礫を詰めている。石室の用材は安山岩の河原石転石である。

遺物　石室内より漆玉が7点と鉄鏃の破片1が出土した。周堀からは遺物の出土はなかった。

Ⅴ－9号古墳（図142）

墳丘　昭和59年の二次調査で確認された古墳である。直径16㍍程の円墳になるものと考えられる。現況で墳丘は把握されず、調査でも盛り土は検出されなかった。

周堀　南側の一部は不明瞭であるが全周するものと考えられる。上幅1.52～1.2㍍、下幅0.6～0.24㍍、深さ0.44㍍である。断面形はカマボコ状を呈する。埋め土中には Hr—FA は検出されなかった。

主体部　検出されなかった。ただし、墳丘中央に挙大の円礫が数点認められた。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－1号石槨（図143、PL. 17）

位置　P－1号古墳の東に一基のみ離れて位置している。遺構確認の試掘溝にかかったものを調査したものである。

石槨　主軸方向はN－16.5°－Eで、長さ119㌢、幅66㌢、深さ20㌢の隅丸長方形の掘り方内に構築されている。側壁は短辺は1石、長辺は3石で造られている。短辺と長辺の接する部分は互いに挟みあう形となっている。床面には砂まじりの小円礫が敷かれている。石槨の規模は床面を基準として長さ78㌢、幅28㌢、深さ20㌢である。天井石は4石で構成されている。用材は安山岩の河原石の転石を用いている。掘り方と側壁との間には裏込めとして砂礫混じりの小円礫を詰めている。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－2号石槨（図144、PL. 17）

位置　Ⅴ－4号古墳の西に隣接する。

石槨　主軸方向N－48°－Eで、長さ154㌢、幅83㌢、深さ19㌢の隅丸長方形の掘り方内に構築される。側壁は短辺は1石、長辺は4石で構成されている。短辺と長辺の接するところは短辺が長辺を挟むかたちとなっている。床面にはなにも敷かれない。石槨の規模は長さ107㌢、幅31㌢、深さ30㌢である。天井石は1石のみ残り他は失われていた。掘り方と側壁との間には長辺を構成する礫と同じ大きさの礫を側壁を取り囲むように詰めている。用材は安山岩の河原石の転石を用いている。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－3号石槨（図145、PL. 17）

位置　Ⅴ－3号古墳の西に近接する。

石槨　主軸方向はN－31°－Eで、ローム層を掘り込んだ長さ194㌢、幅106㌢、深さ39㌢の掘り方内に構築されている。側壁は短辺1石、長辺3石で造られている。短辺と長辺の接するところは短辺が長辺を挟む形となっている。床面に石は敷かれていない。石槨の規模は床面を基準として長さ135㌢、幅23㌢、深さ23㌢である。天井石は5石で構成され、その上に20㌢大の礫を数石積む。掘り方と側壁との間には側壁に使用している礫と同大の礫を側壁を取り囲むように詰めている。用材は安山岩の河原石の転石を用いている。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－4号石槨（図146、PL. 17）

位置　Ⅴ－2号古墳の南東に近接する。

石槨　主軸方向はN－63°－Eで、ローム層を掘り込んだ長さ143㌢、幅102㌢、深さ36㌢の掘り方内に構築される。側壁は短辺1石、長辺3石で構成されている。短辺は東壁のものが西壁のものに比べて小さい礫を用いている。短辺と長辺が接するところは互いに挟みあう形となっている。床面には礫は敷かれていない。石槨の規模は長さ88㌢、幅35㌢、深さ23㌢である。天井石は4石で構成され、その上に更に同大の礫を積む。掘り方と側壁との間には側壁と同大の礫を取り囲むように詰めている。用材は安山岩の河原石の転石を用いている。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－5号石槨（図147、PL. 17）

位置　Ⅴ－2号古墳の南西に近接する。

石槨　主軸方向はN－52.5°－Eで、ローム層を掘り込んだ長さ107㌢、幅105㌢、深さ15㌢の掘り方内に構築されている。側壁は短辺1石、長辺2石で構成されている。短辺と長辺とは互いに挟みあう形となっている。床面には礫は敷かれない。石槨の規模は長さ63㌢、幅24㌢、深さ23㌢である。天井石は表土掘削作業中に動いてしまった。掘り方と側壁との間には人頭大の礫を側壁に立て掛けるように詰める。用材は安山岩の転石と一部山石を用いている。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－6号石槨（図154、PL.20）

位置　昭和59年の二次調査で検出された。Ⅴ－8号古墳の北で、Ⅴ－7号古墳の南に5基の石槨がまとまって検出された。その内最も南に位置する。

石槨　主軸方向はN－11°－Eで、長さ268㌢、幅99㌢、深さ22㌢の長方形の掘り方内に構築されている。側壁の一部は耕作の攪乱を受けている。短辺は不明。長辺は5石以上で構成されていたものと思われる。床面には偏平な礫を掘り方面に敷き詰め、間に小円礫を詰める。石槨の規模は推定長210㌢、幅35㌢、深さ18㌢である。天井石はすでに除去されていた。掘り方と側壁との間には側壁に使用している礫と同大の礫を差し込む。用材は安山岩の河原石と一部地山に含まれる安山岩を使用している。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－7号石槨（図148、PL.20）

位置　昭和59年の調査で検出された石槨群のほぼ中央に位置する。

石槨　主軸方向はN－5.5°－Eで、長さ103㌢、幅39㌢、深さ17㌢の掘り方内に造られる。側壁は短辺1石、長辺3石で構成され、短辺が長辺を挟む形となっている。床面には礫等を敷かない。石槨の規模は長さ70㌢、幅23㌢、深さ24㌢である。天井石は1石のみ残る。用材は安山岩の河原石を用いている。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－8号石槨（図149、PL.20）

位置　Ⅴ－7号石槨の東に位置する。

石槨　主軸方向はN－32°－Eである。掘り方は不明瞭で、側壁を差し込んでいる。一部は攪乱を受けており、短辺は1石、長辺は3石以上で構成されていたと思われる。石槨の規模は推定で長さ102㌢、幅28㌢、深さ18㌢である。用材は安山岩の河原石を用いている。天井石はすでに除去されていた。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－9号石槨（図150・151、PL.20・44）

位置　二次調査で検出された石槨群中最も北に位置する。

石槨　主軸方向はN－12°－Eで、長さ107㌢、幅67㌢、深さ18㌢の掘り方内に構築されている。側壁の一部のみ残っていた。掘り方に残る石の据え方から短辺、長辺ともに1石で構成されていたと考えられる。用材は安山岩の角礫を用いている。

遺物　掘り方内の土から滑石製玉1、琥珀製玉4以上が出土した。

Ⅴ－10号石槨（図153、PL.20）

位置　Ⅴ－7号古墳の墳丘南西隅に位置する。

石槨　主軸方向はN－19.5°－Wで、長さ87㌢、幅55㌢、深さ15㌢の掘り方内に構築される。側壁は短辺1石、長辺2石で構成され、短辺と長辺が互いに挟み合う形となっている。床面には礫は敷かれない。石槨の規模は長さ62㌢、幅21㌢、深さ24㌢である。用材は安山岩の河原石を用いている。

遺物　出土しなかった。

Ⅴ－11号石槨（図152、PL.20）

位置　Ⅴ－7号石槨の南に位置する。

石槨　主軸方向はN－1°－Eで、長さ108㌢、幅63㌢、深さ46㌢の掘り方に構築されている。側壁は短辺1石、長辺2石、天井石も2石で構成されている。短辺が長辺を挟む形となっている。床面に礫は敷かれない。用材は安山岩の河原石を用いている。

遺物　出土しなかった。

VH－1号住居（図155・157、PL.10・27・43）

形状　P－1号古墳の東に隣接する。東西辺5.12㍍、南北辺4.92㍍の方形を呈する。壁は垂直に立ち上がり確認面からの高さ0.6～0.8㍍である。

面積　22.4㎡　　**方位**　N－36°－W

床面　比較的軟弱である。**炉址**　検出されなかった。

柱穴　対角線上に並ぶ4本が確認できた。P_1長径36×短径32×深さ68㌢、$P_2$32×28×64、$P_3$36×32×52、$P_4$40×36×64。

遺物　土師器14が床面直上から出土した。

備考　貯蔵穴は北辺のほぼ中央に検出された。平面形は隅丸方形で長径100㌢×短径76㌢×深さ40㌢である。壁周溝は検出されなかった。

VH－2号住居（図156・158、PL.10・43）

形状　VH－1号住居の西に位置する。東西辺6.2㍍、南北辺5.8㍍の方形を呈する。壁は垂直に立ち上がり、確認面からの高さは0.64㍍である。

面積　32.0㎡　　**方位**　N－35°－W

床面　やや軟弱である。**炉址**　住居北寄りの柱穴間の中央に位置する。炉石を持つ。焼土は浅い。

柱穴　対角線上に並ぶ4本が確認できた。P_1長径40×短径36×深さ56㌢、$P_2$36×28×68、$P_3$32×28×64、$P_4$44×40×72。

遺物　土師器9点が出土したが床面よりかなり浮いた

状態で出土した。

備考　貯蔵穴は北隅と東隅に2個検出された。貯1は平面形円形で長径72㌢、短径68㌢、深さ88㌢である。貯2は隅丸方形で二段に掘り込まれている。上面の長径128㌢、短径68㌢、下面の長径120㌢、短径72㌢、深さ52㌢である。壁周溝は検出されなかった。

(6)　Y・Z・Y_1区の調査

Y－1号古墳（図159、PL. 21）

墳丘　現存する東辺の長さ10.7㍍の方墳あるいは方形周溝墓である。墳丘の高まりは現況では認められなかった。また、調査でも盛り土は認められなかった。長軸方向はN－14.5°－Wである。

周堀　北側がやや広がるが、上幅1.8～1,1㍍、下幅0.7～0.6㍍、深さ0.4㍍である。断面形は箱形である。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Y－2号古墳（図160、PL. 21）

墳丘　現存する西辺の長さ6㍍の方墳あるいは方形周溝墓である。東側がなだらかに傾斜しているため東辺は確認できなかった。当初から東辺を欠くのかは不明である。長軸方向はN－7.5°－Wである。

周堀　断面形は箱形で、上幅1.2～0.6㍍、下幅0.4～0.3㍍、深さ0.25㍍である。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Y－3号古墳（図161）

墳丘　東西辺8.3㍍、南北辺9.6㍍の方墳あるいは方形周溝墓である。盛り土は認められなかった。長軸方向はN－28°－Wである。

周堀　南側がやや細くなるが、上幅1.9～0.8㍍、下幅1.1～0.3㍍、深さ0.45㍍である。断面形は箱形である。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Y－4号古墳（図162・163、PL. 22）

墳丘　直径18㍍の円墳である。現況での墳丘、盛り土は確認できなかった。

周堀　墳丘を全周する。断面形は箱形である。上幅3.6～2.0㍍、下幅2.3～0.8㍍、深さ0.6～0.4㍍である。周堀埋め土中には Hr－FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　周堀埋め土上層から円筒埴輪片が少量出土した。

Y－5号古墳（図164～166、PL. 21・22・26・33）

墳丘　直径20㍍の円墳である。現況で墳丘の高まりは認められなかった。調査でも盛り土は検出されなかった。西側は道路により一部削平を受けている。

周堀　墳丘を全周する。上幅4.0～1.2㍍、下幅0.7㍍、深さ0.8㍍である。埋め土中には Hr－FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　埋め土上層から少量の円筒埴輪片が、また、周堀北東の底面から土師器坏4、坩1が出土した。

Y－6号古墳（図167、PL. 33）

墳丘　直径11㍍の円墳である。既に上面は削平をうけており詳細は不明。

周堀　墳丘を全周する。現存する周堀の上幅1.8～0.8㍍、下幅1.5～0.6㍍、深さ0.3㍍である。

主体部　検出されなかった。

遺物　周堀北西の埋め土中より須恵器樽形が出土した。

Y－7号古墳（図169、PL. 22）

墳丘　直径14㍍の円墳である。墳丘、盛り土は検出されなかった。Y－8号古墳の北に隣接している。

周堀　Y－8号古墳の周堀をよけている。そのため南側に「わたり」を持つ。上幅1.8～0.8㍍、下幅1.5～0.6㍍、深さ0.7～0.4㍍である。埋め土中には Hr－FA の純層が認められた。

主体部　墳丘中央に箱式棺状石室が設けられていたが、後世の芋の貯蔵穴の掘削によって完全に破壊されていた。ただし、掘り方と石の据え方を知ることができた。主軸方向はN－57°－Eである。掘り方は長辺3.4㍍、短辺2.1㍍、深さ0.45㍍で、石室はその中に構築されていたと考えられる。

遺物　出土しなかった。

Y－8号古墳（図168）

墳丘　直径11㍍の円墳である。墳丘、盛り土は検出されなかった。

周堀　墳丘を全周せず、南部分に「わたり」を持つ。上幅2.5～1.3㍍、下幅0.6㍍、深さ0.5㍍である。埋め土中には Hr－FA は認められなかった。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Z－1号古墳（図170）

墳丘　直径16㍍の方墳あるいは方形周溝墓である。墳丘は一辺10㍍の方形を呈するが、周堀の外周は膨らみ

を持つ。

周堀　断面の立ち上がりは墳丘側は急に立ち上がり、外周寄りは緩やかに立ち上がる。上幅4.0〜1.7㍍、下幅1.8〜0.9㍍、深さ0.6㍍である。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Z－2号古墳（図171）

墳丘　平面形はやや東西に長い長方形を呈する方墳ないしは方形周溝墓である。現存した東辺は長さ4.2㍍である。

周堀　断面形は箱形である。上幅1.2〜0.5㍍、下幅0.9〜0.2㍍、深さ0.25㍍である。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Z－3号古墳（図172）

墳丘　直径7㍍の方墳あるいは方形周溝墓と考えられるがやや円みを帯びる。

周堀　上幅1.3〜0.8㍍、下幅1.0〜0.7㍍、深さ0.3㍍である。

主体部　検出されなかった。

遺物　土師器甕の胴部破片が1点出土した。

Y_1－1号古墳（図173、PL. 21・23）

墳丘　直径14㍍の円墳である。墳丘盛り土は認められなかった。墳丘南に Y_1－1号石槨が位置する。

周堀　墳丘を全周する。上幅2.2〜1.2㍍、下幅0.9〜0.6㍍、深さ0.4〜0.2㍍である。

主体部　検出されなかった。Y_1－1号石槨は本古墳の主体部とは考えなかった。

遺物　出土しなかった。

Y_1－2号古墳（図175・176、PL. 21）

墳丘　直径17㍍の円墳である。墳丘盛り土は検出されなかった。

周堀　墳丘を全周する。上幅2.3〜1.4㍍、下幅0.4㍍、深さ0.68〜0.34㍍である。埋め土中には Hr—FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　周堀埋め土上層より円筒埴輪片が出土した。

Y_1－3号古墳（図177、PL. 21）

墳丘　直径8㍍の方墳ないしは方形周溝墓であるが円みを帯びる。

周堀　墳丘を全周する。上幅1.6〜1.0㍍、下幅0.5〜0.3㍍、深さ0.5〜0.2㍍である。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Y_1－4号古墳（図178、PL. 21）

墳丘　直径6㍍の円墳である。

周堀　墳丘を全周する。上幅0.9㍍、下幅0.5㍍、深さ0.3㍍である。

主体部　検出されなかった。

遺物　出土しなかった。

Y_1－5号古墳（図179・180、PL. 21）

墳丘　直径18㍍の円墳で葺石を持つ。墳丘盛り土は確認できなかった。南側は削平を受けている。

周堀　墳丘を全周するものと思われる。断面は外周側は急に落ち込むが、墳丘側は緩やかに立ち上がる。上幅3.8〜2.4㍍、下幅0.8〜0.5㍍、深さ0.8㍍である。墳丘よりの葺石上面には Hr—FA の純層が認められた。

主体部　検出されなかった。

遺物　円筒埴輪と葺石の直上から土師器高坏の破片が出土した。

Y－1号石槨（図181、PL. 23）

位置　Y－4号古墳の東に隣接する。

石槨　主軸方向はN－51.5°－Eである。長辺105㌢、短辺80㌢、深さ27㌢の長方形の掘り方内に構築される。側壁は短辺1石、長辺2石で構成されている。短辺は長辺に挟まれた形となっている。石槨の規模は床面を基準として長さ61㌢、幅20㌢、深さ20㌢である。天井石は1石のみ確認できた。用材は安山岩の河原石を使用している。

遺物　検出されなかった。

Y_1－1号石槨（図183、PL. 23）

位置　Y_1－1号古墳墳丘南に位置する。

石槨　主軸方向はN－12°－Eである。長さ225㌢、幅134㌢、深さ36㌢の石槨の外形いっぱいの掘り方内に構築されている。側壁は短辺1石、長辺4石で構成され、短辺が長辺に挟まれた形となっている。石槨の規模は長さ146㌢、幅29㌢、深さ23㌢である。床面には礫を敷かない。天井石は2石のみ現存していた。石槨の用材は安山岩の河原石である。

遺物　検出されなかった。

Y_1－2号石槨（図174、PL. 23）

位置　Y_1－5号古墳の北に位置する。

石槨　主軸方向はN－2°－Eである。石槨の外形いっぱいの長さ221㌢、幅87㌢、深さ30㌢の掘り方内に構築されている。側壁は短辺1石、長辺4〜5石で構成され、短辺が長辺を挟み込む形となっている。石槨中央

の床面に僅かに砂礫混じりの土を敷く。石槨の規模は長さ151㌢、幅40㌢、深さ30㌢である。天井石は3石で構成されている。用材は安山岩の河原石と一部山石の角礫を用いている。

遺物　検出されなかった。

Y_1－1号土壙（図182、PL. 23）

位置　Y_1－3号古墳の東で Y_1－5号古墳の北に位置する。

形状　長辺1.56㍍、短辺0.92㍍、深さ0.4㍍の隅丸方形の土壙で、主軸方向はN－67°－Eである。東の床面には小円礫1石が置かれていた。また、床面全体に薄く砂が敷かれていた。埋め土中にはHr－FAの純層が認められた。

遺物　出土しなかった。

V　調査の成果と問題点

1　白藤古墳群の形成

白藤古墳群から出土した土器は住居出土の土器とともに、いずれも古墳時代前期後半から後期前半にかけて位置付けることができる。当該期の土器群については坂口一氏によりその編年試案が立てられている。ここでは、坂口氏の土器編年にしたがい、白藤古墳群[註1]と居住域の形成時期について見てみたい。

(1)　住居出土土器

白藤古墳群では、住居の部分的な調査例を含めて36軒の竪穴住居を調査した。良好な一括資料を出土した住居は AH－1、BH－2・4、FH－1、GH－6・9・10、HH－1・6・7、KH－1・2、LH－1・2、VH－1・2の17軒を挙げることができる。

GH－9、HH－1は隅丸の方形住居で、住居中央に炉を持つ。出土した土器は肩部にハケ目を残す比較的小型の甕、球形胴の壺、丁寧にヘラミガキされた椀、台付甕、口縁部に粘土帯の輪積み痕を残す甕、丸い坏部をもった高坏等、明らかに赤城山南麓地域の弥生時代終末から古墳時代前期に位置付けられる赤井戸式III期の土器の系譜を継ぐ土器を含むことから、古墳時代前期に位置付けることができよう。ただし、これらの一括遺物は類例に乏しく、粕川村内でもこれまでに出土例が無い。強いて類例をあげるなら前橋市荒砥島原遺跡A区9号住居出土資料をあげることができる。

AH－1、GH－6、FH－1、VH－1・2は方形住居[註2]で竈を持たない。GH－6は一辺8㍍の大型住居である。

土器はいわゆる坏形のものが無く、体部の深い鉢あるいは小型の甕様のものが顕著である。ほかに小型と大型の坩、台付鉢、脚部の締まった高坏などを含む。坂口編年のI段階に相当する。

BH－2・4、HH－6・7、LH－1・2は方形住居で竈を持つ。LH－1・2については不明。HH－6、LH－1・2は一辺8㍍の大型住居である。

土器は胴部が半球形の坏、小さな平底から直線的に開き、口縁部で短く直立する坏が顕著である。また、半球形の胴部に短い内斜口縁を持つ坏も登場する。甑にも大型と小型の二者が併存する。次段階に続く土器形式が総て出揃う時期でもある。LH－1・2は坂口編年のII段階に、HH－6・7、BH－2・4はIII段階に相当しよう。

GH－10、KH－1は方形住居で竈を持つ。住居埋土下層に榛名二ツ岳火山灰(Hr—FA)の純層を認めることができる。

土器は小型坩が減少する。坏は丸底となる。内斜口縁を持つ坏、大型の椀も顕著となる。坂口編年のIV段階に相当しよう。

白藤古墳群内の住居は、ここでみた良好な一括資料及び断片的な出土資料を含めて、その出土土器から、一部の古式土師器期を除いて、総て坂口編年のI～IV段階内に含まれる。

(2)　古墳出土の土器

A－1、F－1・2、P－1、Q－1、V－2・4・7、Y－5の各古墳から、比較的まとまった資料が出土している。

A－1号古墳からは周堀底面から30個体の土師器と2個体の須恵器が出土した。その出土状態から一括遺物としてとらえられる。坏は大きさのそろったもので、底部は丸底で胴部と口縁部との境に明瞭な稜を持ち、口縁部がほぼ直立するものである。胴部はヘラケズリがなされ、口縁部はヨコナデが顕著である。また、器壁も比較的薄い。他に、僅かに内斜口縁の坏と胴部と口縁部の境の稜が突出し、口縁部がやや内傾ぎみに立ち上がる坏を含む。

高坏は坏部がやや浅く、口縁部は大きく外傾し、端部で外反する。脚部は比較的短く、太く全体に粗雑である。ヘラミガキが全くみられず、全体にナデられている。坂口編年のV段階に当たる。

須恵器は短脚一段透かしの高坏と球形の胴部から頸部の直立する壺でいずれも胎土焼成共に共通する。陶邑編年のI期後半からII期前半の時期に相当しよう。

V－2号古墳の周堀内より土師器の坏3と須恵器高坏1が出土している。坏は底部は平底で胴部は緩やかに開き、口縁部で僅かに内湾するものと半球状の胴部を持つ。坂口編年のII段階に相当する。

須恵器の高坏は短脚の無蓋高坏で陶邑編年のI期中葉並行に位置付けられよう。

Y－5号古墳の周堀底面から土師器坏3、坩1、椀1が出土している。坏は平底で胴部は緩やかに開き、口縁部で立ち上がる。胴部と口縁部との境には不明瞭ながら稜を持つ。坩は上下に潰れた偏平な球形で、口縁部は直線的に開き、端部で僅かに内湾するものである。坂口編年III段階に該当しよう。

V－4号、V－7号古墳の周堀底面からも同様な一括資料が出土している。V－4号古墳では土師器坏6、坩1が出土している。坏は底部は丸底で、半球状の胴部に内斜口縁部を持つものと底部は丸底で半球状の胴部から口縁部が直立し、胴部と口縁部との境に稜を持つものとがある。坩は、胴部は球形で口縁部は直線的に開き、端部で僅かに内湾する。V－7号古墳では周堀埋土中から土師器坏4、須恵器椀1と器種不明（あるいは高坏か）1が出土している。須恵器は埋土中からの一括取り上げ資料である。土師器坏は半球状の胴部に内斜口縁を持つものと半球状の胴部からそのまま内湾ぎみに立ち上がる口縁部を持つ坏とがある。須恵器は小型の椀ないしはコップ形のものと思われる。これらの資料は坂口編年のIV段階に相当しよう。V－7号古墳出土の須恵器は陶邑編年のI期に当たる。

P－1、Q－1号古墳からは墳丘盛土下から土師器が出土している。良好な資料ではないが、胴部と口縁部との境に稜を持つ胴部の深い坏の存在などから坂口編年のIV段階に相当しよう。

F－1・2号古墳の出土資料も概ね坂口編年のIII～IV段階に相当しよう。

この他に、A－2、D－1・2・3、I－1、P－6・7、Y－6、Z－3、Y_1－5の各古墳から断片的な出土ながら土師器や須恵器が出土している。これらのうちD－1・2号、I－1号古墳出土資料は丸底で体部が内湾する土師器坏の存在、須恵器提瓶にみられる把手のボタン状化など共に明らかに古墳時代後期末に位置付けられる特徴である。他の資料については土師器はE－1号古墳出土土師器は坂口編年I期～II段階に、P－6・7号古墳出土土師器はIV段階にあたる。須恵器についてもY－6号古墳出土樽形は陶邑編年のI期前半に相当するものであり、A－2、D－3号古墳出土の須恵器坏は陶邑編年I期後半からII期前半に位置付けられよう。

(3) 住居と古墳の編年

上記の出土土器の検討を基に住居と古墳について概略の編年案を示し、まとめとしておきたい。なお実年代については坂口試案を参考とした。

今回ここで取り上げなかった古墳及び方形周溝墓（方墳）も遺物の出土が無く時間的な位置付けに無理があるが、周堀埋積土中のHr—FAの存在等から上記の表に組み込むことが可能であろう。E－2、Y－1～3、Z－1～3の各方形墳は、周堀埋積土中にHr

白藤古墳群　編年試案

年代	住居	古墳	主体部	その他
400	GH－9　HH－1			
I 450 II	VH－1・2　GH－6 AH－1 LH－1・2　KH－2　FH－1	E－1 V－2	土壙（粘土被覆）	円筒埴輪 ↓
III IV FA→ 500	BH－2・4　HH－3・7・6 KH－1 GH－10	Y－5 P－1　Q－1 P－6・7　V－4・7 F－1・2 D－3	土壙? 竪穴式石室（箱式棺状石室） 箱式棺状石室	↓B種ヨコハケ 小石槨　形象埴輪 ↓　◆　↓ ↓　↓　◆ ↓　↓
V		A－1・2	〃	◆
FP→ 600				
		D－1・2　I－1　G－1 K－1　H－2	両袖型横穴式石室（前庭）	

—FA、FP粒を全く含まないことからE－1号古墳と同時期に位置付けられよう。

また、P－2～4、V－1・3・5・6・8、Y－4・7・8、Y_1－1・2・5などの各古墳はHr—FAを周堀埋め土内に認めることができることなどから、Ⅳ期に位置付けたP－1、Q－1、あるいはV－4号古墳等と同時期のものと考えられる。但しY_1－2・5号古墳は遺物中にY－5号古墳と同じB種ヨコハケを用いた円筒埴輪を含むことからⅢ期まで遡る可能性も考えられる。

2　今後の白藤古墳群分析にむけて

白藤古墳群についてはすでに鹿田雄三氏によって、その成立について赤城山南麓の開発特に粕川扇状地の開発と関連付けて論考されている。また、鹿田氏は白藤古墳群の北に位置する月田古墳群[註3]の成立は白藤古墳群の造墓主体が粕川扇状地の開発の進展にともなって移動をしたものとされた。

白藤古墳群と未だ詳細な検討をし終えていないが月田古墳群の造墓時期はほぼ補完関係をもっている。また、粕川村を含む赤城山南麓地域の遺跡分布からも遺跡の拡大、山麓部への進出等をとらえることができる。したがって概ね鹿田氏の考察は首肯できる。

しかし、白藤古墳群が等質的な小古墳群の造営を契機として形成されていったものに対し、月田古墳群はこれまでのところで横穴式石室を主体部とする前方後円墳の造営を契機としていることが考えられる。この点、白藤古墳群の造営主体者がそのまま成長した結果とするのには古墳群の様相に格差があるのではないか。また、実際の開発の内容が何であったのかこれまでのところ調査資料からは不明瞭である。この点をもう少し掘り下げて行くことが必要ではないか。

また、白藤古墳群は今まで見てきたように、5世紀第2四半世紀前後を中心として6世紀の前半まで造墓が継続して行われていたことが明らかである。これらの造墓の主体者はどのような性格の集団であったのか。

また、白藤古墳群では、その形成に先行するように方形周溝墓（方形区画墓・方墳）が同じ台地上に形成されている。これらの方形周溝墓[註4]と白藤古墳群で多く検出されている小円墳が墳丘盛土をあまり持たない低墳丘墓という点や副葬品をあまり持たないという点で共通することから周溝墓から小円墳へという発展過程

白藤古墳群　古墳一覧

古墳名	墳形	墳丘規模	主体部	副葬品	埴輪の有無	周堀内出土遺物	その他	時期
V－2	円	19	土壙粘土被覆	武具・滑石製剣形模造品	有	須恵器・土師器		II
Y－5	円	20	不明		有	土師器		
Y_1－5	円	18	不明		有	土師器	葺石	
Y_1－2	円	17	不明		有			III
Y－4	円	18	不明		有			
Y－6	円	11	不明		無	須恵器		
P－1	円	22	不明		有	土師器		
Q－1	円	24	土壙	無	有	土師器		
V－4	円	21	不明		有　馬	土師器・鉄器		
V－7	円	12	不明		無	須恵器・土師器		
V－8	円	14	箱式棺状石室	漆玉	無			
P－2	円	11	箱式棺状石室	無	無			
P－3	円	14	箱式棺状石室	無	無			
P－4	円	13	箱式棺状石室	無	無			IV
P－5	円	17	不明		無	土師器		
P－6	円	22	不明		有　馬人物	土師器		
F－1	円	18	箱式棺状石室	無	有	須恵器・土師器・滑石製模造品	葺石	
F－2	円	22	不明		有　馬	須恵器・土師器	葺石	
F－3	円	14	不明		無　人物			
D－3	円	23	箱式棺状石室	不明	有　馬	須恵器・土師器		
A－1	円	14	箱式棺状石室	2基　勾玉・管玉・ガラス玉	有　人物	須恵器・土師器・鉄器・漆玉	葺石	V
A－2	円	17	箱式棺状石室	不明	無	須恵器		

を見ることも可能であろう。そこから、大古墳に代表される首長墓の系列とは別の小古墳に代表される階層の系列の存在も予想されよう。さらに、墳丘を持つ古墳と持たない古墳（小石槨）との関係を含んだ小石槨の位置付けの問題など、今後の白藤古墳群分析に向けての指針を提示してまとめとしたい。

註1　坂口一　『群馬県における古墳時代中期の土器の編年ー共伴関係による土器型式組列の検討ー』　研究紀要4　群馬県埋蔵文化財調査事業団　1987

註2　石坂茂他　『荒砥島原遺跡　昭和55年度県営圃場整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』　群馬県埋蔵文化財調査事業団　1983

註3　鹿田雄三　『月田古墳群、白藤・新宿古墳群と粕川村の古墳分布ー古墳分布からみた地域拡大ー』　粕川村の遺跡ー遺跡詳細分布調査報告書　粕川村教育委員会　1985

註4　ここでいう方形周溝墓は当地域で弥生時代後期から古墳時代前期にかけて造られる方形周溝墓とは別の系譜を継ぐものとして考えたい。

挿　　図

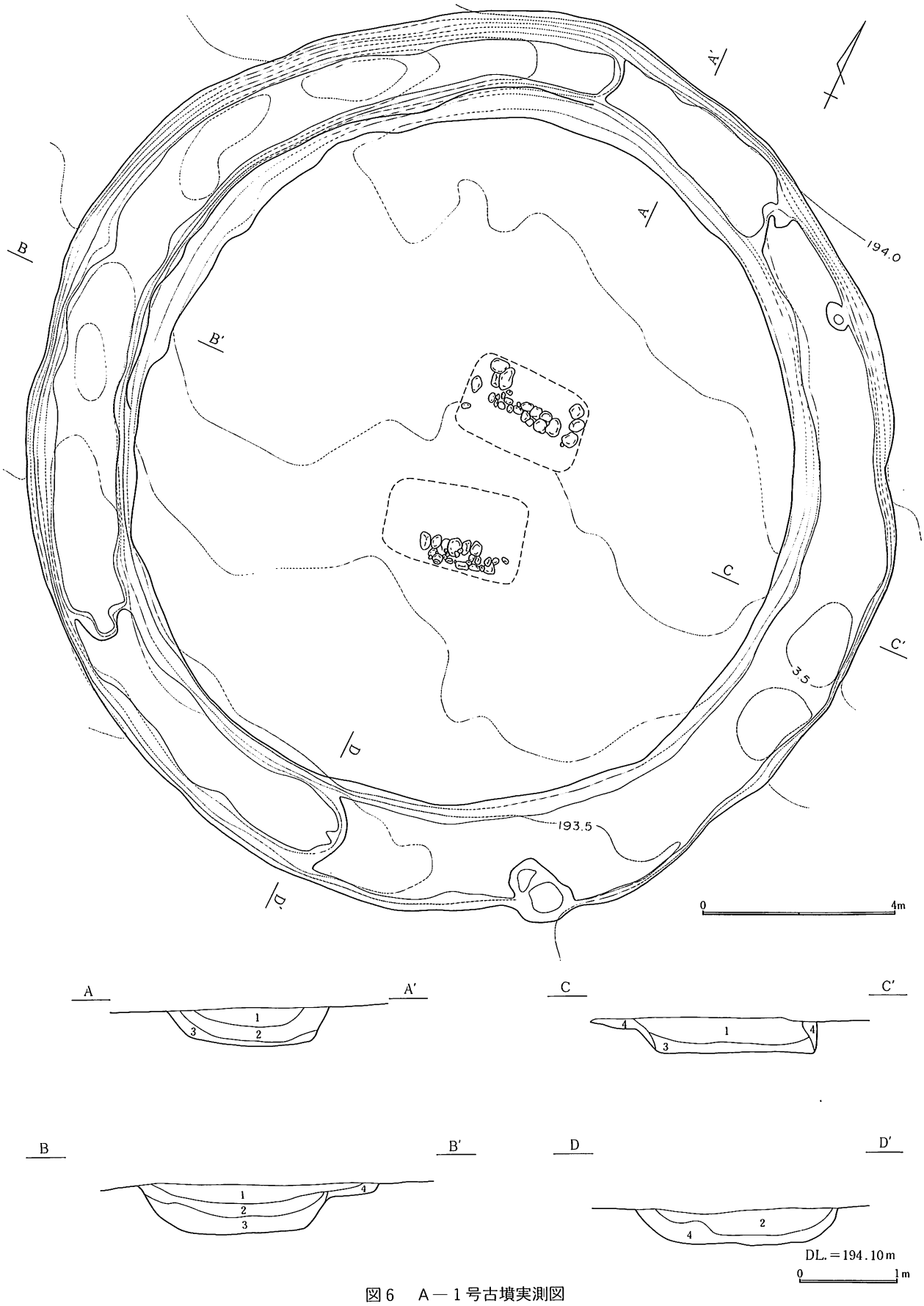


図6　A－1号古墳実測図

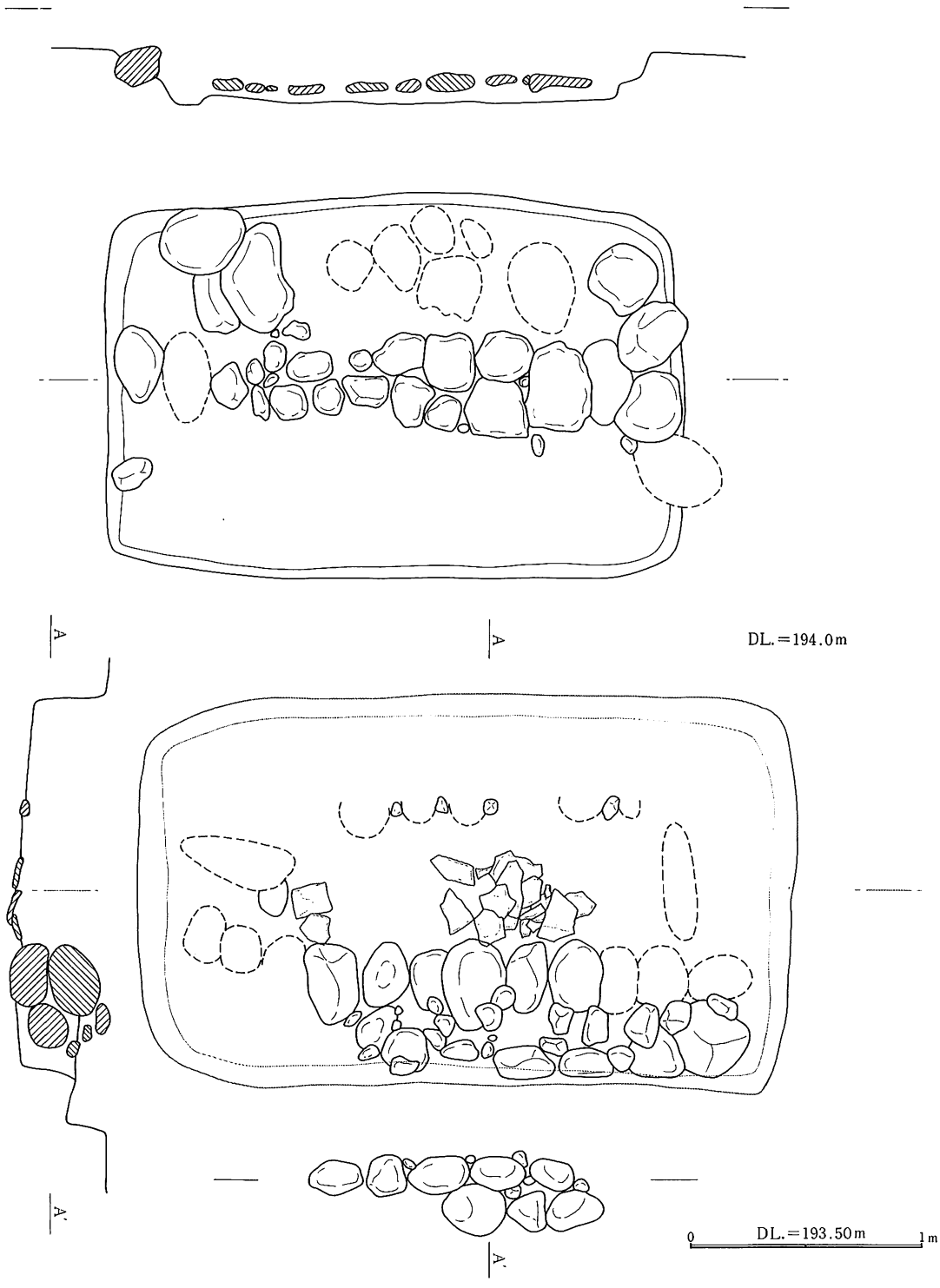


図7　A－1号古墳1号・2号石室実測図

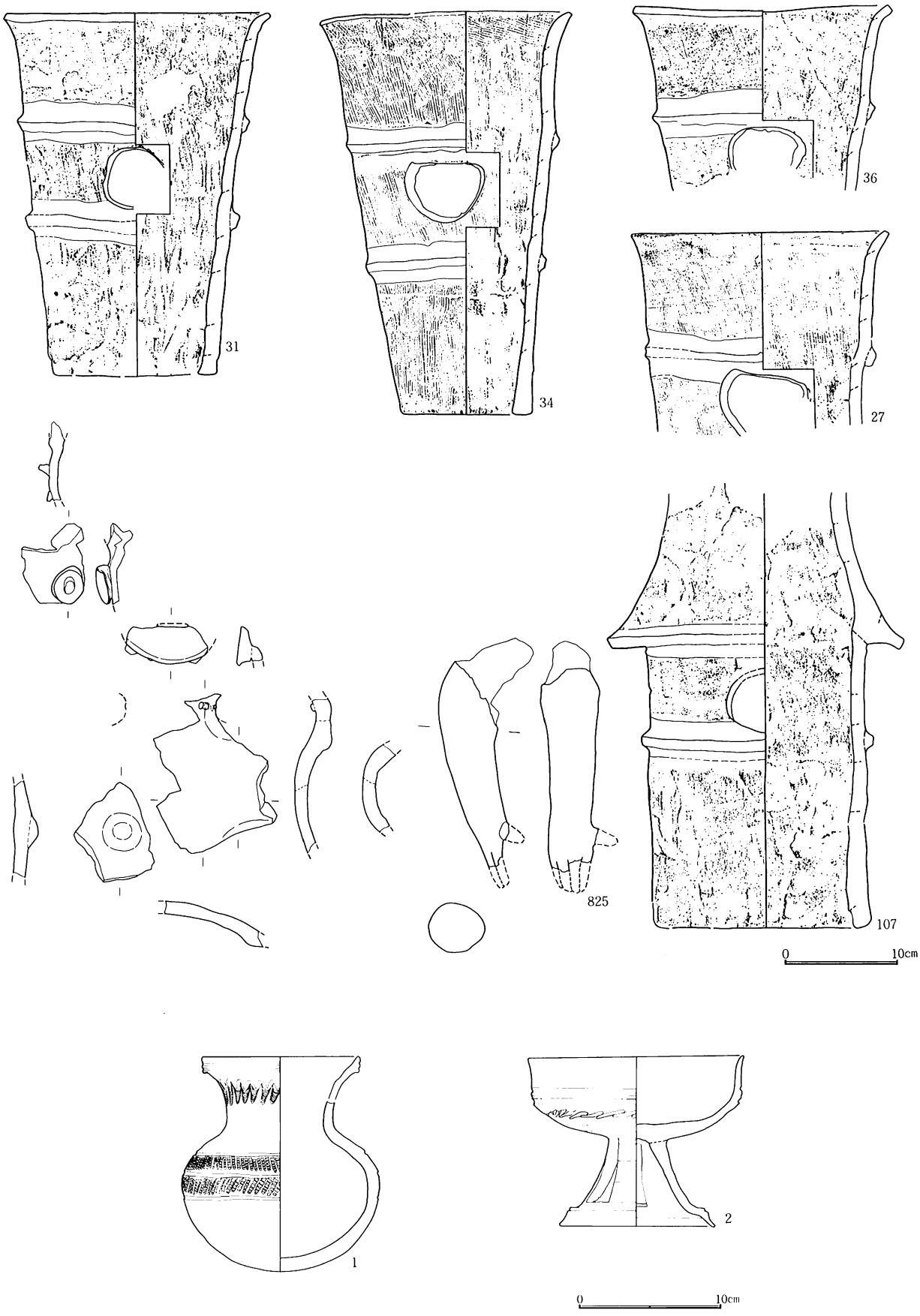


図８　Ａ―１号古墳遺物実測図(1)

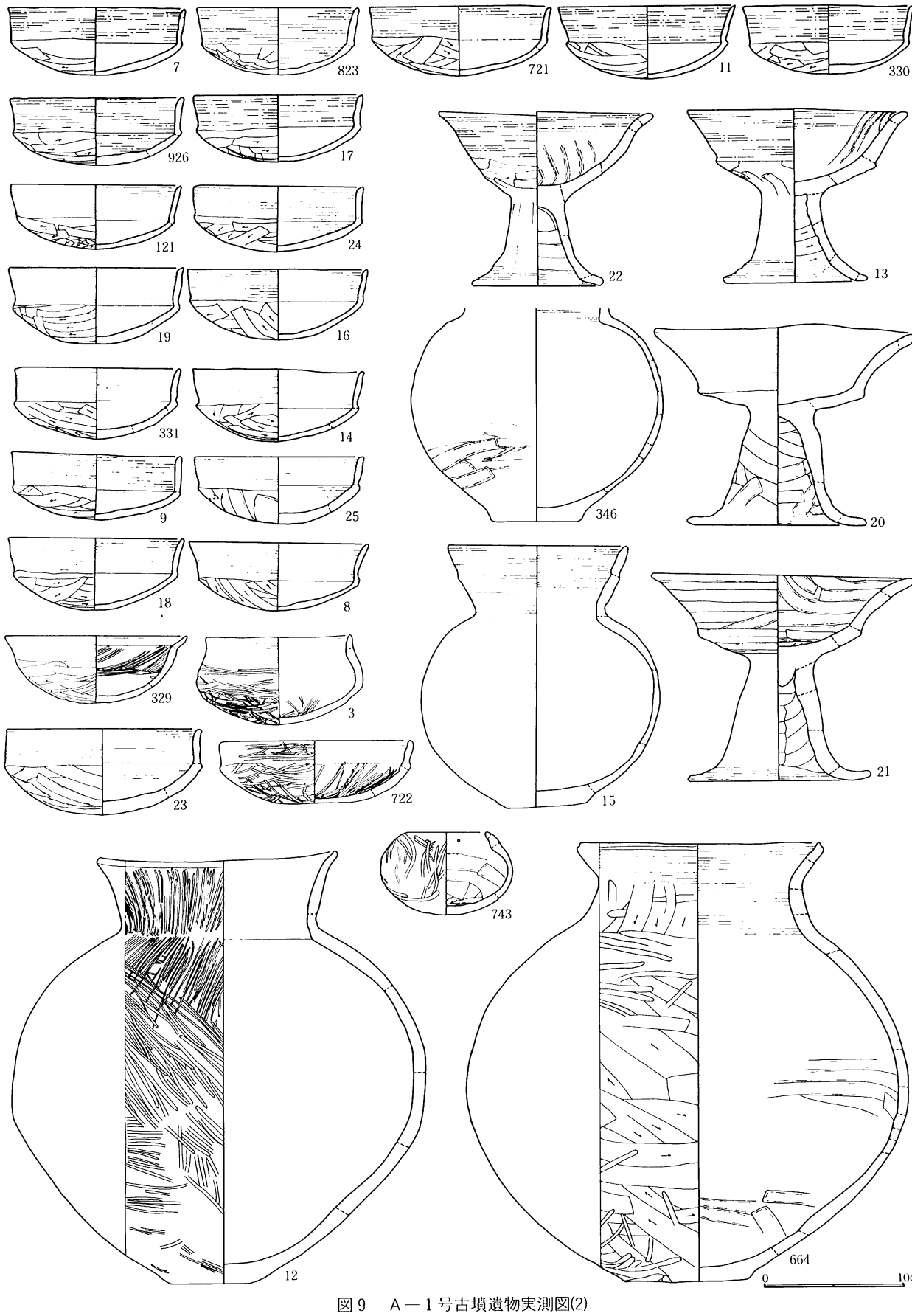


図９　Ａ－１号古墳遺物実測図(2)

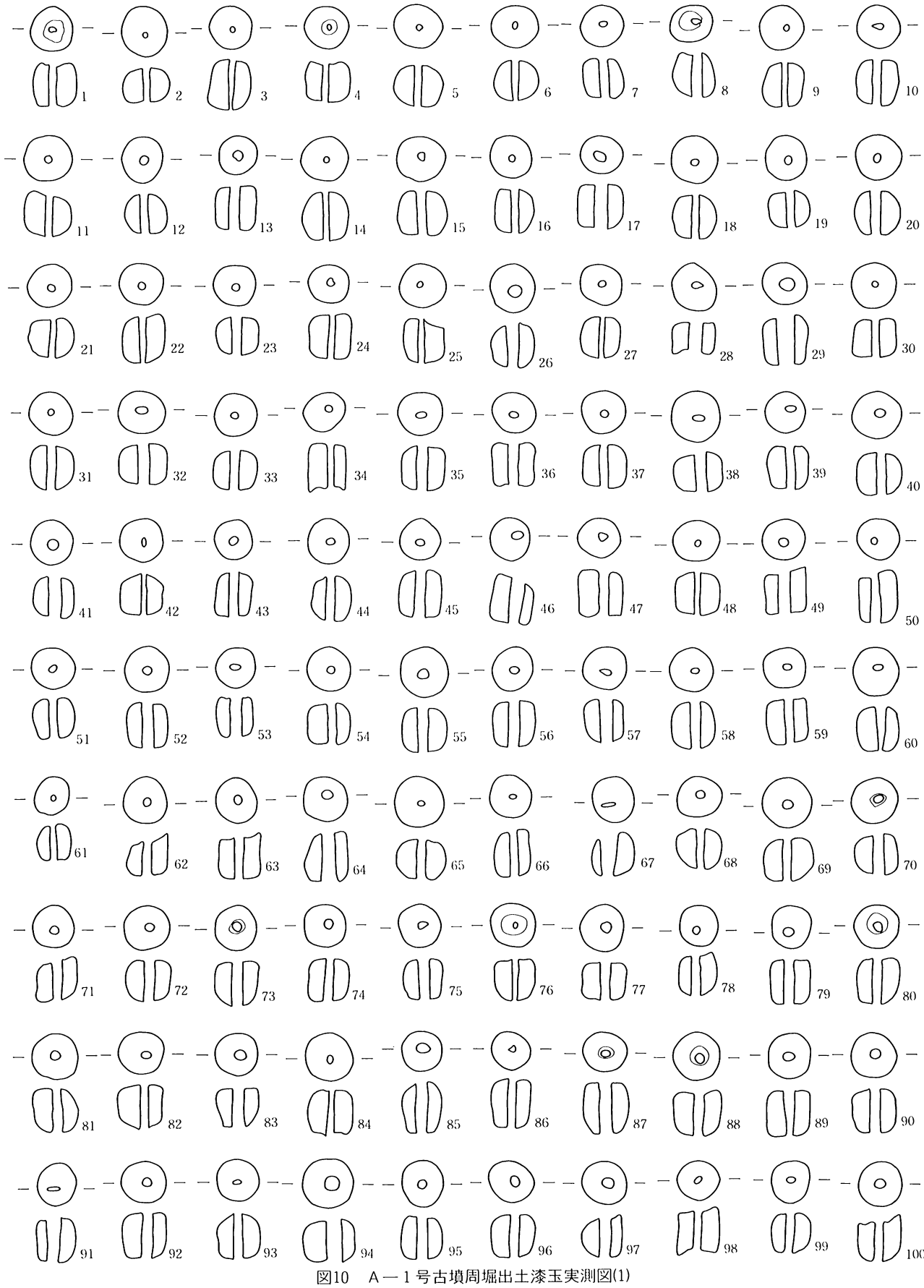


図10　A－1号古墳周堀出土漆玉実測図(1)

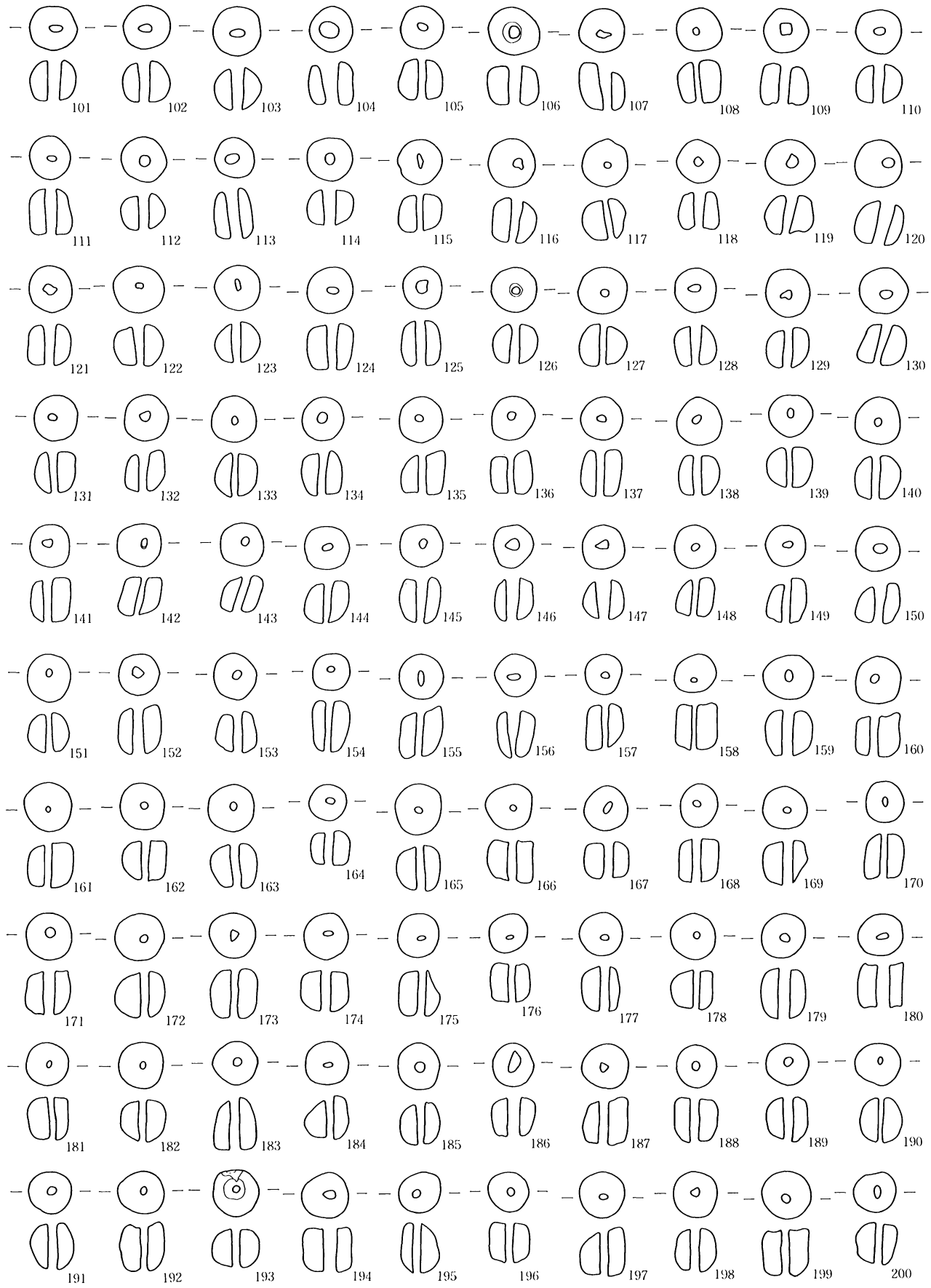


図11　A－1号古墳周堀出土漆玉実測図(2)

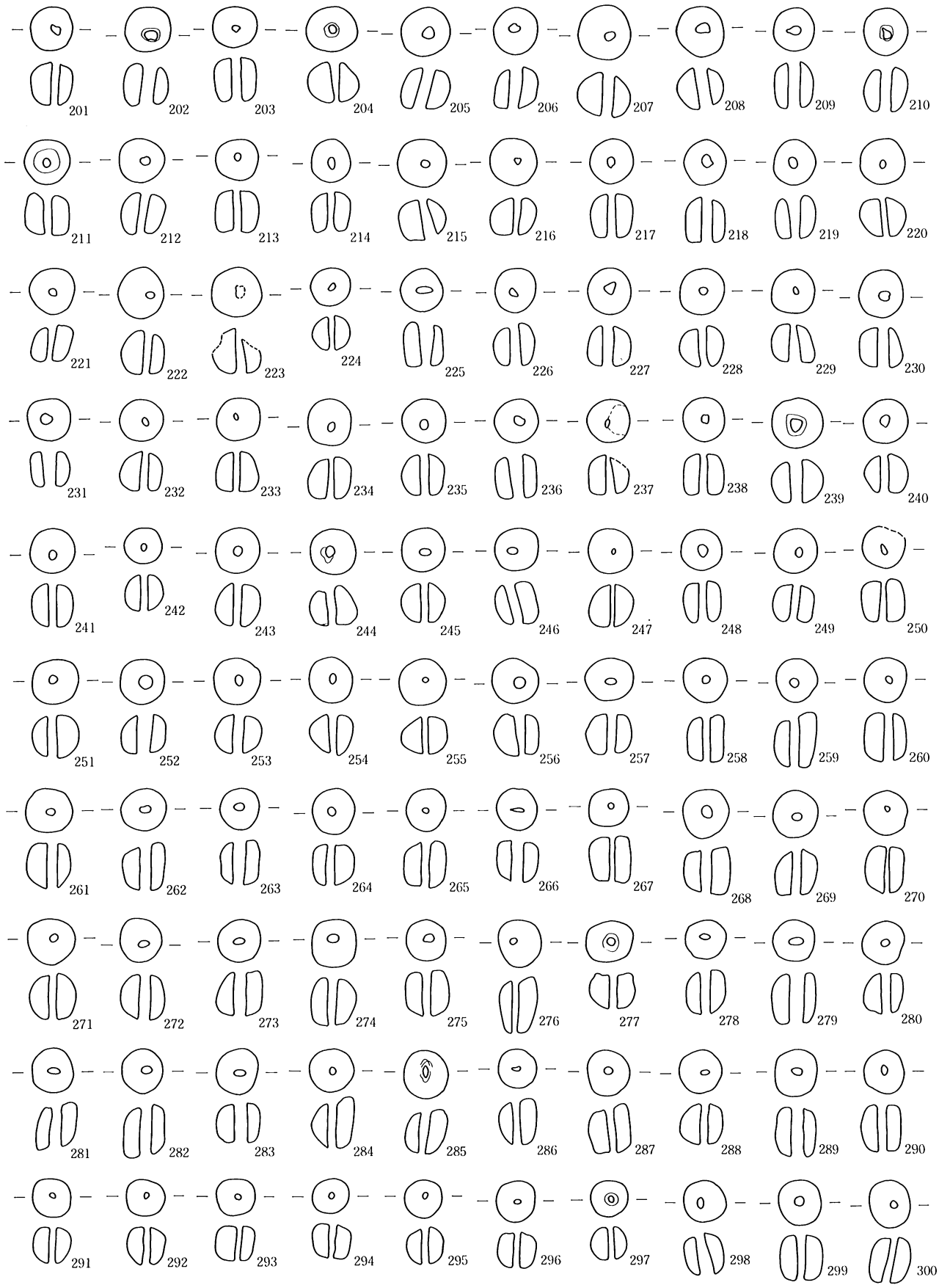


図12　A―1号古墳周堀出土漆玉実測図(3)

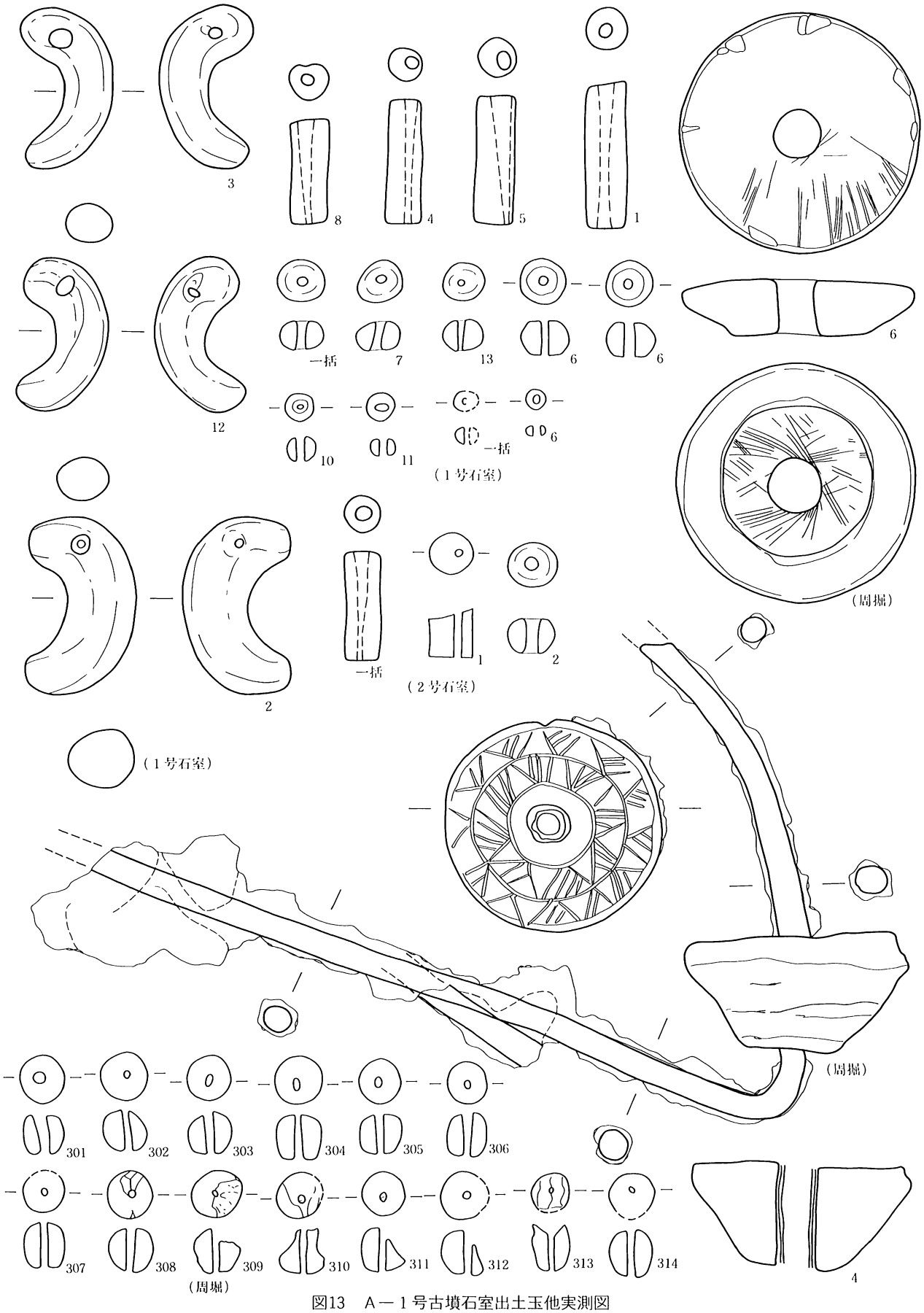


図13　A－1号古墳石室出土玉他実測図

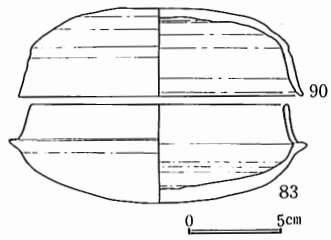


図15　A－2号古墳遺物実測図

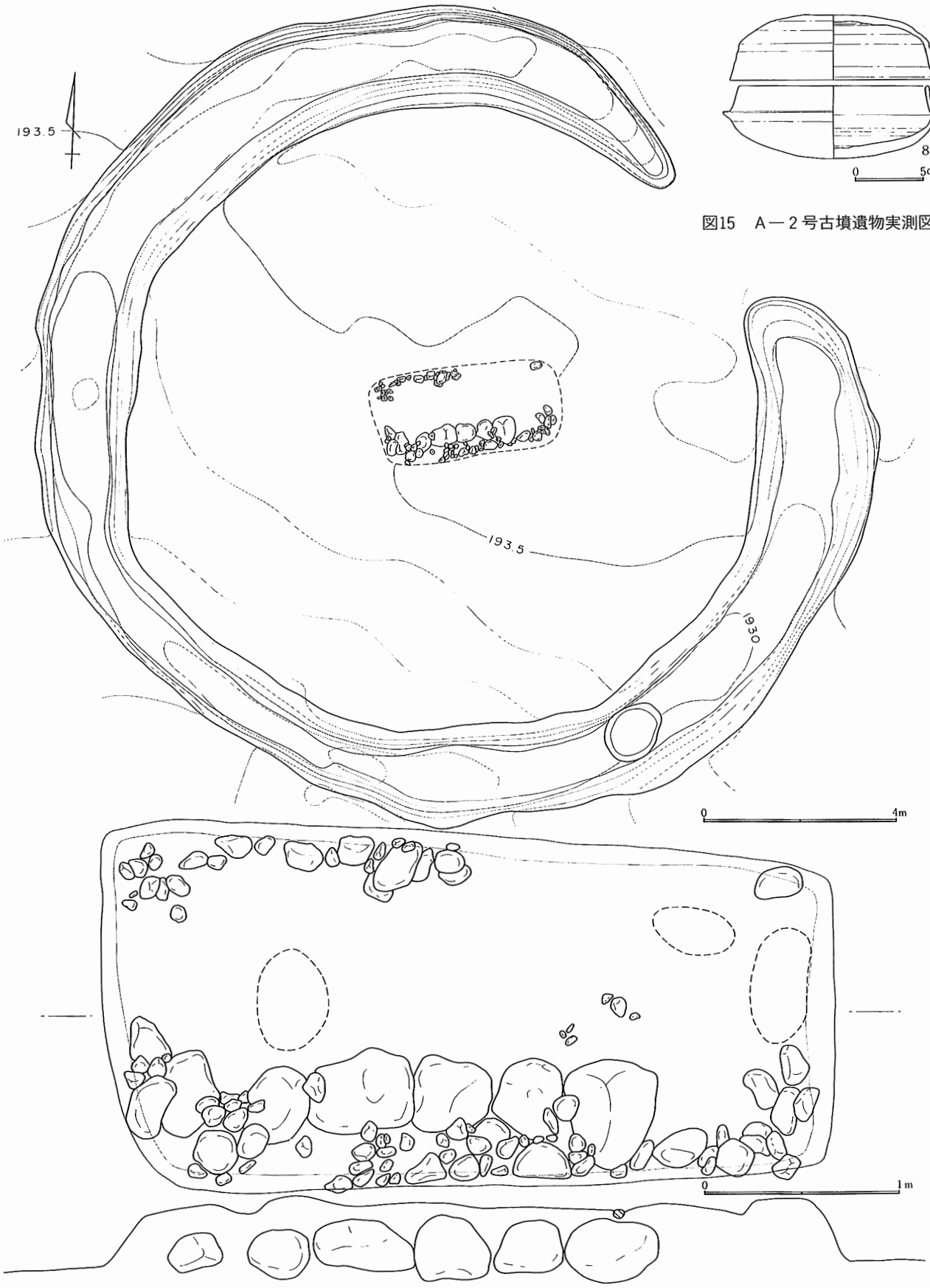


図14　A－2号古墳実測図・石室実測図

図17　B－2号古墳実測図・石室実測図

図16　B－1号古墳周堀実測図

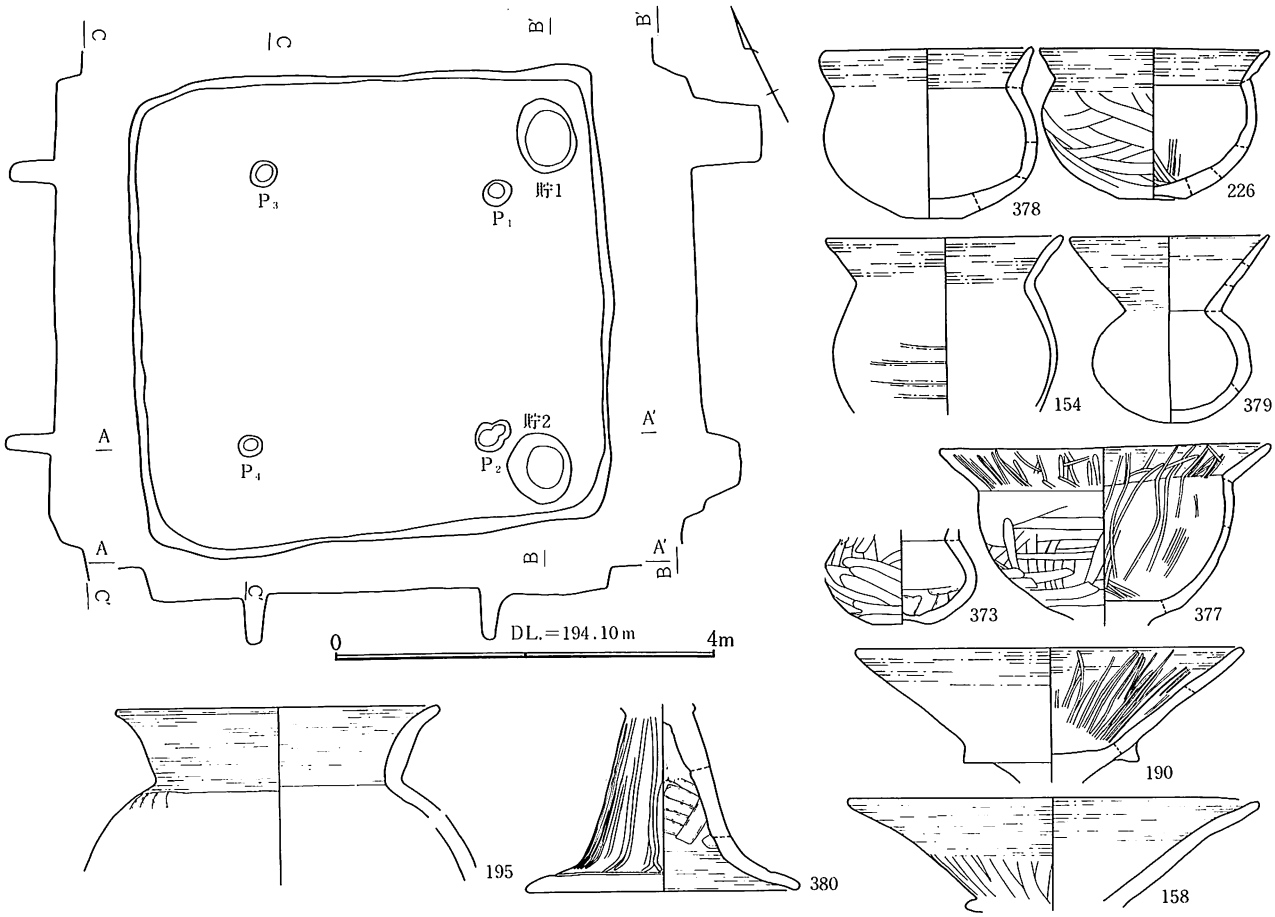


図18　AH—1号住居実測図・遺物実測図

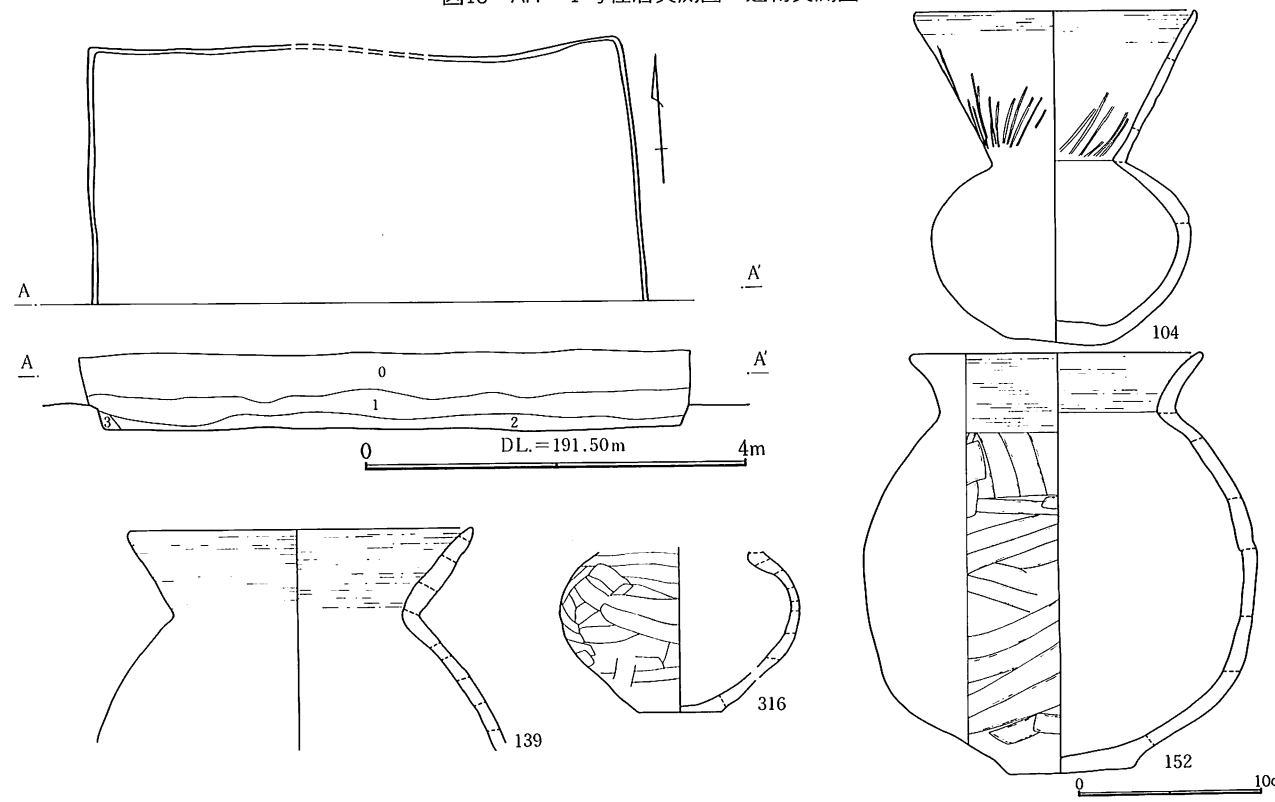


図19　BH—1号住居実測図・遺物実測図

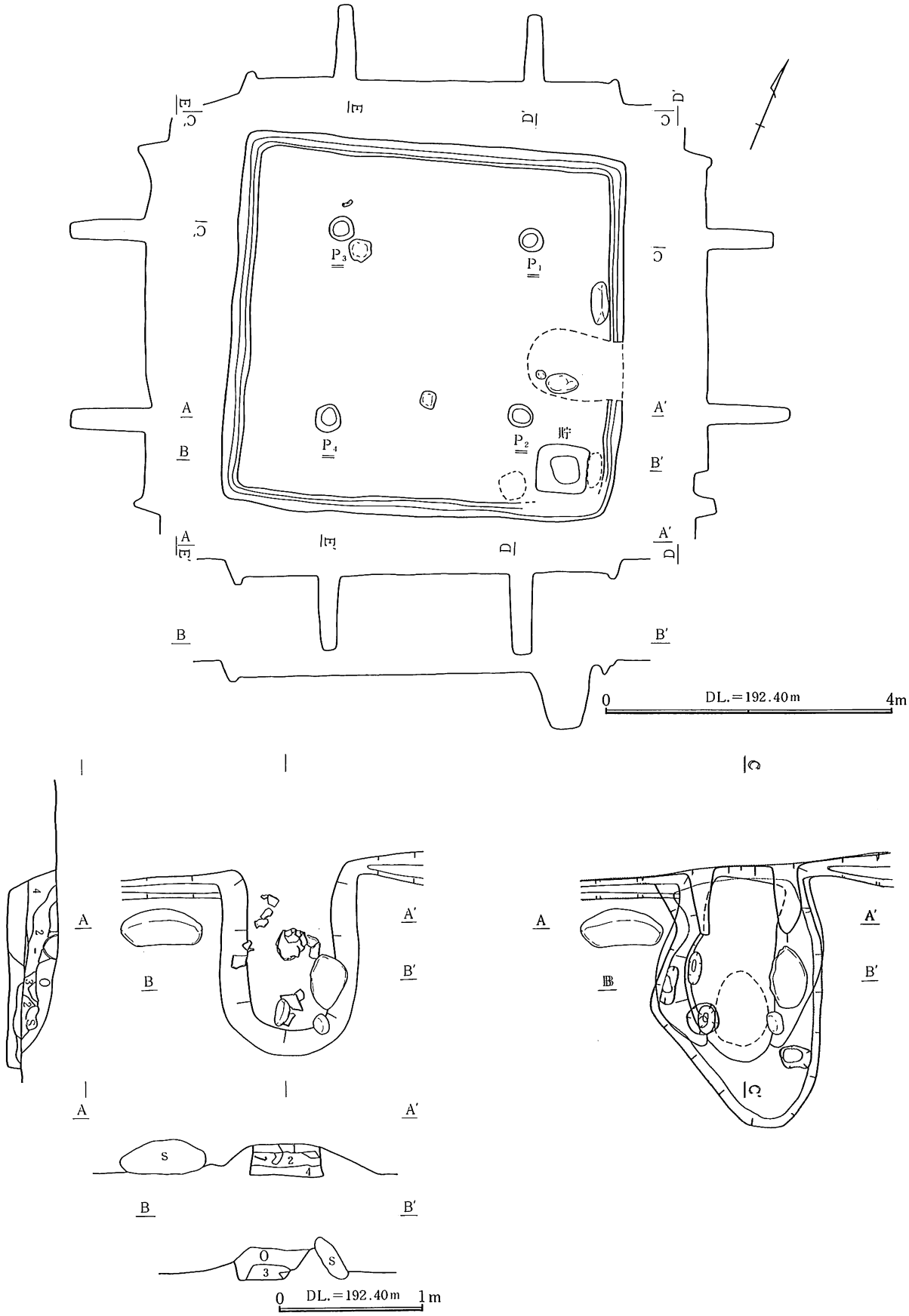


図20　BH— 2 号住居実測図

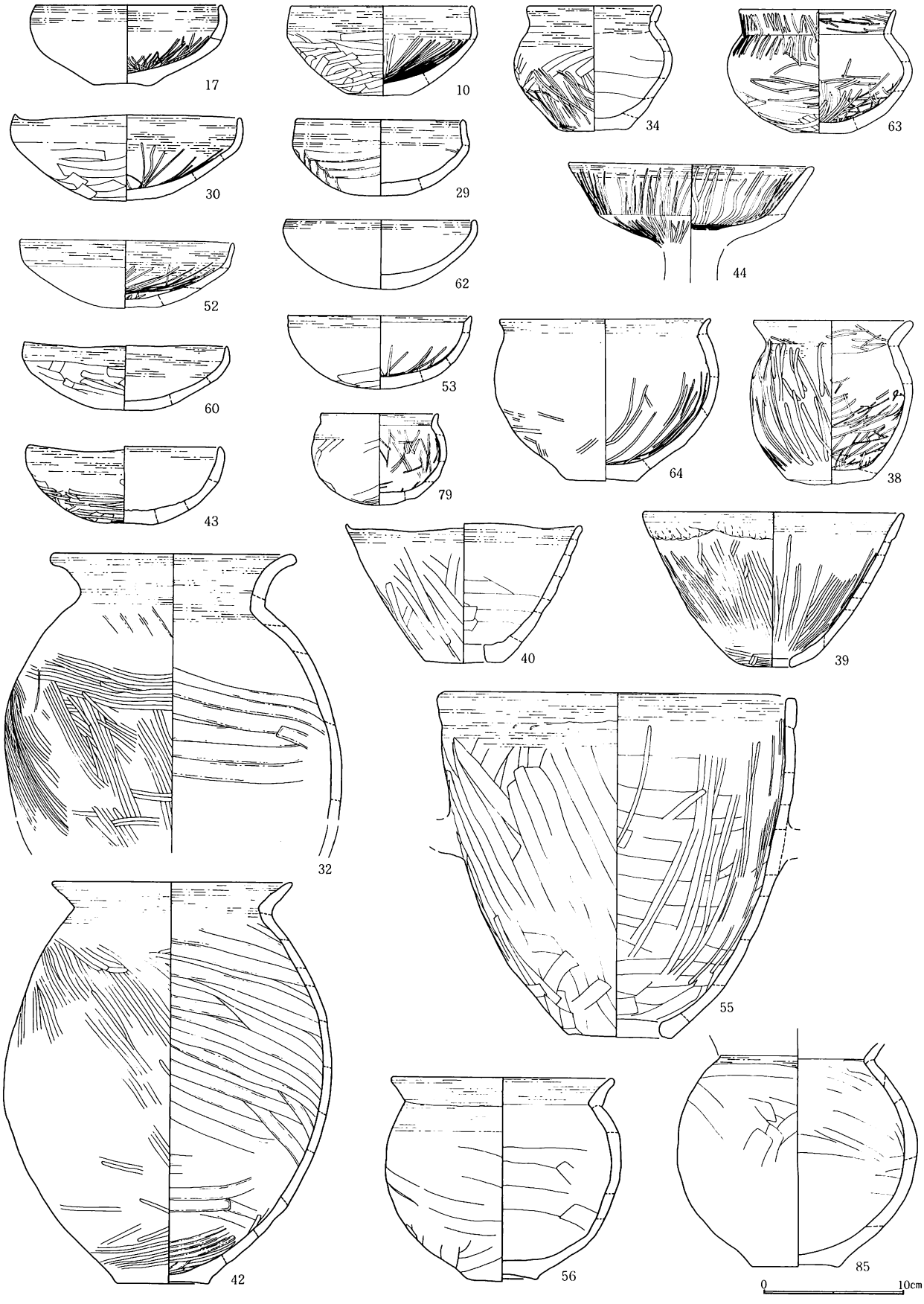


図21　BH―２号住居遺物実測図

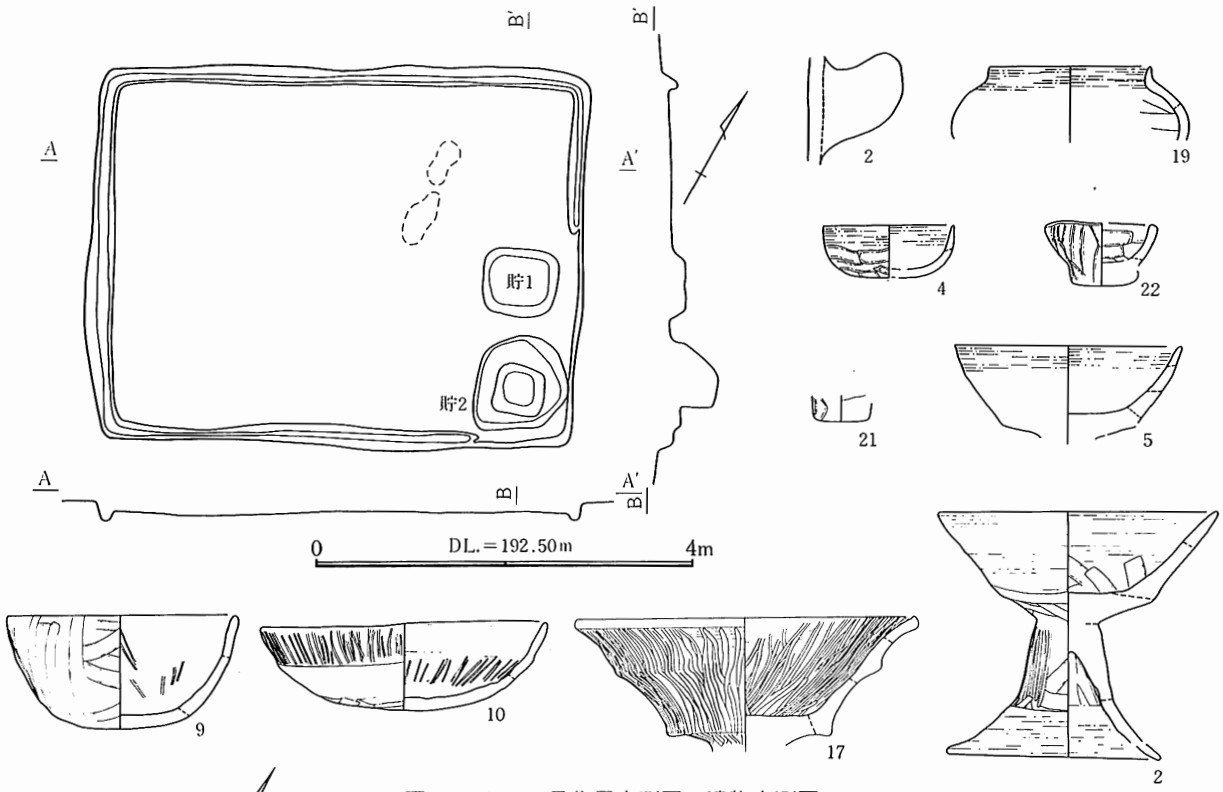


図22　BH―３号住居実測図・遺物実測図

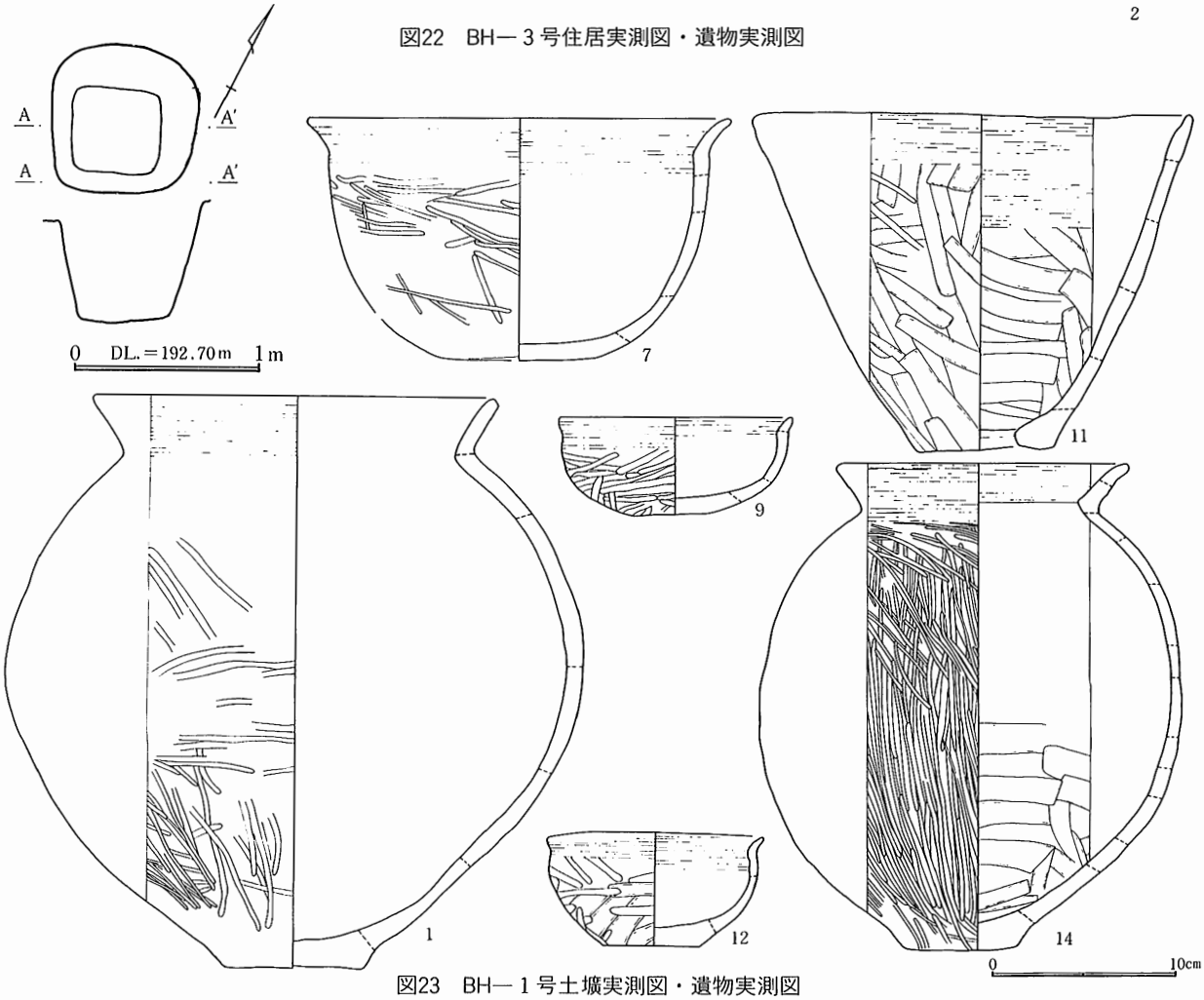


図23　BH―１号土壙実測図・遺物実測図

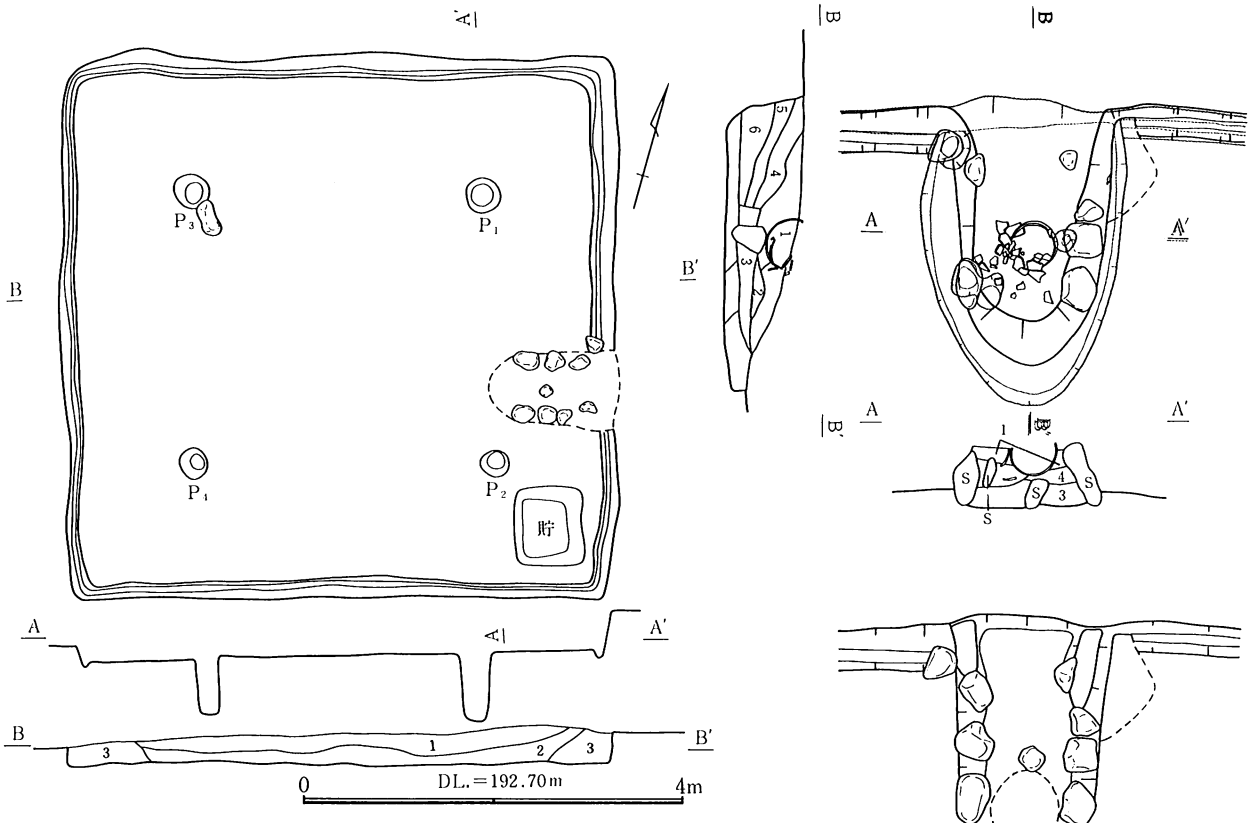


図24　BH—4号住居実測図

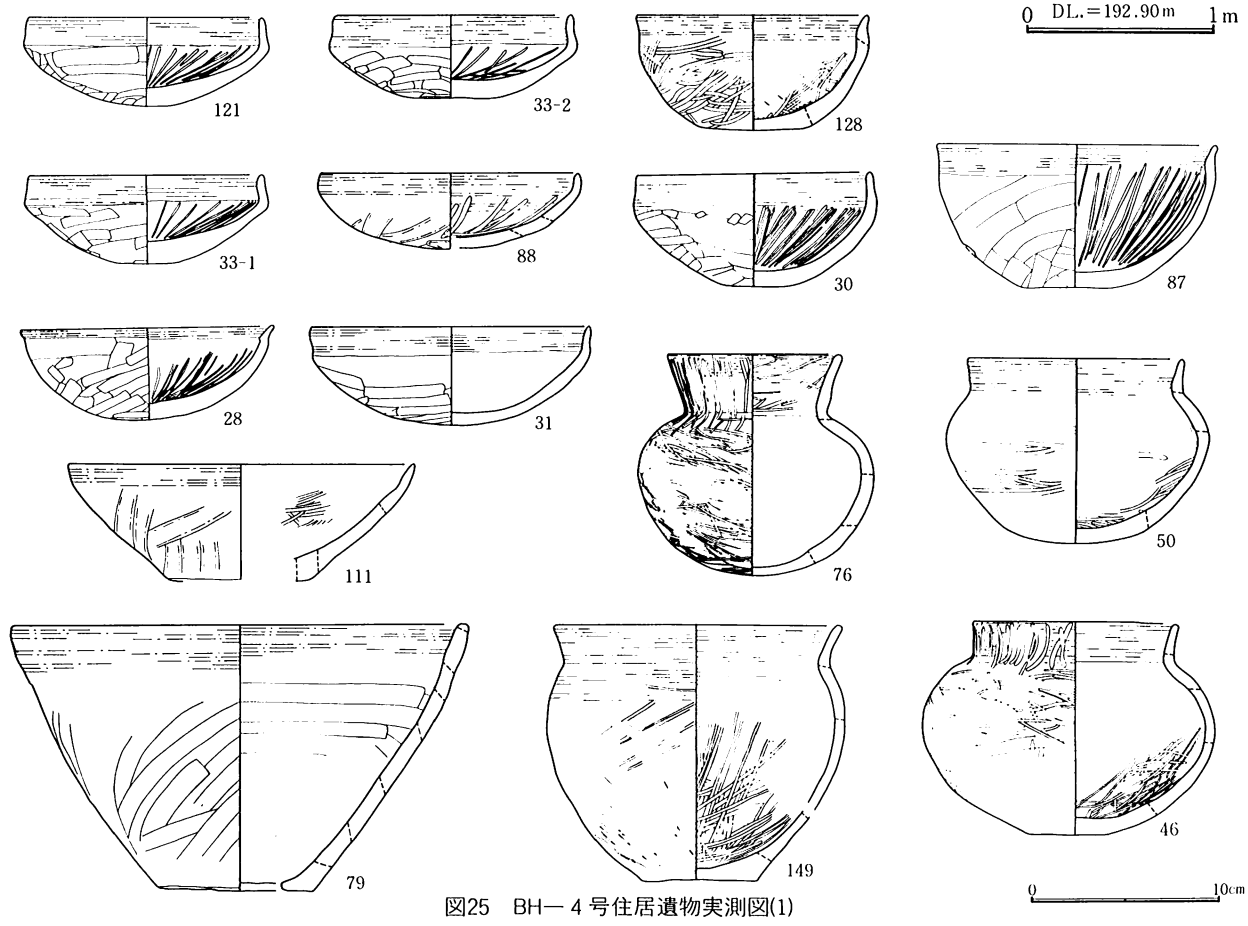


図25　BH—4号住居遺物実測図(1)

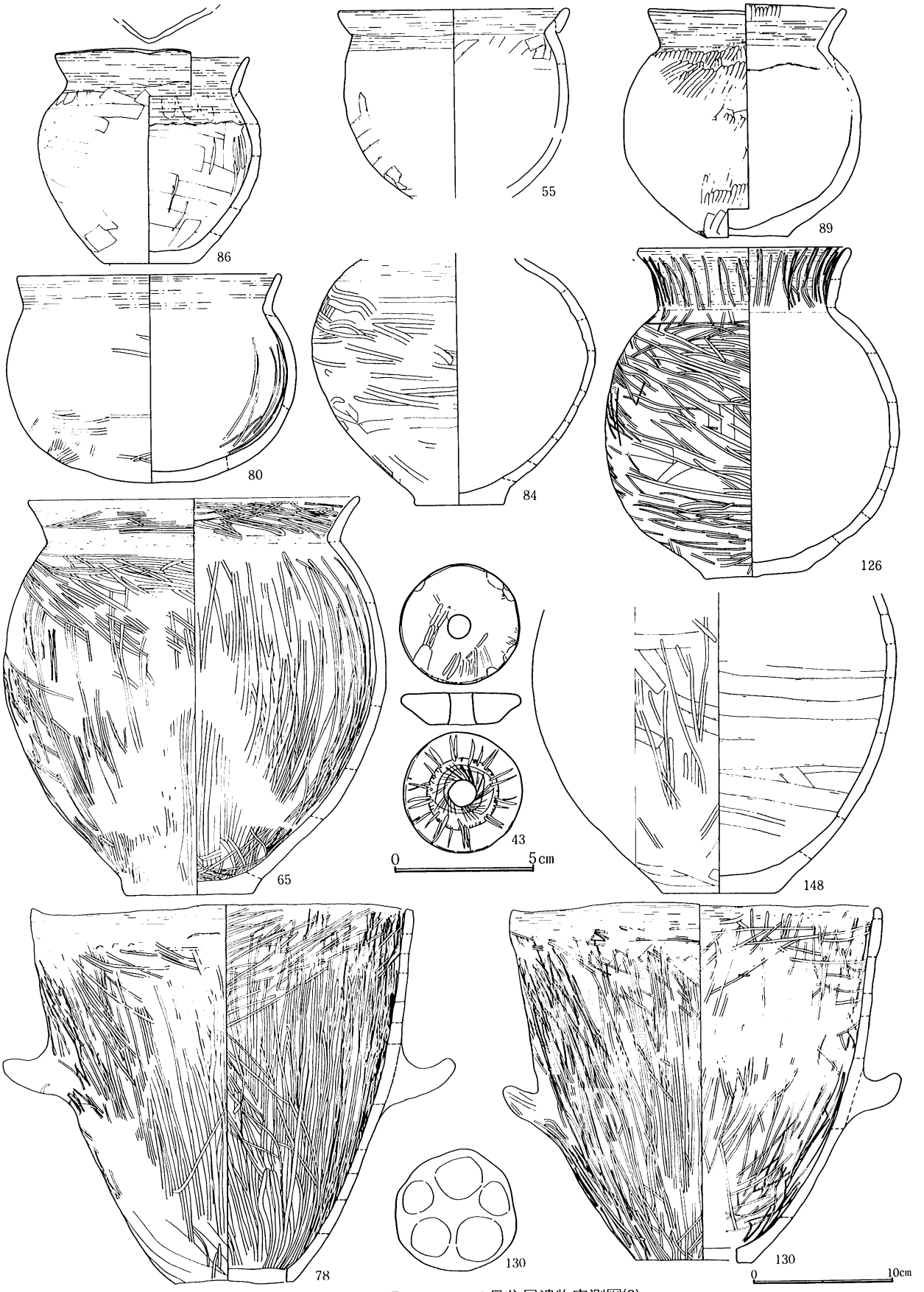


図26　BH－4号住居遺物実測図(2)

図27・図28　D—1号古墳実測図・遺物実測図

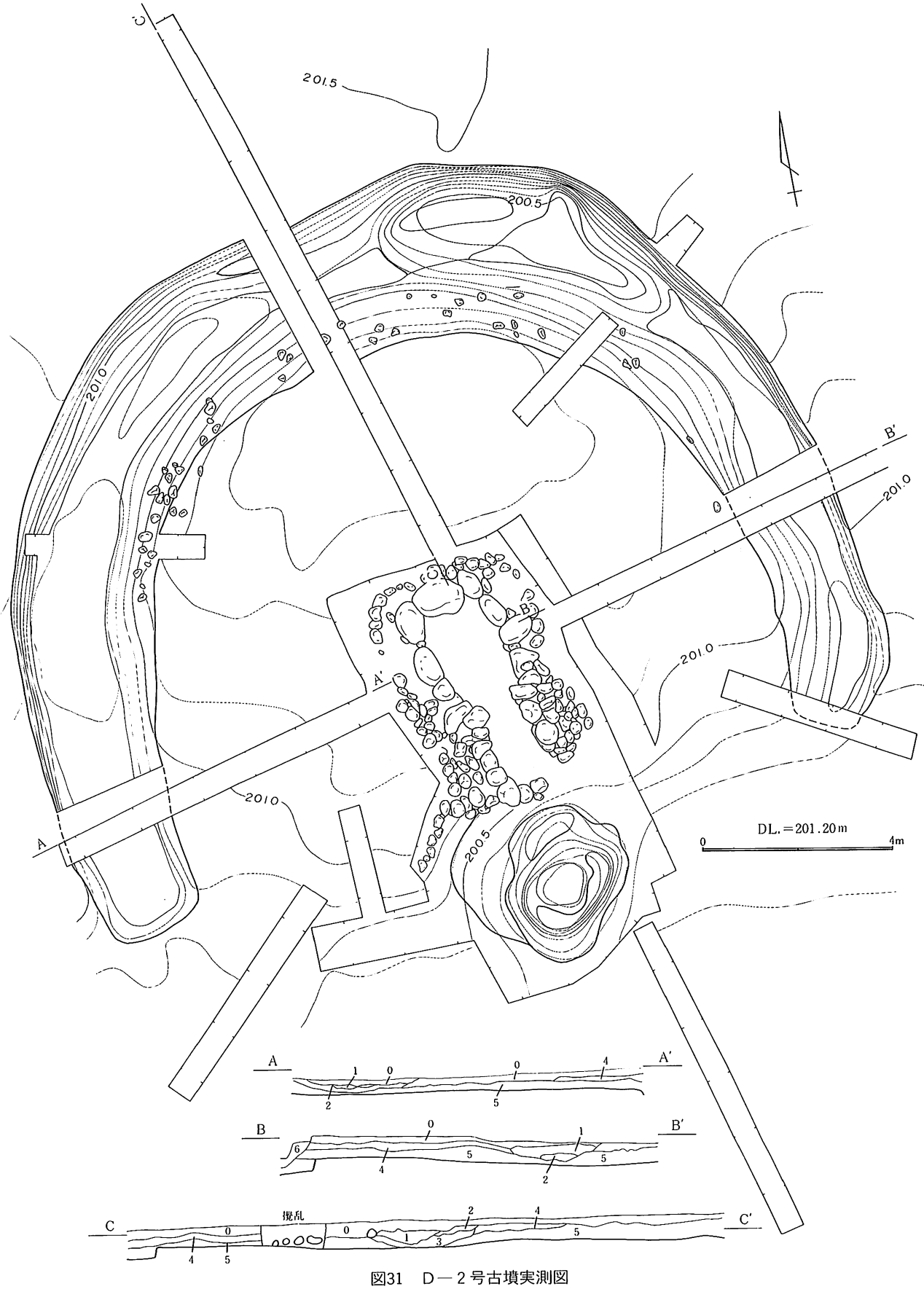


図31　D－2号古墳実測図

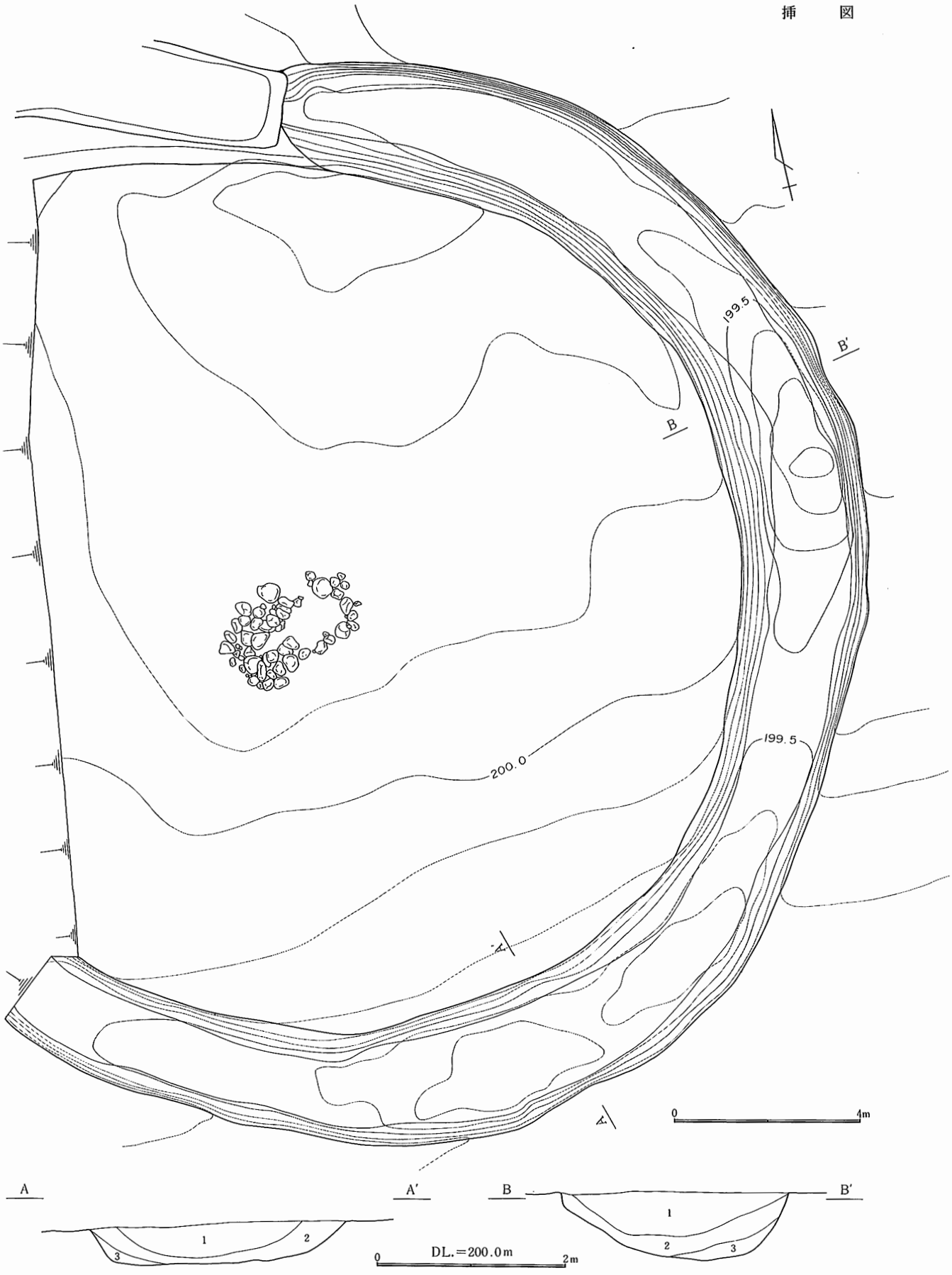


図35　D－3号古墳実測図

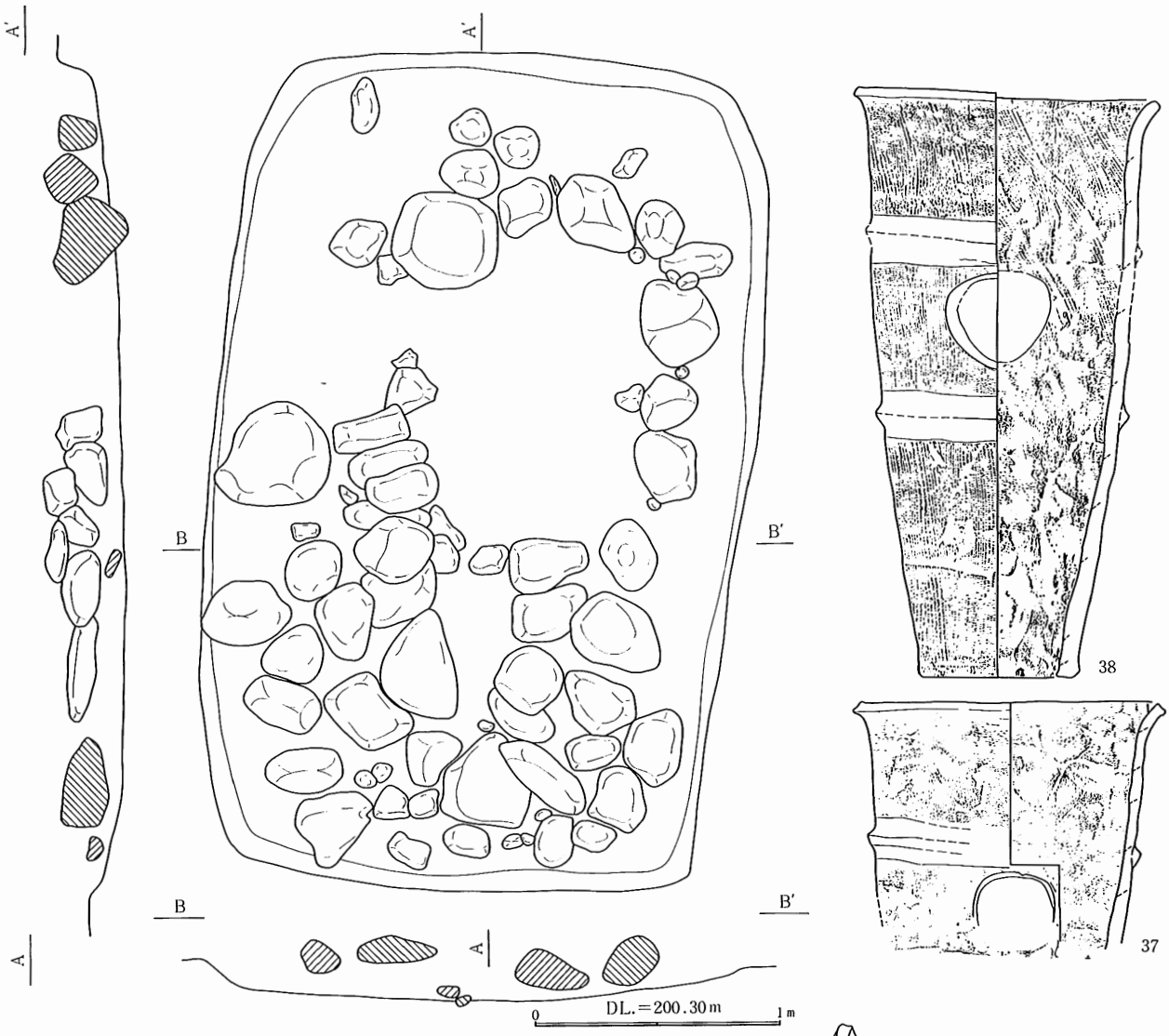


図36　D－3号古墳石室実測図

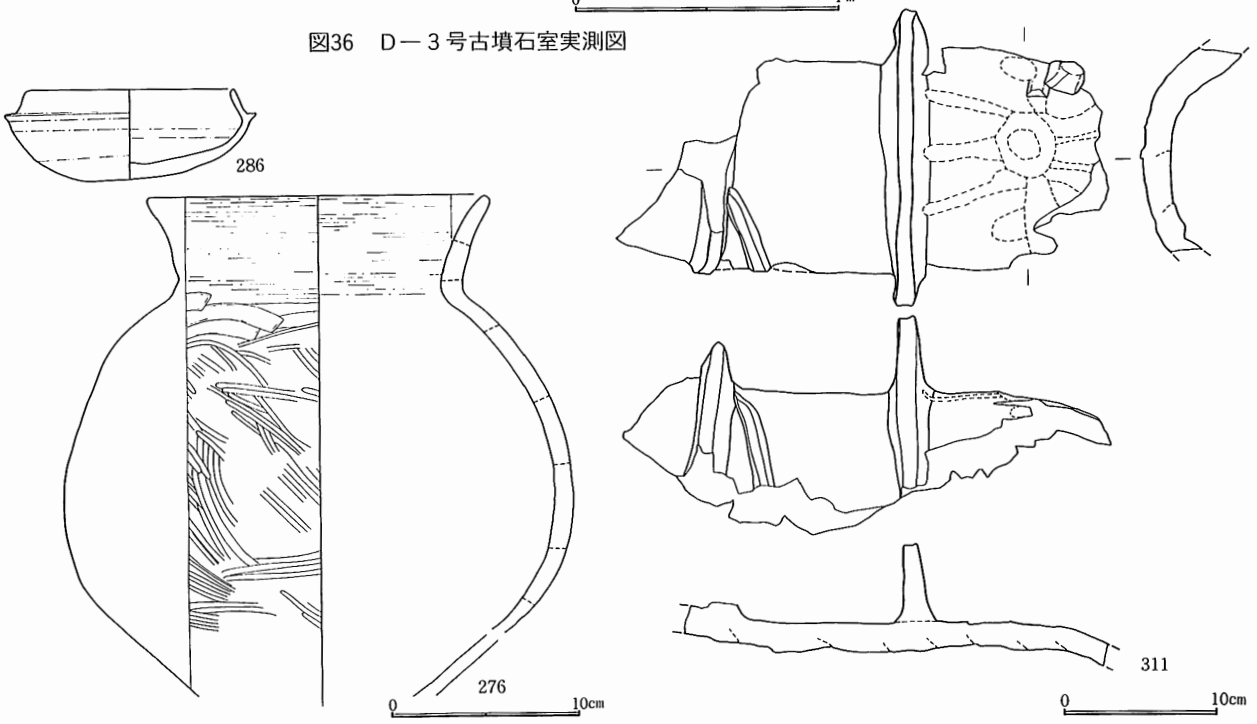


図37　D－3号古墳遺物実測図

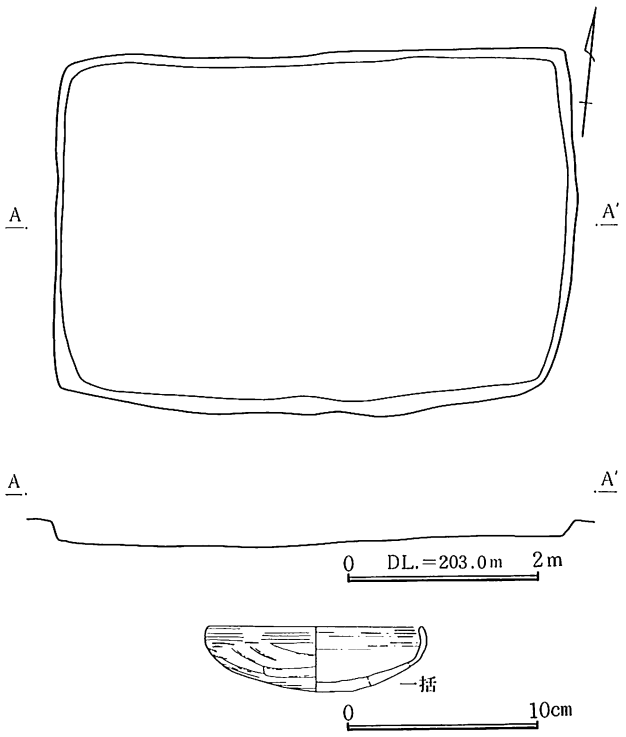


図38　D－1号土壙実測図・遺物実測図

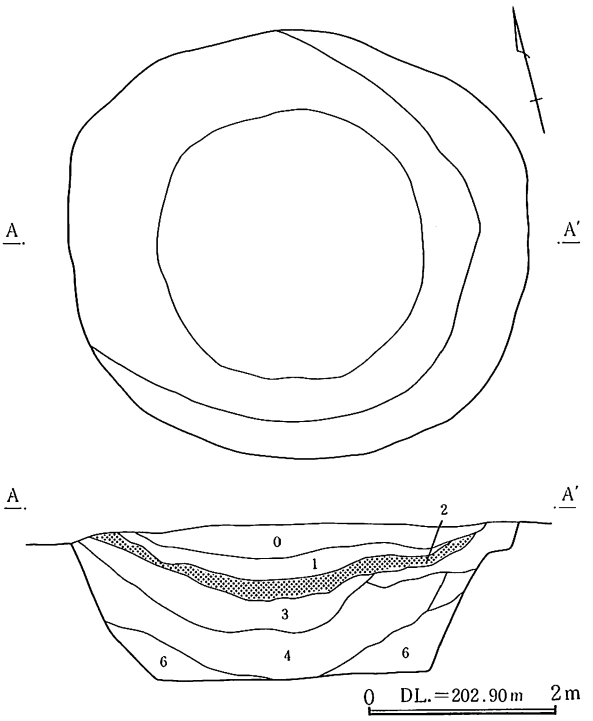


図40　D－3号土壙実測図

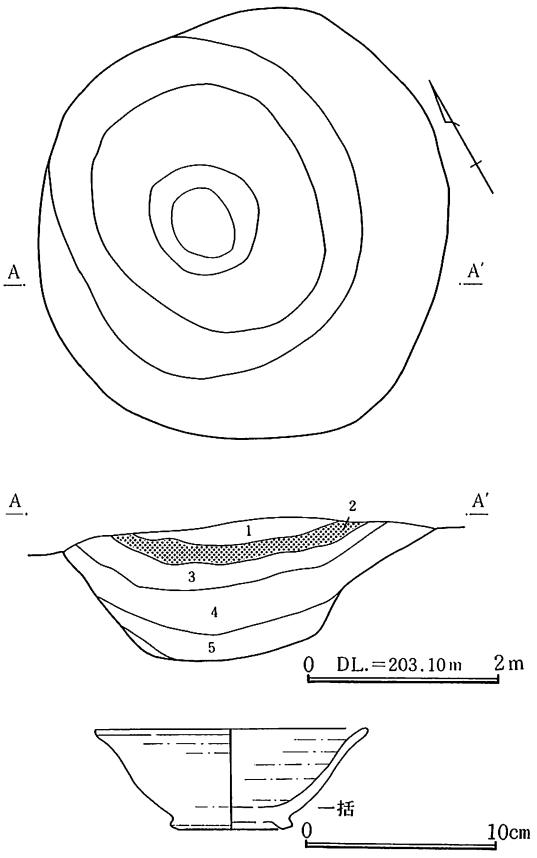


図39　D－2号土壙実測図・遺物実測図

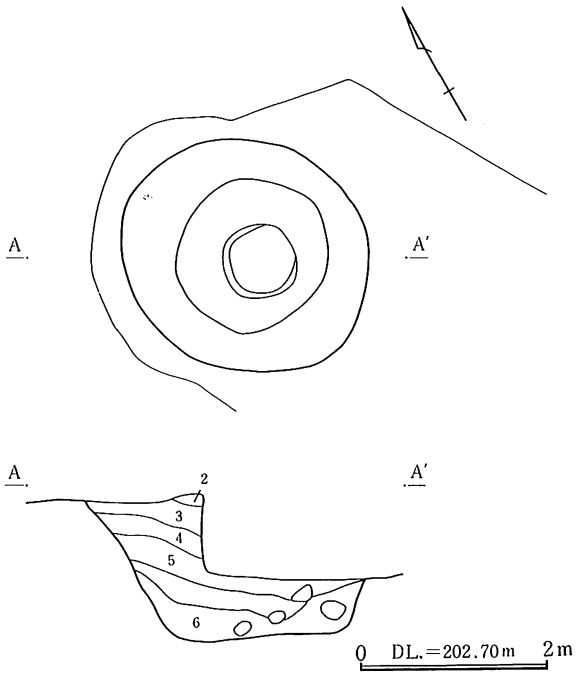


図41　D－4号土壙実測図

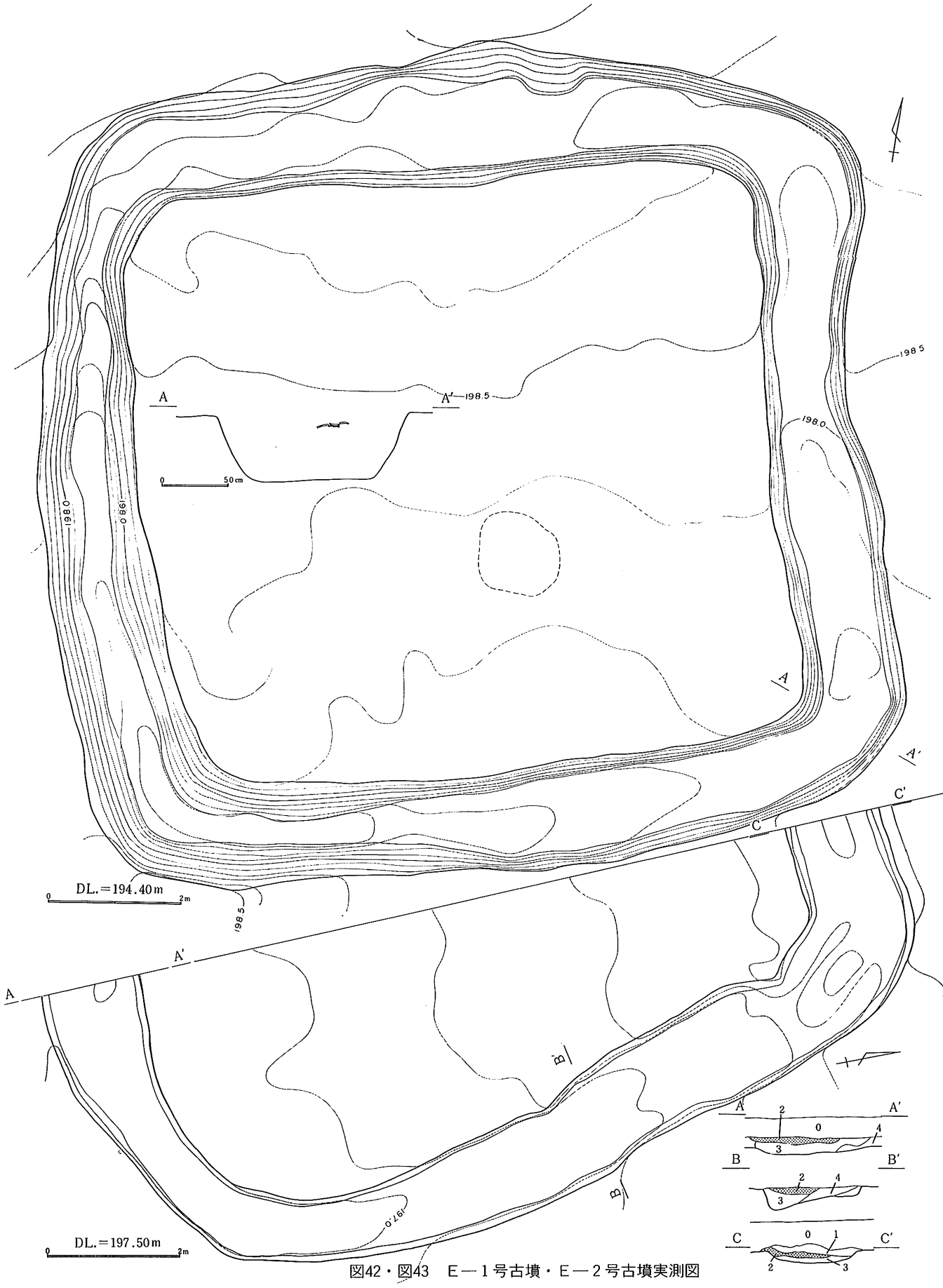


図42・図43　E—1号古墳・E—2号古墳実測図

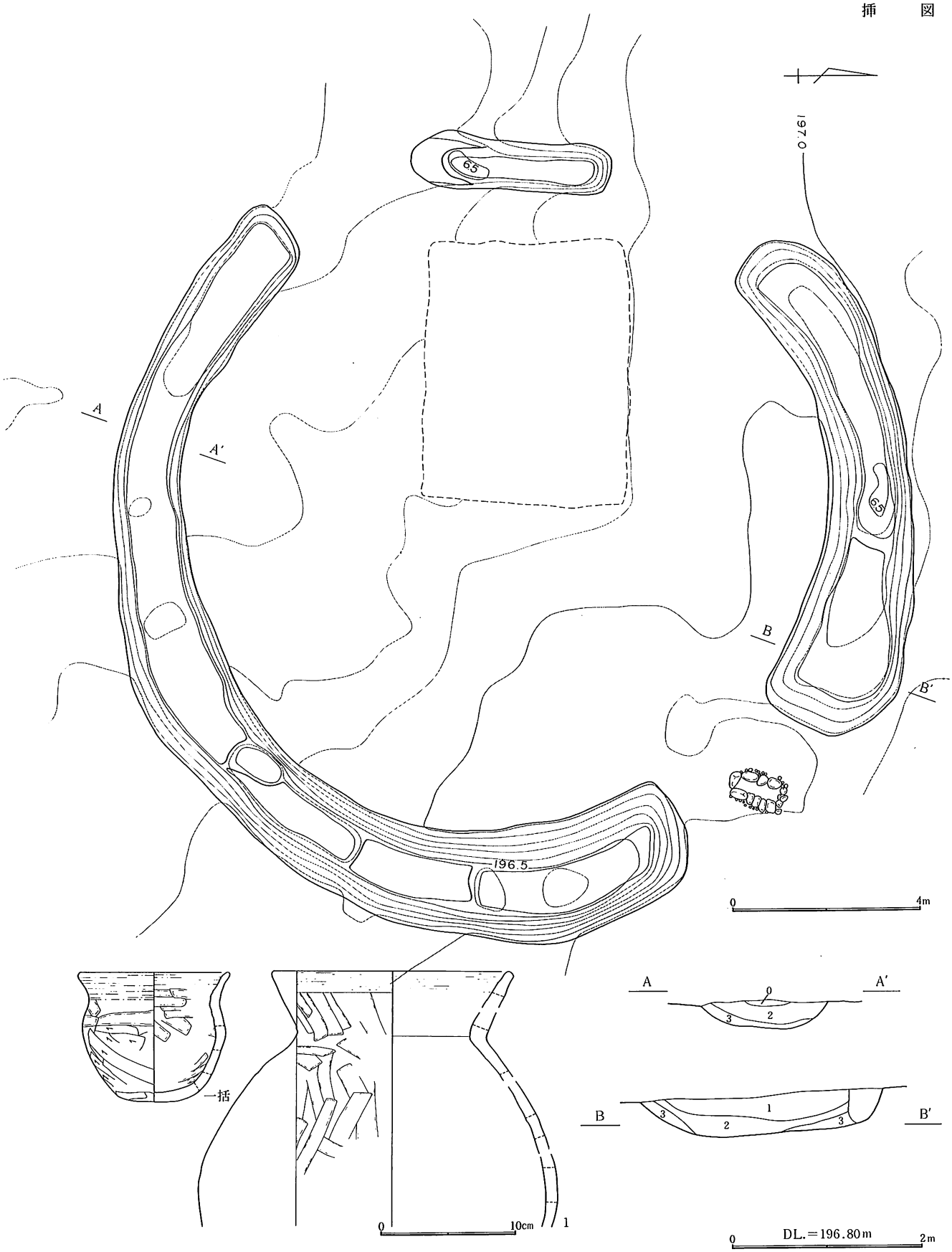


図44　E－1号古墳遺物実測図

図45　E－4号古墳実測図

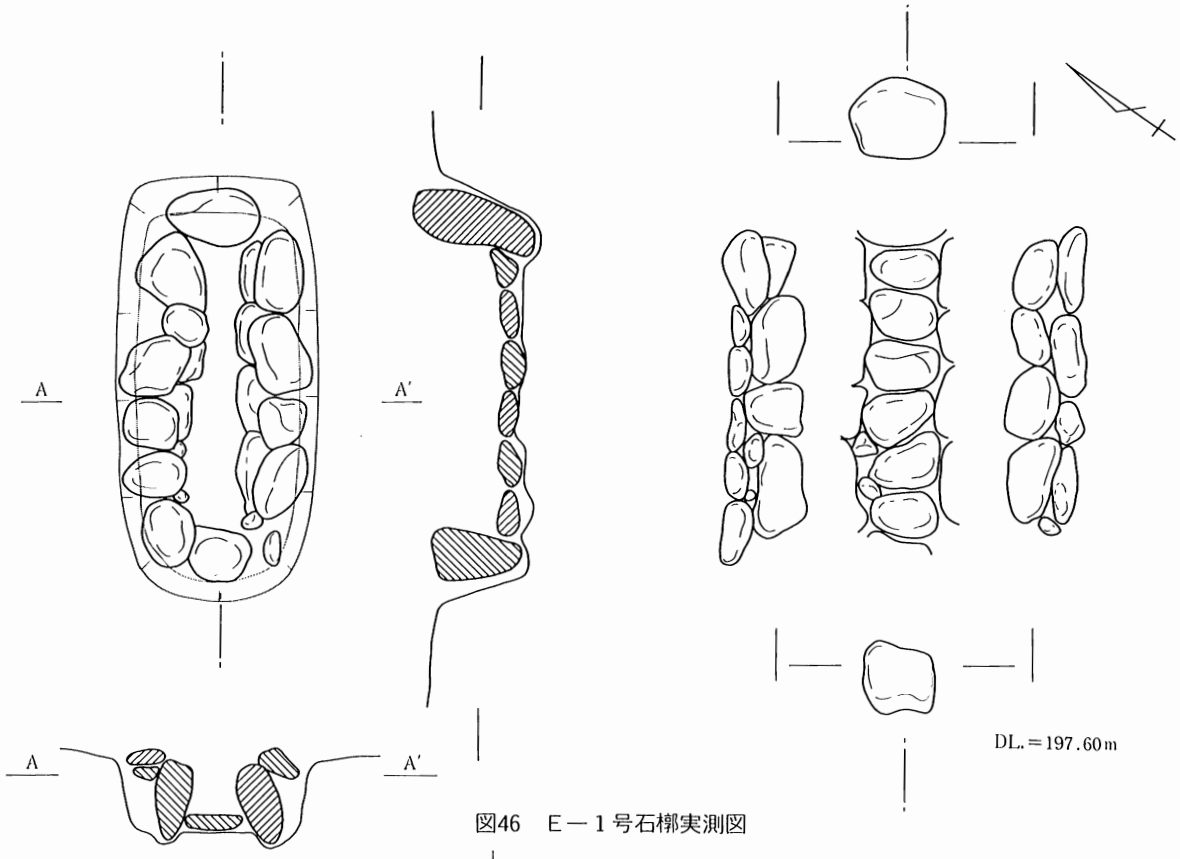


図46　E－1号石槨実測図

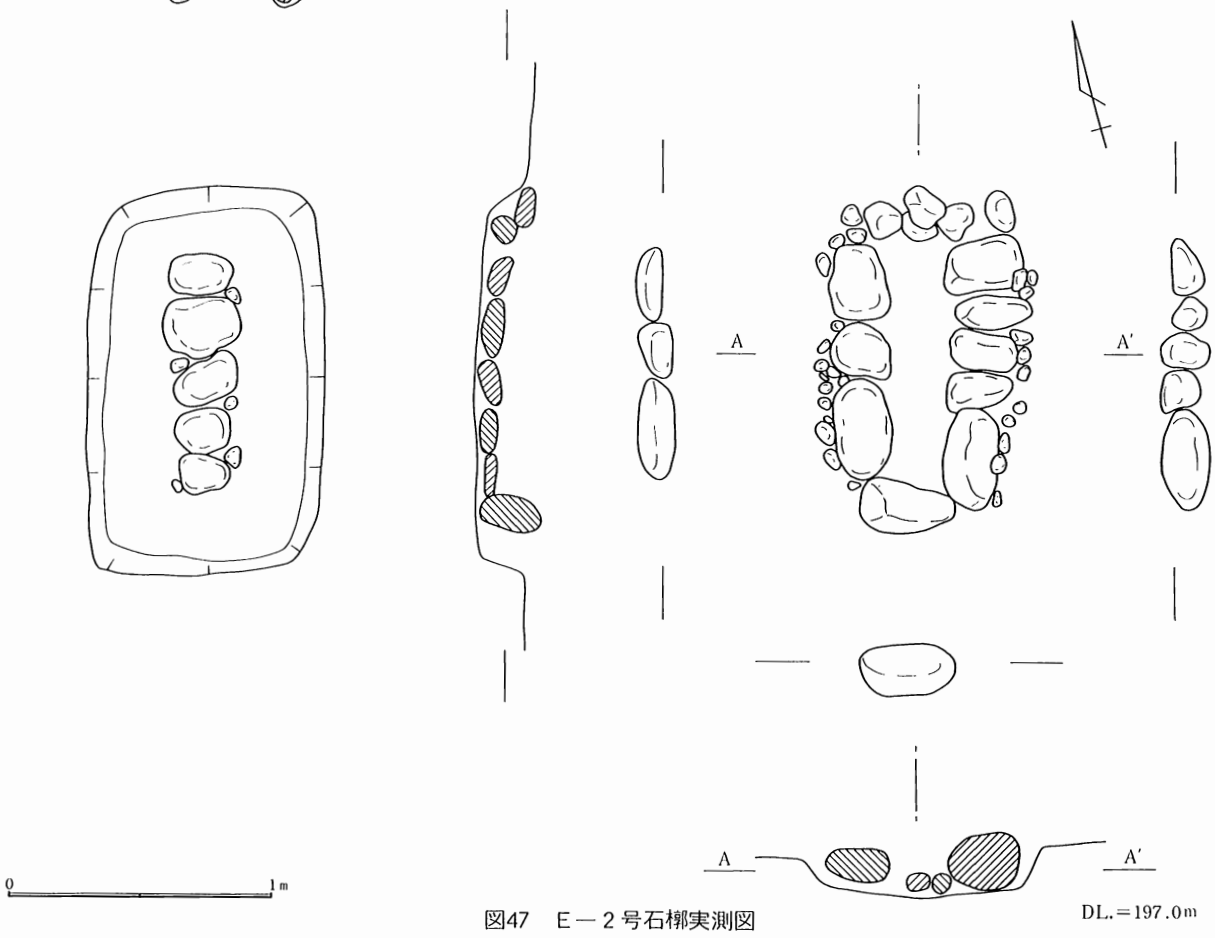


図47　E－2号石槨実測図

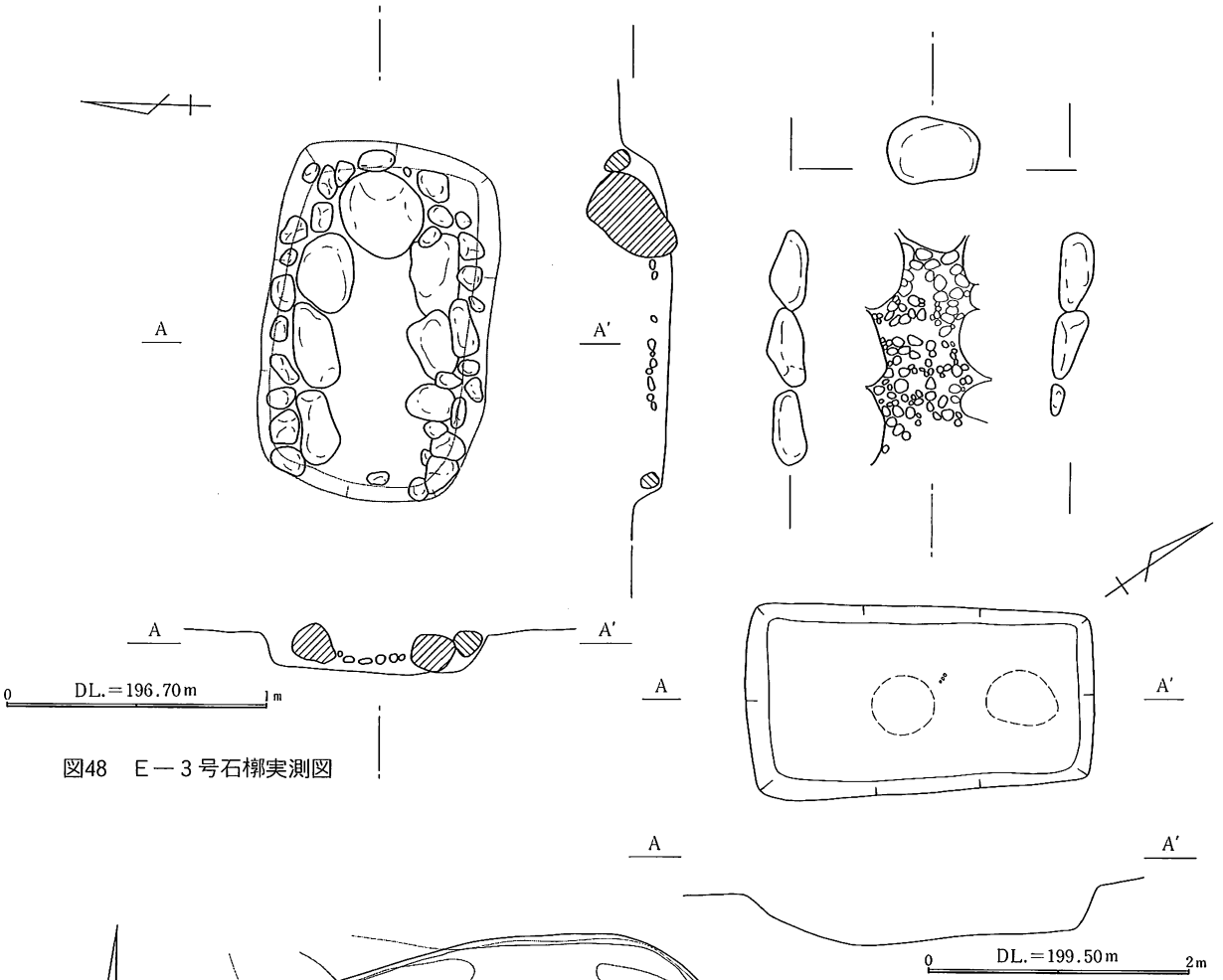


図48　E－3号石槨実測図

図49　E－1号土壙実測図

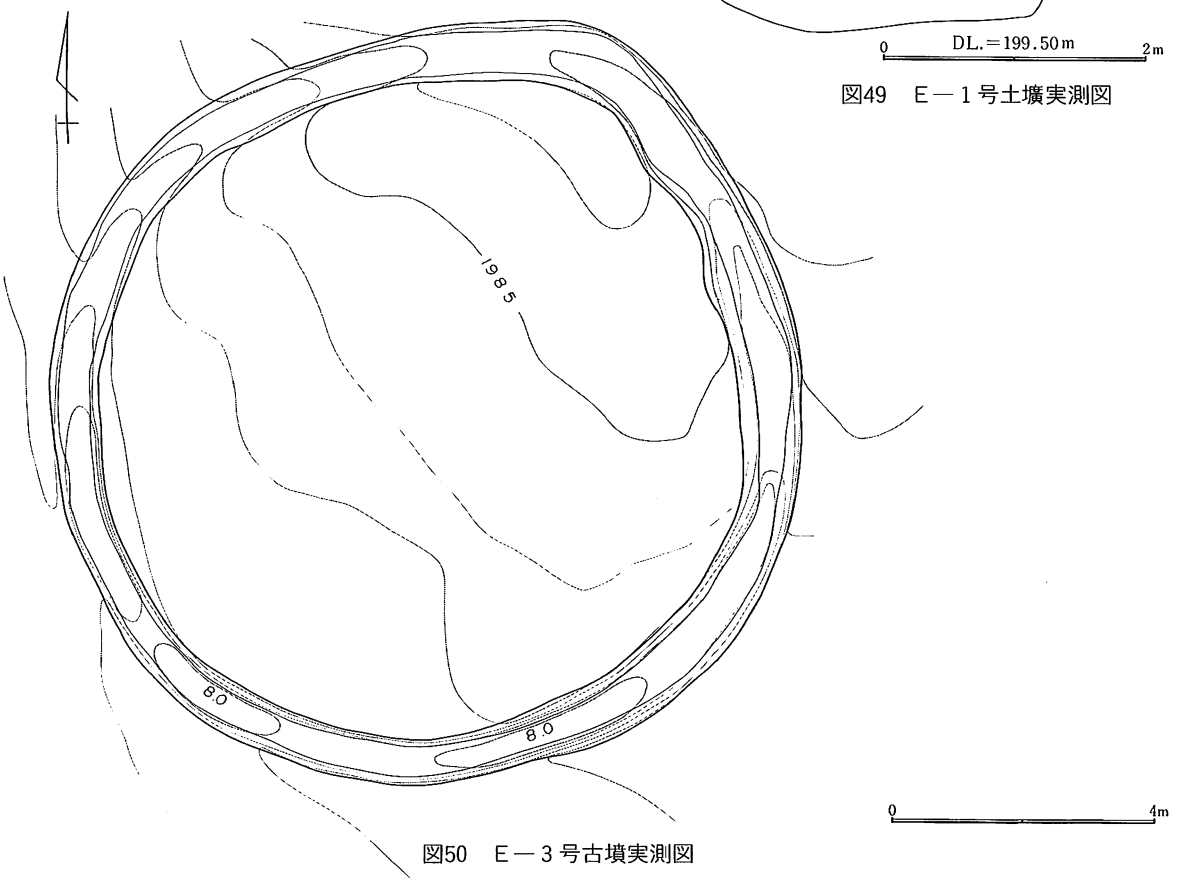


図50　E－3号古墳実測図

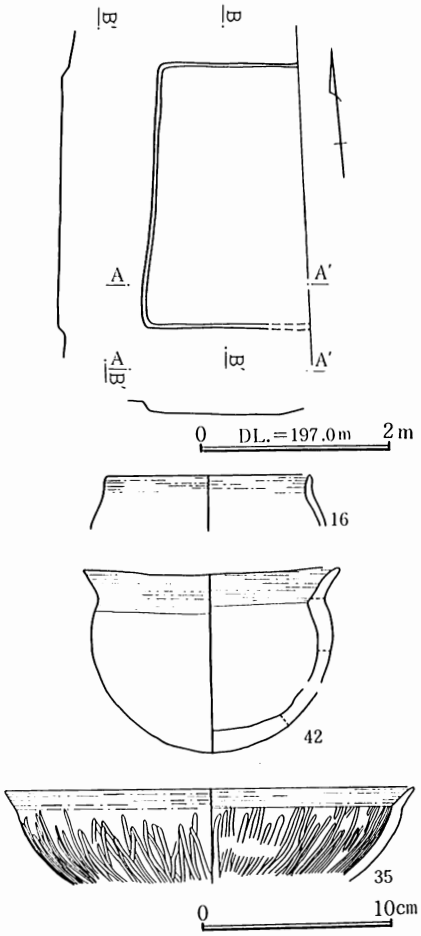


図51　EH—1号住居実測図・遺物実測図

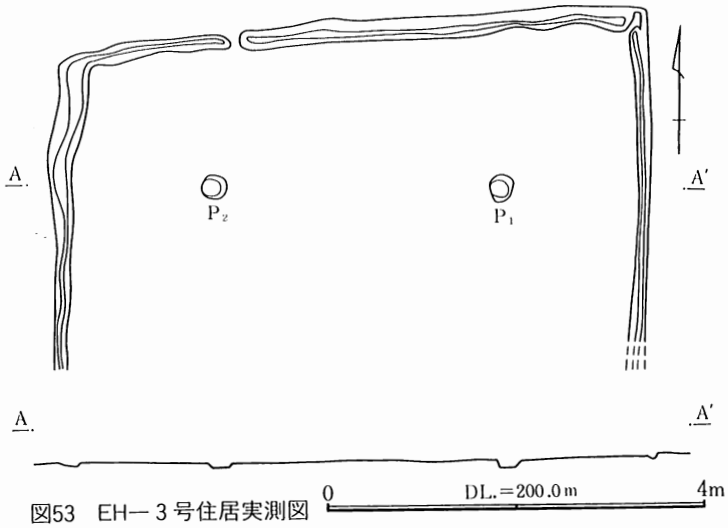


図53　EH—3号住居実測図

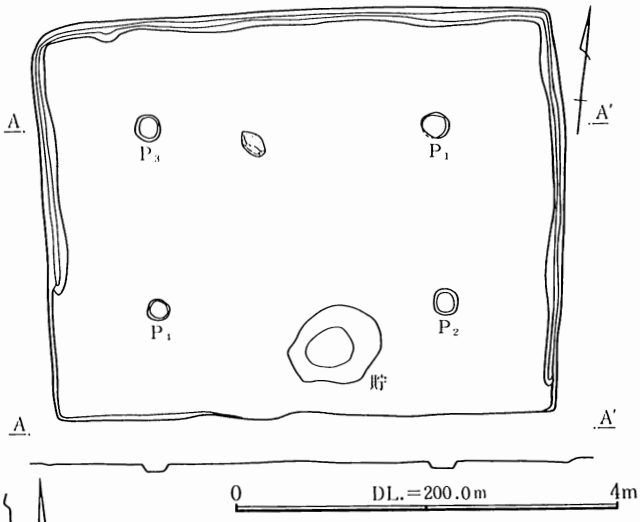


図54　EH—4号住居実測図

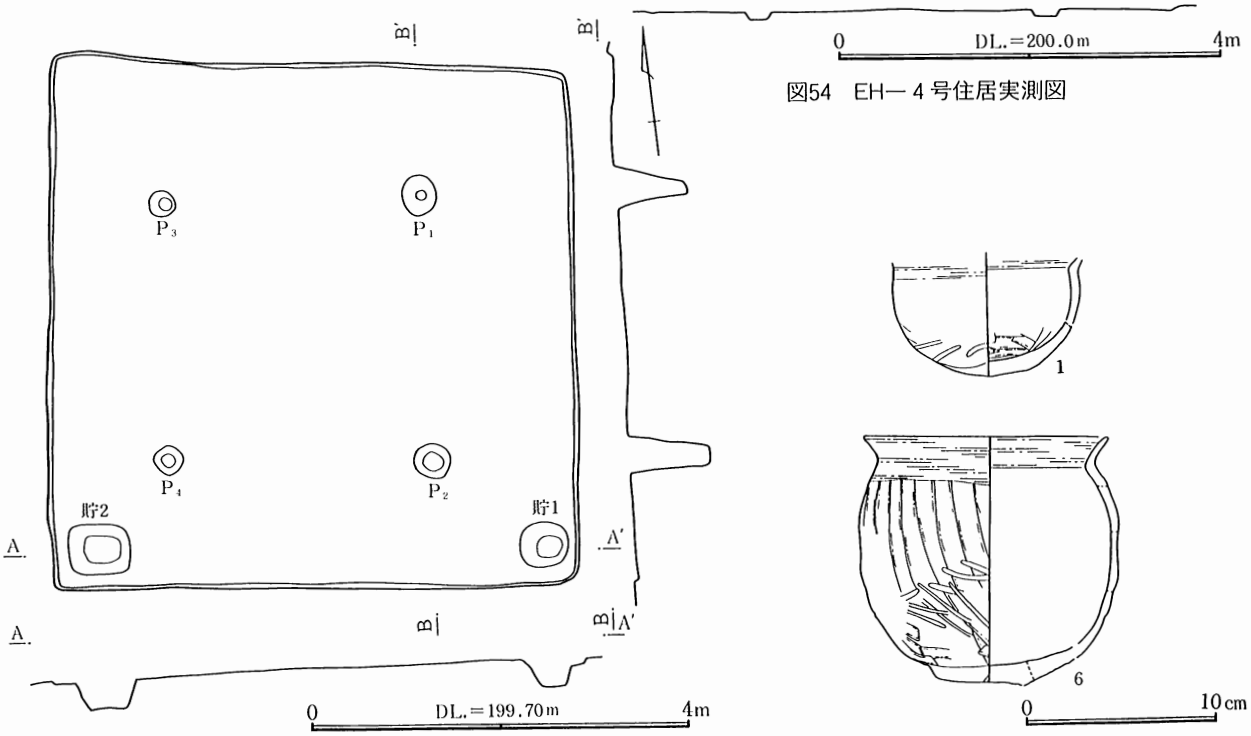


図52　EH—2号住居実測図・遺物実測図

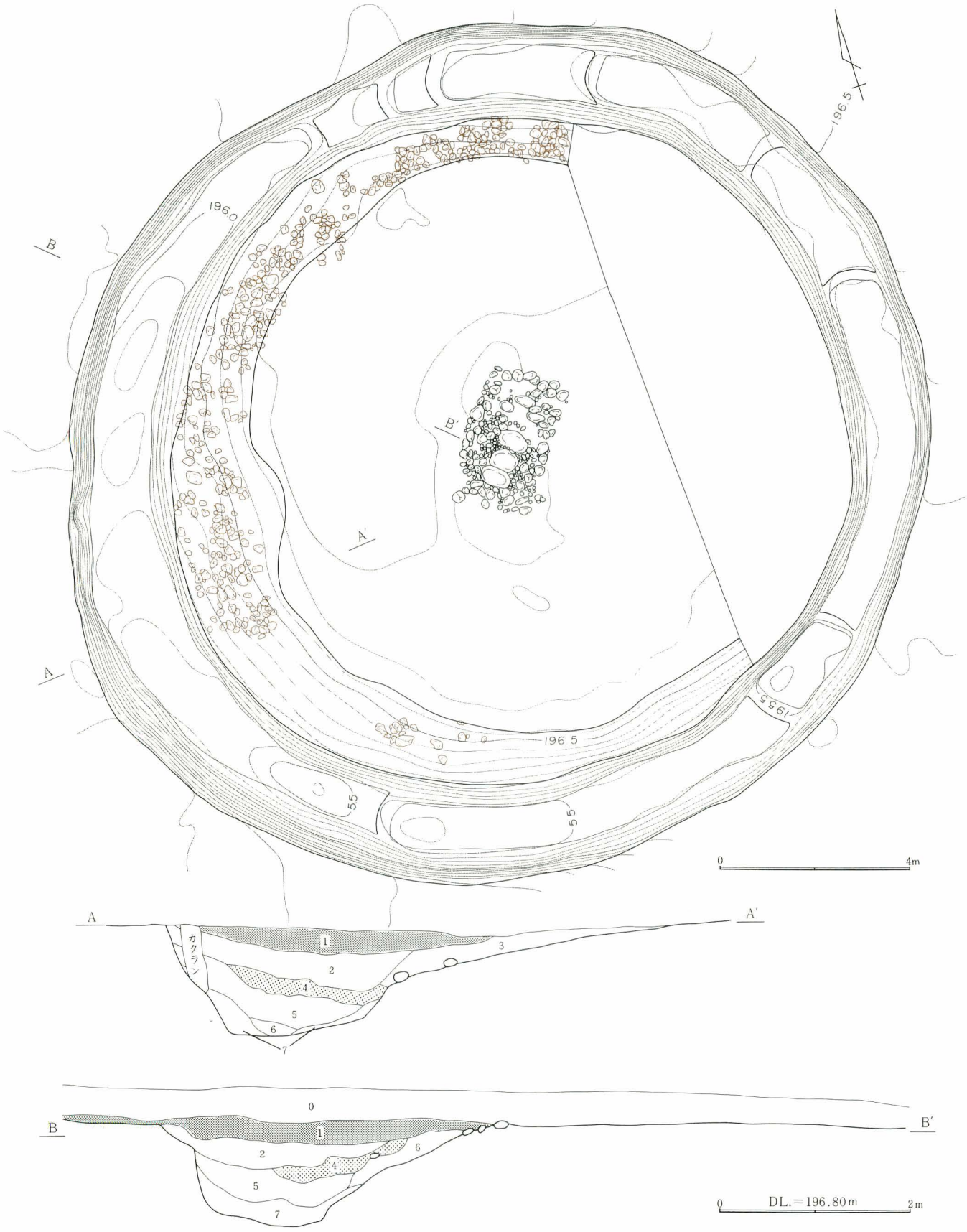


図55　F－1号古墳実測図

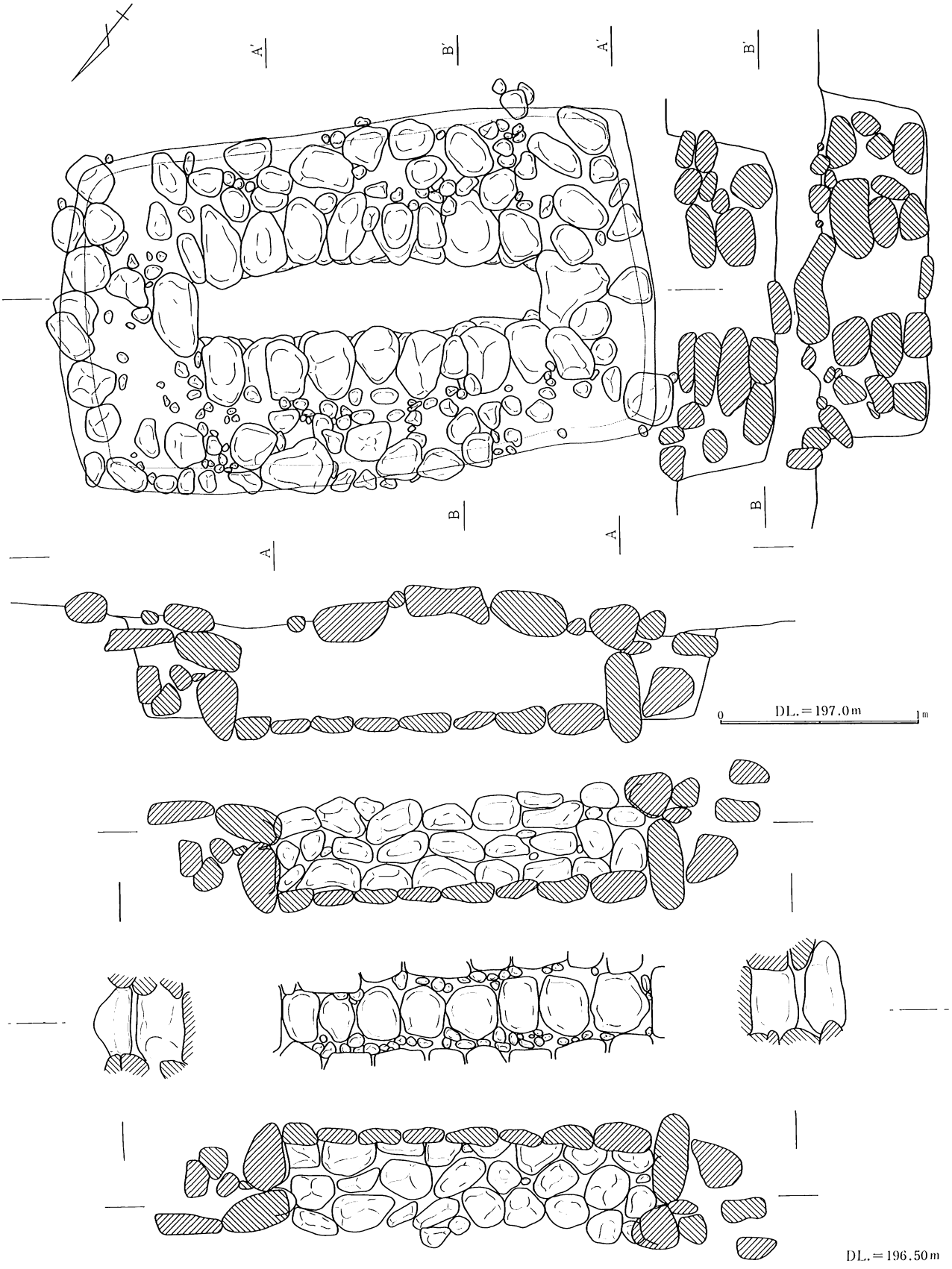


図56　F－1号古墳石室実測図

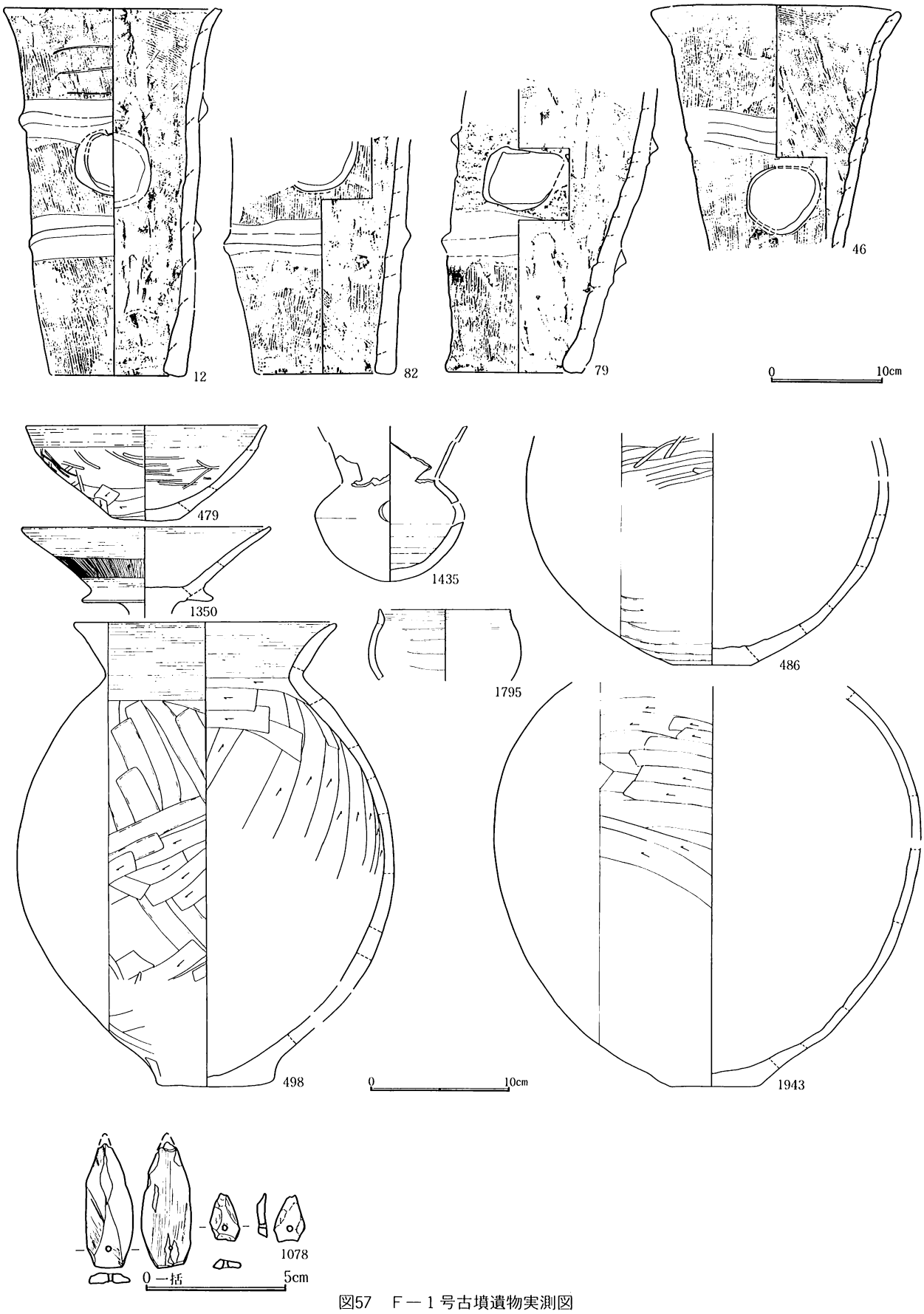


図57　F－1号古墳遺物実測図

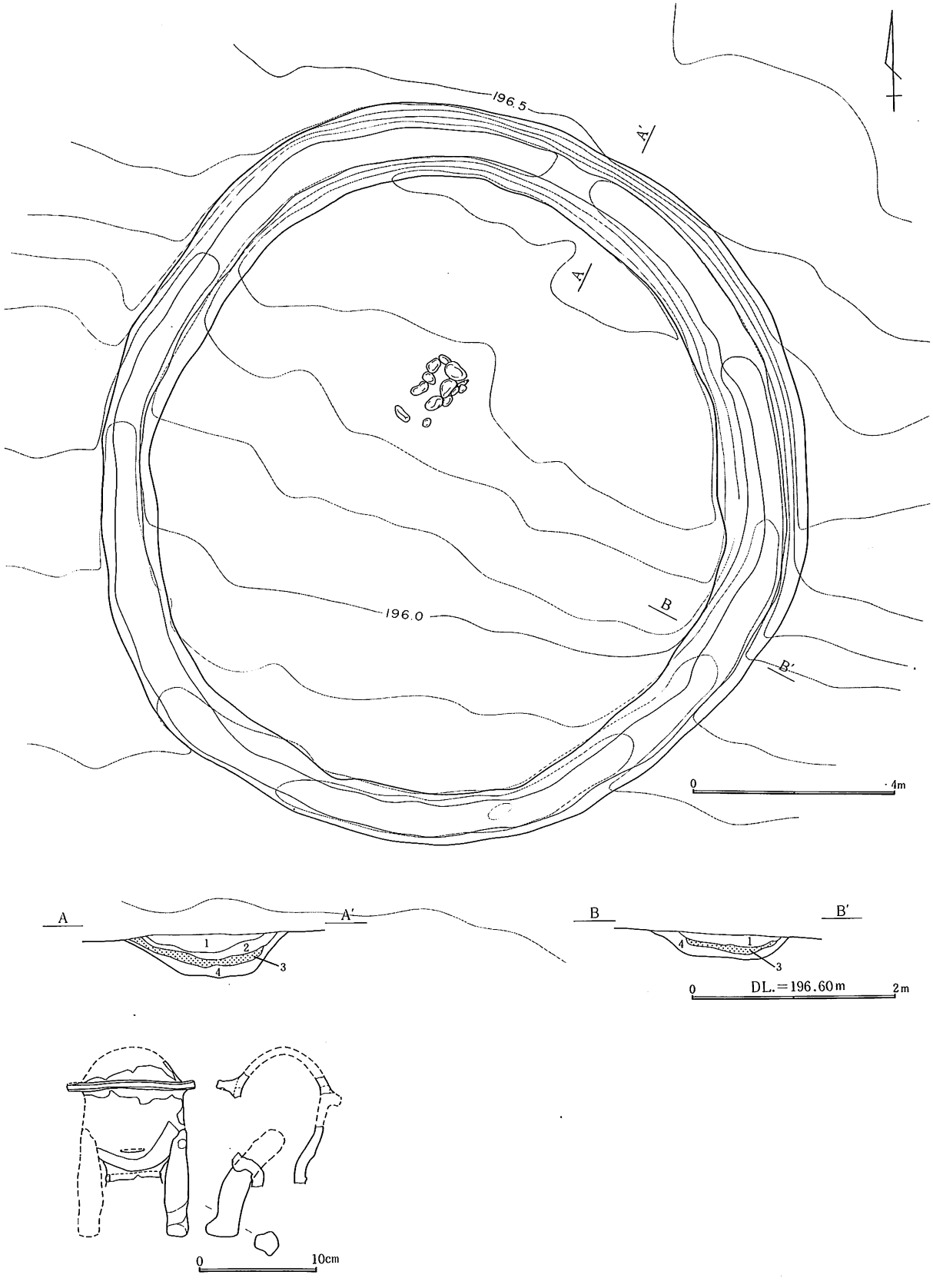


図60・図61　F—3号古墳実測図・遺物実測図

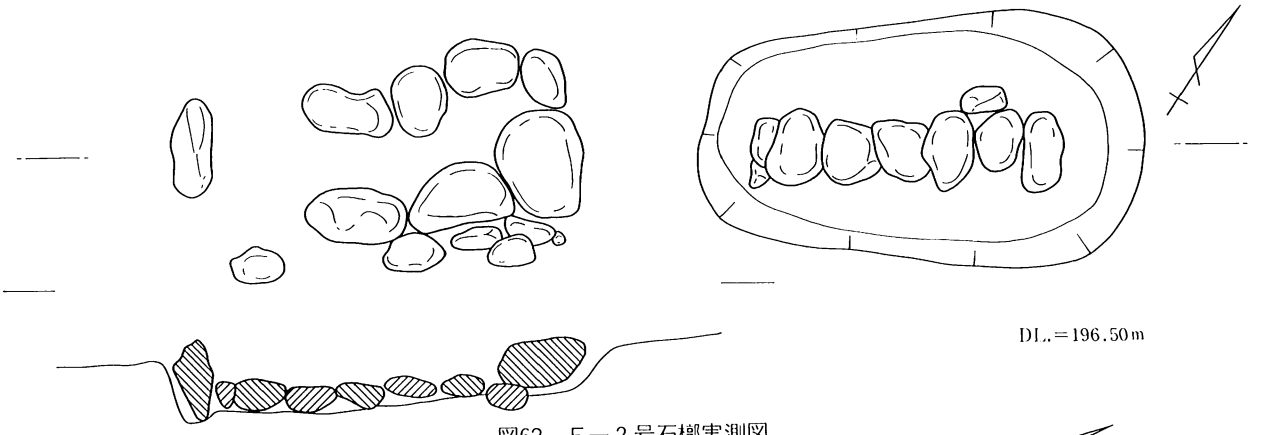


図62　F－2号石槨実測図

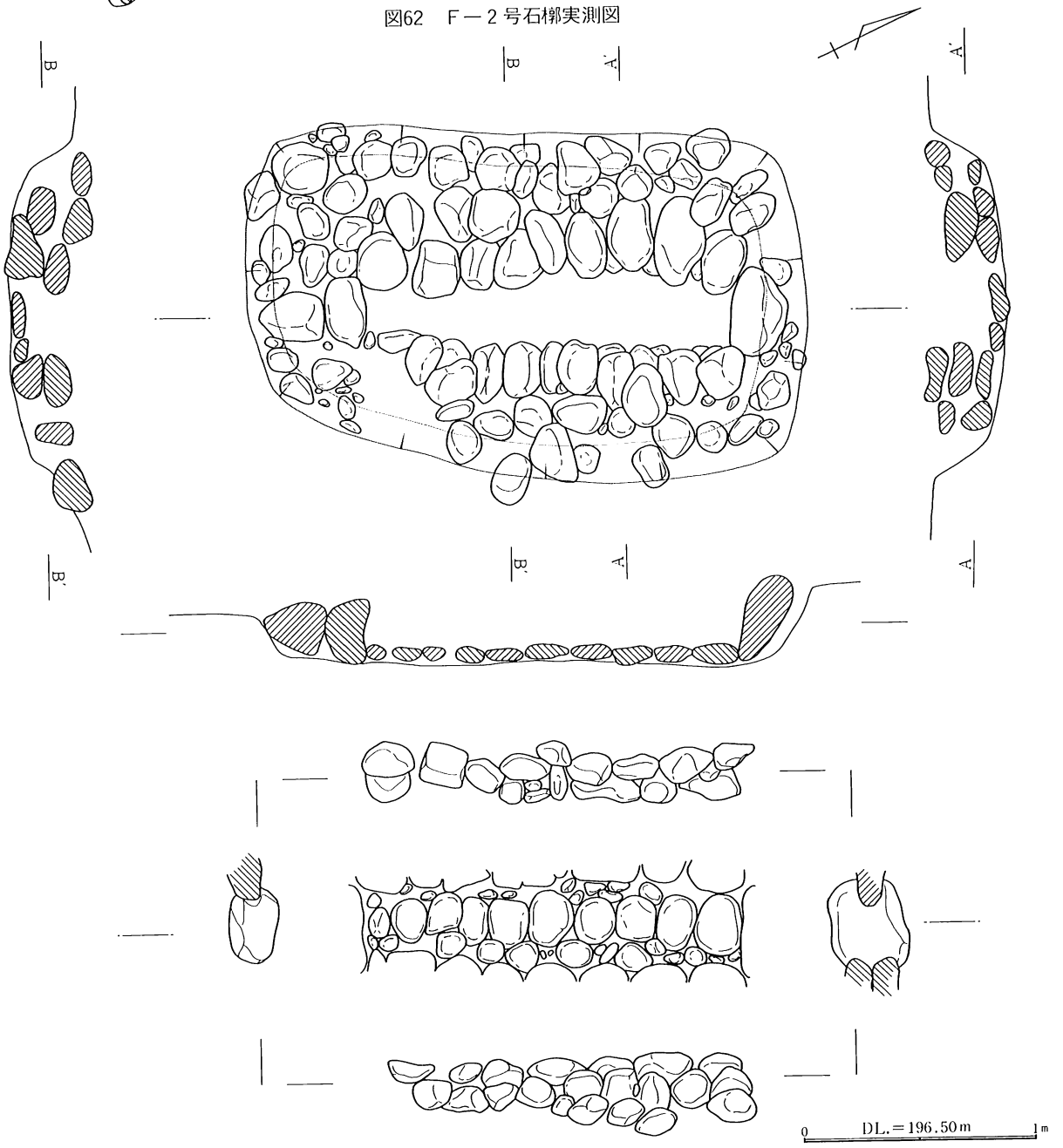


図63　F－1号石槨実測図

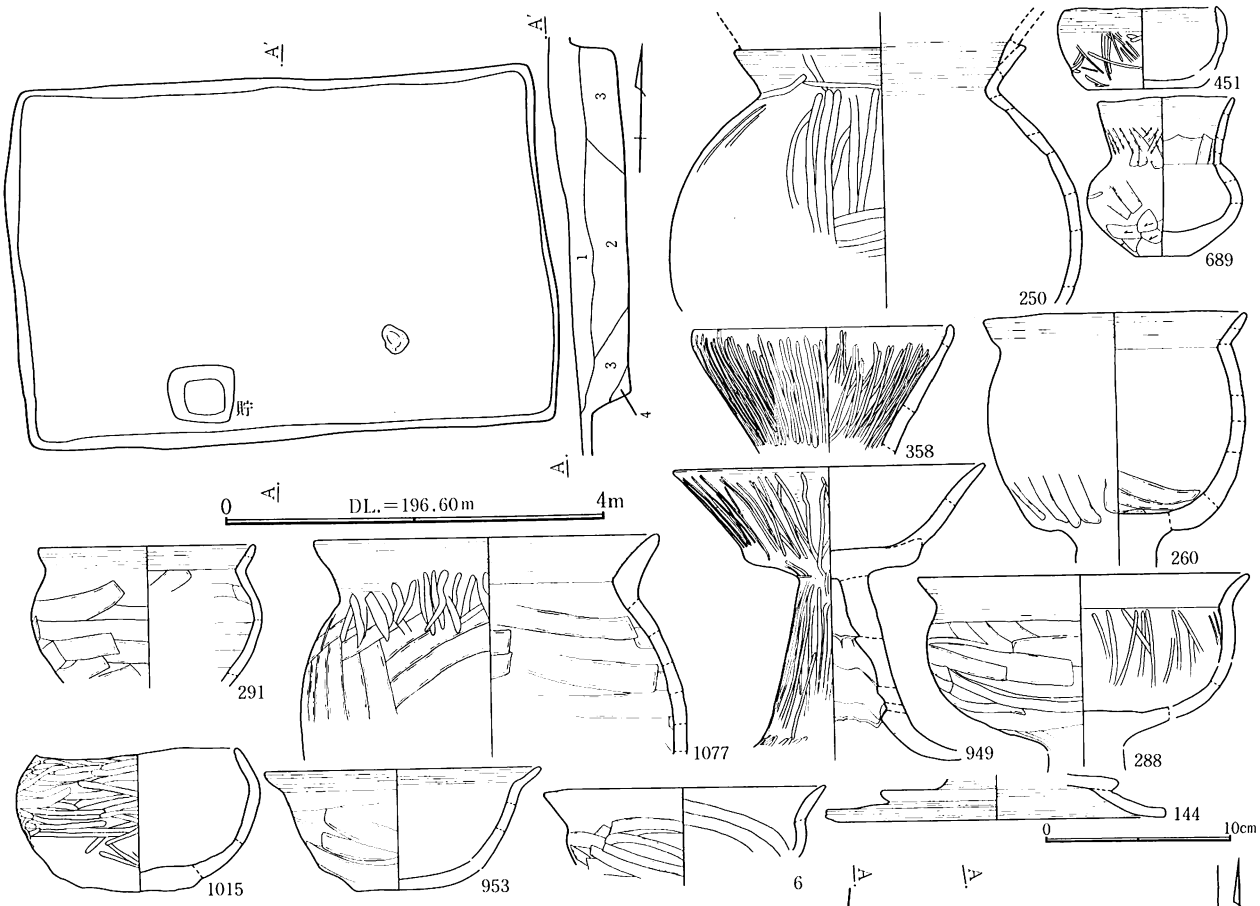


図64　FH—1号住居実測図・遺物実測図

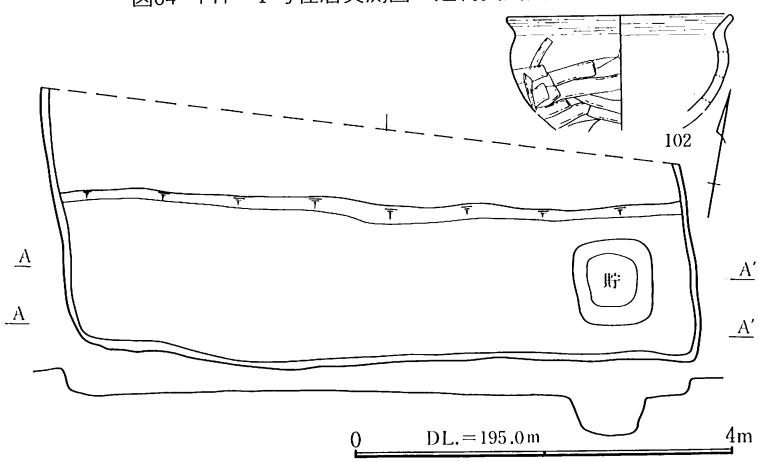


図65　FH—2号住居実測図・遺物実測図

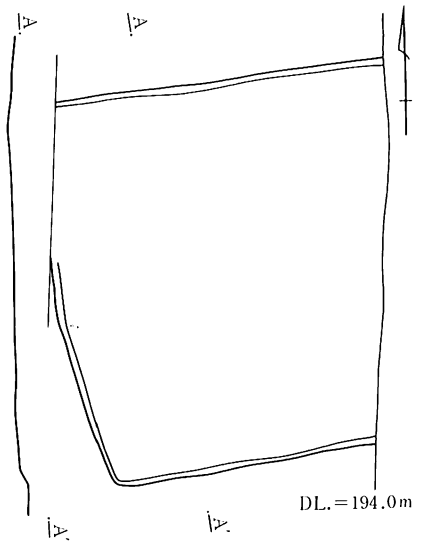


図66　FH—4号住居実測図

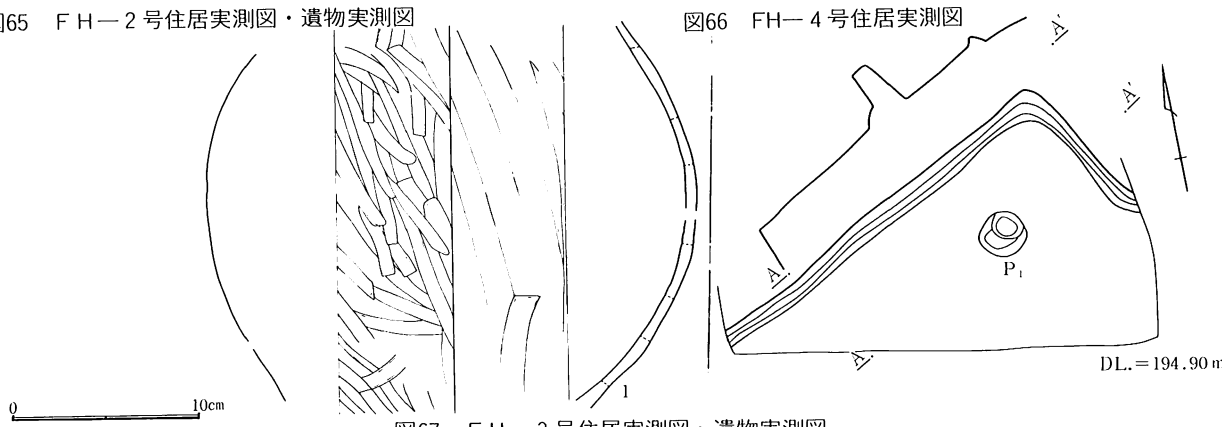


図67　FH—3号住居実測図・遺物実測図

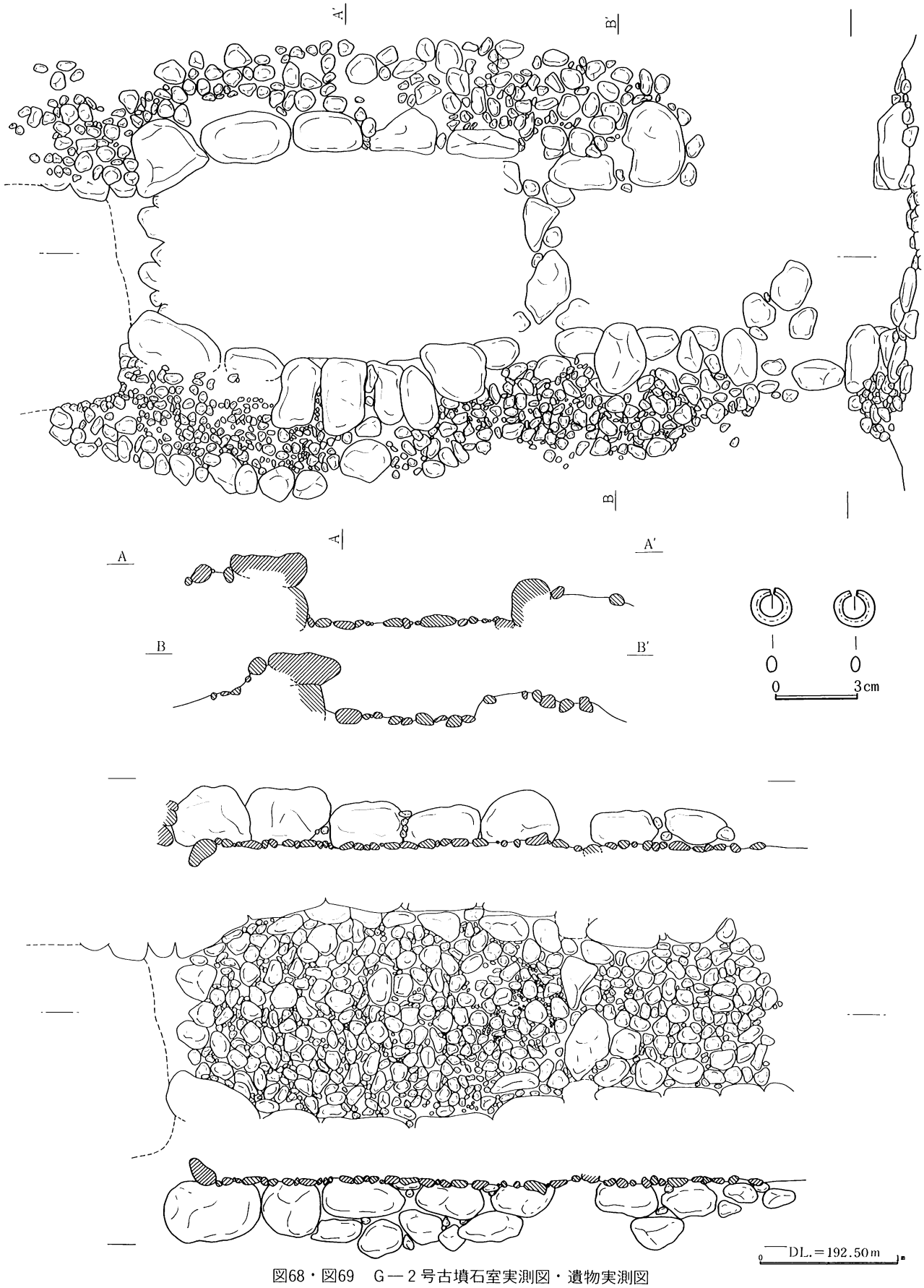
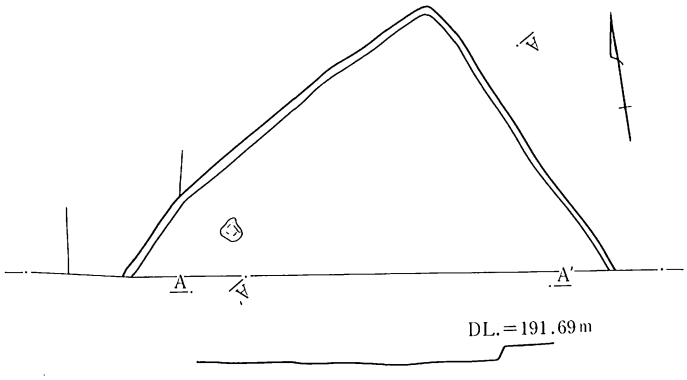


図68・図69　G－2号古墳石室実測図・遺物実測図



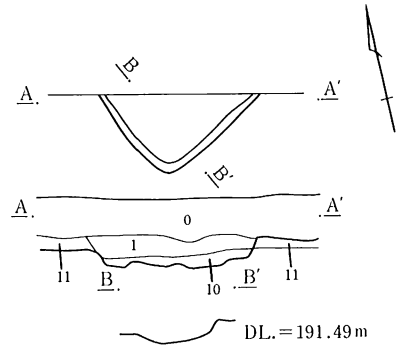


図71　GH―２号住居実測図

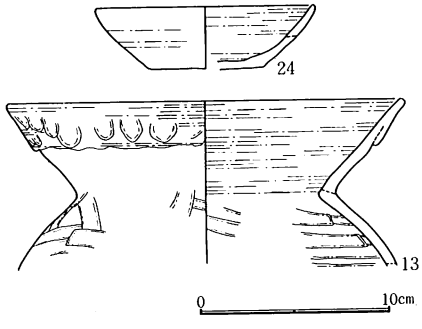
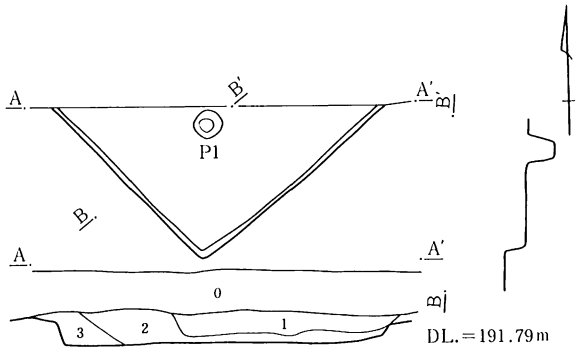


図70　GH―１号住居実測図・遺物実測図



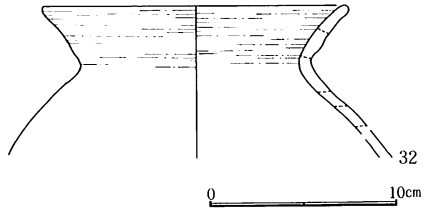
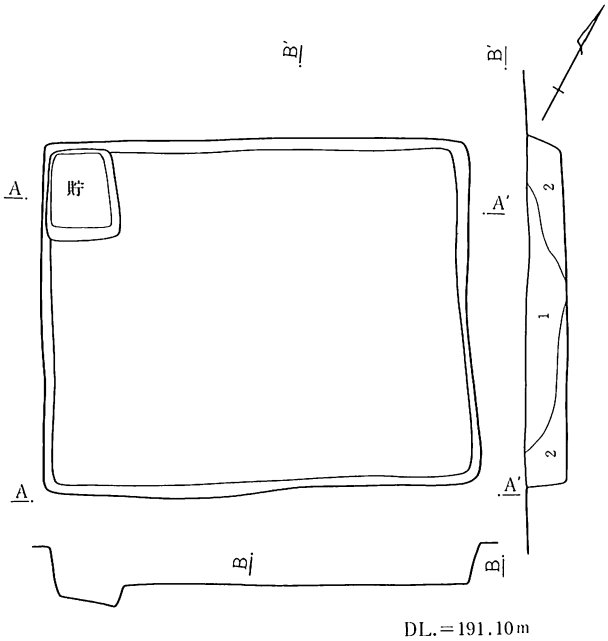


図72　GH―３号住居実測図・遺物実測図



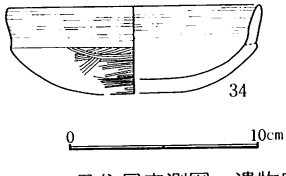


図73　GH―５号住居実測図・遺物実測図

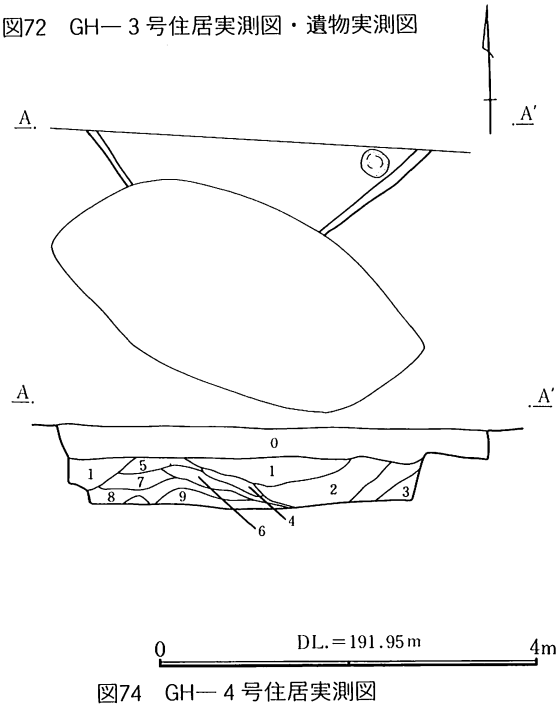


図74　GH―４号住居実測図

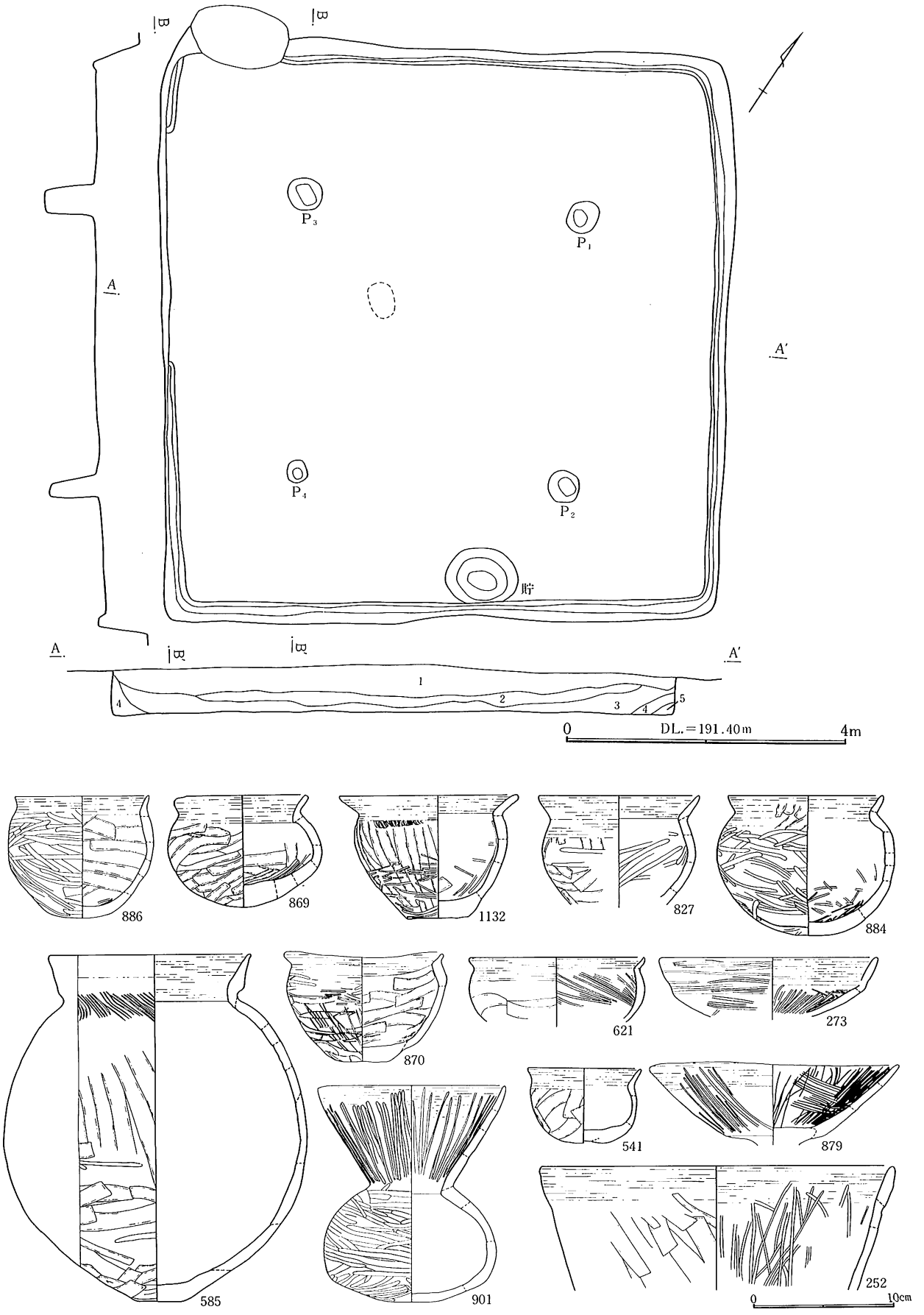


図75　GH—6号住居実測図・遺物実測図

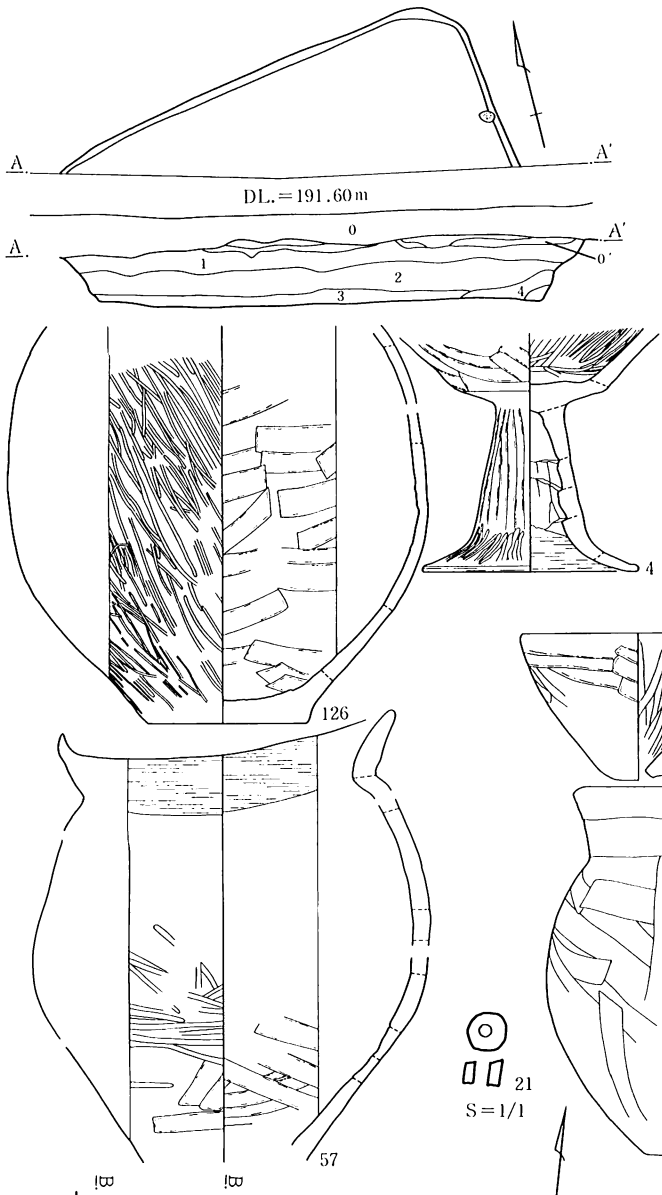
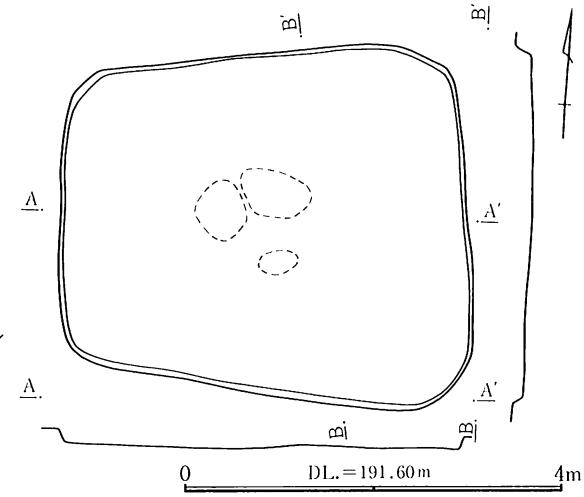


図76　GH―７号住居実測図・遺物実測図



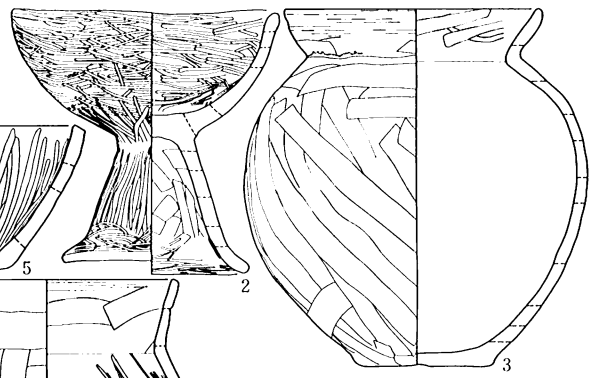


図77　GH―９号住居実測図・遺物実測図

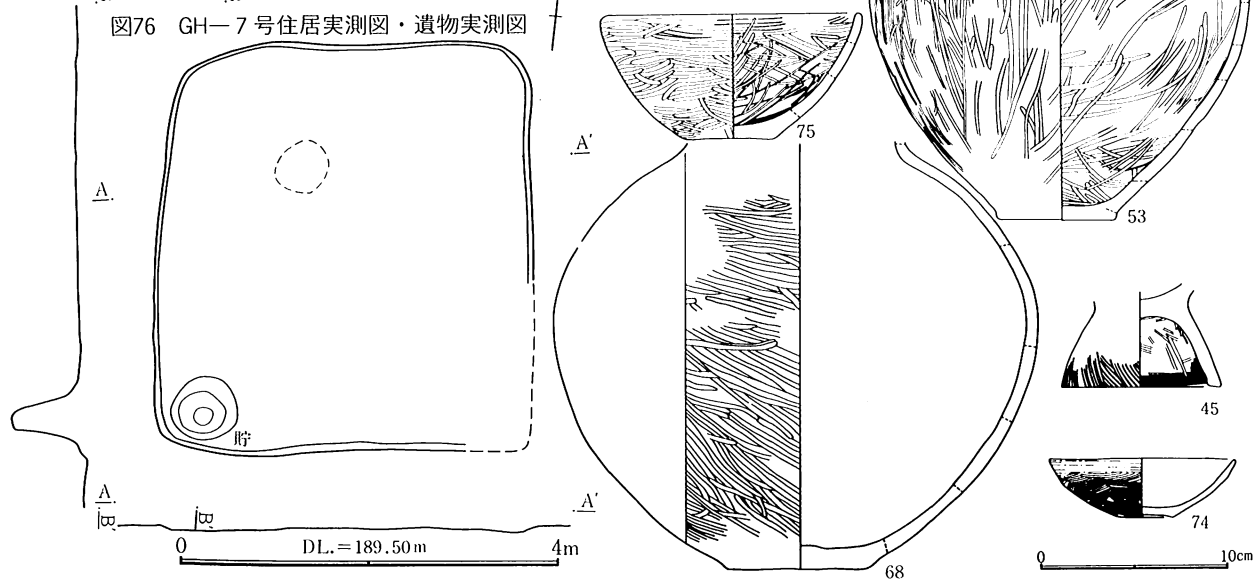


図78　HH―１号住居実測図・遺物実測図

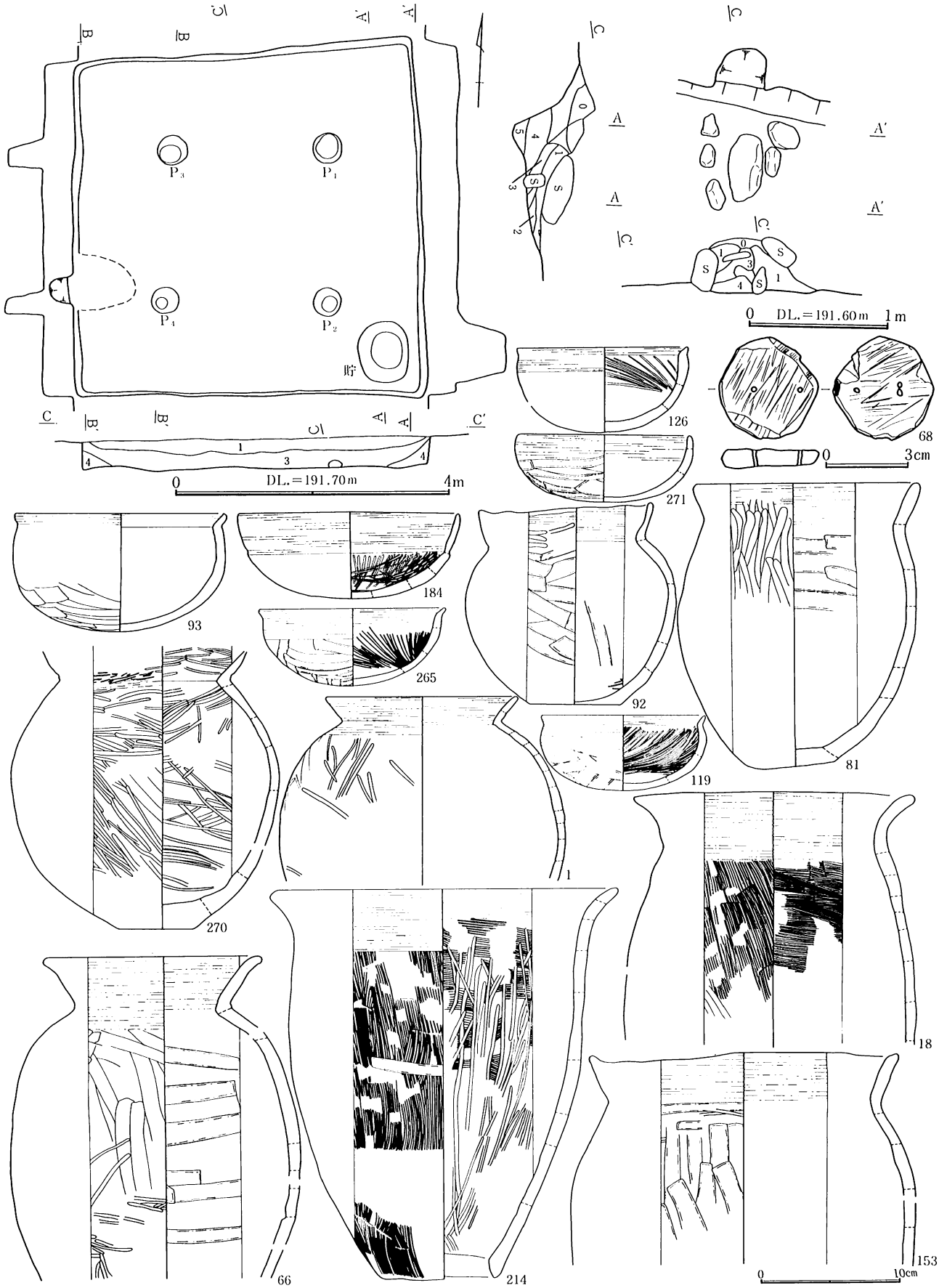


図79　GH—10号住居実測図・遺物実測図

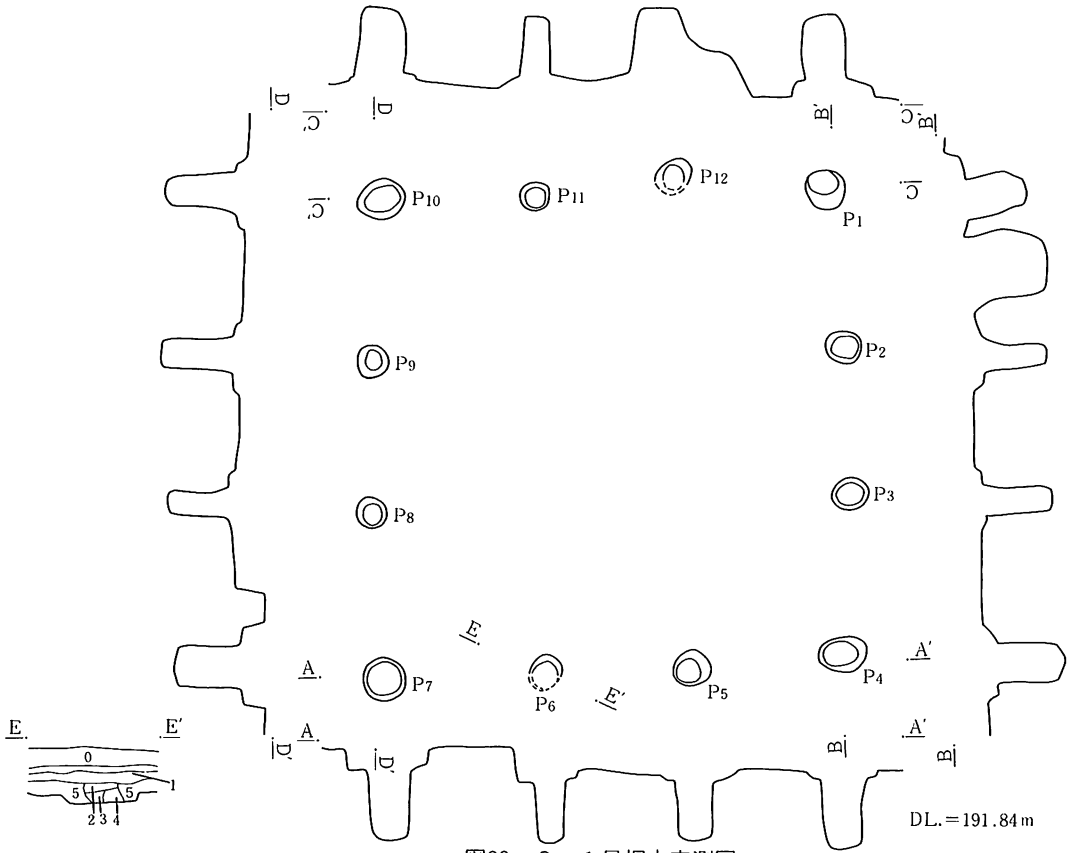


図80　G－1号掘立実測図

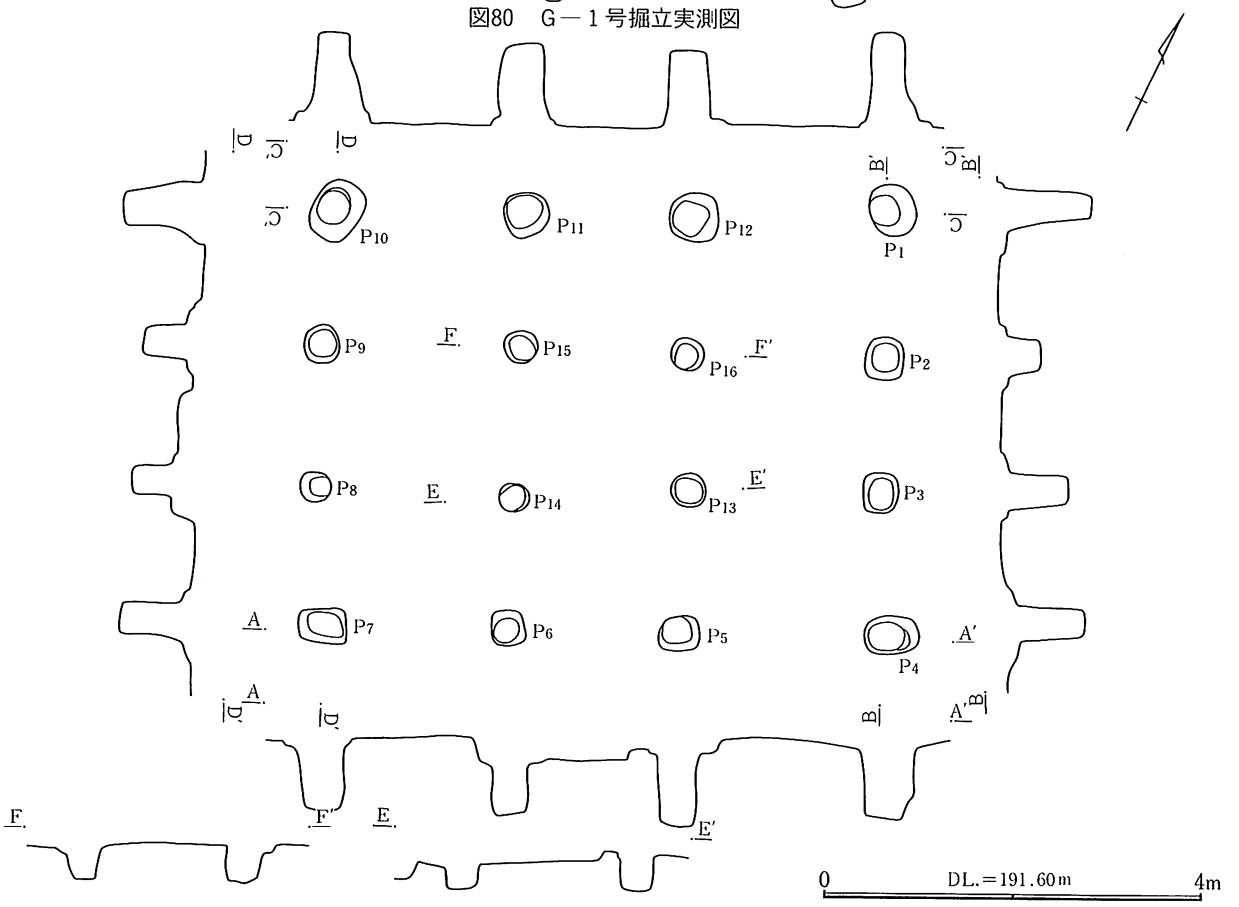


図81　G－2号掘立実測図

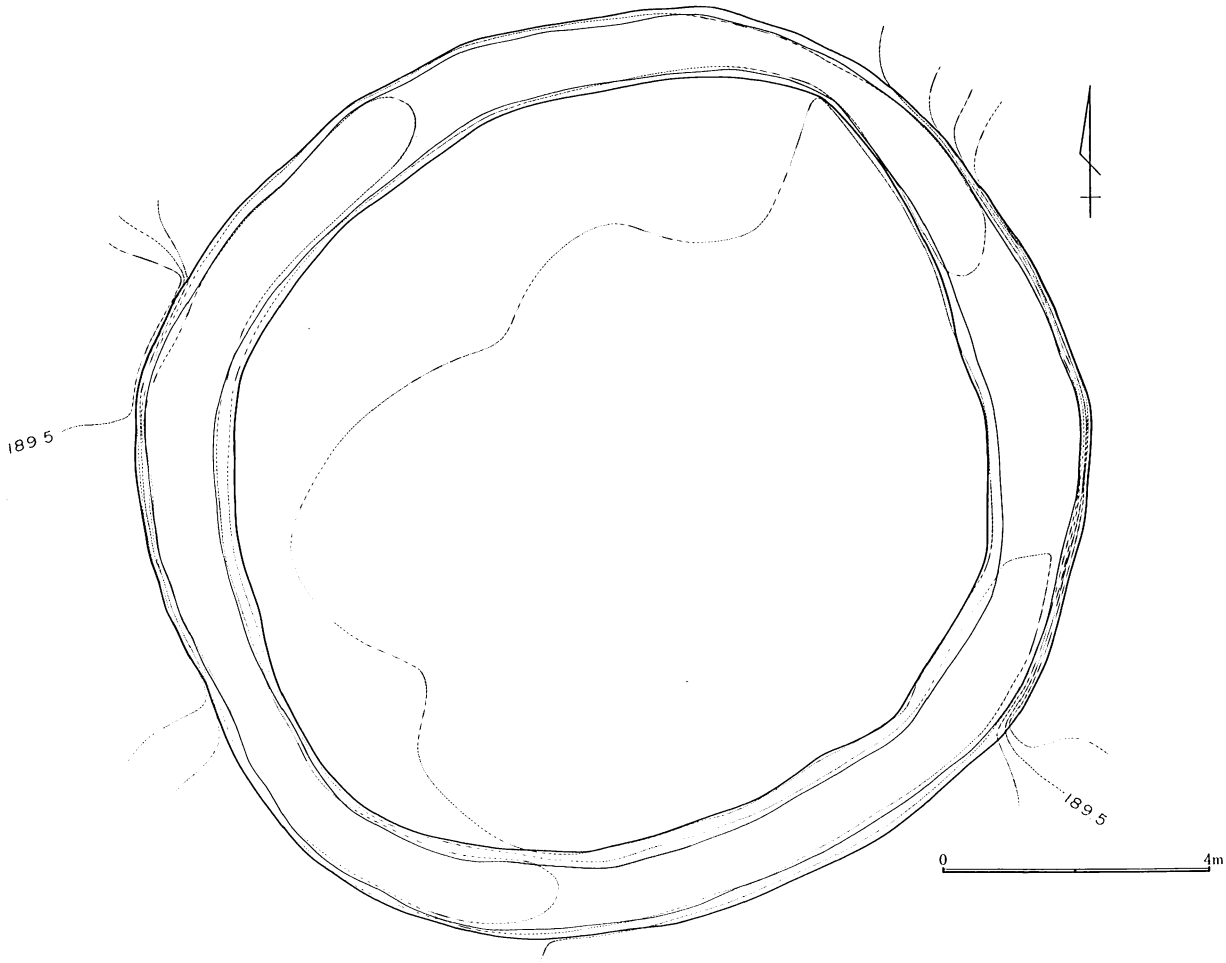


図82　H－1号古墳実測図

G－1号堀立計測表　(単位　m)

柱　間	距離	柱穴	直　径	深さ
P_1～P_2	1.605	P_1	0.42×0.42	0.88
P_2～P_3	1.65	P_2	0.4 ×0.34	0.78
P_3～P_4	1.67	P_3	0.4 ×0.33	0.86
P_4～P_5	1.63	P_4	0.5 ×0.36	0.87
P_5～P_6	1.605	P_5	0.4 ×0.38	0.76
P_6～P_7	1.65	P_6	0.38×0.34	1.24
P_7～P_8	1.66	P_7	0.48×0.44	0.98
P_8～P_9	1.445	P_8	0.32×0.3	0.72
P_9～P_{10}	1.64	P_9	0.36×0.34	0.88
P_{10}～P_{11}	1.67	P_{10}	0.52×0.42	0.88
P_{11}～P_{12}	1.51	P_{11}	0.34×0.3	0.76
P_{12}～P_1	1.64	P_{12}	0.42×0.36	0.96

G－2号堀立計測表　(単位　m)

柱　間	距離	柱穴	直　径	深さ
P_1～P_2	1.52	P_1	0.56×0.48	1.00
P_2～P_3	1.44	P_2	0.46×0.40	0.44
P_3～P_4	1.50	P_3	0.40×0.38	0.76
P_4～P_5	2.06	P_4	0.60×0.40	0.80
P_5～P_6	1.88	P_5	0.44×0.37	0.96
P_6～P_7	1.95	P_6	0.43×0.34	0.84
P_7～P_8	1.46	P_7	0.50×0.36	0.82
P_8～P_9	1.48	P_8	0.34×0.32	0.72
P_9～P_{10}	1.35	P_9	0.42×0.38	0.60
P_{10}～P_{11}	1.98	P_{10}	0.64×0.52	0.92
P_{11}～P_{12}	1.75	P_{11}	0.52×0.46	0.88
P_{12}～P_1	2.16	P_{12}	0.56×0.50	0.84
P_2～P_{15}	2.08	P_{13}	0.38×0.36	0.42
P_3～P_{13}	2.12	P_{14}	0.32×0.30	0.28
P_5～P_{13}	1.50	P_{15}	0.36×0.34	0.36
P_6～P_{14}	1.42	P_{16}	0.36×0.34	0.40
P_8～P_{14}	1.98			
P_9～P_{16}	2.04			
P_{11}～P_{16}	1.31			
P_{12}～P_{15}	1.42			
P_{13}～P_{14}	1.89			
P_{14}～P_{16}	1.57			
P_{15}～P_{16}	1.84			
P_{13}～P_{15}	1.48			

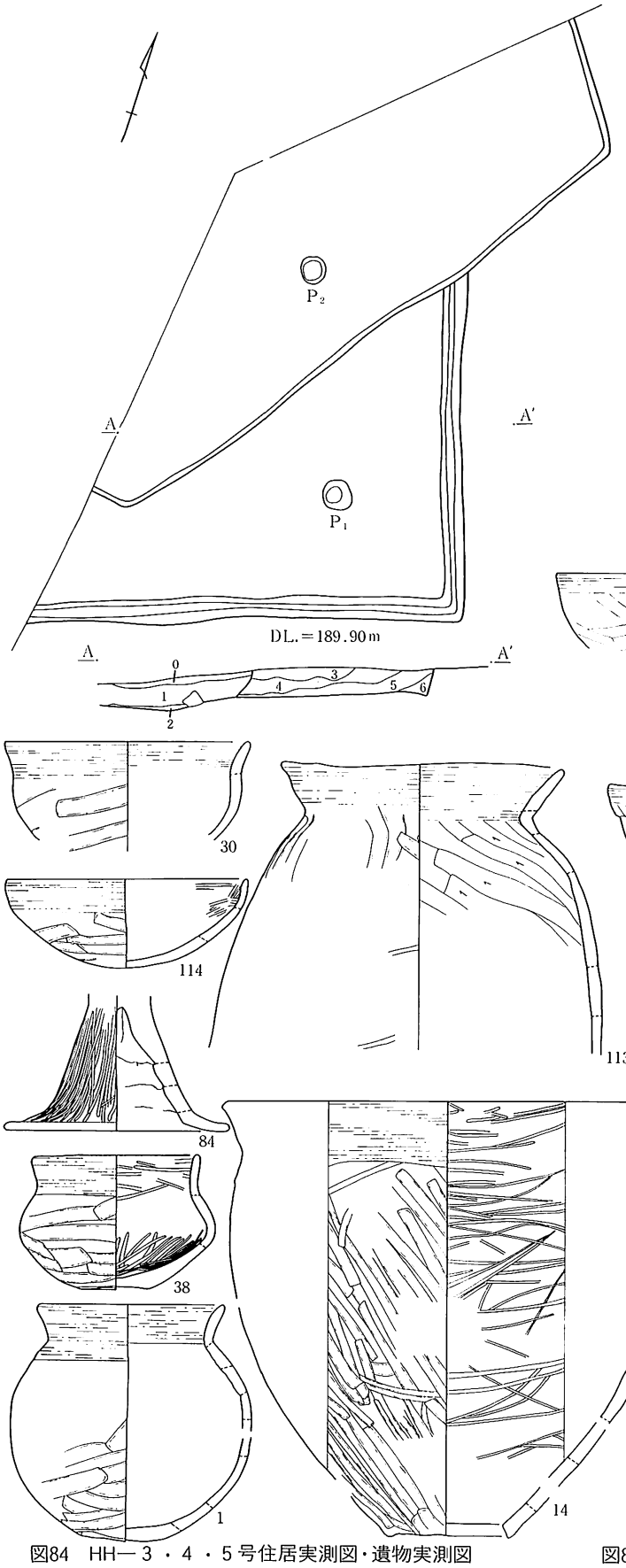


図84　HH―３・４・５号住居実測図・遺物実測図

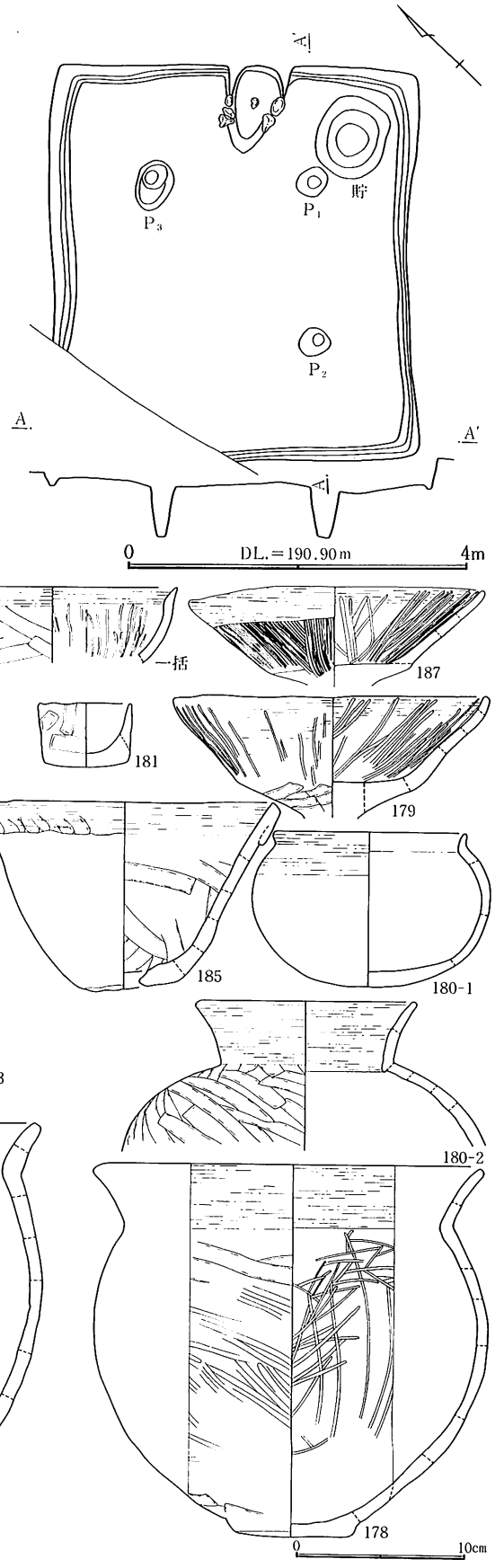


図85　HH―７号住居実測図・遺物実測図

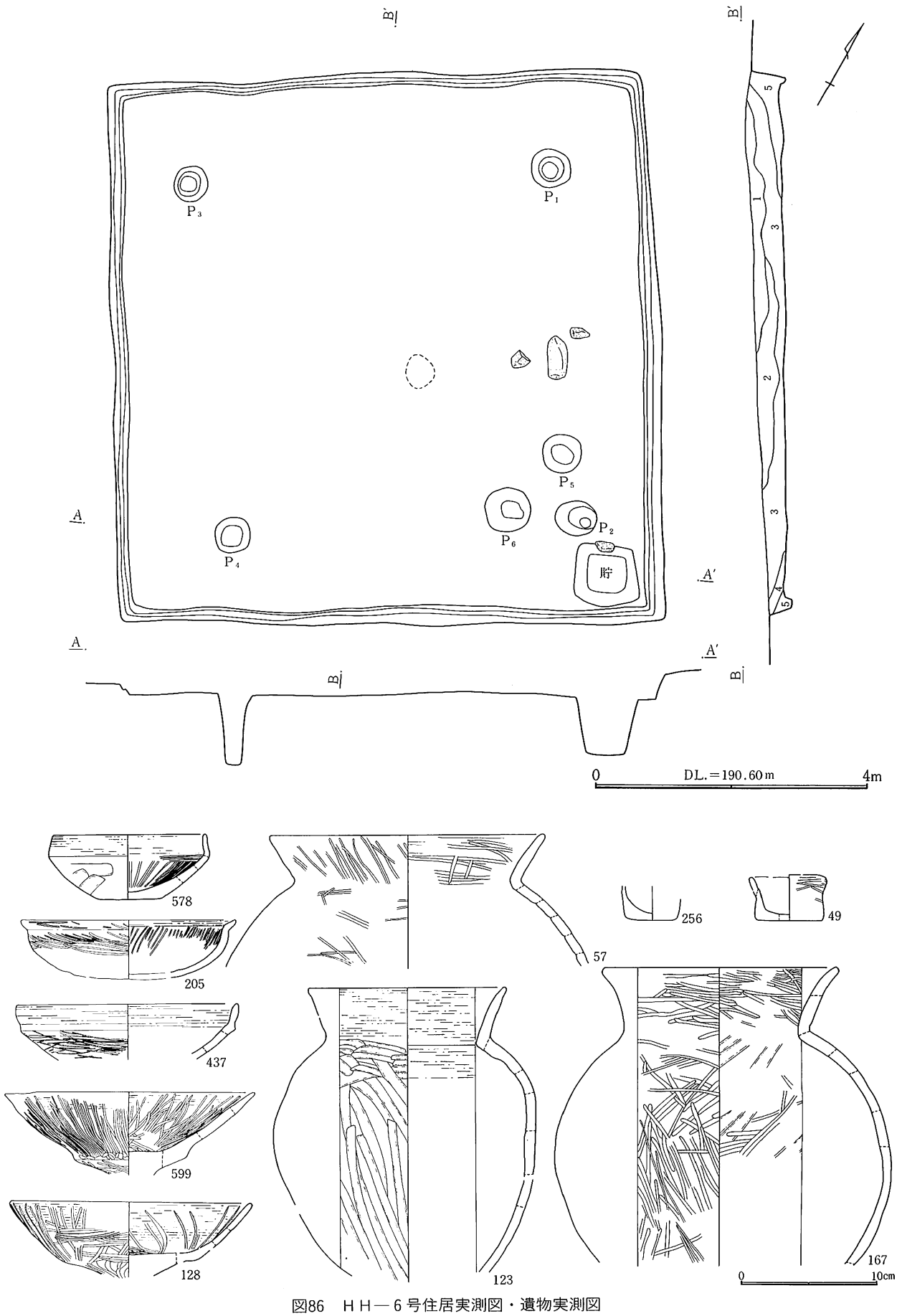


図86　ＨＨ－６号住居実測図・遺物実測図

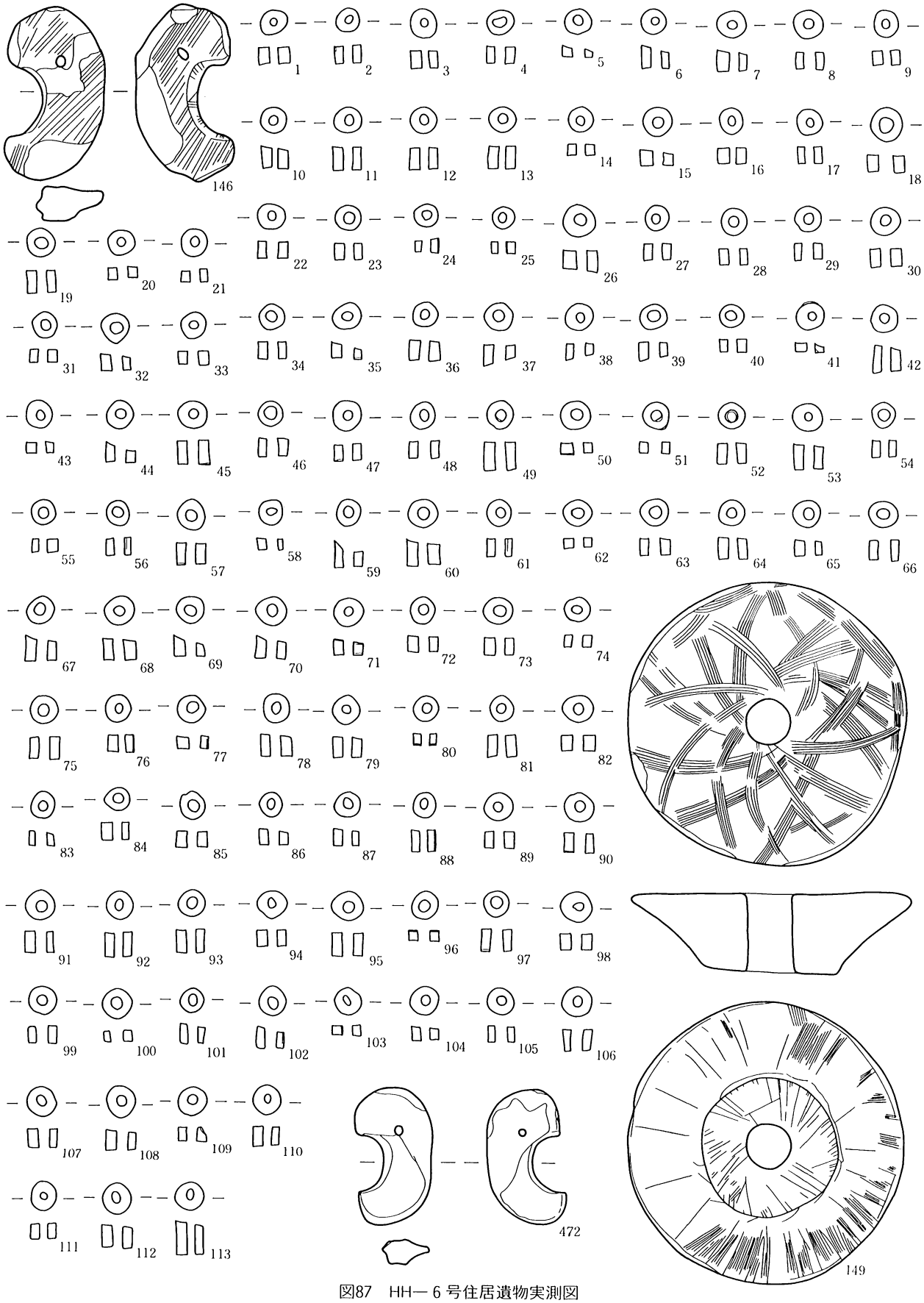


図87　HH－6号住居遺物実測図

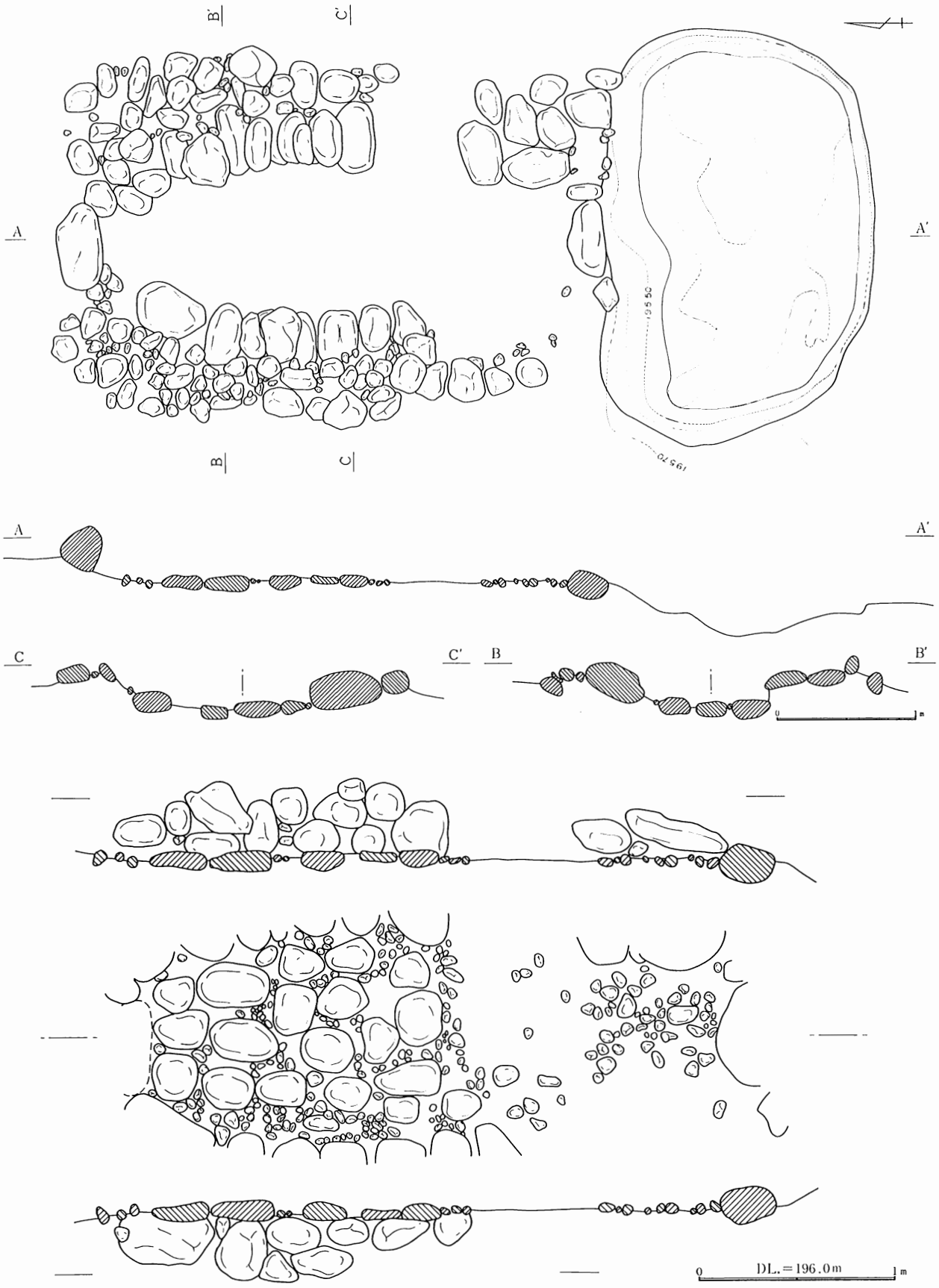


図90　K－1号古墳実測図・石室実測図

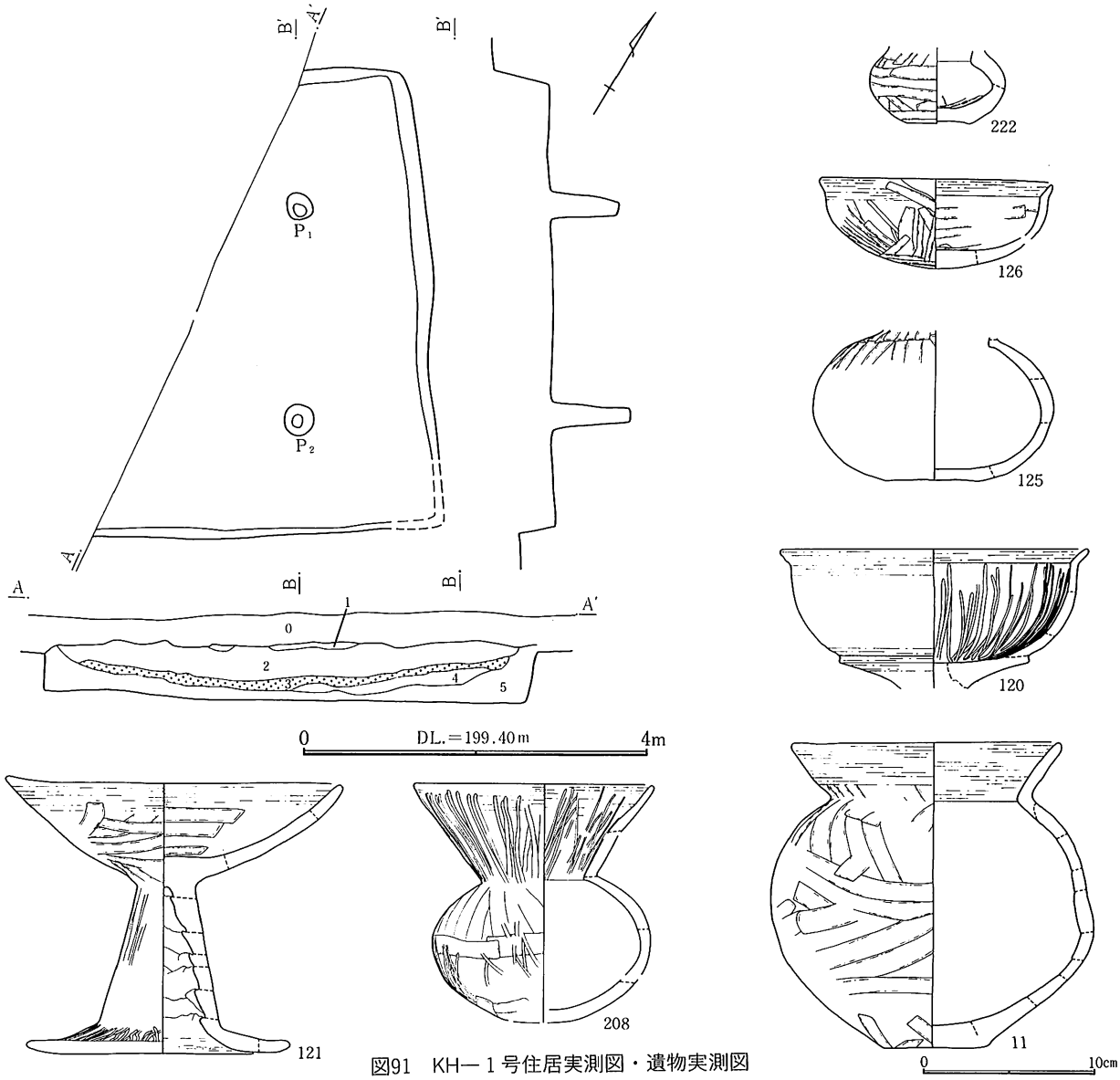


図91　KH—1号住居実測図・遺物実測図

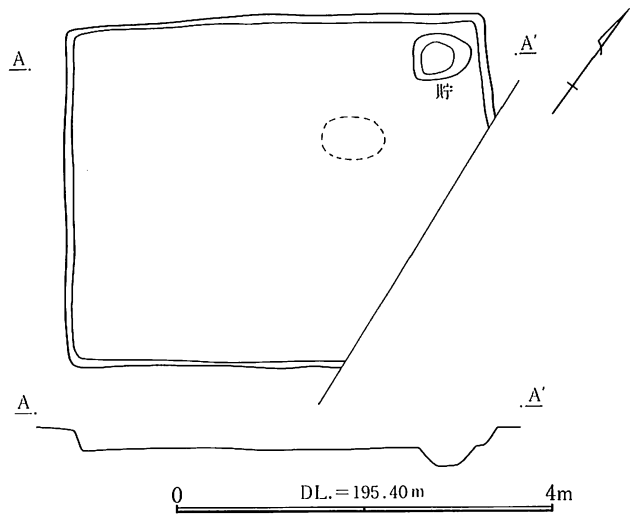


図92　KH—2号住居実測図

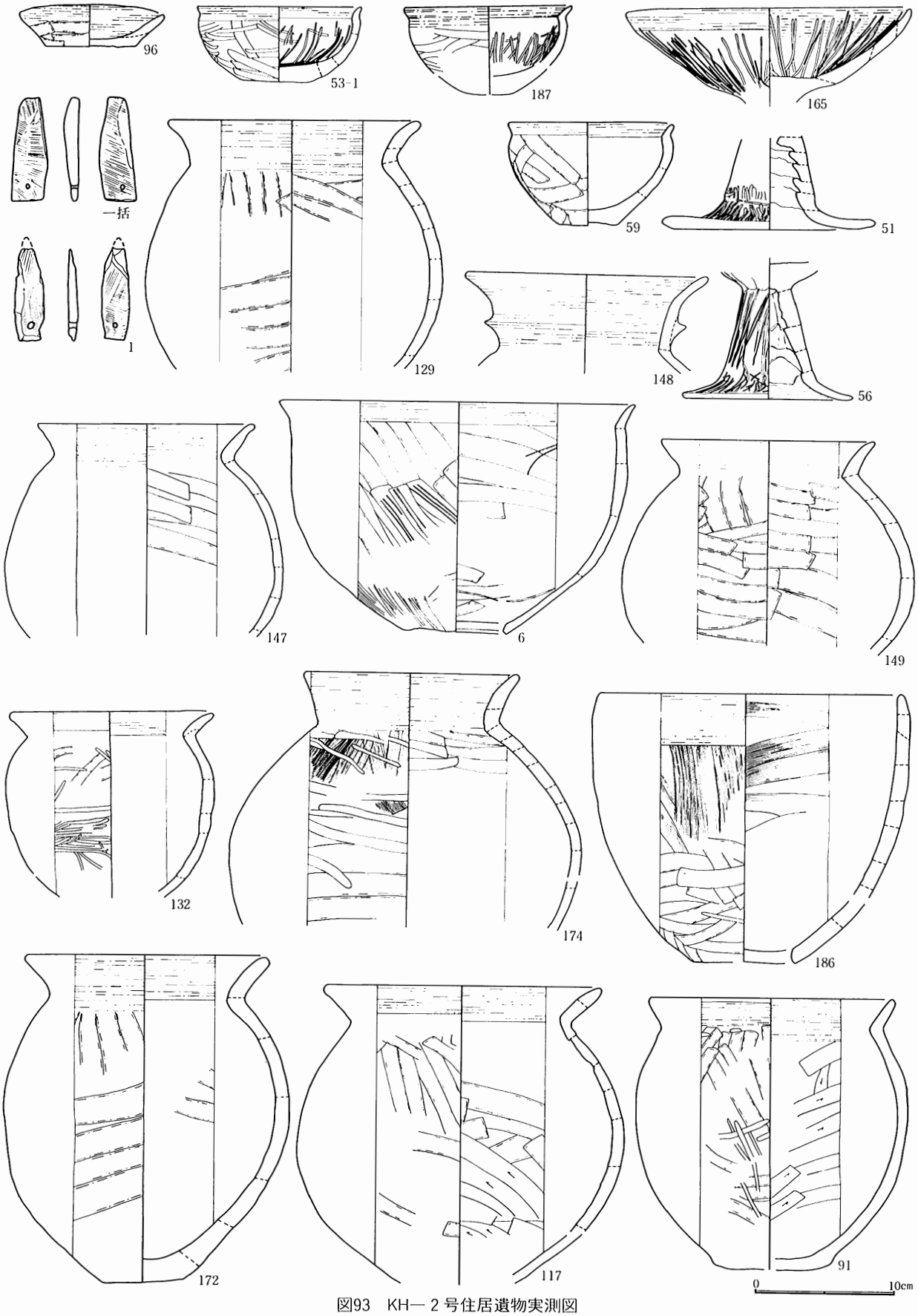


図93　KH—2号住居遺物実測図

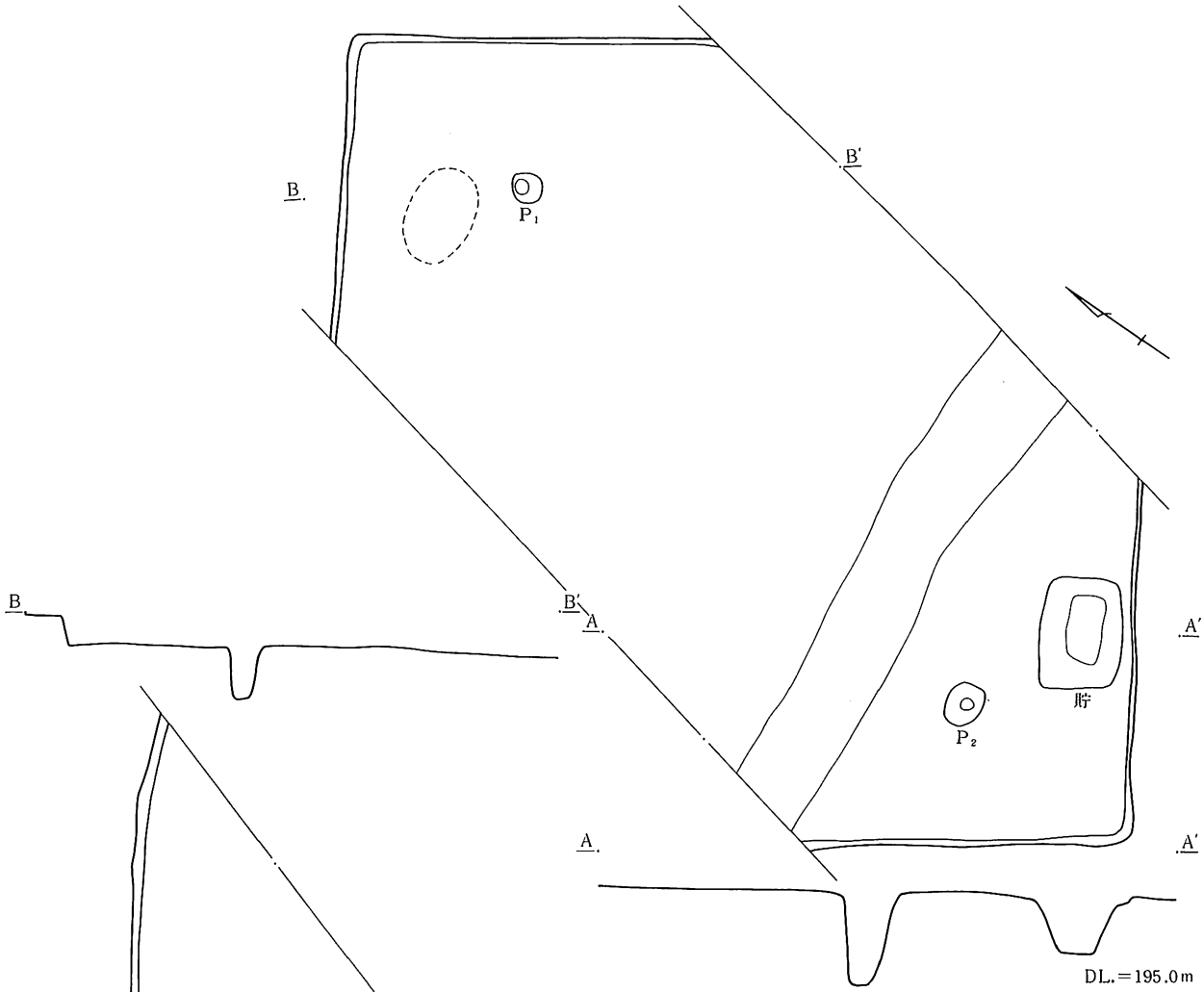


図94　LH—1号住居実測図

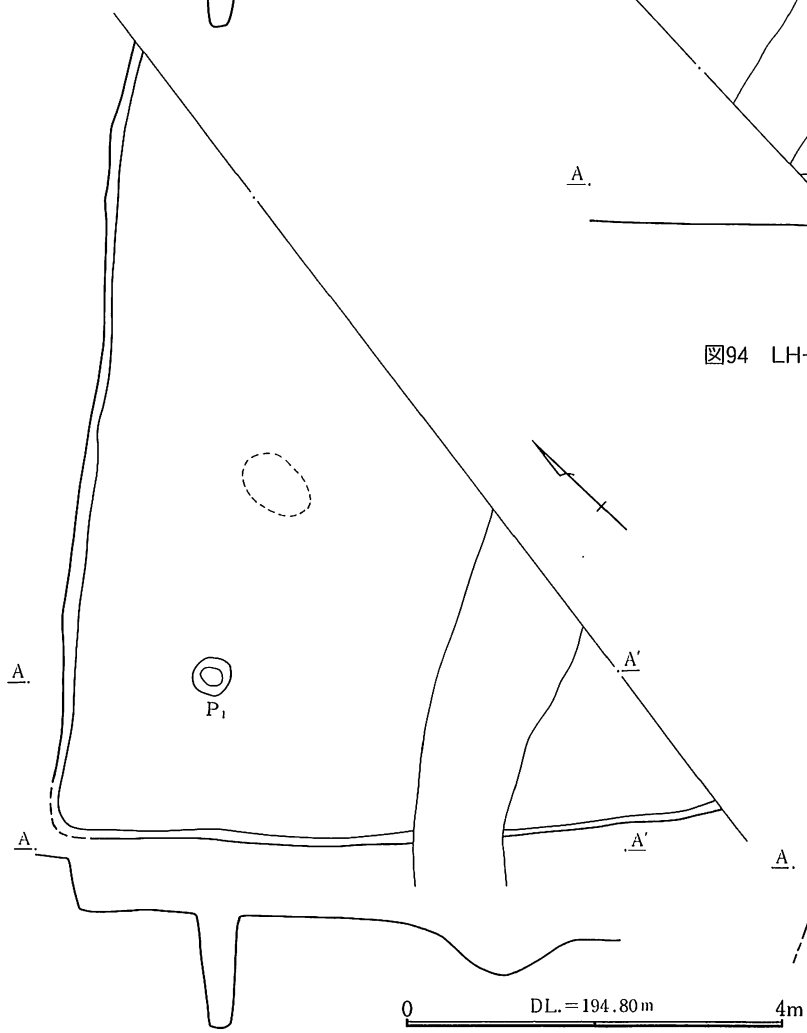


図95　LH—2号住居実測図

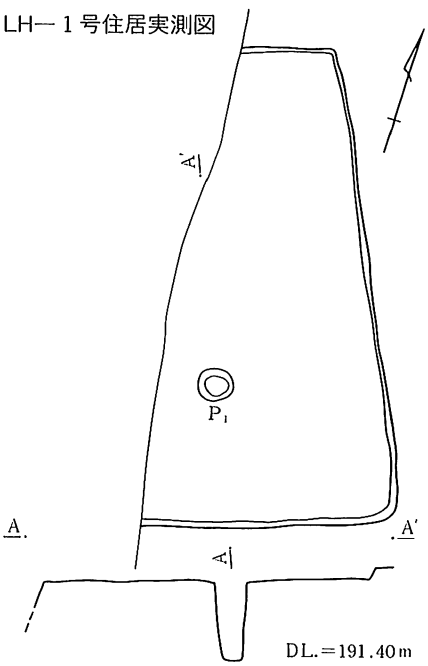


図96　MH—1号住居実測図

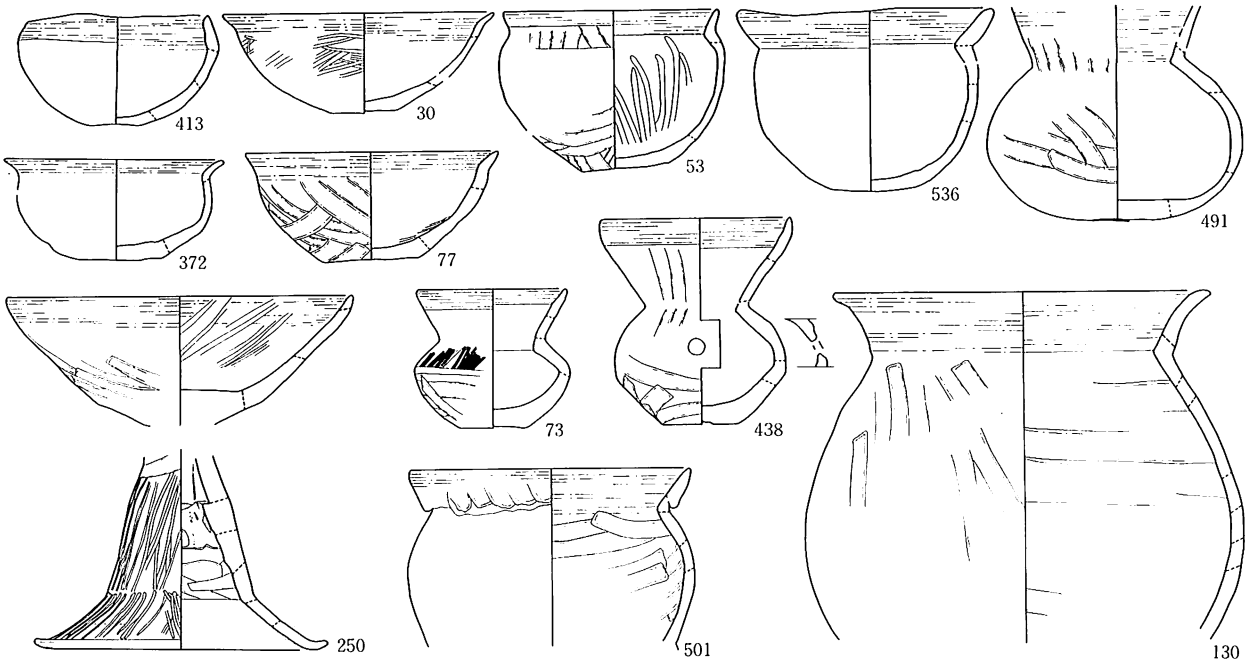


図97　LH—1号住居遺物実測図

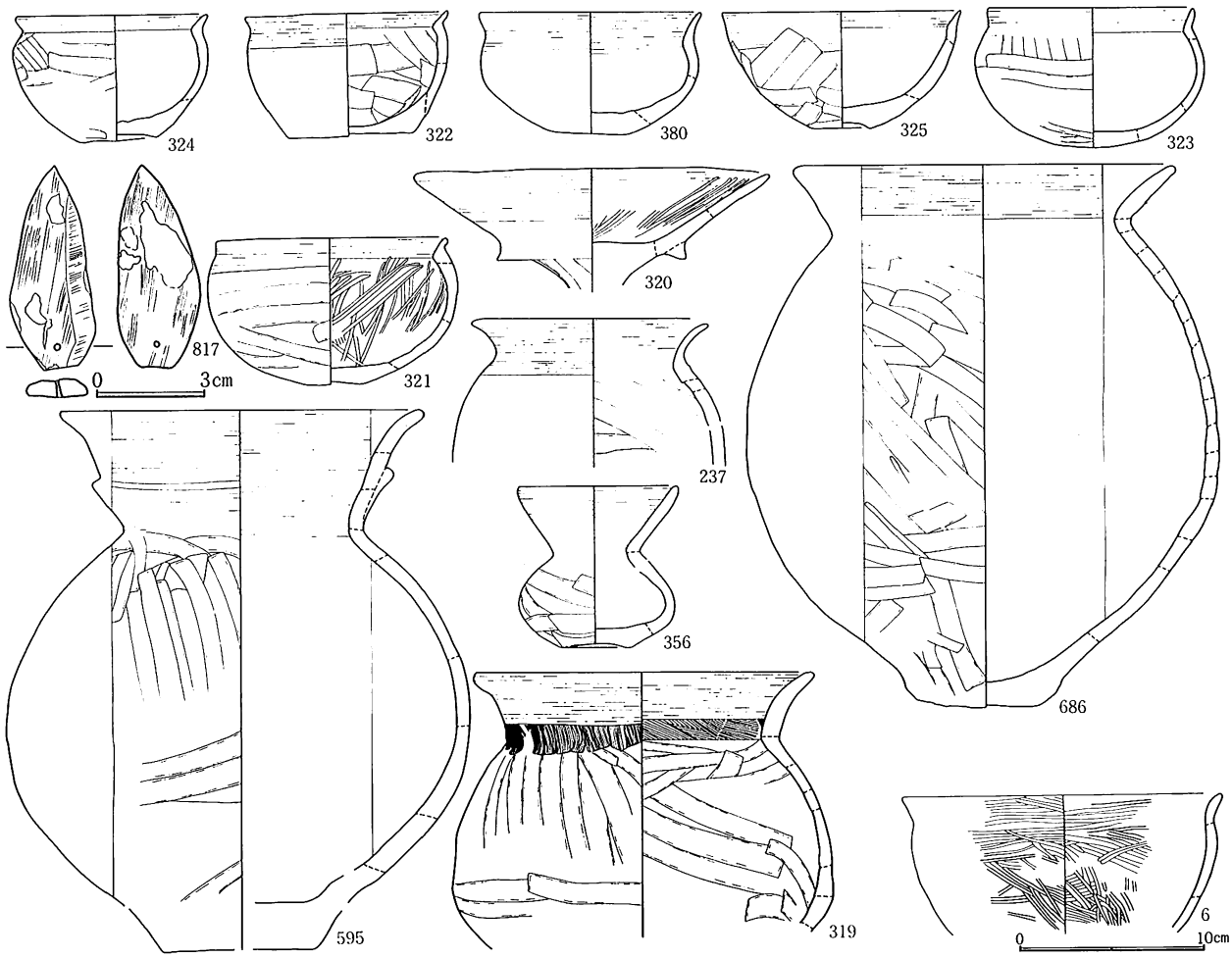


図98　LH—2号住居遺物実測図

図99　MH—1号住居遺物実測図

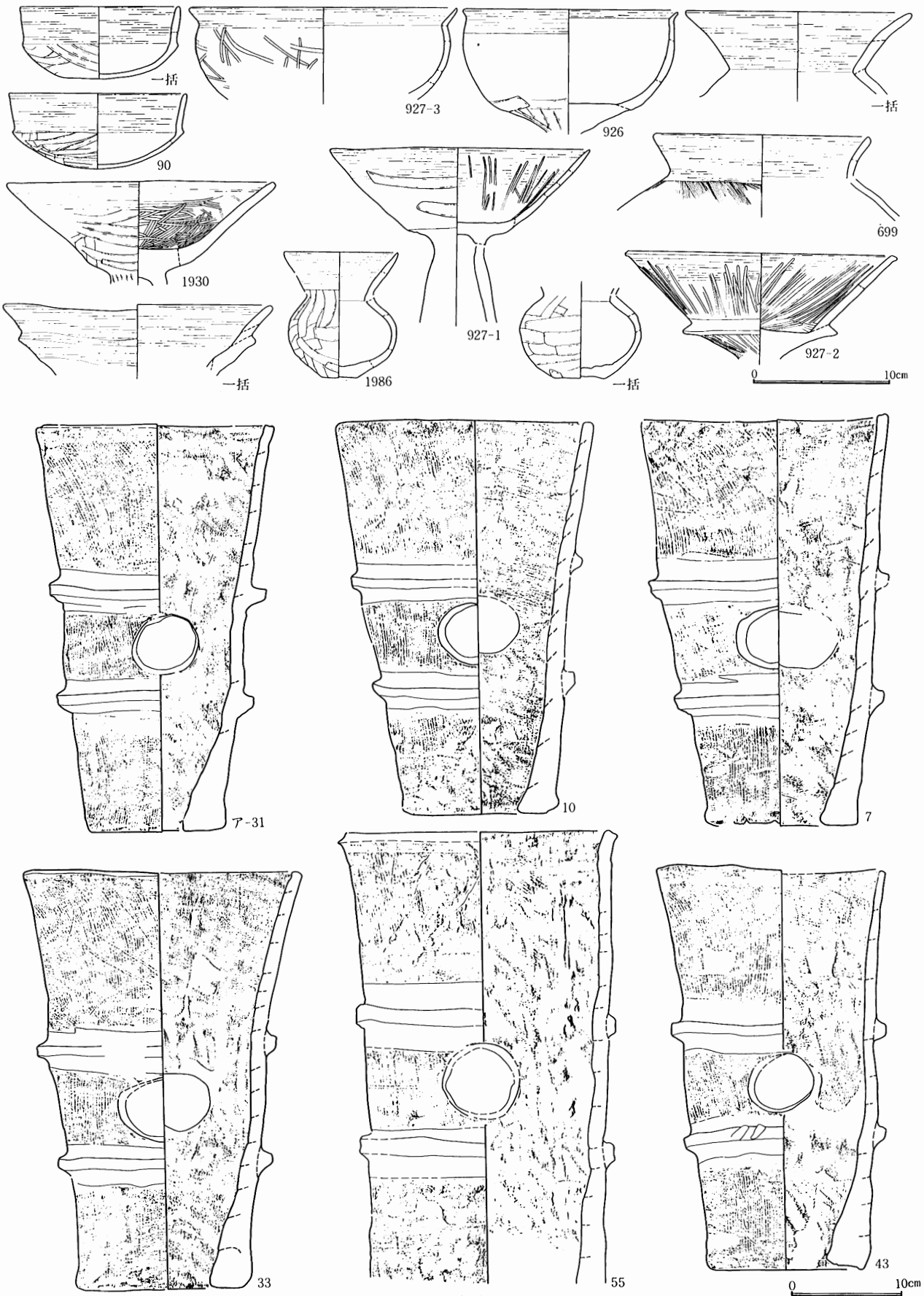


図101　P－1号古墳遺物実測図(1)

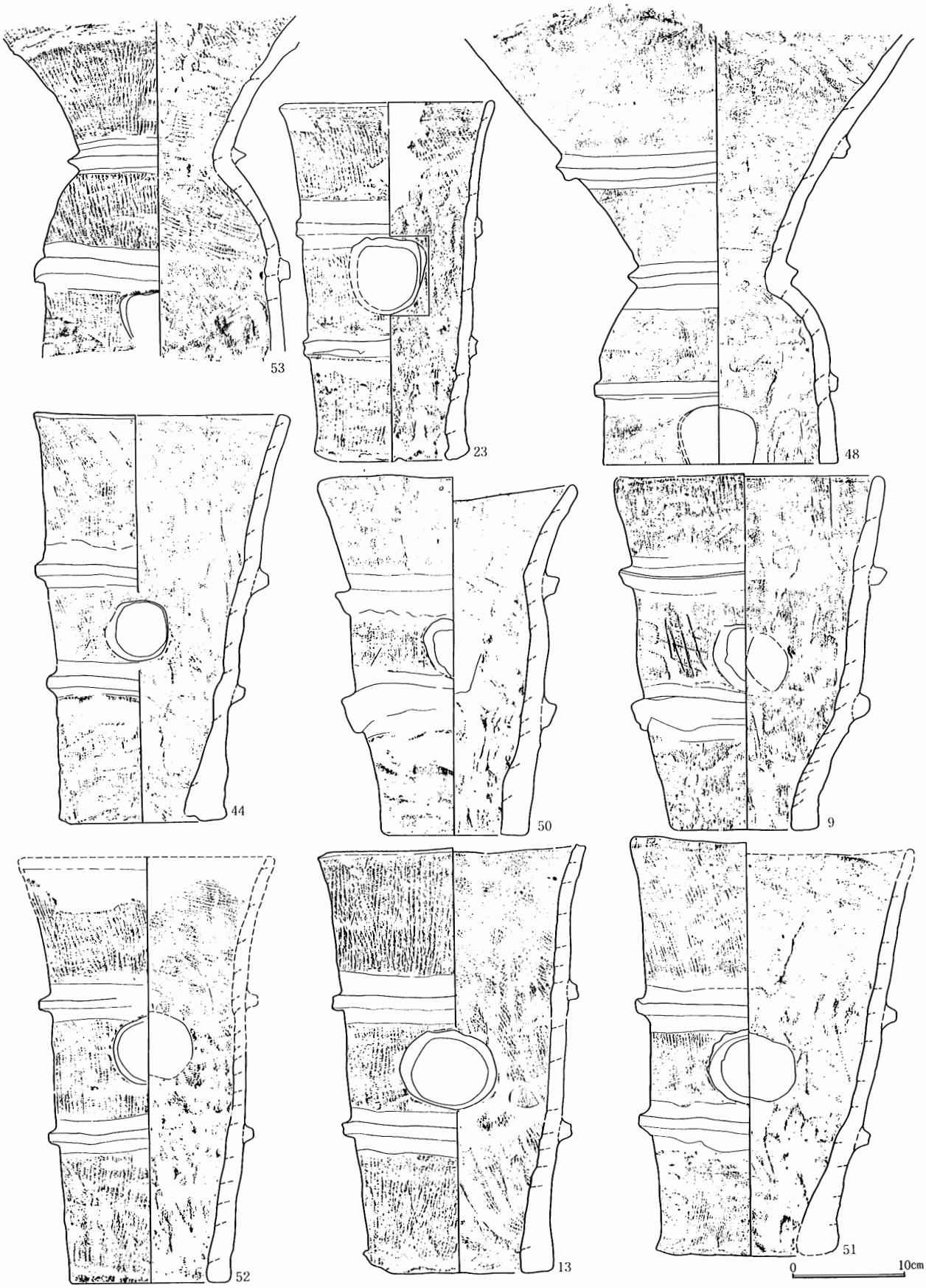


図102　P－1号古墳遺物実測図(2)

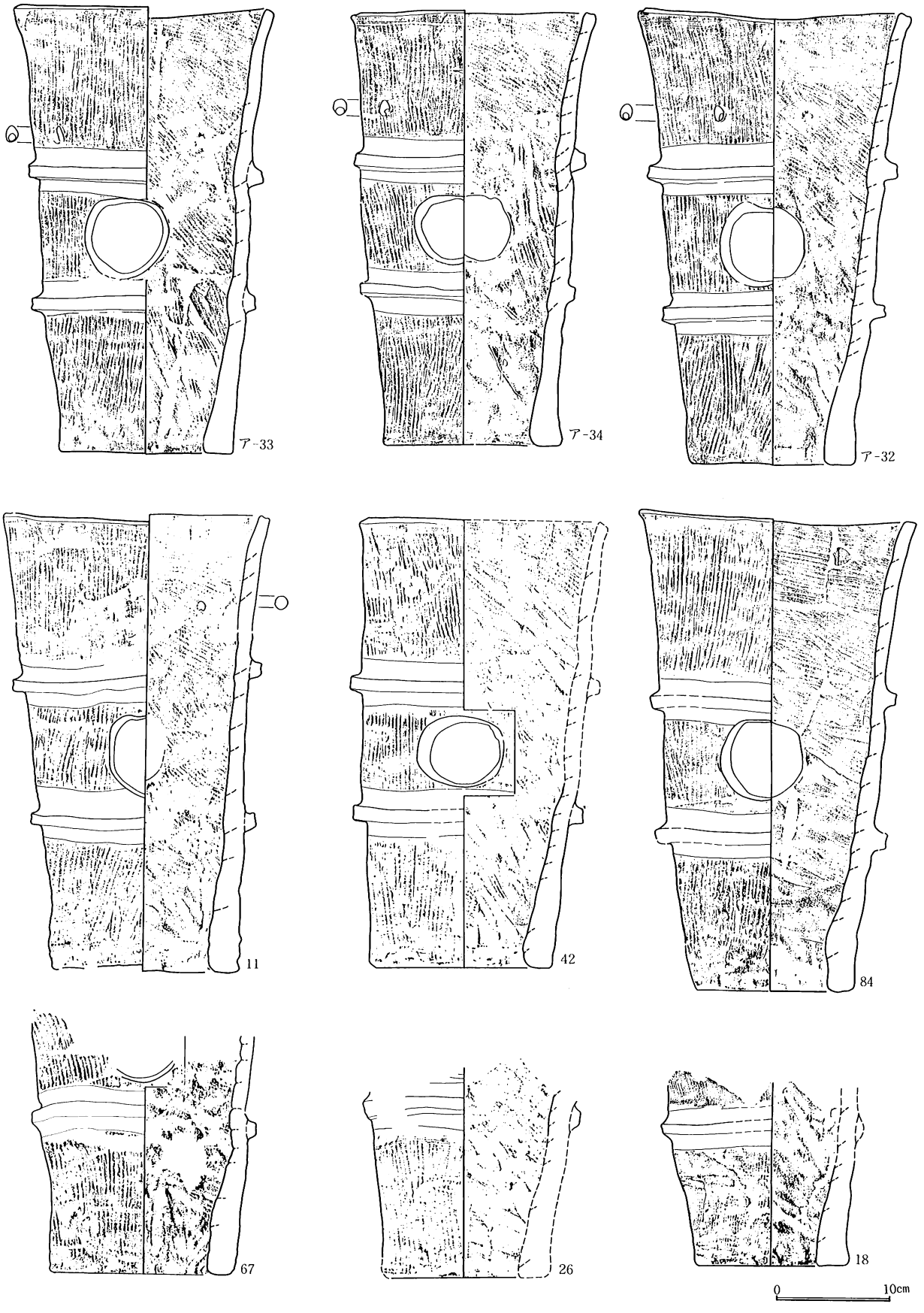


図103　P—1号古墳遺物実測図(3)

図104　P－1号古墳遺物実測図(4)

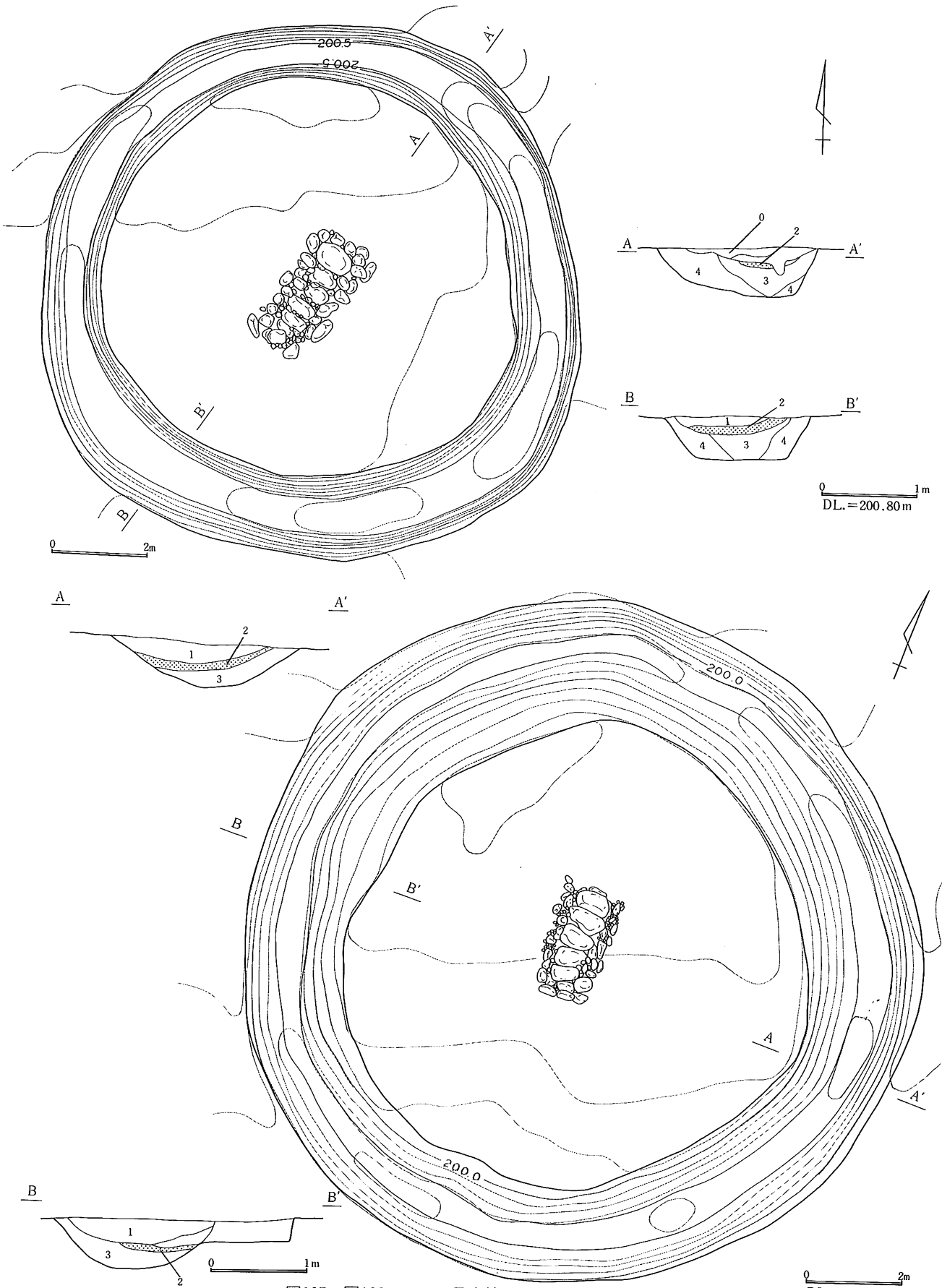


図105・図106　P—2号古墳・P—3号古墳実測図

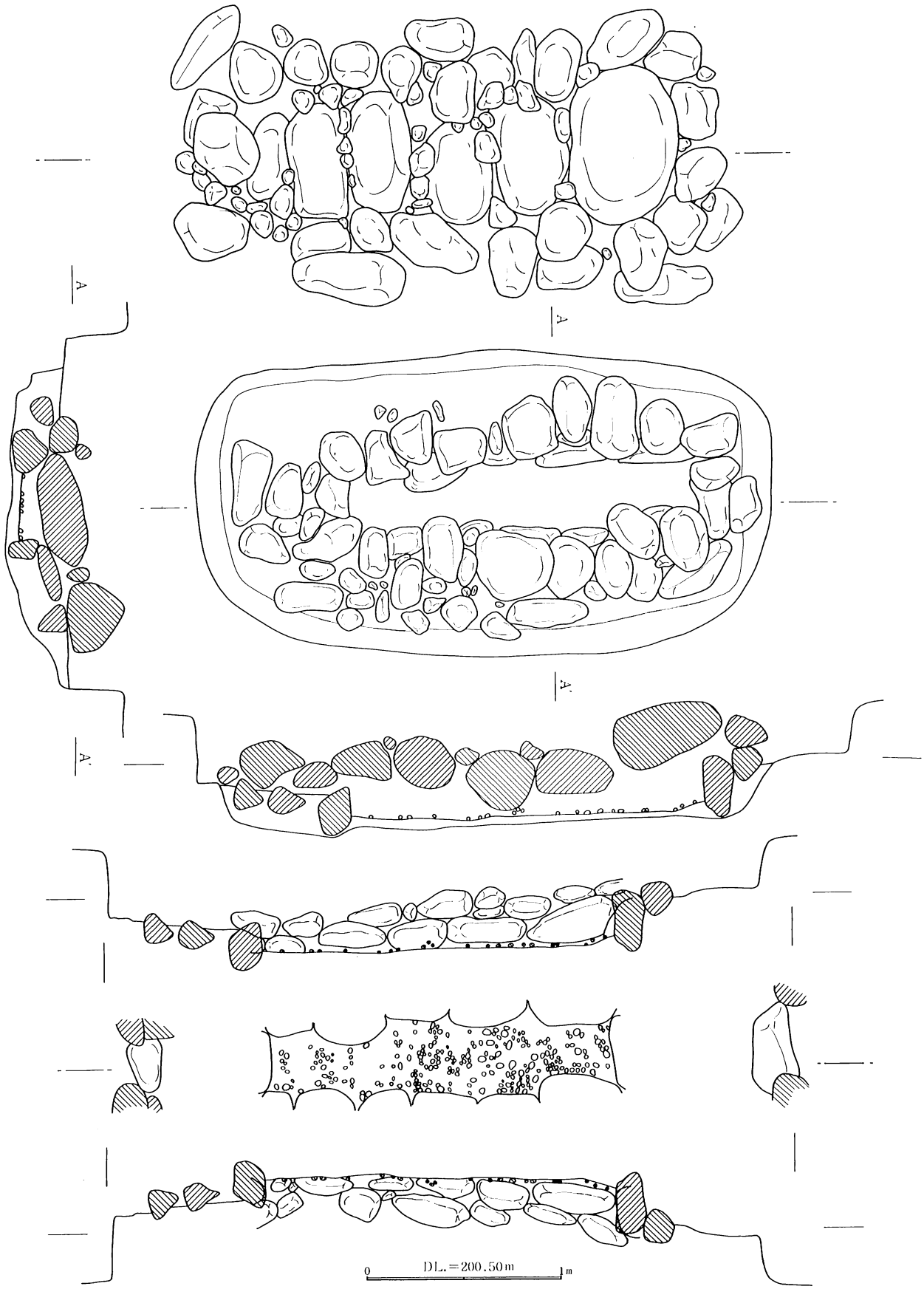


図107　Ｐ－２号古墳石室実測図

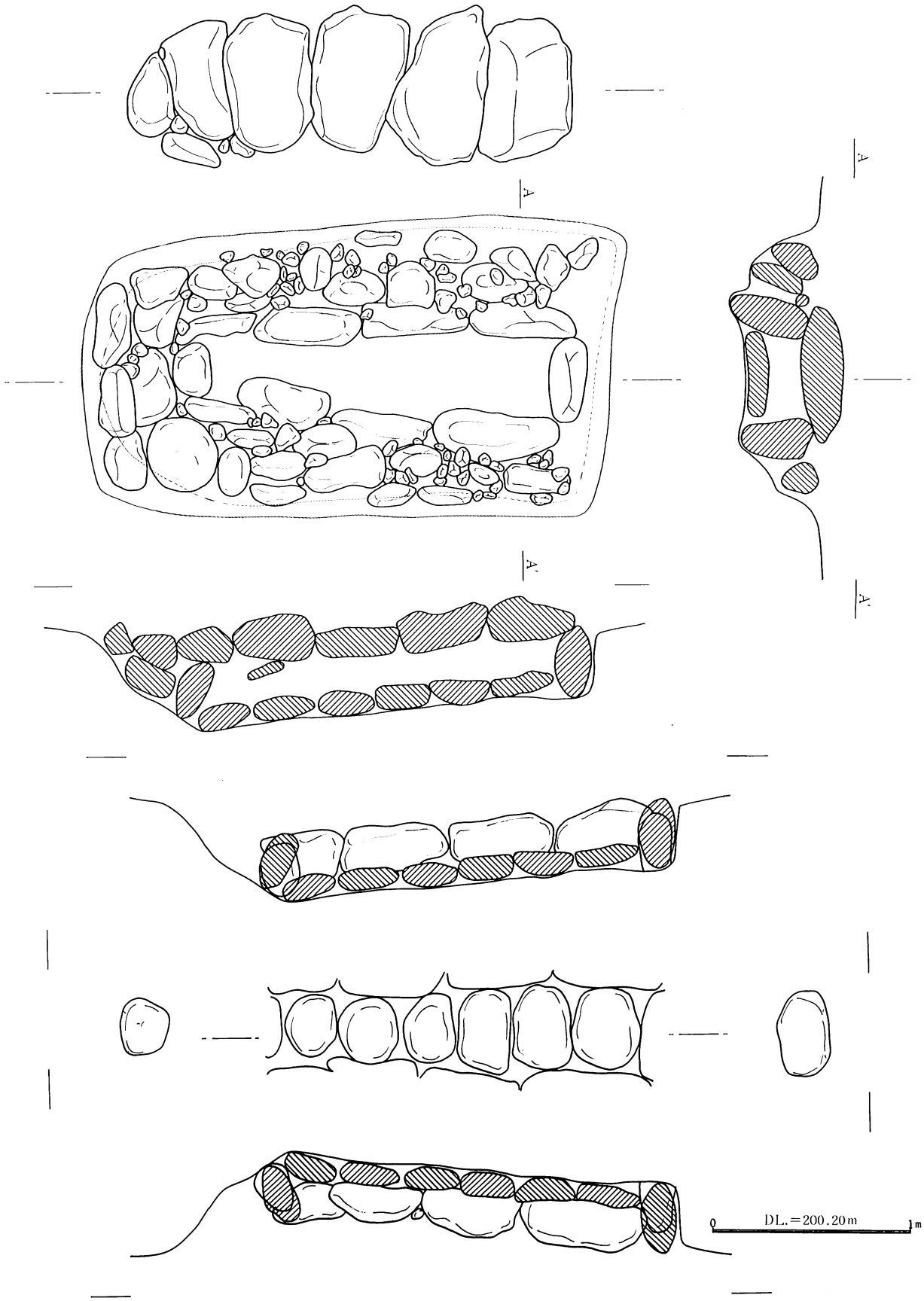


図108　P－3号古墳石室実測図

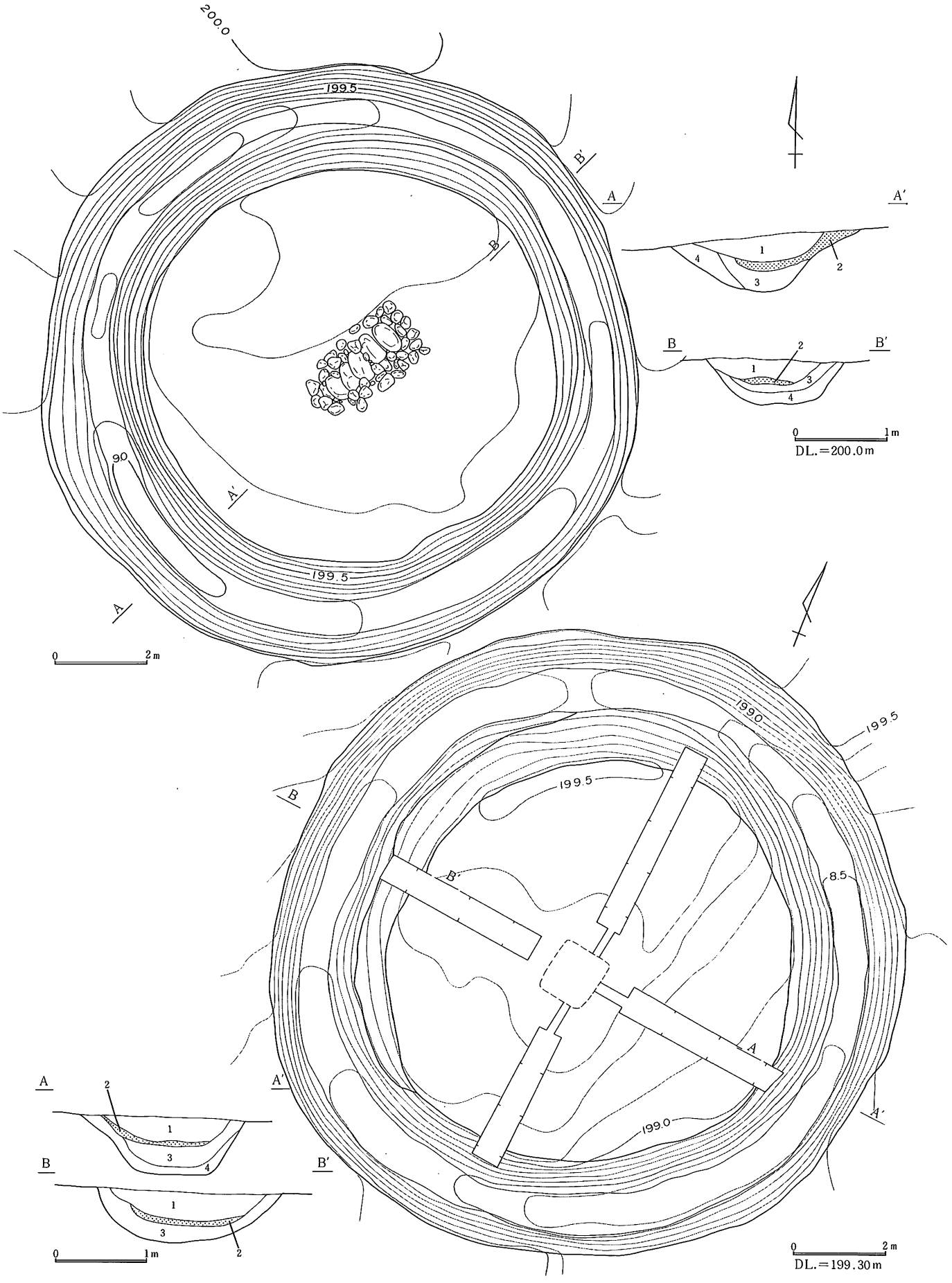


図109・図110　P－4号古墳・P－5号古墳実測図

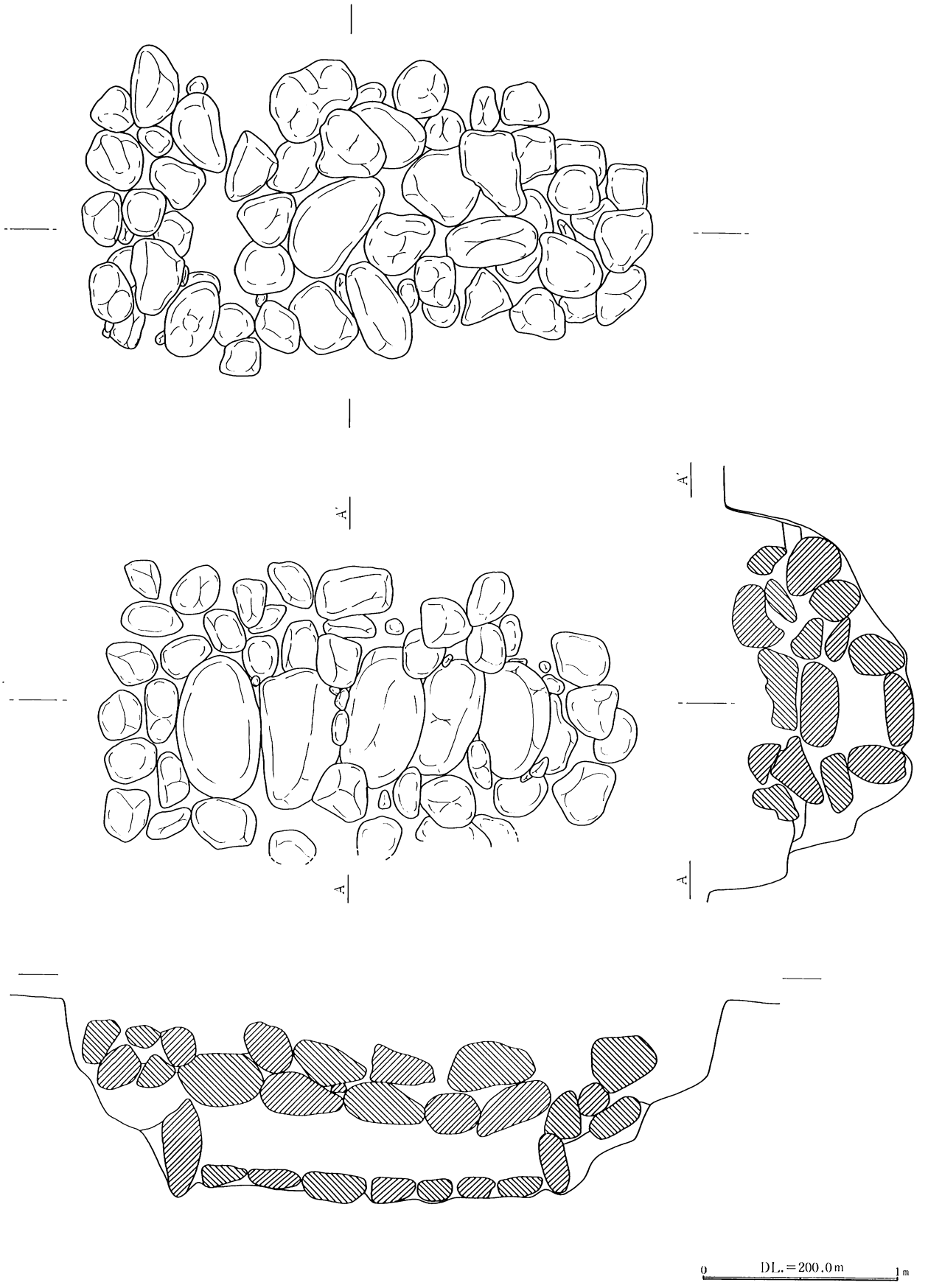
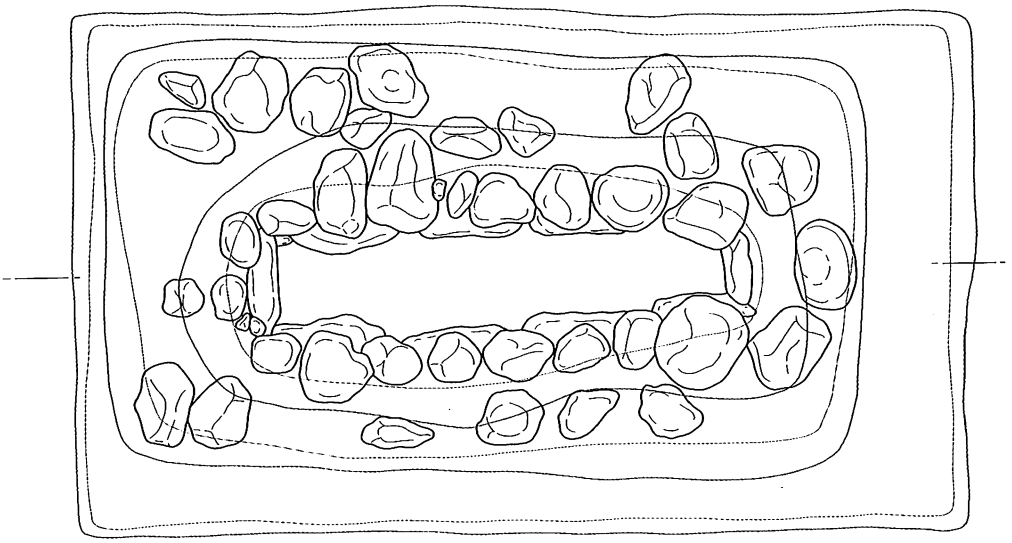


図111　P－4号古墳石室実測図(1)



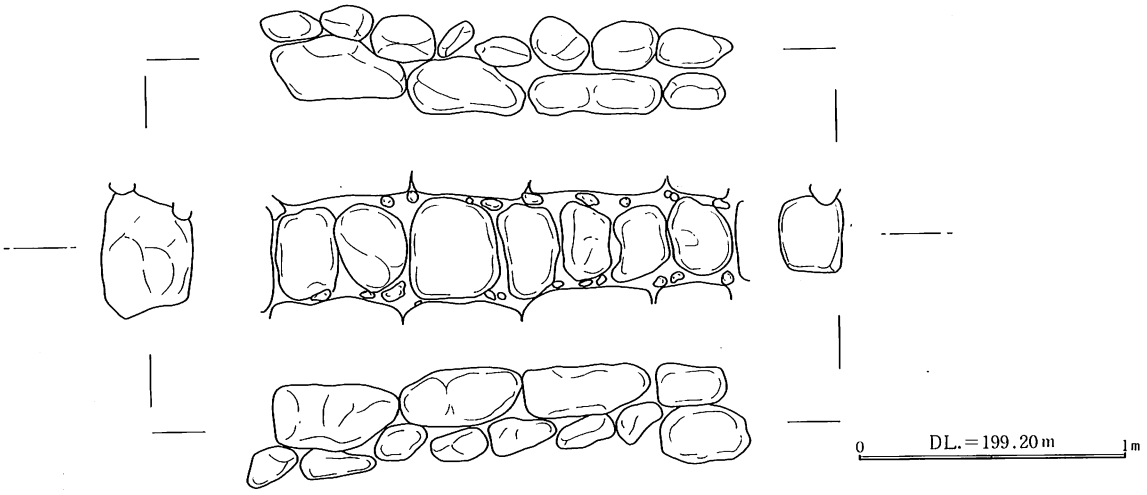


図112　P－4号古墳石室実測図(2)

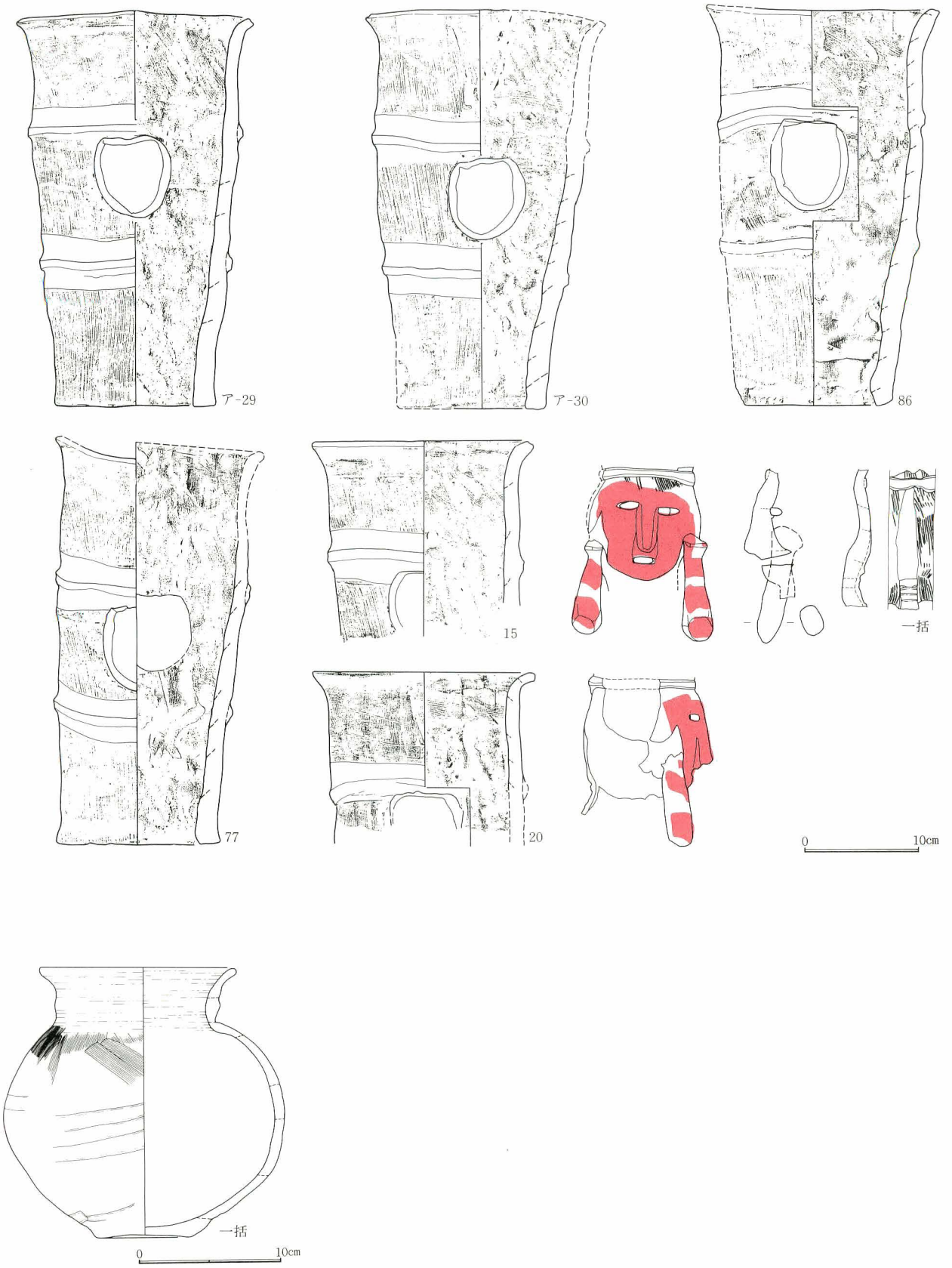


図114　P－6号古墳遺物実測図(1)

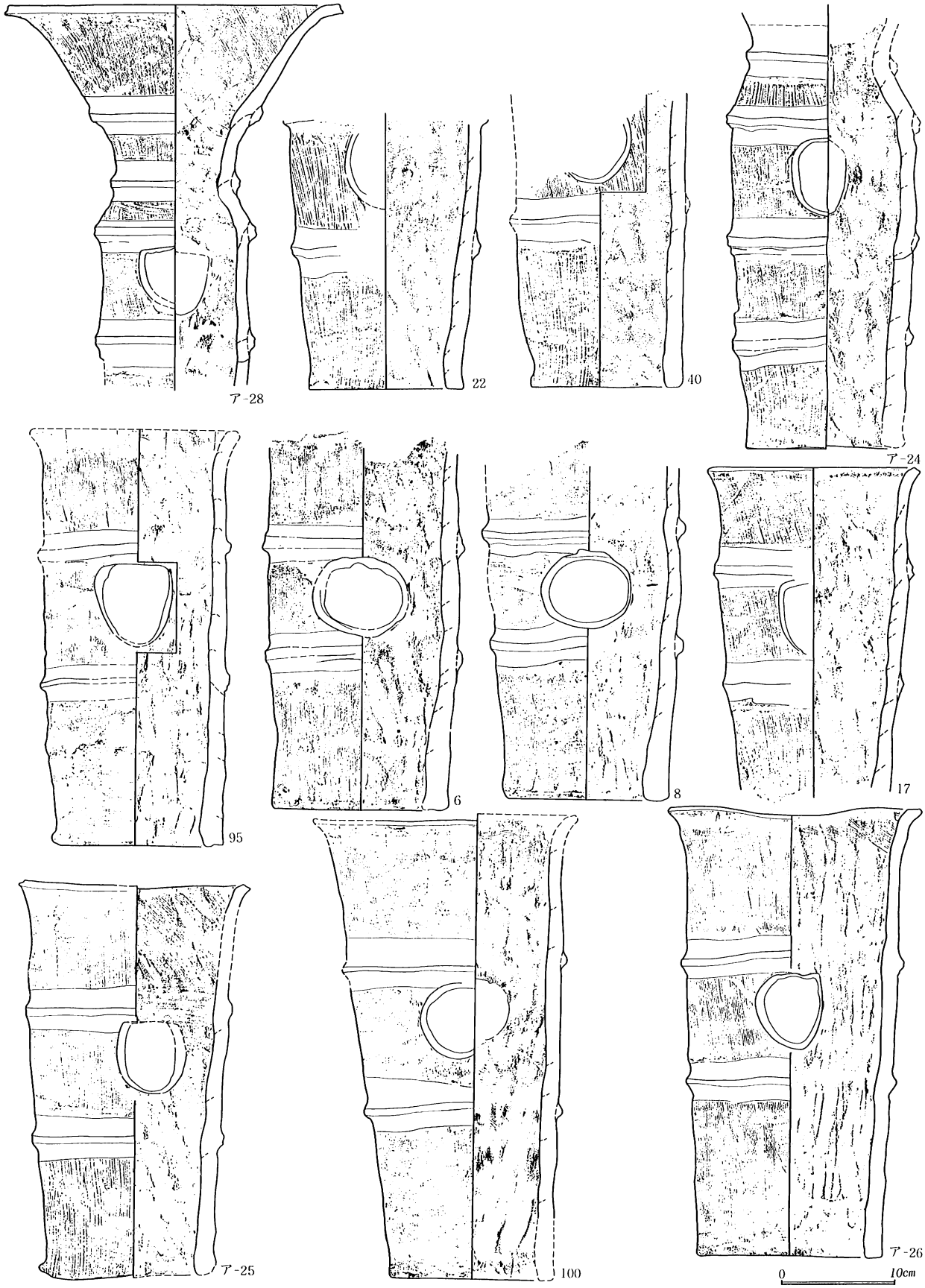


図115　P－6号古墳遺物実測図(2)

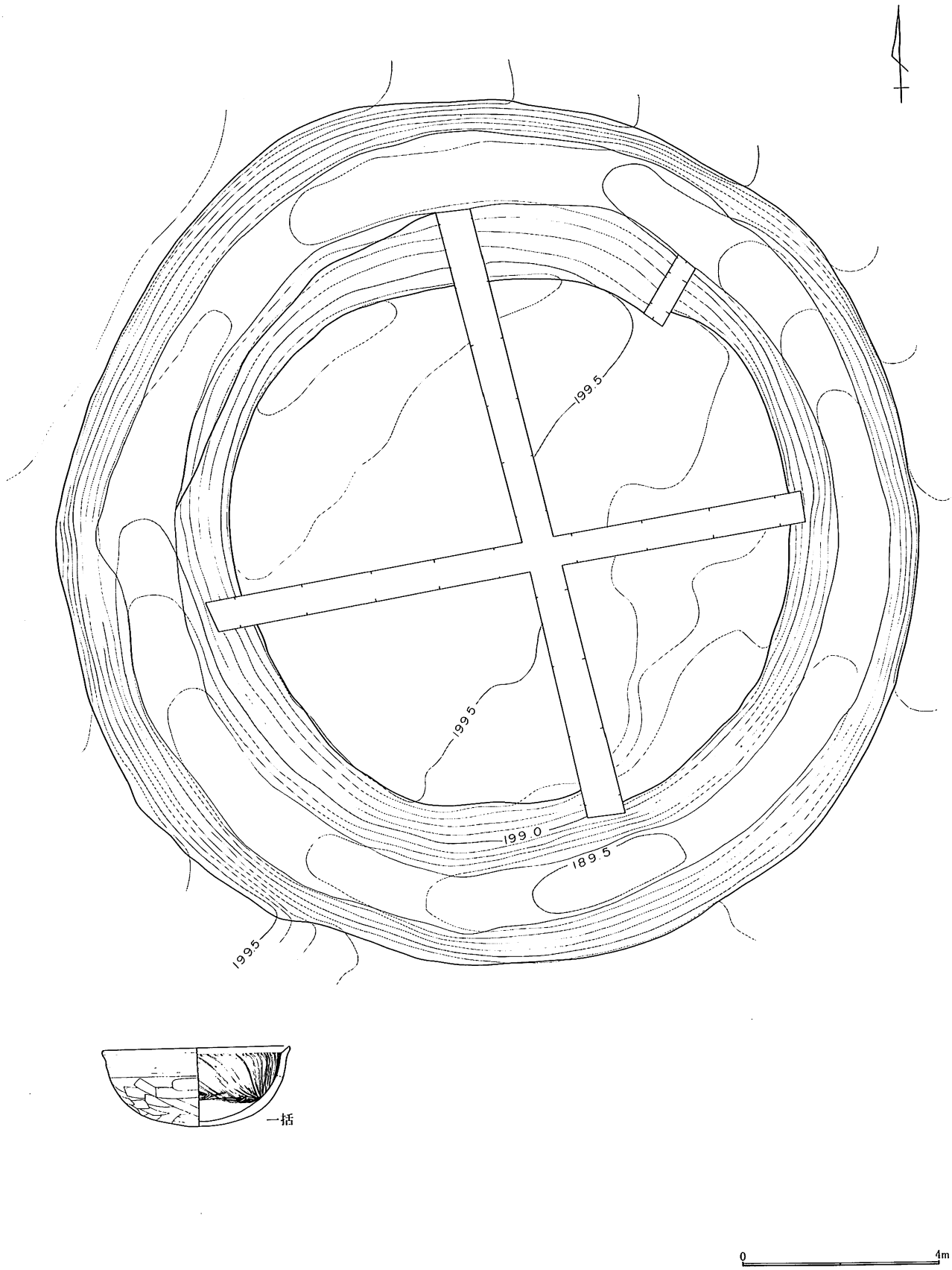


図117　P－7号古墳実測図・遺物実測図

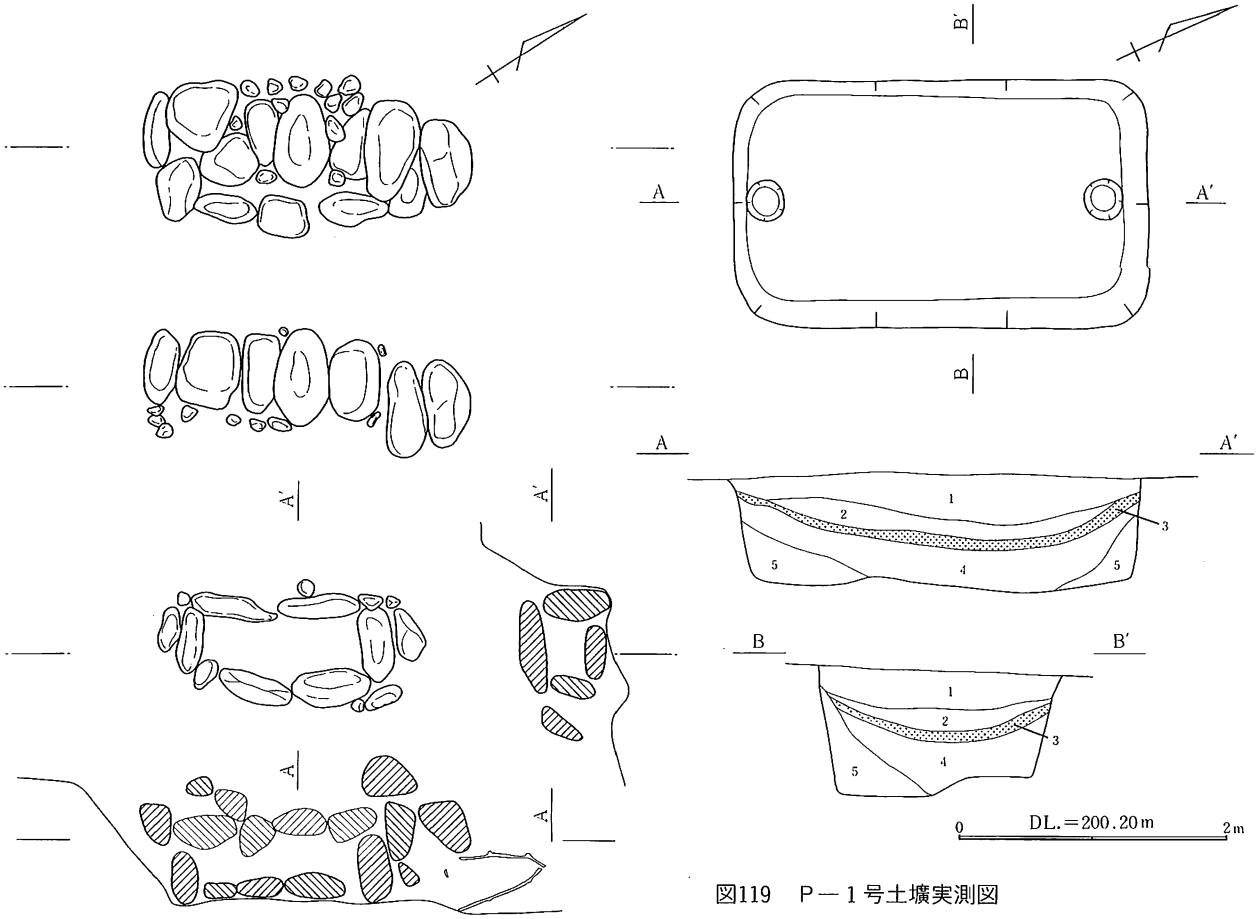


図119　P－1号土壙実測図

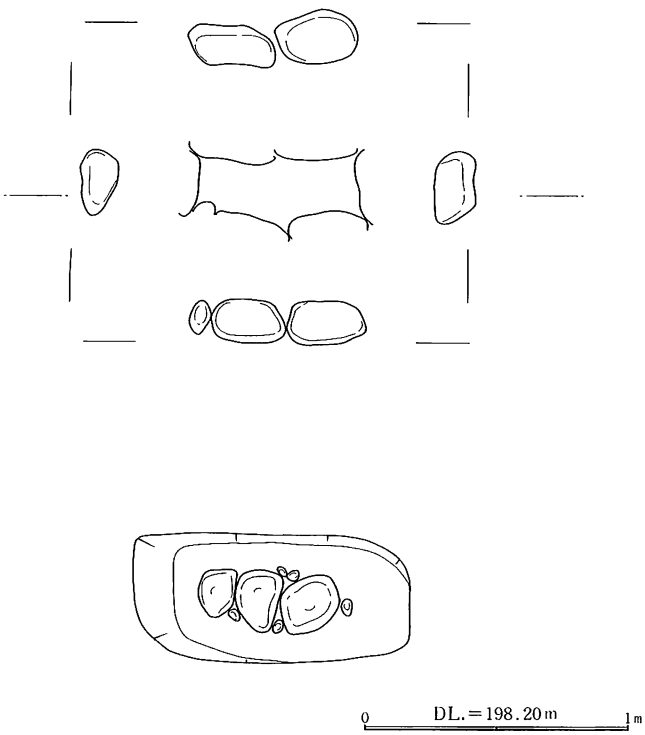


図118　P－1号石槨実測図

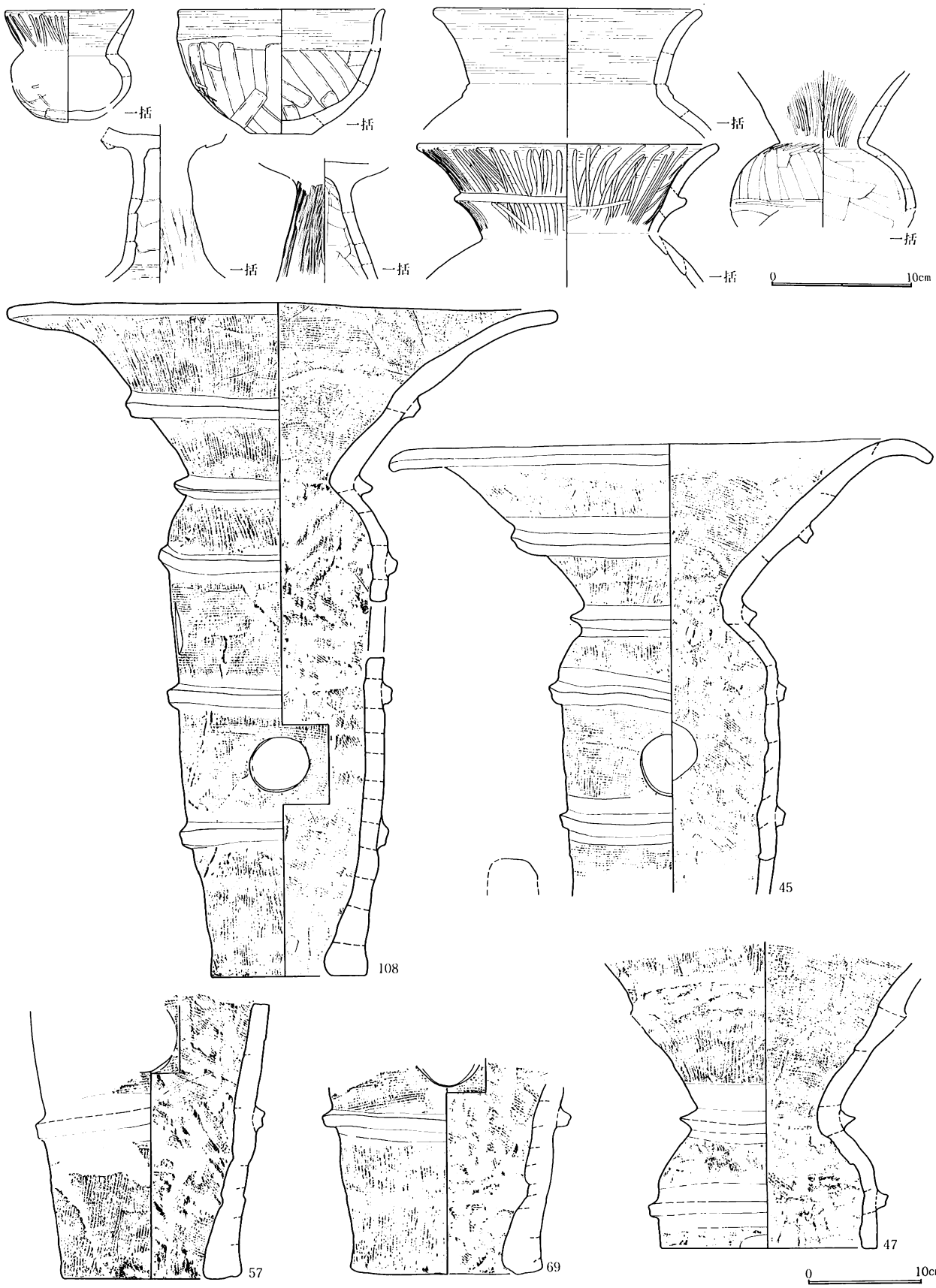


図121　Q－1号古墳遺物実測図

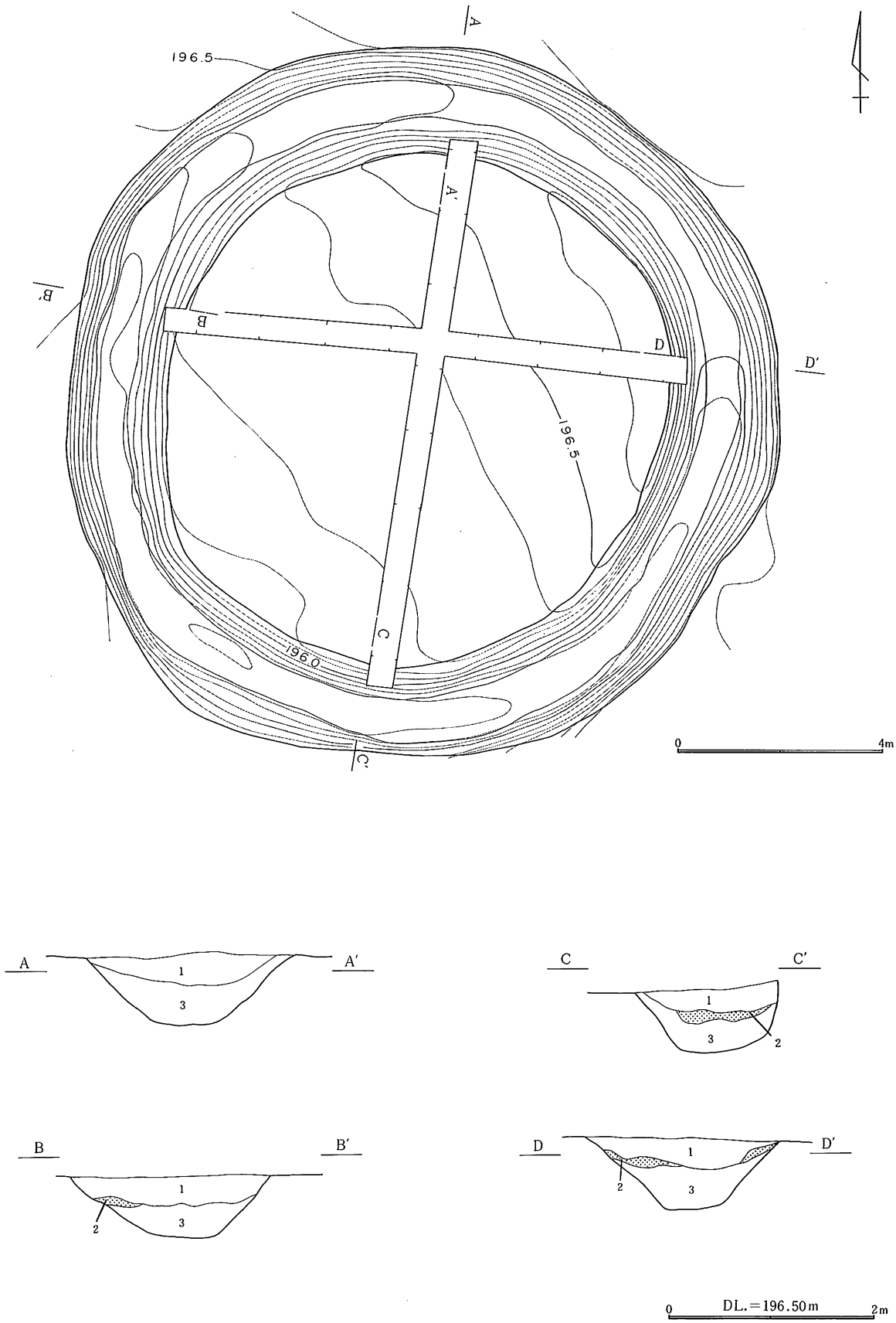


図122　Ⅴ－1号古墳実測図

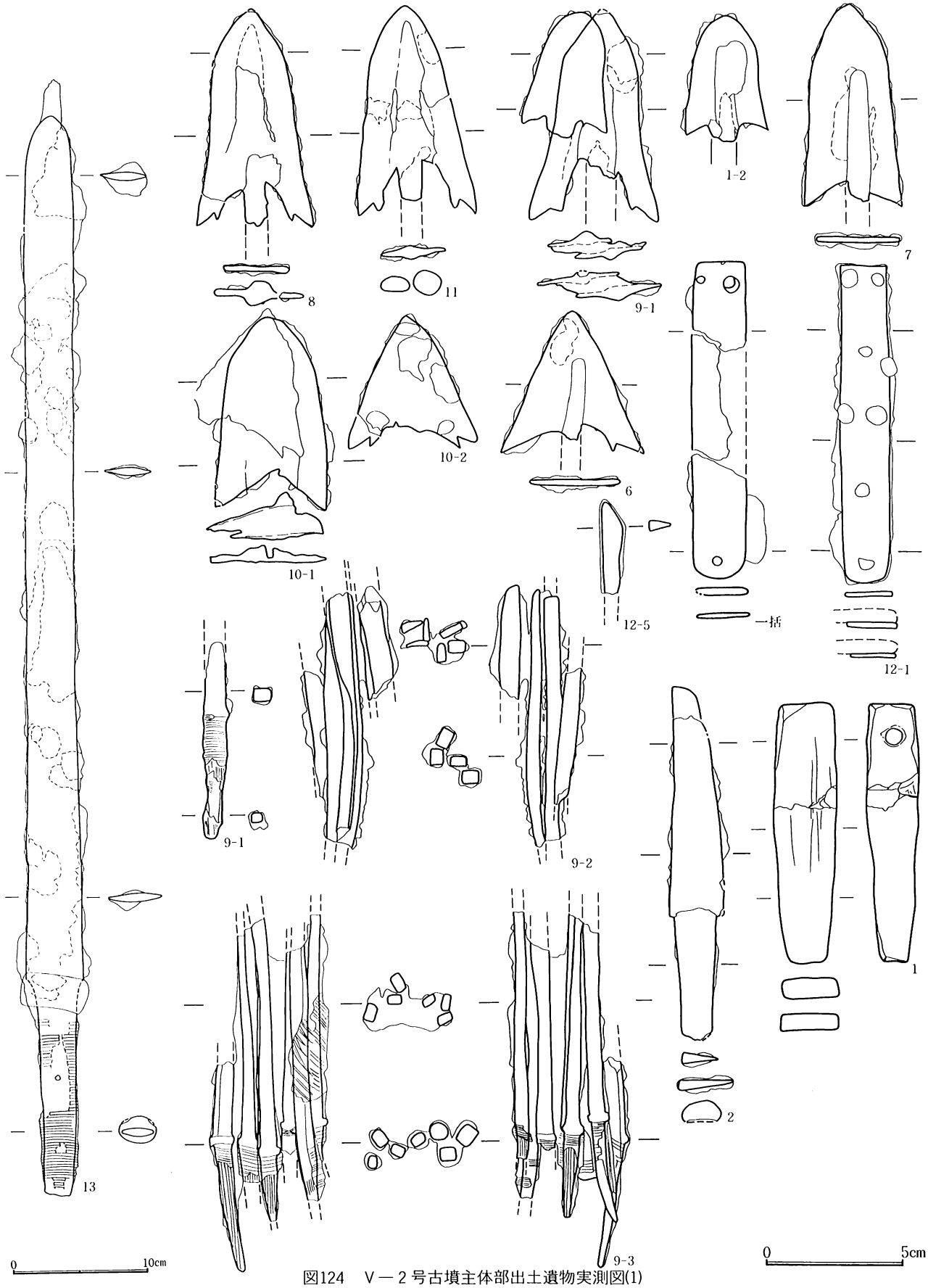


図124　Ⅴ－2号古墳主体部出土遺物実測図(1)

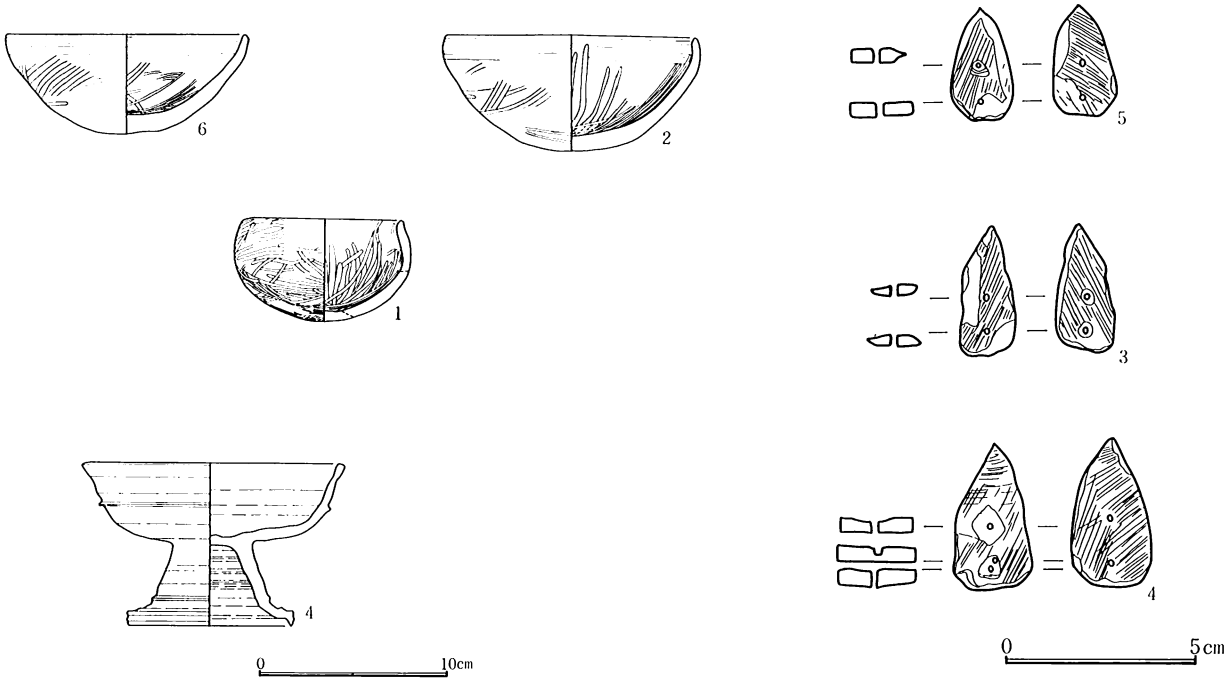


図126　Ⅴ－２号古墳主体部出土遺物実測図(2)

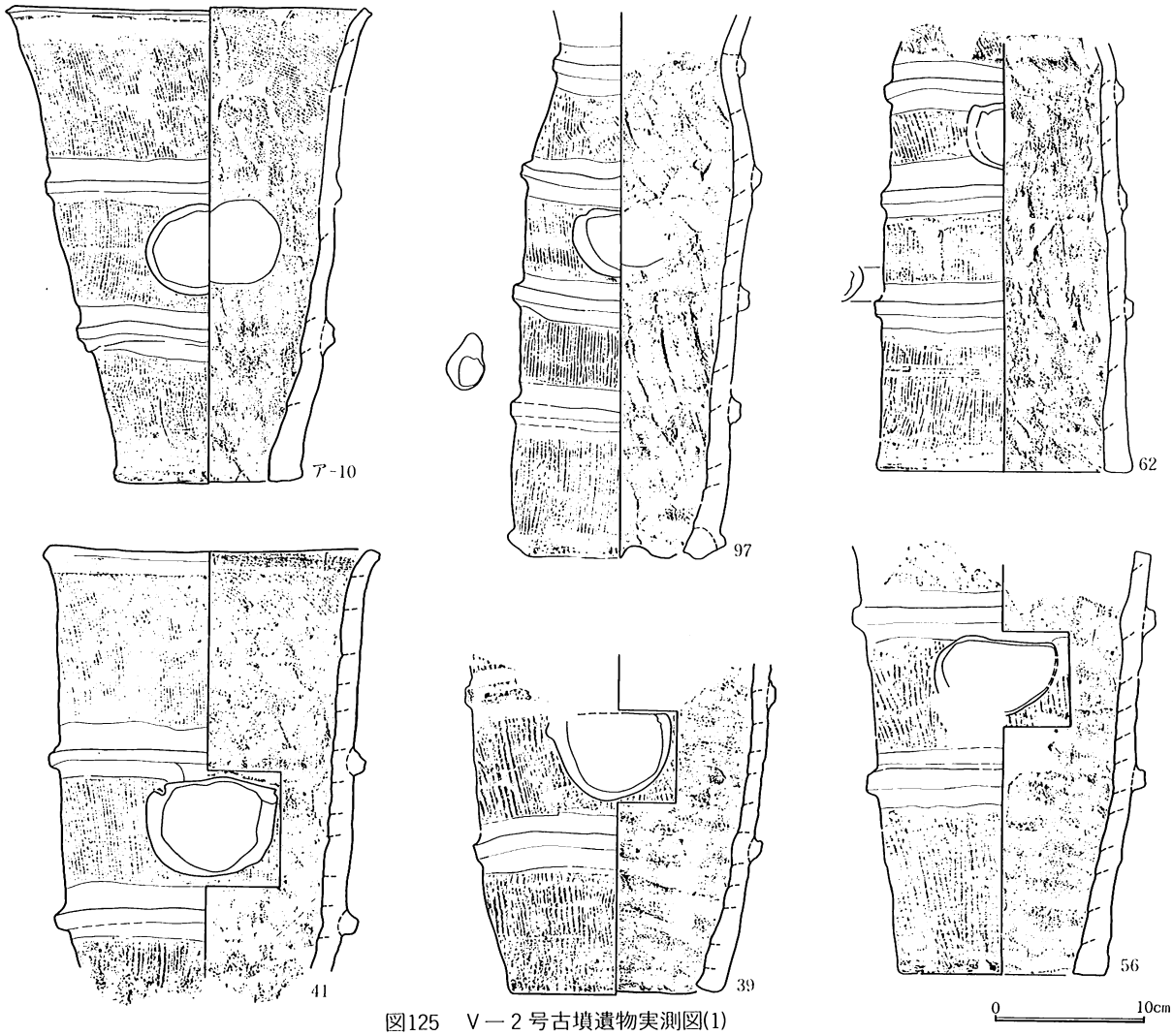


図125　Ⅴ－２号古墳遺物実測図(1)

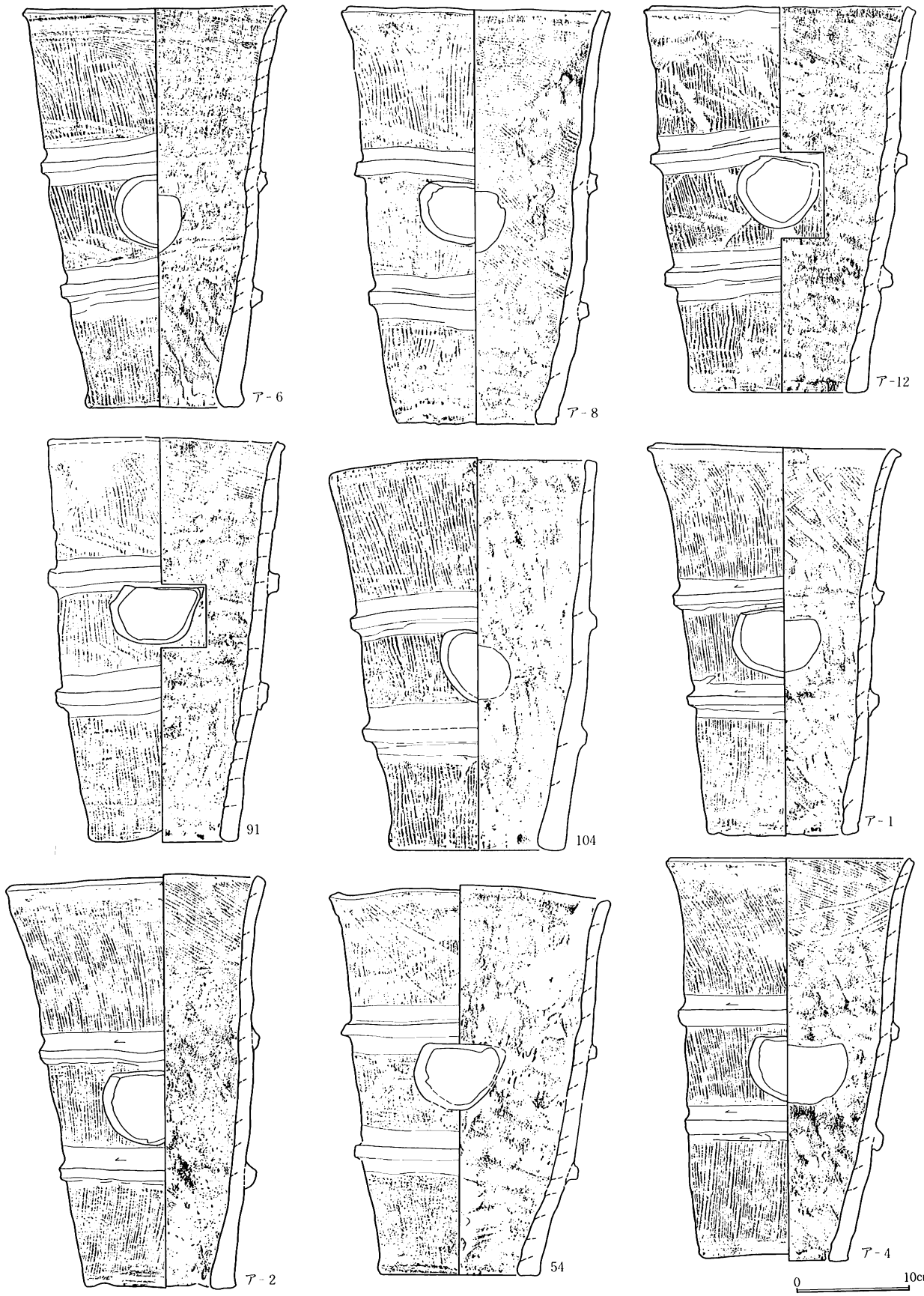


図127　Ⅴ－2号古墳遺物実測図(2)

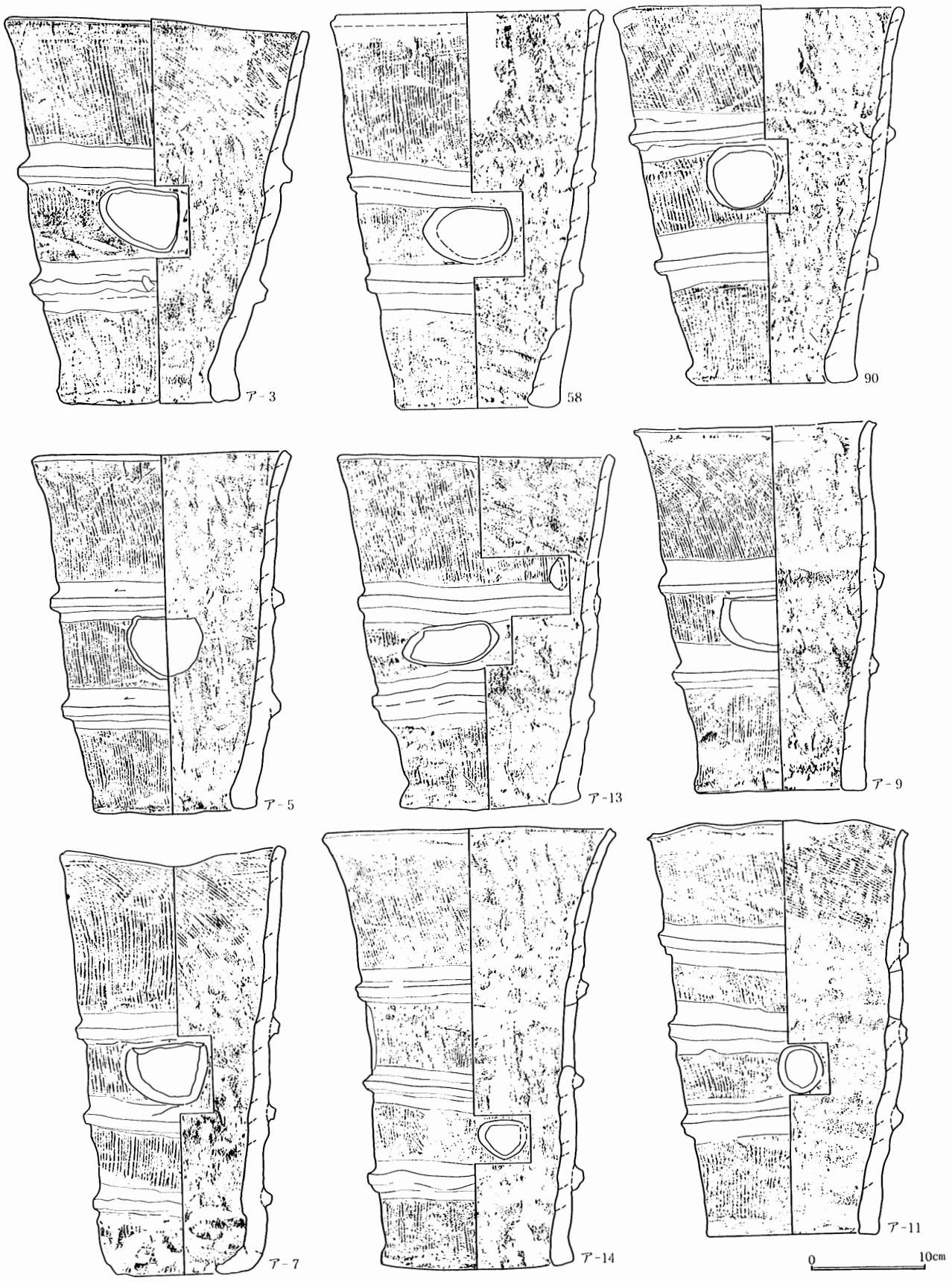


図128　V－2号古墳遺物実測図(3)

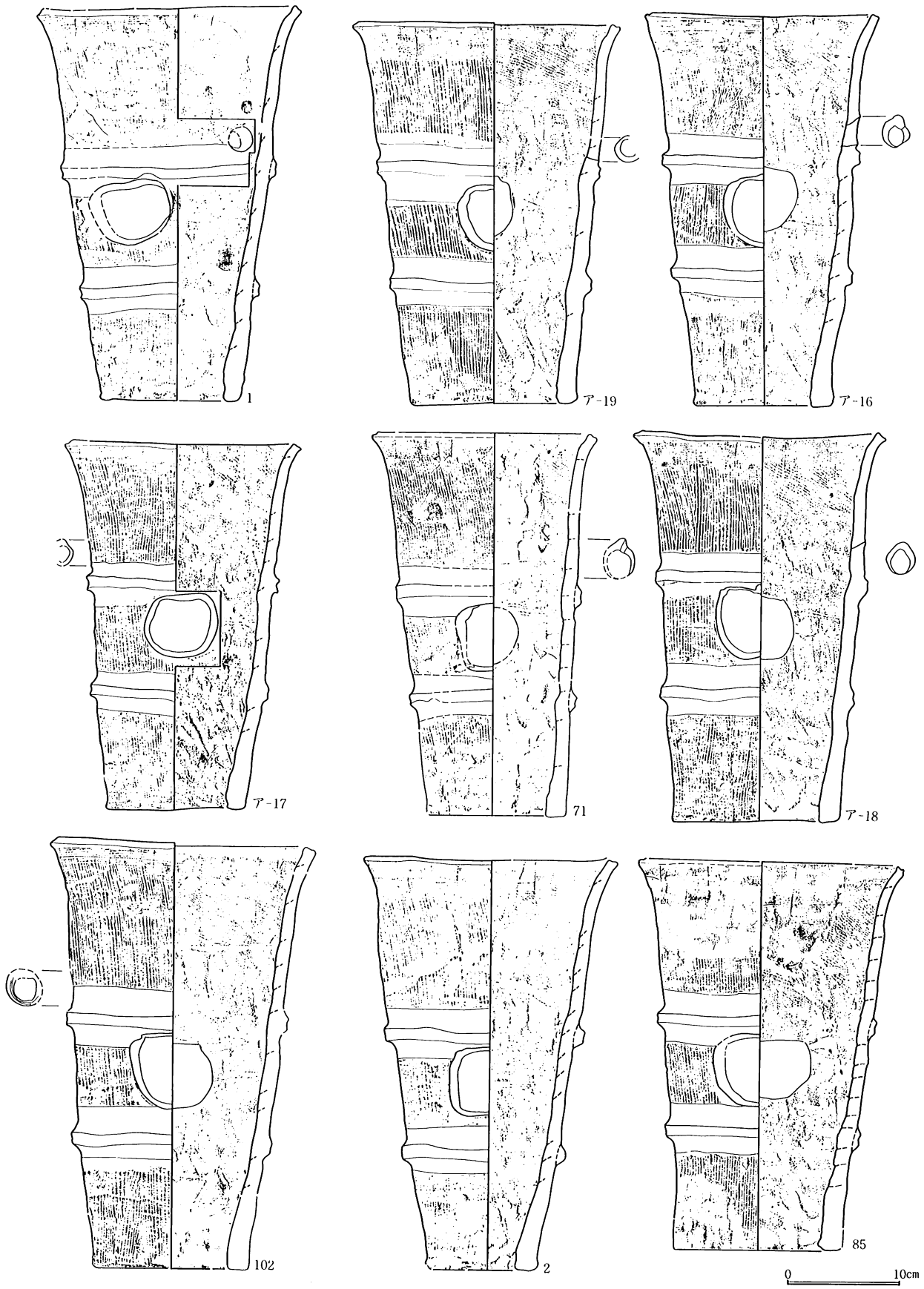


図132　Ⅴ－4号古墳遺物実測図(2)

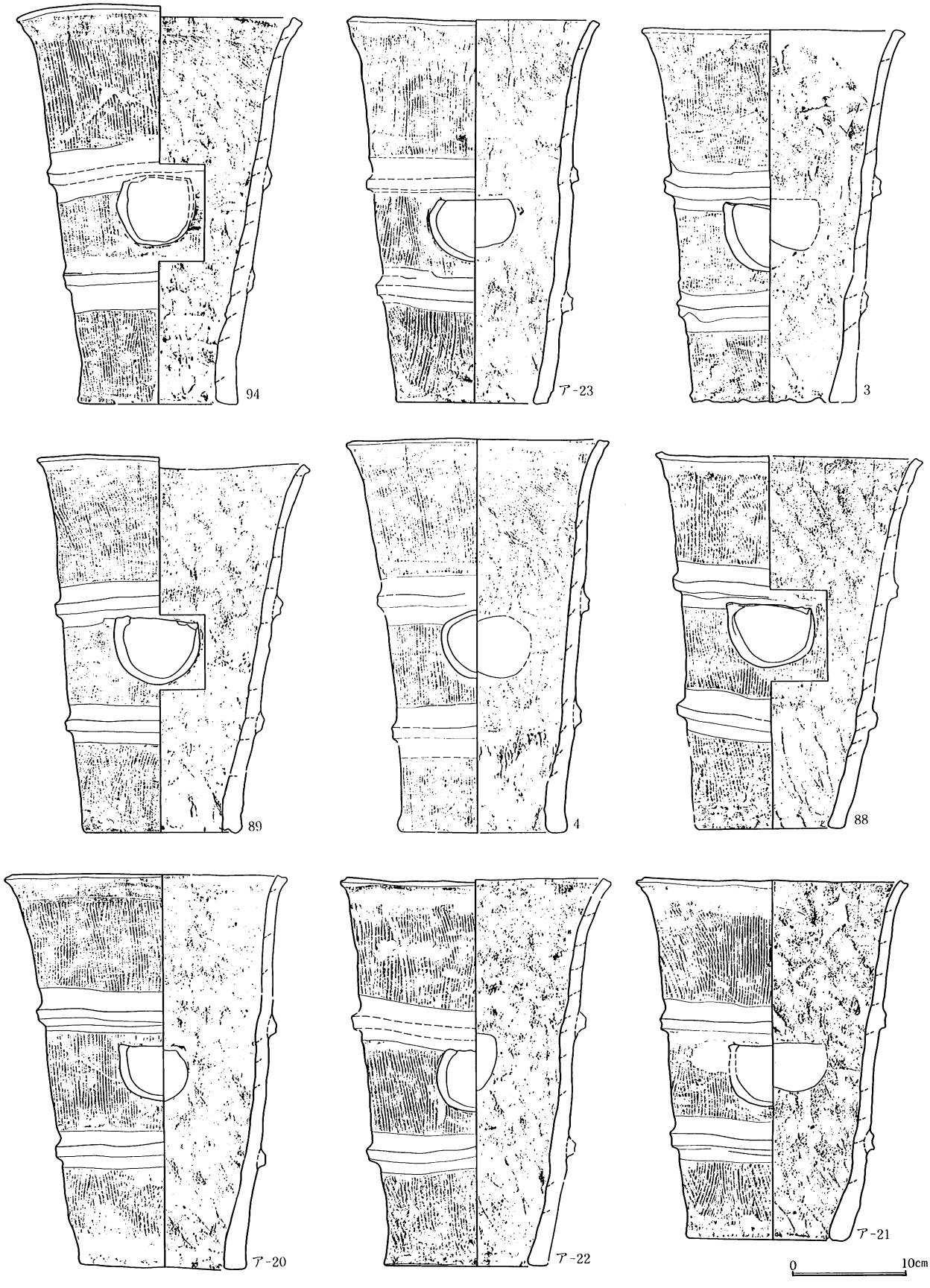


図133　V－4号古墳遺物実測図(3)

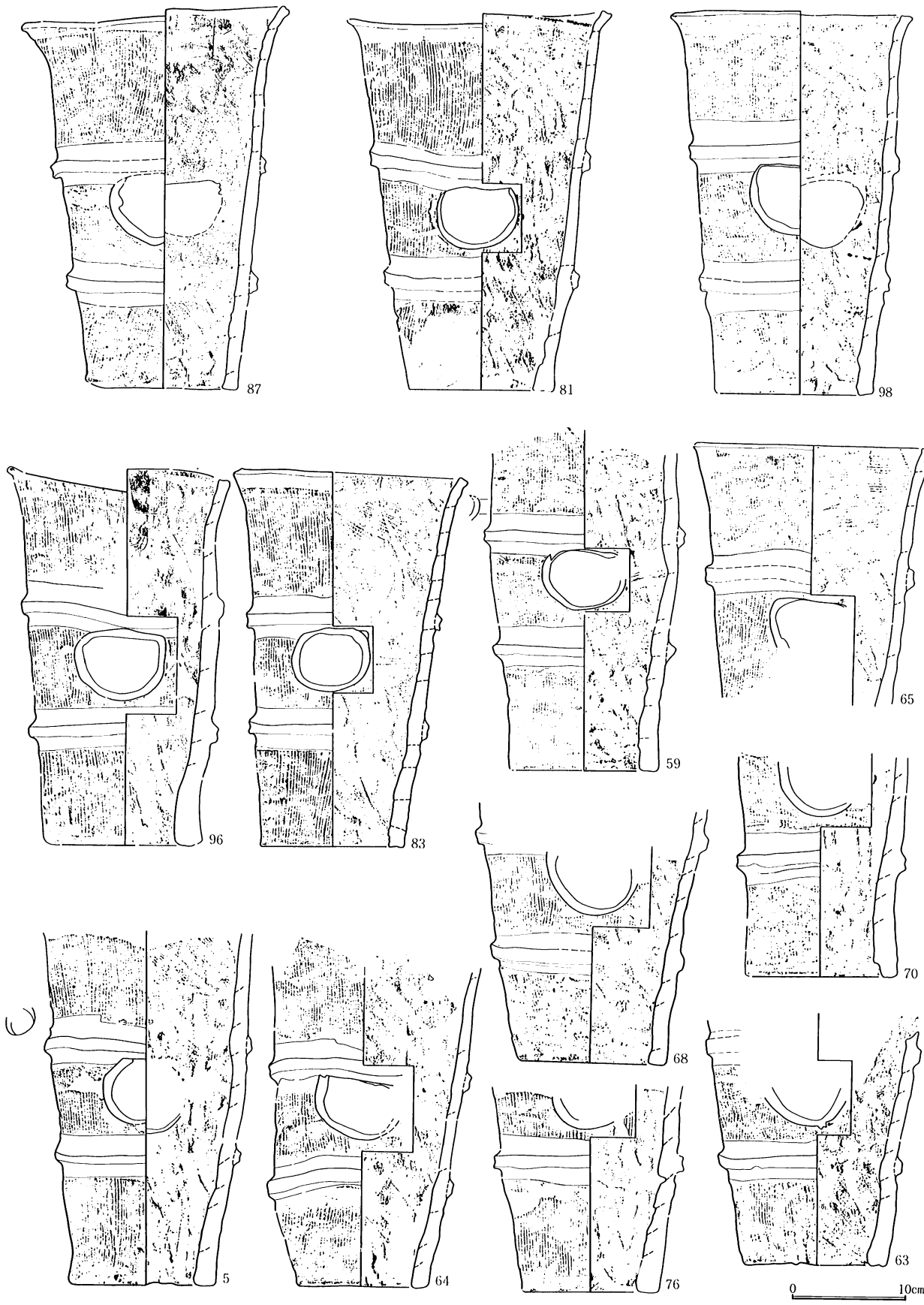


図134　Ⅴ－４号古墳遺物実測図(4)

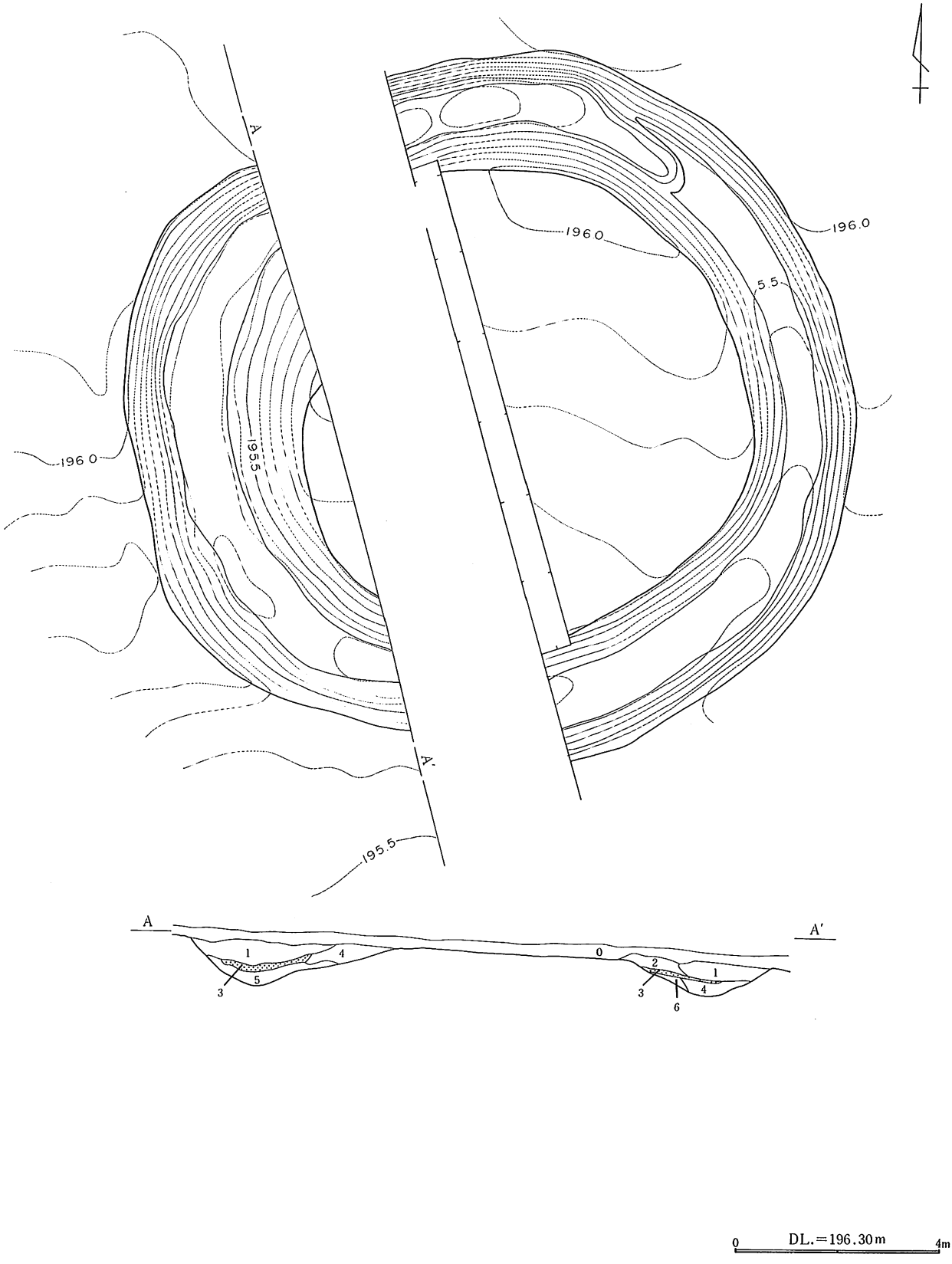


図135　V－5号古墳実測図

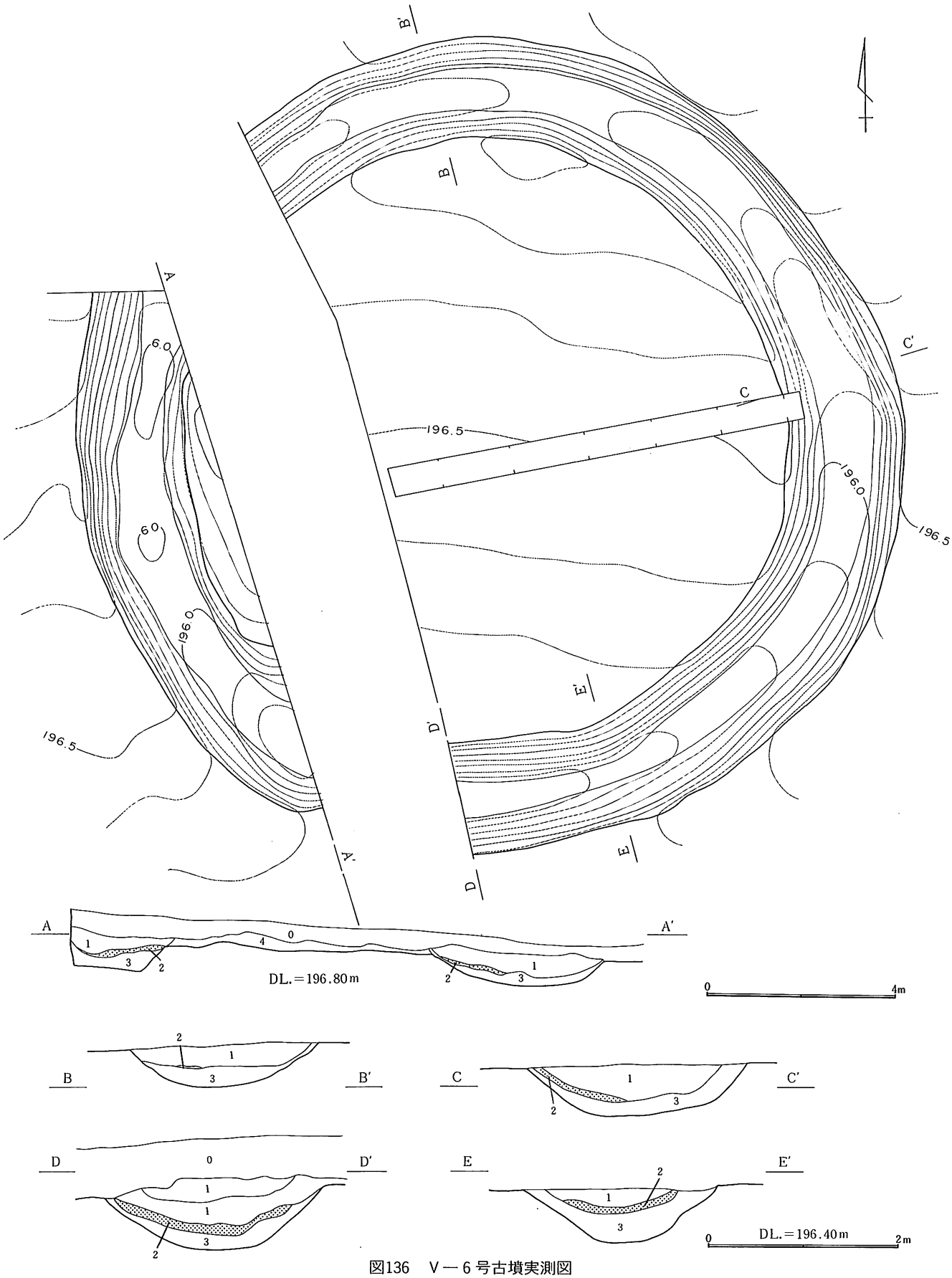


図136　Ⅴ－6号古墳実測図

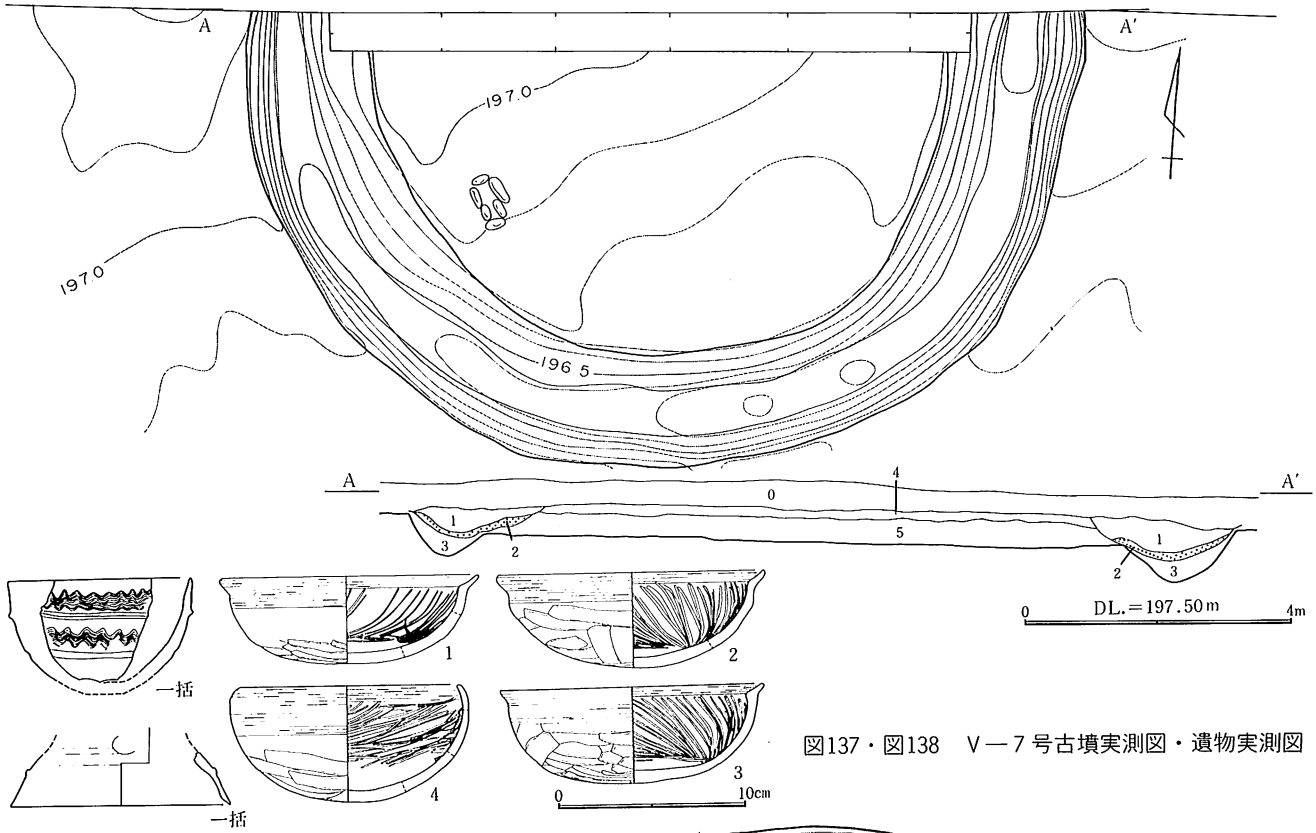


図137・図138　V－7号古墳実測図・遺物実測図

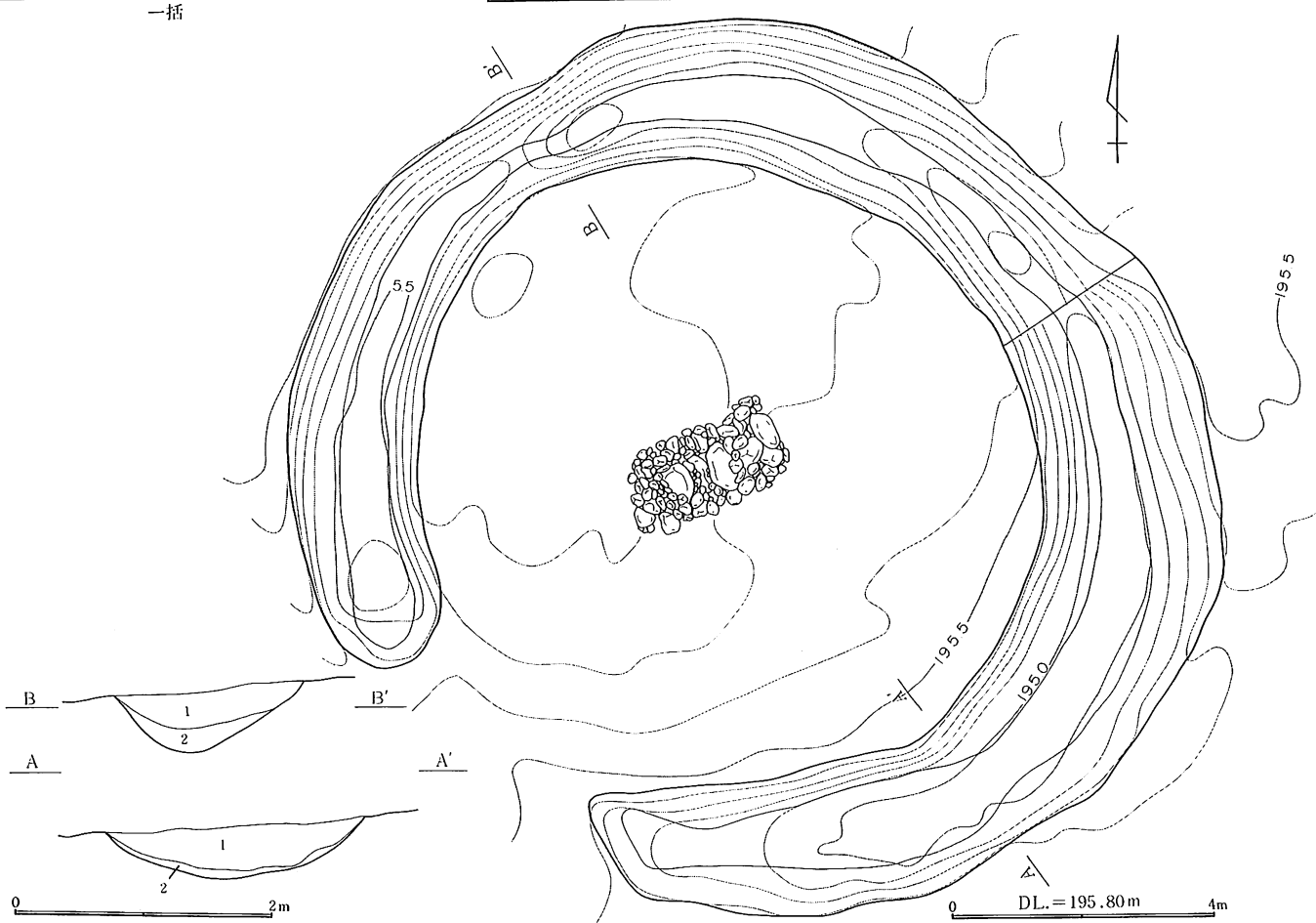


図139　V－8号古墳実測図

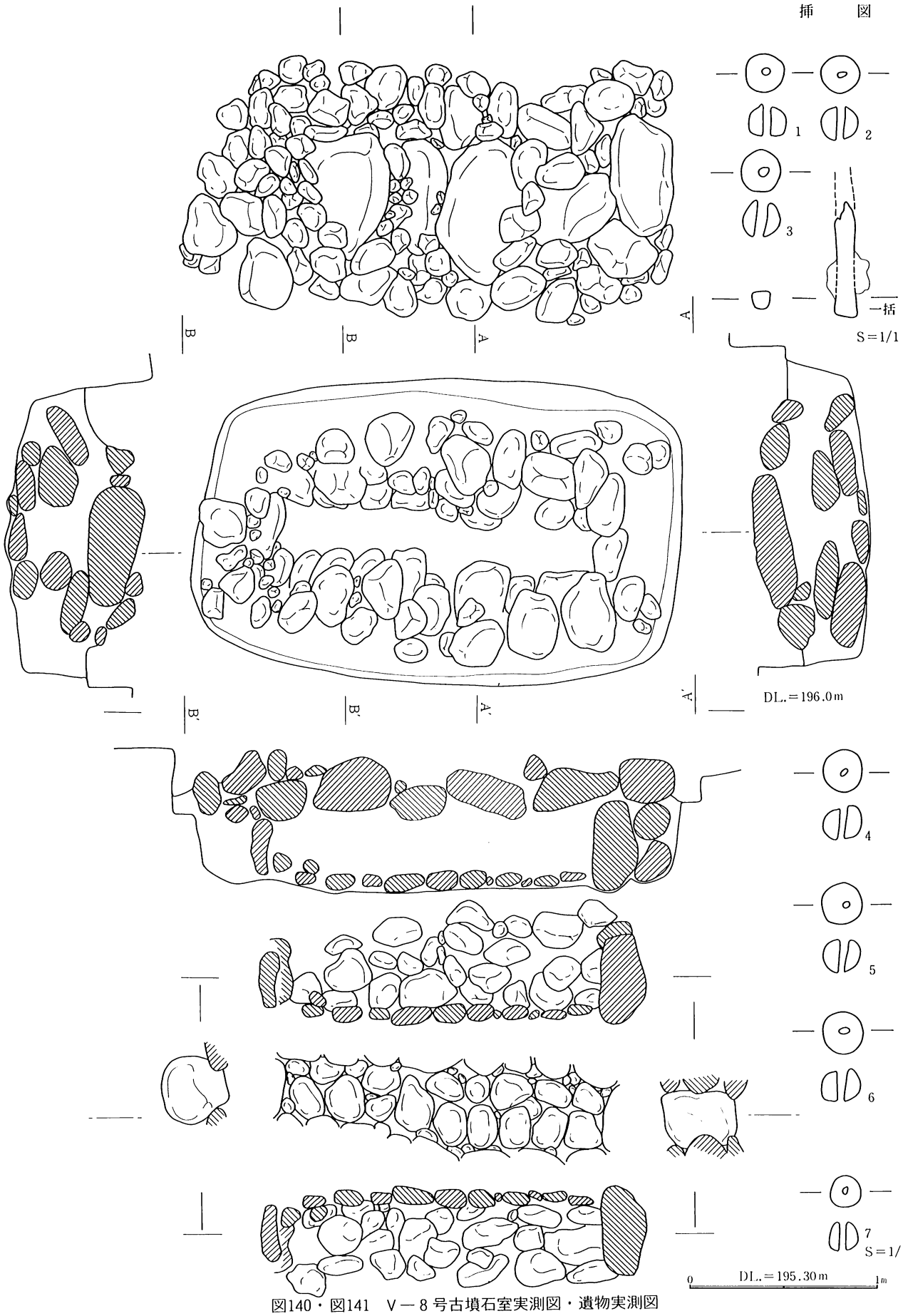


図140・図141　V－8号古墳石室実測図・遺物実測図

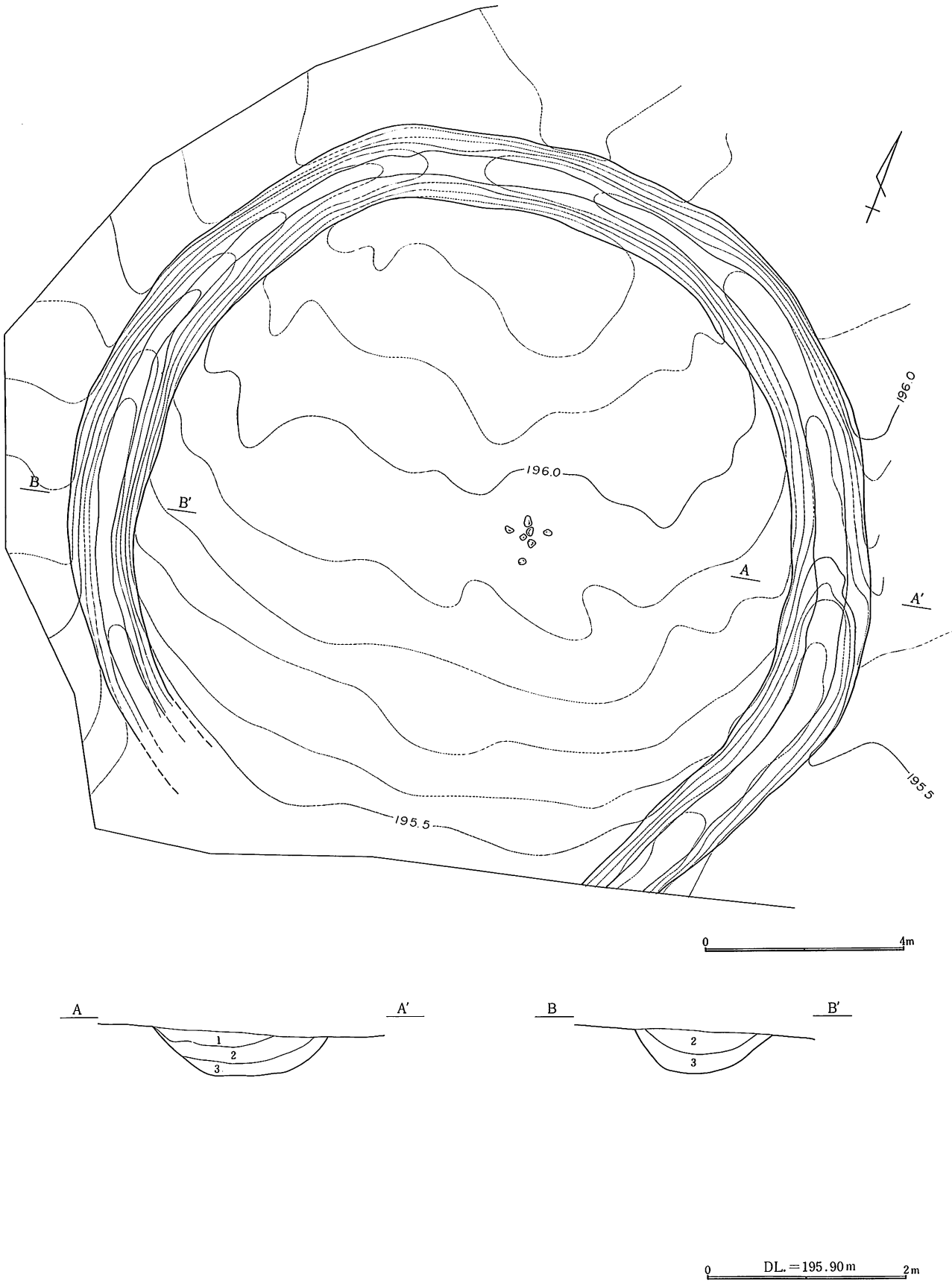


図142　V—9号古墳実測図

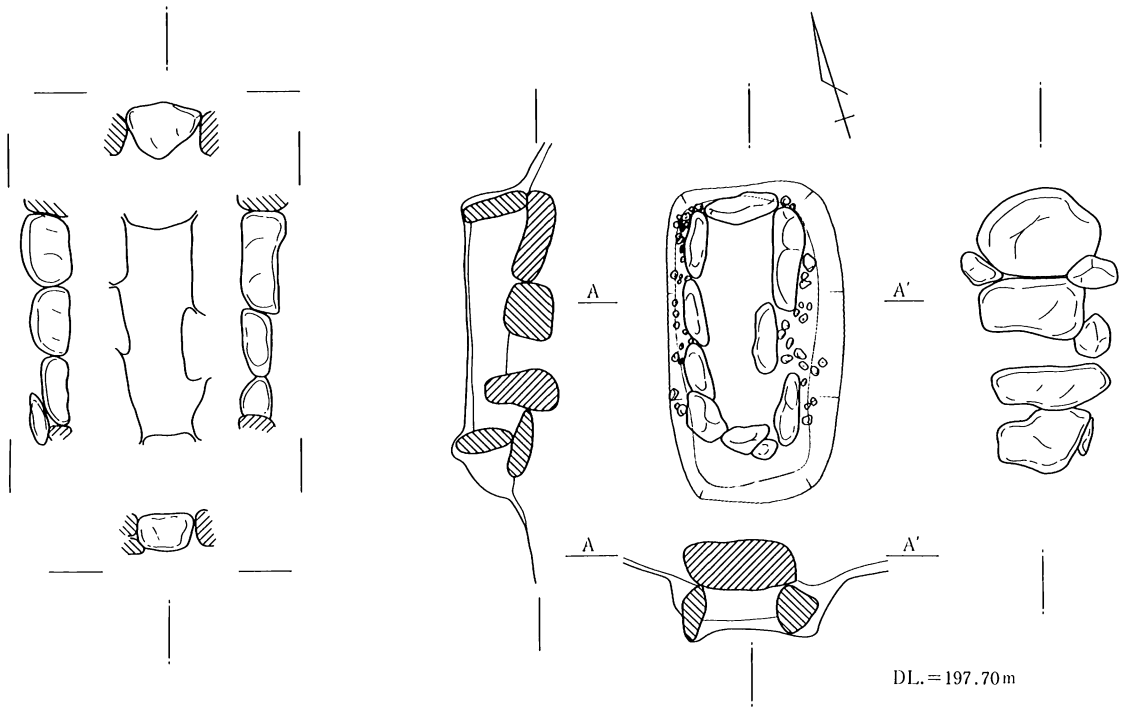


図143　Ⅴ－1号石槨実測図

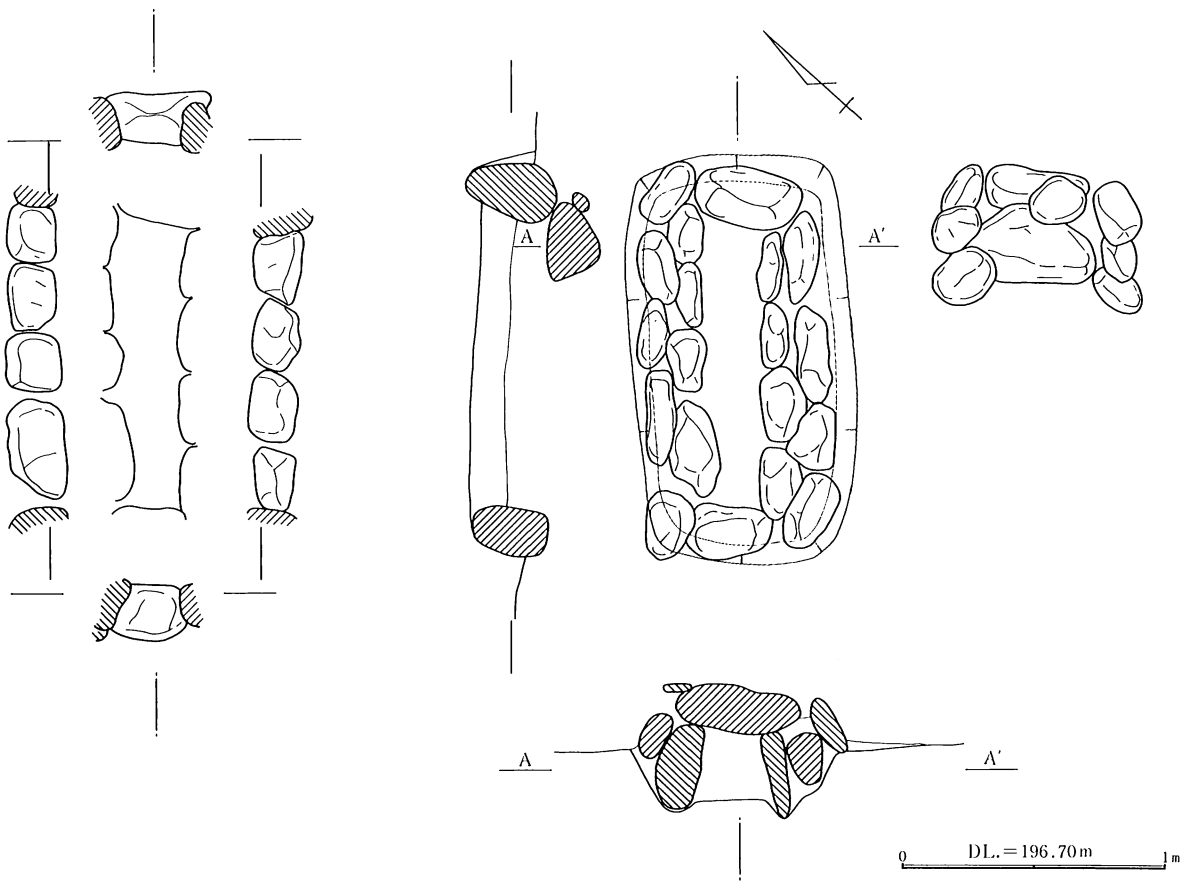


図144　Ⅴ－2号石槨実測図

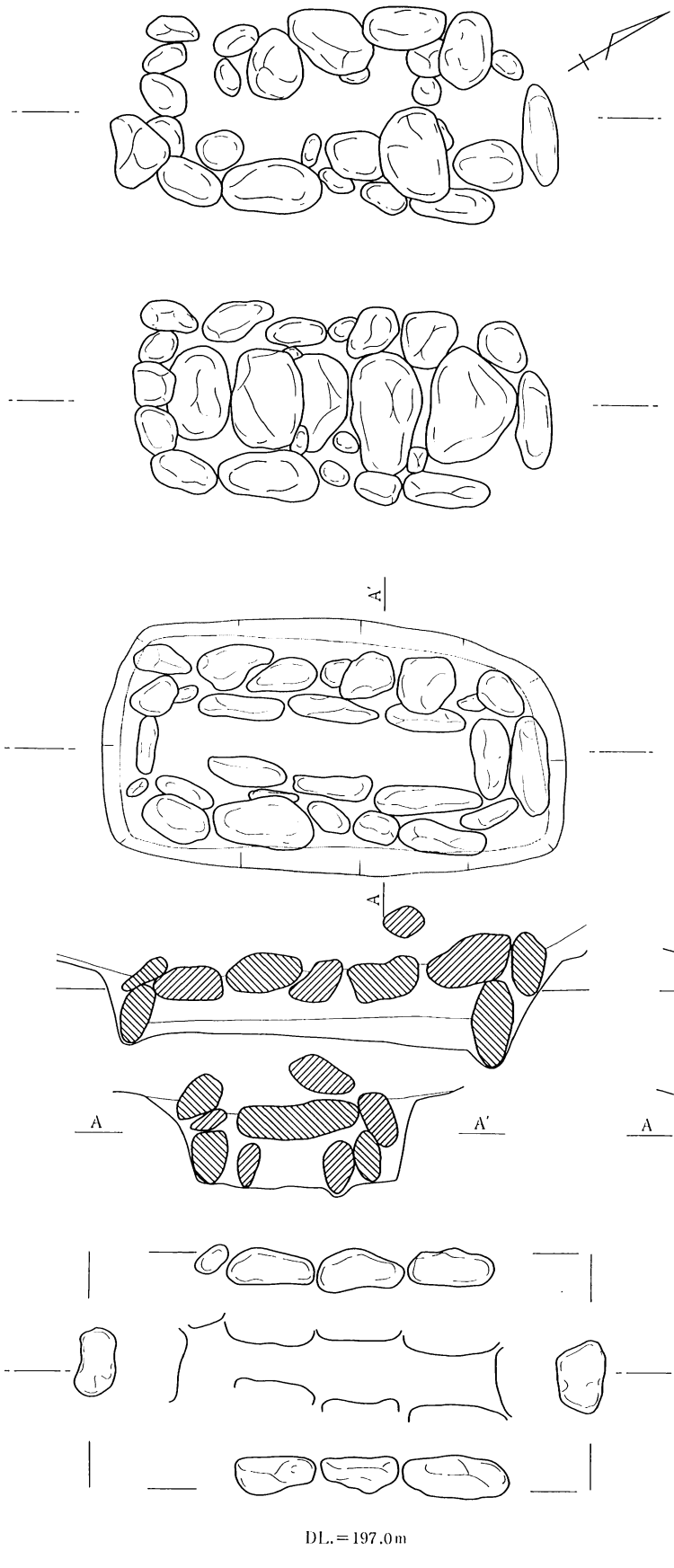


図145　Ⅴ－3号石槨実測図

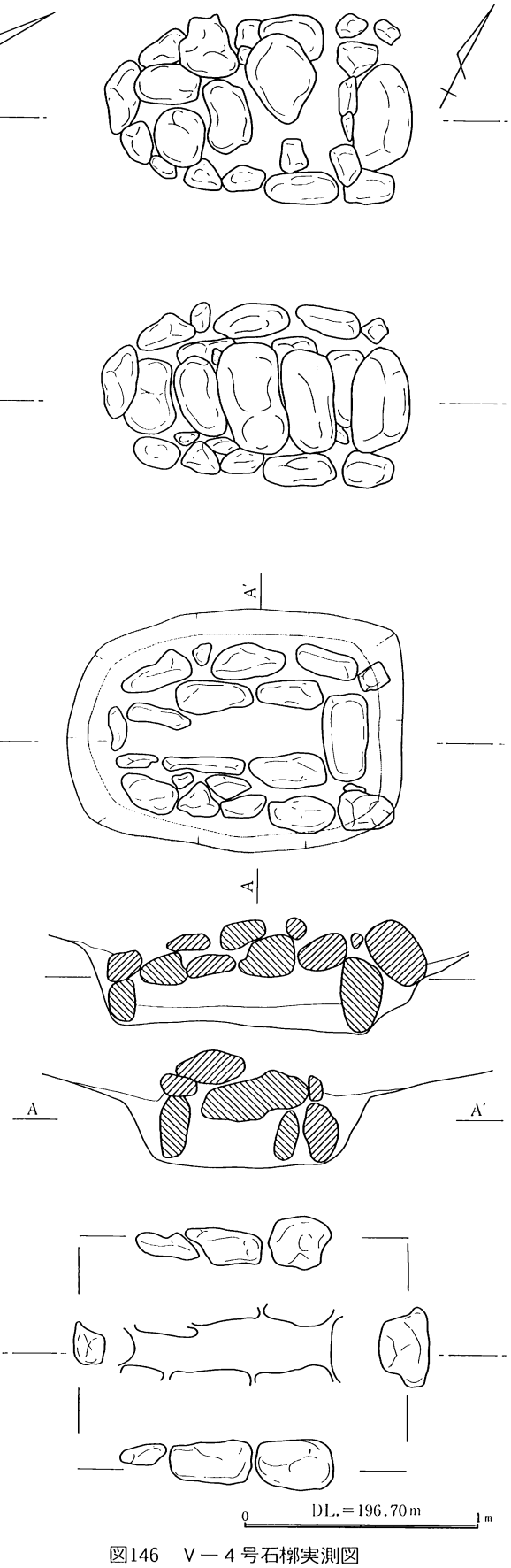


図146　Ⅴ－4号石槨実測図

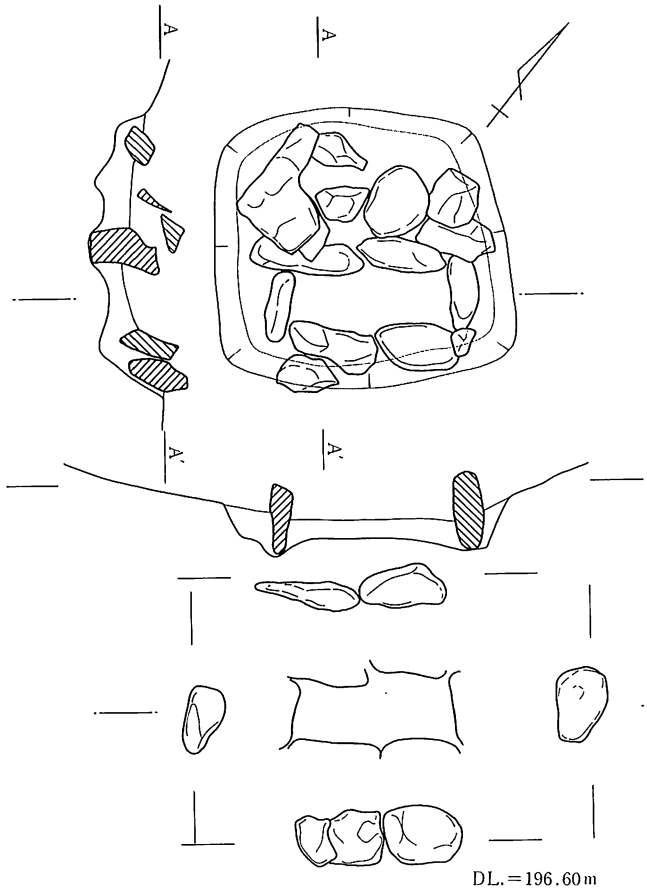


図147　Ⅴ－5号石槨実測図

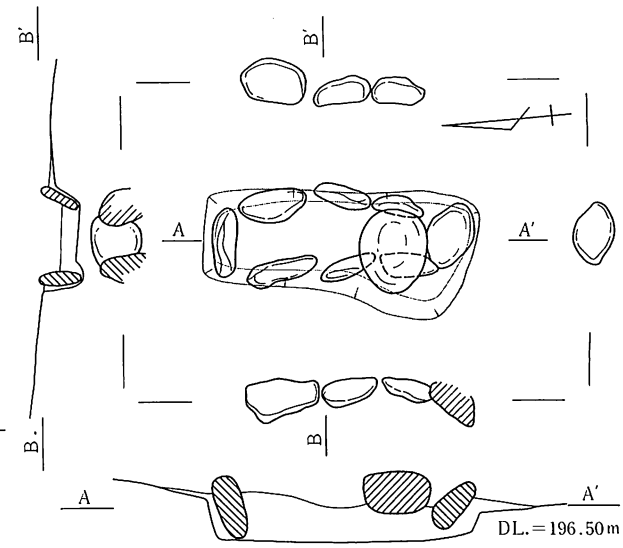
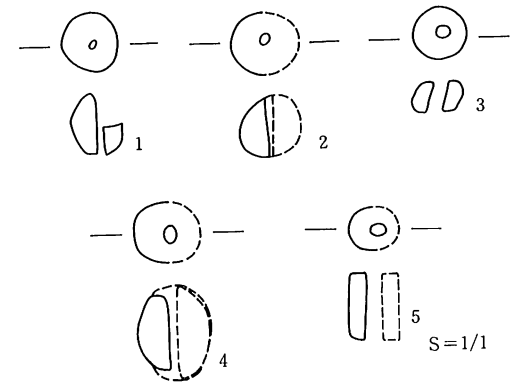


図148　Ⅴ－7号石槨実測図



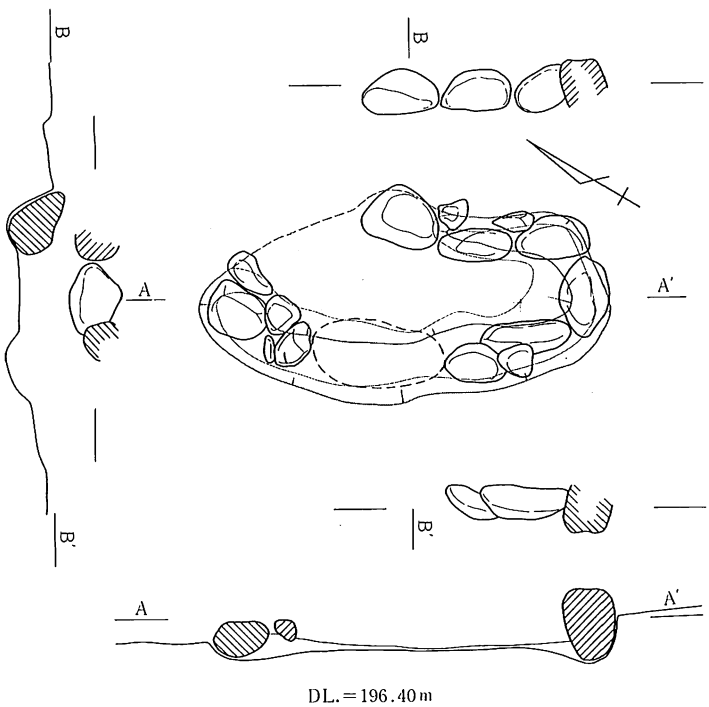


図149　Ⅴ－8号石槨実測図

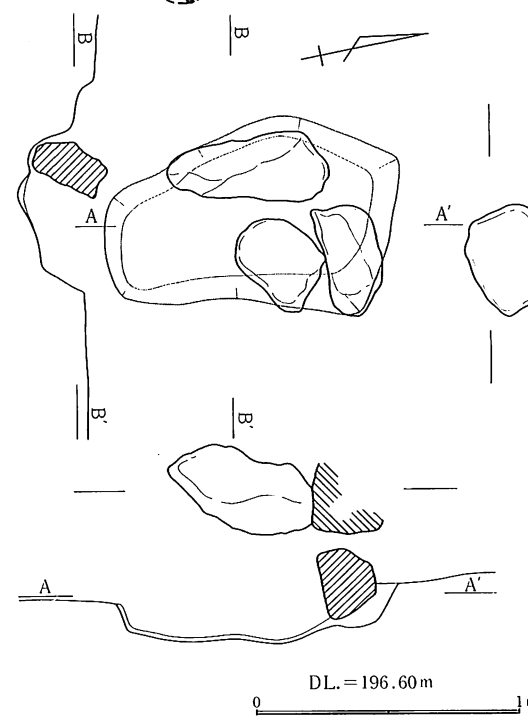


図150・図151　Ⅴ－9号石槨実測図・遺物実測図

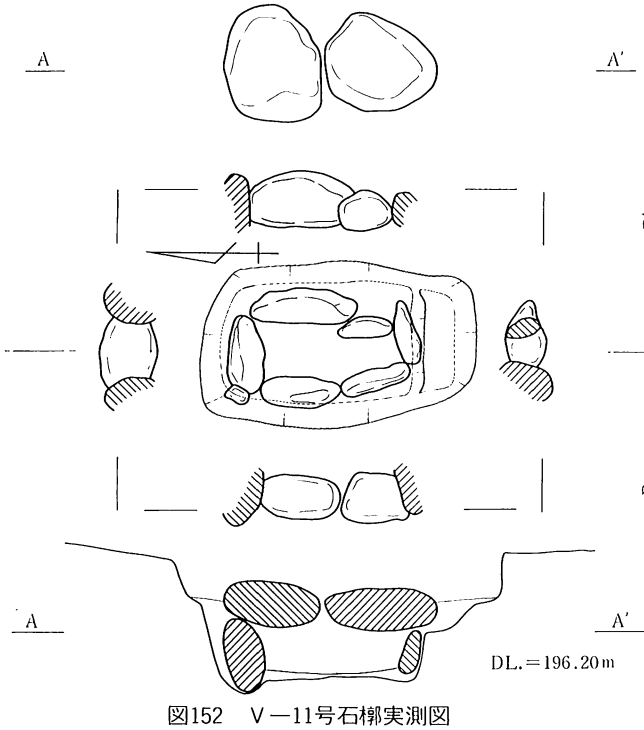


図152　Ⅴ—11号石槨実測図

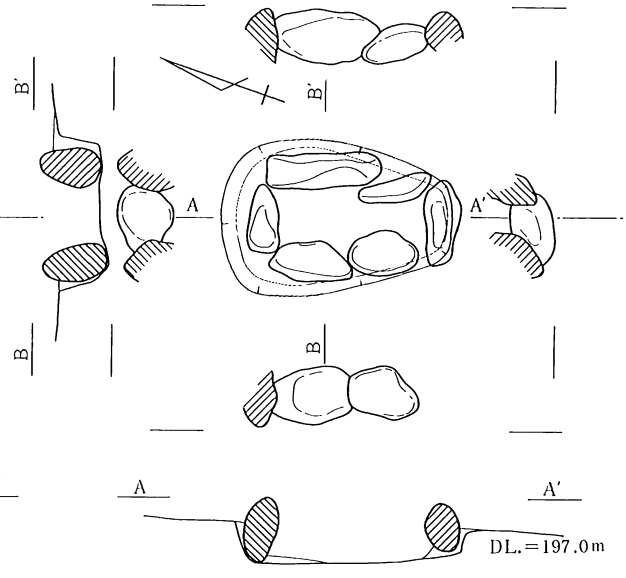


図153　Ⅴ—10号石槨実測図

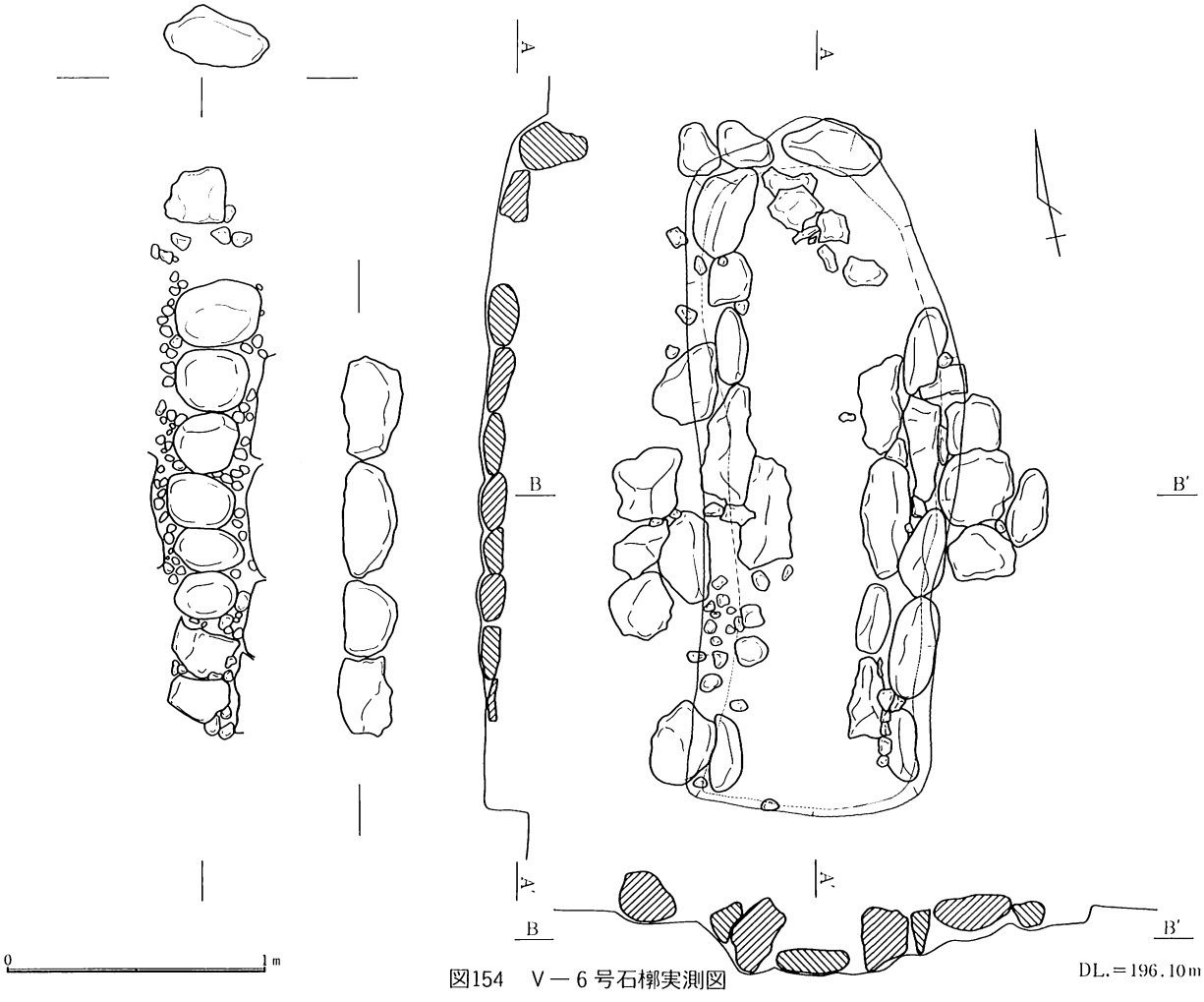


図154　Ⅴ—6号石槨実測図

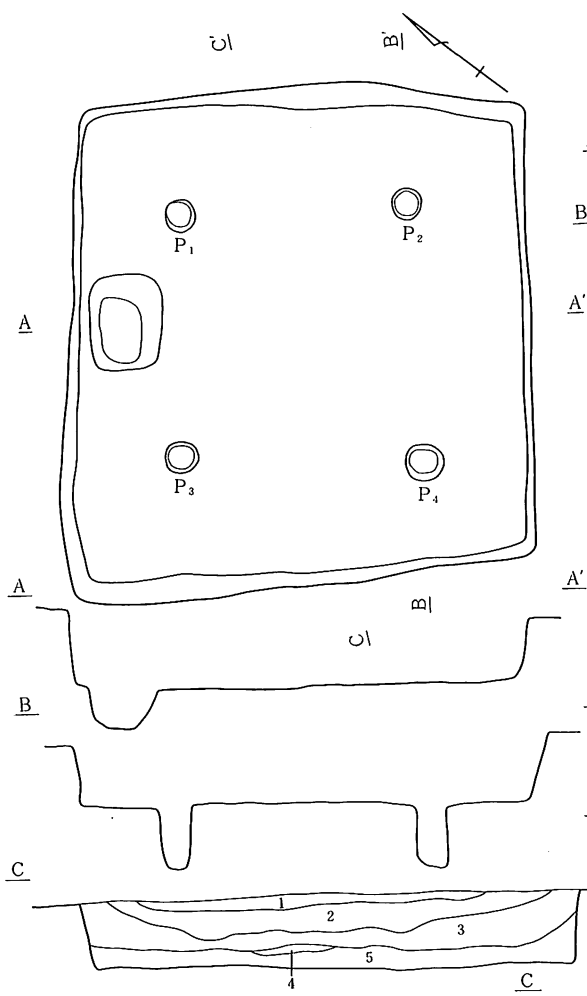


図155　VH―1号住居実測図

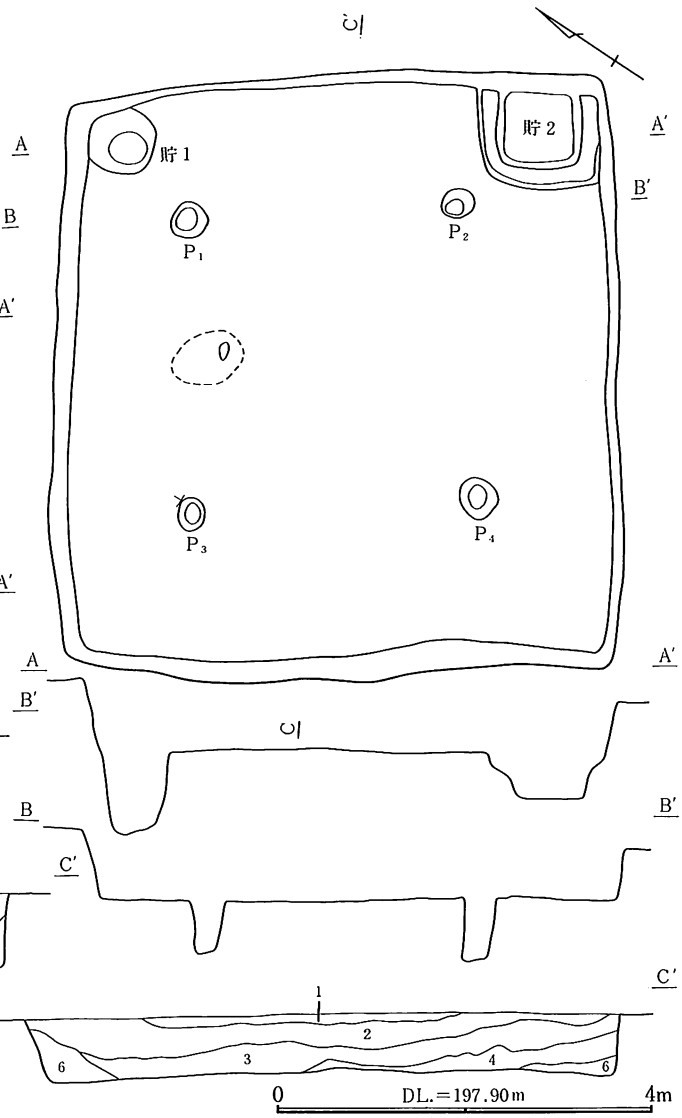


図156　VH―2号住居実測図

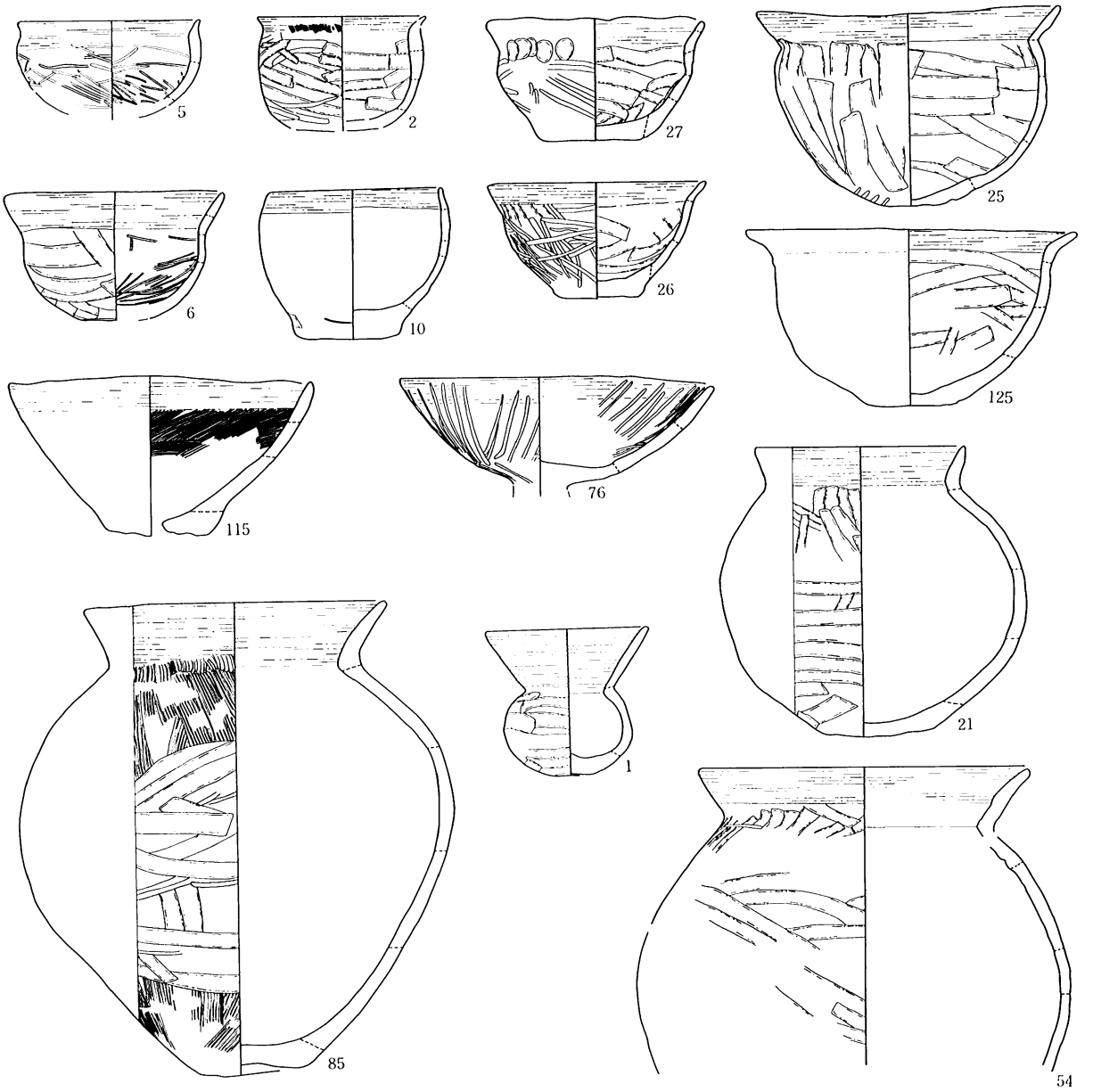


図157　VH— 1 号住居遺物実測図

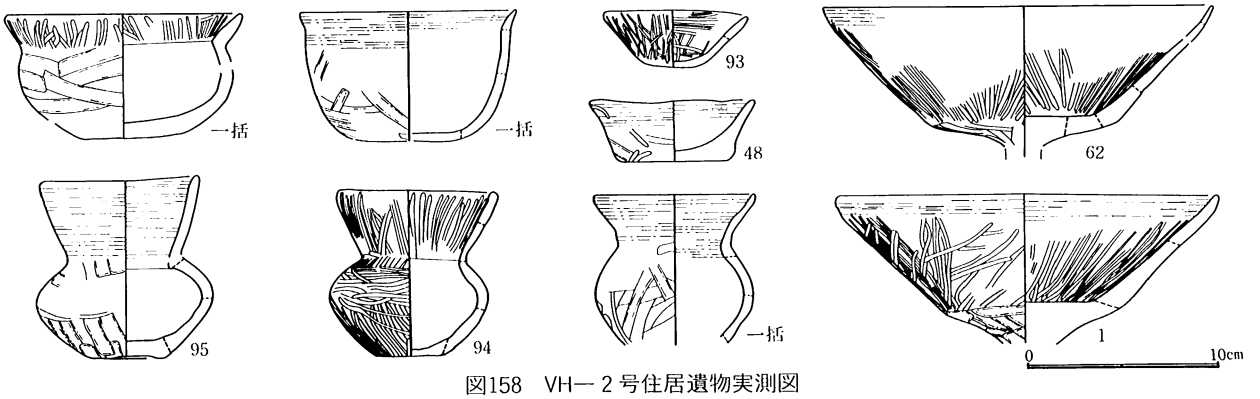


図158　VH— 2 号住居遺物実測図

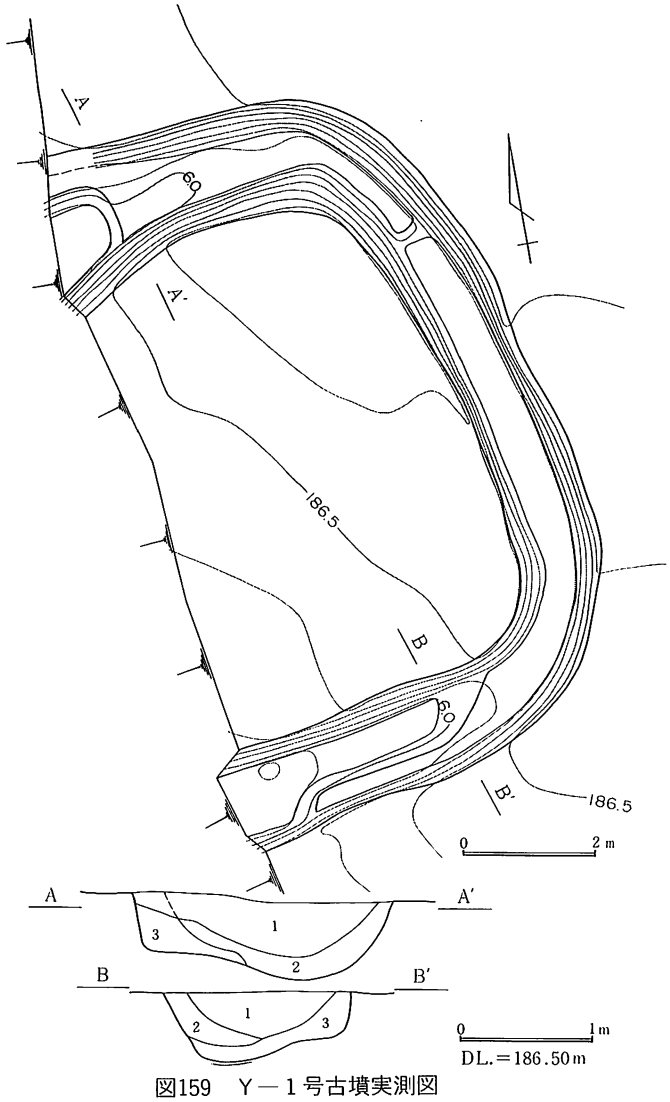


図159　Y－1号古墳実測図

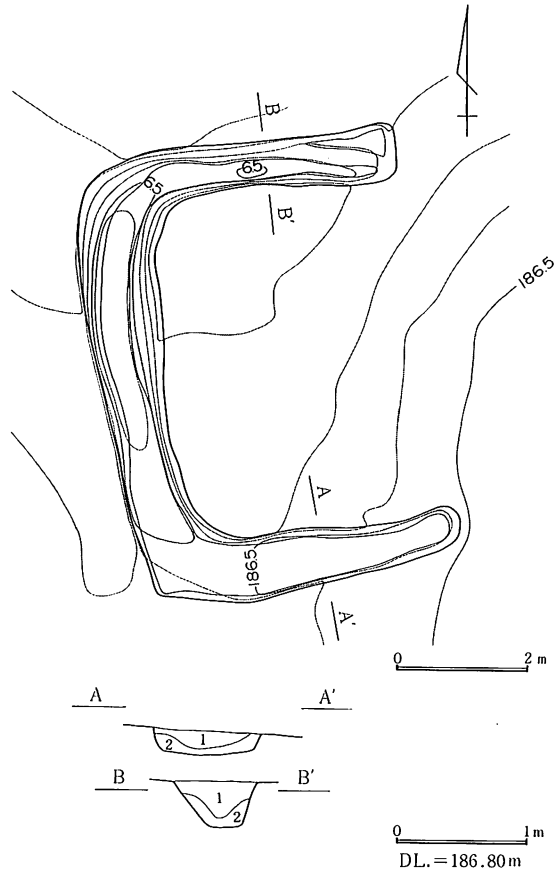


図160　Y－2号古墳実測図

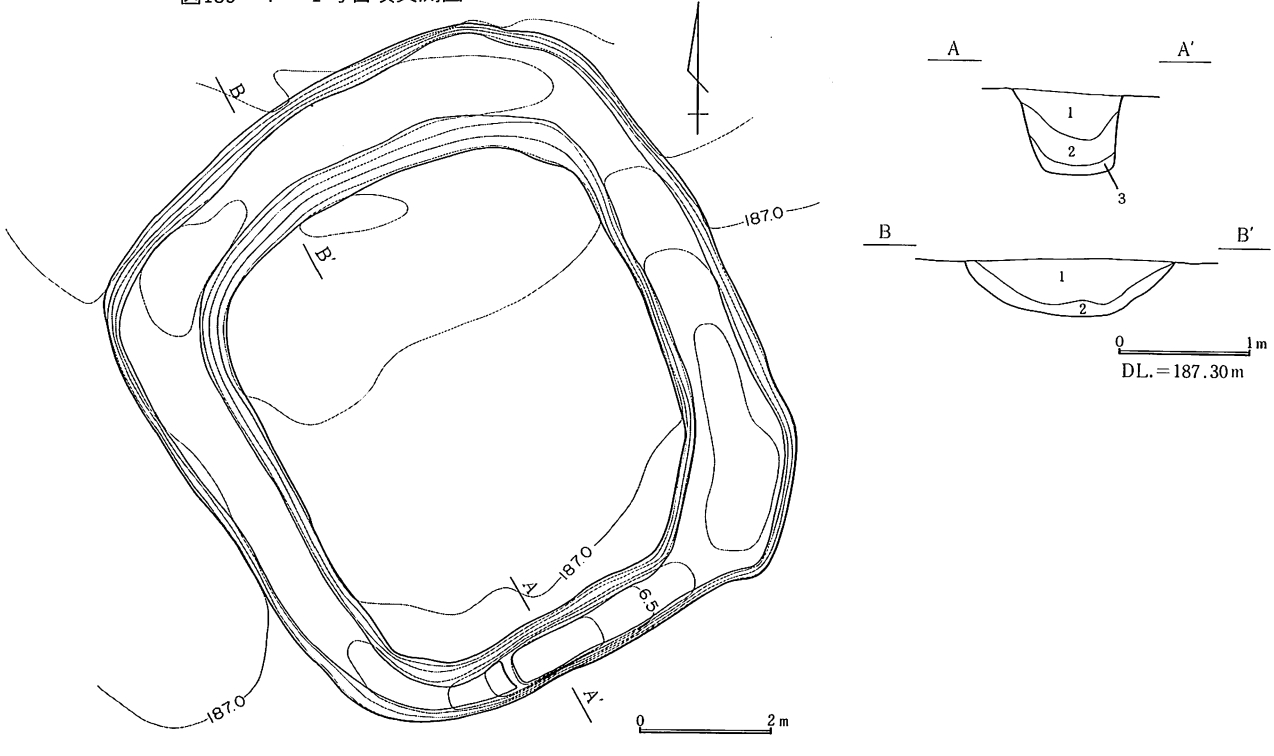


図161　Y－3号古墳実測図

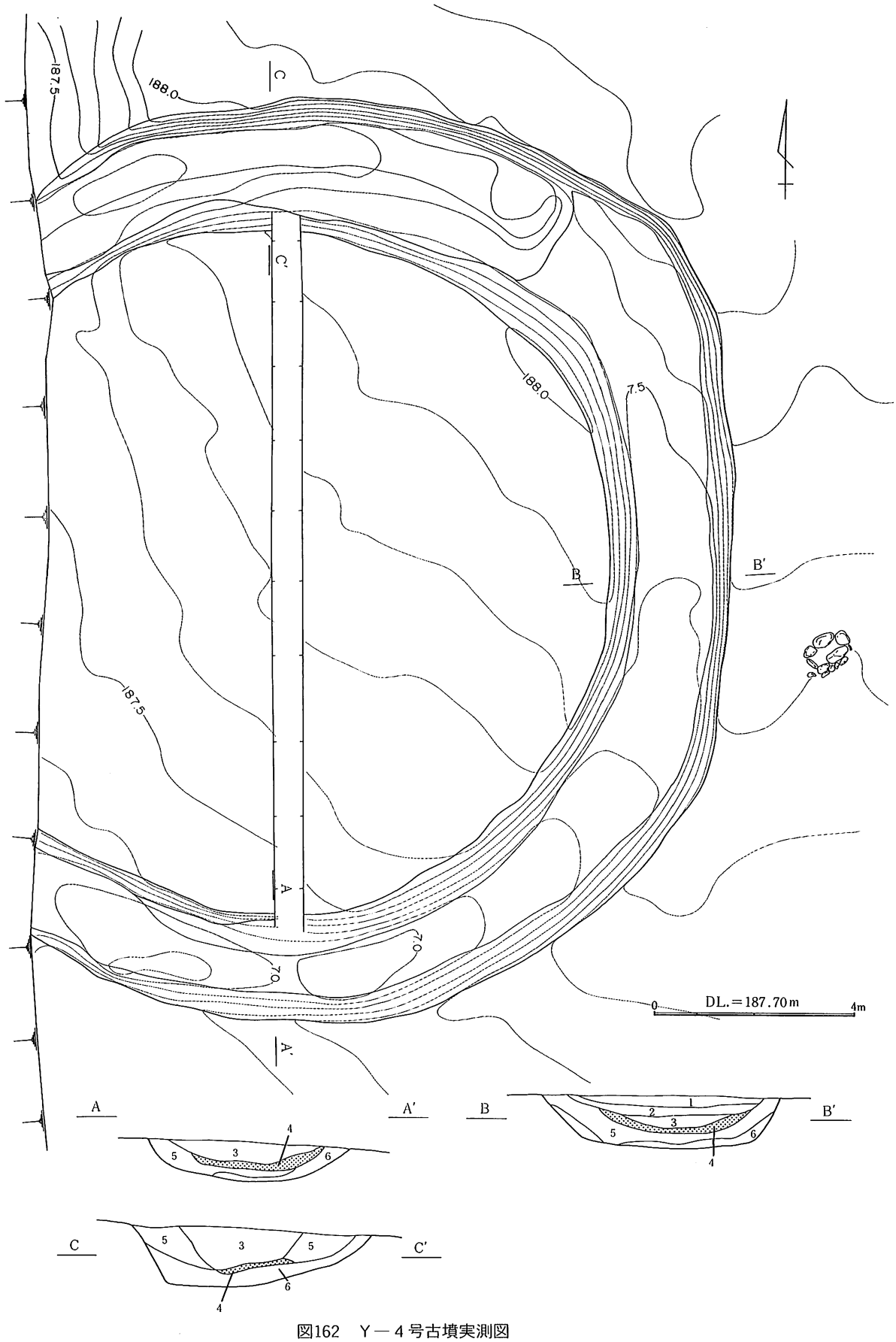


図162　Y－4号古墳実測図

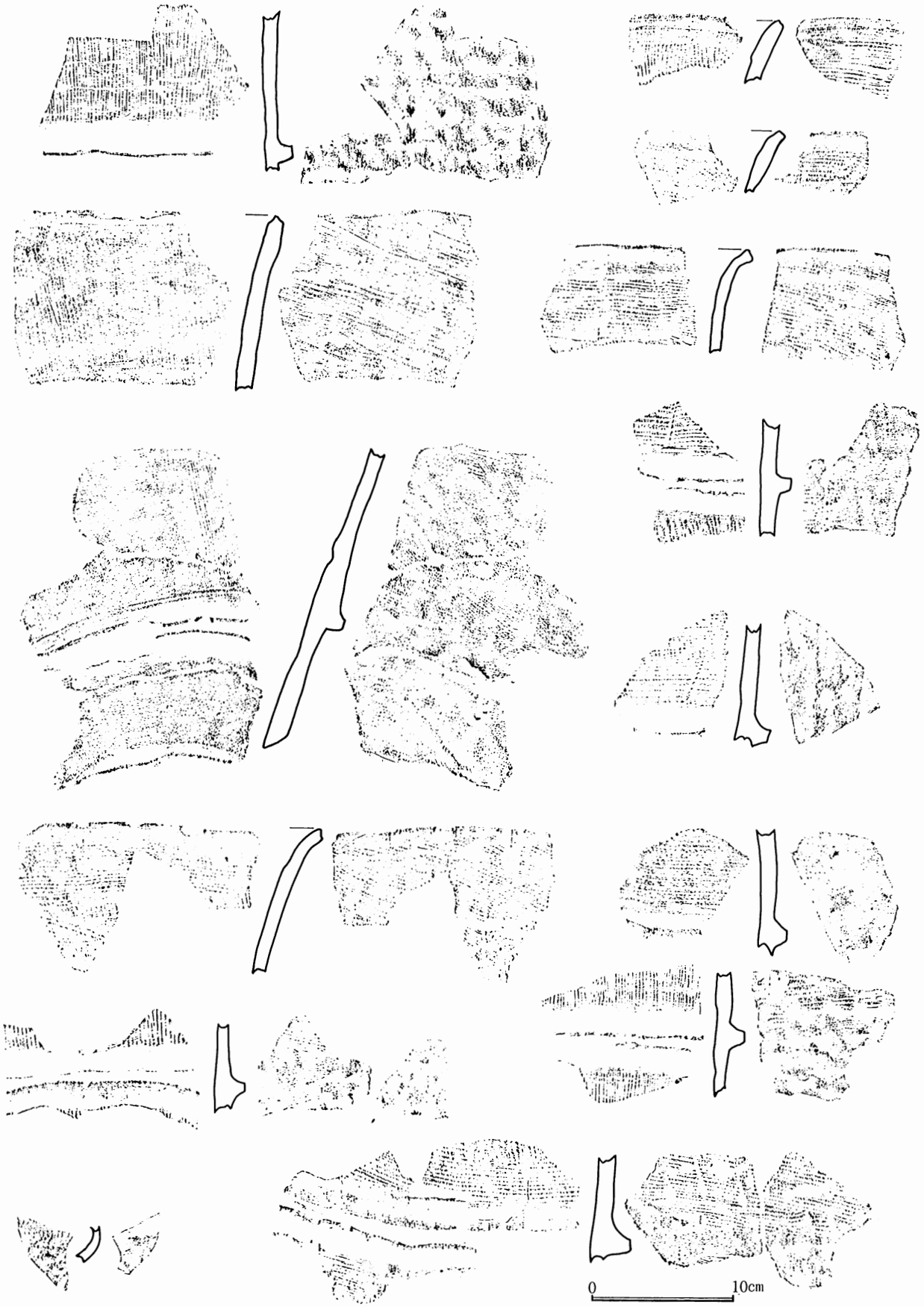


図163　Y－4号古墳埴輪拓影図

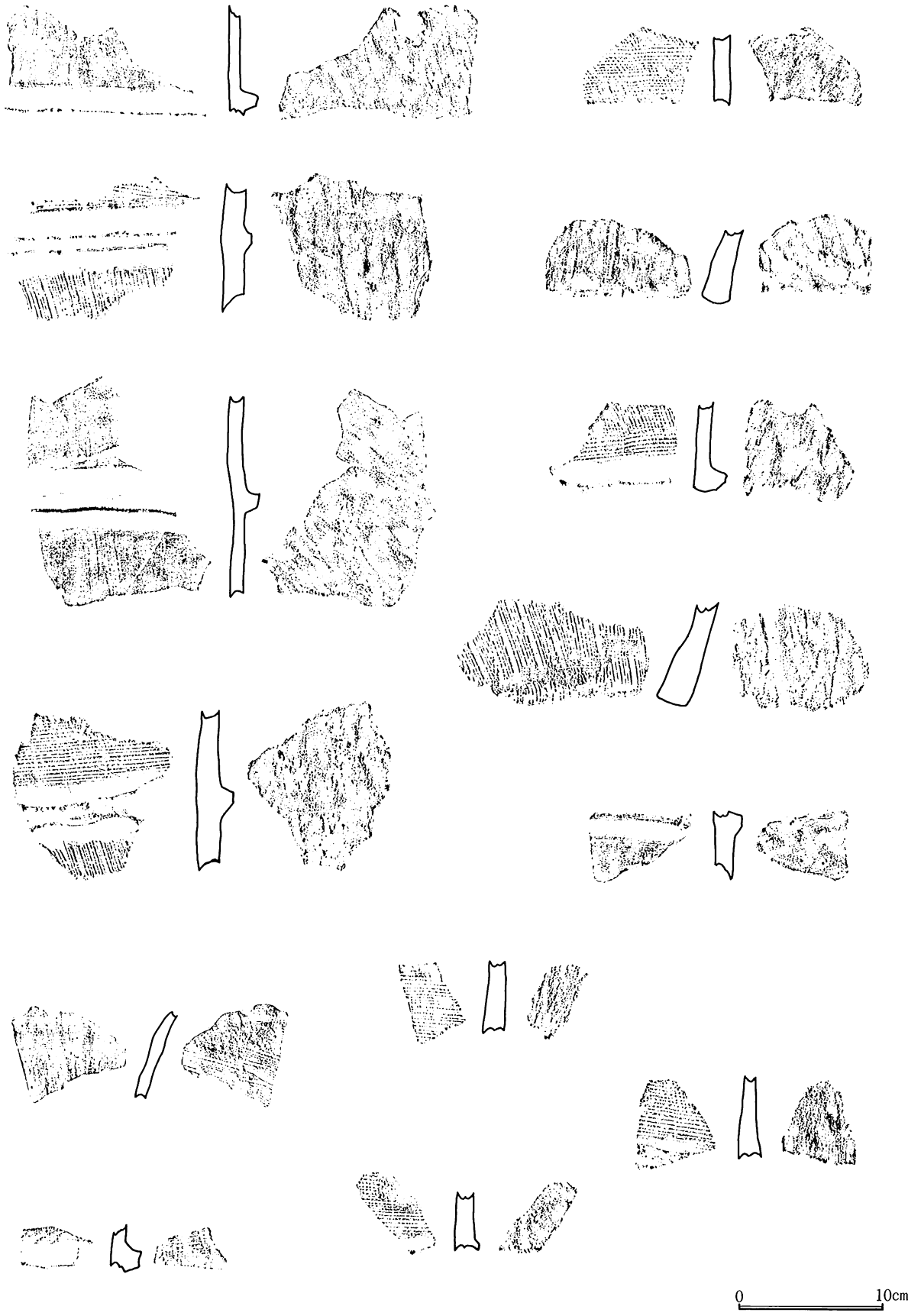


図166　Y－5号古墳埴輪拓影図

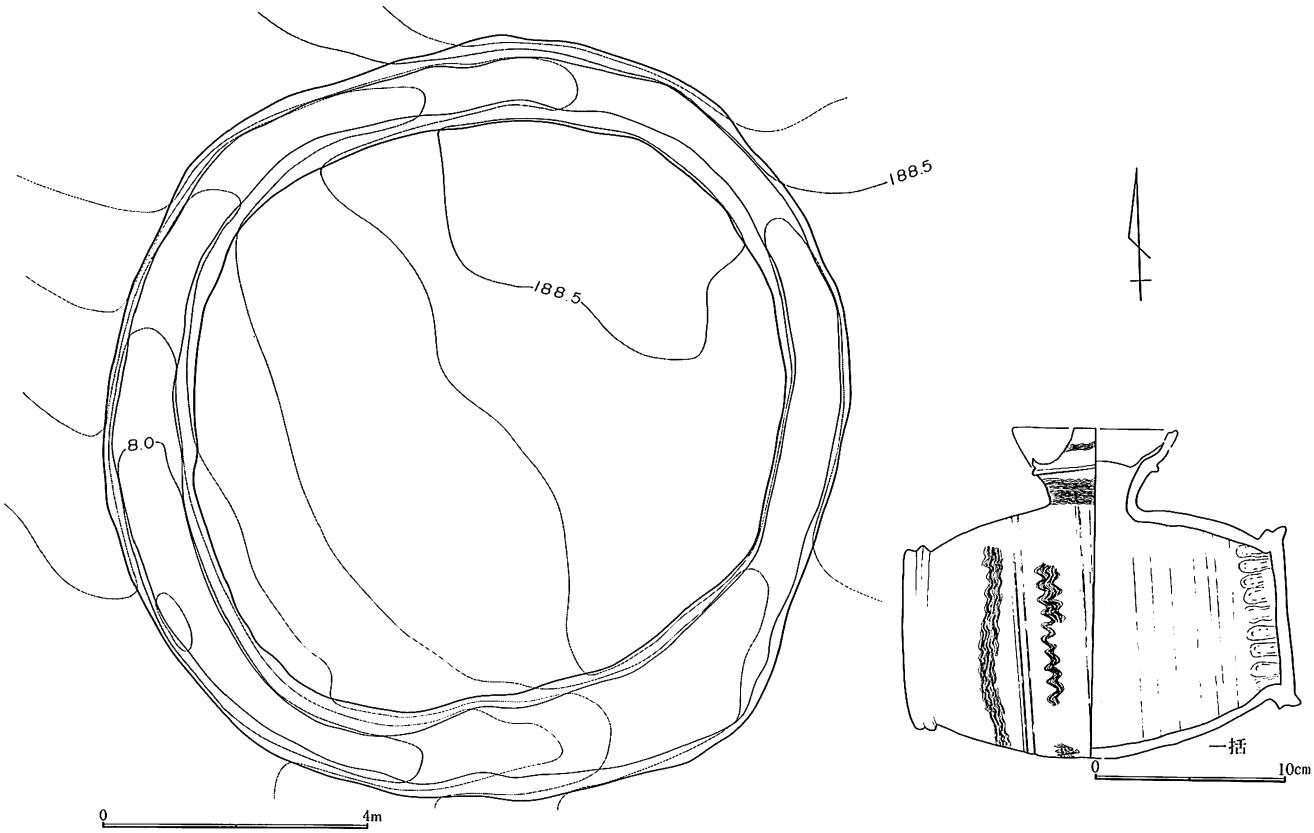


図167　Y－6号古墳実測図・遺物実測図

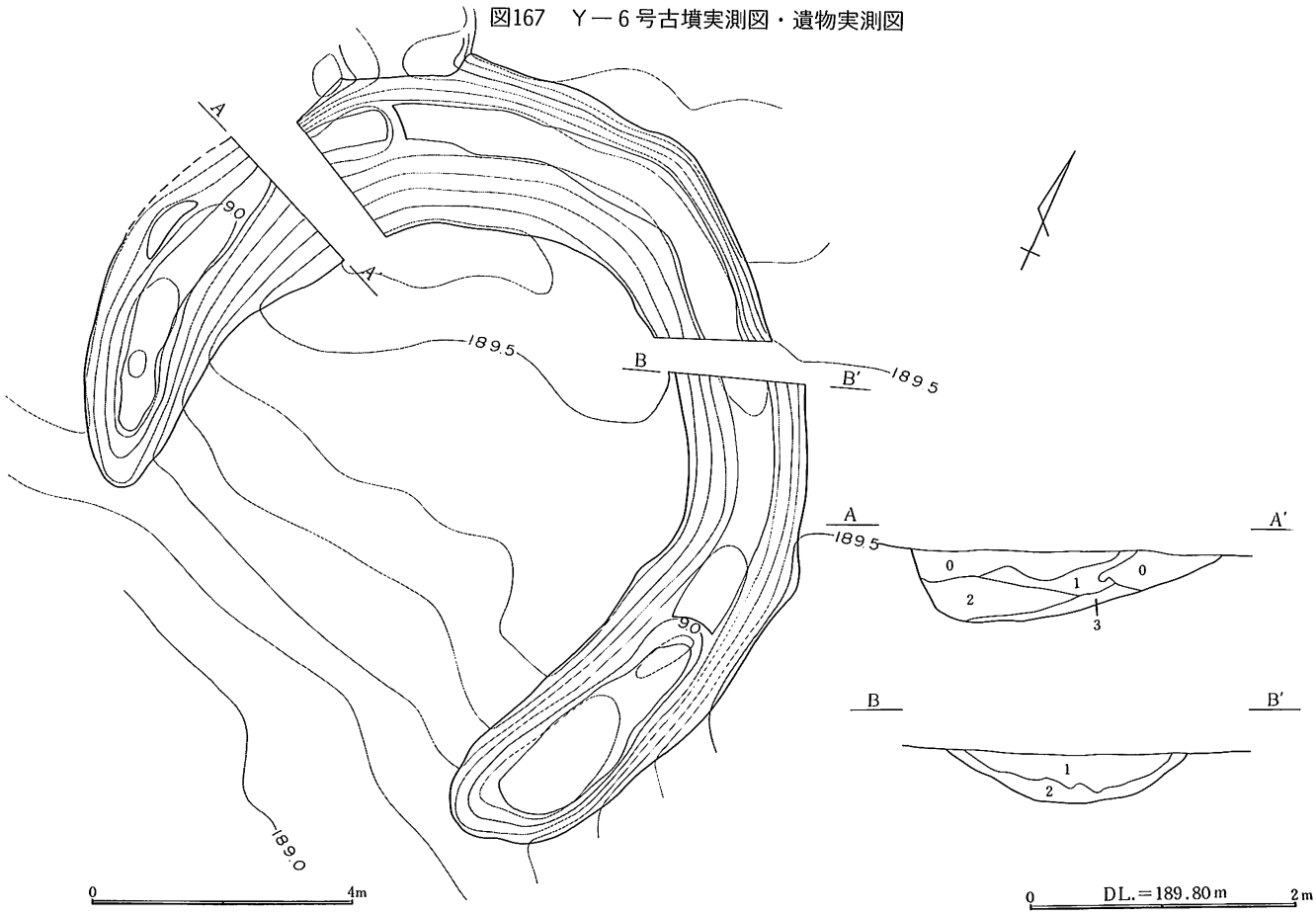


図168　Y－8号古墳実測図

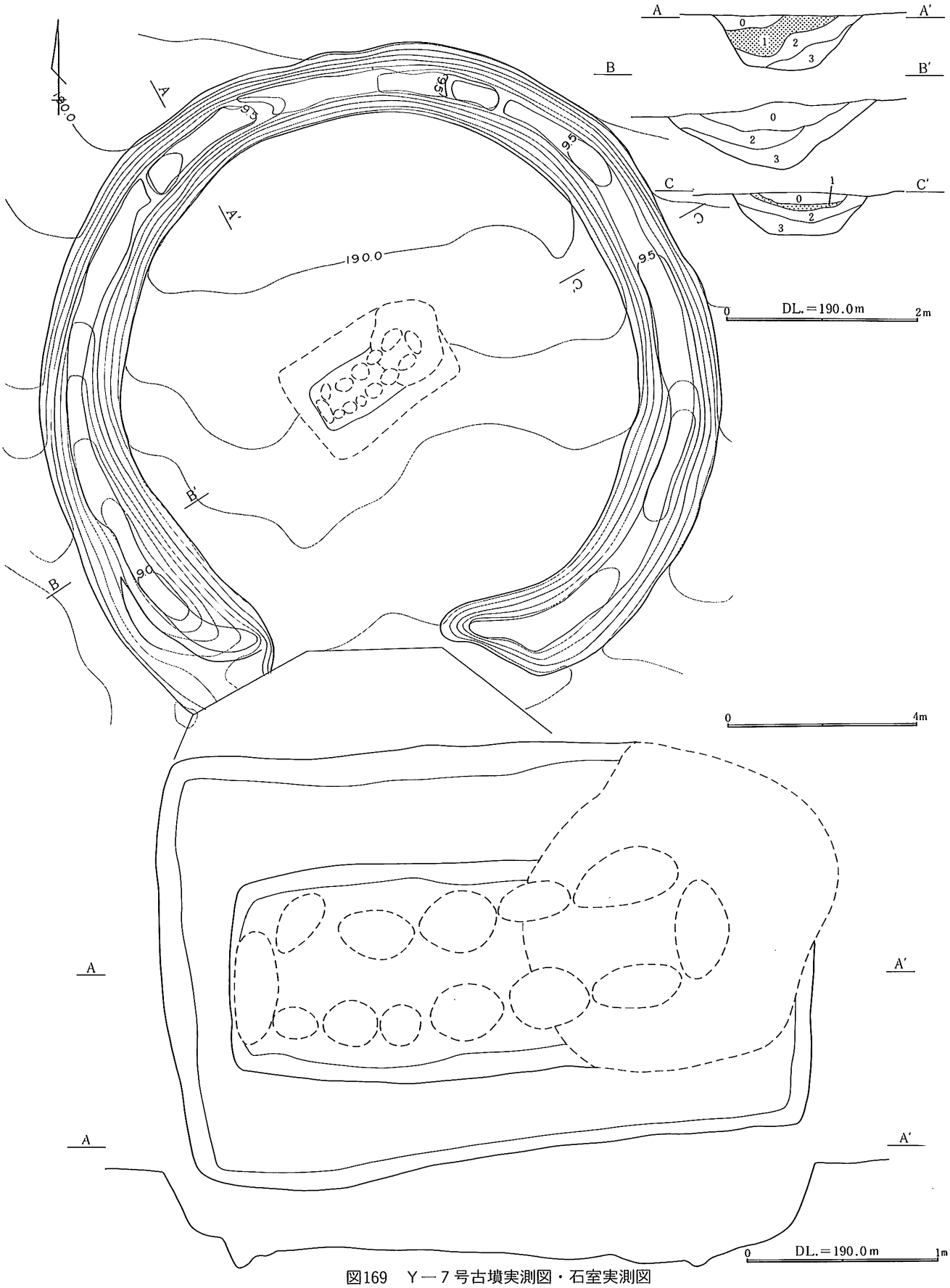


図169　Y－7号古墳実測図・石室実測図

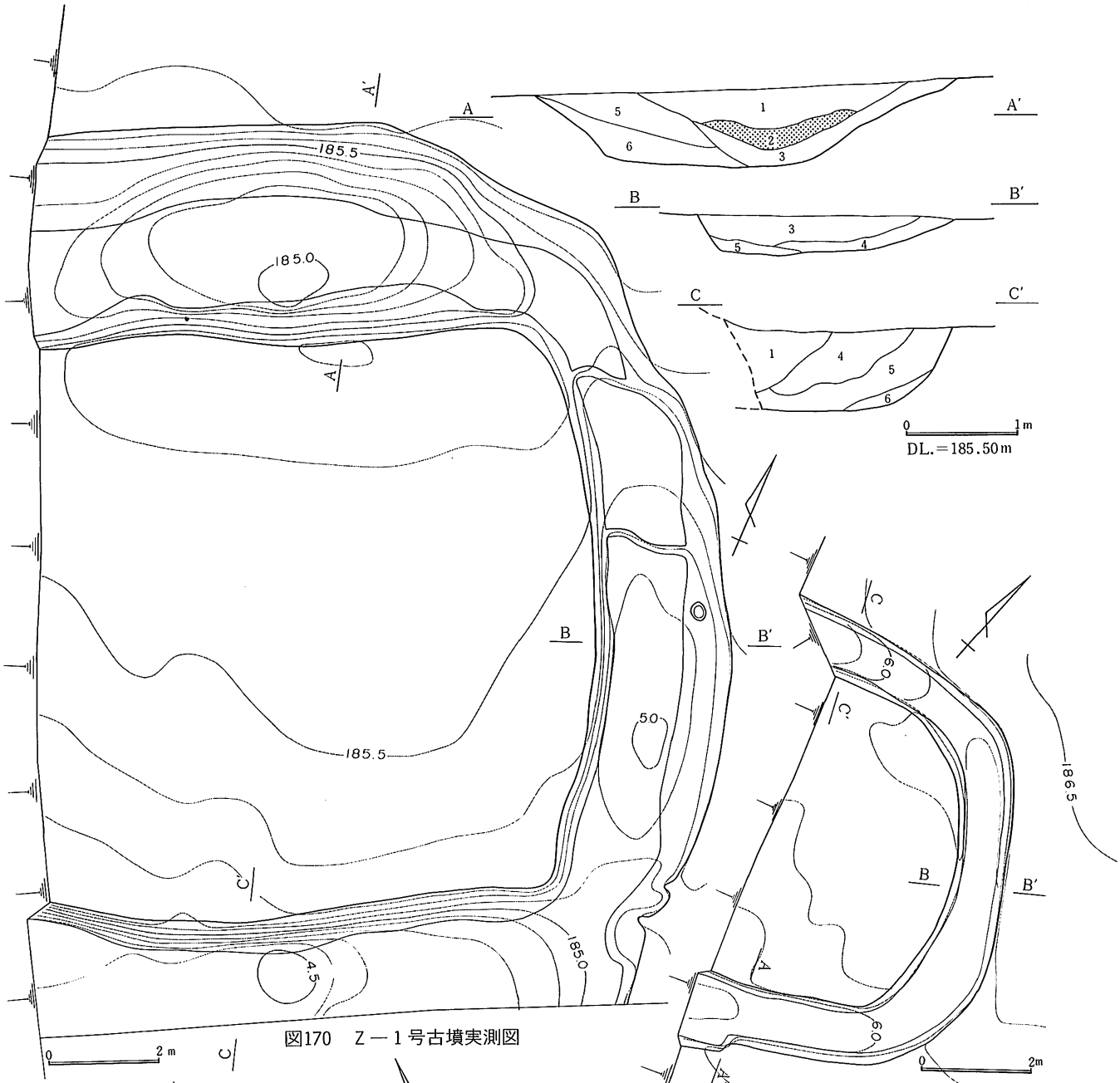


図170　Z－1号古墳実測図

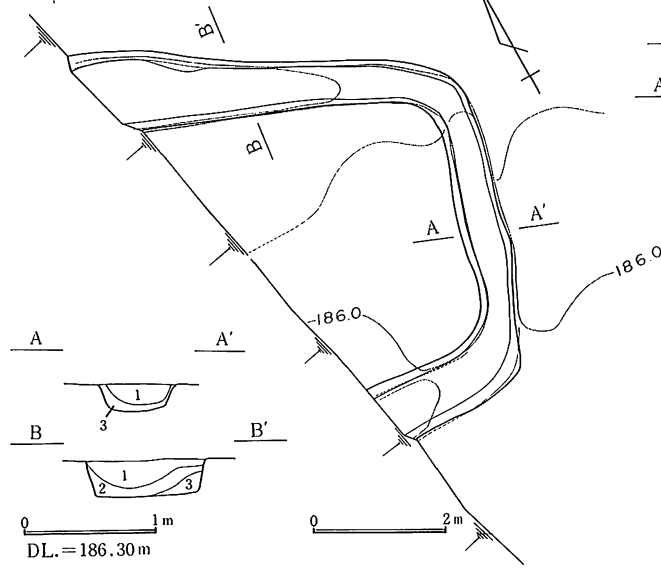


図171　Z－2号古墳実測図

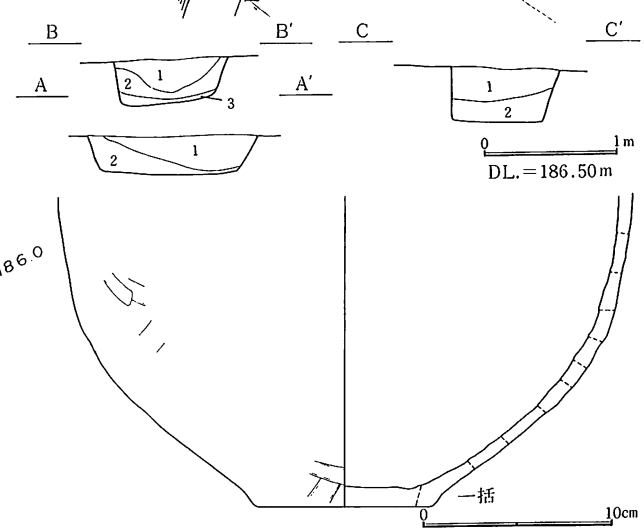


図172　Z－3号古墳実測図・遺物実測図

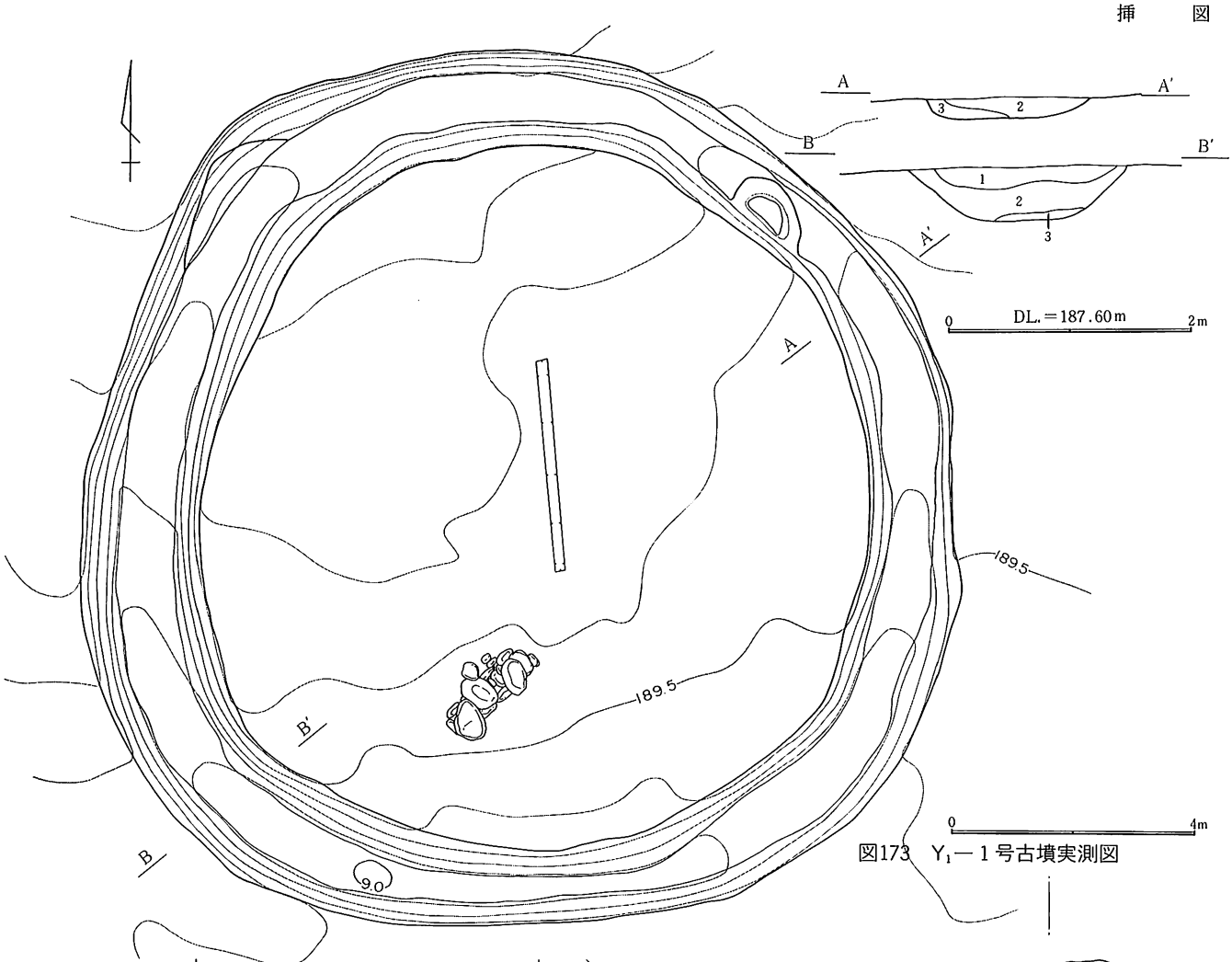


図173　Y_1－1号古墳実測図

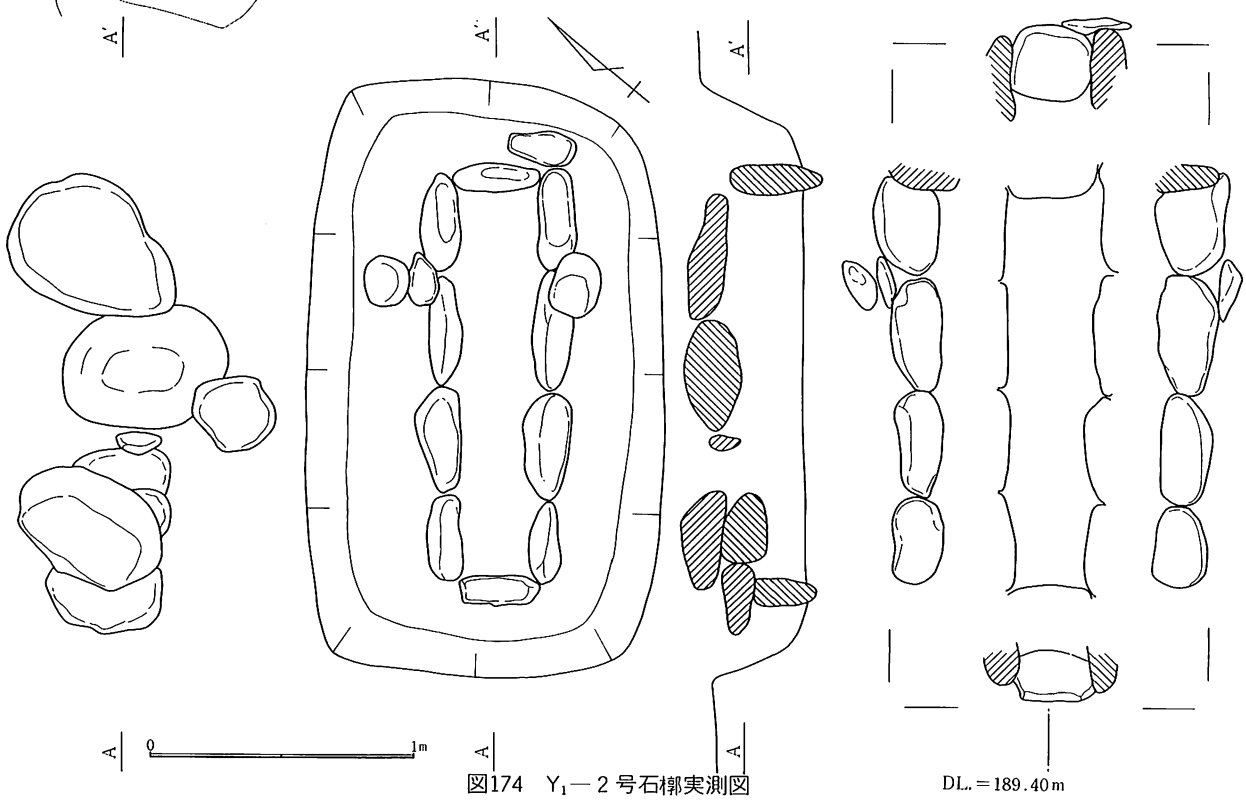


図174　Y_1－2号石槨実測図

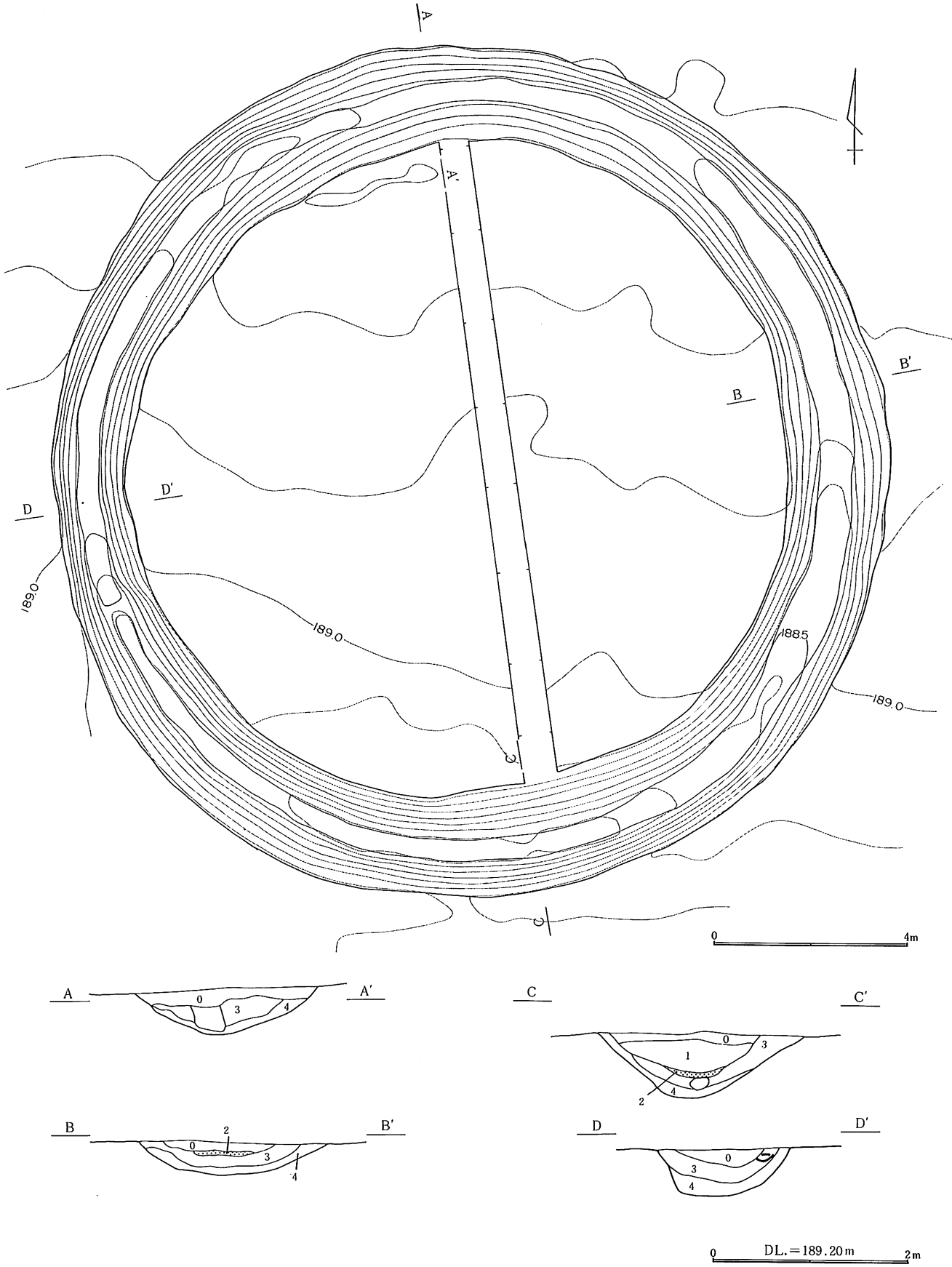


図175　Y_1－2号古墳実測図

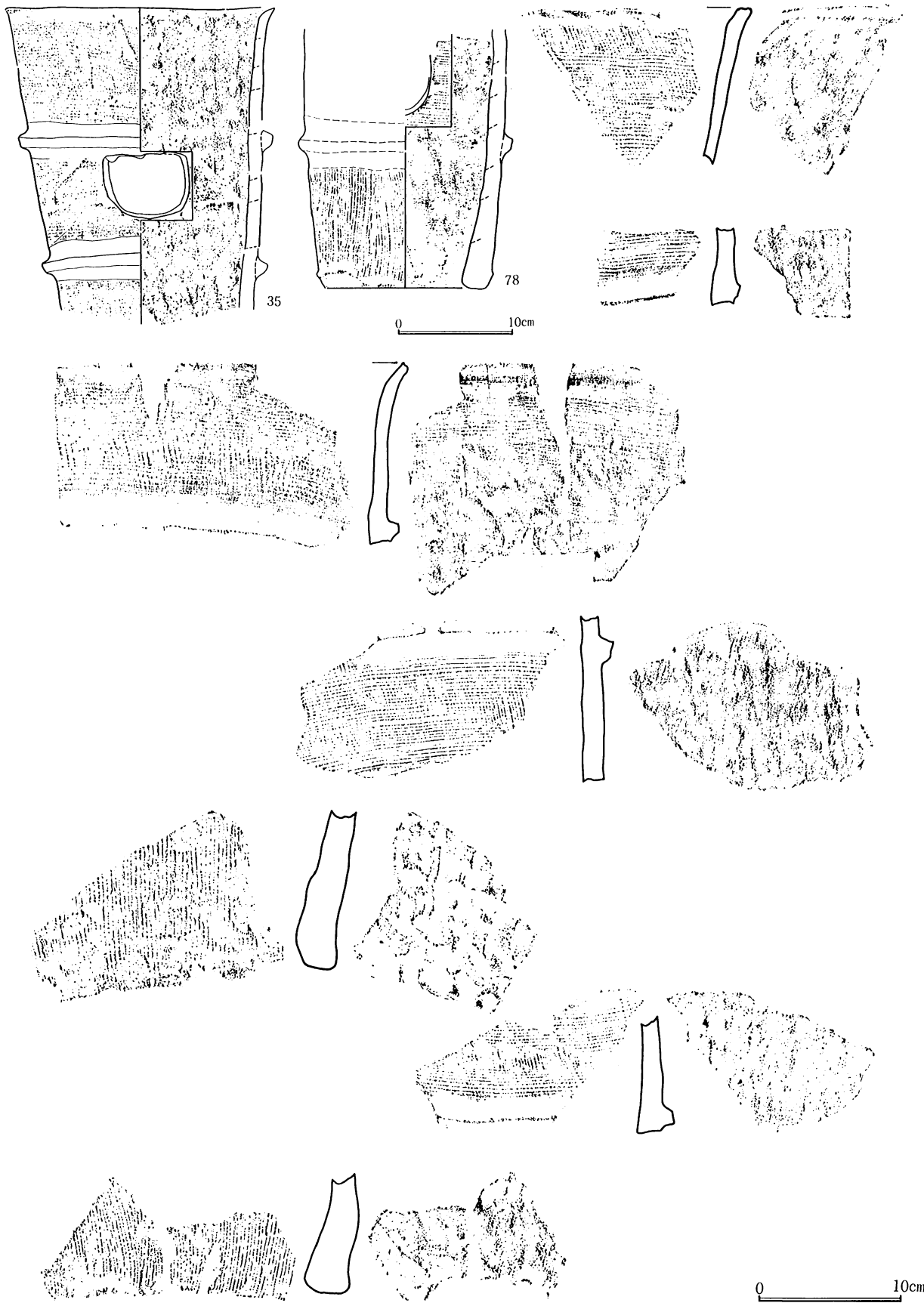


図176　Y_1－2号古墳埴輪拓影図

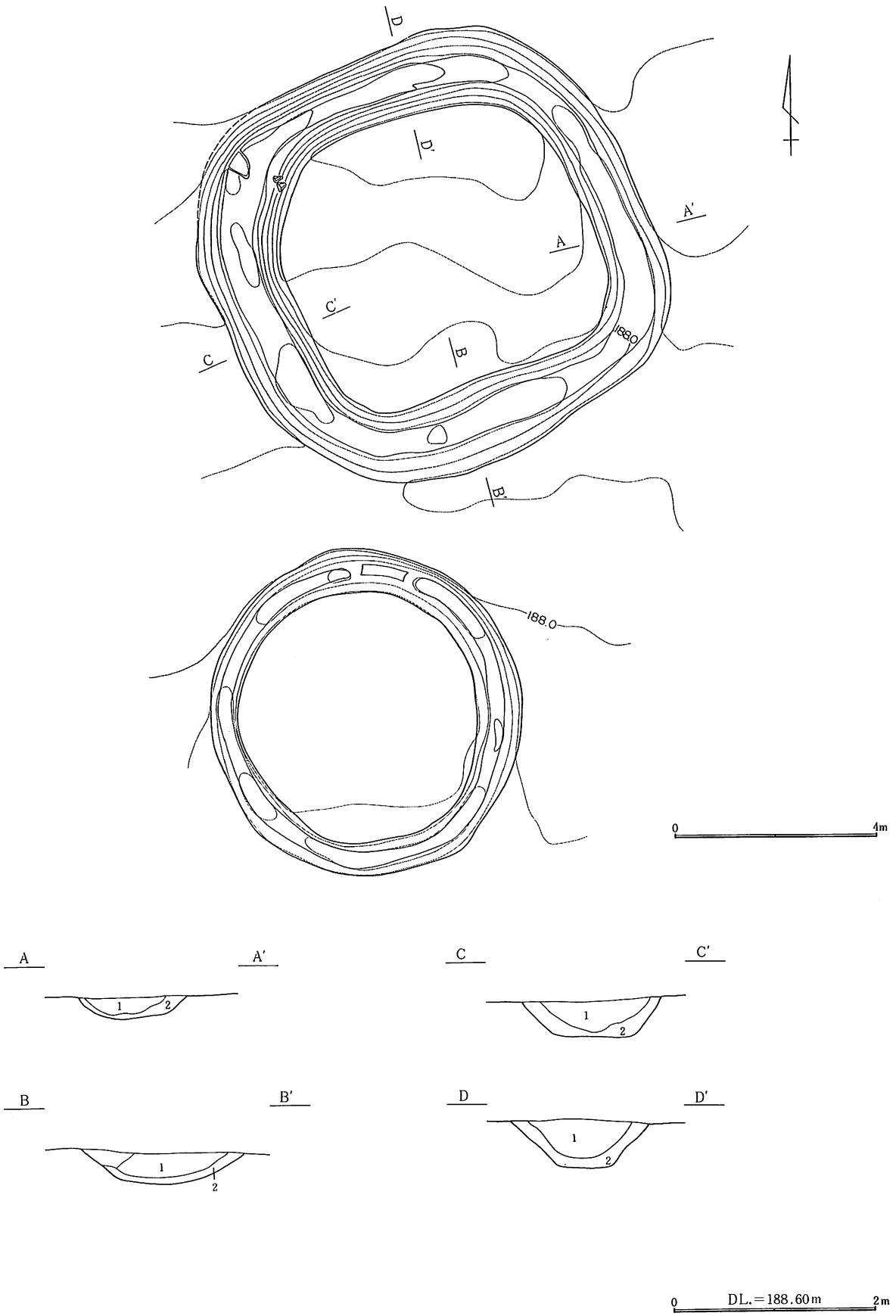


図177・図178　Y_1－3号古墳・Y_1－4号古墳実測図

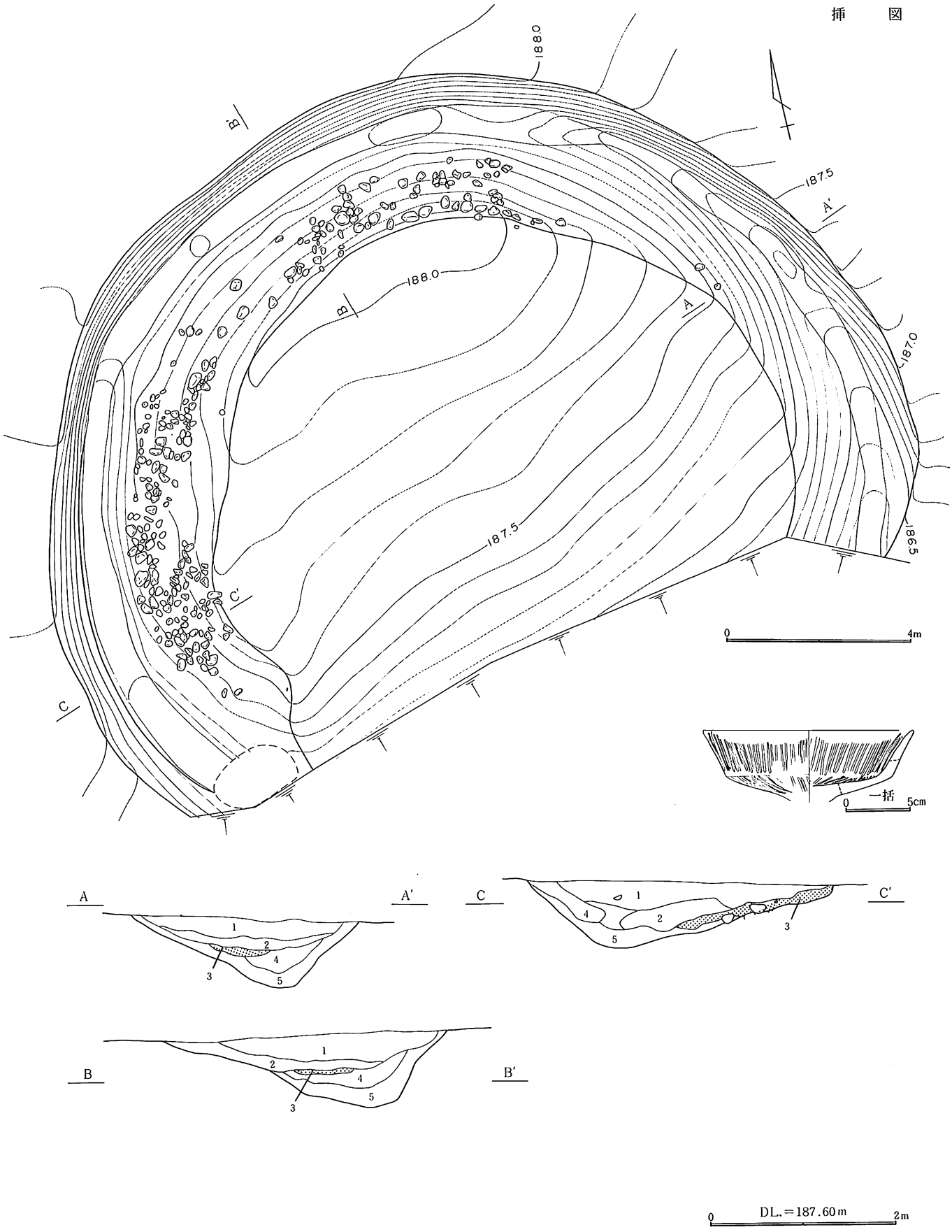


図179　Y_1—5号古墳実測図・遺物実測図

図180　Y_1－5号古墳埴輪拓影図

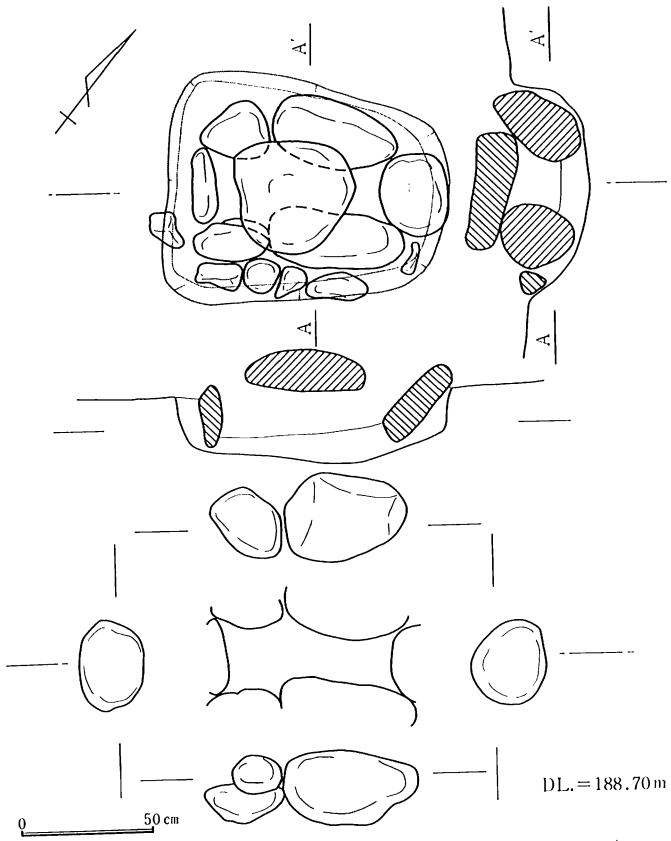


図181　Y－1号石槨実測図

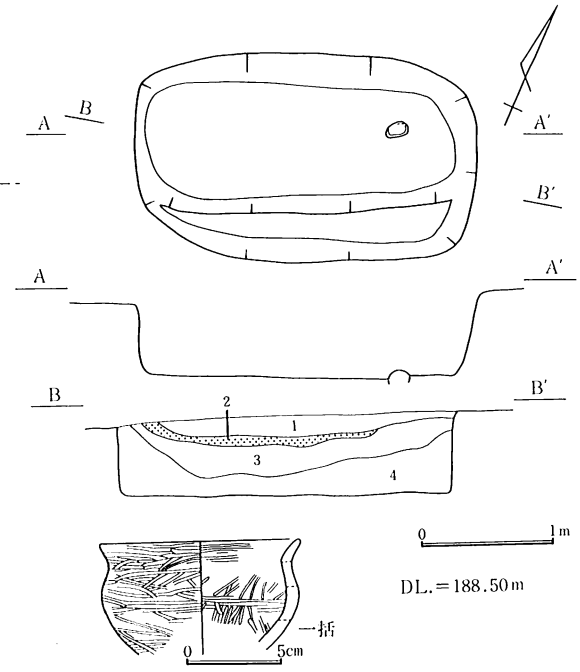


図182　Y_1－1号土壙実測図・遺物実測図

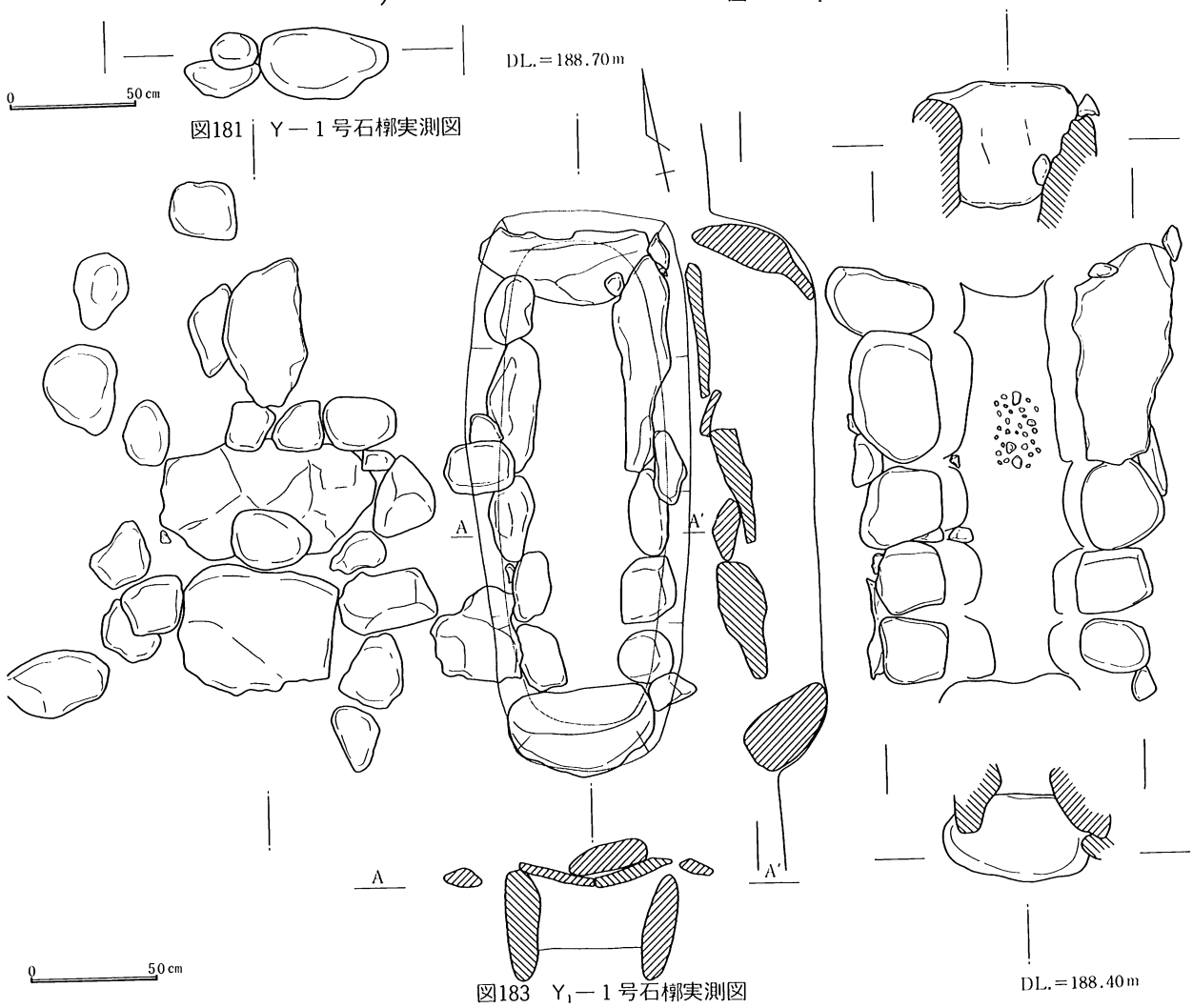


図183　Y_1－1号石槨実測図

遺構土層説明一覧

A－1号古墳土層説明

1層	黒色土	FP粒・C軽石粒を含む。
2層	暗褐色土	FP粒を多く含む。
3層	褐色土	FP粒を全く含まない。
4層	褐色土	ロームブロックを多く含む。

B－1号古墳土層説明

0層	耕作土	
1層	黒色土	FP粒・C軽石粒を含む。特にFP粒を多く含む。
2層	暗褐色土	FP粒・C軽石粒を含む。
3層	茶褐色土	FP粒・C軽石粒を含まない。

BH－1号住居土層説明

0層	耕作土	
1層	茶褐色土	FP・C軽石粒を少量含む。
2層	褐色土	やや粘質を持つ。
3層	明褐色土	三角堆積土。

BH－2号住居カマド土層説明

0層	耕作土	
1層	淡黄褐色土	焼土・ロームブロック粒を含む。
2層	赤褐色土	焼土層。
3層	明赤褐色	ロームブロックの赤化層。
4層	暗灰褐色土	カーボンを含む。灰層か。

BH－4号住居土層説明

1層	黒褐色土	FP・C軽石粒を含む。
2層	暗褐色土	FP粒を含まない。C軽石粒を含む。
3層	茶褐色土	三角堆積土。

同カマド土層説明

1層	黒褐色土	C軽石を含む。
2層	褐色土	ローム粒を含む。
3層	暗黄褐色土	粘土質。焼土ブロックを含む。天井部の崩落か。
4層	灰黄褐色土	3層に似る。
5層	赤褐色土	焼土層。
6層	黒褐色土	カーボンを含む。灰層か。

D－1号古墳土層説明

1層	B軽石純層	
2層	黒色土	FP粒・C軽石粒を多く含む。層中に人頭大の円礫を多く含む。
3層	茶褐色土	FP粒を含む。
4層	茶褐色土	ロームブロックを含む。埋め土。

D－2号古墳土層説明

0層		耕作土。
1層	灰褐色土	B軽石を多く含む。
2層	黒色土	FP粒・C軽石粒を含む。周堀埋め土。
3層	黒色土	C軽石を含む。周堀埋め土。
4層	黒色土	FP粒・C軽石粒を含む。旧表土。
5層	茶褐色土	ローム層への漸移層。基本土層II層。
6層	褐色土	ロームブロックを多く含む。石室掘り方埋め土。

D－3号古墳土層説明

1層	黒色土	FP粒・C軽石粒を多量に含む。
2層	褐色土	C軽石を多く含む。
3層	明褐色土	ローム粒を多く含む。

D区土壙土層説明

0層	耕作土	
1層	黒色土	B・FP・C軽石粒を含む。
1層	B軽石純層	
3層	黒色土	FP粒・C軽石粒を多量に含む。
4層	暗茶褐色土	FP粒・C軽石粒を含む。
5層	暗黄褐色土	ローム粒・ロームブロックを多く含む。
6層	黄褐色土	三角堆積土。

E－2号古墳土層説明

0層	耕作土	
1層	黒色土	FP粒を含む。
2層	明黄褐色土	FA純層。
3層	黒色土	FP粒を含まず、C軽石粒を多く含む。
4層	褐色土	基本土層II層。

E－4号古墳土層説明

0層	耕作土	
1層	黒色土	FP粒・C軽石粒を含む。
2層	褐色土	C軽石を含む。
3層	明褐色	三角堆積土。

F－1号古墳土層説明

0層	耕作土	
1層	B軽石純層	
2層	黒色土	FP粒・C軽石粒を多く含む。
3層	褐色土	FP粒を特に多く含む。C軽石粒も含む。
4層	明褐色土	FP粒を多く含む。砂質土。FAの二次堆積土か。
5層	暗褐色土	C軽石を多く含む。
6層	褐色土	FP粒・C軽石粒を全く含まない。
7層	黄褐色土	ロームブロックを含む。三角堆積土。

F－2号古墳土層説明

0層	耕作土	
1層	B軽石純層	
2層	黒色土	FP粒・C軽石粒を含む。
3層	暗褐色土	FP粒を含む。C軽石粒は多量に含む。締まり無く柔らかい。

4層　茶褐色土　FP粒・C軽石粒を含む。
5層　明茶褐色土　FP粒・C軽石粒・ローム粒を含む。

F－3号古墳土層説明
1層　黒色土　FP粒・C軽石粒を含む。
2層　暗褐色土　C軽石を含む。
3層　淡黄褐色土　FA純層。
4層　褐色土　ロームブロックを含む。

FH－1号住居土層説明
1層　灰褐色土　砂質、B軽石・FP粒・C軽石粒を含む。
2層　暗褐色土　FPを含まず、C軽石粒・ローム粒を含む。
3層　黒色土　C軽石を多く含む。
4層　茶褐色土　三角堆積土。

GH－2・3・4・5号住居土層説明
0層　耕作土
1層　黒色土　C軽石を多く含む。ローム粒も含む。
2層　暗茶褐色土　C軽石・ロームブロック・ローム粒を含む。
3層　茶褐色土　三角堆積土。
4層　赤褐色土　焼土　以下、カマド部。
5層　茶褐色土
6層　黄褐色土　ロームブロック・灰白色粘土ブロックを含む。
7層　茶褐色土
8層　暗茶褐色土
9層　暗黄褐色土　ロームブロックを含む。

GH－6号住居土層説明
1層　黒色土　C軽石を多く含み、僅かにFP粒を含む。
2層　茶褐色土　C軽石・ローム粒を含む。
3層　明茶褐色土　ローム粒を含む。
4層　茶褐色土　C軽石を僅かに含み、ローム粒を含む。
5層　黒色土　三角堆積土。1層に似る。

GH－7号住居土層説明
0層　耕作土
0′層　B軽石の二次堆積土
1層　黒色土　FP粒・C軽石粒を含む。
2層　暗褐色土　FP粒・C軽石を含む。
3層　褐色土　FP粒・C軽石粒を含まない。
4層　赤褐色土　焼土粒・ローム粒を多く含む。

GH－10号住土層説明
1層　黒色土　FP粒・C軽石粒を多く含む。
2層　FA純層
3層　暗茶褐色土　焼土粒・ローム粒を多く含む。
4層　黄褐色土　三角堆積土。

同カマド土層説明
0層　攪乱土
1層　暗褐色土　焼土粒を多く含む。
2層　灰赤褐色土　焼土粒、カーボン粒を含む。
3層　赤褐色土　焼土層。
4層　暗赤褐色土　焼土粒を含む。
5層　灰赤褐色土　ローム粒・焼土粒を含む。

G－1号掘立土層説明
0層　耕作土
1層　黒色土　FP粒・C軽石粒を含む。
2層　暗褐色土　C軽石粒・ローム粒を含む。
3層　茶褐色土　ロームブロックを含む。
4層　黒色土　柱痕部。
5層　茶褐色土　基本土層II層。

H－2号古墳土層説明
1層　礫層　後世の積み上げ礫層。
2層　攪乱土
3層　茶褐色土　攪乱土。
4層　明茶褐色土　円礫を含む砂質土。石室裏込め土。
5層　黒色土　FP粒・C軽石粒を含む。旧墳丘土。

HH－3・4号住居土層説明
0層　耕作土
1層　黒色土　FP粒・C軽石を含む。
2層　暗黄褐色土　ロームブロックを含む。
3層　淡褐色土
4層　褐色土　FP粒・C軽石粒を含む。
5層　茶褐色土　C軽石粒を含む。
6層　茶褐色土　三角堆積土。

HH－6号住居土層説明
1層　暗茶褐色土　C軽石を含む。
2層　黒褐色土　C軽石・ロームブロックを含む。
3層　茶褐色土　C軽石を含む。特にローム粒を多く含む。
4層　黒褐色土　2層に似る。
5層　茶褐色土　三角堆積土。

KH－1号住居土層説明
0層　耕作土
1層　B軽石純層
2層　黒色土　FP粒を多く含む。
3層　淡黄褐色土　FA純層。
4層　黒色土　C軽石を僅かに含む。
5層　茶褐色土　C軽石を含む。

P－1号古墳土層説明
0層　耕作土
1層　灰褐色土　砂質土。B軽石を含む。
2層　黒色土　FP粒を多く含む。
3層　明茶褐色土　軟質。FP粒を含む。
4層　黄褐色土　二次堆積ローム。
5層　淡黄褐色土　堅く締まる。軽石を含む。FAか。
6層　明黄褐色土　ロームブロックを多く含む。墳丘盛土。
7層　黒色土　C軽石を多量に含む。旧表

土。
8層　茶褐色土　ローム層への漸移層。

P－2・3号古墳土層説明
0層　耕作土
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を含む。
2層　淡黄褐色土　FA 純層。
3層　褐色土　C軽石を含む。
4層　明褐色土　二次堆積ローム。

P－4・5号古墳土層説明
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を含む。
2層　淡黄褐色土　FA 純層。
3層　褐色土　C軽石を含む。
4層　明褐色土　二次堆積ローム。

P－6号古墳土層説明
0層　耕作土
0′層　B軽石純層
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を僅かに含む。
2層　暗褐色土　FP 粒を多く含む。
2′層　褐色土　2層より明るい。
3層　淡黄褐色土　FA 純層。
4層　褐色土　FP を全く含まない。ローム粒を含む。

P－1号土壙土層説明
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を含む。
2層　暗褐色土　FP 粒を多く含む。
3層　淡黄褐色土　FA 純層。
4層　褐色土　FP 粒を全く含まない。
5層　黄褐色土　二次堆積ローム。

Q－1号古墳土層説明
1層　淡褐色土　B軽石純層を含む。
2層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を含む。
3層　淡黄褐色土　FA 純層。
4層　茶褐色土　FP 粒を含まない。
5層　茶褐色土　上部にC軽石の凝集が見られる。

V－1号古墳土層説明
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を含む。
2層　淡黄褐色土　FA 純層。
3層　茶褐色土　FP 粒を含まない。C軽石を僅かに含む。

V－2号古墳土層説明
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を含む。
2層　褐色土　C軽石のみ含む。
3層　褐色土　FP 粒・C軽石粒を全く含まない。

V－2号古墳主体部土層説明
1層　黒色土　ロームブロック混じり埋め土。
2層　灰白色粘土層　粘土ブロック。被覆粘土の崩落土。
3層　明褐色土　ロームブロックを含む。
4層　褐色土　掘り方埋め土。二次堆積ローム。
5層　灰白色粘土層　粘土層。

V－3号古墳土層説明
0層　耕作土
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を僅かに含む。
2層　暗褐色土　FP 粒を多く含む。
3層　淡黄褐色土　FA 純層。
4層　褐色土　FP を全く含まない。ローム粒を含む。

V－4号古墳土層説明
0層　耕作土
0′層　B軽石純層
1層　黒色土　FP粒・C軽石粒を僅かに含む。
2層　淡黄褐色土　FA 純層。
3層　褐色土　FP を全く含まない。ローム粒を含む。

V－5号古墳土層説明
0層　耕作土
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を含む。
2層　茶褐色土　C軽石を含む。
3層　淡黄褐色土　FA 純層。
4層　茶褐色土　2層に似る。
5層　明茶褐色土　二次堆積ローム。
6層　黄褐色土　ロームブロック。

V－6号古墳土層説明
0層　耕作土
0′層　B軽石純層
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を僅かに含む。
2層　淡黄褐色土　FA 純層。
3層　褐色土　FP を全く含まない。ローム粒を含む。
4層　暗褐色土　上部にC軽石の凝集が見られる。旧表土層。

V－7号古墳土層説明
0層　耕作土
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を僅かに含む。
2層　淡黄褐色土　FA 純層。
3層　褐色土　FP を全く含まない。ローム粒を含む。
4層　暗褐色土　上部にC軽石の凝集が見られる。旧表土層。
5層　褐色土　ローム層への漸移層。

V－8号古墳土層説明
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を含む。
2層　褐色土　FP 粒・C軽石粒を含まない。二次堆積ローム。

V－9号古墳土層説明
1層　黒色土　FP 粒・C軽石粒を含む。
2層　褐色土　FP 粒・C軽石粒を含まない。二次堆積ローム。

EH－2号住居出土遺物観察表（図52、PL. 37）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
6	小型甕	13.15 12.85 4.7	口縁部は緩やかに外反する。胴部はやや下膨れ。	口辺部ヨコナデ。胴上半部は縦方向のヘラナデ。下半部はヘラナデの後ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①7.5YR⅝浅黄橙②酸化③½④砂礫、白色パミスを含む。⑤内面に黒斑。⑥床面直上
1	椀	不明		口辺部ヨコナデ。胴部ヘラナデの後ヘラミガキ。	口辺部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①7.5YR⅞橙②酸化③⅓④精選。砂粒を含む。⑥床面直上

F－1号古墳出土遺物観察表（図57、PL. 25・31）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
486	甕	不明 不明 5.6	底部は小さく、やや上げ底。胴部は球形を呈する。	胴上半部ヘラミガキ。胴下半部ヘラケズリ。	ヘラナデ。	①2.5YR⅝橙②酸化③胴部のみ④砂礫、白色パミスを含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥周堀下底
1350	高坏	不明 17.9 不明	坏部下半部に張り付けによる凸帯を持つ。口縁部は直線的に開き、口唇部内面に僅かに返りを持つ。	口辺部ヨコナデ。胴部にハケメを残す。	口辺部ヨコナデ。	①2.5YR⅞橙②酸化③坏部のみ⅔④砂礫を含む。⑥周堀下底
1943	壺	不明 不明 7.2	底部は小さくやや上げ底。	胴部ヘラケズリ。		①10YR⅝赤橙②酸化③胴部のみ④精選⑤外面に黒斑内外面の器壁の荒れ顕著。⑥周堀下底
479	坏	6.7 17.7 4.9	底部は小さな平底。胴部は直線的に開き、口縁部は僅かに内傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部へヘラミガキ。下部はヘラケズリ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①2.5YR⅝橙②酸化③完形④砂礫を含む。⑤外面に黒斑。⑥周堀下底
498	甕	32.4 18.75	口縁部はくの字に外傾する。	口辺部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。	口辺部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。	①5YR⅞橙②酸化③底部の一部を欠損。④精選⑤外面上半部全面に炭化物の付着と吹き毀れ痕。⑥周堀下底
1435	瓦 須恵器	11.8 11.55	胴部は肩部に最大径を持つ肩の張るそろばん玉状を呈する。頸部は太く、口辺部は直線的に開く。口縁部には段を持つ。	轆成型。	轆成型。	①10Y⅘灰②還元。堅緻③口縁部を欠損。④精選。石英粒を含む。⑥周堀埋め土中

F－2号古墳出土遺物観察表（図59、PL. 25・32）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
1249	甕	34.1 20.1 8.9	胴部は肩部に最大径を持つ。口縁部は直に立ち上がり、端部で僅かに外反する。	口辺部ヨコナデ。肩部、胴部上半部ナデ。下半部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①7.5YR⅝浅黄橙②酸化③完形④砂粒、輝石を含む。⑤黒斑有り⑥周堀下底

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
1251	坏	6.0 13.7	底部から緩やかに立ち上がり、口縁部で僅かに外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデの後ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。底部はナデ。	①2.5YR⅝橙②酸化③完形④赤褐色鉱物粒を含む。⑥周堀下底
1245	坏	4.8 13.35	底部から緩やかに立ち上がり、口縁部で外傾する。口縁部内面には稜を持つ。	口辺部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	①2.5YR⅝橙②酸化③完形底部ナデ。④赤褐色鉱物粒を含む。⑥周堀下底
800	甕 須恵器	36.7 22.05	胴部は球形で、口縁部は緩やかに外反し端部をつまみあげる。	轆成型。口縁部に波状文胴部は平行叩きの後ユビによるナデケシ。底部はナデ。	轆成型。ナデケシ。	①5Y⅞灰白②還元③完形④石英粒を多く含む。⑤黒斑有り⑥周堀下底

FH－1号住居出土遺物観察表（図64、PL. 37）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
291	椀	不明 11.5 不明	胴部は緩やかに内湾する。口縁部はくの字に外傾し、内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部はヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①5YR⅔にぶい橙②酸化③½④精選。砂粒を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
1015	椀	7.45 10.6 6.8	底部から口縁部にかけて緩やかに内湾する。底部は平底状の丸底。	口辺部ヘラミガキ。胴部下半部ヘラナデ。	口縁部ヘラミガキ。	①2.5YR⅝橙②酸化③完形④精選。砂粒を含む。⑤外面に炭化物の付着。内面の器壁の荒れ顕著。⑥床面直上
258	台付き椀	不明 17.65 不明	胴部は緩やかに内湾し、口縁部で緩やかに外反。口縁部内面には稜を持つ。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①2.5YR⅝橙②酸化③椀部のみ完形④白色パミス、赤褐色鉱物粒を含む。⑤外面の一部に炭化物の付着。⑥床面直上
260	台付き椀	不明 14.05 不明	胴部は緩やかに内湾しながら立ち上がる。口縁部は僅かに内湾ぎみに開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①5YR⅞橙②酸化③椀部のみ完形④砂粒を含む。⑤内面赤色塗彩か。⑥床面直上
689	坩	8.15 7.25 2.95	胴部はそろばん玉状を呈する。口縁部は比較的長く直線的に開く。底部は平底。	口縁部ヨコナデ。頸部ヘラナデ。胴部ヘラケズリ。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	①2.5YR⅝橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
250	甕	不明 不明 不明	胴部は球形を呈する。口縁部は二段口縁。	口辺部ヨコナデの後ヘラミガキ。胴部ヘラミガキ。	口辺部ヨコナデ。	①10YR⅝黄橙②酸化③½④砂粒、輝石を含む。⑥床面直上
949	高坏 〃	15.6 16.45 不明	坏下部には明瞭な稜を持つ。	坏部、脚柱部ヘラミガキ。	脚柱部には輪積み痕を残す。	①5YR⅞橙②酸化③裾部を欠損。④砂粒を含む。⑥床面直上
1077	甕	不明 18.15 不明	口縁部はくの字に外傾し、内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。頸部ヘラナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①7.5YR⅞橙②酸化③口縁部のみ④精選。砂粒を含む。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
6	椀	不明 14.8	口縁部は緩やかに外反する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ナデ。	①2.5YR⅝橙②酸化③口縁部のみ④精選⑤炭化物の付着。⑥下層
358	坩	不明 14.1 不明	口縁部は直線的に開き、端部で僅かに内湾する。	口縁部ヨコナデ。暗文状のヘラミガキ。	暗文状のヘラミガキ。	①2.5YR⅝橙②酸化③口縁部のみ④精選。白色パミスを含む。⑥下層
451	坏	4.3 8.5 6.0	口縁部は僅かに内湾。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①5YR⅝橙②酸化③½④精選⑥床面直上
953	椀	6.25 14.45 5.85	口縁部は外傾。内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③½④砂粒、白色パミス、輝石を含む。⑥床面直上
144	高坏	不明 不明	裾部は偏平で段を持つ。	ヨコナデ。	ヨコナデ。	①5YR⅞橙②酸化③裾部のみ½④白色パミス。砂礫を含む。⑥下層

FH－2号住居出土遺物観察表（図65）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
102	椀	不明 12.0 不明	口縁部は短く外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①2.5YR⅝橙②酸化③¼④砂礫を含む。⑥床面直上

FH－3号住居出土遺物観察表（図67）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
1	甕	不明 不明 不明	球形を呈する。	ヘラナデ。	ヘラナデ。	①2.5YR⅝明赤褐色②酸化③胴部のみ½④精選⑤黒斑⑥床面直上

GH－1号住居出土遺物観察表（図70、PL.38）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
13	甕	不明 20.85 不明	口縁部は折り返し、頸部はくの字に屈曲し口縁部は外傾する。	口縁部ヨコナデの後ユビオサエ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①5YR⅞にぶい橙②酸化③口縁部⅓④砂粒、白色パミスを含む。⑥床面直上
24	灯明皿	3.4	口縁部は直線的に開く。	轆成型。底部は回転糸切り。	轆成型。	①7.5YR⅞にぶい橙②酸化③½④砂粒を含む。⑥上層

GH－3号住居出土遺物観察表（図72、PL. 38）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
32	甕	不明 18.2 不明	口縁部は外傾して開く。頸部はくの字に屈曲。	口辺部ヨコナデ。	口辺部ヨコナデ。	①2.5YR 5/3淡黄②酸化③口縁部のみ④砂礫を含む。⑥床面直上

GH－5号住居出土遺物観察表（図73）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
34	坏	4.6 13.4	口縁部は直立。胴部との境に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。	①10R 5/6赤②酸化③1/4④精選⑤外面に黒斑。内面の器面の荒れ顕著。⑥床面直上

GH－6号住居出土遺物観察表（図75、PL. 27・38）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
879	高坏	不明 17.8 不明	口縁部は直線的に開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。脚柱部接合部周辺ヘラケズリ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①2.5Y 8/3淡黄②酸化③坏部のみ完形④砂礫を含む。⑤内面に黒斑。⑥床面直上
884	小型甕	10.0 11.2	口縁部は短く、外傾。頸部内面に稜を持つ。胴部は球形。底部は丸底。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ナデ。胴部ヘラミガキ。	①7.5YR 8/6浅黄橙②酸化③口縁部の一部欠損。④精選⑤内面黒色⑥床面直上
870	椀	7.9 11.35 4.6	胴部は緩やかに内湾。口縁部は短く、外傾。内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。頸部にハケメ。胴部ヘラミガキ底部周辺ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①7.5YR 8/4浅黄橙②酸化③完形④砂礫を含む。⑤底部周辺に炭化物の付着。⑥床面直上
1132	小型甕	8.9 12.8 4.6	胴部は緩やかに内湾しながら立ち上がる。口縁部はくの字に外傾する。	口縁部ヨコナデ。頸部ハケメ。胴部ヘラナデの後ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデの後ヘラミガキ。	①10YR 8/3浅黄橙②酸化③完形④精選⑤炭化物の付着。⑥床面直上
827	小型甕	不明 11.5	口縁部は緩やかに外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①7.5YR 7/4にぶい橙②酸化③1/2④精選⑤外面に炭化物の付着。⑥上層
885	甕	24.9 14.4 3.7	口縁部は直線的に開く。頸部周辺に段を持つ。胴部は球形、底部は小さな上げ底状を呈する。	口縁部ヨコナデ。頸部にハケメを残す。胴部はヘラナデ。底部周辺ヘラケズリ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①2.5Y 8/3淡黄②酸化③完形④砂粒、白色パミスを含む。⑤外面に黒斑、炭化物の付着。⑥床面直上
549	椀	5.4 8.1 3.4	胴部は緩やかに内湾して立ち上がる。口縁部は僅かに外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①10YR 8/3浅黄橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤底部外面に黒斑。⑥床面直上
869	小型甕	7.95 9.55	胴部はそろばん玉状を呈する。口縁部は短く外傾、内面に稜を持つ。底部は丸底。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①10YR 8/3浅黄橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
901	坩	15.6 13.5 3.7	胴部は下膨れの球形。口縁部は頸部からくの字に屈曲し直線的に開くき、端部をつまみ上げる。	口縁部ヨコナデ。口辺部へラミガキ。胴部へラミガキ。	口縁部ヨコナデ。口辺部暗文状のへラミガキ。胴部へラミガキ。	①5YR⅞橙②酸化③完形④精選⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
886	小型甕	8.6 9.8	胴部は内湾ぎみ立ち上がる。口縁部は短く、僅かに外反。底部は丸底。	口縁部ヨコナデ。胴部へラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。一部にへラミガキ。	①10YR⅞浅黄橙②酸化③完形④精選。砂粒を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
252	甑	不明 23.3	口縁部は肥厚する。胴部は直線的に開く。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラミガキ。	①10YR⅞浅黄橙②酸化③½④精選⑤内面に炭化物。⑥上層
272	坏	不明 15.6	口縁部は稜を持ち、緩やかに外傾する。	口縁部、胴部へラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラミガキ。	①5YR⅞橙②酸化③¾④赤褐色スコリア粒を含む。⑥上層
621	椀	不明 12.7	口縁部は短く外傾。内面に稜を持つ。	口辺部ヨコナデ。胴部へラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のへラミガキ。	①5YR⅞橙②酸化③½④精選⑤外面に炭化物の付着。⑥上層

GH－7号住居出土遺物観察表（図76、PL. 38）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
4	高坏	不明 不明 11.2	脚部は丸みを帯び、細い。裾部はラッパ状に開く。坏部は下部に稜を持つ。	脚柱部はへラナデ。裾部はへラミガキ。坏部へラナデ。	坏部へラミガキ。脚柱部に絞り痕。裾部ヨコナデ。	①7.5YR⅞にぶい橙②酸化③脚部のみ完形④砂粒を含む。⑥竈内
57	甕	23.4 17.7 不明	口縁部は僅かに肥厚し、頸部からくの字に外傾する。全体の成型が粗く、歪みを持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部中央部にへラミガキ。下半部はへラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。	①10YR⅞浅黄橙②酸化③底部欠損④砂粒を含む。⑤外面に黒斑。⑥床面直上
126	甕	不明 不明 8.9	胴部は中央に最大径を持つ。	へラミガキ。	へラナデ。	①2.5YR⅞橙②酸化③上半部を欠損④精選。白色パミスを含む。⑥床面直上

GH－8号住居出土遺物観察表（PL. 38）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
16	手捏	不明 不明		指頭圧痕。		①7.5YR⅞にぶい橙②酸化③口縁部を欠損。④精選⑥床面直上

GH－9号住居出土遺物観察表（図77、PL. 27・38）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
2	高坏	13.9 13.75 9.7	坏部は丸みを帯びる。脚部はやや短く、裾部は短く僅かに開く。	坏部、脚部ともにヘラミガキ。	坏部ヘラミガキ。脚柱部ヘラナデ。裾部ヘラミガキ。	①7.5YR 7/6 橙②酸化③完形④精選⑥床面直上
3	甕	18.8 13.35 7.15	胴部は球形。口縁部はくの字に外傾する。口縁部の中央が肥厚する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ナデ。胴部ナデ。	①7.5YR 7/4 にぶい橙②酸化③完形④砂粒、輝石を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
4	甕	19.4 13.4 6.15	口縁部には輪積み痕を一段残し、直線的に開く。口唇端部に稜を持つ。	口縁部、胴部ナデ。	口縁部ナデ。胴部ヘラミガキ。	①7.5YR 7/4 にぶい橙②酸化③完形④砂礫粒を多く含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
5	甑	7.7 11.0 2.9	胴部は逆ハの字状に開く。口縁端部は僅かに内湾。底部には一孔を持つ。	口縁部、胴部ナデ。	ヘラミガキ。	①2.5YR 8/2 灰白②酸化③完形④砂粒を含む。⑤内外面に黒斑。⑥床面直上

GH－10号住居出土遺物観察表（図79、PL. 29・39）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
270	甕	20.3 不明	胴部は下膨れをした球形。口縁部は頸部からくの字に外傾する。やや外側に膨らむ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヘラミガキ。胴部ヘラミガキ。	①2.5YR 6/6 橙②酸化③½④精選⑥竈内
265	坏	5.6 13.6	口縁部は短く外傾し内面に稜をもつ、内斜口縁。胴部は丸みを帯びる。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状ヘラミガキ。	①2.5YR 6/6 橙②酸化③¾④精選。白色パミスを含む。⑤内面上半部の荒れ顕著。⑥竈内
153	甕	不明 22.4	口縁部は緩やかに外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘヘラケズリ。	口縁部ヨコナデ。胴部横方向のヘラナデ。	①2.5YR 8/6 淡黄色②酸化③½④砂粒を含む。⑤器壁の荒れ顕著。⑥床面直上
271	坏	4.85 12.4	口縁部は僅かに内湾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①2.5YR 5/6 明赤褐色②酸化③½④精選⑥竈内
18	甕	不明 20.4 不明	口縁部は緩やかに外反する。胴部は長胴形を呈する。	口縁部ヨコナデ。胴部ハケメの後ヘラナデ。一部にヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部横方向のハケメ。	①2.5YR 8/3 淡黄②酸化③½④砂粒を含む。⑤外面に黒斑。⑥床面直上
93	椀	8.5 15.45	口縁部は短く外傾し、内面に稜を持つ。胴部は丸みを帯びる。	口縁部ヨコナデ。底部ヘヘラナデ。		①2.5YR 7/6 橙②酸化③完形④輝石を含む。⑤底部外面に黒斑。赤色塗彩か。⑥床面直上
92	甕	14.75 12.75	口縁部は僅かに内湾して立ち上がる。胴部は球形を呈する。	口縁部ヘラミガキ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヘラケズリ。胴部ヘラナデ。	①7.5YR 8/4 浅黄橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤内面赤色彩か。⑥床面直上
81	甕	20.5 16.15	口縁部は緩やかに外傾。全体の成型が粗雑。	口縁部ヨコナデ。頸部から胴上半部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①5YR 7/6 橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
184	坏	6.3 16.15	胴部は丸く、口縁部は僅かに内湾ぎみに開く。口縁部と胴部との境には稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①2.5YR⅝明赤褐色②酸化③½④精選⑥床面直上
1	甕	不明 14.0 不明	口縁部は頸部からくの字に屈曲して、外傾する。胴部は球形か。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③¼④精選⑤内外面に黒斑。⑥上層
121	坏	6.1 12.4	口縁部は短く、僅かに外傾。内面に稜を持つ。胴部は丸みを持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①2.5YR⅝橙②酸化③⅔④精選。赤褐色パミスを含む。⑤内面の荒れ顕著。⑥床面直上
119	坏	5.4 11.9	口縁部は短く、僅かに外傾。内面に稜を持つ。胴部は丸みを帯びる。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	①2.5YR⅝橙②酸化③½④精選⑤底部外面に黒斑。⑥床面直上
66	甕	不明 17.5 不明	口縁部は頸部からくの字に外傾し、端部で僅かに外反する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①10YR⅝灰黄褐色②酸化③½④精選。砂粒を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
214	甑	28.4 25.3 7.4	胴部は中央に僅かに膨らみを持つ。口縁部は外反する。底部の周辺は内面を削る。	口縁部ヨコナデ。胴部ハケメ。	口縁部ヨコナデ。胴部横方向のハケメの後ヘラミガキ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③完形④精選。砂粒を含む。⑤外面に黒斑。⑥床面直上

HH—1号住居出土遺物観察表（図78、PL.40）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
68	壺	不明 不明 7.7	胴部は球形を呈する。	胴部ヘラミガキ。頸部にハケメを残す。	胴部ヘラミガキ。	①7.5YR⅔にぶい褐色②酸化③口縁部を欠損。④精選⑤外面に黒斑。⑥床面直上
75	椀	6.6 13.8 4.7	口縁部は僅かに内湾する。	ヘラミガキ。	ヘラミガキ。	①7.5YR⅝橙②酸化③完形④精選。砂礫を含む。⑥床面直上
74	坏	3.1 10.0 3.0	口縁部は僅かに内湾しながら緩やかに開く。口唇部は薄い。	口縁部ヨコナデ。胴部ハケメ。	ミガキ。	①7.5YR⅞にぶい橙②酸化③完形④精選。砂礫を含む。⑥床面直上
53	甕	23.45 19.05 6.35	口縁部は頸部からくの字に外傾し、端部で僅かに外反する。	口辺部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。上半部にハケメを残す。	口縁部ヘラミガキ。胴部ヘラミガキ。	①7.5YR⅝橙②酸化③完形④精選。砂粒を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
45	台付き甕	不明 不明 8.55	僅かに内湾する。底部縁辺を平坦に調整。	裾部にハケメ。	ハケメの上にヘラミガキ。	①5YR⅞にぶい橙②酸化③脚部のみ完形④砂粒、輝石を含む。⑥床面直上
58	灯明皿	2.5 11.7 6.3	口縁部は直線的に開く。	轆成型。底部は回転糸切りの後板目痕。	轆成型。	①7.5YR⅔にぶい褐色②酸化③½④砂粒を含む。⑥上層

HH－3号住居出土遺物観察表（図84、PL. 40）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
14	甑	26.2 26.3 7.2	胴部は上半部に最大径を持つ。口縁部は緩やかに外反。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①7.5YR⅚浅黄橙②酸化③⅔④砂礫を含む。⑤外面に黒。⑥床面直上
114	坏	5.3 14.6	胴部は緩やかに内湾しながら立ち上がる。口縁部と胴部との境には不明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	ヘラミガキ。	①5YR¾にぶい赤褐色②酸化③完形④砂礫を含む。⑤器壁の荒れ顕著。⑥床面直上
38	小型壺	8.1 10.1 4.0	胴部はそろばん玉状を呈する。口縁部は直立する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。胴部ヘラミガキ。	①7.5YR⅔にぶい橙②酸化③完形④砂礫を含む。⑤外面に黒斑。⑥床面直上
1	小型甕	14.2 11.0 5.1	胴部は球形を呈する。口縁部は僅かに外反する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。	①7.5YR¾にぶい褐色②酸化③口縁部の一部を欠損。④砂礫を含む。
84	高坏	不明 13.4	脚柱部はハの字にひろがり、裾部でラッパ状に開く。	暗文状のヘラミガキ。	裾部ヨコナデ。脚柱部ヘラケズリ、シボリ痕を残す。	①5YR¾にぶい赤褐色②酸化③脚部のみ完形④精選⑥床面直上
113	甕	不明 16.3 不明	口縁部は頸部からくの字に屈曲して外傾する。胴部は長胴。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデか。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケズリ。	①7.5YR⅔にぶい褐色②酸化③½④砂粒を含む。⑥床面直上
30	椀	不明 14.8 不明	口縁部は緩やかに外反。	口縁部ヨコナデ胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。	①5YR¾にぶい赤褐色②酸化③⅓④砂粒を含む。⑥床面直上

HH－6号住居出土遺物観察表（図87、PL. 40）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
578	坏	4.7 11.1 4.3	胴部は直線的にひらき、口縁部はやや内傾する。口縁部と胴部との境には不明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。底部に木葉痕。	口縁部ヨコナデ。胴部放射状のヘラミガキによる暗文。	①7.5YR⅔にぶい橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑥床面直上
128	高坏	不明 17.6 不明	口縁部は緩やかに開く。下部に不明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状ヘラミガキ。	①2.5YR⅚橙②酸化③⅓④白色パミスを含む。⑥上層
599	高坏	不明 18.4 不明	口縁部は緩やかに開く。接合部周辺に段を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①2.5YR⅔淡黄②酸化③½④砂粒を含む。⑤外面に黒斑内面に炭化物の付着。⑥竈内
123	甕	不明 14.3 不明	口縁部は頸部からくの字に外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①7.5YR⅔にぶい褐色②酸化③底部を欠損。④砂粒、輝石を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
167	甕	不明 17.2 不明	口縁部は頸部からくの字に外傾、端部で僅かに外反する。胴部は球形を呈する。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。胴部ヘラナデ、下半部はヘラミガキ。	①7.5YR 3/4浅黄橙②酸化③上半部のみ④精選。砂粒を含む。⑤外面に黒斑。⑥床面直上
57	甕	不明 20.2 不明	口縁部は頸部からくの字に外傾。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヘラミガキ。	①10YR 7/3にぶい黄橙②酸化③1/5④精選⑥上層
437	坏	不明 16.35 不明	胴部は直線的に開く。口縁部は外傾ぎみに立ち上がる。胴部と口縁部との境には不明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。	①2.5YR 6/6橙②酸化③1/4④砂粒を含む。⑤内面の器壁の荒れ顕著。⑥上層
205	坏	不明 15.8 不明	胴部は浅く、丸みを帯びる。口縁部は短く外傾し、内面に稜を持つ。	口縁部から胴部上半部へラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部上半部へラミガキ。	①10YR 6/6赤橙②酸化③1/2④精選⑤内外面ともに胴下半部の器壁の荒れ顕著。⑥上層
256	手捏	不明 不明 3.8		ヘラミガキ。	ナデ。	①10YR 8/3浅黄橙②酸化③2/3④精選⑥上層
49	手捏	3.3 5.65 5.0		ヘラミガキ。	指頭圧痕。	①7.5YR 7/6橙②酸化③2/3④精選⑥床面直上

HH－7号住居出土遺物観察表（図85、PL. 43）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
180	甕	不明 13.0 不明	口縁部は頸部から直立し、端部で外反する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。	①5YR 6/6橙②酸化③胴上半部のみ④精選⑤内面黒色⑥床面直上
185	甑	11.1 17.5 6.0	胴部は逆ハの字に開く。口縁部は折り返し口縁。	口縁部指圧痕の後ヨコナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①5YR 6/3にぶい橙②酸化③完形④精選⑤口縁部外面に黒斑。⑥床面直上
178-1	椀	8.9 11.4 4.2	胴部は球形を呈する。口縁部は短く、僅かに外反する。	口縁部ヨコナデ。	口縁部ヨコナデ。	①10YR 5/2灰黄褐色②酸化③3/4④砂粒を含む。⑥床面直上
178-2	広口甕	22.0 22.7 7.0	口縁部に最大径を持ち、緩やかに外反する。胴部は球形を呈し、底部は突出する。	口縁部ヨコナデ。胴部はナデの後一部にヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①7.5YR 5/1褐灰②酸化③2/3④砂礫を含む。⑤内外面胴部に黒斑。⑥床面直上
179	高坏	不明 18.5 不明	口縁部は緩やかに開き、端部で僅かに内湾する。下部に不明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデの後暗文状のヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部不規則な暗文状のヘラミガキ。	①5YR 6/3にぶい橙②酸化③坏部のみ完形④砂礫を含む。⑥床面直上
187	高坏	不明 17.4 不明	口縁部は直線的に開く。下部に不明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ハケメの後ヘラミガキによる放射状暗文。	①10YR 7/4にぶい黄橙②酸化③坏部のみ完形④砂礫を含む。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
181	手捏	3.7 5.6 5.0	口縁部は直立する。	胴部ナデ。	ナデ。	①5YR⅘にぶい橙②酸化③½④精選⑥貯蔵穴

Ⅰ－1号古墳出土遺物観察表（図89、PL. 32）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
13	坏	3.1 10.3	胴部は浅く、口縁部は僅かに内傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケヅリ。	口縁部から胴部ヨコナデ。	①7.5YR⅞にぶい橙②酸化③¾④精選⑥前庭部埋め土
	坏	3.1 10.9	胴部は浅く、口縁部は端部で内湾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。	①7.5YR⅚橙②酸化③¾④砂粒を含む。⑥前庭部埋め土一括
1	提瓶	不明 8.75 不明	口縁部は直立し、端部は折り返し。肩部にボタン状貼付文。	轆成型。口縁部ヨコナデ胴部カキメ。	轆成型。	①5Y⅘灰②還元③⅓④白色鉱物粒を含む。⑥前庭部埋土

KH－1号住居出土遺物観察表（図91、PL. 39）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
121	高坏	15.5 19.3 15.0	口縁部は直線的に緩やかに開く。脚部は細く、裾部は直に開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。脚部ヘラミガキ。裾部ヨコナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。脚柱部は絞り痕裾部ヨコナデ。	①5YR⅚橙②酸化③⅘④砂礫を含む。⑤口縁部外面に炭化物の付着。⑥床面直上
120	台付き椀	不明 18.2 不明	胴部は円みを持ち、緩やかに内湾する。口縁部は短く、僅かに外傾する。胴部下部に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキによる放射状暗文。	①10R⅘にぶい橙②酸化③椀部のみ½④精選⑤外面に黒斑。⑥床面直上
208	坩	13.7 12.8	口縁部は直線的に開き、端部で内湾する。胴部は球形を呈する。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。胴上部ヘラナデ。下部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。暗文状のヘラミガキ。	①7.5YR⅞橙②酸化③¾④精選⑤口縁部、胴中央部に黒斑。⑥床面直上
11	甕	18.0 15.4 6.0	口縁部は頸部からくの字に外傾し、直線的に開く。胴部は球形を呈する。	口縁部ヨコナデ。胴上部と下部はヘラナデ。中央部はヘラケズリ。	口縁部ヨコナデ。	①10YR⅘浅黄橙②酸化③¾④砂粒を含む。⑤胴下部に炭化物の付着。⑥上層
125	坩	不明 不明 5.7	胴部は上下に潰れた球形。	ヘラナデ。		①5YR⅚橙②酸化③胴部のみ⅘④白色パミス粒を含む。⑤胴中央部に黒斑。⑥床面直上
222	坩	不明 不明 3.7	胴部はそろばん玉状を呈する。頸部は締まりなく広い。	ナデ。	ナデ。	①10YR⅔にぶい黄橙②酸化③胴部のみ完形④砂粒を含む。⑤胴下半部に黒斑。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
126	椀	5.2 17.8	胴部は緩やかに内湾。口縁部は短く外傾。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①2.5YR⅝にぶい橙②酸化③½④砂粒、白色パミスを含む。⑤底部内外面に黒斑。⑥床面直上

KH－2号住居出土遺物観察表（図93、PL.28・41）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
53	椀	5.4 11.6 4.7	胴部は緩やかに内湾。口縁部は短く外傾、内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキとヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①5YR⅞橙②酸化③½④精選⑤外面に炭化物の付着。内面に黒斑。⑥床面直上
187	椀	不明 11.95 不明	胴部は緩やかに内湾。口縁部は短く外傾し、内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデの後ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	①2.5YR⅝橙②酸化③底部欠損④精選⑥床面直上
147	甕	不明 15.45 不明	口縁部は頸部からくの字に外傾する。胴部は球形か。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①2.5YR7/8橙②酸化③底部欠損④砂粒を含む。⑥床面直上
117	甕	不明 17.8 不明	口縁部は頸部からくの字に屈曲し外傾して開く。胴部は球形を呈する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。下部ヘラケヅリ。	①7.5YR⅝浅黄橙②酸化③底部欠損④砂粒を含む。⑥床面直上
186	甑	18.85 22.55 7.25	胴部は緩やかに内湾して口縁部にいたる。	口縁部ヨコナデ。胴上部ハケメ。下半部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ハケメ。	①10YR⅔にぶい黄橙②酸化½④砂粒を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
132	小型甕	不明 14.55 不明	口縁部は頸部からくの字に外傾。胴部は球形を呈する。中央部に段を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデの後ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①7.5YR⅝浅黄橙②酸化③底部欠損④砂粒を含む。⑥床面直上
91	甕	19.3 17.65 7.7	口縁部はくの字に外傾する。胴部は下膨れした球形を呈する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデと一部にヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケヅリ。	①5YR⅞橙②酸化③½④砂粒、白色パミスを含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
165	高坏	不明 20.35	口縁部は緩やかに開き、端部で僅かに内湾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部放射状のヘラミガキ。	①7.5YR⅝浅黄橙②酸化③坏部のみ完形④砂粒、輝石を含む。⑥床面直上
56	高坏	不明 不明 12.2	脚柱部はやや短く、裾部はラッパ状に開く。	脚柱部、裾部共にヘラミガキ。	裾部ヨコナデ。脚柱部絞り痕。	①7.5YR⅞橙②酸化③脚柱部のみ完形④精選⑥床面直上
51	高坏	不明 不明 15.15	脚柱部は太い。裾部は大きく開く。	脚柱部ヘラミガキ。裾部ヨコナデの後ヘラミガキ。	脚柱部ヘラナデ、絞り痕。裾部ヨコナデ。	①5YR7/8橙②酸化③脚柱部のみ½④砂粒、輝石を含む。⑥床面直上
174	甕	不明 15.25 不明	口縁部は直立し端部で外反する。胴部は球形を呈する。	口縁部ヨコナデ。胴上部ハケメの後ヘラミガキ。下部ヘラケヅリの後ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラケヅリ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③上半部のみ④砂粒、砂礫粒を含む。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
129	甕	不明 17.8 不明	口縁部は頸部からくの字に屈曲し緩やかに外反する。胴部は球形を呈する。	口縁部ヨコナデ。胴上部へラナデ。下部へラケヅリか。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。	①10YR8/3浅黄橙②酸化③上半部のみ完形④砂粒、砂礫粒を多く含む。⑥床面直上
59	坏	7.3 11.5 4.25	底部は小さな上げ底状の平底。胴部は僅かに内湾ぎみに立ち上がる。口縁部は短く、外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデか。	①5YR7/4にぶい橙②酸化③完形④精選⑤二次焼成か。⑥床面直上
149	甕	15.0 15.2 不明	口縁部は頸部からくの字に屈曲し外傾する。胴部は球形を呈する。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。	①5YR7/6橙②酸化③胴上部のみ完形④砂粒、輝石を含む。⑤外面に黒斑。⑥床面直上
6	甑	16.3 25.3 7.8	口縁部はやや内湾して立ち上がる。口縁部は短く、外反する。口縁部に最大径を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。下部にヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデの後へラミガキ。	①5YR7/6橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤口縁部内面に黒斑。⑥床面直上
172	甕	23.4 17.3 5.9	口縁部は頸部からくの字に外傾する。胴部は球形を呈する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。	①7.5YR8/3浅黄橙②酸化③完形④精選。砂粒を含む。⑤外面に黒斑。二次焼成⑥床面直上
96	灯明皿	3.05 10.4 6.6	底部が大きく、口縁部は直線的に開く。	轆成型。底部か回転糸切り無調整。	轆成型。	①2.5YR7/6橙②酸化③完形④精選⑥上層
148	甕	不明 17.2 不明	二段口縁。端部で外反する。	ヨコナデ。	ヨコナデ。	①2.5YR7/6橙②酸化③口縁部のみ1/2④精選。砂粒を含む。⑥床面直上

LH－1号住居出土遺物観察表（図97、PL.28・42）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
491	坩	不明 不明 3.7	胴部は上下に潰れた球形。口縁部は直立する。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。	①2.5YR6/8橙②酸化③口縁部欠損④砂粒を含む。⑥床面直上
536	鉢	9.6 13.9 4.5	胴部は内湾し、口縁部は肥厚し、大きく外傾する。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。	①10YR6/2灰黄褐色②酸化③1/2④砂粒、輝石を含む。⑥床面直上
372	椀	5.2 4.3 5.7	胴部は浅く、内湾する。口縁部は短く外傾する。	口縁部ヨコナデ。	口縁部ヨコナデ。	①7.5YR8/2灰白②酸化③1/2④砂粒を含む。⑤器壁の荒れ顕著。⑥床面直上
438	甑	10.9 9.9 4.0	胴部はそろばん玉状を呈するが下部が直線的にすぼまる。口縁部は直線的に開き端部で僅かに内湾する。注口部は焼成後穿孔。	口縁部ヨコナデ。ナデ。	口縁部ヨコナデ。	①7.5YR7/3にぶい橙②酸化③口縁部の1/2欠損④砂礫を含む。⑤外面に黒斑。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
250	高坏	不明 不明 16.0	脚柱部はやや太く、裾部に向かって緩やかに開く。裾部は大きくラッパ状に開く。	脚柱部へラミガキ。裾部ヨコナデの後へラミガキ。	裾部ヨコナデ。脚柱部ナデ。絞り痕。接合痕を残す。	①10YR7/4にぶい黄橙②酸化③脚柱部のみ1/2④精選⑥上層
413	坏	5.8 9.8 2.5	胴部は緩やかに内湾する。口縁部は内傾し、外面に稜をもつ。	口縁部ヨコナデ。	口縁部ヨコナデ。	①2.5YR6/8橙②酸化③完形④精選⑤口縁部外面に黒斑器面の荒れ顕著。⑥床面直上
53	鉢	8.6 10.7 5.2	胴部は緩やかに内湾する。口縁部は短く内面に稜を持ち、僅かに開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部放射状のヘラミガキ。	①2.5YR5/6明赤褐色②酸化③1/2④精選⑥上層
77	坏	5.7 13.2 5.1	胴部は僅かに内湾しながら開く。口縁部は内面に稜を持ち、短く外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①2.5YR5/6明赤褐色②酸化③3/4④精選⑥上層
73	坩	7.35 7.9 3.0	胴部はそろばん玉状を呈する。口縁部は直線的に開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ハケメの後ミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①7.5YR7/4にぶい橙②酸化③1/3④精選⑥上層
484	高坏	不明 18.4 不明	口縁部は直線的に開き、端部で僅かに内傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラミガキ。	①2.5YR7/6橙②酸化③坏部のみ1/3④精選⑥床面直上
501	甕	不明 14.9 不明	口縁部は折り返し状を呈し、僅かに内湾ぎみに開く。	口縁部ヨコナデの後ユビオサエ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①5YR6/6橙②酸化③1/4④輝石、白色パミスを含む。⑥床面直上
30	坏	5.2 14.2 3.4	胴部は僅かに内湾して開く。口縁部は短く外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部へラミガキ。	口縁部ヨコナデ。	①2.5YR5/6橙②酸化③1/2④砂粒を含む。⑥床面直上
130	甕	不明 20.0 不明	口縁部は頸部からくの字に外傾し、端部でさらに外反する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①7.5YR7/6橙②酸化③1/2④砂粒を含む。⑥床面直上

LH－2号住居出土遺物観察表（図98、PL.28・42）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
575	壺	不明 19.6 不明	胴部は球形を呈する。口縁部は直立し、端部で外反する。二重口縁。	口辺部ヨコナデ。胴部へラナデ。	口辺部ヨコナデ。胴部へラナデ。	①10YR8/3浅黄橙②酸化③3/4④砂粒、輝石を含む。⑥床面直上
686	甕	29.1 20.5 7.6	口縁部はくの字に外傾する。胴部は中央部に最大径を持つ。	口辺部ヨコナデ。胴部へラナデ。一部にヘラケズリ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。	①10YR8/4浅黄橙②酸化③3/4④砂粒、輝石を含む。⑥床面直上
319	甕	不明 18.3 不明	口縁部はほぼ直立し、端部で外反する。胴部は球形を呈する。	口縁部ヨコナデ。頸部から胴上部にハケメ。下部はへラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①7.5YR5/4にぶい橙②酸化③3/4④砂礫を含む。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
380	坏	6.6 11.8 3.5	胴部は内湾し、口縁部は直立、端部で僅かに外反する。底部は小さな平底。	口辺部ヨコナデ。	口辺部ヨコナデ。	①2.5YR 5/4 にぶい赤褐色②酸化③ほぼ完形④精選⑤内外面の器壁の荒れ顕著。⑥床面直上
323	椀	7.5 11.4	胴部は内湾し、口縁部は短く直立する。底部は丸底。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。	①5YR 6/4 にぶい橙②酸化③ほぼ完形④精選⑤内面黒色。外面に黒斑。⑥床面直上
321	椀	7.9 12.2 3.2	胴部は内湾。口縁部は短く外傾し、内面に稜を持つ。底部は小さな平底。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①2.5YR 6/6 橙②酸化③完形④精選。白色パミスを含む。内面上部に炭化物の付着。⑥床面直上
956	坩	8.7 9.1 3.8	胴部はそろばん玉状を呈する。口縁部は頸部からくの字に屈曲し、直線的に開く。口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。		①10YR 7/3 にぶい黄橙②酸化③3/4④輝石を含む。⑤胴部上部に黒斑。⑥下層
322	椀	6.6 10.8 6.7	胴部は僅かに内湾する。口縁部は短く外傾し、内面に稜を持つ。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	①5YR 6/6 橙②酸化③完形④精選⑤外面に黒斑。⑥床面直上
237	小型甕	不明 12.6	口縁部はくの字に外反する。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	①7.5YR 7/6 橙②酸化③1/2④砂粒を含む。⑥床面直上
324	椀	6.7 10.35 4.4	胴部は緩やかに内湾。口縁部は短く外傾する。底部は上げ底状の小さな平底。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	①5YR 7/4 にぶい橙②酸化③完形④精選。砂粒を含む。⑥床面直上
325	椀	6.2 12.7 3.4	胴部は緩やかに内湾しながら立ち上がる。口辺部は短く外傾し、内面に稜を持つ。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。	①5YR 6/4 にぶい橙②酸化③完形④精選⑤外面に黒斑。内面の器壁の荒れ顕著。⑥床面直上
320	高坏	不明 19.1 不明	口縁部は直線的に大きく開く。下部に凸帯状の貼り付けを持つ。	口辺部ヨコナデ。	口辺部ヨコナデ。	①5YR 6/4 にぶい赤褐色②酸化③脚部を欠損。④砂礫を含む。⑥床面直上

MH－1号住居出土遺物観察表（図99）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
6	椀	不明 17.4 不明	胴部は緩やかに内湾。口縁部は僅かに肥厚し、外傾する。	ヘラミガキ。	ヘラミガキ。	①2.5YR 6/6 橙②酸化③1/5④精選⑥床面直上

P－1号古墳出土遺物観察表（図101、PL.33）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
一括	坩	不明 不明 3.7	胴部はやや肩の張る球形。底部は上げ底状態の小さな平底。	肩部ナデ。胴下部へラケズリ。		①7.5YR⅞橙②酸化③½④精選。褐色スコリア粒を含む。⑥墳丘盛土中
1986	坩	8.9 8.4 2.5	胴部は球形。下部は直線的にすぼまる。底部は小さな平底。口縁部は直線的に開く。	口辺部ヨコナデ。胴部ハケメの後へラナデ。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	①2.5YR⅔浅黄②酸化③⅔④砂粒を含む。外面に黒斑。⑥墳丘盛土
1930	高坏	不明 19.5 不明	口辺部は直線的に開く。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラミガキ。	①2.5YR⅝明赤褐色②酸化③⅔④精選。白色パミスを含む。⑥墳丘盛土
926	台付き椀	不明 15.4 不明	胴部は内湾し、口縁部は短く外傾する。内面に稜を持つ。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。へラミガキ。	①5YR⅞にぶい橙②酸化③脚部を欠損。④砂粒、輝石を含む。⑤内面の器壁の荒れ顕著。⑥墳丘盛土
927-1	高坏	不明 18.6 不明	口辺部は直線的に開く。	口辺部ヨコナデ。胴部ナデ。	口辺部ヨコナデ。胴部暗文状のへラミガキ。	①2.5YR⅝灰白②酸化③脚部を欠損。④精選⑥墳丘盛土
927-2	高坏	不明 19.8 不明	口辺部は二段口縁。下部に凸帯状の張り出しを持つ。口縁端部に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラミガキ。	①7.5YR⅞橙②酸化③坏部の⅔④精選。砂礫粒を含む。⑥墳丘盛土
90	坏	5.4 13.0	口縁部は直立し、胴部との境に明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①2.5YR⅝橙②酸化③⅓④精選⑥墳丘盛土
一括	坏	5.2 11.75	口縁部は直立し、胴部との境に明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①5YR⅞橙②酸化③½④精選⑥墳丘盛土
一括	壺	不明 16.35 不明	口縁部は頸部からくの字に屈曲し、外反する。	口辺部ヨコナデ。	口辺部ヨコナデ。	①2.5YR⅔淡黄②酸化③口辺部のみ½④精選⑥墳丘盛土
一括	壺	不明 19.5	二重口縁で大きく開く。	ヨコナデ。	ヨコナデ。	①5YR⅞橙②酸化③口縁部のみ½④精選。砂粒を含む。⑥墳丘盛土
927-3	椀	不明 19.30 不明	胴部は内湾しながら立ち上がる。口縁部は短く外傾内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部へラミガキ。	口縁部ヨコナデ。	①7.5YR⅝浅黄橙②酸化③¼④砂粒、輝石を含む。⑥墳丘盛土
699	甕	不明	口縁部は直立し、端部で僅かに外反する。	口辺部ヨコナデ。胴部ハケメ。	口辺部ヨコナデ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③口縁部のみ⅓④精選⑥墳丘盛土

P－6号古墳出土遺物観察表（図114、PL. 24・33）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
	壺	19.0 13.6 7.0	胴部は球形。口縁部は直立し、端部で外反する。頸部は肥厚する。底部は上げ底状の平底。	口辺部ヨコナデ。胴部肩部ハケメ。下部ナデ。	口辺部ヨコナデ。	①10YR⅔にぶい黄橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤胴部下部に黒斑。⑥周堀下底部

P－7号古墳出土遺物観察表（図117）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
	坏	5.6 13.5	胴部は半球形を呈する。口縁部は短く外傾し、内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状の規則的なヘヘラミガキ。	①2.5YR⅝にぶい橙②酸化③完形④精選⑥周堀埋土

Q－1号古墳出土遺物観察表（図121、PL. 33）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
一括	高坏	不明 不明		ヘラナデ。	ナデ。ユビオサエ。	①10YR⅔浅黄橙②酸化③¼④砂粒を含む。⑥墳丘盛土
一括	壺	不明 21.2 不明	二重口縁。口縁端部で大きく外反する。	ヨコナデの後暗文状のヘラミガキ。	ヨコナデの後暗文状のヘラミガキ。	①10YR⅔浅黄橙②酸化③口縁部のみ¾④精選⑥墳丘盛土
一括	坩	不明 不明 不明	口縁部はくの字に屈曲し開く。胴部は球形を呈する。	口縁部から頸部ヘラミガキ。肩部ヘラナデ、一部ヘラナデ。	口縁部ヘラミガキ。胴部にヘラミガキ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③¼④精選⑥墳丘盛土
一括	高坏	不明 不明		ハケメ。	ヘラナデ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③¼④精選⑥墳丘盛土
一括	甕	不明 18.8 不明	口縁部は緩やかに外反する。	口縁部ヨコナデ。	口縁部ヨコナデ。	①2.5YR⅝淡黄②酸化③⅙④精選⑥墳丘盛土
一括	坩	7.9 9.2 4.4	胴部は半球状を呈する。口縁部は僅かに内湾する。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。胴部ヘラナデの後ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③¾④精選⑥墳丘盛土
一括	椀	8.8 14.45 4.2	胴部は内湾し、口縁部は直立する。	口辺部はヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口辺部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①7.5YR⅞橙②酸化③¾④砂粒、輝石を含む。⑤外面に黒斑。⑥墳丘盛土

V－2号古墳出土遺物観察表（図125、PL. 24・26・33）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
6	坏	5.2 12.7	胴部は半球状を呈する。口縁部は僅かに内湾する。	口辺部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口辺部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①7.5YR 7/4にぶい橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑥周堀内
1	椀	5.4 8.55	胴部は半球状を呈し、口縁部は内湾する。	口辺部から胴部へラミガキ。	ヨコナデの後へラミガキ。	①2.5YR 5/6明赤褐色②酸化③完形④精選⑤外面に黒斑。⑥周堀内
4	無蓋高坏 須恵器	8.8 13.85 8.7	脚部は短く、太い。口縁部は直線的に緩やかに開く。	轆成型。坏部下部にヘラケズリ。	轆成型。	①N6/0灰色②還元③½④精選。石英粒を含む。⑥周堀内
2	坏	6.1 13.3	胴部は半球状を呈する。底部は平底状の丸底。口縁部は僅かに内湾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部はヘラミガキによる放射状、の暗文。	①10YR 8/4浅黄橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤外面に黒斑。⑥周堀内

V－4号古墳出土遺物観察表（図131、PL. 24・26・33）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
7	坏	6.6 14.05	胴部は半球状を呈し、深い。口縁部は直立し胴部と口縁部との境には明瞭な稜を成す。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①5YR 7/6橙②酸化③完形④精選⑤底部に黒斑。⑥周堀底面
5	坏	4.9 14.0	胴部は半球状を呈し、口縁部は短く外傾し、内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。規則的な暗文状のヘラミガキ。	①2.5YR7/8橙②酸化③完形④精選⑥周堀底面
6	坏	5.35 14.4	胴部は半球状を呈し、口縁部は短く外傾する。口縁部内面には不明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部規則的な暗文状のヘラミガキ。	①5YR 7/6橙②酸化③完形④精選⑥周堀底面
1	坩	15.6 9.6	胴部は上下に潰れた球形。口縁部は緩やかに開く。	ヘラミガキ。	ヘラミガキ。	①7.5YR 7/4にぶい橙②酸化③完形④精選⑤底部外面と口縁部内面に黒斑。⑥周堀底部
2	坏	6.05 12.6	胴部は半球状を呈し、口縁部は直立する。	口縁部ヨコナデの後へヘラミガキ。胴部ナデ、一部にミガキ。	口縁部ヨコナデの後へラミガキ。胴部へラミガキ。	①2.5YR 5/6明赤褐色②酸化③完形④精選⑥周堀底面
3	坏	5.2 13.6	胴部は半球状を呈し、口縁部は短く外傾し、内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	①5YR 6/6橙②酸化③完形④精選⑥周堀底面
4	坏	5.15 13.7	胴部は半球状を呈し、口縁部は短く外傾し、内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	①5YR 6/6橙②酸化③完形④精選⑥周堀底面

V－7号古墳出土遺物観察表（図138、PL.26・33）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
1	坏	4.6 13.6	胴部は半球状を呈し、やや浅い。口縁部は短く外傾し、僅かに内湾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	①2.5YR⅚橙②酸化③完形④精選。砂粒を含む。⑥周堀埋め土
2	坏	5.0 14.1	胴部は半球状を呈し、やや浅い。口縁部は短く外傾し、僅かに内湾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	①2.5YR⅚橙②酸化③¾④精選⑥周堀埋め土
3	坏	5.1 13.9	胴部は半球状を呈し、やや浅い。口縁部は短く外傾し、僅かに内湾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	①10YR⅚赤②酸化③完形④精選。砂粒を含む。⑥周堀埋め土
4	椀	6.1 11.6	胴部は半球状を呈し、口縁部は内湾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部暗文状のヘラミガキ。	①5YR⅚橙②酸化③完形④精選⑤底部外面に黒斑。⑥周堀埋め土
一括	高坏 須恵器	不明 不明 11.6		轆成型。	轆成型。	①2.5YR⅞灰黄②還元③脚部のみ¼④砂粒を含む。⑥周堀埋め土
一括	椀	不明 9.7 不明		轆成型。口縁部に二段の波状文を施す。	轆成型。	①5YR⅝灰②還元③⅙④精選⑥周堀埋め土

VII－1号住居出土遺物観察表（図157、PL.27・43）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
115	甑	9.7 17.9 6.0	口縁部は逆ハの字状に開く。底部には1孔を有する。口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ハケメ。		①10YR⅞にぶい黄橙②酸化③⅔④砂粒を含む。⑤外面全面にに炭化物の付着。⑥床面直上
54	甕	不明 19.6 不明	胴部は球形を呈する。口縁部はくの字に屈曲し直線的に開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①7.5YR⅞橙②酸化③⅓④砂粒を含む。⑥床面直上
25	鉢	11.7 17.9 4.4	胴部は球形状を呈する。口縁部は外傾し、端部で僅かに内湾する。内面に稜を持つ。底部は丸底。	口縁部ヨコナデ。胴部ハケメの後ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①5YR⅞橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥床面直上
2	椀	6.85 9.75	胴部は僅かに内湾して立ち上がる。口縁部は短く外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。頸部にハケメを残す。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①2.5YR⅔淡黄②酸化③¾④砂粒を含む。⑤外面に黒斑。⑥床面直上
85	甕	27.95 17.75 6.6	胴部は上部に最大径を持つ。口縁部は緩やかに外反する。	口縁部ヨコナデ。頸部から胴上部にハケメを残す。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③⅔④精選。砂礫を含む⑤胴部中部に炭化物の付着。黒斑。⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
27	椀	7.2 12.95 6.2	胴部は緩やかに内湾し、口縁部は緩やかに外反する。全体に成型が悪い。	口縁部ヨコナデ。頸部に指頭圧痕。一部にヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①10YR⅘浅黄橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤外面二次焼成。内面に黒斑。⑥床面直上
10	椀	8.9 10.15 5.9	胴部は緩やかに内湾しながら口縁部に至る。底部は突出する。	口縁部ヨコナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	①2.5YR⅔淡黄②酸化③完形④砂粒を含む。⑤二次焼成⑥床面直上
125	鉢	10.55 19.5 6.1	胴部は緩やかに内湾する。口縁部は短く、外傾する。	口縁部ヨコナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデと一部にヘラミガキ。	①10YR⅞にぶい黄橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤外面二次焼成⑥床面直上
21	甕	17.1 12.4 6.9	胴部は球形を呈し、口縁部は直線的に立つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。	①10YR⅞にぶい黄橙②酸化③½④精選⑤胴部外面に炭化物の付着。⑥床面直上
1	坩	8.65 9.9 2.55	胴部は球形を呈し、口縁部は直線的に開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①7.5YR⅞橙②酸化③完形④精選⑥床面直上
26	椀	6.85 12.95 5.3	胴部は緩やかに内湾し、口縁部は僅かに外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。一部にヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①2.5YR⅘淡黄②酸化③完形④砂粒を含む。⑤内面黒色⑥床面直上
76	高坏	不明 18.65	口縁部は僅かに内湾ぎみに開く。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①2.5YR⅚橙②酸化③坏部のみ④砂粒を含む。⑤二次焼成⑥床面直上
6	椀	不明 12.9 不明	胴部は緩やかに内湾し、口縁部は外傾して開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①5YR⅞橙②酸化③½④精選⑥住居埋め土
5	椀	不明 10.7	胴部は内湾し、口縁部は短く外傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①7.5YR⅚浅黄橙②酸化③⅓④砂粒を含む。⑥住居埋め土

VH－2号住居出土遺物観察表（図158、PL.43）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
94	坩	8.8 8.3 3.4	胴部はそろばん玉状を呈する。口縁部は直線的に開き、端部で僅かに内湾する。	口縁部、胴部共にヘラミガキ。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。	①10YR⅔にぶい黄橙②酸化③⅘④精選。僅かに砂礫粒を含む。⑤外面に黒斑。⑥貯蔵穴
95	坩	9.4 8.4 4.1	胴部はそろばん玉状を呈する。口縁部は直線的に開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。	①5YR⅞にぶい橙②酸化③½④砂粒を含む。⑥貯蔵穴
93	坏	3.0 7.3 2.6	酒坏状を呈する。	ヘラミガキ。	ヘラミガキ。	①5YR⅘にぶい橙②酸化③完形④精選⑥床面直上

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
1	高坏	不明 20.1	胴部は直線的に開き、口縁端部で僅かに内傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部放射状のヘラミガキ。	①7.5YR⅝にぶい橙②酸化③坏部のみ④砂礫粒を含む。⑥床面直上
一括	椀	6.6 12.4 5.1	胴部は上下に潰れた球形を呈する。口縁部は外面に肥厚し、外傾して開く。内面に稜を持つ。	口縁部ヨコナデの後にヘラミガキ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。	①10YR⅚赤橙②酸化③½④精選⑤赤色塗彩か。⑥埋め土
48	坏	3.25 8.6 5.9	比較的大きな底部から胴部をつまみ上げる。	口縁部ヨコナデ。	ナデ。	①10YR⅔にぶい黄橙②酸化③完形④砂礫を含む。⑥床面直上
一括	坩	不明 8.5 不明	胴部は球形を呈し、口縁部は頸部から緩やかに湾曲し開く。口縁端部は僅かに内湾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①10YR⅝浅黄橙②酸化③⅓④精選⑤外面に黒斑。⑥貯蔵穴埋め土
一括	椀	6.9 11.4	胴部はやや深い。口縁部は短く僅かに外反る。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	①7.5YR⅞にぶい橙②酸化③½④精選⑥埋め土
62	高坏	不明 20.5 不明	胴部は直線的に開き、口縁端部で僅かに内傾する。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①5YR⅞橙②酸化③坏部のみ¼④砂礫を含む。⑤内面黒斑⑥床面直上

Y－5号古墳出土遺物観察表（図165、PL.26・33）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
一括	椀	5.9 7.5 3.8	口縁部は僅かに内湾ぎみに開く。	口縁部ヨコナデ。胴部ナデ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	①10YR⅔にぶい黄橙②酸化③⅔④精選⑤外面に黒斑。⑥周堀埋め土
3	坏	5.2 13.8	底部は平底状の丸底。胴部は僅かに内湾ぎみに開き、口縁部は直立する。外面に不明瞭。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデの後ヘラミガキ。胴部ヘラミガキによる放射状の暗文。	①7.5YR⅞橙②酸化③¾④精選⑤外面に黒斑。⑥周堀底面。な稜を持つ。
2	坏	4.9 13.7	底部は平底状の丸底。胴部は僅かに内湾ぎみに開き、口縁部は直立する。外面に不明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキによる放射状の暗文。	①7.5YR⅞橙②酸化③完形④精選⑥周堀底面
1	坏	5.2 14.4 4.9	底部は平底状の丸底。胴部は僅かに内湾ぎみに開く。口縁部は直立する。外面に不明瞭な稜を持つ。	口縁部ヨコナデ。胴部ヘラミガキ。	口縁部ヘラミガキ。胴部ヘラミガキによる放射状の暗文。	①10YR¾にぶい黄橙②酸化③完形④精選⑤外面に黒斑⑥周堀底面
4	坩	12.6 8.0	胴部は上下に潰れた球形を呈する。口縁部は僅かに外傾ぎみに直立する。	口縁部ヨコナデの後に暗文状のヘラミガキ。	口縁部ヨコナデ。	①7.5YR⅞橙②酸化③完形④砂粒を含む。⑤外面に黒斑。⑥周堀底面

Y－6号古墳出土遺物観察表（図167、PL. 33）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
1	樽形 甕	17.3 8.5 9.3	ビール樽を横倒しにした胴部に緩やかに外反して開く口縁部を持つ。胴部中央には小孔を持つ。	轆成型。胴部に4単位の波状文。頸部と口縁部に波状文。	轆成型。	①7.5YR4/1灰②還元堅緻③5/6④精選⑥周堀埋め土

Y_1－5号古墳出土遺物観察表（図179）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
一括	高坏	不明 16.2 不明	口縁部は直線的に開く。口縁下半部に稜を持つ。	口縁部ヨコナデの後に暗文状のヘラミガキ。胴部ヘラミガキ。	ヨコナデの後暗文状のヘラミガキ。	①2.5YR5/4にぶい赤褐色②酸化③1/6④精選⑥周堀底面

Z－3号古墳出土遺物観察表（図172）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
一括	甕	不明 不明 9.6	胴部は球形を呈する。	ナデ。	ナデ。	①5YR6/6橙②酸化③1/4④砂礫粒を含む。⑤外面に炭化物の付着。⑥周堀埋め土

Y_1－1号土壙出土遺物観察表（図182）

番号	器形	法量 器高 口径 底径	器形の特徴	外面調整	内面調整	①色調②焼式③残存④胎土⑤備考⑥出土状態
1	椀	不明 10.4 不明	胴部は緩やかに内湾する。口縁部は短く外反する。	ヘラミガキ。	ヘラミガキ。	①5YR5/4にぶい赤褐色②酸化③1/4④精選⑥埋め土

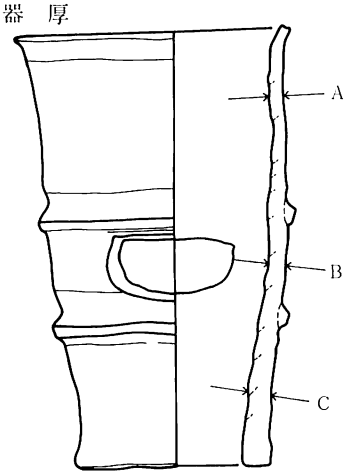
V－2号古墳出土埴輪観察表（例）　　（単位　cm）

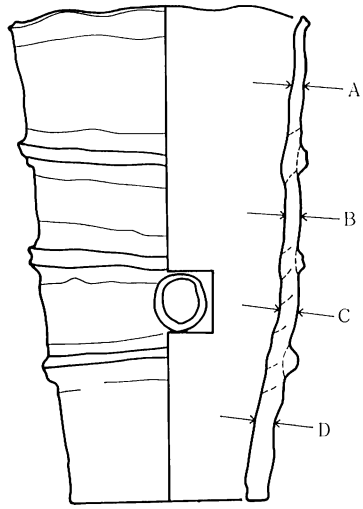
No.	形態	器高	口径	底型	器厚	透孔				凸帯			刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
						下段		上段		1	2	3						
90	A	33.5	(25.8)	14.0	A(0.9) B(1.1) C(1.7)	15.4 5.5 (6.3)	15.5 4.9 (5.4)	E F G		10.5 0.9 0.6 A	21.7 0.8 0.5 A	H I J K	6	5YR7/6 橙	砂粒を含む	Bb	基部 外面　縦刷毛目→凸帯貼付 内面　ナデ 透孔　右	

A　普通円筒埴輪
B　朝顔形円筒埴輪
C　基台埴輪
D　形象埴輪

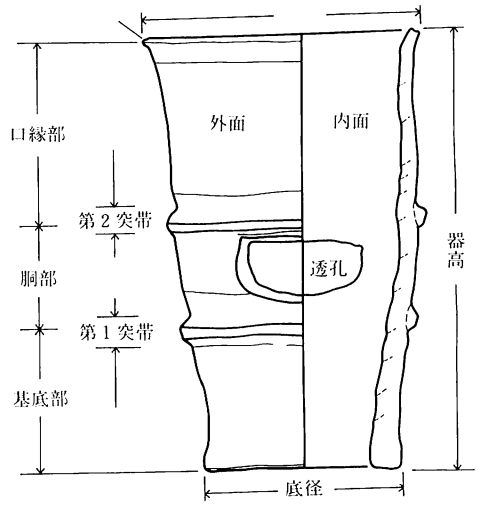
A　良好　　a　硬い
B　普通　　b　普通
C　不良　　c　軽い

器　厚

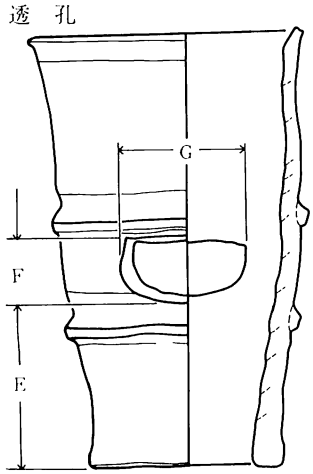


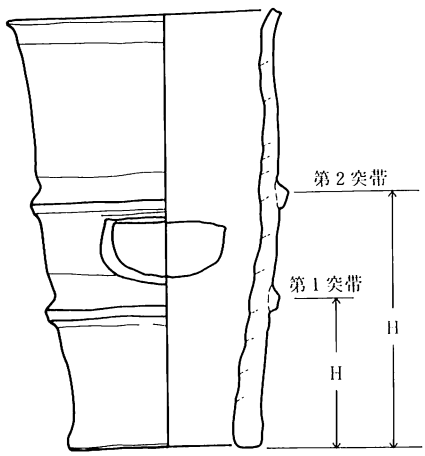


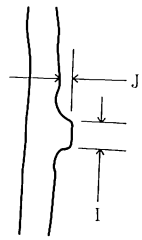
各部名称

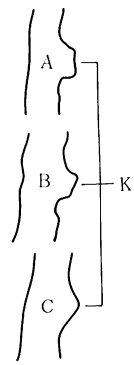


透　孔









埴輪観察表　凡例

A－1号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 上段			凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
34	A	35.3	22.1	11.65	1.2 1.1 1.2	16.85 5.15 6.8	17.35 4.6 5.65			13.4 0.8 0.3 B	23.9 0.6 0.3 B		11～12	5YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	Bb	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付	
27	A	—	22.8	—	1.1 (1.1)						— 0.75 0.4 B		11～12	2.5YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	Bb	外面　口縁は斜刷毛目 内面　縦刷毛目 透孔　右	
31	A	31.8	23.7	(14.45)	1.2 0.95 1.45	14.7 — —	14.85 — —			13.45 1.0 0.6 B	21.75 0.9 0.4 B		—	2.5YR 6/6 橙	砂粒を含む	Bb	外面　ナデ 内面　縦ナデ 透孔　左	
36	A	—	22.95	—	0.95 1.0					— — 0.5 C	— — 0.45 C		—	25YR 4/8 赤褐色	砂粒を含む	Bb	外面　縦ナデ→突帯貼付 内面　ナデ 透孔　左	
107	D	—	—	19.3	1.4 1.15 1.55	17.1 (5.7)	17.0 (5.2)			16.5 0.9 0.8 A				2.5YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む		外面　縦ナデ 内面　ナデ	

D－3号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 上段			凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
38	A	41.8	21.5	11.3	1.0 1.0 1.2	2.2 6.8 (7.1)	22.5 5.8 (6.0)			18.6 — 0.4 C	30.2 — (0.4) C		9～13	7.5YR 6/6 橙	砂粒を含む	Bb	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　基底部から胴中位ナデ 胴中位～口縁部斜刷毛目	
37	A	—	22.1	—	0.8 — —	— — 5.7	— — 5.4				— — 0.5 C		7～8	10YR 8/3 浅黄橙	砂粒を含む	Bb	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　斜刷毛目	

F－1号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 上段			凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
12	A	32.8	19.4	(12.2)	1.05 1.25 1.45	16.0 5.55 6.75	16.8 4.75 5.5			12.95 0.55 0.7 B	22.8 0.7 0.45 B		11～12	5YR 5/6 橙		Bb	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁斜刷毛目、胴部、基底部縦ナデ 透孔　右	
82	A	—	—	(12.5)	— 1.2 1.5	16.3 — —	16.8 — —			12.1 0.65 0.4 B			10～11	5YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	Bb	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　胴部ナデ、基底部ナデの後に刷毛目 透孔　左	
46	A	—	(22.45)	—	0.95 0.95 —	— 5.85 6.5	— 5.45 5.65			— — — —	— 1.0 0.1 B		12～13	5YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	Bb	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁部、胴部斜方向の刷毛目 透孔　右	
79	A	—	—	12.25	1.15 1.65 1.65	14.4 5.4 (6.65)	15.0 4.55 (5.85)			9.85 — 0.45 C			11～12	2.5YR 5/6 橙	砂粒を含む	Cb	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　主に縦方向のナデ、その後に刷毛目も見られる	

F－2号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 上段			凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
99	A	(35.2)	(21.7)	12.0	(0.85) 1.2 1.25	17.35 5.85 6.6	17.5 5.3 5.45			14.15 —— 0.3 C	24.5 0.95 0.35 B		10～11	10YR ⅝ 赤	砂粒を含む	Bb	基部　右 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁から胴部にかけて刷毛目、基底部縦ナデ	
105	A	(36.3)	(20.65)	11.95	0.9 1.0 1.4	(18.45) 6.3 (5.8)	—— 6.0 ——			14.0 0.95 0.25 B	(25.2) 1.05 0.45 B		12～15	2.5YR ⅝ 明赤褐色	砂粒を含む	Bb	基部　左 外面　縦ナデ→突帯貼付 内面　斜刷毛目	
92	A	36.0	(20.2)	(12.6)	(1.0) (1.0) 1.15	(15.55) (6.8) (5.75)	(15.8) (6.6) (5.25)			13.2 —— 0.4 C	24.1 1.0 —— B		10	7.5YR ⅝ 橙	砂粒を含む	Cb	基部　左 外面　全体的に摩滅しているが、縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁斜刷毛目、胴部、基底部ナデの後に刷毛目も見られる 透孔　左	
103	A	(35.25)	(22.7)	(14.8)	0.95 1.15 1.25	16.9 4.8 7.25	17.2 4.5 6.55			13.5 1.15 0.3 B	23.0 0.9 0.35 B		5～6	2.5YR ⅝ 明赤褐色	砂粒を含む	Cb	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁刷毛目、胴部、基底部ナデの後に刷毛目	
101	A	35.65	(24.25)	(12.25)	0.95 0.85 1.25	16.75 6.25 5.9	16.9 6.1 5.45			14.8 —— 0.35 C	27.5 —— 0.65 C		11	5YR ⅝ にぶい橙	砂粒を含む	Cb	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁ヨコナデ、後は縦ナデ	口縁内面ヘラ記号有り

P－1号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 上段			凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
21	A	——	——	(14.2)	1.35 1.35 2.15	13.4 6.2 7.05	14.0 5.3 5.95			11.1 1.0 0.95 A	22.8 0.9 0.9 A		11～12	5YR ⅝ 橙	砂粒を含む	Bb	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁刷毛目胴部基底部主に縦ナデ	
23	A	31.8	(19.4)	(13.85)	0.75 0.95 1.5	13.1 6.8 (6.45)	13.5 5.6 (5.4)			10.0 1.15 0.55 A	20.7 1.1 0.45 A		6～8	7.5YR ⅞ 橙	砂粒を含む	Bb	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁刷毛目胴部基底部縦ナデ	外面ヘラ記号有リ
25	A	——	——	14.3	1.1 1.45 2.6	13.75 6.7 7.25	14.0 6.4 6.2			12.2 1.0 0.9 B	23.3 1.2 0.95 B		9～10	2.5YR ⅝ 橙	砂粒を含む	Aa	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁上部斜刷毛目口縁中部～基部斜方向のナデ	口縁外面ヘラ記号有リ
32	A	——	——	14.5	—— (1.35) (2.4)	17.0 —— ——	17.3 —— ——			12.7 1.2 0.75 B	—— —— ——		5～6	2.5YR ⅝ 明赤褐色	砂粒を含む	Ab	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　刷毛目 透孔　右	
52	A	(38.2)	(22.95)	14.6	(1.05) 1.1 1.65	17.9 6.0 6.05	18.2 (5.25) 5.1			13.3 0.9 0.8 A	(25.2) (0.85) (1.0) A		6～7	2.5YR ⅝ 明赤褐色	砂粒を含む	Bb	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁～胴部刷毛目基底部ナデ 透孔　左	
42	A	39.45	(21.75)	16.1	(1.3) (1.4) 2.2	15.7 6.2 7.65	16.0 5.4 6.1			13.2 1.0 0.65 A	(24.5) 0.9 0.9 A		10～11	5YR ⅝ にぶい橙	砂粒を含む	Ab	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁横刷毛目、胴部、基底部主に縦ナデ	口縁ヘラ記号有リ

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
ア-32	A	40.0	24.0	14.5	1.15 1.45 2.1	15.8 6.95 7.35	16.3 6.1 6.15	小孔30.2 1.4 1.05	30.3 0.6 0.55	13.7 1.05 1.0 A	26.0 1.2 1.0 A		6	10YR 5/6 赤	石英粒 酸化鉄粒 微砂粒 含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦ナデ 透孔 右	口縁内面ヘラ記号有り 2孔一対 小孔一孔
84	A	42.1	24.35	13.85	1.35 1.5 2.5	16.9 6.9 7.8	17.1 6.6 6.7			13.3 1.25 1.0	25.7 1.15 1.0		5～6	10R 5/6 赤	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁から胴部にかけて刷毛目基底部ナデ	口縁内面ヘラ記号有り
33	A	38.3	25.15	(15.95)	(1.25) 1.3 2.55	13.6 5.7 7.6	14.0 5.1 6.55			11.8 1.0 0.95 A	22.2 1.2 0.8 A		10～11	5 YR 5/6 橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 主に縦刷毛目→突帯貼付 内面 斜方向と縦方向のナデ 透孔 右	口縁外面ヘラ記号有り
44	A	36.7	(22.95)	14.95	(1.35) 1.45 2.55	14.4 5.3 5.65	14.7 4.8 4.6			11.3 0.95 0.55 B	(21.2) 1.0 (0.8) A		11	5 YR 5/4 にぶい橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ	
51	A	37.8	(25.3)	16.35	1.25 1.55 2.75	13.8 6.65 6.9	14.5 5.2 5.65			10.5 0.95 0.65 B	21.6 1.0 0.95 A		10～12	5 YR 7/4 にぶい橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 斜方向縦方向のナデ	口縁外面ヘラ記号有り
16	A	—	—	15.25	— (1.55) 1.95					(13.8) (1.0) (0.75) A			5～6	5 YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ	
18	A	—	—	13.75	— — 2.25						(12.0) (0.85) (0.7) B		12～13	2.5YR 7/6 橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ	
ア-31	A	36.95	21.5	12.4	1.05 1.25 2.5	14.05 5.3 6.1	14.5 4.7 5.35			11.6 0.85 0.9 B	21.4 0.95 1.3 B		12～13	7.5YR 5/6 橙	砂粒を含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦斜方向のナデ	口縁外面ヘラ記号有り
53	B	—	—	—	1.5 1.3 — —			— — 6.95	— — 6.0	—	—	— 1.3 0.9 A	6～7	2.5YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 刷毛目	
48	B	—	—	—	1.65 1.65 — —			— — (6.2)	— — (5.8)	—	—	— 1.15 0.75 B	16～17	2.5YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	B b	外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 刷毛目	
10	A	35.75	23.15	14.1	(1.2) 1.3 2.1	13.5 5.4 6.1	14.2 4.6 5.4			12.0 0.9 0.95 B	22.5 0.95 0.6 B		10～12	2.5YR 5/4 にぶい赤褐色	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁から胴部は斜刷毛目、基底部ナデ 透孔 右	
60	A	—	—	13.8	— (1.7) 2.85	12.25 — —	12.5 — —			10.2 2.1 0.8 B	(21.5) (2.4) (0.85) B		13～15	7.5YR 5/4 にぶい橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦ナデ、少し刷毛目も見られる	
43	A	36.75	20.75	14.9	0.9 1.05 2.5	14.35 (5.2) 5.9	14.65 (4.8) 5.35			12.3 0.95 0.8 B	21.6 0.95 0.85 A		10～12	5 YR 5/6 橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴、基底部は縦ナデ 透孔 左	口縁外面ヘラ記号有り

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
7	A	37.2	(22.3)	14.0	1.15 1.55 2.0	14.1 5.65 6.75	14.7 4.7 5.8			11.5 0.95 1.0 B	22.1 1.0 1.0 B		10～11	7.5YR 7/6 橙	砂粒を含む	B b	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁斜刷毛目、胴部基底部は主に縦ナデ 透孔　左	口縁外面ヘラ記号有り
49	A	——	——	16.25	—— 1.0 2.15	(16.2) —— ——	(16.6) —— ——			12.6 1.15 0.95 B	23.65 0.9 0.6 A		5～6	5 YR 7/8 橙	砂粒を含む	B b	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　ナデの後に刷毛目	
55	A	——	25.2	——	1.2 (1.15) (2.15)	—— 6.8 7.55	—— 5.9 6.15			—— (1.4) 1.0 A	—— (1.35) 0.65 A		7～8	10R 5/8 赤橙	砂粒を含む	B b	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　ナデ 透孔　右	
50	A	32.15	23.35	13.35	1.5 1.75 2.65	13.9 5.15 5.0	14.1 4.1 3.6			10.5 1.95 1.1 B	22.2 1.45 1.2 B		16～17	7.5YR 7/4 にぶい橙	砂粒を含む	B b	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口縁横刷毛目、胴部基底部ナデ	
11	A	34.85	(23.4)	16.4	(1.25) 1.35 2.35	15.1 7.1 (6.55)	15.4 6.7 (5.9)	小孔31.9 1.1 1.05	31.7 0.7 (0.7)	13.4 1.0 1.12 A	26.5 0.95 0.95 A		5～6	2.5YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	B b	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　斜刷毛目 透孔　右	2孔1対 小孔1孔
67	A	——	——	16.3	—— (1.1) 2.3	16.9 —— ——	17.3 —— ——			12.5 0.9 1.0 A			5～6	7.5YR 5/6 橙	砂粒を含む	B b	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　斜刷毛目 透孔　左	
13	A	——	23.6	——	1.2 1.3 ——						—— 1.2 0.7 B		5	5 YR 5/6 橙	砂粒を含む	B b	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　斜刷毛目	口縁外面ヘラ記号有り
72	A	——	——	13.8	—— 0.9 2.0	16.7 —— ——	16.9 —— ——			12.6 1.1 0.8 B			5～6	5 YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	B b	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　斜刷毛目	
ア-31	A	38.3	21.5	15.7	1.3 1.5 1.6	16.0 6.0 6.7	16.5 5.8 5.8	小孔28.9 1.4 1.1	28.3 1.4 0.9	13.4 0.9 0.6 B	25.2 1.2 1.0 A		5～6	5 YR 5/6 橙	砂粒を含む	B b	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　口辺部、胴部斜刷毛目 透孔　左	
93	A	38.4	24.0	16.9	1.2 (1.4) 2.1	15.0 7.0 8.7	15.4 5.9 6.8			12.9 1.0 0.8 A	25.5 1.1 0.8 A		5～6	5 YR 7/4 にぶい橙	砂粒を含む	B b	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　斜刷毛目 透孔　左	
9	A	31.9	(24.1)	13.4	(1.2) 1.7 2.0	12.4 5.1 (6.0)	13.4 4.7 (4.4)			11.2 —— 0.9 C	(22.5) (1.4) (1.2) B		15～16	10YR 7/3 にぶい黄橙	砂粒を含む	B b	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　ナデ	胴外面ヘラ記号有り
28	A	——	——	15.6	—— —— 1.6	16.7 —— ——	16.9 —— ——			14.3 (1.1) (0.8) A			5～6	2.5YR 5/6 赤褐色	砂粒を含む	B b	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　基底部上半分斜刷毛目下半分ナデ 透孔　右	
30	A	——	——	13.9	—— 1.2 2.3	15.3 —— ——				(11.9) (1.1) (0.9) B	(22.7) (1.0) (0.8) B		10～11	10R 5/6 赤	砂粒を含む	B b	基部　左 外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　ナデ	
14	A	——	——	13.7	—— 1.5 2.0	15.4 5.8 (7.2)	15.6 5.3 (6.1)			12.0 1.2 0.9 B	22.4 1.0 0.9 B		9～10	2.5YR 4/6 赤褐色	砂粒を含む	B b	外面　縦刷毛目→突帯貼付 内面　ナデ 透孔　右	

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
ア-33	A	39.3	23.0	14.8	1.1 1.2 1.8	15.2 7.1 7.4	15.8 6.2 6.2	小孔27.0 1.4 1.0	27.1 0.7 0.6	13.6 1.1 0.8 A	24.4 0.9 1.0 A		5～6	2.5YR ⅝ 橙	砂粒を含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 斜刷毛目 透孔 右	
24	A	—	(22.4)	—	(1.2) (1.4) —	— 4.7 (7.4)	— 4.1 (6.5)				— (1.1) (0.8) A		5	5YR ⅝ 赤褐色	砂粒を含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 口縁上部斜刷毛目 内面 斜刷毛目	
26	A	—	—	(15.0)	— — (2.1)	17.5 — —	17.8 — —			13.9 1.1 0.5 B			5	5YR ⅝ 赤褐色	砂粒を含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 斜刷毛目	

P－6号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
ア-24	B	—	—	14.05	1.95 1.2 1.6 1.75	12.05 5.5 5.05	12.5 4.4 3.4	20.55 6.8 6.4	20.9 6.35 5.25	9.65 0.65 0.4 B	18.25 0.7 0.35 B	28.35 0.75 0.4 B	11～12	2.5YR ⅞ 橙	酸化鉄粒 石英粒 微砂粒を多く 含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦ナデ 透孔 右	2孔2対
ア-28	B	—	29.5	—	1.35 0.85			— 5.45 5.65	— 4.8 4.9	—	— 0.7 0.4 A	— 0.65 0.5 A	13～14	2.5Y ⅝ 浅黄	石英粒 酸化鉄粒 砂粒 含む	Bb	外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部刷毛目、胴部主に縦ナデ 透孔 左	2孔2対
20	A	—	19.55	—	1.2						— 0.5 0.2 B		14～15	7.5YR ⅞ 橙	砂粒を含む	Bb	外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁上部横刷毛目、口縁下部縦方向のナデ	口縁外面にヘラ記号有り
22	A	—	—	13.6	0.95 1.15 1.45	(15.7) (8.5)	— —			12.2 0.75 0.45 B	23.7 0.65 0.45 B		11～12	5YR ⅝ 明赤褐色	砂粒を含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部刷毛目、胴部基底部ナデ 透孔 左	
17	A	—	18.8	—	0.9 1.35 1.3	— (6.6)	— (6.3)			— 0.75 0.3	— 0.8 0.45		12～13	5YR ⅝ 橙	砂粒を含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁上部斜刷毛目、口縁下部～基底部ナデ	
40	A	—	—	13.5	— 1.45 1.35	17.8	18.25			15.9 0.7 0.45			12	2.5YR ⅝ 明赤褐色	砂粒を含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦方向のナデ 透孔 左	
15	A	—	20.5	—	1.25 1.4						— 0.75 0.45		12～13	2.5YR ⅝ 明赤褐色	砂粒を含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部ナデ	
6	A	—	—	13.6	(1.1) (1.5) 1.95	15.25 7.05 8.35	15.85 5.85 6.85			(13.4) (0.9) (0.4) A	(23.6) (0.9) (0.5) A		19～20	5YR ⅝ にぶい赤褐色	砂粒を含む	Ba	基部 左 外面 細かい縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦ナデ、その後に横方向のナデも見られる	
ア-26	A	40.0	22.4	16.25	0.95 1.25 1.4	18.65 6.6 5.9	19.15 5.8 4.95			15.75 0.6 0.3 A	26.25 0.5 0.5 A		13～19	10YR ⅞ にぶい橙	酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 微砂粒 砂粒 含む	Bb	外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁上部斜刷毛目、口縁下部～基底部縦方向のナデ 透孔 左	

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 上段			凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
95	A	36.8	18.6	15.1	1.1 1.45 1.55	(17.5) (7.3) 6.9	17.75 (7.05) 5.85			14.6 0.8 0.35 B	26.4 0.75 0.45 B		17～20	2.5YR ⅝ 橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦方向のナデ	口縁外面ヘラ記号有り
ア-25	A	35.5	20.5	15.8	(1.1) 1.35 1.45	15.2 (6.5) 6.1	15.4 (6.25) 4.4			12.0 0.65 0.3 B	23.6 0.65 0.35 A		12～13	7.5YR ⅞ 橙	石英粒 黒色ガラス質粒 酸化鉄粒 含む	B b	基部 左 外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部基底部、主に縦方向のナデ 透孔 左	
86	A	(34.9)	20.35	13.0	1.35	16.9 7.8 6.8	17.4 7.1 5.2			13.9 —— 0.3 C	24.8 0.75 0.4 A		12～13	2.5YR ⅝ 橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部は横ナデ、基底部は縦方向のナデ 透孔 左	口縁、内面ヘラ記号有り
100	A	(41.4)	23.3	14.7	1.15 1.3 1.3	19.75 6.7 (6.15)	20.3 5.7 (5.35)			15.3 0.6 0.35 A	28.6 0.6 0.3 A		14～15	7.5YR ⅞ 橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁上部に刷毛目、口縁～基底部縦方向のナデ 透孔 左	口縁外面ヘラ記号有り
ア-30	A	34.8	21.0	13.1	(1.2) 1.35 1.85	14.7 7.1 6.7	15.2 6.2 5.0			11.2 0.75 0.25 B	22.7 0.6 0.3 B		11～13	2.5YR ⅞ 橙	石英粒酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 微砂粒 砂粒 含む	B b	外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁上部ナデの後刷毛目 口縁下部から基底部はナデ 透孔 左	
ア-29	A	34.6	20.95	14.1	1.1 1.15 1.7	16.4 7.2 6.8	16.8 6.2 5.5			12.35 0.75 0.35 B	23.85 0.75 0.4 A		12～13	2.5YR ⅝ 明赤褐色	酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 含む	B a	基部 左 外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部は斜刷毛目、後はタテナデ 透孔 左	
77	A	35.6	18.25	14.4	0.75 1.25 1.5	13.3 7.3 5.95	13.95 6.65 4.5			11.4 0.75 0.3 B	21.9 0.8 0.3 B		12～13	5 YR ⅝ 橙	砂粒を含む	B a	基部 左 外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁上部斜刷毛目、口縁下部基底部タテナデ 透孔 左	
8	A	——	——	14.65	1.05 1.25 1.75	15.1 6.9 7.95	15.6 5.6 6.95			13.7 0.85 0.6 B	24.1 0.7 0.6 B		15～19	7.5YR ¾ にぶい橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 細い縦刷毛目→突帯貼付 内面 全体的に縦ナデの後に少し横方向のナデも見られる	

Q－1号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 上段			凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
47	B	——	——	——	1.5 1.2 —— ——							—— 0.9 0.9 B	6～7	2.5YR ⅝ 橙	砂粒を含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 斜刷毛目	

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段		透孔 上段		凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
45	B	——	(47.8)	——	1.1 1.4 —— ——			—— 5.4 (5.6)	—— 5.1 (4.6)		—— 1.0 0.7 B	—— 1.0 0.7 B	9～10	5YR ⅚ 橙	砂粒小石含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 胴部縦刷毛目の上に 横刷毛目 内面 斜刷毛目	
57	A	——	——	15.8	—— 1.6 2.1	14.1 —— ——	14.2 —— ——			14.1 1.3 0.8 B			8～9	7.5YR ⅞ 橙	砂粒を含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 胴部縦刷毛目の上に 横刷毛目 内面 斜刷毛目	
69	A	——	——	(16.8)	—— —— (2.3)	16.5 —— ——	16.6 —— ——			(13.5) (0.9) (0.9) B			9	10YR ⅞ にぶい橙	砂粒を含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 胴部縦刷毛目の上に 横刷毛目 内面 斜刷毛目	
108	B	59.2	48.3	13.6	1.4 1.4 1.6 2.0	16.0 4.8 5.2	16.4 4.6 (5.0)	27.8 5.2 5.1	27.6 4.9 (4.6)	16.2 1.4 0.6 B	24.6 1.2 0.8 B	35.8 1.0 0.5 B	7～9	7.5YR ⅞ 橙	砂粒を含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 胴部縦刷毛目の上に 横方向の刷毛目 内面 斜刷毛目	2孔2対

V－2号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段		透孔 上段		凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
90	A	33.5	(25.8)	14.0	(0.9) (1.1) 1.7	15.4 5.5 (6.3)	15.5 4.9 (5.4)			(10.5) (0.9) (0.6) A	(21.7) (0.8) (0.5) A		6	5YR ⅞ 橙	砂粒を含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ 透孔 右	胴部外面ヘラ記号有り
ア-4	A	35.6	22.2	13.1	1.0 1.1 1.5	13.4 5.6 7.5	14.1 4.6 5.8			10.6 1.5 0.6 A	20.1 1.1 0.6 A		7～8	10YR ⅝ 浅黄橙	石英粒 酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 微砂粒 含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部上半分斜刷毛目 口縁部下半分、胴部横撫で 基底部斜撫で 透孔 右	口縁内面ヘラ記号有り
ア-10	A	32.5	24.8	12.8	1.0 1.1 1.8	13.0 6.1 7.1	13.6 5.1 5.9			10.1 0.9 0.6 A	(19.9) (0.7) (0.3) A		9～10	10R ⅝ 赤褐色	石英粒 砂粒 粗雑灰胎土 含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部斜刷毛目 胴部基底部縦ナデ 透孔 左	
ア-12	A	34.0	(24.0)	24.6	1.3 1.6 1.6	14.4 6.1 (7.1)	14.9 5.2 5.7			14.9 1.1 0.8 A	20.3 0.8 0.7 A		5～6	10YR ⅞ にぶい橙	黒色ガラス質粒 石英粒微砂粒 微砂粒 砂粒 含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部斜刷毛目 胴部基底部横ナデ 透孔 右	口縁外面ヘラ記号有り
ア-9	A	32.7	21.5	15.1	1.1 1.3 1.8	12.5 4.9 7.9	13.0 4.1 6.3			10.9 0.8 0.5 A	18.5 1.3 0.8 A		9	7.5YR ⅞ にぶい橙	黒色ガラス質粒 酸化鉄粒(石英粒) 微砂粒 砂粒 含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ 透孔 右	
ア-14	A	39.4	26.0	17.1	1.1 1.0 1.4 1.5	小孔9.9 3.5 (4.2)	10.3 2.8 (3.1)	18.0 5.8 8.0	18.7 5.4 6.7	8.3 0.9 0.7 A	16.8 0.6 0.7 B	24.9 0.9 0.6 B	10～11	基部10YR ⅝ 浅黄橙 口縁部 2.5YR ⅝ 橙	黒色ガラス質粒 酸化鉄粒(石英粒) 含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ	2孔2対 小孔一対
58	A	(35.0)	(24.0)	(14.6)	(1.1) (1.4) (1.9)	12.6 5.1 (7.9)	13.1 4.5 (6.3)			(11.0) (1.0) (0.3) A	(20.1) (1.0) (0.4) A		7～9	5YR ⅝ にぶい赤褐色	砂粒を含む	Bb	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ 透孔 右	

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 上段			凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
62	B	——	——	(18.1)	(1.0) (1.1) (1.1) (1.4)	11.4 —— ——		20.4 4.6 ——	20.8 3.7 ——	(10.9) (1.0) (5.0) B	(18.4) (0.9) (0.5) A	(25.5) (0.9) (0.5) A	6～7	2.5YR 7/3 浅黄	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ 透孔 右	
56	A	——	——	(14.0)	(1.1) (1.3) (1.4)	17.8 5.0 (8.1)	18.0 4.7 (8.0)			13.5 1.1 0.6 A	(24.4) (1.1) (0.6) A		5～6	5 YR 5/6 明赤褐色	砂粒を含む	B b	基部 右 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦ナデ 透孔 左	
ア-8	A	36.8	23.7	14.2	1.1 1.3 1.7	16.0 5.2 6.4	16.3 4.3 5.3			10.2 1.1 0.7 A	21.3 1.2 0.7 A		6～7	5 YR 5/6 明赤褐色	黒色ガラス質粒 酸化鉄粒 微砂粒 含む	B b	基部 右 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 基底部上部～胴部斜刷毛目口縁部横刷毛目	
97	B	——	——	(14.7)	(1.0) (1.2) (1.2) 1.4	小孔11.3 3.8 2.6	11.5 2.0 1.7	19.0 4.6 (6.2)	19.4 3.9 (5.0)	10.0 0.8 0.6 A	(17.5) (1.0) (0.6) A	(25.9) (0.9) (0.5) A	9～10	7.5YR 8/4 浅黄橙	微砂粒 酸化鉄粒 石英粒 含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 斜ナデ 透孔 右	
ア-1	A	34.6	22.5	13.5	1.0 1.2 1.4	13.9 6.2 7.5	14.5 5.2 5.9			11.4 0.9 0.8 B	20.9 0.8 0.6 B		7～9	7.5YR 6/6 橙	石英粒 酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 砂粒微 砂粒 含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 基底部胴部ナデ、突帯部裏面横ナデ、口縁部斜刷毛 透孔 右	
ア-5	A	26.9	23.0	14.5	1.1 1.4 1.8	11.9 5.5 5.7	12.1 5.2 4.8			8.7 0.9 0.7 A	18.8 0.8 0.9 A		8～9	7.5YR 8/4 浅黄橙	石英粒 酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 微砂粒 砂粒 含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ 透孔 右	胴外面ヘラ記号有り
ア-7	A	38.0	20.0	12.0	1.2 1.4 1.7 1.9			15.1 5.2 7.8	15.9 4.7 5.8	6.6 0.9 0.7 A	14.2 0.9 0.6 B	—— 1.0 0.6 B	6～8	10R 5/6 赤	石英粒 酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 微砂粒 砂粒 含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 基底部押圧及びナデ有り 内面 基底部～胴部ナデ口縁部斜刷毛目 透孔 左	
ア-13	A	31.75	24.6	16.05	(1.0) 1.35 1.85	12.8 3.55 8.6	12.95 2.95 7.15	小孔19.25 (2.8) (3.7)	19.5 (2.0) (2.0)	8.85 1.1 0.45 B	17.85 0.9 0.3 B		6～8	10R 5/6 赤橙	黒色ガラス質粒 酸化鉄粒 微砂粒 含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴、基底部縦方のナデ	2孔1対 小孔1孔
ア-2	A	36.75	23.0	13.2	1.05 1.15 1.55	13.55 6.6 7.85	13.8 6.0 5.85			9.95 0.85 0.95 B	21.95 1.0 0.75 B		8～9	2.5YR 6/6 橙	石英粒 酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 微小石砂粒 含む	B a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部、基底部縦方向のナデの後に少し横方向のナデも見られる 透孔 左	
91	A	35.6	20.9	13.4	1.35 1.35 1.45	17.3 4.9 7.75	17.65 4.4 6.55			12.8 1.55 0.7 B	22.6 1.45 0.85 A		6～7	5 YR 7/6 橙	砂粒を含む	B b	基部 右 外面 主に縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部、基底部主に縦方向のナデ	外面全体にヘラ記号有り
ア-11	A	36.9	22.95	15.2	1.0 1.2 1.35 1.6	小孔12.6 4.2 3.95	13.1 3.35 2.7	19.7 5.4 (6.9)	20.1 5.1 (6.4)	10.2 0.95 0.6 B	17.7 1.2 0.45 A	25.2 1.2 0.5 B	6～7	5 YR 7/6 橙	黒色ガラス質 石英粒 微砂粒 含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目胴部、基底部ナデ	口縁から胴部にヘラ記号有り 2孔2対か？
41	A	——	22.8	——	1.25 1.65	—— 6.75 8.65	—— 5.75 6.5			—— 1.0 0.8 B	—— 0.85 0.8 B		9～10	2.5YR 6/6 橙	砂粒を含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部～基底部、主に縦方向のナデ、その後にたまに横方向のナデ 透孔 左	

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
39	A	—	—	14.7	— 1.0 1.65	13.3 (6.0) 8.0	13.8 (5.5) 6.45			10.1 0.95 0.55 A	20.7 1.1 0.45 B		8～9	5 YR 7/4 にぶい橙	砂粒を含む	Bb	基部 右 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデの後に所々刷毛目も見られる	
ア-6	A	35.25	23.15	13.95	1.15 1.2 2.1	14.0 6.3 7.0	14.3 6.0 5.75			9.65 0.9 0.85 B	19.95 1.0 0.6 A		6～7	2.5YR 6/6 橙	酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 微砂粒 含む	Bb	基部 左 外面 口縁上部斜刷毛目後は縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部と胴部横方向のナデ、基底部縦方向のナデ	胴外面ヘラ記号有り
ア-3	A	34.5	26.95	15.75	0.95 1.3 1.75	13.5 5.5 7.0	13.9 4.7 6.3			9.5 1.0 0.65 B	20.05 0.9 0.8 B		6～8	5 YR 6/6 橙	酸化鉄粒 黒色ガラス質粒 石英粒 微砂粒 含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付	胴外面ヘラ記号有り
104	A	34.6	23.5	15.6	1.1 1.3 1.95	13.0 6.2 (6.85)	13.4 5.7 (5.85)			(9.8) (1.2) (0.3) B	(20.1) (1.1) (0.7) B		7～8	5 YR 6/6 橙	砂粒を含む	Bb	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁横方向のナデ、胴部、基部縦方向のナデ 透孔 左	胴外面ヘラ記号有り
54	A	34.35	24.7	14.3	1.05 (1.35) 1.65	14.55 5.75 7.55	14.95 4.95 6.3			(9.1) (1.1) (0.35) A	19.6 1.05 0.35 A		6～7	7.5YR 6/6 橙	砂粒を含む	Bb	基部 右 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部縦方向のナデ、胴部、基底部横方向のナデ	口縁内面ヘラ記号有り

V－4号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
2	A	36.7	22.55	9.95	(1.15) (1. 1) (1.65)	13.9 5.9 7.25	14.1 5.35 6.1			(10.4) (1.05) (0.4) A	(20.8) (1.0) (0.4) B		7	10YR 7/3 にぶい黄橙	砂粒を含む	Ba	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、基底部胴部縦ナデ 透孔 左	
1	A	35.15	23.45	12.55	1.1 1.15 1.7	13.75 5.55 7.25	14.2 4.45 (5.9)	小孔22.1 (2.6) (2.8)	22.4 (2.2) 1.8	9.9 1.0 0.45 B	20.5 1.05 0.35 B		5～7	10YR 7/3 にぶい黄橙	砂粒を含む	Ba	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目胴部基底部縦方向のナデ 透孔 左	2孔1対 小孔1孔
ア-23	A	34.15	22.45	13.45	0.9 1.1 1.4	12.4 5.45 8.15	12.7 5.0 6.85			8.75 0.95 0.6 A	20.25 1.05 0.4 A		8～9	10YR 7/4 にぶい黄橙	酸化鉄粒 石英粒 微砂粒 含む	Ba	基部 右 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦方向のナデ	
ア-22	A	34.55	23.95	14.55	1.0 1.05 1.4	13.8 5.35 8.3	14.15 4.95 0.8			10.4 1.0 0.5 A	21.6 1.0 0.6 A		7～9	5 YR 6/6 橙	酸化鉄粒 石英粒 微砂粒 含む	Ab	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦方向のナデ	
ア-17	A	32.8	21.0	12.55	1.0 1.15 1.5	13.6 5.55 6.55	14.0 4.65 5.35	小孔21.6 2.75 2.65	21.9 1.9 1.55	10.5 0.9 0.4 B	20.5 1.05 0.45 B		8～9	5 YR 7/6 橙	酸化鉄粒 石英粒 微砂粒 含む	Aa	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部、基底部縦方向のナデ後に横方向のナデも見られる 透孔 左	2孔1対 小孔1孔
ア-20	A	35.3	24.9	14.8	(0.9) 1.1 1.65	14.9 4.85 8.0	15.3 4.35 6.9			9.7 1.05 0.4 A	21.4 1.0 0.4 A		8～9	10YR 7/4 にぶい黄橙	黒色ガラス質粒 酸化鉄粒 微砂粒 砂粒 含む	Ba	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦方向のナデ	

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 上段			凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
ア-21	A	32.2	24.0	14.4	0.95 1.15 1.55	12.0 5.25 7.2	12.4 4.85 6.05			8.6 1.2 0.35 A	19.5 1.15 0.25 A		7～8	10YR 7/4 にぶい黄橙	黒色ガラス質粒 酸化鉄粒 砂粒 微砂粒 含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦方向のナデ	口縁部、胴部 塗彩か？
ア-18	A	34.6	22.5	15.0	1.1 1.25 1.55	15.4 6.1 6.9	15.9 5.4 5.75	小孔22.0 2.8 2.55	22.0 2.3 1.8	11.1 0.85 0.4 A	20.8 0.95 0.35 A		9	5Y 7/3 浅黄	酸化鉄粒 石英粒 微砂粒 含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部斜刷毛目、胴部基底部縦方向のナデの後に横方向のナデ	口縁部 胴部 タガ部 塗彩か？ 2孔1対 小孔1孔
66	A	—	25.3	—	0.95 0.8 —	— — (8.15)	— — (6.9)				— 0.95 0.5 B		8～9	7.5YR 7/4 にぶい橙	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦方向のナデ	
64	A	—	—	11.5	0.9 (0.95) 1.5	13.0 5.15 —	13.6 4.4 —			8.7 1.0 0.4 B	18.1 1.05 0.45 B		8～9	2.5YR 8/3 淡黄	砂粒を含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦方向のナデ	
61	A	—	23.6	—	0.9 (1.15) —						— 1.15 0.5 B		8	7.5YR 7/4 にぶい橙	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦方向のナデ	
63	A	—	—	12.6	— (1.1) (1.55)	12.25 — —	12.75 — —			8.7 1.0 0.45 B	(18.4) (1.1) (0.35) B		7～8	5YR 7/6 橙	砂粒を含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦方向のナデ	
5	A	—	—	13.4	(1.2) (1.25) (1.55)	14.35 5.5	14.6 5.35	小孔21.95 — 2.45	21.95 — 2.0	11.4 0.9 0.4 B	(21.1) (1.0) (0.3) A		8～9	5YR 7/6 橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部、基底部縦方向のナデの後に横方向のナデ	2孔1対 小孔1孔
4	A	34.7	23.1	14.95	1.05 1.15 1.7	13.55 (5.9) 7.0	14.05 (4.95) 6.05	小孔21.5 3.15 3.05	21.7 1.75 1.8	10.2 1.0 0.55 A	20.1 1.0 0.35 A		8～9	2.5Y 7/2 灰黄	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜方向の刷毛目	2孔1対 小孔1孔
3	A	(32.95)	(23.0)	14.4	(0.9) (1.2) 1.5	11.5 5.8 7.7	11.85 5.15 6.1			(8.7) (1.1) (0.4) B	(18.9) (1.1) (0.6) A		8～9	5YR 7/6 橙	砂粒を含む	B b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に斜縦方向のナデ 透孔 左	
81	A	(33.3)	(22.2)	(12.6)	(0.8) (0.95) (1.1)	12.25 5.35 7.2	12.75 4.85 6.5			(9.6) (1.1) (0.5) B	(19.9) (1.0) (0.45) B		8～9	10YR 7/3 にぶい黄橙	砂粒を含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目 内面 縦方向のナデの後に横方向のナデ	
83	A	33.0	20.75	12.55	0.85 1.05 1.5	13.65 5.5 6.7	14.1 4.5 5.35			10.1 1.05 0.4 B	19.5 1.0 0.4 B		7～9	2.5YR 7/4 淡赤橙	砂粒を含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部基底部縦ナデ	
71	A	33.8	(19.95)	(12.35)	0.95 1.1 (1.3)	12.75 5.85 5.95	13.1 5.5 4.65	小孔21.0 3.5 (2.7)	21.0 2.5 2.05	(10.1) 0.95 0.55 B	19.2 1.05 0.4 B		7～9	10YR 7/3 にぶい黄橙	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴基底部撫で	2孔1対 小孔1孔
76	A	—	—	(11.95)	— 1.35 1.75	14.55 — —	— — —			(11.4) (1.1) (0.5) A			7～9	7.5YR 7/3 にぶい橙	砂粒を含む	A b	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦方向のナデ	

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
74	A	—	23.45	—	1.1 — —			小孔 3.25 2.4	— 2.05 1.6		— 1.0 0.4 A		7～8	7.5YR 5/6 橙	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部ナデ 透孔 右	小孔1孔
68	A	—	—	13.0	— 0.95 1.4	13.05 — 8.1	13.65 — 6.7			8.9 1.1 0.35 B	(19.4) (1.05) (0.45) B		9	7.5YR 7/6 橙	砂粒を含む	B a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦方向のナデの後に横方向のナデ	
70	A	—	—	(13.3)	— 1.15 1.9	13.95 — —	14.5 — —			9.9 1.05 0.4 A			7～8	7.5YR 5/4 にぶい褐色	砂粒を含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦ナデ後に横ナデ	胴外面ヘラ記号有り
59	A	—	—	13.2	(1.05) (1.15) (1.65)	14.2 5.15 7.3	14.45 4.75 6.2	(21.9)	(22.3)	10.6 0.9 0.6 B	(20.5) 0.9 0.6 B		8	2.5YR 5/6 橙	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦方向のナデ 透孔 左	2孔1対 小孔1孔
102	A	38.15	23.55	(13.95)	11.5 1.4 (1.65)	14.3 6.65 7.3	14.7 5.9 5.9	小孔23.2 3.15 (3.15)	23.6 2.05 2.0	10.9 1.05 0.2 B	21.6 1.05 0.4 B		6～7	7.5YR 5/3 にぶい褐色	砂粒を含む	A b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部刷毛目、胴部、基底部縦方向のナデ 透孔 右	2孔1対 小孔1孔
98	A	33.5	(21.4)	(14.0)	(0.8) 0.95 1.35	13.85 6.0 7.85	14.45 5.3 6.6			9.6 1.15 0.4 B	20.1 1.05 0.45 A		8～9	10YR 7/3 にぶい黄橙	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 主に縦方向のナデ 透孔 右	
96	A	33.0	(19.65)	(14.05)	1.0 1.35 1.95	12.6 6.25 8.05	13.2 4.9 6.7			9.7 1.05 0.4 A	(20.7) 1.05 0.55 A		7～9	2.5YR 5/4 にぶい橙	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 縦撫での後に横ナデ 透孔 左	胴外面ヘラ記号有り
94	A	35.2	(25.0)	(13.95)	(1.0) (1.25) (1.85)	13.9 (6.1) (6.75)	14.25 (5.6) (5.45)			(10.7) (0.85) (0.2) B	(19.6) (0.95) (0.3) B		8～9	2.5Y 7/3 浅黄	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部斜刷毛目胴部基底部ナデ 透孔 左	
89	A	33.2	(24.0)	14.0	(0.85) (1.15) 1.4	13.0 5.65 7.55	13.55 5.15 6.4			(9.4) (1.0) (0.3) B	(19.6) (1.05) (0.5) B		7～8	7.5YR 7/4 にぶい橙	砂粒を含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 ナデ 透孔 右	
87	A	33.65	23.5	(13.3)	0.9 (1.2) (1.35)	12.6 6.25 7.7	13.3 5.6 6.65			(9.4) (1.1) (0.7) A	(19.6) (1.0) (0.45) B		8～9	10YR 7/3 にぶい黄橙	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部斜方向の刷毛目 胴部、基底部斜方向のナデ	
85	A	34.55	23.75	(14.0)	1.05 1.15 1.85	12.85 6.35 8.25	13.2 5.65 6.15	小孔21.2 2.75 3.0	21.6 1.8 2.1	10.1 0.9 0.3 B	19.9 1.0 0.25 B		8～9	10YR 7/4 にぶい黄橙	砂粒を含む	A a	外面 縦刷毛目 内面 口縁部斜刷毛目、胴部、基底部ナデ 透孔 右	2孔1対 小孔1孔
88	A	33.25	(23.3)	13.1	0.85 (1.15) 1.35	14.2 5.5 7.7	14.6 4.95 6.8			9.4 1.15 0.4 B	(20.7) (1.15) (0.3) B		7～8	2.5Y 8/3 浅黄	砂粒を含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 斜方向と縦方向のナデ 透孔 左	
ア-16	A	34.9	21.0	12.5	0.95 1.3 1.45	14.1 6.5 7.75	14.45 5.55 6.4	小孔23.0 2.7 2.8	23.0 1.95 1.7	11.4 0.95 0.45 A	21.9 1.15 0.35 A		10～16	7.5YR 7/4 にぶい橙	酸化鉄粒 石英粒 微砂粒 含む	B a	基部 左 外面 縦刷毛目（細かいのと太いの）突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部基底部縦方向のナデ 透孔 左	全体的にうすく塗彩か 2孔1対 小孔1孔

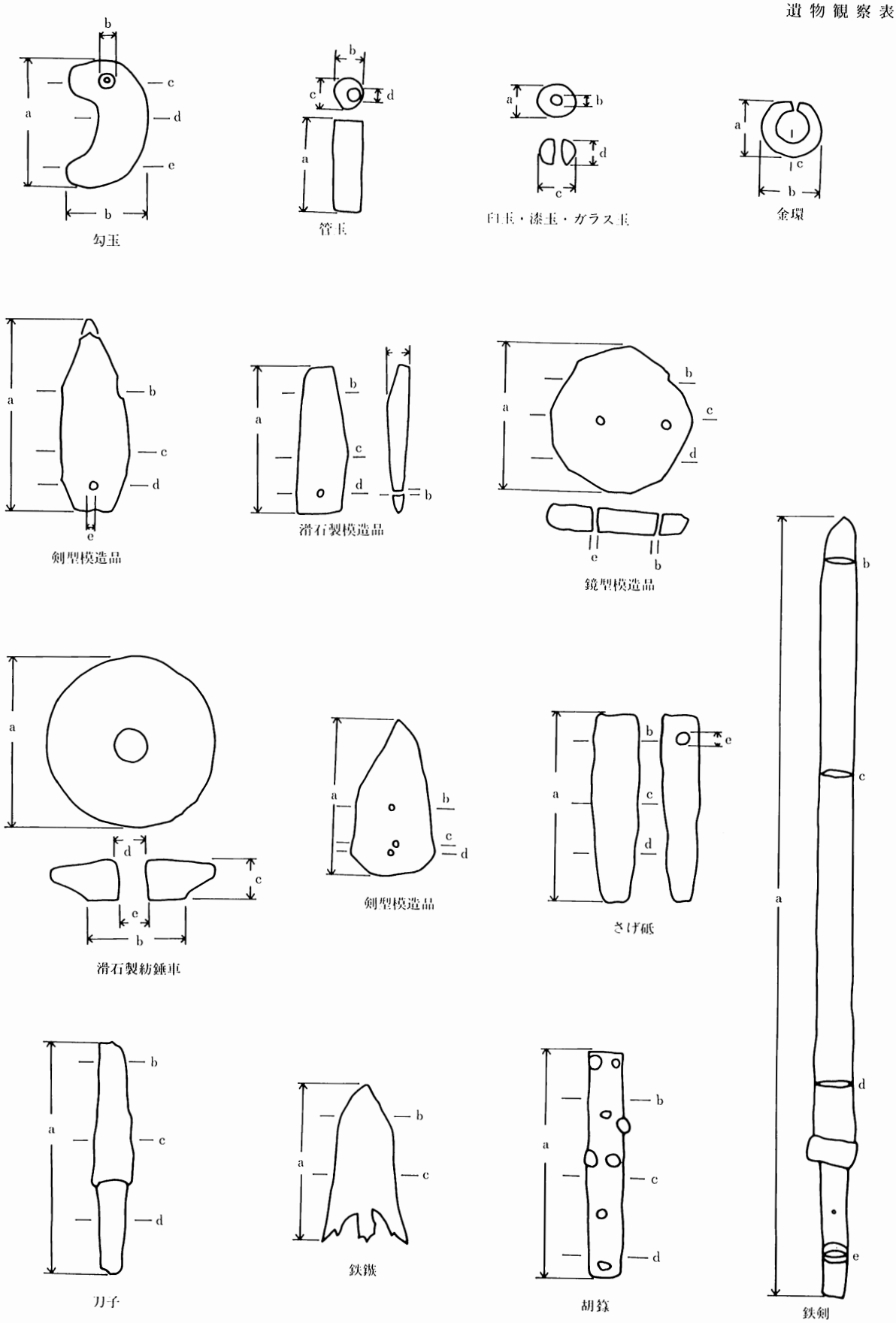
No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
ア-19	A	34.0	23.8	14.9	(1.0) 1.3 1.6	13.7 5.7 8.3	14.3 4.75 6.85	小孔21.35 (2.3) 2.75	21.85 (1.55) 1.85	10.5 1.0 0.5 B	20.4 0.9 0.25 A		7～8	10YR 8/4 浅黄橙	酸化鉄粒 石英粒 微砂粒 含む	A a	基部 左 外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁斜刷毛目、胴部、基底部縦方向のナデの後に横方向のナデ	2孔1対 小孔1孔
65	A	—	21.2	—	0.85 0.95 —	—	—				— (1.0) (0.6) A		8～9	10YR 7/4 にぶい黄橙	砂粒を含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 内面 口縁部横刷毛目、胴部縦方向のナデ	

Y_1—2号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
35	A	—	23.6	—	1.0 1.1 —	— 5.5 7.5	— 4.8 6.4	小孔— 4.9 —	— 4.2 —	— 0.9 0.7 B	— 0.9 0.9 B		8	5YR 7/6 橙	砂粒を含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 口縁部胴部縦刷毛目の上に横刷毛目 内面 ナデ	2孔1対 小孔1孔
78	A	—	—	(14.1)	— 1.4 1.7	15.0 — —	15.5 — —			12.5 0.9 0.7 B			8～9	7.5YR 7/4 にぶい橙	砂粒を含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 胴部縦刷毛目の上に横刷毛目 内面 ナデ	

Y_1—5号古墳　出土埴輪観察表

No	形態	器高	口径	底径	器厚	透孔 下段	透孔 下段	透孔 上段	透孔 上段	凸帯 1	凸帯 2	凸帯 3	刷毛目	色調	胎土	焼成	成型調整	備考
75	A	44.0	28.2	18.5	9.0 1.2 (1.3)	(18.5) (7.2) 6.8	(18.5) (6.9) 6.2	28.5 4.5 4.2	28.5 4.4 4.1	12.3 1.1 0.7 B	27.0 0.9 0.7		6～7	5YR 6/6 橙	砂粒を含む	B b	外面 縦刷毛目→突帯貼付 胴部口縁部横刷毛目 透孔 左	2孔2対


勾玉
管玉
臼玉・漆玉・ガラス玉
金環
剣型模造品
滑石製模造品
鏡型模造品
滑石製紡錘車
剣型模造品
さげ砥
刀子
鉄鏃
胡簶
鉄剣

玉類・鉄器等計測表　凡例

A－1号古墳　1号石室出土玉類計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
1	管玉	2.6	0.75			0.75					0.2					2.8
2	勾玉	2.9	1.6			1.5			0.9	0.7		1.2			0.4	5.0
3	〃	3.2	2.0			1.75			1.2	1.05		1.6			0.4	8.2
4	管玉	2.2	0.6			0.6					0.25					1.7
5	〃	2.3	0.7			0.7					0.35					2.6
6	紡錘車	4.35	2.25				1.0				0.8			0.8		28.9
7	ガラス玉	0.7			0.1	0.75				0.55						0.6
8	管玉	1.9	0.75			0.65					0.2					1.8
12	勾玉	2.8	1.65			1.35			0.95	0.8		1.25			0.35	4.5
13	ガラス玉	0.8			0.2	0.8				0.5						0.6
一括	〃	0.75			0.2	0.8				0.5						0.5

A－1号古墳　2号石室出土玉類計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
1	管玉	0.9	0.8			0.8					0.1					0.78
2	ガラス玉	0.8			0.25	0.9				0.6						0.7
6	〃	0.85			0.15	0.85				0.6						0.6
〃	〃	0.8			0.15	0.85				0.6						0.7
〃	ビーズ玉	0.35			0.15	0.35				0.2						0.1
10	ガラス小玉	0.55			0.1	0.55				0.4						0.2
11	〃	0.5			0.15	0.5				0.3						0.2
一括	ビーズ玉	0.35			(0.1)	(0.45)				0.3						(0.1)
〃	管玉	1.95	0.7			0.65					0.25					1.3

BH－4号住居　出土玉類計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
43	紡錘車	4.3	2.6				1.1				0.85			1.0		28.2

F－1号古墳　出土玉類計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
一括	石製模造品	4.8	1.4			1.7			1.45	0.3				0.15		6.5
1078	〃	1.75	0.7			1.0			0.95	0.35				0.15		0.8

G－2号古墳　出土金環計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
1	金環	1.4	1.5				0.6									2.7
2	〃	1.35	1.45				0.5									2.4

GH－6号住居　出土玉計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
一括	臼玉	0.5			0.2	0.5				0.3						0.1

GH－7号住居　出土玉計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
21	臼玉	0.5			0.15	0.5				0.35						0.1

GH－10号住居　出土玉類計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
68	石製模造品	3.7	2.6			3.5			2.75					0.2	0.1	13.4

HH－6号住居　出土玉類計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
149	紡錘車	5.1	2.4				1.55				0.8			0.8		42.9
一括	勾玉(滑石模造品)	3.1	1.8			1.8			1.15	0.6		1.55			0.2	5.2
472	〃(〃)	2.5	1.4			1.35			0.85	0.5		1.25			0.15	2.0

KH－2号住居　出土玉計測表

No.	品名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
1	石製模造品	3.6	0.8			1.05	0.35		0.85						0.2	1.9
一括	〃	3.7	0.9			1.2			1.15				0.55		0.1	3.0

ＬＨ－２号住居　出土玉類計測表

No.	品　名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
817	石製模造品	5.6	1.6			2.25			1.7	0.45				0.15		9.4

Ｖ－２号古墳　主体部出土遺物計測表

No.	品　名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
12-1	胡　　籙	11.5	1.7	0.15		1.9	0.2		1.75	0.15						(19.8)
一括	〃	11.5	1.95	0.15					1.9	0.25						(13.1)
6	鉄　　鏃	5.15				3.25	0.3									(9.5)
7	〃	7.35				3.1	0.25									(19.9)
8	〃	7.9	2.4	0.25		3.25	0.9									(16.0)
2	刀　　子	11.75	1.3	0.4		1.95	0.3		1.4	0.7						(23.8)
11	鉄　　鏃	7.55	2.35	0.5		(3.5)										(11.8)
9-1	〃	7.6	2.5			3.0										} (25.6)
9-2	〃	4.3														
10-1	〃	7.2	3.3			3.95										} (27.7)
10-2	〃	4.8														
1	砥　　石	9.5	2.2	1.9		2.35	1.6		2.0	1.45						58.2
3	石製模造品	3.5	1.3	0.3					1.45	0.3						2.3
4	〃	3.9	2.0	0.4		2.1	0.5		2.05	0.5						5.8
5	〃	3.0	1.45	0.4					1.65	0.4						2.8
13	鉄　　剣	78.6	3.4	0.6		3.4	0.6		4.0	0.65		2.35	0.6			

Ｖ－８号古墳　石室内出土玉計測表

No.	品　名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
1	漆　　玉	0.85			0.15	0.65				0.65						0.2
2	〃	0.8			0.1	0.7				0.65						0.2
3	〃	0.8			0.15	0.7				0.65						0.3
4	〃	0.75			0.15	0.75				0.65						0.2
5	〃	0.75			0.1	0.75				0.65						0.2
6	〃	0.75			0.1	0.75				0.65						0.3
7	〃	0.6			0.1	0.6				0.5						0.1

Ｖ－９号石槨　出土玉計測表

No.	品　名	a (cm)	b (cm)			c (cm)			d (cm)			e (cm)			f (cm)	重さ(g)
			巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径	巾	厚み	孔径		
	臼　　玉	0.7			0.2	0.7				0.4						0.2
1	コハク玉	0.8			0.1	0.7				0.8						(0.2)
2	〃	(0.9)			(0.15)	(0.9)				0.8						(0.1)
3	〃	(0.8)			(0.2)	(0.9)				(1.0)						(0.2)
4	〃	(0.6)			(0.2)	(0.6)				0.9						(0.1)

A－1号古墳　周堀内出土漆玉計測表

No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)	No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)
1	0.8	0.1	0.82	0.8	0.3	57	0.7	0.18	0.8	0.8	0.5
2	0.95	0.1	0.78	0.6	0.3	58	0.8	0.1	0.8	0.8	0.5
3	0.8	0.1	1.1	0.9	0.4	59	0.75	0.1	0.72	0.8	0.4
4	0.8	0.1	0.8	0.75	0.4	60	0.9	0.12	0.8	0.8	0.4
5	0.85	0.1	0.8	0.78	0.4	61	0.7	0.12	0.62	0.65	0.3
6	0.8	0.15	0.82	0.7	0.5	62	0.88	0.15	0.8	0.8	0.5
7	0.78	0.1	0.8	0.7	0.4	63	0.82	0.18	0.75	0.82	0.6
8	0.68	0.1	0.8	0.7	0.5	64	0.8	0.2	0.8	0.9	0.4
9	0.8	0.1	0.8	0.8	0.4	65	0.9	0.18	0.9	0.7	0.6
10	0.8	0.1	0.8	0.8	0.5	66	0.8	0.15	0.78	0.85	0.5
11	0.82	0.12	0.9	0.85	0.5	67	0.85	0.1	0.72	0.8	0.5
12	0.82	0.18	0.8	0.7	0.4	68	0.78	0.18	0.9	0.7	0.5
13	0.7	0.2	0.8	0.8	0.6	69	0.9	0.2	0.9	0.8	0.6
14	0.8	0.1	0.8	0.9	0.6	70	0.85	0.19	0.75	0.7	0.5
15	0.8	0.15	0.9	0.82	0.5	71	0.75	0.18	0.8	0.82	0.5
16	0.75	0.1	0.7	0.85	0.5	72	0.75	0.15	0.9	0.78	0.4
17	0.7	0.18	0.9	0.82	0.5	73	0.8	0.15	0.8	0.8	0.5
18	0.9	0.12	0.8	0.8	0.7	74	0.75	0.18	0.8	0.8	0.3
19	0.8	0.2	0.72	0.68	0.5	75	0.8	0.15	0.8	0.8	0.4
20	0.8	0.2	0.9	0.8	0.6	76	0.8	0.1	0.8	0.75	0.4
21	0.8	0.18	0.9	0.7	0.6	77	0.85	0.2	0.8	0.7	0.5
22	0.75	0.18	0.8	0.9	0.5	78	0.72	0.15	0.68	0.8	0.5
23	0.72	0.18	0.8	0.7	0.4	79	0.8	0.18	0.75	0.8	0.5
24	0.7	0.18	0.8	0.8	0.4	80	0.8	0.2	0.8	0.8	0.5
25	0.8	0.15	0.78	0.8	0.3	81	0.8	0.2	0.8	0.8	0.5
26	0.9	0.2	0.8	0.75	0.5	82	0.78	0.18	0.8	0.8	0.4
27	0.78	0.1	0.7	0.75	0.4	83	0.8	0.2	0.8	0.7	0.5
28	0.88	0.11	0.8	0.6	0.4	84	0.85	0.2	0.8	0.8	0.4
29	0.89	0.2	0.9	0.9	0.5	85	0.72	0.2	0.75	0.9	0.5
30	0.82	0.1	0.8	0.72	0.6	86	0.7	0.18	0.78	0.9	0.4
31	0.8	0.12	0.8	0.82	0.6	87	0.72	0.1	0.8	0.9	0.4
32	0.8	0.12	0.9	0.7	0.6	88	0.9	0.2	0.9	0.8	0.5
33	0.8	0.15	0.8	0.7	0.6	89	0.8	0.2	0.8	0.8	0.5
34	0.7	0.15	0.62	0.9	0.5	90	0.8	0.16	0.9	0.8	0.5
35	0.8	0.12	0.8	0.8	0.5	91	0.76	0.1	0.8	0.8	0.4
36	0.78	0.12	0.8	0.82	0.4	92	0.78	0.18	0.9	0.82	0.4
37	0.8	0.15	0.8	0.8	0.4	93	0.8	0.1	0.8	0.82	0.4
38	1.0	0.15	0.85	0.75	0.6	94	0.92	0.28	0.9	0.78	0.6
39	0.75	0.18	0.8	0.78	0.5	95	0.85	0.2	0.75	0.8	0.4
40	0.95	0.15	0.85	0.8	0.5	96	0.8	0.2	0.85	0.8	0.3
41	0.8	0.2	0.8	0.8	0.5	97	0.8	0.2	0.78	0.85	0.6
42	0.8	0.18	0.82	0.72	0.5	98	0.75	0.18	0.8	0.9	0.4
43	0.7	0.19	0.7	0.8	0.5	99	0.75	0.12	0.7	0.7	0.5
44	0.8	0.12	0.7	0.8	0.5	100	0.8	0.19	0.8	0.88	0.4
45	0.72	0.19	0.8	0.9	0.5	101	0.8	0.15	0.85	0.7	0.5
46	0.8	0.19	0.8	0.9	0.5	102	0.8	0.15	0.85	0.75	0.5
47	0.7	0.18	0.85	0.85	0.5	103	0.9	0.15	0.85	0.8	0.6
48	0.7	0.15	0.8	0.8	0.5	104	0.85	0.25	0.8	0.75	0.5
49	0.72	0.15	0.75	0.8	0.5	105	0.8	0.15	0.8	0.7	0.4
50	0.75	0.18	0.75	1.0	0.6	106	0.85	0.2	0.95	0.7	0.5
51	0.8	0.15	0.8	0.7	0.4	107	0.8	0.15	0.8	0.85	0.5
52	0.82	0.2	0.8	0.8	0.3	108	0.8	0.1	0.8	0.75	0.5
53	0.73	0.15	0.75	0.75	0.5	109	0.75	0.2	0.85	0.7	0.5
54	0.75	0.15	0.75	0.75	0.4	110	0.8	0.15	0.8	0.7	0.4
55	0.9	0.18	0.9	0.8	0.5	111	0.8	0.1	0.75	0.8	0.5
56	0.9	0.18	0.8	0.85	0.4	112	0.8	0.2	0.8	0.65	0.5

No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)	No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)
113	0.8	0.2	0.7	0.9	0.5	171	0.9	0.15	0.8	0.8	0.4
114	0.85	0.2	0.8	0.6	0.4	172	0.85	0.18	0.9	0.8	0.5
115	0.8	0.2	0.8	0.65	0.4	173	0.8	0.2	0.9	0.9	0.5
116	0.9	0.2	0.8	0.85	0.6	174	0.9	0.15	0.8	0.7	0.4
117	0.85	0.1	0.8	0.75	0.4	175	0.9	0.19	0.8	0.8	0.5
118	0.8	0.2	0.75	0.65	0.4	176	0.7	0.1	0.85	0.72	0.3
119	0.8	0.25	0.85	0.7	0.4	177	0.8	0.15	0.7	0.8	0.4
120	0.85	0.2	0.85	0.8	0.5	178	0.8	0.1	0.8	0.7	0.4
121	0.8	0.2	0.75	0.75	0.5	179	0.8	0.2	0.8	0.9	0.6
122	0.85	0.1	0.7	0.75	0.5	180	0.72	0.18	0.8	0.9	0.5
123	0.8	0.2	0.8	0.7	0.4	181	0.75	0.15	0.75	0.8	0.4
124	0.85	0.15	0.85	0.85	0.5	182	0.82	0.1	0.8	0.75	0.5
125	0.75	0.2	0.7	0.8	0.5	183	0.78	0.2	0.8	0.95	0.3
126	0.8	0.2	0.8	0.7	0.5	184	0.8	0.1	0.8	0.78	0.5
127	0.85	0.15	0.75	0.75	0.5	185	0.85	0.15	0.8	0.8	0.5
128	0.8	0.15	0.8	0.7	0.4	186	0.8	0.4	0.8	0.7	0.6
129	0.85	0.15	0.8	0.7	0.6	187	0.8	0.18	0.8	0.9	0.5
130	0.8	0.1	0.9	0.75	0.5	188	0.8	0.15	0.8	0.8	0.5
131	0.8	0.15	0.75	0.75	0.4	189	0.7	0.2	0.8	0.8	0.4
132	0.8	0.15	0.75	0.75	0.4	190	0.8	0.15	0.8	0.8	0.4
133	0.85	0.1	0.8	0.75	0.5	191	0.75	0.15	0.8	0.8	0.4
134	0.8	0.2	0.75	0.8	0.4	192	0.78	0.18	0.8	0.9	0.6
135	0.85	0.1	0.8	0.85	0.5	193	0.9	0.15	0.85	0.7	0.5
136	0.8	0.1	0.75	0.8	0.4	194	0.85	0.15	0.9	0.8	0.6
137	0.8	0.15	0.75	0.85	0.4	195	0.78	0.15	0.75	0.9	0.5
138	0.8	0.15	0.8	0.7	0.5	196	0.78	0.1	0.75	0.72	0.4
139	0.75	0.1	0.8	0.7	0.5	197	0.95	0.1	0.8	0.9	0.5
140	0.85	0.15	0.8	0.8	0.5	198	0.85	0.18	0.8	0.8	0.5
141	0.7	0.15	0.75	0.8	0.5	199	0.9	0.19	0.8	0.8	0.5
142	0.75	0.1	0.8	0.7	0.4	200	0.75	0.2	0.8	0.75	0.5
143	0.75	0.15	0.8	0.7	0.4	201	0.8	0.15	0.8	0.75	0.4
144	0.8	0.15	0.85	0.75	0.5	202	0.8	0.15	0.8	0.75	0.5
145	0.8	0.15	0.75	0.8	0.5	203	0.7	0.15	0.8	0.75	0.4
146	0.75	0.2	0.7	0.75	0.4	204	0.8	0.15	0.95	0.7	0.5
147	0.75	0.15	0.75	0.7	0.4	205	0.9	0.2	0.9	0.7	0.5
148	0.8	0.15	0.75	0.7	0.4	206	0.85	0.15	0.8	0.83	0.5
149	0.7	0.15	0.7	0.8	0.4	207	1.0	0.2	0.95	0.8	0.6
150	0.8	0.15	0.85	0.7	0.4	208	0.85	0.2	0.8	0.75	0.5
151	0.8	0.1	0.75	0.7	0.4	209	0.9	0.15	0.7	0.8	0.5
152	0.75	0.15	0.75	0.9	0.5	210	0.85	0.2	0.8	0.75	0.5
153	0.8	0.15	0.75	0.75	0.4	211	0.8	0.15	0.8	0.75	0.5
154	0.68	0.1	0.68	0.92	0.5	212	0.8	0.15	0.85	0.75	0.5
155	0.85	0.25	0.85	0.98	0.5	213	0.75	0.15	0.8	0.75	0.4
156	0.8	0.15	0.8	0.8	0.4	214	0.8	0.2	0.7	0.7	0.4
157	0.75	0.18	0.7	0.9	0.4	215	0.85	0.15	0.9	0.7	0.4
158	0.7	0.1	0.8	0.85	0.5	216	0.8	0.1	0.85	0.65	0.4
159	0.85	0.2	0.8	0.8	0.4	217	0.75	0.15	0.75	0.7	0.6
160	0.8	0.2	0.8	0.8	0.5	218	0.8	0.2	0.7	0.8	0.5
161	0.9	0.12	0.82	0.8	0.5	219	0.8	0.2	0.75	0.75	0.5
162	0.8	0.1	0.8	0.7	0.4	220	0.8	0.15	0.8	0.7	0.4
163	0.9	0.2	0.85	0.8	0.4	221	0.8	0.1	0.8	0.65	0.5
164	0.7	0.12	0.7	0.6	0.2	222	0.9	0.15	0.8	0.8	0.5
165	0.92	0.12	0.8	0.8	0.5	223	0.9	0.2	0.85	0.8	0.6
166	0.9	0.1	0.9	0.82	0.4	224	0.65	0.15	0.7	0.6	0.3
167	0.8	0.2	0.9	0.7	0.4	225	0.8	0.15	0.7	0.75	0.4
168	0.8	0.15	0.75	0.8	0.4	226	0.8	0.15	0.75	0.75	0.5
169	0.8	0.2	0.85	0.8	0.4	227	0.8	0.2	0.75	0.7	0.4
170	0.8	0.2	0.75	0.8	0.4	228	0.8	0.1	0.8	0.7	0.4

No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)	No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)
229	0.8	0.1	0.8	0.7	0.5	272	0.8	0.17	0.85	0.8	0.4
230	0.85	0.15	0.8	0.7	0.5	273	0.75	0.2	0.8	0.8	0.4
231	0.75	0.15	0.75	0.6	0.4	274	0.85	0.2	0.8	0.85	0.5
232	0.75	0.15	0.8	0.7	0.4	275	0.7	0.12	0.8	0.8	0.4
233	0.75	0.1	0.75	0.7	0.4	276	0.8	0.15	0.75	1.0	0.5
234	0.85	0.15	0.75	0.7	0.4	277	0.8	0.2	0.8	0.7	0.3
235	0.8	0.15	0.8	0.7	0.4	278	0.7	0.18	0.8	0.8	0.4
236	0.86	0.2	0.75	0.75	0.5	279	0.7	0.2	0.8	0.9	0.4
237	0.8	0.12	0.75	0.7	0.4	280	0.8	0.18	0.7	0.7	0.4
238	0.8	0.15	0.75	0.75	0.4	281	0.8	0.15	0.75	0.85	0.4
239	0.85	0.2	0.95	0.75	0.5	282	0.8	0.15	0.8	1.0	0.4
240	0.8	0.2	0.8	0.7	0.4	283	0.8	0.1	0.8	0.75	0.4
241	0.8	0.15	0.8	0.75	0.5	284	0.8	0.15	0.8	0.9	0.4
242	0.6	0.1	0.65	0.65	0.3	285	0.9	0.2	0.8	0.8	0.4
243	0.85	0.15	0.8	0.75	0.4	286	0.7	0.1	0.7	0.8	0.4
244	0.8	0.15	0.85	0.7	0.4	287	0.95	0.15	0.8	0.9	0.4
245	0.8	0.15	0.8	0.7	0.4	288	0.8	0.1	0.8	0.7	0.4
246	0.75	0.1	0.8	0.75	0.4	289	0.9	0.18	0.7	0.9	0.4
247	0.85	0.1	0.8	0.75	0.5	290	0.8	0.2	0.8	0.8	0.5
248	0.7	0.2	0.7	0.7	0.4	291	0.7	0.1	0.85	0.68	0.3
249	0.75	0.15	0.75	0.65	0.4	292	0.65	0.1	0.8	0.65	0.2
250	0.8	0.15	0.75	0.75	0.3	293	0.65	0.1	0.75	0.6	0.3
251	0.85	0.2	0.9	0.75	0.4	294	0.62	0.12	0.75	0.6	0.2
252	0.8	0.2	0.85	0.7	0.4	295	0.7	0.15	0.6	0.65	0.2
253	0.8	0.2	0.85	0.7	0.5	296	0.8	0.1	0.7	0.65	0.3
254	0.85	0.2	0.8	0.7	0.5	297	0.65	0.1	0.7	0.6	0.3
255	0.9	0.1	0.8	0.7	0.5	298	0.7	0.15	0.75	0.7	0.4
256	0.8	0.2	0.85	0.7	0.5	299	0.8	0.15	0.75	0.8	0.5
257	0.75	0.15	0.82	0.7	0.4	300	0.85	0.1	0.75	0.8	0.5
258	0.8	0.2	0.8	0.8	0.5	301	0.85	0.3	0.75	0.7	0.5
259	0.82	0.2	0.82	1.0	0.4	302	0.85	0.15	0.8	0.75	0.5
260	0.85	0.15	0.8	0.85	0.5	303	0.8	0.2	0.8	0.75	0.5
261	0.82	0.18	0.85	0.8	0.5	304	0.85	0.2	0.85	0.8	0.5
262	0.8	0.15	0.8	0.85	0.5	305	0.8	0.2	0.8	0.7	0.4
263	0.75	0.18	0.7	0.75	0.4	306	0.75	0.15	0.75	0.8	0.4
264	0.8	0.2	0.8	0.7	0.5	307	0.75	0.1	0.8	0.8	0.4
265	0.8	0.18	0.78	0.8	0.5	308	0.85	0.1	0.8	0.8	0.4
266	0.8	0.15	0.15	0.7	0.4	309	0.85	0.1	0.8	0.8	0.4
267	0.7	0.12	0.75	0.9	0.4	310	0.78	0.15	0.85	0.8	0.5
268	0.9	0.21	0.8	0.92	0.5	311	0.8	0.2	0.82	0.8	0.4
269	0.88	0.15	0.8	0.8	0.5	312	0.85	0.1	0.8	0.8	0.4
270	0.75	0.1	0.7	0.85	0.5	313	0.7	0.1	0.7	0.88	0.3
271	0.8	0.18	0.8	0.8	0.4	314	0.8	0.1	0.8	0.82	0.3

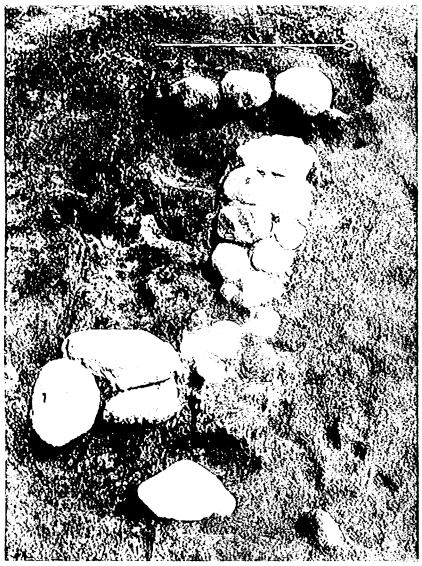
HH—6号住居　出土滑石製玉計測表

No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)	No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)
1	0.4	0.15	0.5	0.3	0.2	11	0.5	0.15	0.5	0.41	0.1
2	0.4	0.1	0.4	0.35	0.1	12	0.5	0.2	0.51	0.4	0.2
3	0.5	0.15	0.5	0.3	0.1	13	0.43	0.2	0.5	0.4	0.2
4	0.45	0.2	0.5	0.3	0.2	14	0.41	0.18	0.5	0.2	0.1
5	0.45	0.2	0.5	0.2	0.2	15	0.5	0.18	0.6	0.31	0.1
6	0.45	0.1	0.45	0.4	0.1	16	0.48	0.2	0.58	0.3	0.1
7	0.5	0.15	0.55	0.4	0.1	17	0.41	0.18	0.4	0.3	0.1
8	0.5	0.3	0.55	0.3	0.1	18	0.6	0.28	0.7	0.3	0.1
9	0.5	0.15	0.4	0.3	0.1	19	0.5	0.21	0.45	0.4	0.1
10	0.45	0.15	0.4	0.4	0.2	20	0.48	0.18	0.5	0.2	0.1

No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)	No.	a (cm)	b (cm)	c (cm)	d (cm)	重さ(g)
21	0.5	0.18	0.46	0.2	0.1	68	0.5	0.12	0.6	0.4	0.1
22	0.41	0.18	0.5	0.3	0.1	69	0.5	0.18	0.5	0.4	0.1
23	0.5	0.18	0.45	0.3	0.1	70	0.5	0.2	0.51	0.4	0.1
24	0.4	0.18	0.48	0.28	0.1	71	0.5	0.15	0.5	0.3	0.1以下
25	0.4	0.12	0.45	0.21	0.1	72	0.5	0.2	0.55	0.3	0.2
26	0.55	0.2	0.6	0.4	0.1	73	0.5	0.2	0.52	0.3	0.2
27	0.5	0.2	0.5	0.3	0.1	74	0.42	0.2	0.45	0.2	0.1
28	0.5	0.2	0.58	0.3	0.1	75	0.5	0.2	0.5	0.4	0.1
29	0.48	0.15	0.5	0.3	0.1	76	0.5	0.2	0.5	0.3	0.1
30	0.52	0.2	0.58	0.3	0.1	77	0.5	0.2	0.55	0.2	0.1
31	0.48	0.2	0.48	0.2	0.1	78	0.5	0.2	0.5	0.4	0.2
32	0.55	0.2	0.58	0.32	0.1	79	0.52	0.18	0.58	0.4	0.1
33	0.48	0.18	0.58	0.22	0.1	80	0.45	0.2	0.45	0.2	0.1
34	0.43	0.2	0.55	0.3	0.1	81	0.52	0.2	0.5	0.4	0.1
35	0.45	0.18	0.6	0.3	0.1	82	0.5	0.2	0.5	0.25	0.1以下
36	0.5	0.2	0.6	0.4	0.1	83	0.48	0.2	0.5	0.3	0.1 〃
37	0.5	0.18	0.65	0.4	0.1	84	0.4	0.2	0.5	0.3	0.1 〃
38	0.48	0.2	0.5	0.3	0.1	85	0.5	0.2	0.55	0.3	0.1
39	0.48	0.15	0.58	0.3	0.1	86	0.42	0.2	0.52	0.3	0.1
40	0.42	0.18	0.48	0.28	0.1	87	0.4	0.2	0.5	0.3	0.1
41	0.46	0.13	0.5	0.14	0.1	88	0.45	0.2	0.45	0.4	0.2
42	0.5	0.2	0.42	0.5	0.2	89	0.45	0.2	0.52	0.3	0.2
43	0.5	0.2	0.5	0.2	0.1	90	0.52	0.2	0.48	0.4	0.2
44	0.5	0.15	0.6	0.4	0.1	91	0.5	0.2	0.5	0.4	0.2
45	0.45	0.2	0.6	0.4	0.2	92	0.5	0.2	0.52	0.45	0.2
46	0.48	0.2	0.52	0.35	0.1	93	0.5	0.25	0.52	0.4	0.1
47	0.5	0.15	0.5	0.3	0.1	94	0.5	0.2	0.58	0.3	0.1
48	0.5	0.2	0.58	0.3	0.1	95	0.5	0.2	0.55	0.4	0.2
49	0.52	0.2	0.58	0.5	0.2	96	0.5	0.2	0.55	0.2	0.1
50	0.5	0.2	0.6	0.2	0.1	97	0.45	0.2	0.5	0.4	0.2
51	0.5	0.2	0.6	0.2	0.1	98	0.58	0.18	0.52	0.3	0.1
52	0.42	0.2	0.58	0.4	0.2	99	0.5	0.2	0.58	0.3	0.1
53	0.5	0.12	0.55	0.5	0.2	100	0.52	0.2	0.55	0.2	0.1以下
54	0.5	0.2	0.5	0.3	0.1	101	0.4	0.2	0.4	0.4	0.1
55	0.45	0.2	0.55	0.22	0.1	102	0.5	0.2	0.5	0.4	0.1
56	0.45	0.2	0.45	0.3	0.2	103	0.45	0.2	0.5	0.12	0.1以下
57	0.58	0.2	0.51	0.4	0.2	104	0.5	0.2	0.42	0.28	0.1
58	0.51	0.18	0.45	0.2	0.1	105	0.48	0.15	0.45	0.3	0.2
59	0.5	0.2	0.5	0.5	0.1	106	0.58	0.2	0.55	0.4	0.2
60	0.5	0.2	0.6	0.5	0.2	107	0.5	0.2	0.5	0.35	0.1
61	0.5	0.2	0.5	0.35	0.1	108	0.58	0.2	0.58	0.4	0.2
62	0.42	0.2	0.5	0.2	0.1	109	0.5	0.2	0.55	0.2	0.1
63	0.5	0.2	0.55	0.3	0.1	110	0.52	0.18	0.52	0.32	0.1
64	0.48	0.2	0.5	0.4	0.1	111	0.52	0.15	0.5	0.3	0.1
65	0.52	0.2	0.5	0.3	0.2	112	0.55	0.2	0.55	0.4	0.2
66	0.45	0.2	0.62	0.4	0.2	113	0.5	0.15	0.5	0.6	0.2
67	0.5	0.2	0.6	0.45	0.1						

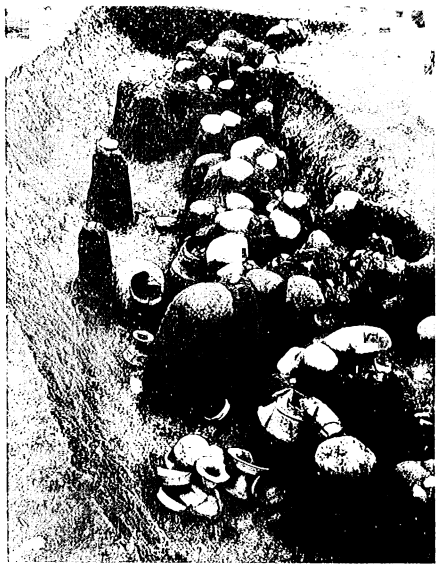
写 真 図 版

1．A－1号古墳

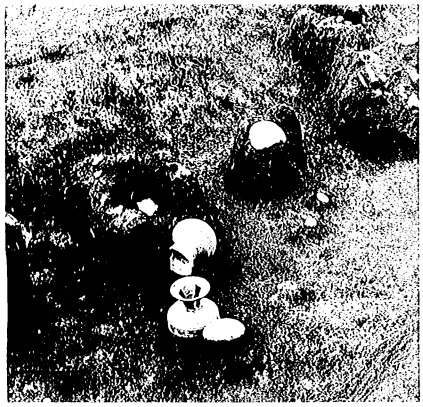


2．A－1号古墳1号石室

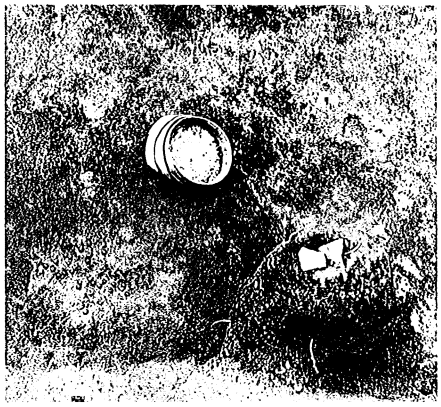
3．A－1号古墳2号石室



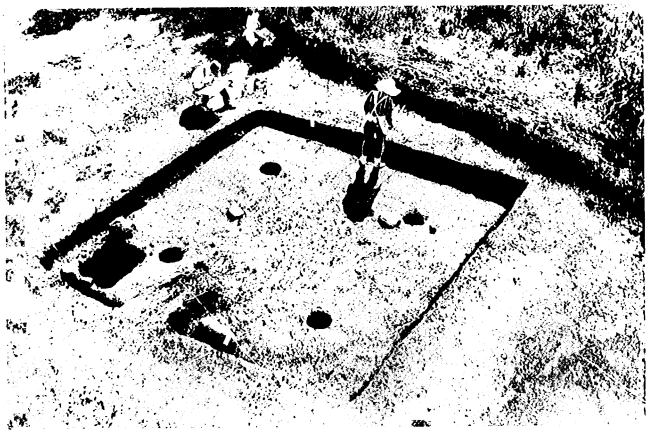
4．A－1号古墳周堀内遺物出土状態



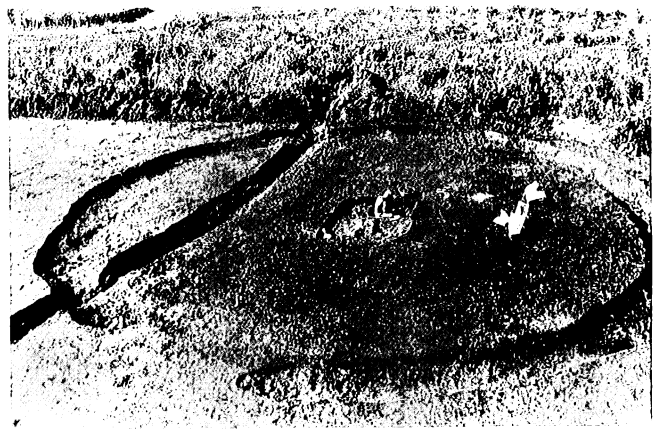
5．A－1号古墳周堀内須恵器出土状態



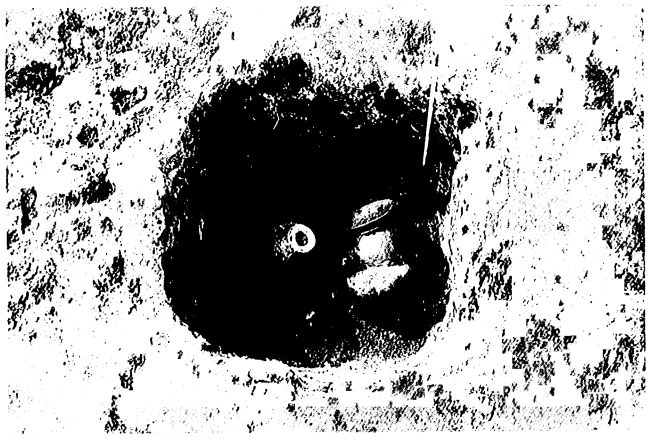
6．A－1号古墳周堀内漆玉出土状態



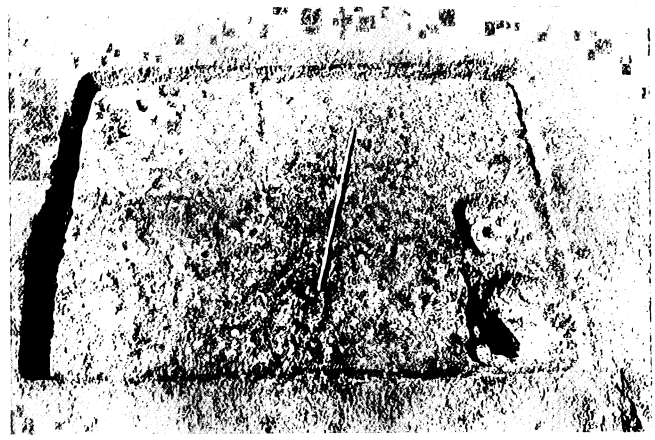
1．ＢＨ－２号住居調査風景



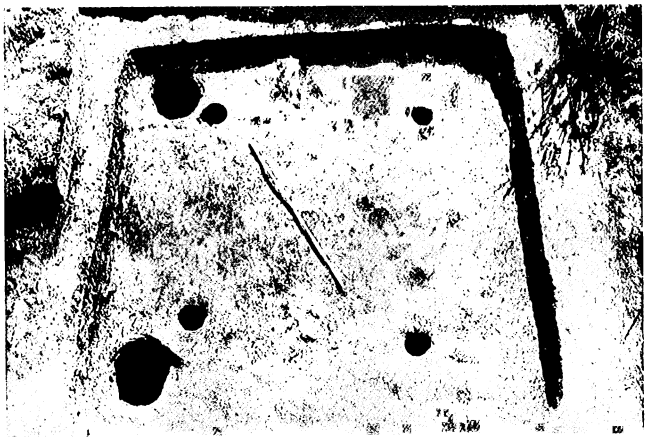
2．Ｂ－２号古墳



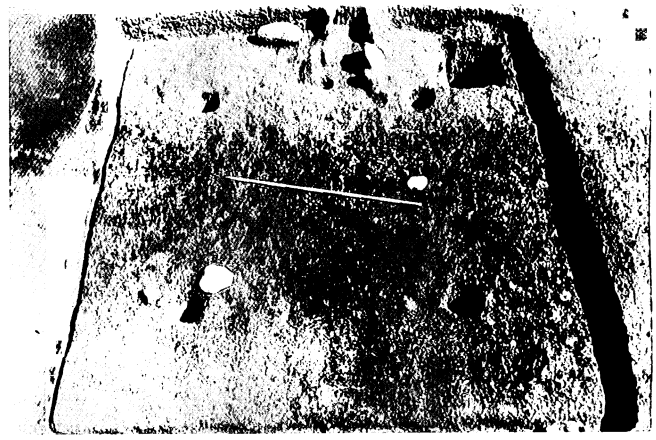
3．ＢＨ－１号土壙遺物出土状態



4．ＢＨ－３号住居

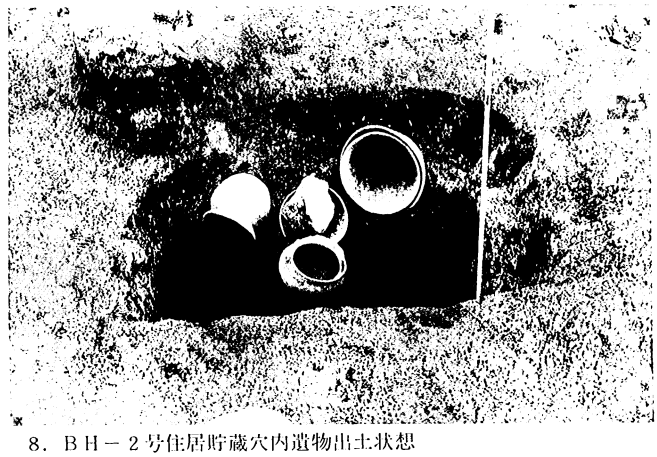


5．ＡＨ－１号住居



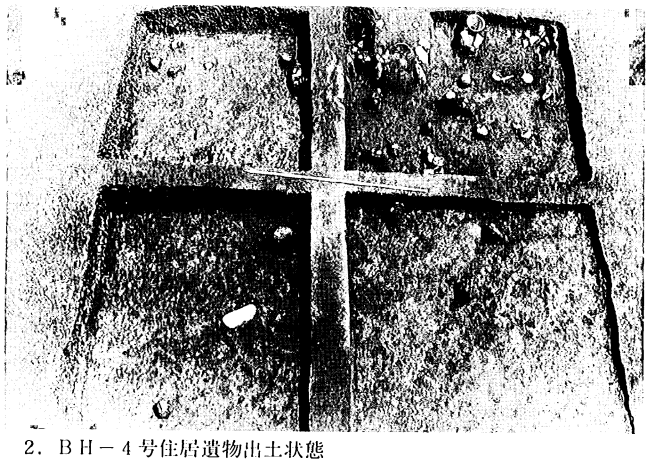
6．ＢＨ－２号住居

7．ＡＨ－１号住居貯蔵穴内遺物出土状態



8．ＢＨ－２号住居貯蔵穴内遺物出土状想

1．ＢＨ－４号住居

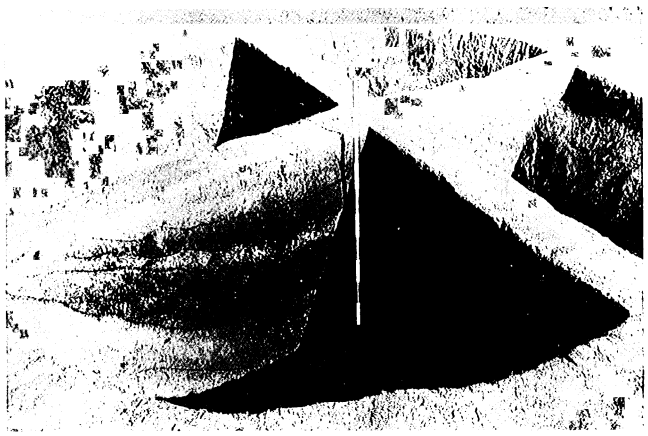


2．ＢＨ－４号住居遺物出土状態

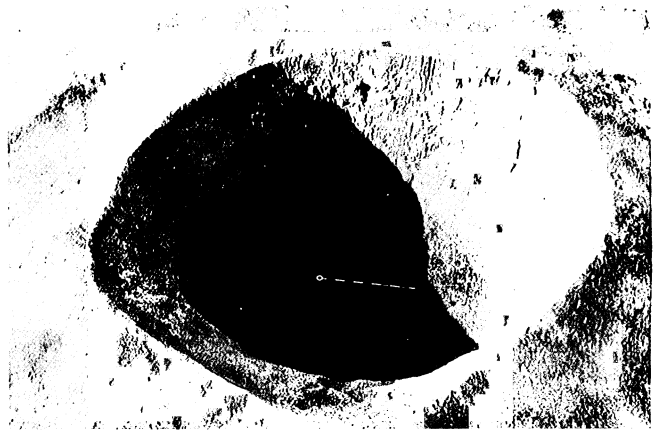
3．ＢＨ－４号住居貯蔵穴周辺遺物出土状態

4．ＢＨ－４号住居竈周辺遺物出土状態

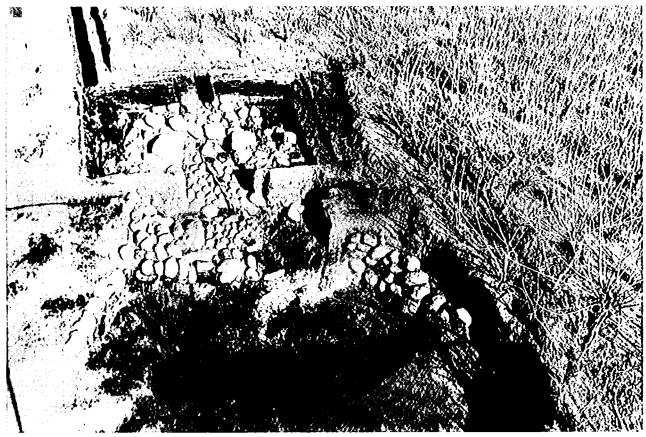
5．ＢＨ－４号住居竈遺物出土状態



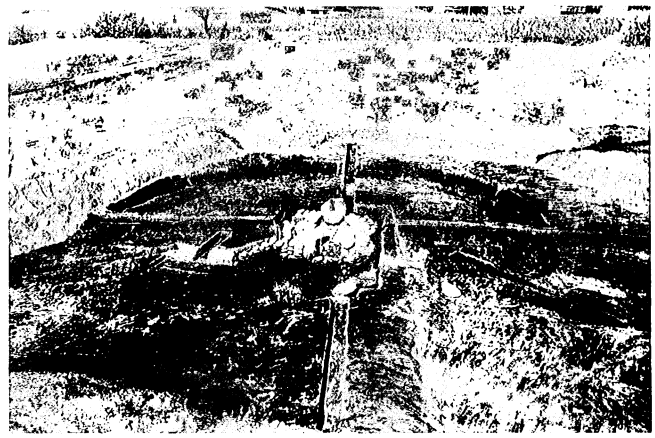
1．D－3号土壙土層堆積状態



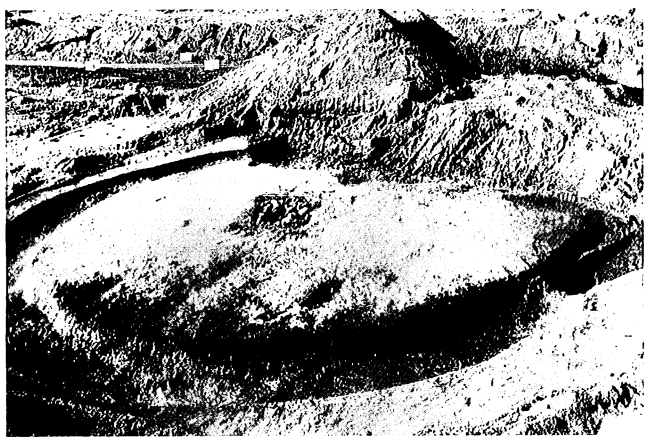
2．D－3号土壙



3．D－1号古墳

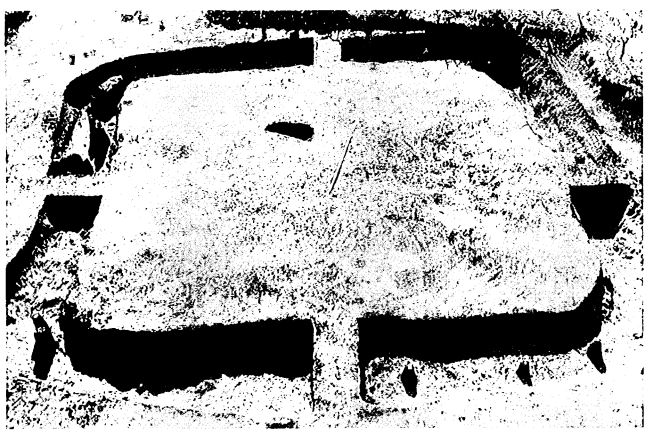


4．D－2号古墳

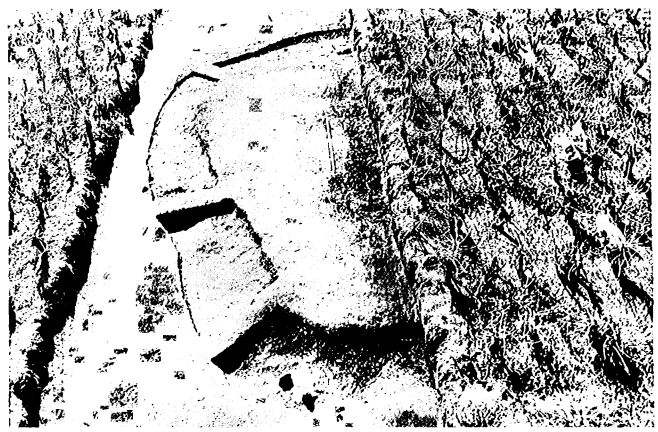


5．D－3号古墳

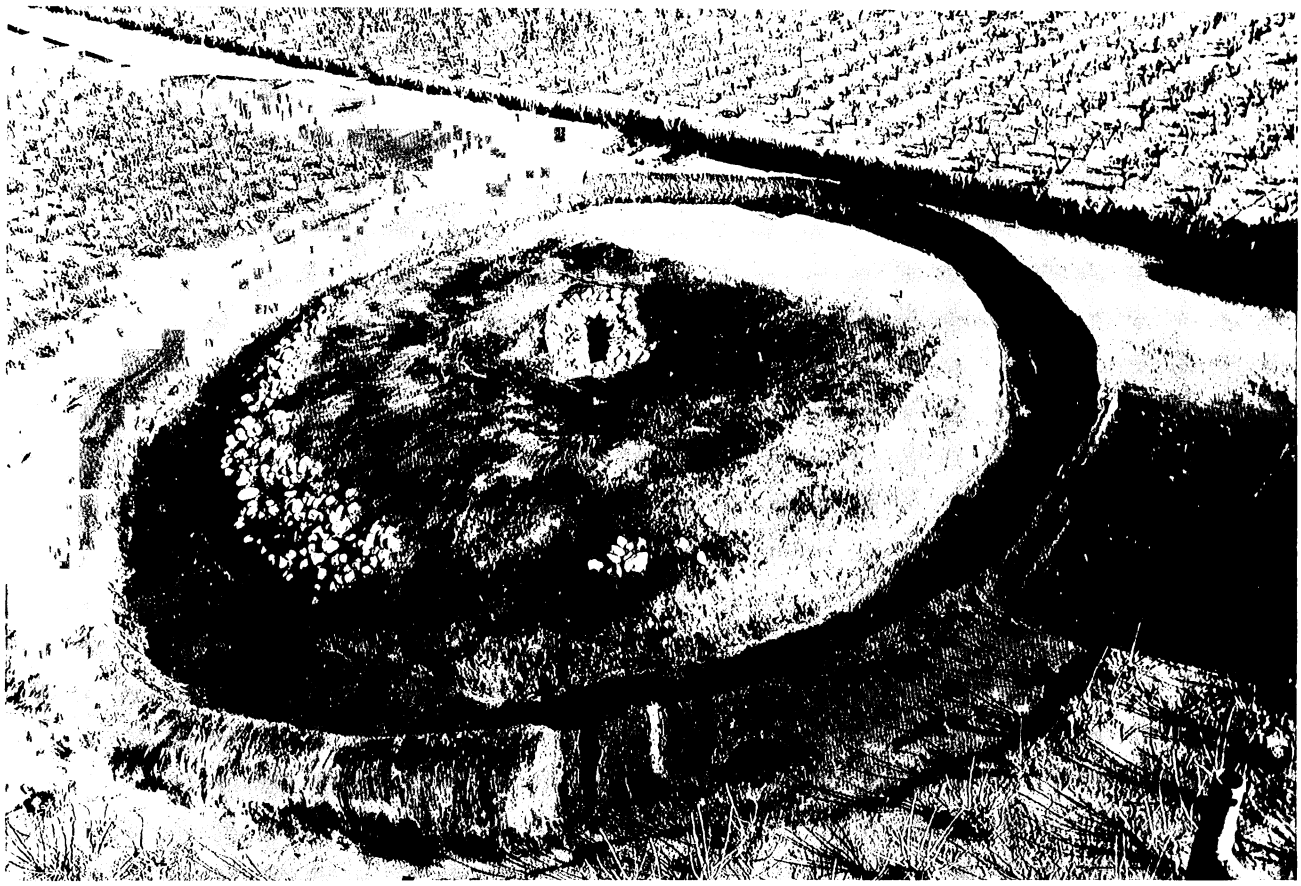
6．D－3号古墳周堀内遺物出土状態



7．E－1号古墳

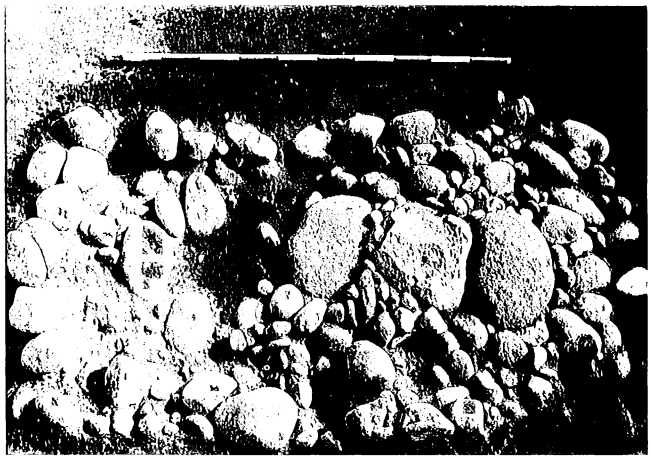


8．E－2号古墳

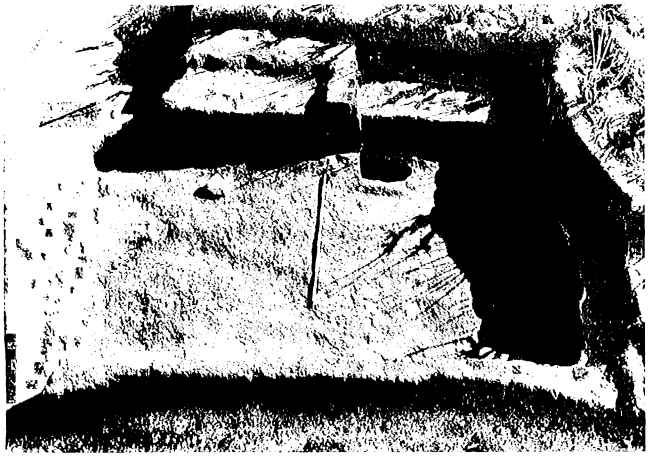


1．Ｆ－１号古墳

2．Ｆ－１号古墳周堀内遺物出土状態

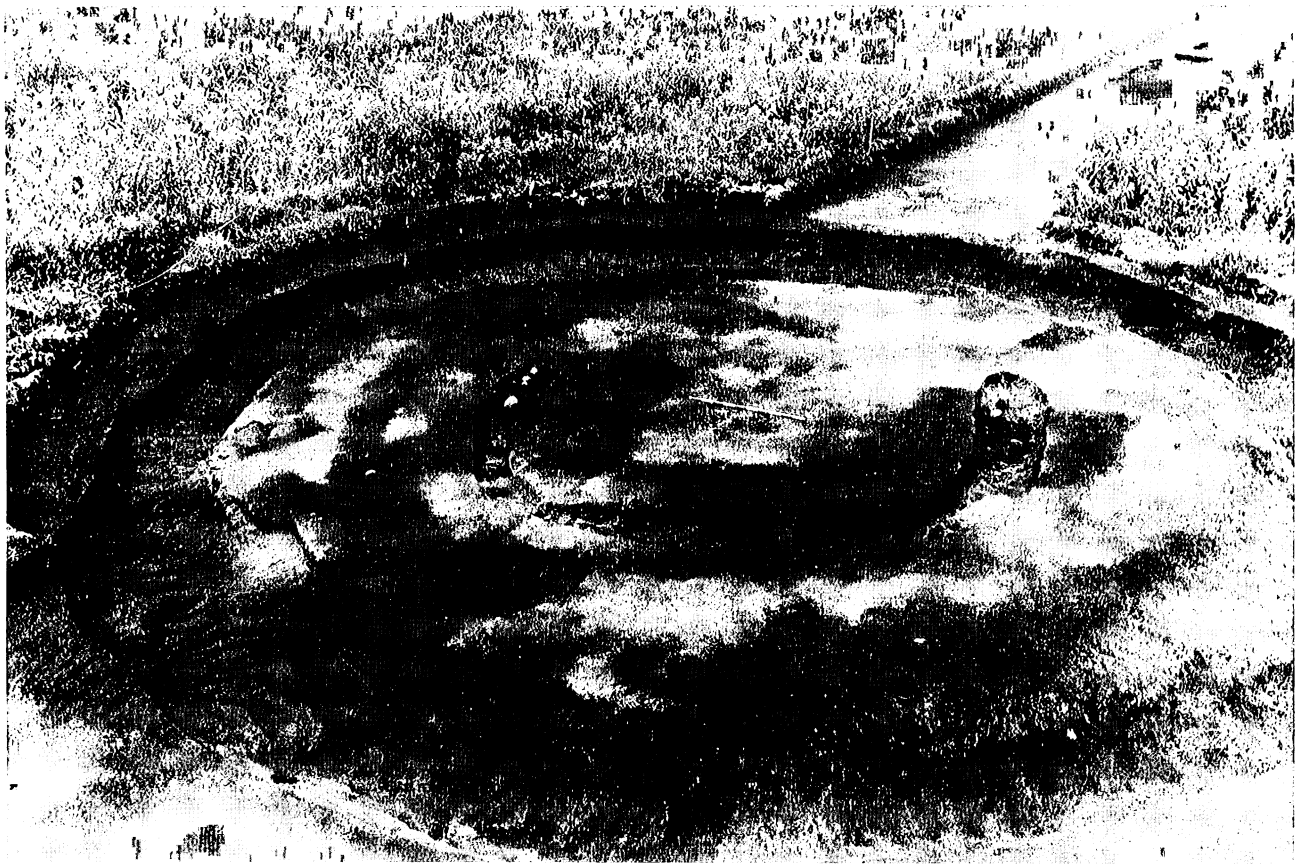


3．Ｆ－１号古墳石室開口前

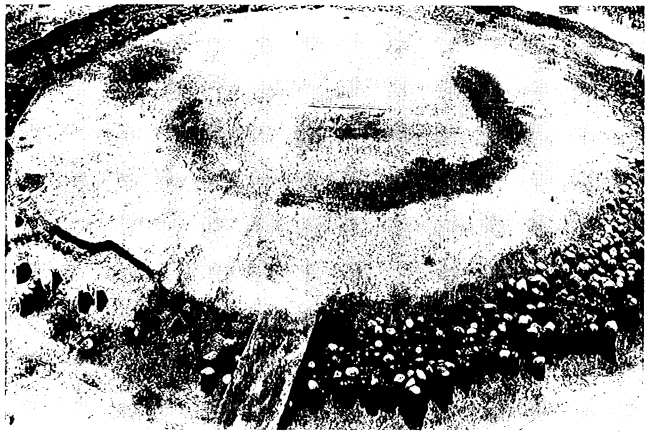


4．ＦＨ－１号住居

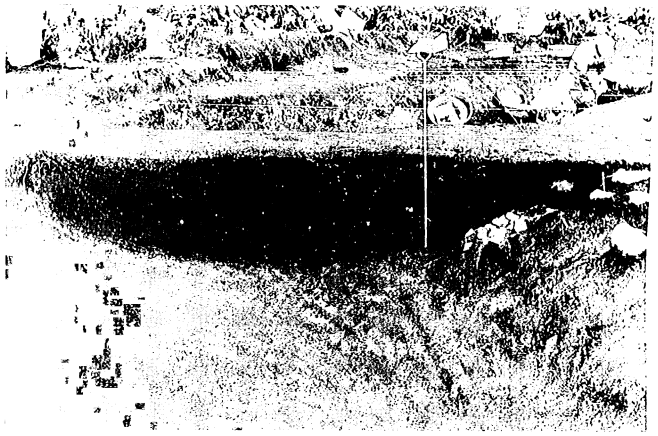
5．Ｆ－１号古墳石室



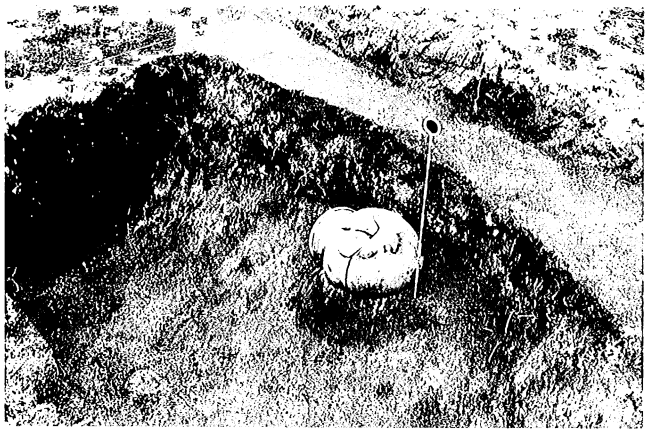
1．Ｆ－２号古墳



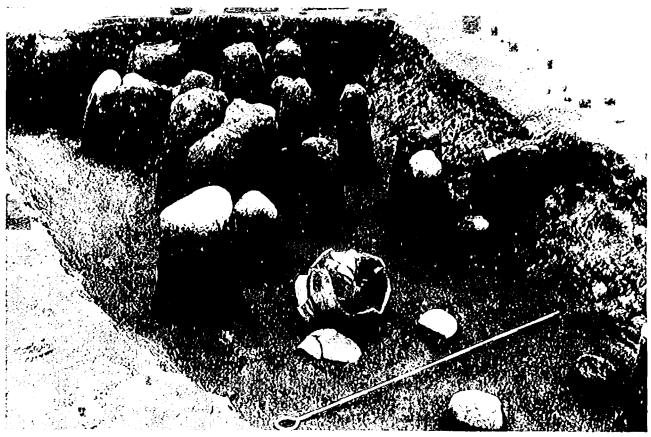
2．Ｆ－２号古墳遺物出土状態



3．Ｆ－２号古墳土層堆積状態

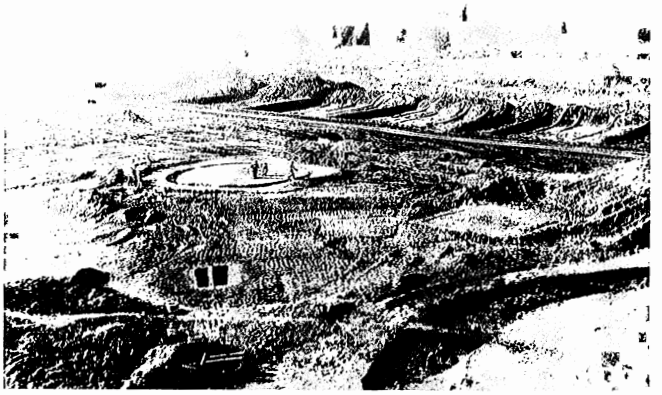


4．Ｆ－２号古墳周堀内須恵器出土状態

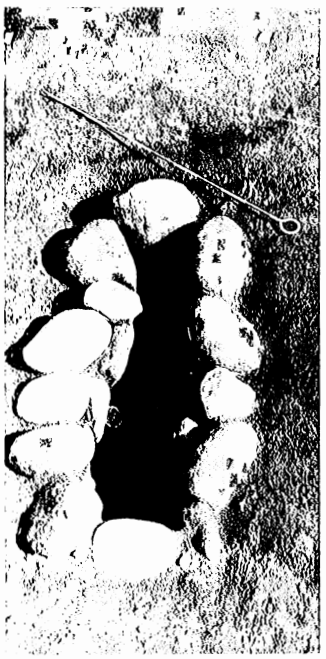


5．Ｆ－２号古墳周堀内土師器出土状態

1．E・F区拡張区（南より）

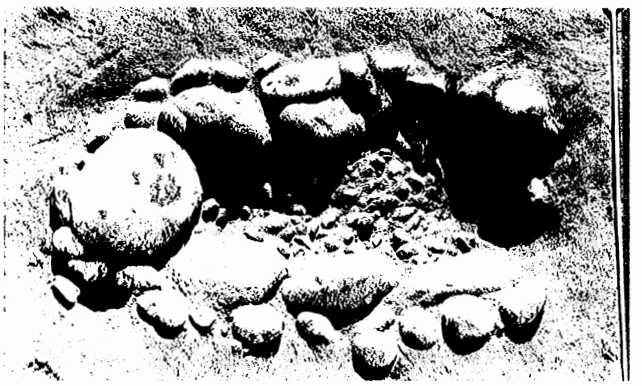


2．D・E区拡張区（北より）

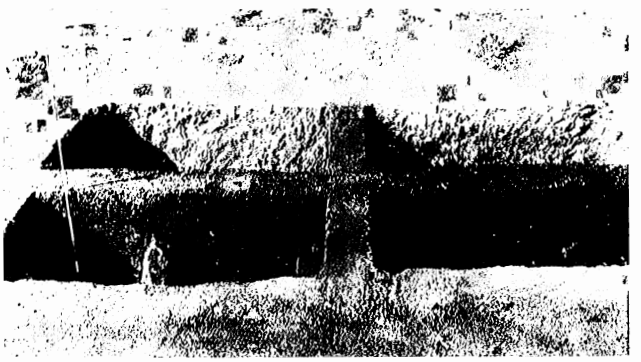


3．E－1号石槨

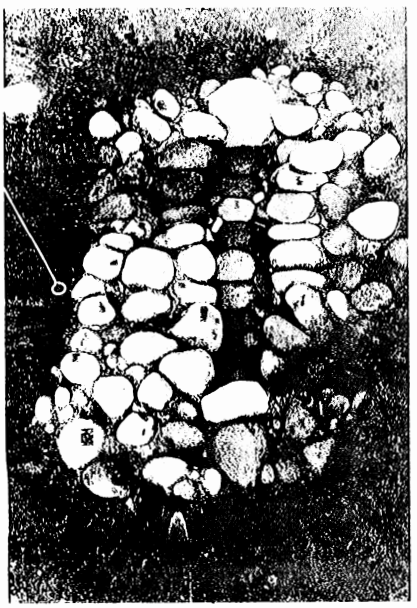
4．E－2号石槨



5．E－3号石槨

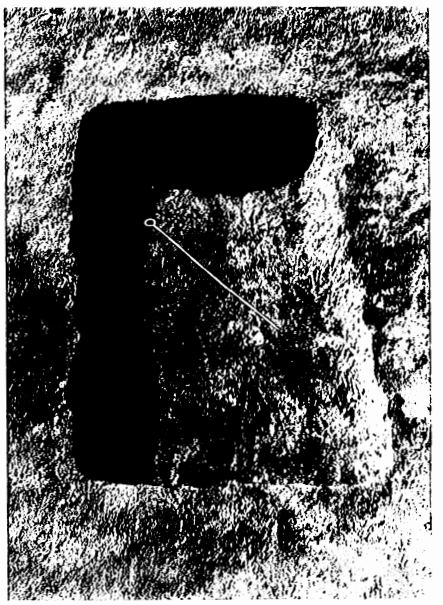


6．E－1号方形土壙土層堆積状態

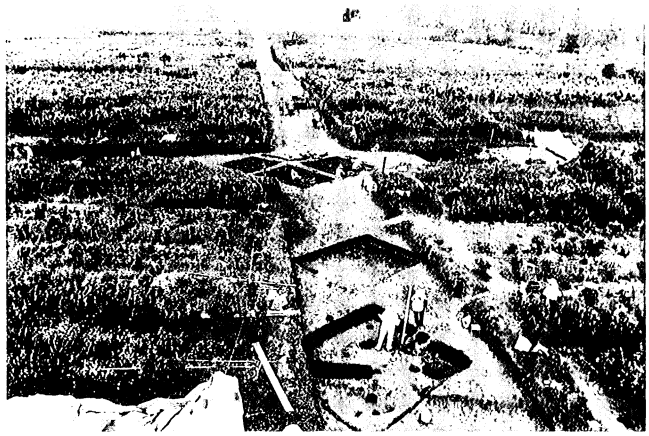


7．F－1号石槨

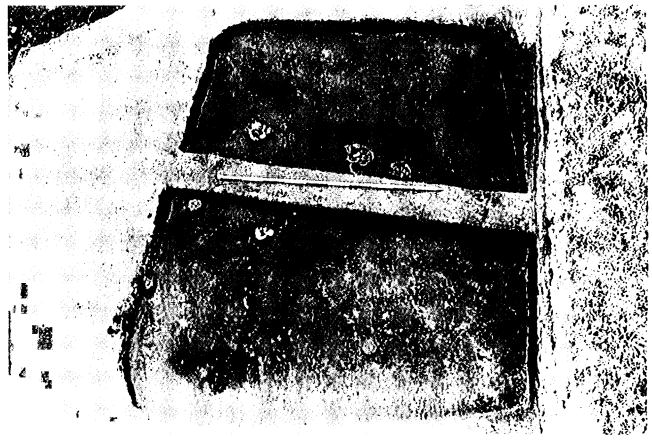
8．F－2号石槨



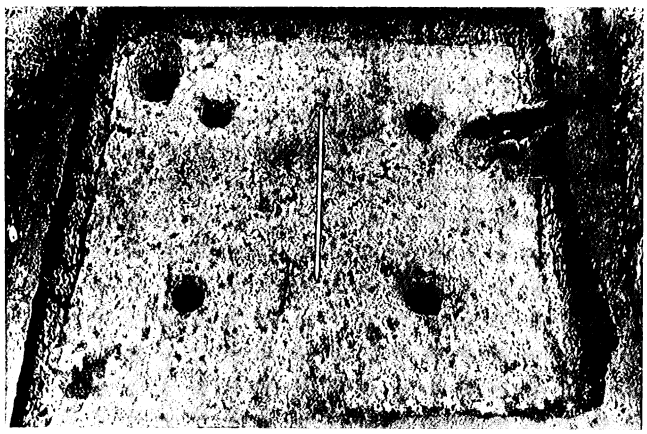
9．E－1号土壙



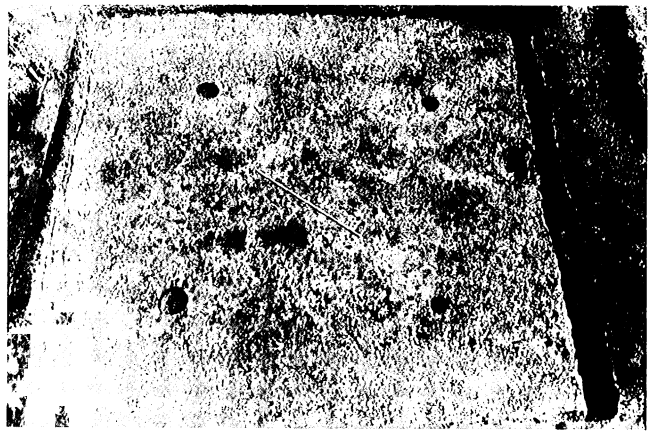
1．G・H区（南より）



2．GH－9号住居



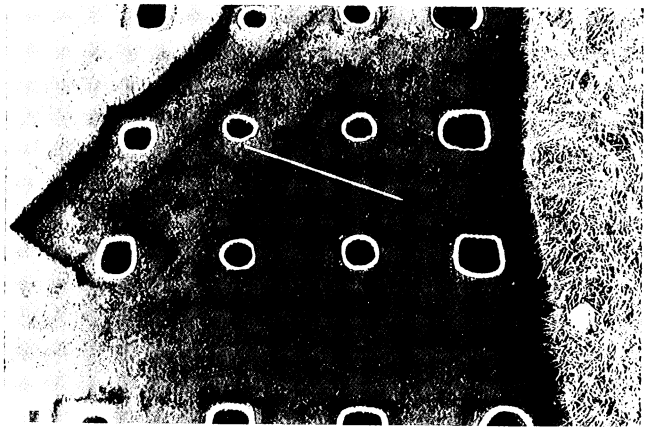
3．GH－10号住居



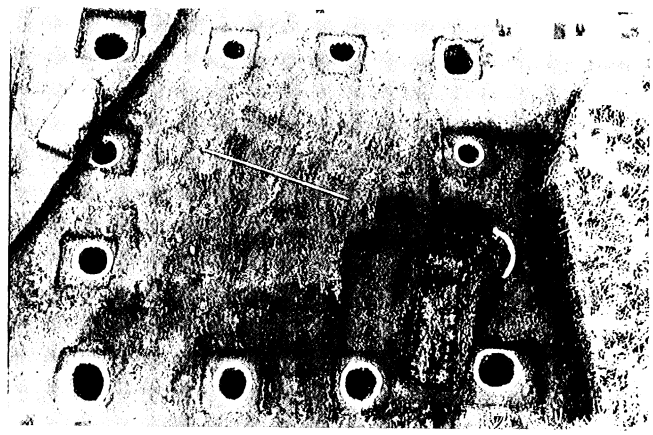
4．GH－6号住居

5．GH－10号住居遺物出土状態

6．GH－6号住居遺物出土状態

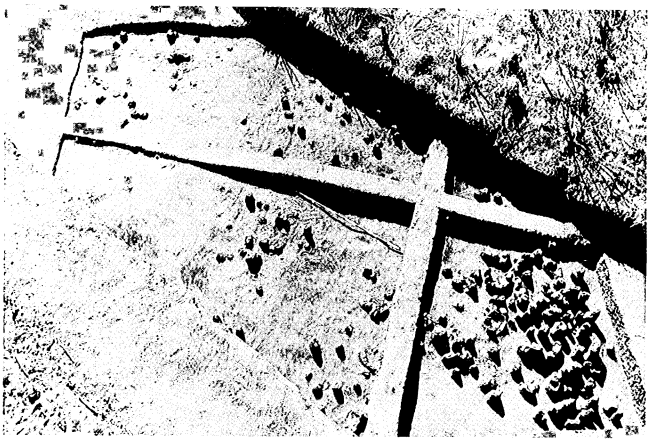


7．G－2号堀立

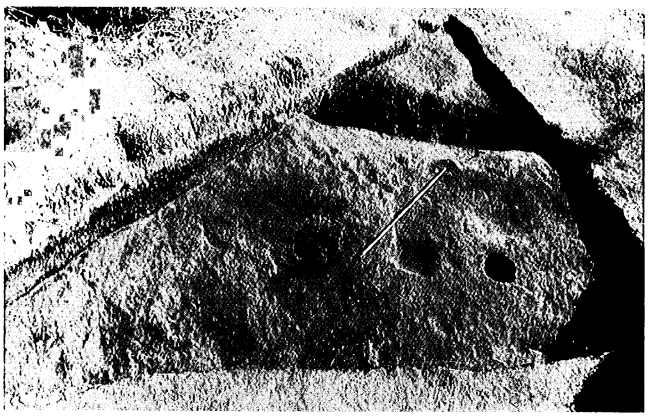


8．G－1号堀立

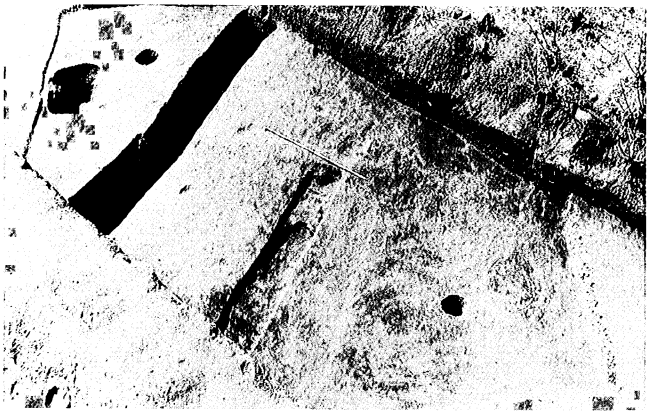
1．ＬＨ－２号住居遺物出土状態



2．ＬＨ－１号住居遺物出土状態



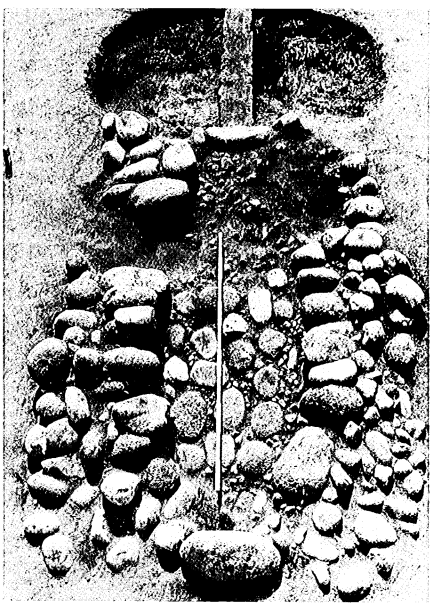
3．ＬＨ－２号住居



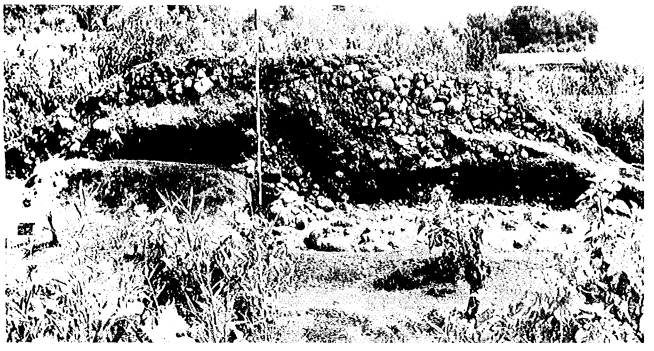
4．ＬＨ－１号住居

5．Ｈ－２号古墳

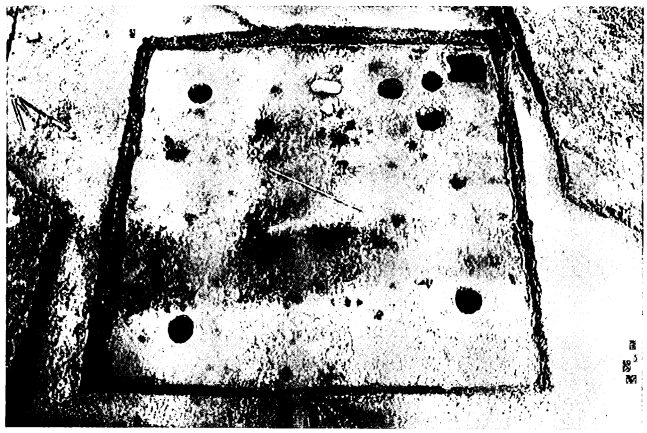
6．Ｇ－２号古墳



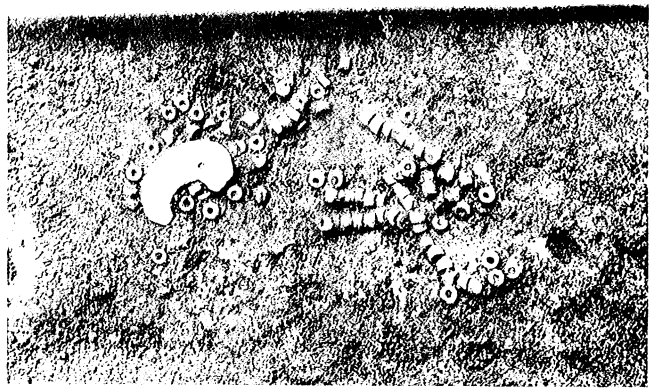
7．Ｋ－１号古墳



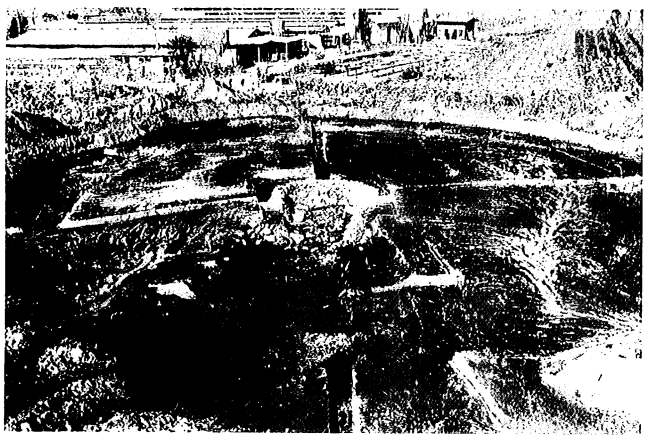
8．Ｈ－２号古墳土層堆積状態



1．ＨＨ－６号住居

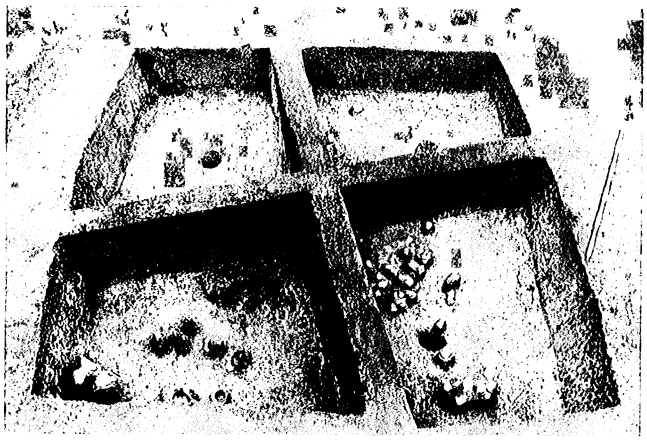


2．ＨＨ－６号住居滑石製首飾り出土状態

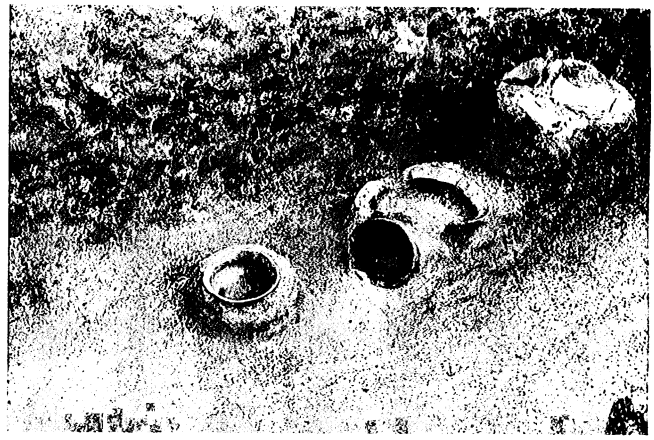


3．Ｉ－１号古墳

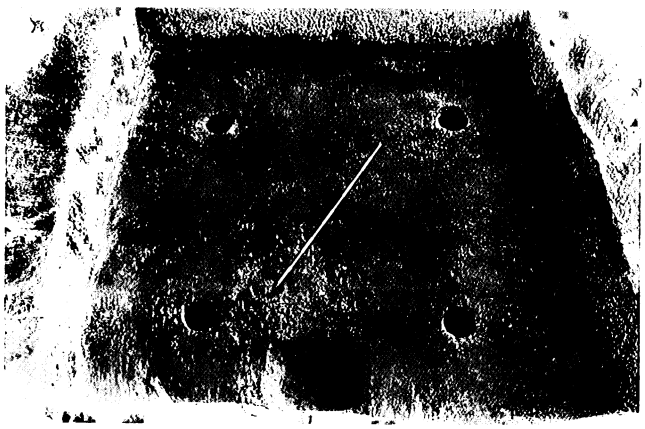
4．Ｉ－１号古墳石室



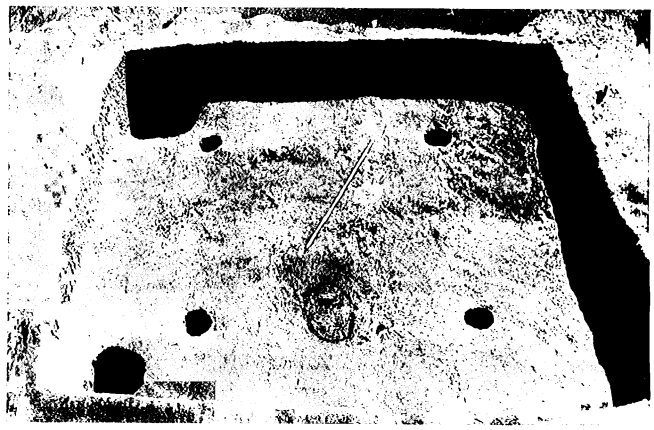
5．ＶＨ－１号住居遺物出土状態



6．ＶＨ－１号住居遺物出土状態

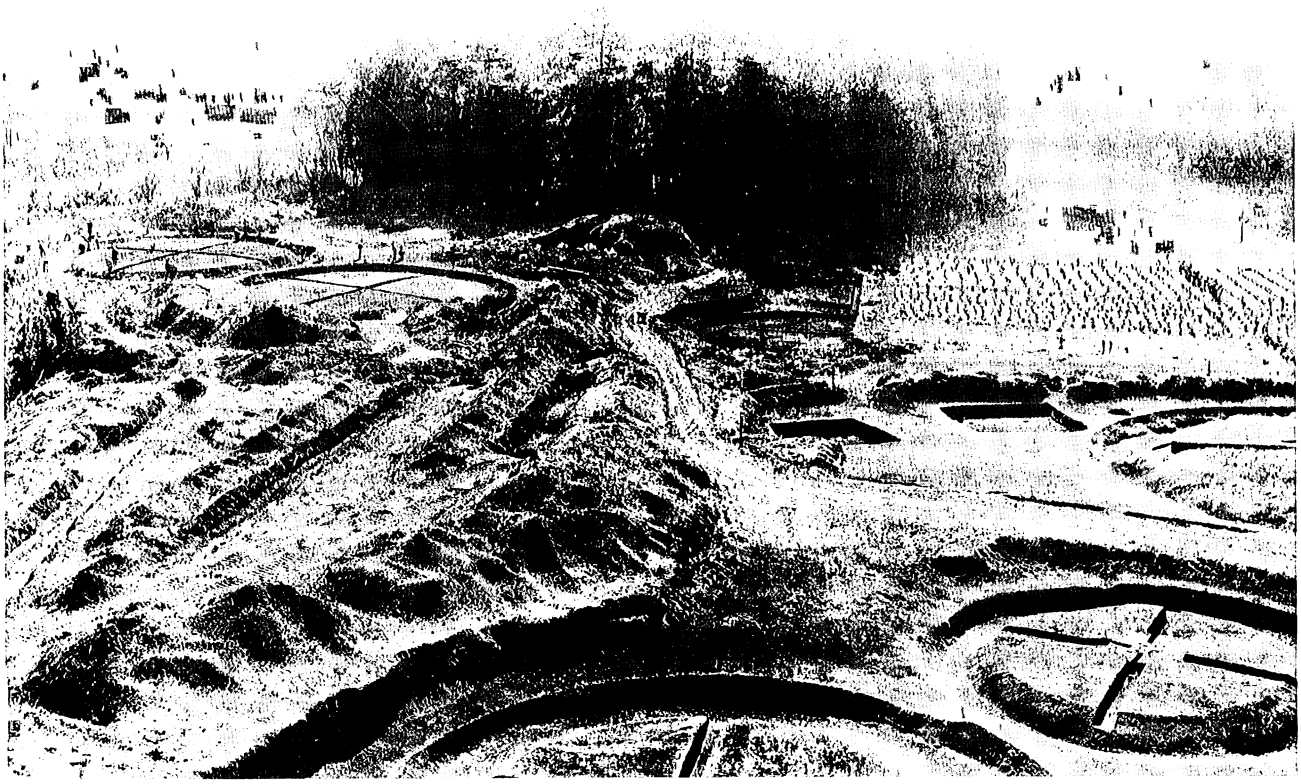


7．ＶＨ－１号住居

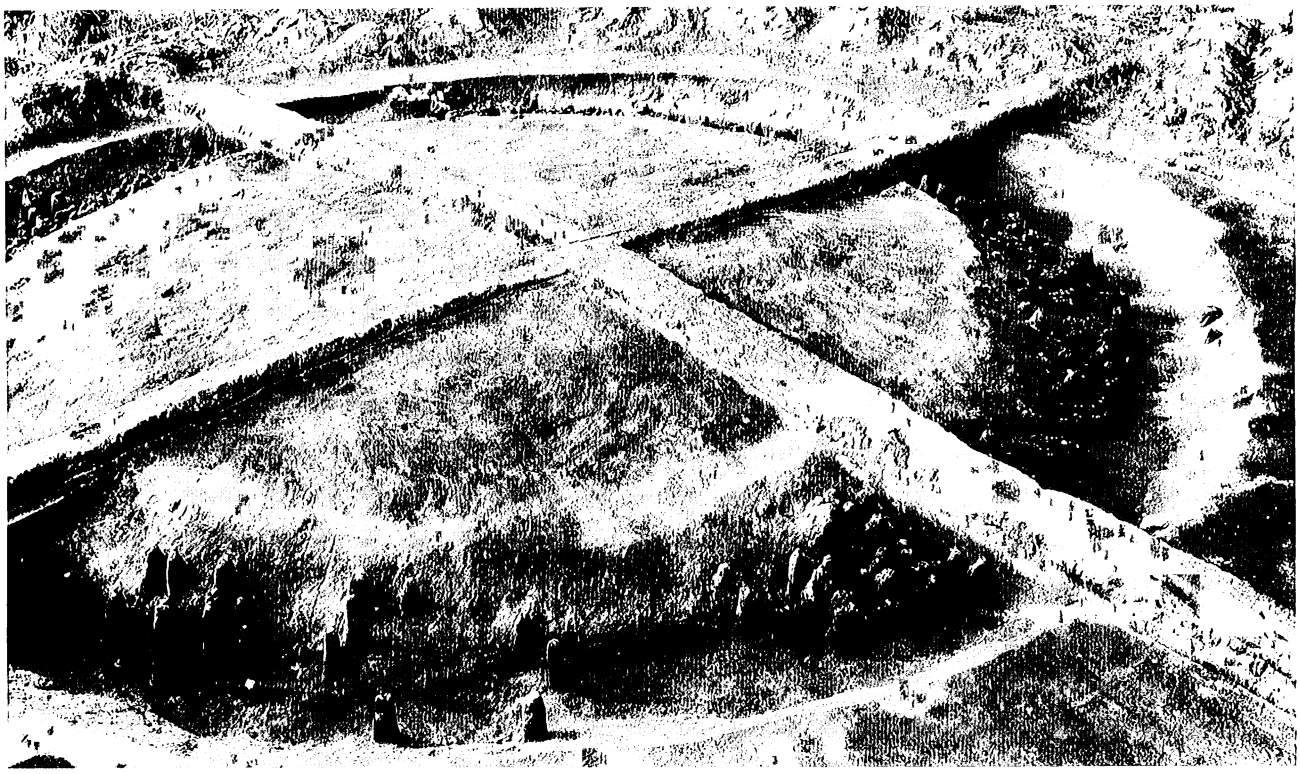


8．ＶＨ－２号住居

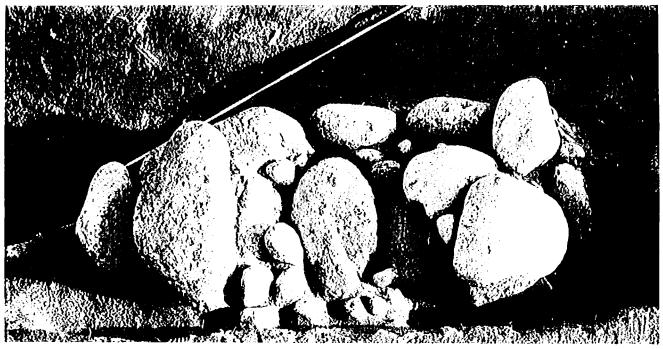
1．P区全景（南より）



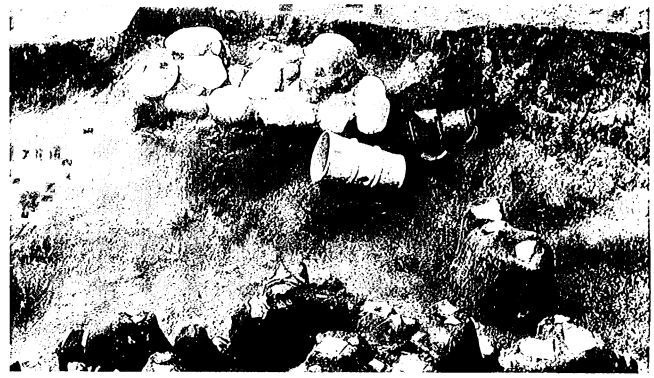
2．V区全景（北より）



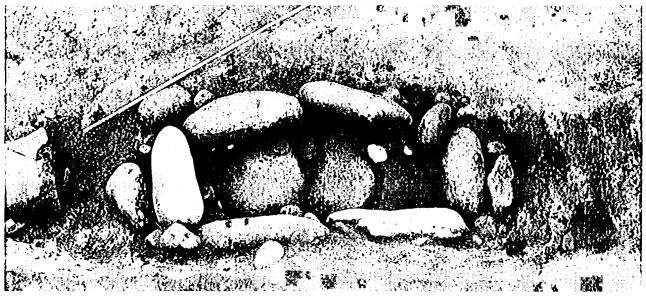
1．P－1号古墳



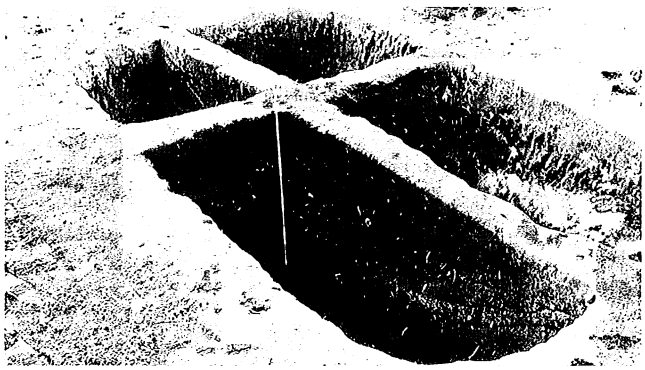
2．P－1号石槨蓋石



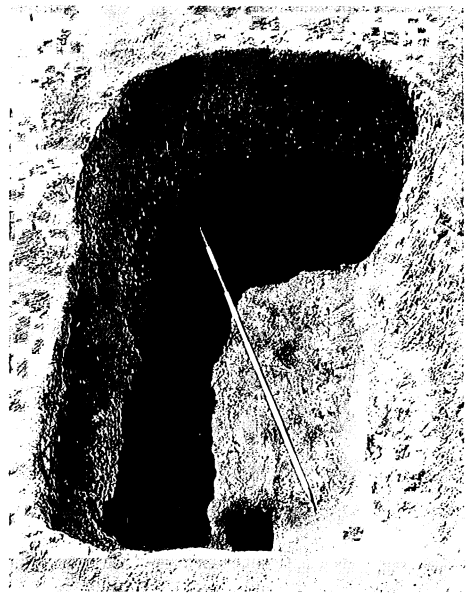
3．P－1号石槨・P－1号古墳埴輪出土状態



4．P－1号石槨

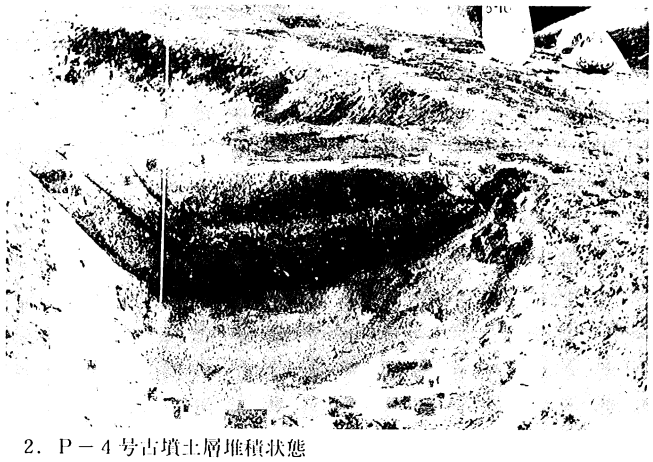


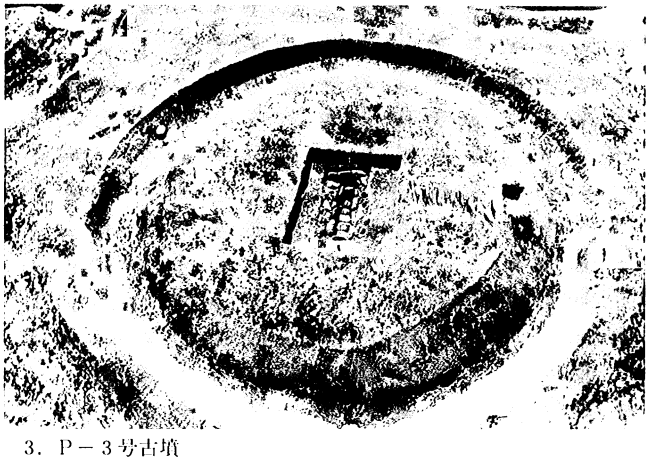
5．P－1号土壙土層堆積状態

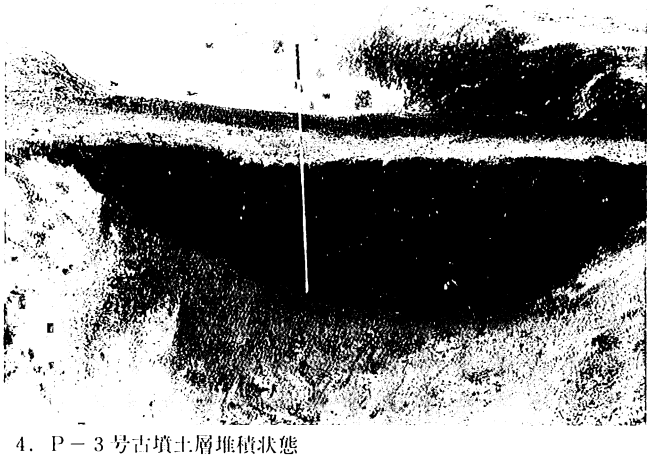


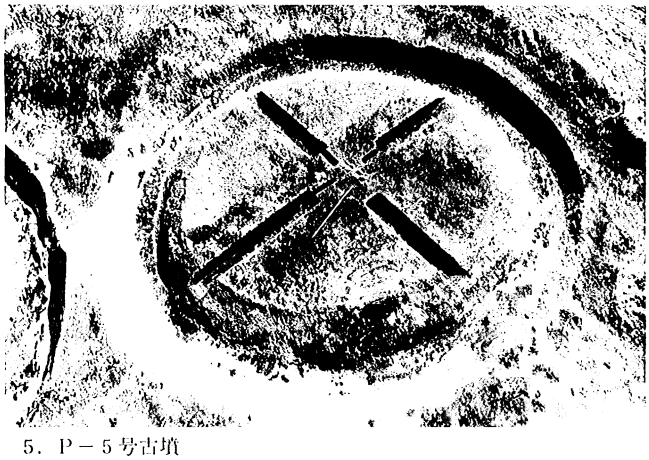
6．P－1号土壙

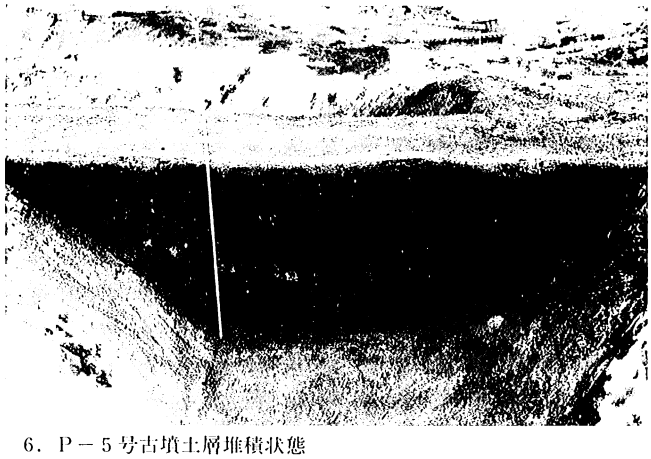
1．P－4号古墳

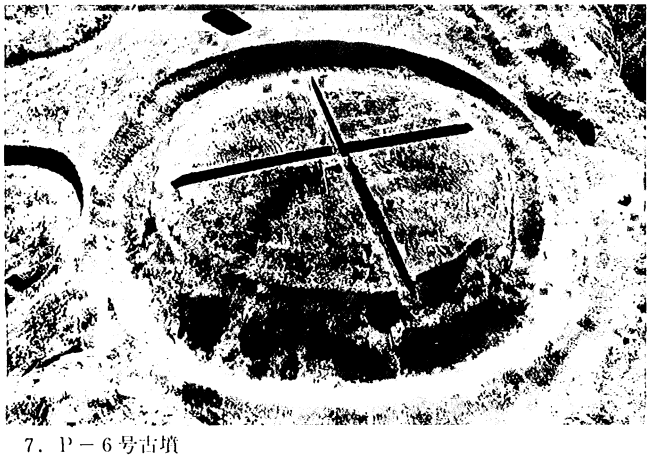

2．P－4号古墳土層堆積状態

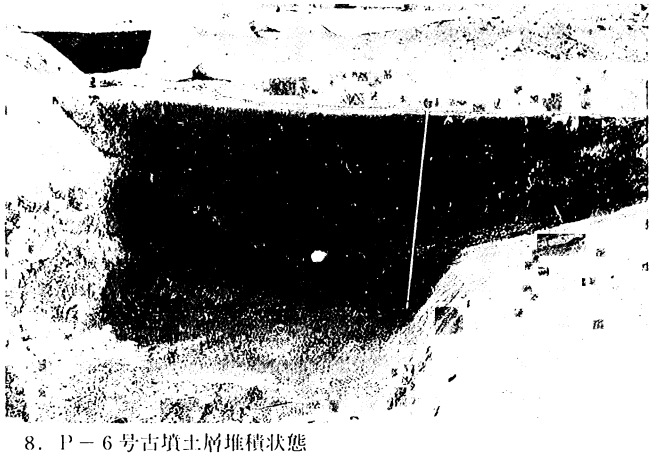

3．P－3号古墳

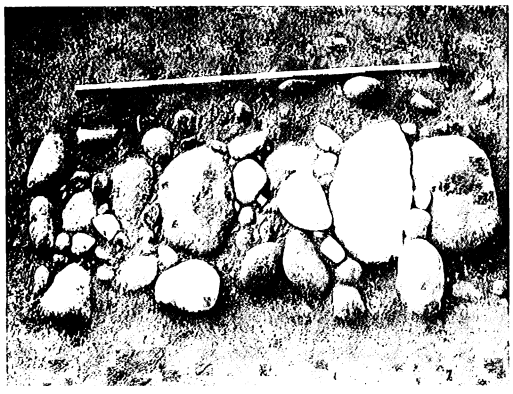

4．P－3号古墳土層堆積状態


5．P－5号古墳

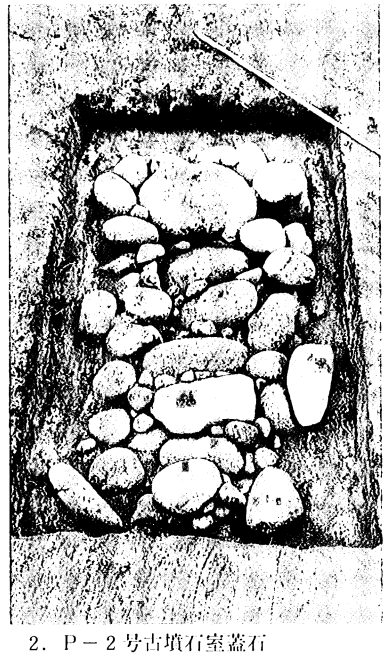

6．P－5号古墳土層堆積状態


7．P－6号古墳

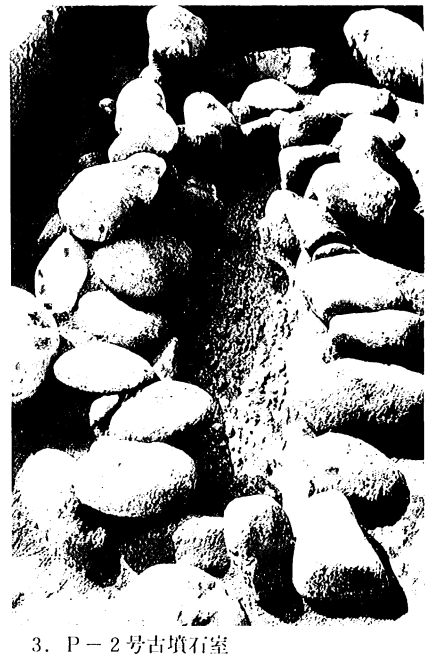

8．P－6号古墳土層堆積状態



1．P－3号古墳石室蓋石

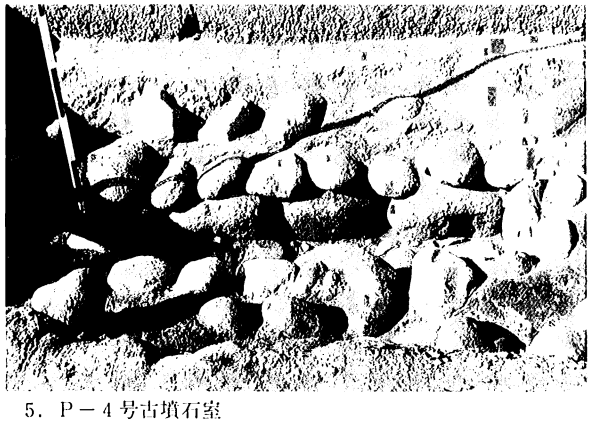


2．P－2号古墳石室蓋石

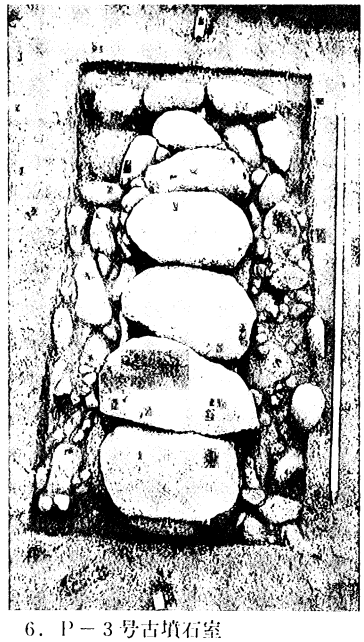


3．P－2号古墳石室

4．P－4号古墳石室被覆状態



5．P－4号古墳石室



6．P－3号古墳石室

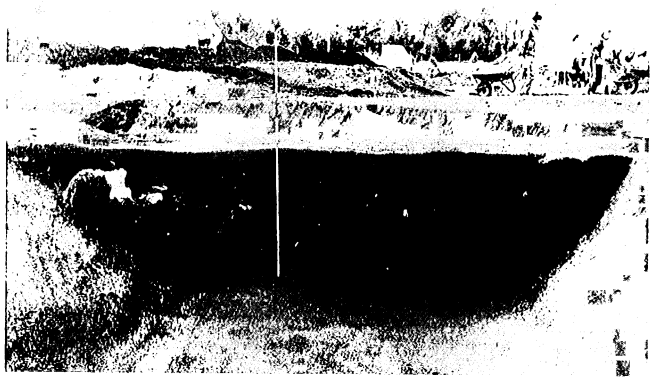
7．P－3号古墳石室

8．P－4号古墳石室

9．P－4号古墳石室

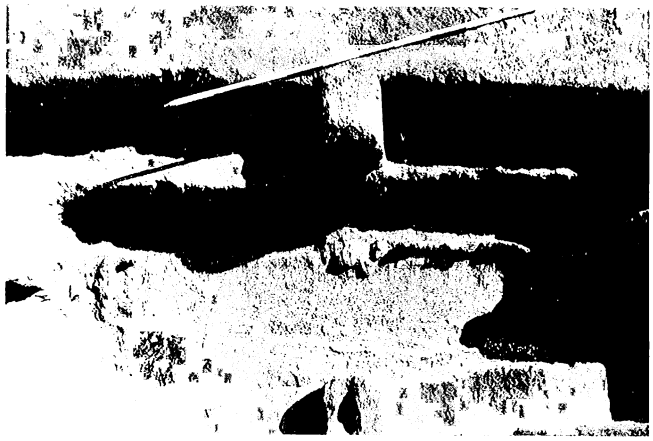
10．P－6号古墳埴輪馬出土状態

1．Ｖ－２号古墳



2．Ｖ－２号古墳土層堆積状態

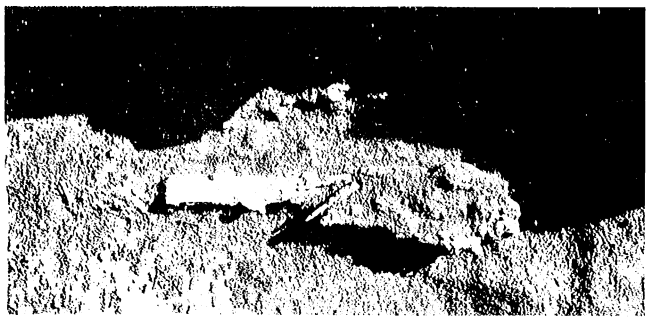
3．Ｖ－２号古墳埴輪出土状態



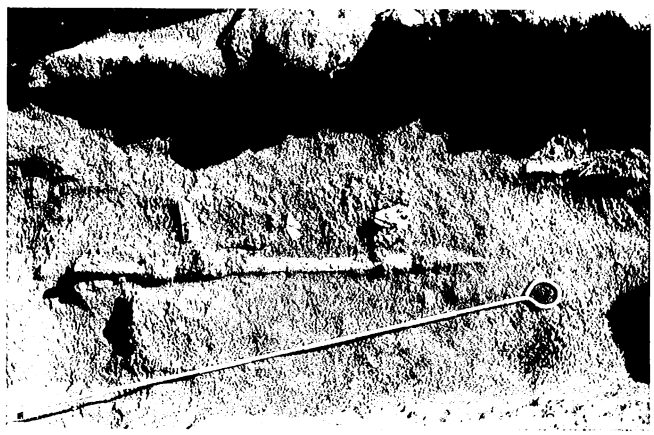
5．Ｖ－２号古墳主体部粘土床確認状態

4．Ｖ－２号古墳主体部上面

6．Ｖ－２号古墳主体部遺物出土状態

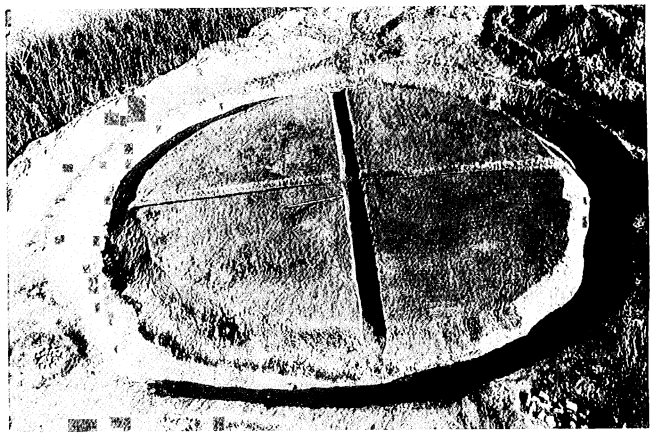


7．Ｖ－２号古墳主体部胡籙出土状態



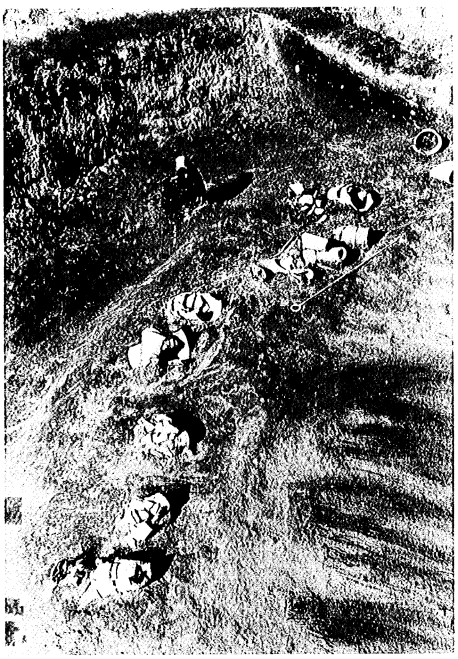
8．Ｖ－２号古墳主体部遺物出土状態

1．V区全景（北より）

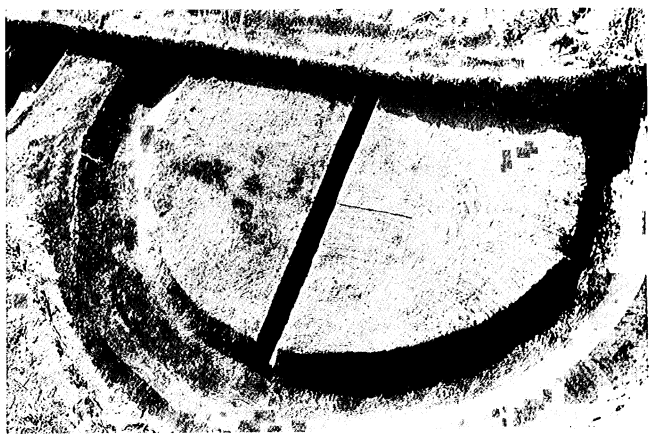


2．V－3号古墳

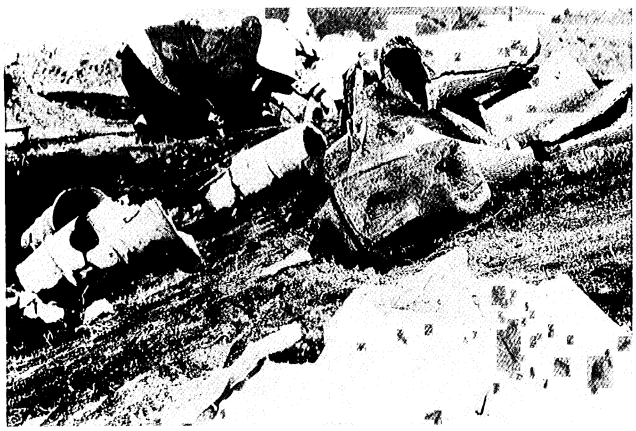
3．V－6号古墳



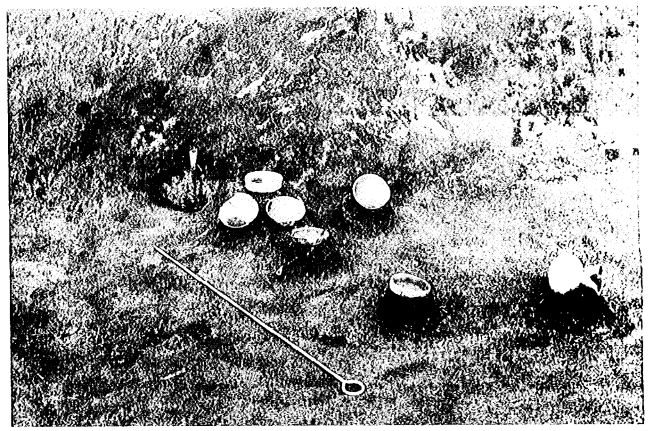
5．V－4号古墳埴輪出土状態



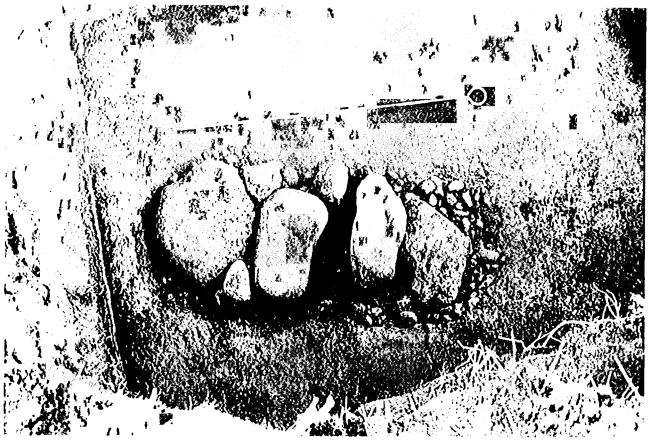
4．V－5号古墳



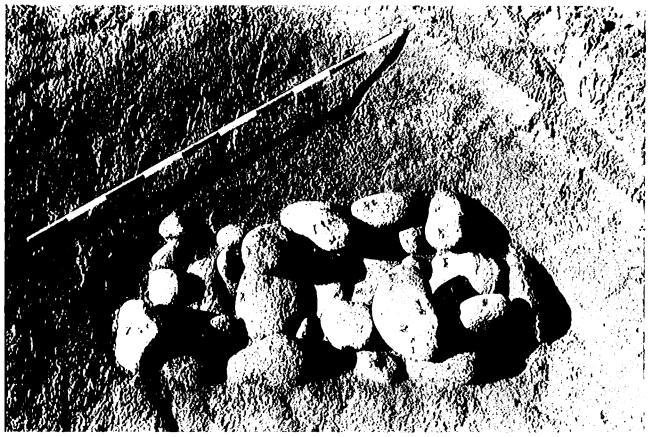
6．V－4号古墳埴輪馬出土状態

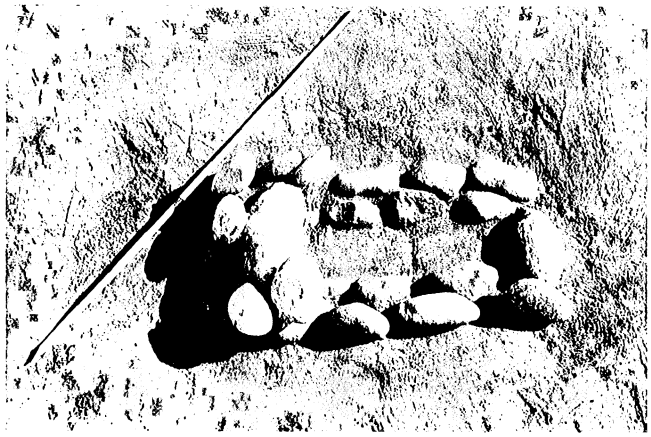


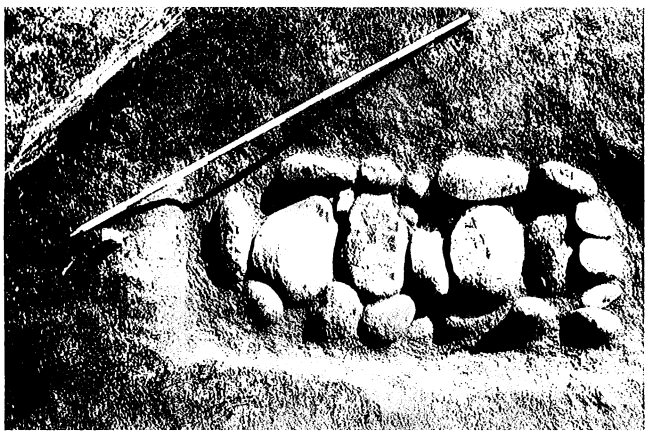
7．V－4号古墳周堀内遺物出土状態

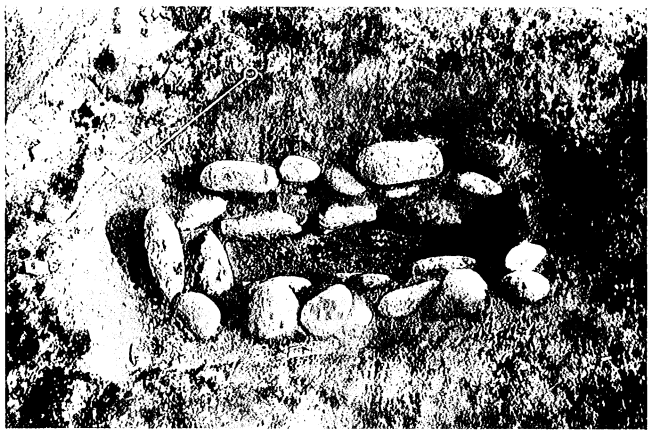

1．Ⅴ－1号石槨蓋石

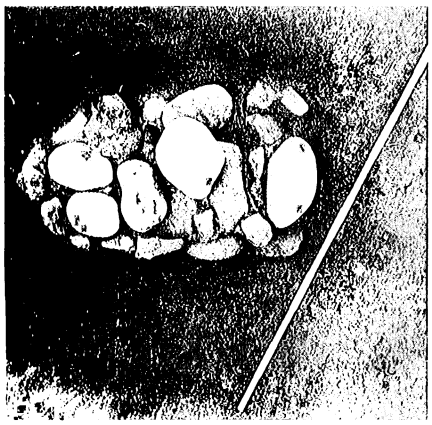
2．Ⅴ－1号石槨

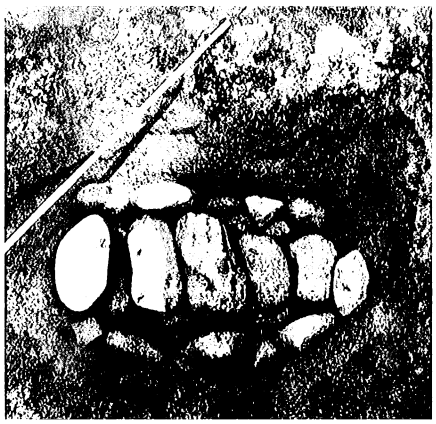

3．Ⅴ－3号石槨蓋石


4．Ⅴ－2号石槨

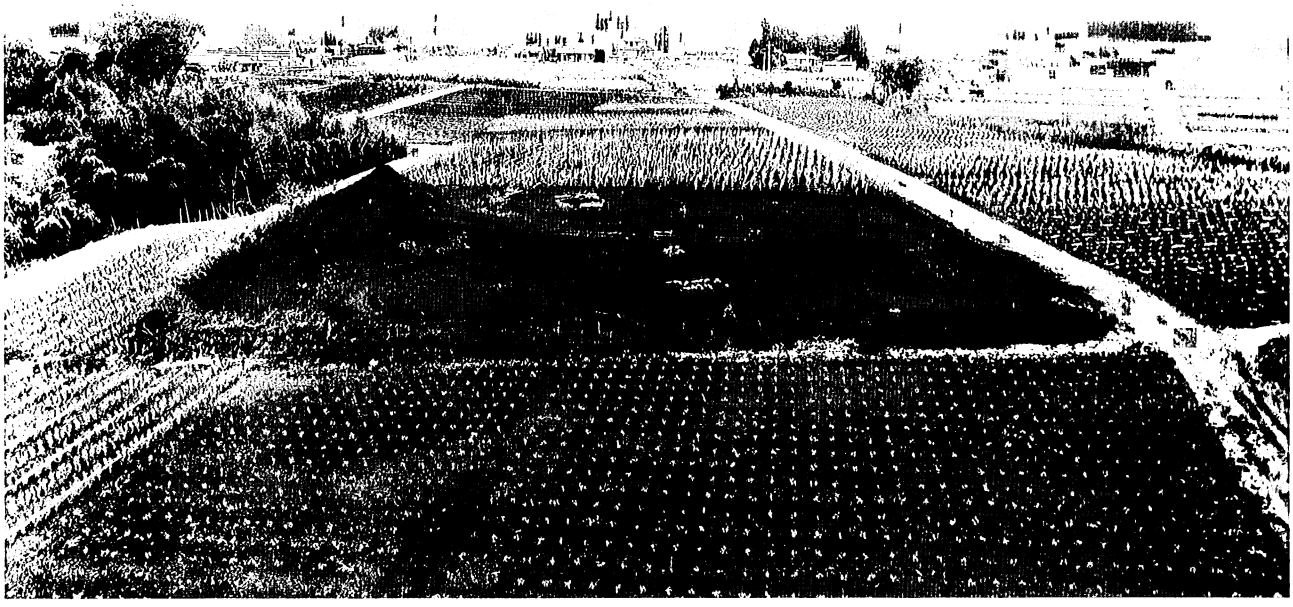

5．Ⅴ－3号石槨蓋石


6．Ⅴ－3号石槨

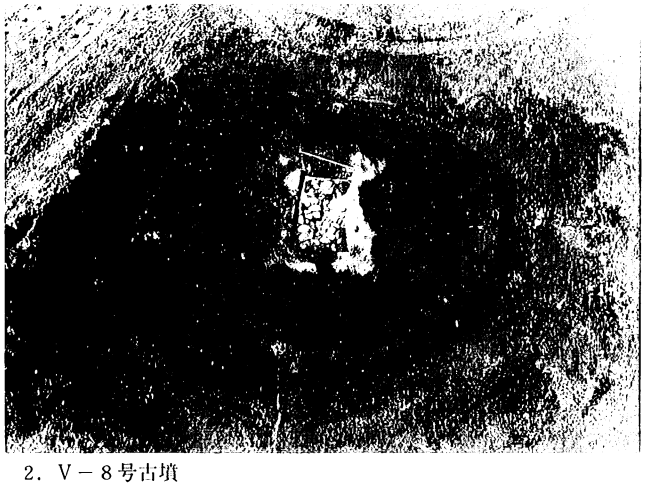

7．Ⅴ－4号石槨


8．Ⅴ－4号石槨

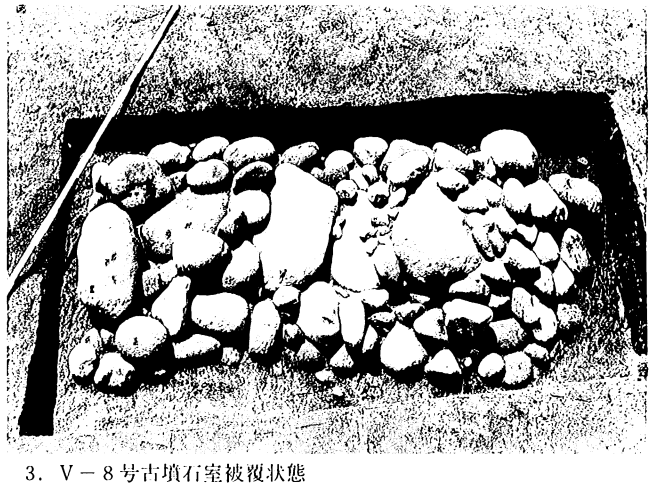
9．Ⅴ－5号石槨



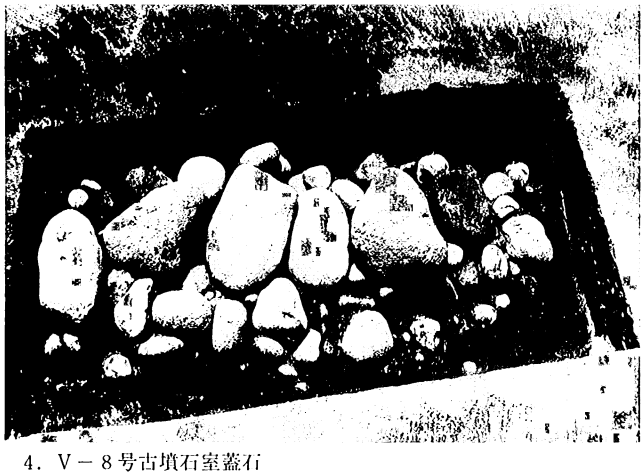
1．第２次調査区（南より）



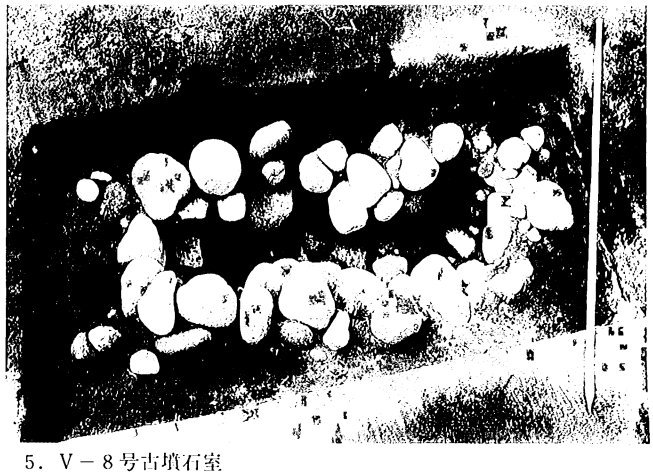
2．Ｖ－８号古墳



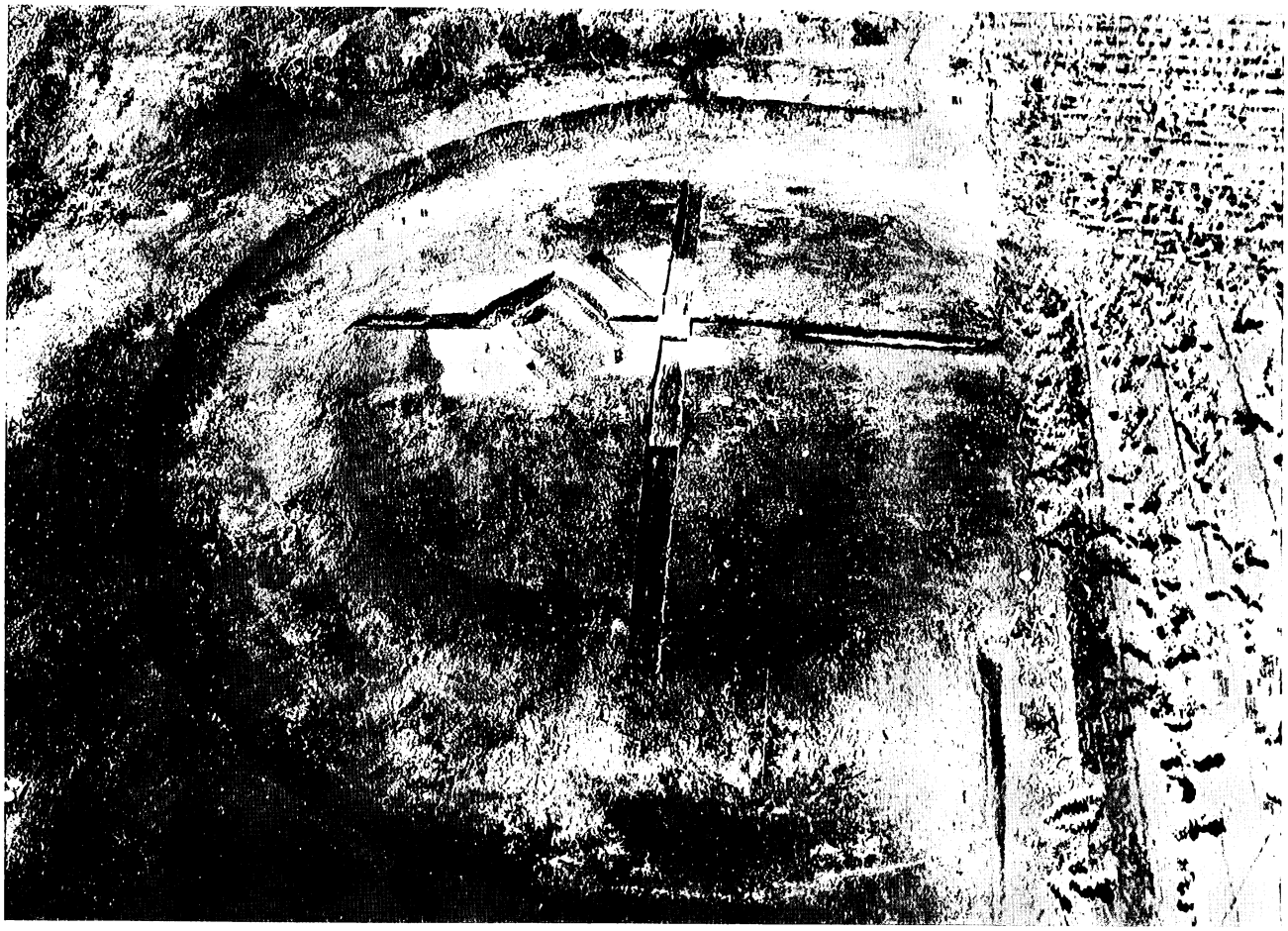
3．Ｖ－８号古墳石室被覆状態



4．Ｖ－８号古墳石室蓋石

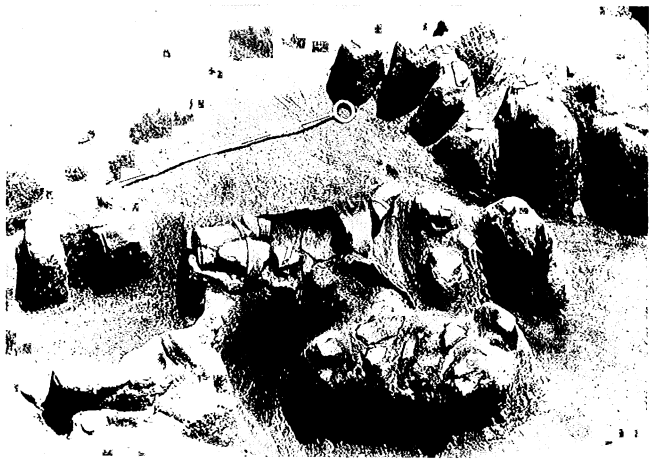


5．Ｖ－８号古墳石室

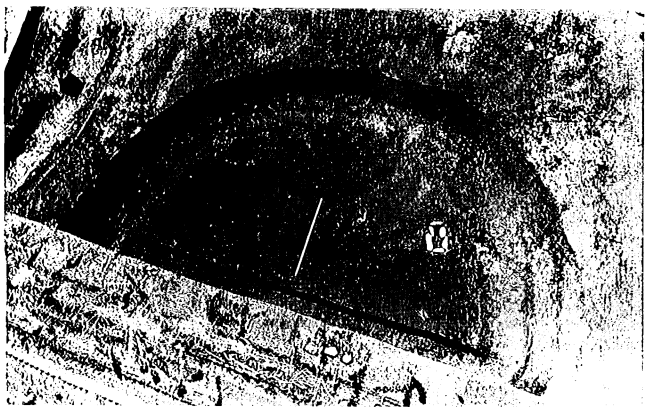


1．Q－1号古墳

2．Q－1号古墳主体部

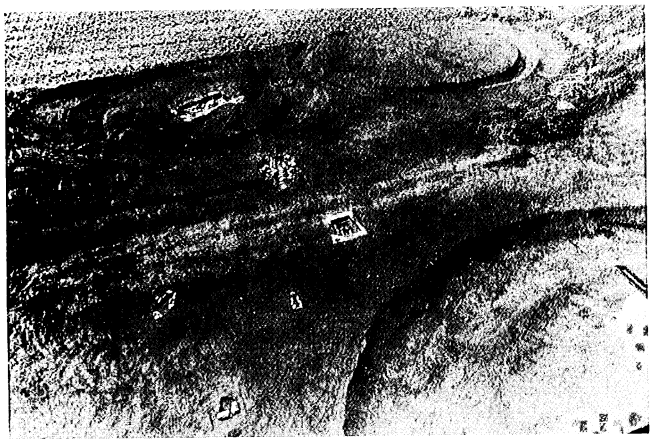


3．Q－1号古墳埴輪出土状態

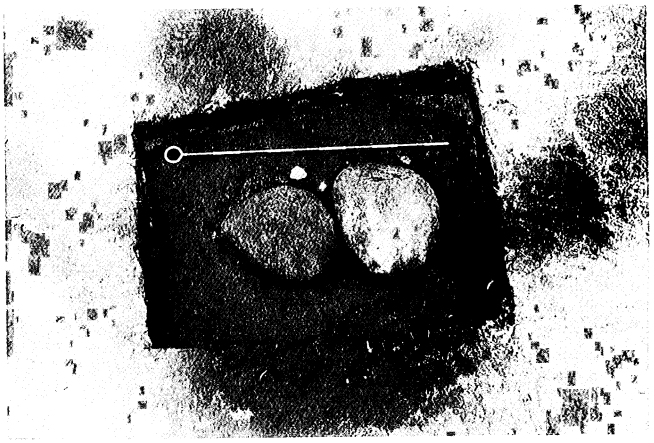


4．V－7号古墳

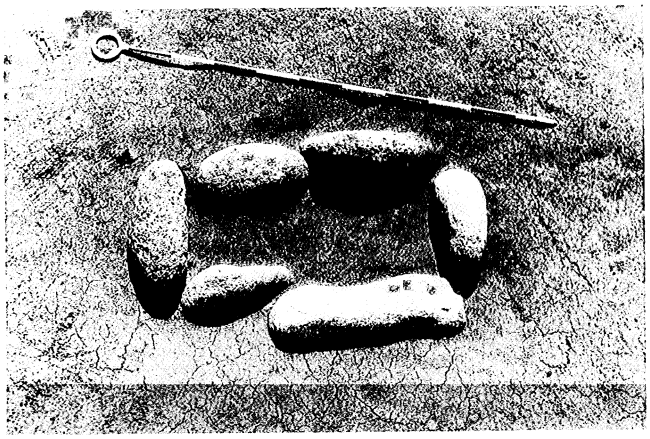
5．V－7号古墳土層堆積状態



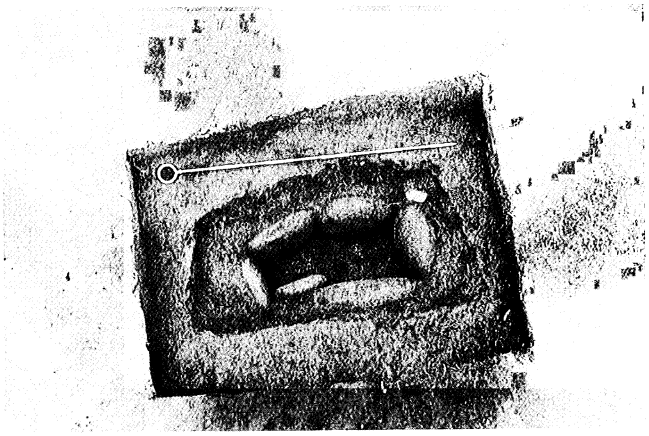
1．第２次調査区石槨群（北より）



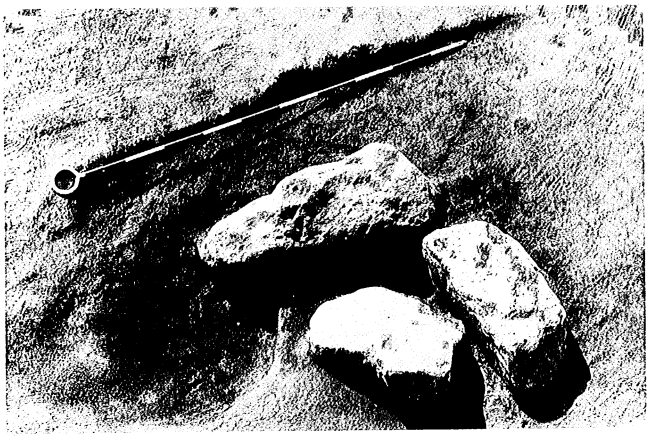
2．Ｖ－11号石槨蓋石



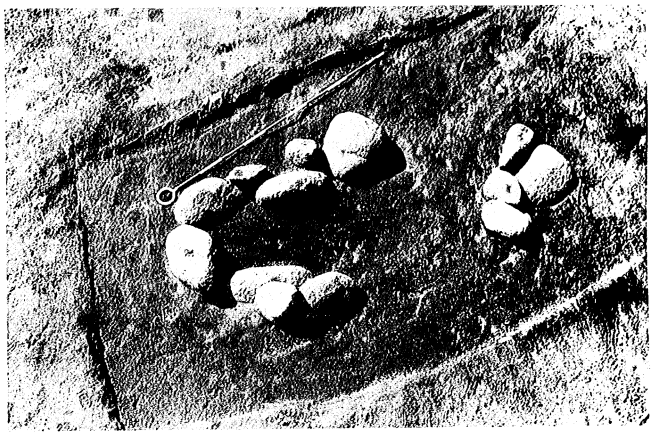
3．Ｖ－10号石槨



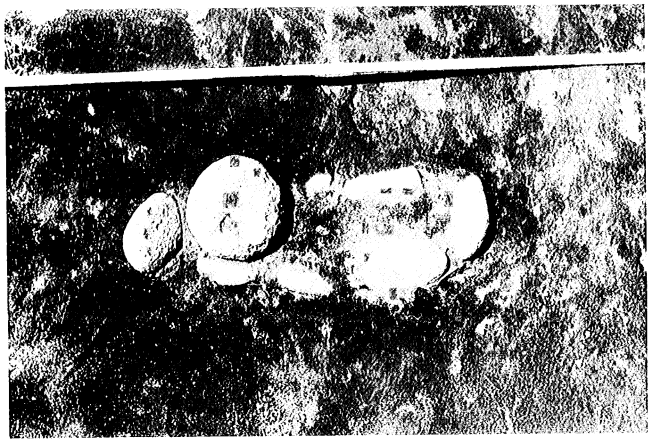
4．Ｖ－11号石槨



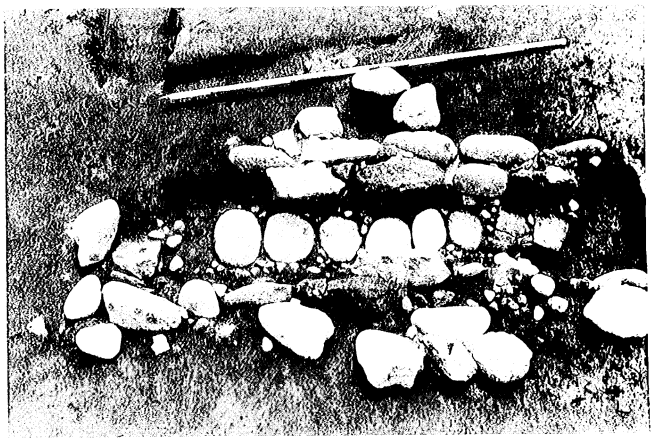
5．Ｖ－９号石槨



6．Ｖ－８号石槨

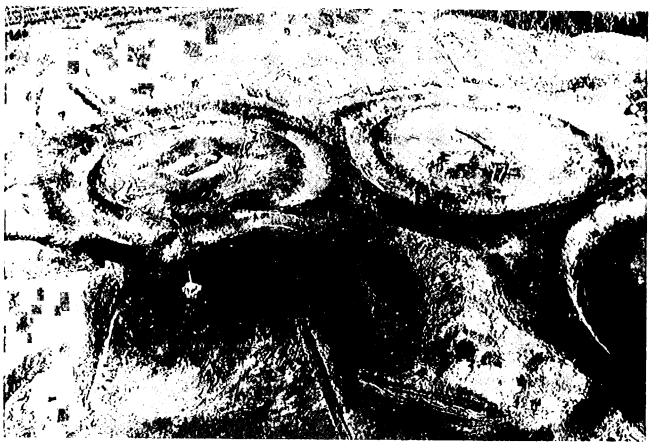


7．Ｖ－７号石槨



8．Ｖ－６号石槨

1. Y・Z・Y_1区（南より）



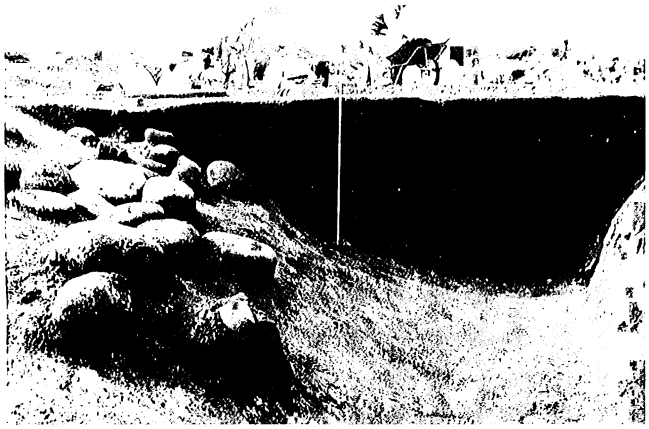
2. Y－1・2　Y_1－1号古墳

3. Y－5　Y_1－2号古墳

4. Y_1－3・4・5号古墳

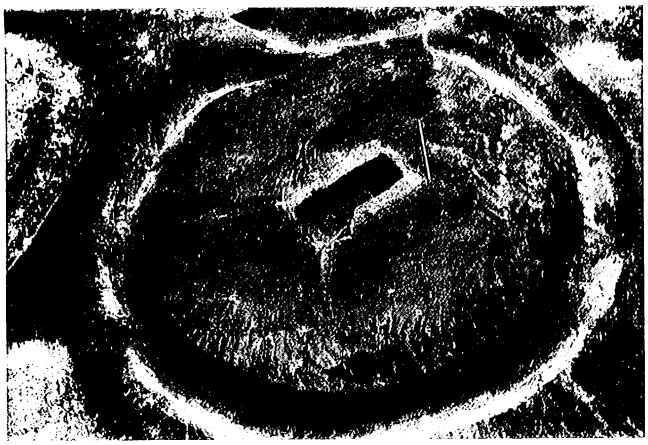
5. Y_1－5号古墳

6. Y・Z区（北より）



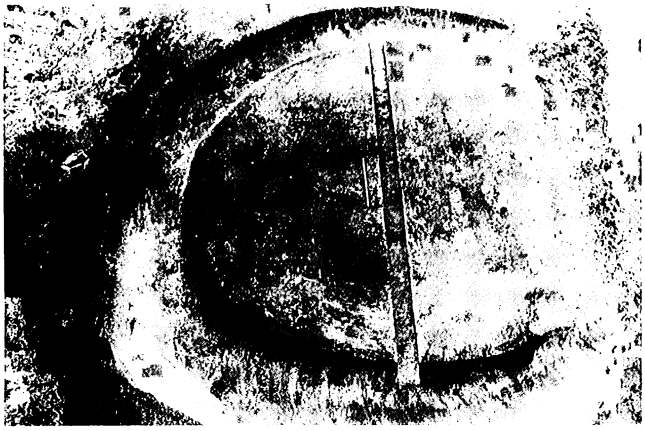
7. Y_1－5号古墳土層堆積状態

8. Z区（北より）



1．Y－7号古墳

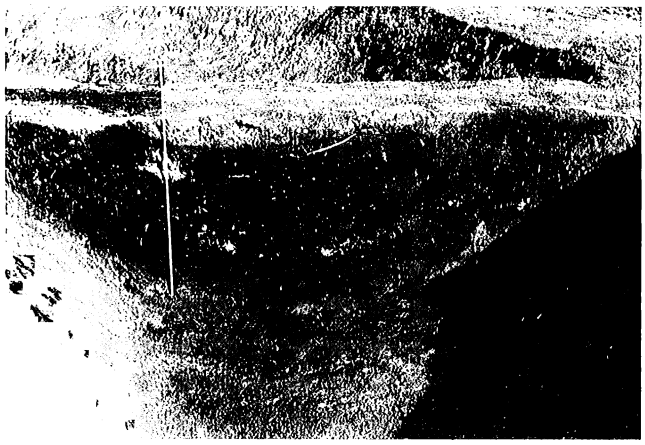
2．Y－7号古墳主体部



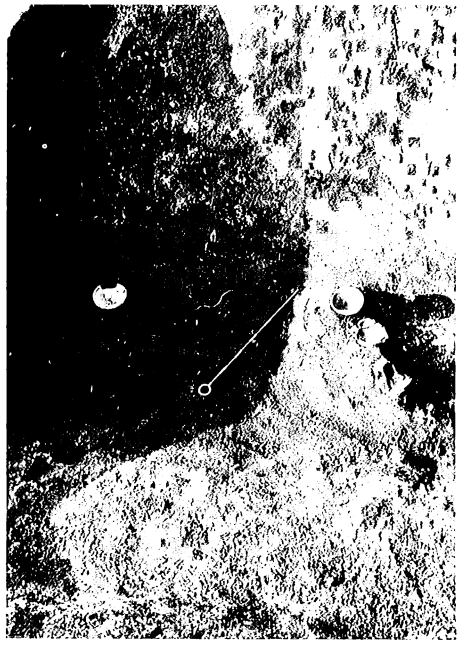
3．Y－4号古墳

4．Y－4号古墳埴輪出土状態

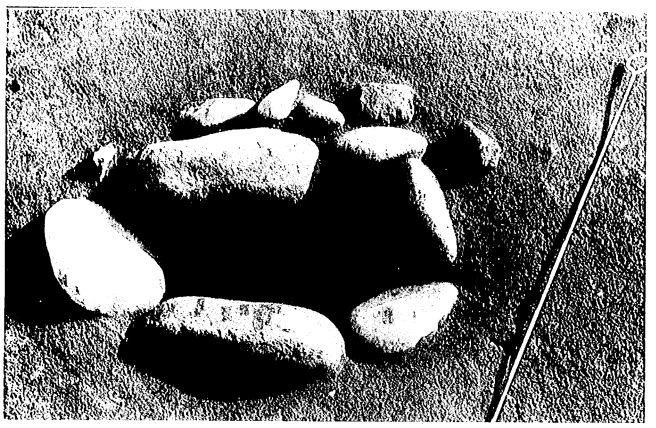
5．Y－5号古墳



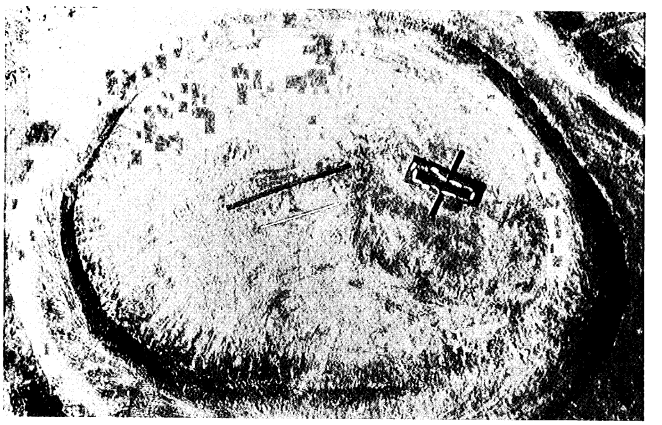
6．Y－5号古墳土層堆積状態



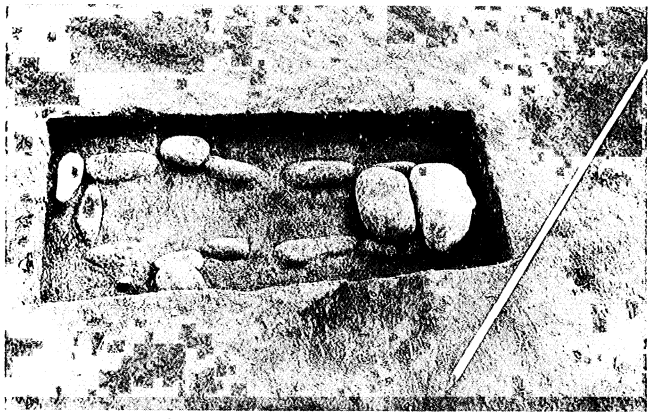
7．Y－5号古墳周堀内遺物出土状態



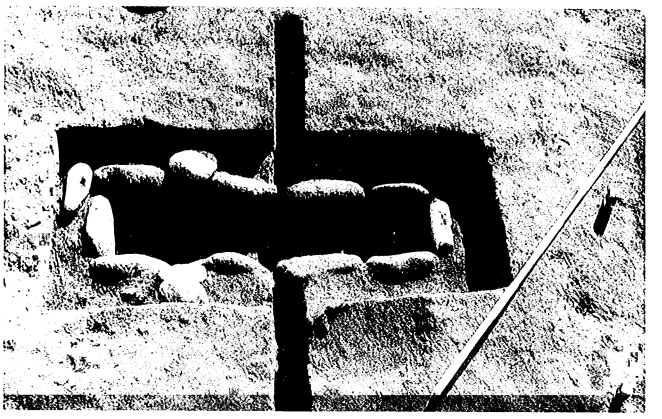
1．Y－1号石槨



2．Y_1－1号古墳

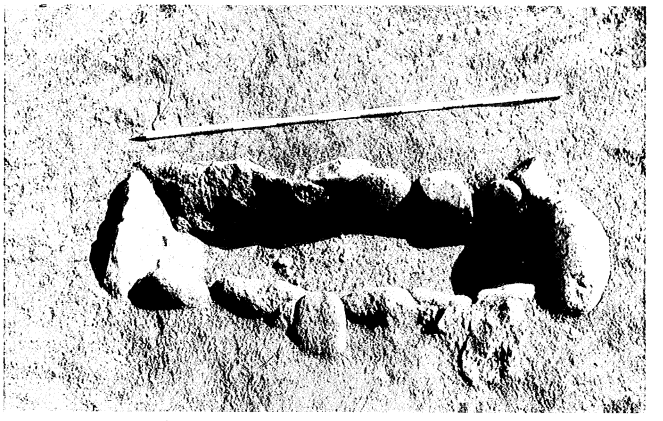


3．Y_1－1号石槨蓋石



4．Y_1－1号石槨

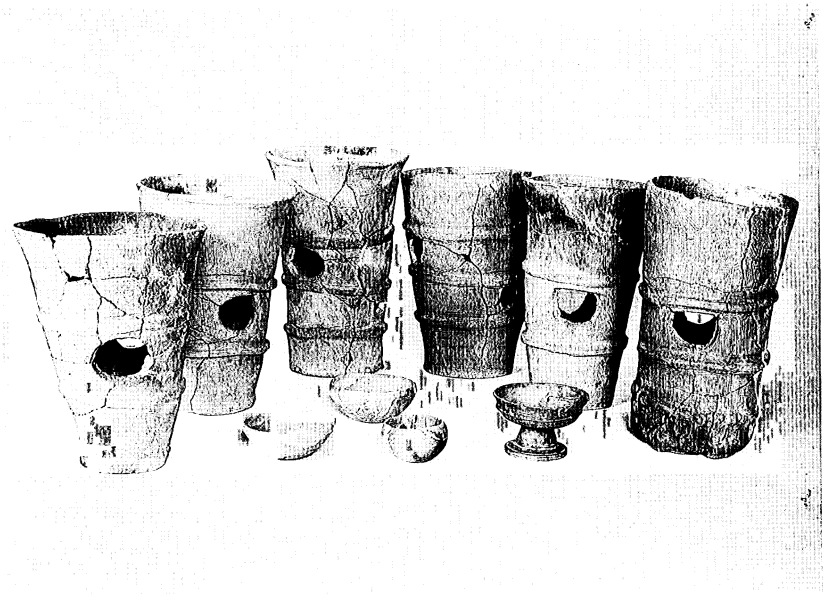
5．Y_1－2号石槨蓋石



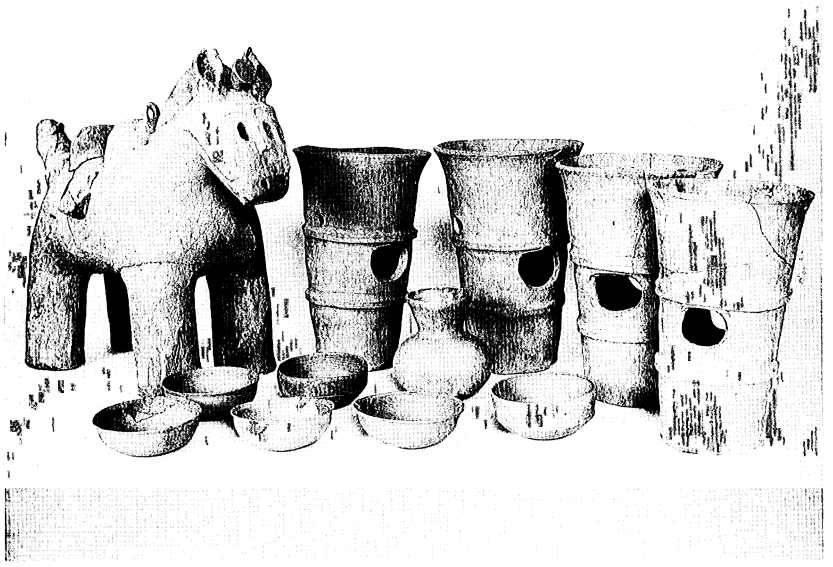
6．Y_1－2号石槨

7．Y_1－1号土壙土層堆積状態

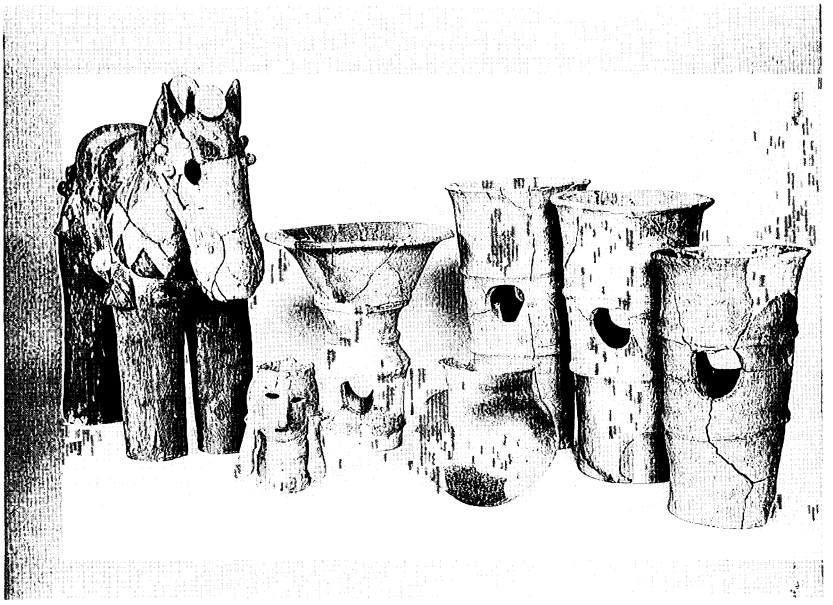
8．Y_1－1号土壙



1．Ｖ－２号古墳出土遺物

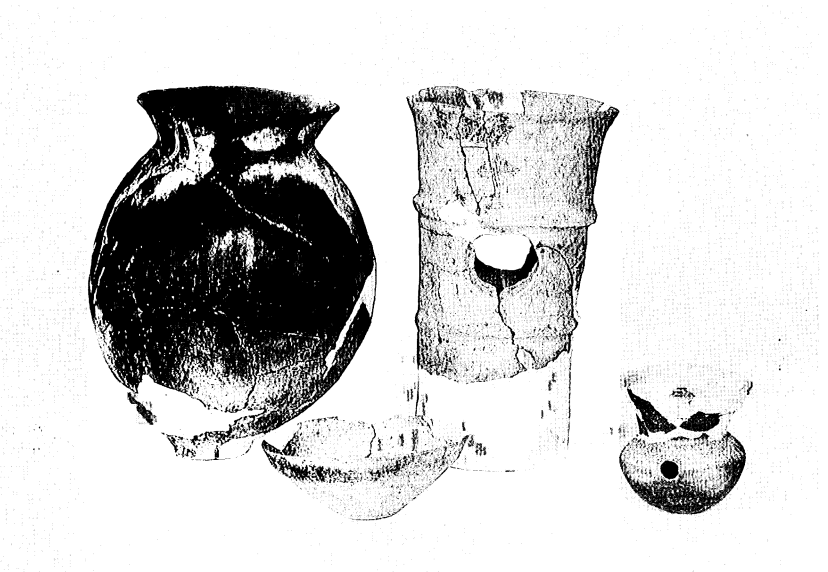


2．Ｖ－４号古墳出土遺物



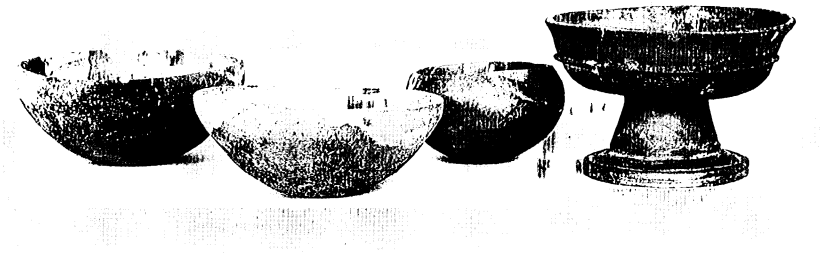
3．Ｐ－６号古墳出土遺物

1．Ｆ－２号古墳出土土器

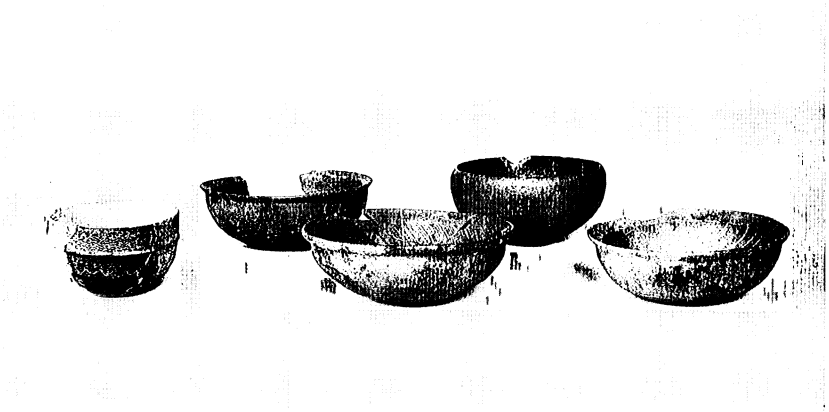


2．Ｆ－１号古墳出土遺物

3．Ａ－１号古墳出土遺物



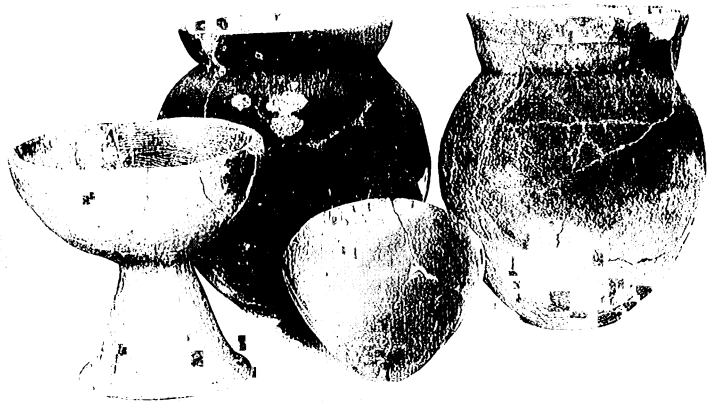
1．Ｖ－２号古墳出土土器



2．Ｖ－７号古墳出土土器

3．Ｖ－４号古墳出土土器

4．Ｙ－５号古墳出土土器



1．ＧＨ－９号住居出土土器

2．ＶＨ－１号住居出土土器

3．ＧＨ－６号住居出土土器

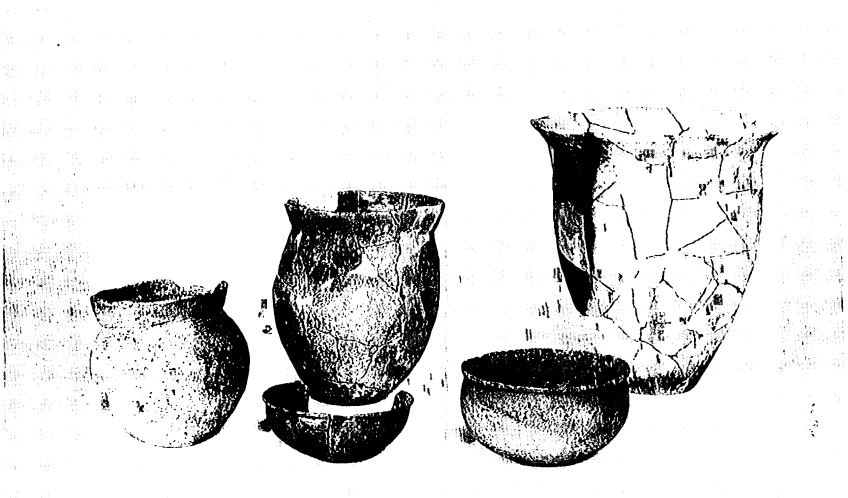
1．ＬＨ－２号住居出土土器

2．ＬＨ－１号住居出土土器

3．ＫＨ－２号住居出土土器

1．ＢＨ－４号住居出土土器

2．ＢＨ－２号住居出土土器



3．ＧＨ－10号住居出土土器

A-1K-19

A-1K-9

A-1K-24

A-1K-14

A-1K-802

A-1K-18

A-1K-823

A-1K-17

A-1K-330

A-1K-331

A-1K-7

A-1K-121

A-1K-11

A-1K-25

A-1K-721

A-1K-8

A-1K-3

A-1K-16

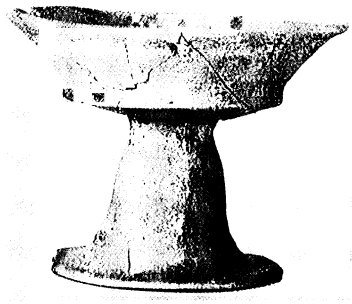
A-1K-722

A-1K-329

A-1K-23

A-1K-743

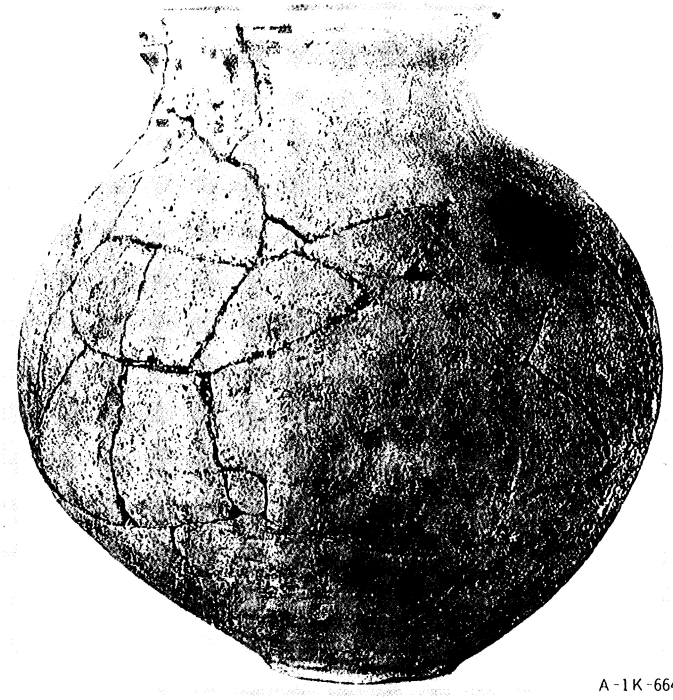
A-1K-21

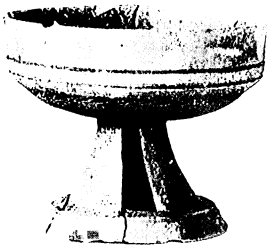

A-1K-20

A-1K-13

A-1K-22

A-1K-12

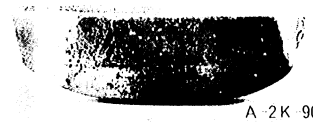

A-1K-664

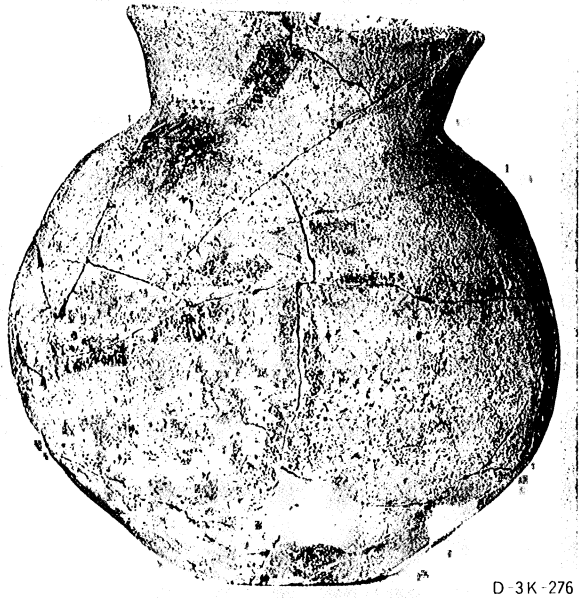

A-1K-2

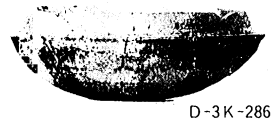
A-1K-1

A-1K-15

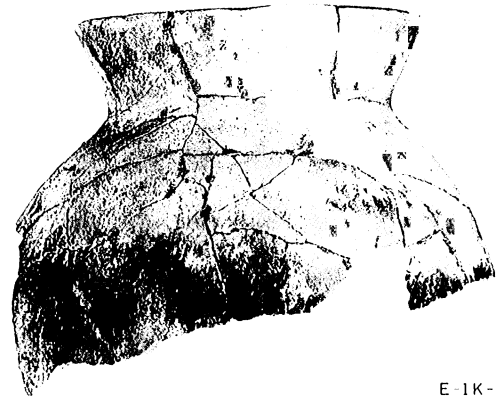
A-2K-83


A-2K-90


D-3K-276


D-3K-286

E-1K


E-1K-1

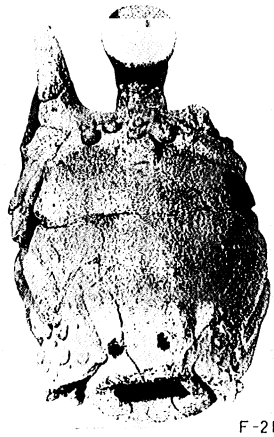
F-1K-498

F-1K-1435

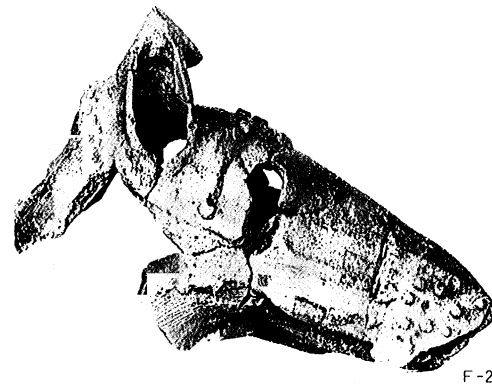
F-1K-479

F-2K-1245

F-2K-1251

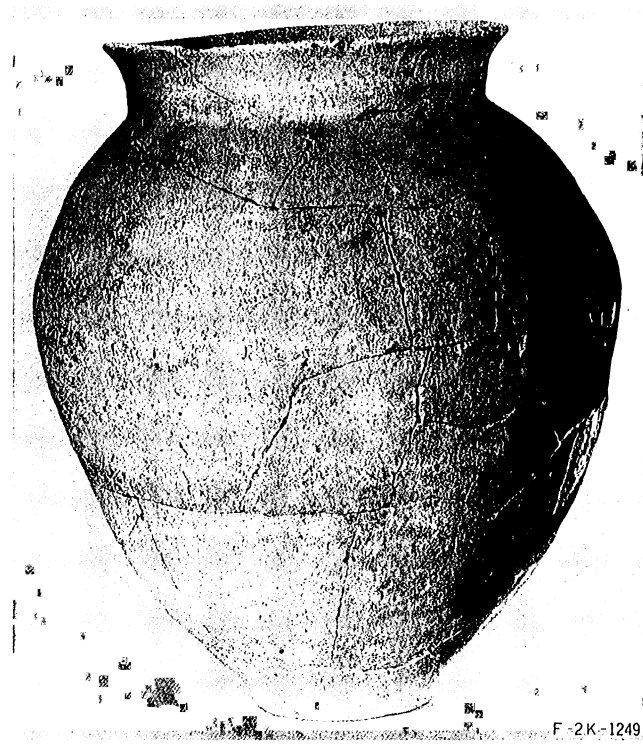


F-2K



F-2K

F-2K-800



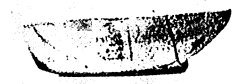
F-2K-1249

I-1K-13

I-1K

I-1K-1

D-1K-16



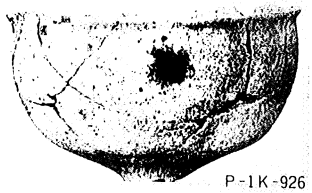
D-2K-1

D-1D

D-2D

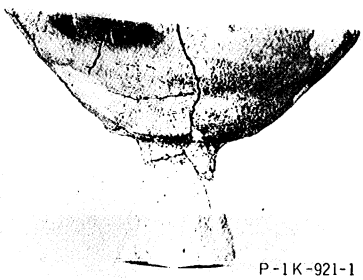
P-1K

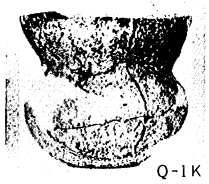
P-1K-1930


P-1K-926

P-6K

P-1K-1986

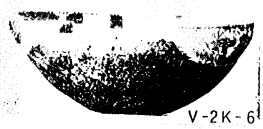

P-1K-921-1

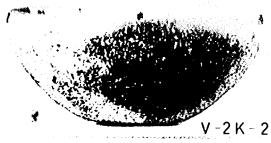

Q-1K

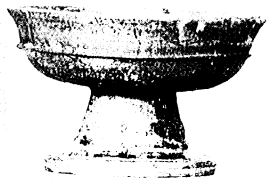
Q-1K

P-7K

V-2K-1


V-2K-6

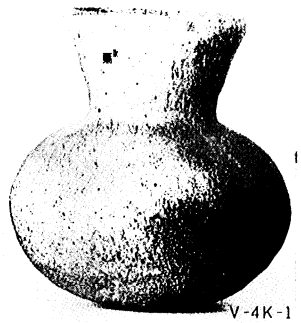

V-2K-2


V-2K-4

V-4K-4

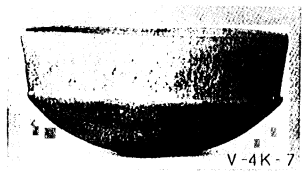
V-4K-5

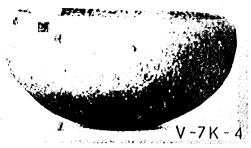
V-4K-6


V-4K-1

V-4K-3

V-4K-2

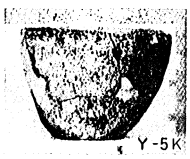

V-4K-7


V-7K-4

V-7K-2

V-7K-3

V-7K-1

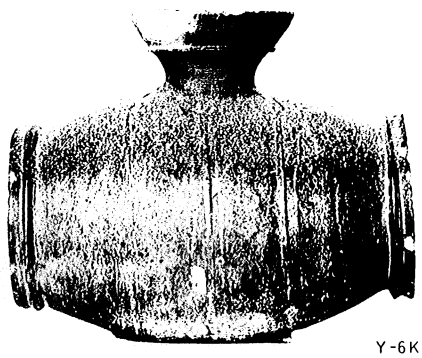

Y-5K

Y-5K-2

Y-5K-3

Y-5K-1

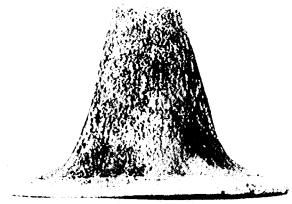
Y-5K-4


Y-6K

PL34

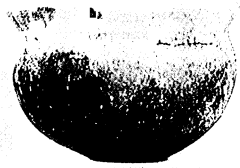
A H-1-373

A H-1-378


A H-1-380

A H-1-377

A H-1-379


A H-1-226

B H-3-21 B H-3-4 B H-3-22

B H-3-12

B H-3-9

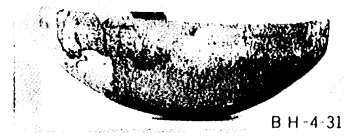
B H-3-10

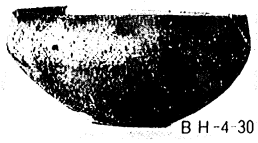
B H-3-17

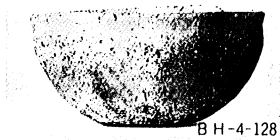
B H-4-33-2

B H-4-33-1

B H-4-129

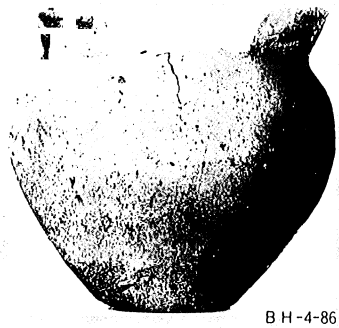

B H-4-31


B H-4-30

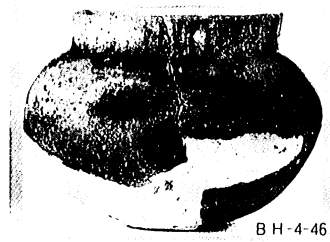

B H-4-128

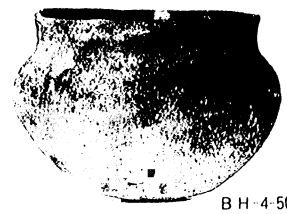
B H-4-28

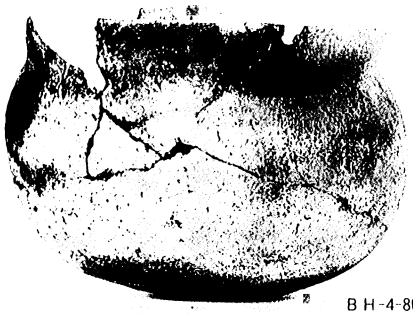
B H-4-87

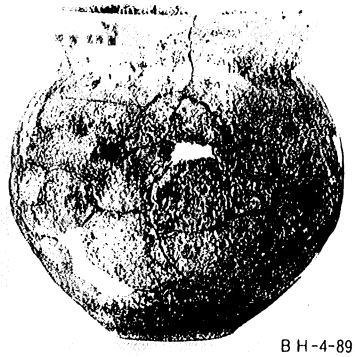

B H-4-86

B H-4-76


B H-4-46

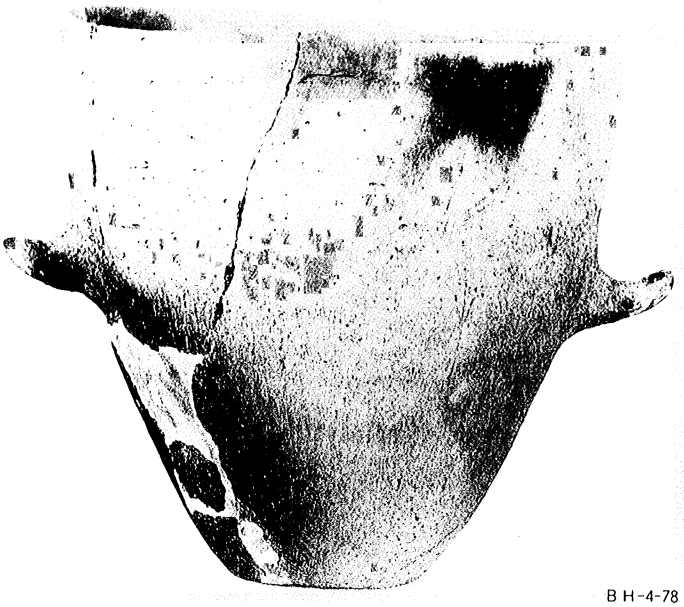

B H-4-50


B H-4-80

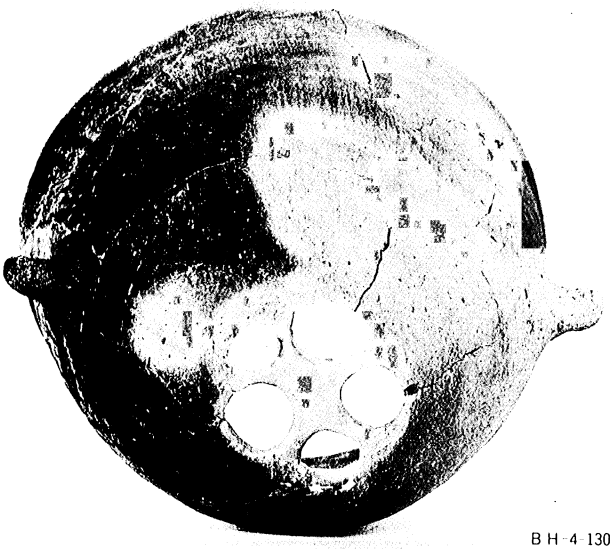

B H-4-89

B H-4-126

B H-4-130



B H-4-78



B H-4-130

B H-4-79

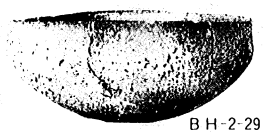
B H-4-65

B H-2-53

B H-2-62

B H-2-52

B H-2-43

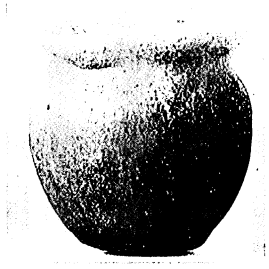

B H-2-29

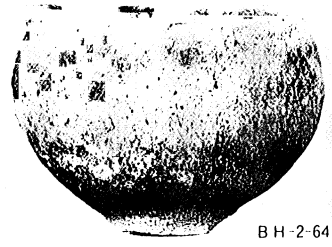
B H-2-10

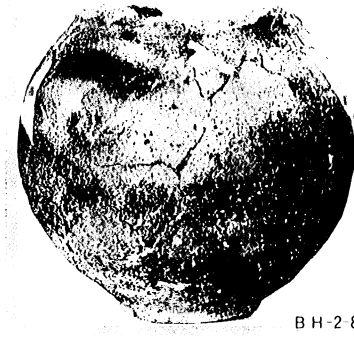
B H-2-60

B H-2-30

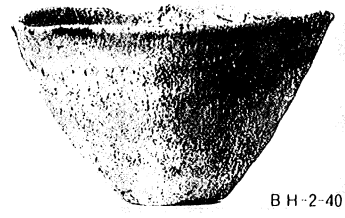
B H-2-63


B H-2-38

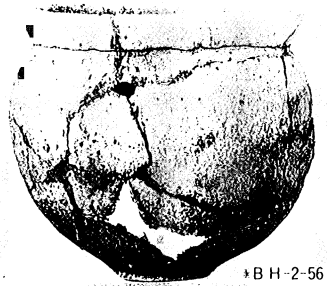

B H-2-64

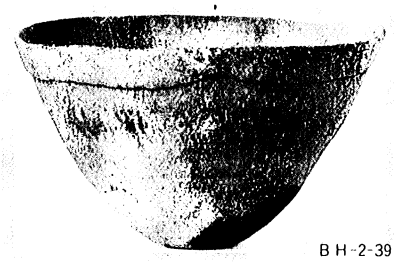

B H-2-85

B H-2-44


B H-2-40

B H-2-34


B H-2-56


B H-2-39

B H-2-79

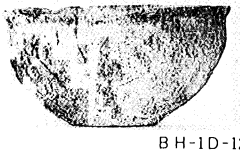
B H-2-55

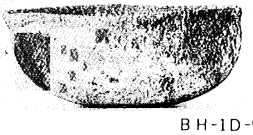
B H-2-42

B H-1-104

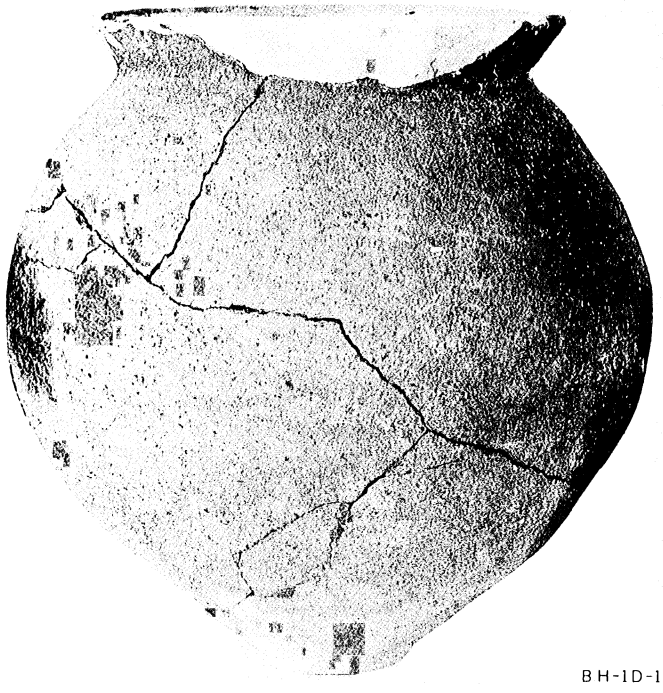
B H-1-152

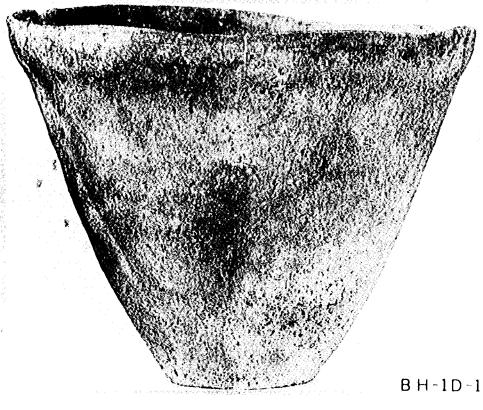
B H-1D-14

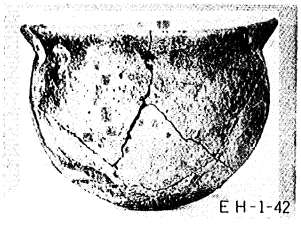

B H-1D-12


B H-1D-9

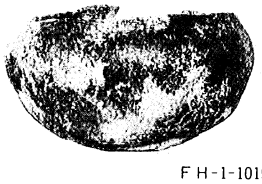
B H-1D-7

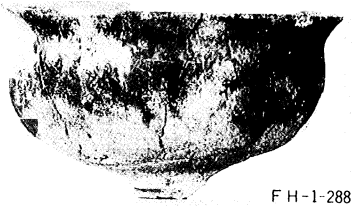

B H-1D-1

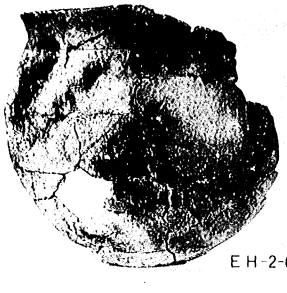

B H-1D-11

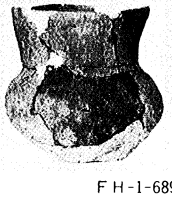

E H-1-42

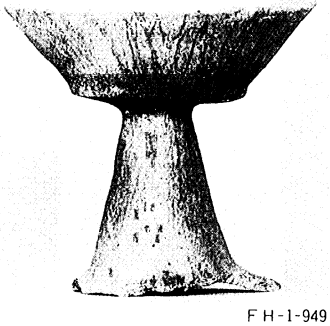
F H-1-451


F H-1-1015


F H-1-288

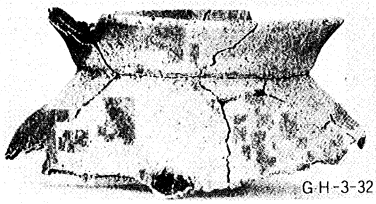

E H-2-6

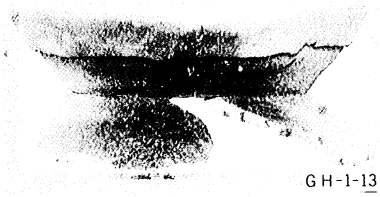

F H-1-689


F H-1-949

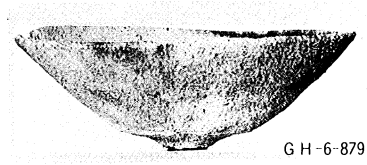
F H-1-260

PL38


G H-3-32


G H-1-13

G H-6-549

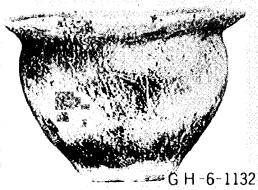

G H-6-879

G H-6-886

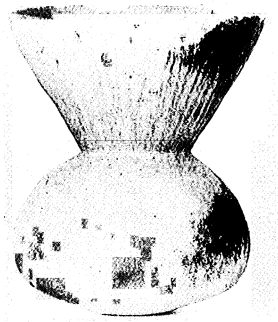
G H-6-869

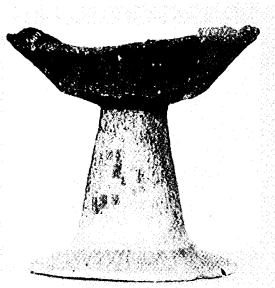
G H-6-870

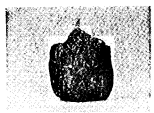
G H-6-885


G H-6-1132

G H-6-884

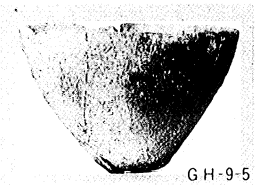

G H-6-901


G H-7-4


G H-8-16

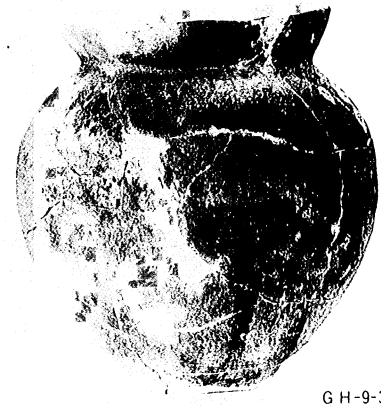
G H-7-126

G H-7-57


G H-9-5

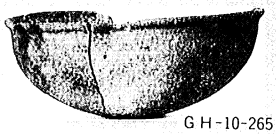
G H-9-2

G H-9-4

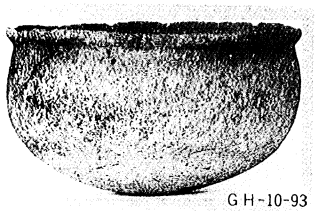

G H-9-3

G H-10-119

G H-10-126


G H-10-265

G H-10-18

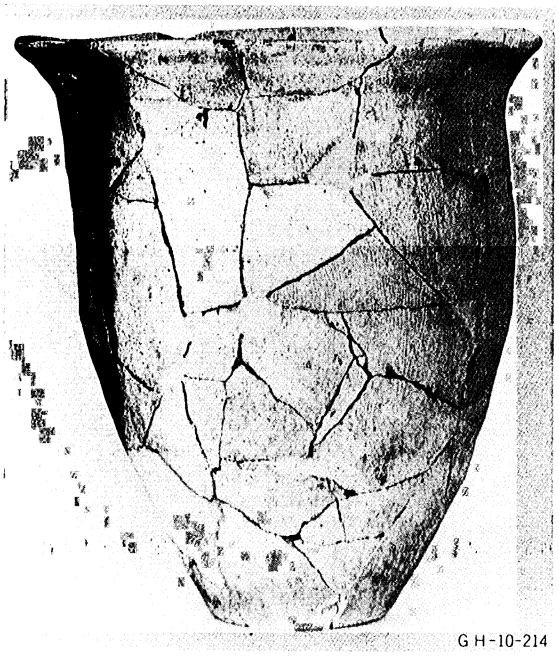

G H-10-93

G H-10-92

G H-10-81

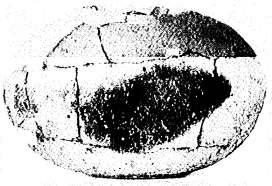
G H-10-153

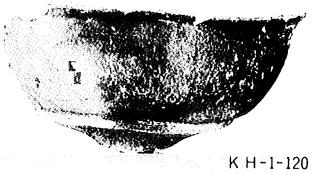
G H-10-270


G H-10-214

G H-10-66

K H-1-126

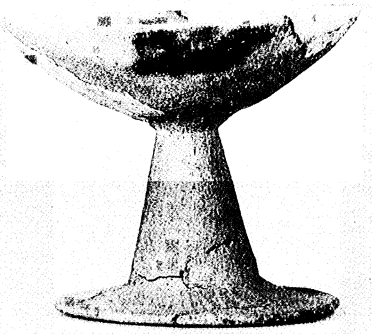

K H-1-125


K H-1-120

K H-1-208

K H-1-222

K H-1-11


K H-1-121

PL40

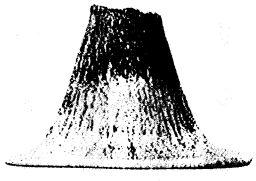
HH-1-74

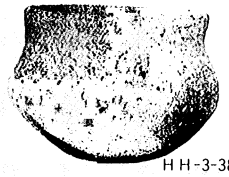
HH-1-75

HH-1-53

HH-1-68

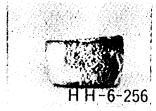
HH-3-114

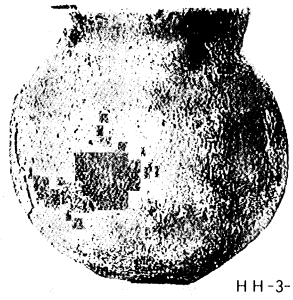

HH-3-84


HH-3-38

HH-3-14

HH-6-49

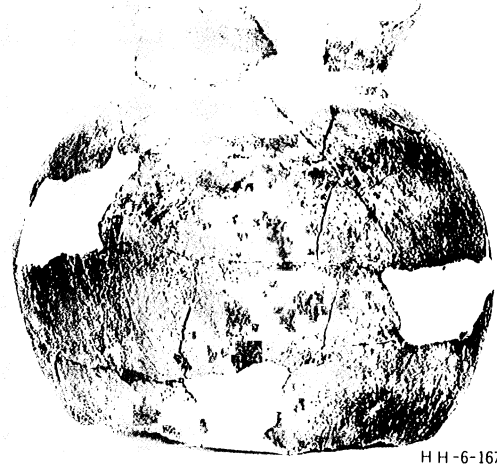

HH-6-256


HH-3-1

HH-6-578

HH-6-128

HH-6-123

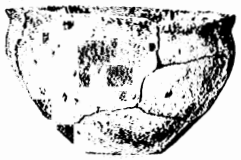

HH-6-167

HH-6-599

KH-2-96

KH-2-53-1

KH-2-187


KH-2-59

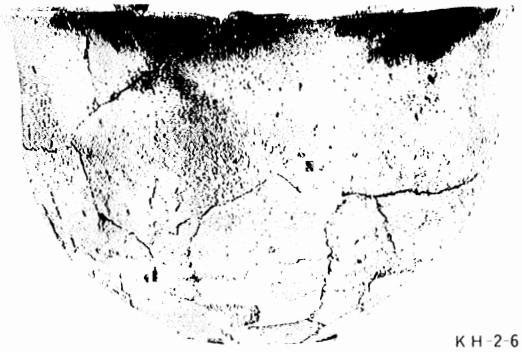
KH-2-165

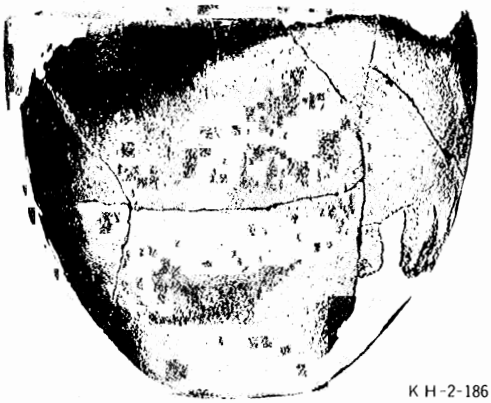
KH-2-147

KH-2-132

KH-2-51

KH-2-56


KH-2-6

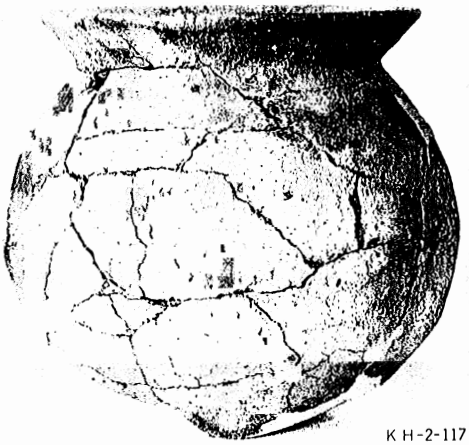

KH-2-186

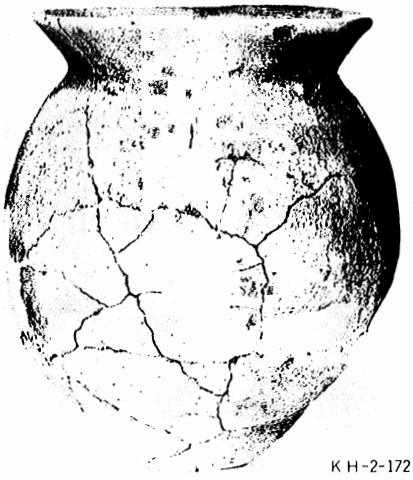
KH-2-149

KH-2-174

KH-2-129

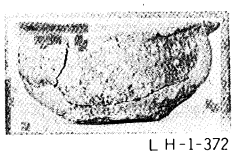
KH-2-91

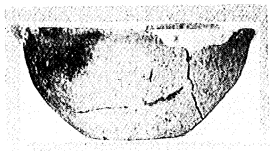

KH-2-117

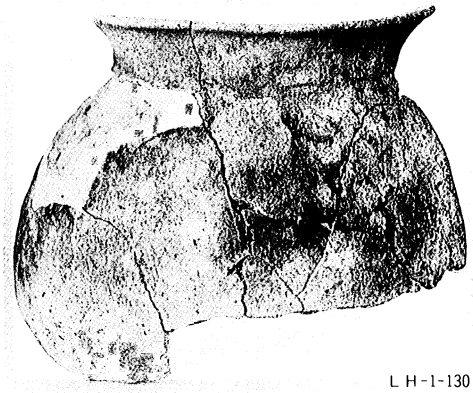

KH-2-172

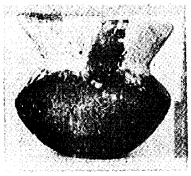
PL42

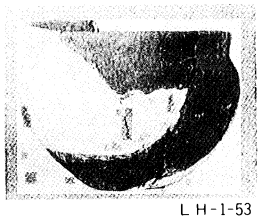
L H-1-413

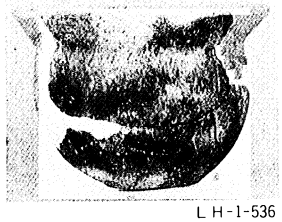

L H-1-372

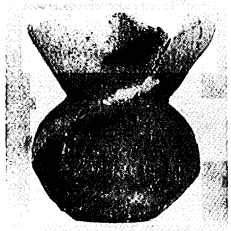

L H-1-77

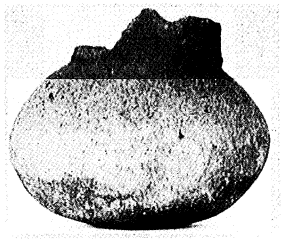

L H-1-130

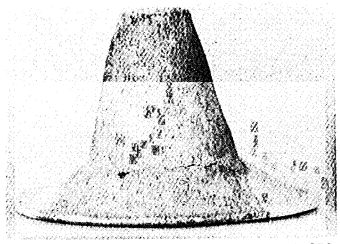

L H-1-73

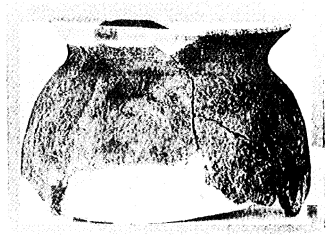

L H-1-53

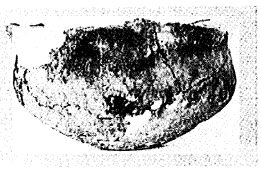

L H-1-536


L H-1-438

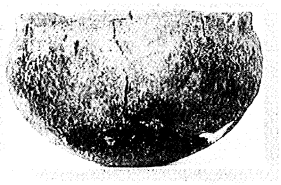

L H-1-491

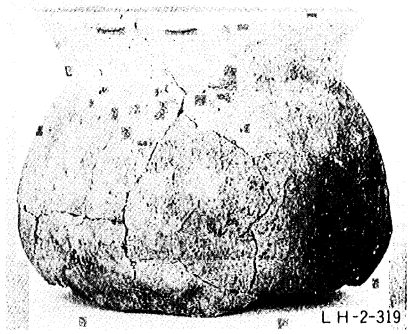

L H-1-250

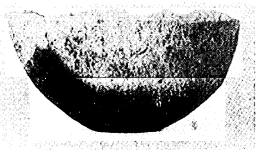

L H-2-237

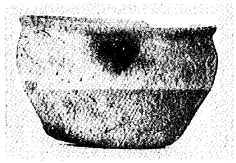

L H-2-380

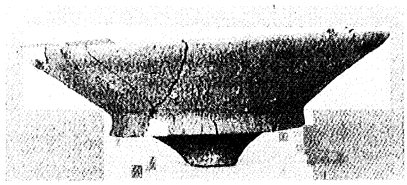
L H-2-323

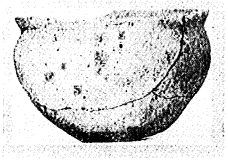

L H-2-321

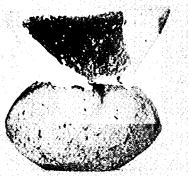

L H-2-319


L H-2-325


L H-2-322


L H-2-320


L H-2-324


L H-2-956

L H-2-595

L H-2-686

HH-7-180-1

HH-7-185

HH-7-178

HH-7-187

HH-7-180-2

HH-7-179

VH-1-1

VH-1-76

VH-1-5

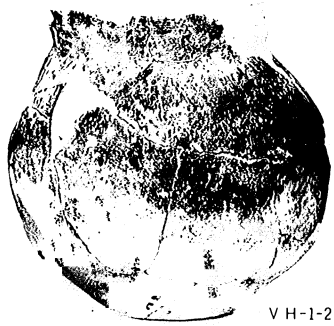
VH-1-2

VH-1

VH-1-115

VH-1-6

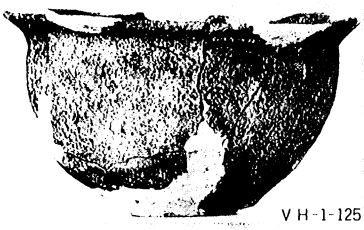
VH-1-26


VH-1-21

VH-1-10

VH-1-27

VH-1-25

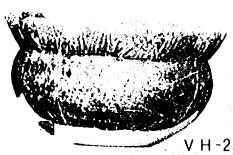

VH-1-125

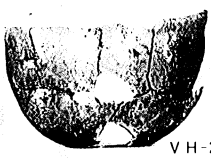
VH-2-93

VH-2-48

VH-2-94

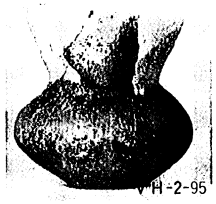
VH-1-85


VH-2


VH-2

VH-2

VH-2-1


VH-2-95

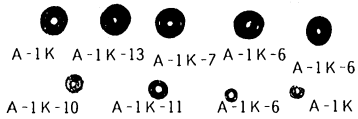
PL44

A-1K-3 A-1K-12 A-1K-2

A-1K A-1K-1

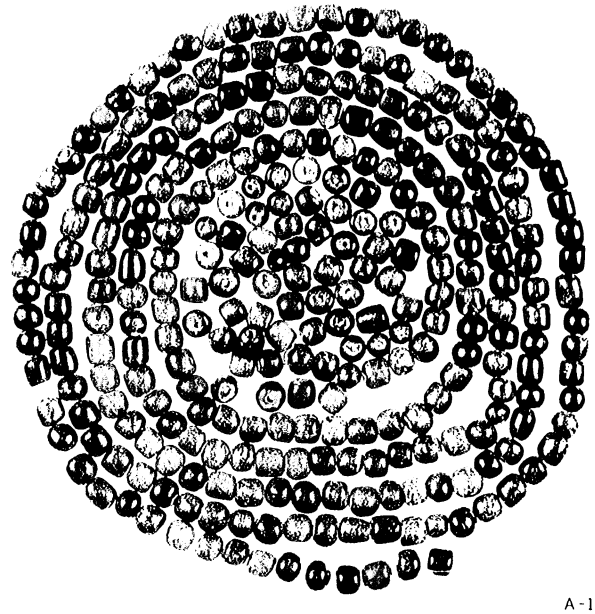
A-1K

A-1K-1 A-1K-5 A-1K-4 A-1K-8

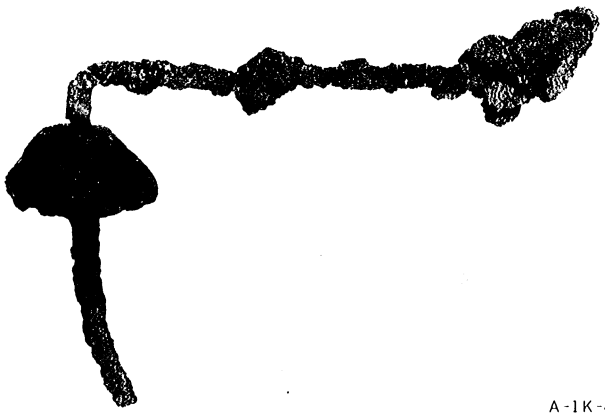


A-1K A-1K-13 A-1K-7 A-1K-6 A-1K-6 A-1K-10 A-1K-11 A-1K-6 A-1K

A-1K-6



A-1K



A-1K-4

F-1K

F-1K-1078

KH-1

KH-2

LH-2-817

BH-4-43

GH-10-68

V-8K

G-2K-2 G-2K-1

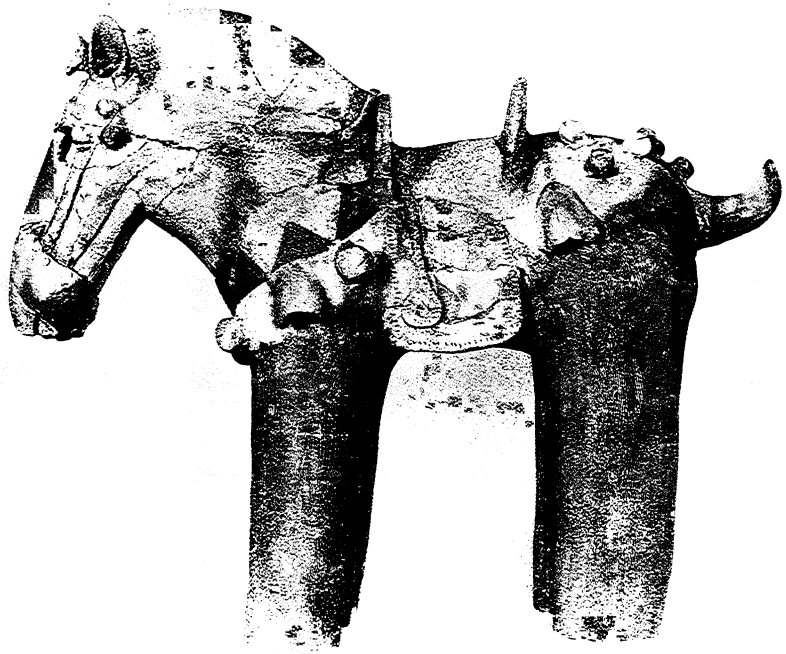
HH-6-472

HH-6-149

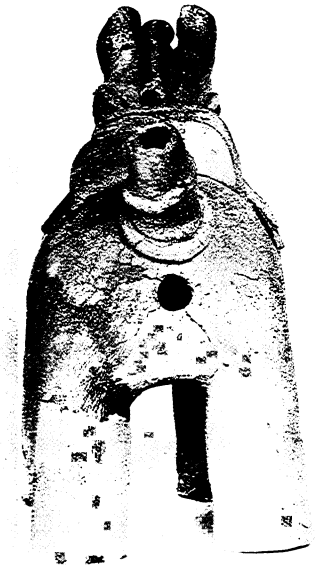
HH-6

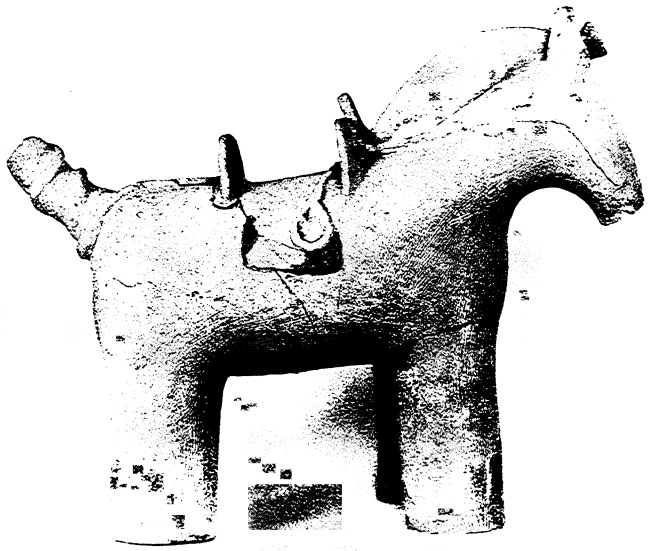
V-9K

GH-6

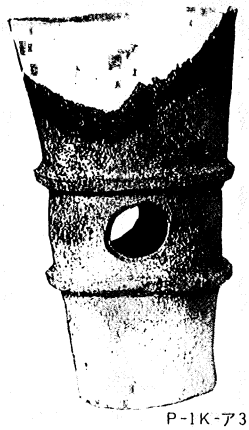


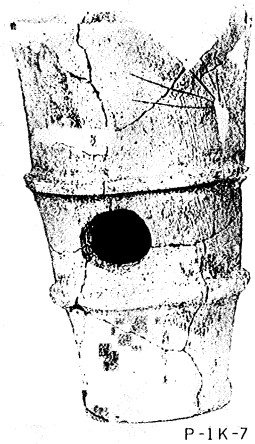
P－6号古墳出土埴輪馬

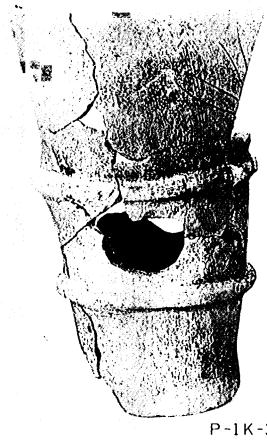


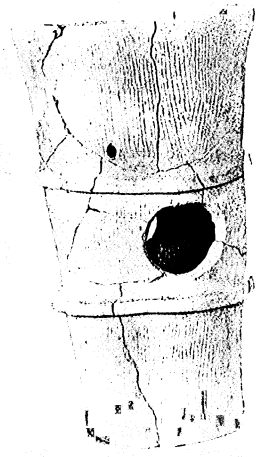


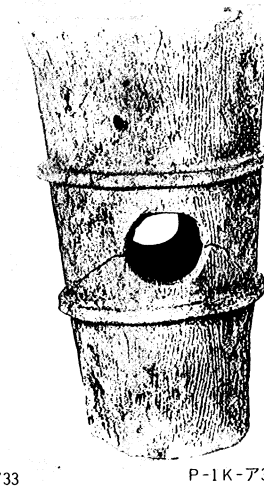
V－4号古墳出土埴輪馬

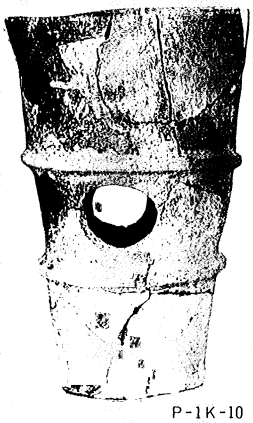

P-1K-ア31

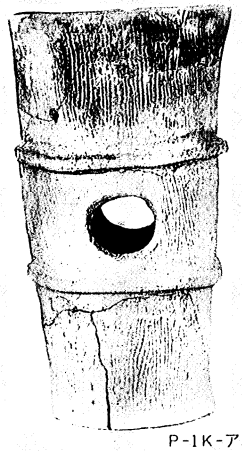

P-1K-7

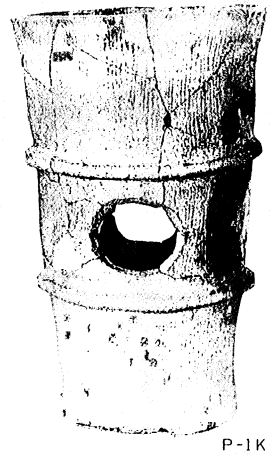

P-1K-33

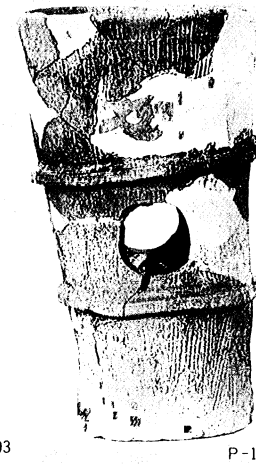

P-1K-ア33

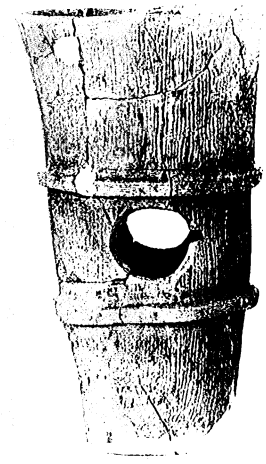

P-1K-ア32

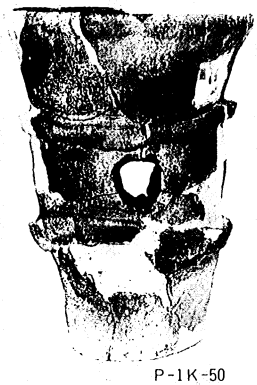

P-1K-10


P-1K-ア34

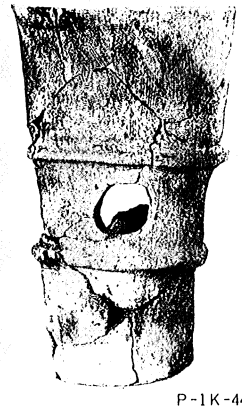

P-1K-93

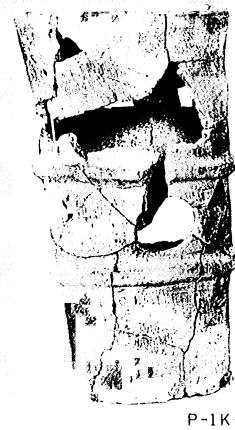

P-1K-11

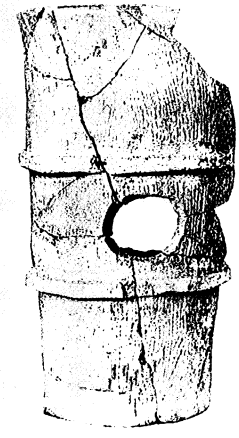

P-1K-84

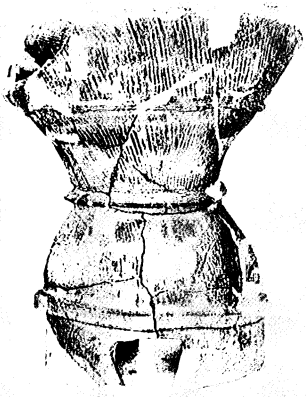

P-1K-50

P-1K-9

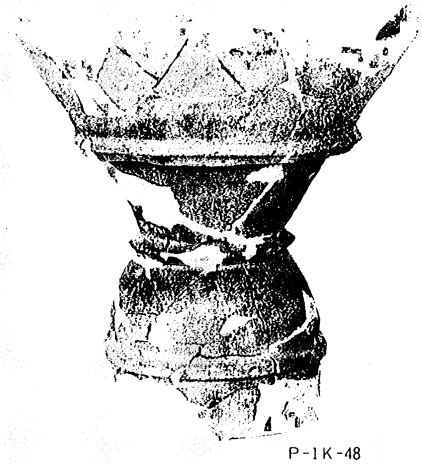

P-1K-44

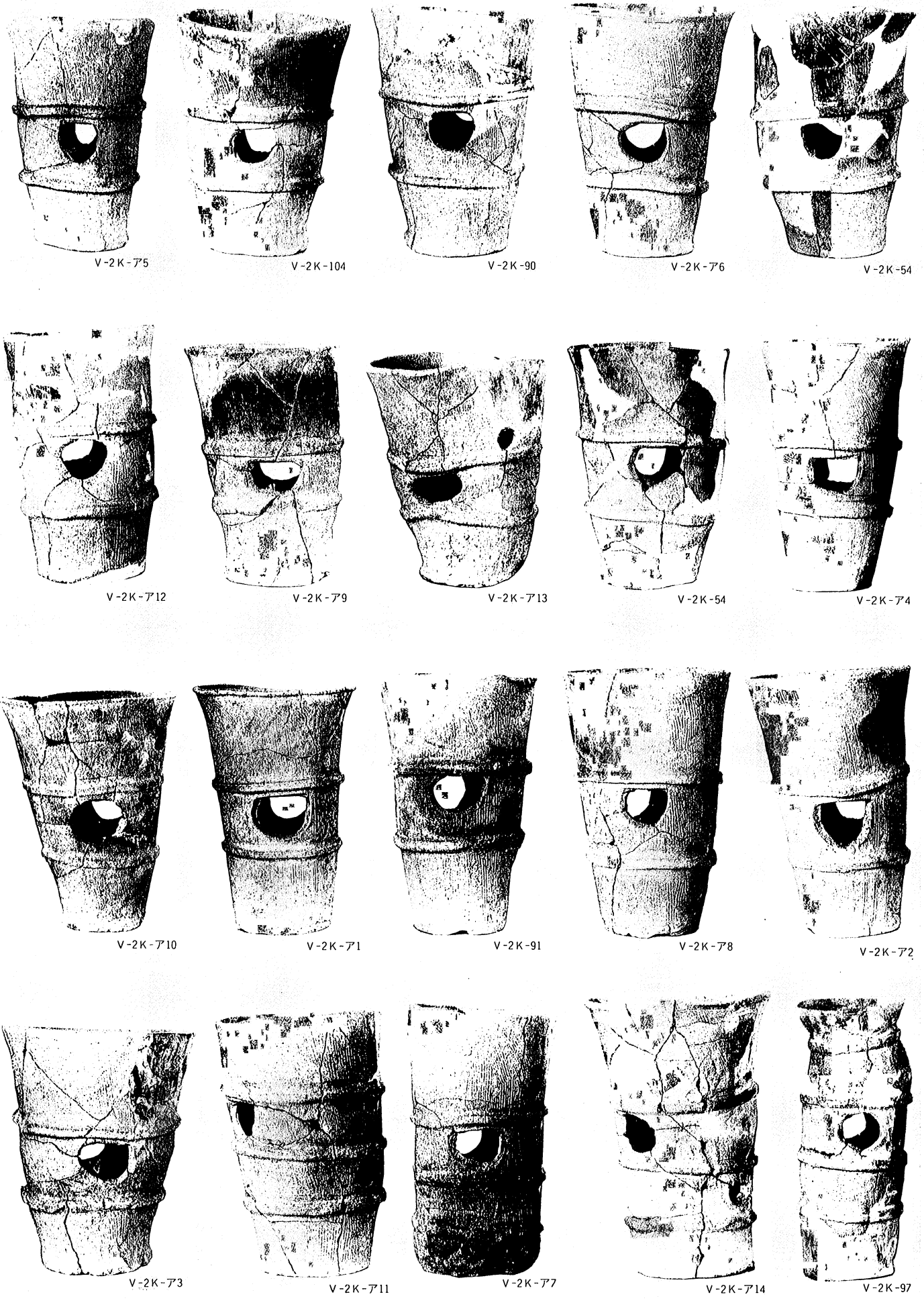

P-1K-43


P-1K-42


P-1K-53

P-1K-48


P-1K-48

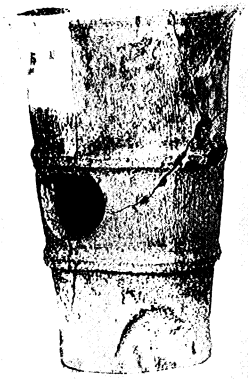


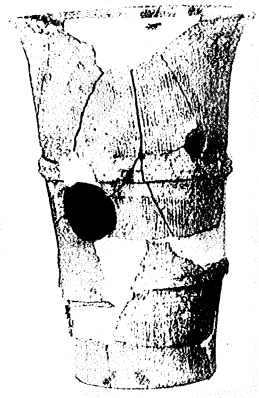
V-2K-ア5　V-2K-104　V-2K-90　V-2K-ア6　V-2K-54

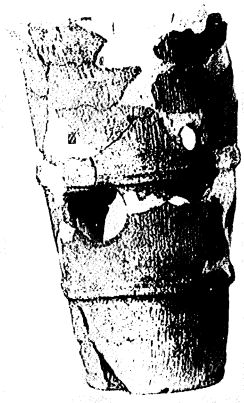
V-2K-ア12　V-2K-ア9　V-2K-ア13　V-2K-54　V-2K-ア4

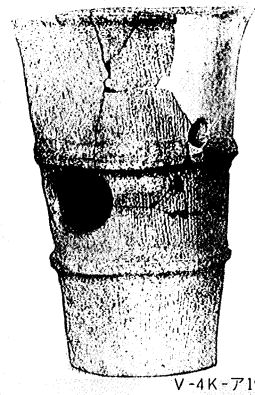
V-2K-ア10　V-2K-ア1　V-2K-91　V-2K-ア8　V-2K-ア2

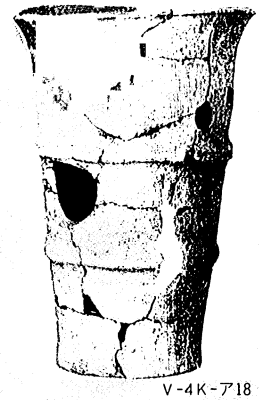
V-2K-ア3　V-2K-ア11　V-2K-ア7　V-2K-ア14　V-2K-97

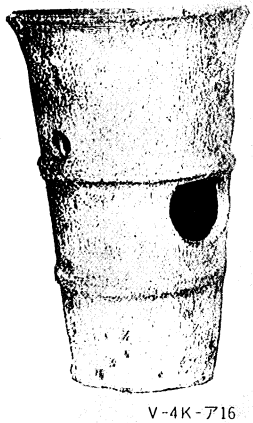

V-4K-85

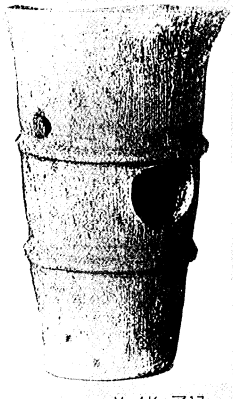

V-4K-4

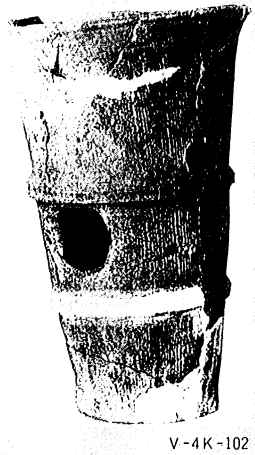

V-4K-1

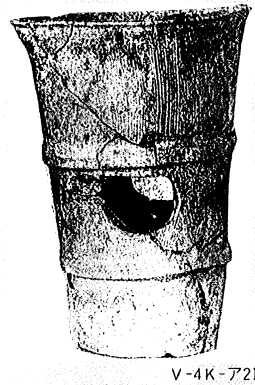

V-4K-ア19

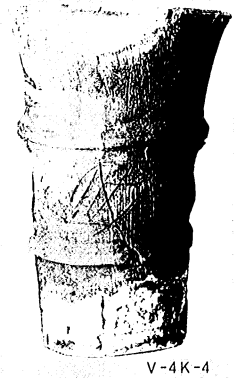

V-4K-ア18

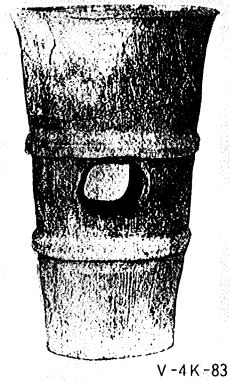

V-4K-ア16

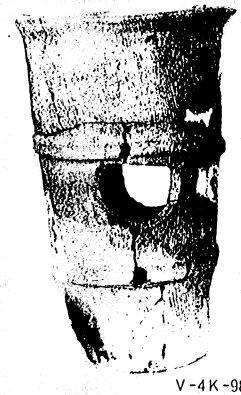

V-4K-ア17

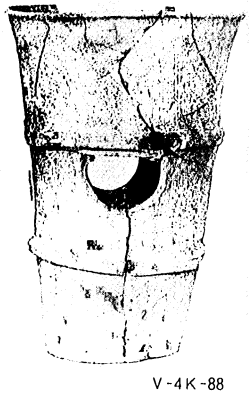

V-4K-102

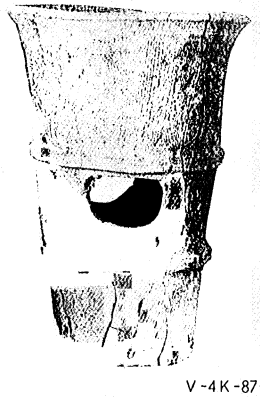

V-4K-ア21

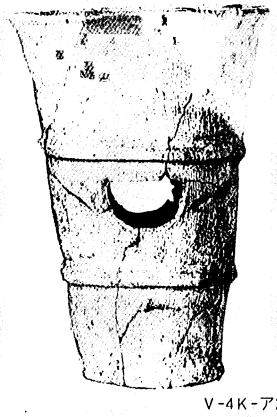

V-4K-4

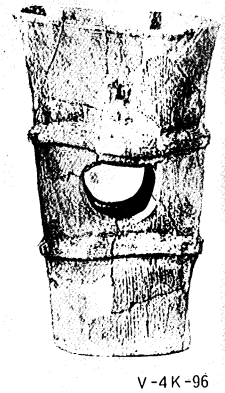

V-4K-83

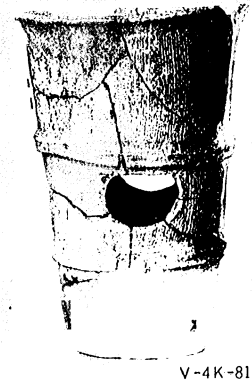

V-4K-98

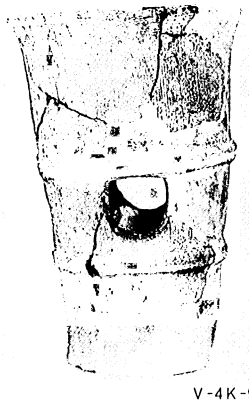

V-4K-88

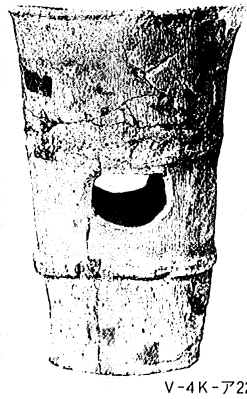

V-4K-87

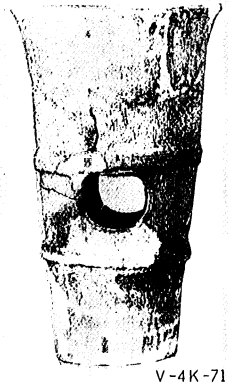

V-4K-ア20

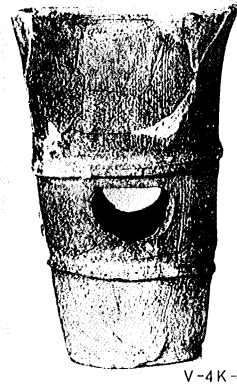

V-4K-96

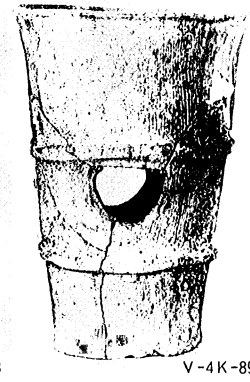

V-4K-81


V-4K-94

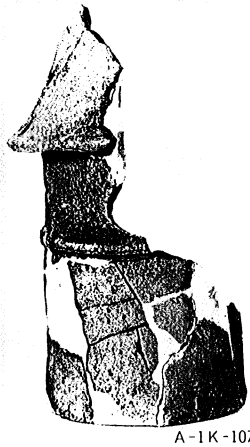

V-4K-ア22

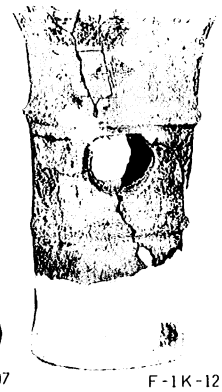

V-4K-71

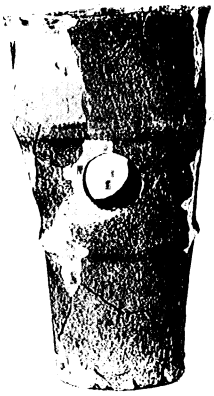

V-4K-ア23

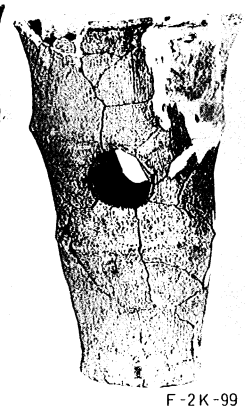

V-4K-89

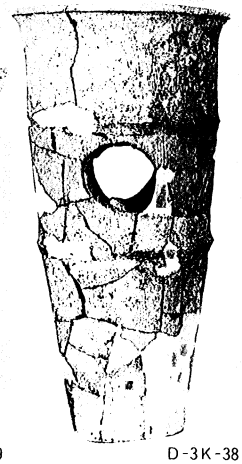
A-1K-34

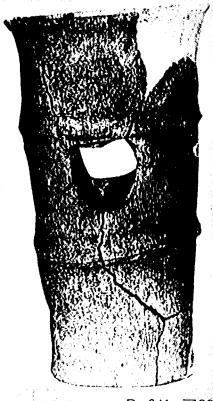

A-1K-107

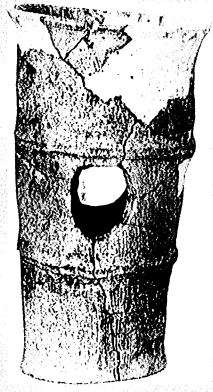

F-1K-12

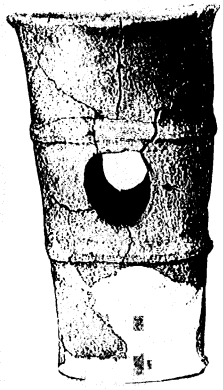

F-2K-92

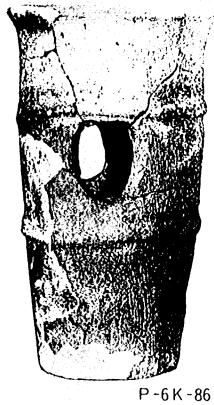

F-2K-99

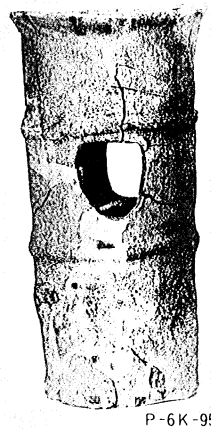

D-3K-38

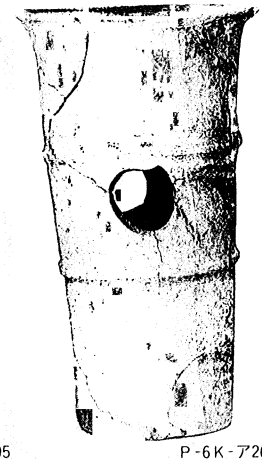

P-6K-ア29

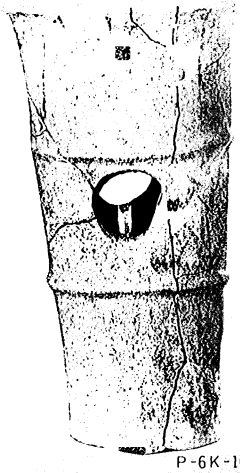

P-6K-77

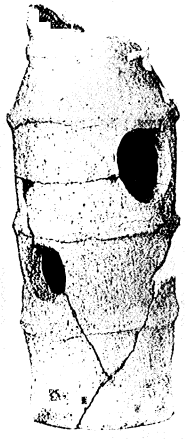

P-6K-ア25

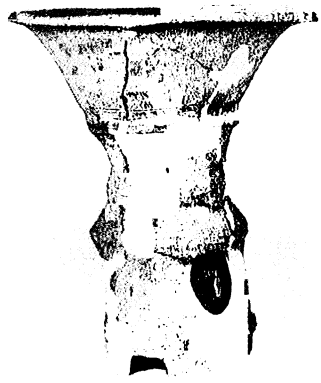

P-6K-86


P-6K-95


P-6K-ア26

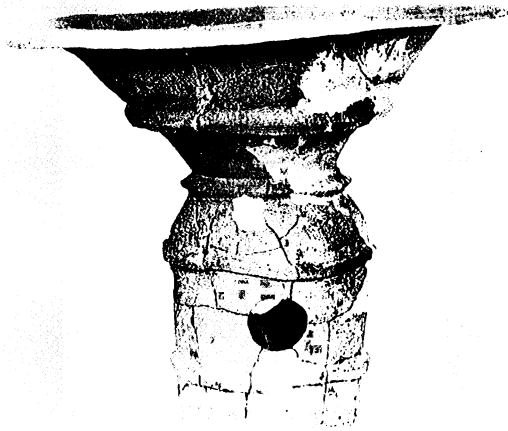

P-6K-100

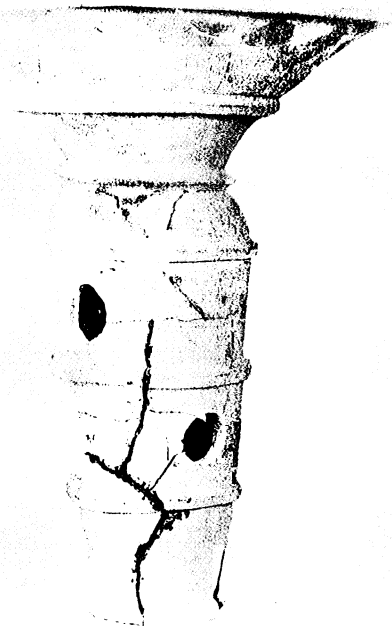

P-6K-ア24

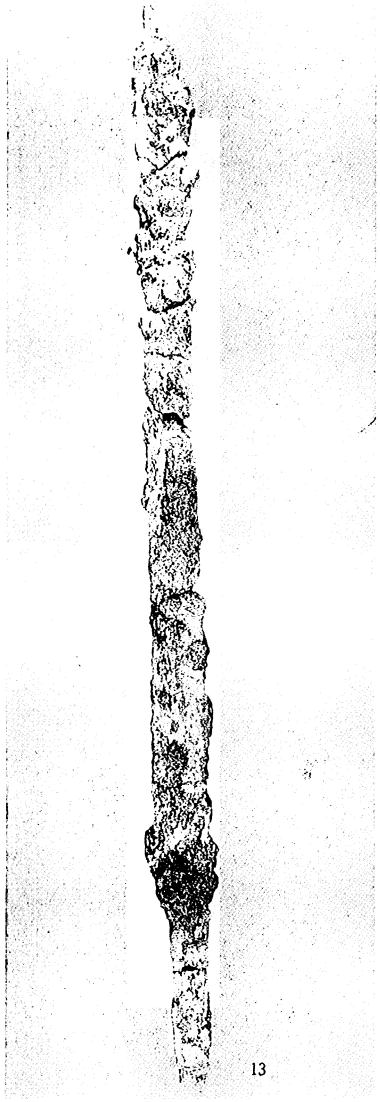

P-6K-ア28

P-6K

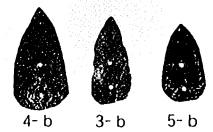
Y_1-5K-75

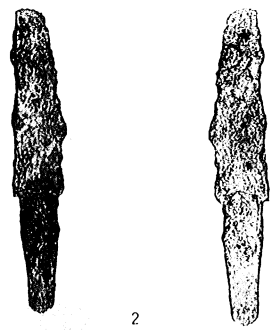

Q-1K-45

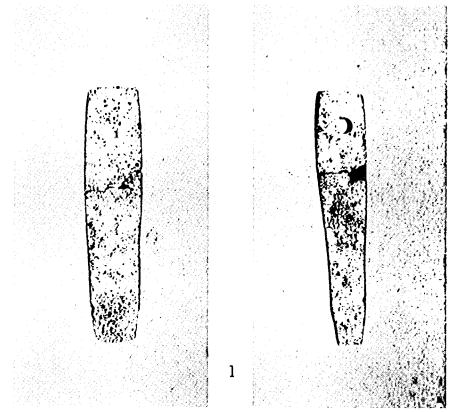

Q-1K-108


13

4-a 3-a 5-a


4-b 3-b 5-b


2


1

11-a

9-a

6-a

9-2-a

11-b

9-b

6-b

9-2-b

8-a

10-a

7-a

9-3-a

8-b

10-b

7-b

9-3-b

12-a

一括-a

12-b

一括-b

粕川村文化財報告第十集　白藤古墳群

平成元年３月28日印刷
平成元年３月31日発行

編集　粕川村教育委員会
発行　群馬県勢多郡粕川村西田面194-4
〒371-02　Tel 0272—85—3311
印刷　朝日印刷工業株式会社